

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第584集

みなみ ひ づめしょう じ ぐち

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査

2011

岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室

(財)岩手県文化振興事業団

南日詰小路口 I・II 遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査

序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史を生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは、県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターでは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、経営体育成基盤整備事業南日詰地区に関連して、平成21年度に発掘調査された紫波町南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡の調査成果をまとめたものです。南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、12世紀の平泉藤原氏の一族「比爪氏」の居館として『吾妻鏡』に記載される「比爪館」と推定される比爪館跡の南東側に位置する遺跡です。今回の調査により、南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡では、古代の竪穴住居跡、12世紀の建物跡や溝跡、井戸跡などの集落跡、近世の屋敷地に関連するや建物跡や溝跡・土坑などの遺構の他、多くの貴重な遺物が確認されました。

今回の調査成果は、比爪館を拠点とする12世紀の「比爪」の様子を知ることができる、貴重な資料となるものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室、紫波町教育委員会、矢巾町教育委員会をはじめとする関係各位に深く感謝の意を表します。

平成23年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 池田克典

例 言

- 1 本報告書は、岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口26-2ほかに所在する南日詰小路口Ⅰ遺跡、岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口54-1ほかに所在する南日詰小路口Ⅱ遺跡の発掘調査成果を収録したものである。
- 2 本遺跡の調査は、経営体育成基盤整備事業南日詰地区に伴う緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課と岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室（現盛岡広域振興局）との協議を経て、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。なお、費用負担は岩手県教育委員会が岩手県盛岡広域振興局農政部に農家負担分を補助している。
- 3 岩手県遺跡台帳に登録される南日詰小路口Ⅰ遺跡・南日詰小路口Ⅱ遺跡の遺跡番号と遺跡略号は、次のとおりである。

南日詰小路口Ⅰ遺跡 L E43-1123 / M H S I -09
南日詰小路口Ⅱ遺跡 L E43-1131 / M H S II -09
- 4 発掘調査の調査面積・期間・担当者は、次のとおりである。

南日詰小路口Ⅰ遺跡 5,825㎡(本調査3,159㎡、確認調査2,666㎡) / 平成21年4月8日～11月17日
南日詰小路口Ⅱ遺跡 6,461㎡(本調査2,011㎡、確認調査4,450㎡) / 平成21年4月8日～11月17日
阿部勝則・川又 晋・中村絵美・八重畑ちか子
- 5 室内整理の期間と担当者は、次のとおりである。

平成21年11月1日～平成22年3月31日 / 阿部勝則・川又 晋・八重畑ちか子
- 6 野外調査における基準点測量・航空写真撮影は、次の機関に委託した。

基準点測量：北栄調査設計株式会社
航空写真撮影：東邦航空株式会社
- 7 遺物の分析・鑑定は、次の機関に委託した。

石材鑑定：花崗岩研究会（代表矢内桂三）、炭化材樹種鑑定：阿部利吉（前岩手県木炭協会）
放射性炭素年代測定：加速器研究所、種実同定：パリノ・サーヴェイ株式会社
木製品の樹種同定：木工舎「ゆい」、木製品の保存処理：岩手県立博物館
- 8 発掘・整理・報告は、次の方々にご指導・ご協力いただいた（順不同・敬称略）。

斎藤邦雄・佐藤嘉広・櫻井友梓（岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課）、花籠博文・桜井芳彦・米川保丈（紫波町教育委員会）、西野 修（矢巾町教育委員会）、八重樫忠郎・及川 司・菅原計二・本澤慎輔（平泉町教育委員会）、井上雅孝（滝沢村教育委員会）矢萩昭二・東本茂樹（八幡平市教育委員会）。大沼 巖・大沼傳悦・大沼信行・大沼ケフ子（地権者）、かばら建設。吾妻嶺酒造店。
- 9 本報告書の執筆は、Ⅰ章を岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室に依頼した。Ⅱ～Ⅵ章は、阿部勝則（Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ-2・Ⅴ・Ⅵ）・川又 晋（Ⅳ-1）・八重畑ちか子（Ⅴ-1）が分担して執筆した。文末に（氏名）を記してある。Ⅶ章は、鑑定委託先に依頼した原稿を掲載した。報告書の編集・校正は、阿部と川又が行った。
- 10 本遺跡の調査成果は、先に遺跡公開における『現地説明会資料』（平成21年10月24日）や、当センター主催の遺跡報告会（平成22年2月13日）、『平成21年度発掘調査報告書』（岩文振第571集）などで概要を報告・発表しているが、本書の内容が優先するものである。
- 11 本遺跡の調査で得られた一切の資料は、岩手県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。

凡 例

1 掲載図版等について

(1) 掲載図版の構成

図版構成は、遺構・遺物に分けている。遺構図版は、竪穴住居跡・建物跡・土坑・土器埋設遺構・道路状遺構の順で種類毎に掲載した。遺物図版は、縄文時代の土器・石器、古代の土師器・須恵器・石製品、12世紀のかわらけ、国産陶器（常滑・渥美・水沼・須恵器系）、中国産磁器（白磁・青磁・青白磁）・中世の陶磁器、近世・近代の陶磁器、石製品、金属製品、ガラス製品、木製品、土製品、動物遺体、植物遺体の種類毎に図版を作成し、出土地点・層位（上→下）を基準に掲載した。別に出土地点別の遺物集成図も作成している。遺物の掲載番号は、掲載順に連番とし、図版・写真図版とも同一番号とした。掲載遺物にはすべて観察表を付した。観察表内の（ ）内の数値は残存値、<>内数値は推定値である。

(2) 掲載図版の縮尺

掲載図版の縮尺は以下を原則としたが、一部変更したところもあり、各図にスケール・縮尺を付した。

a 遺構図版

竪穴住居跡の平・断面図1/50、炉跡の平・断面図1/30、建物跡の平・断面図1/100、土坑の平・断面図1/40、溝跡・道路状遺構の平・断面図1/80、土器埋設遺構の平・断面図1/40

b 遺物図版

土器1/3、土製品1/2、剥片石器1/2、礫石器1/3、石製品1/2、陶磁器1/3、鉄製品1/3、ガラス製品1/3、木製品1/3

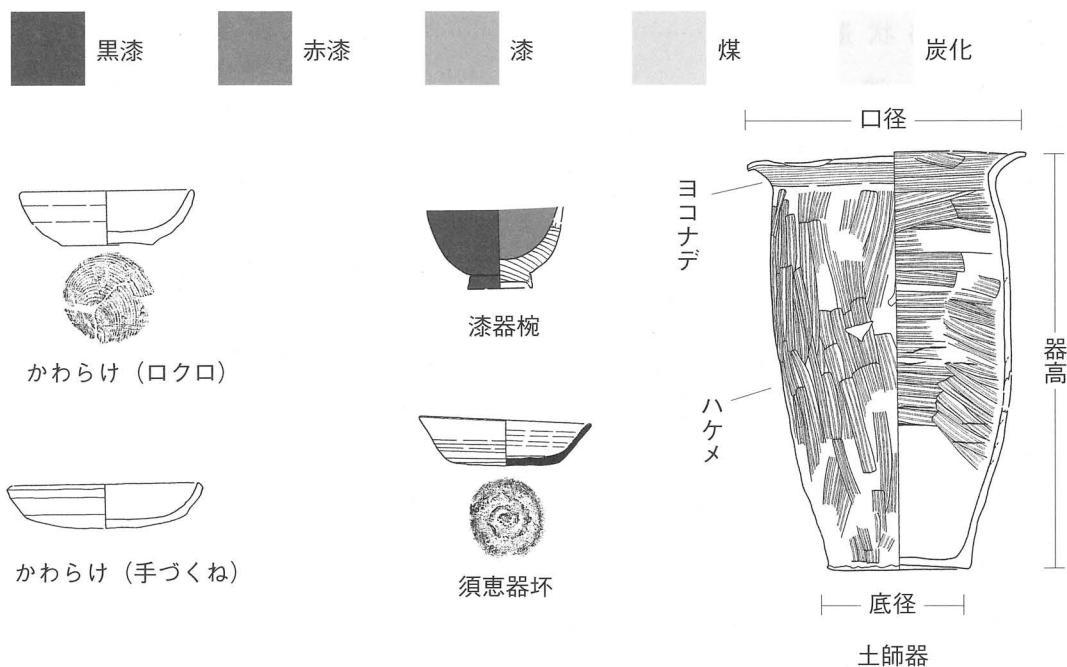
c 写真図版

遺構の写真図版の縮尺は不定である。遺物の写真図版の縮尺は、概ね図版と同一縮尺になることを基本として編集したが、一部変更したところもあり、各図に縮尺を付した。

(3) 図版の凡例

図中に使用した記号と網かけの凡例は以下のとおりである。それ以外については、個々の図版毎に凡例を示している。

遺物



目 次

I	調査に至る経過	1
II	遺跡の位置と立地	2
1	遺跡の位置と地理的環境	2
2	遺跡の立地と周辺の地形・地質	2
3	基本土層	2
4	周辺の遺跡	3
III	調査・整理の方法	4
1	野外調査	4
(1)	野外調査の方法	4
(2)	野外調査の経過	5
2	室内整理	9
(1)	室内整理の方法	9
(2)	室内整理の経過	10
IV	南日詰小路口 I 遺跡	29
1	検出遺構	29
(1)	検出遺構の概要	29
(2)	建物跡・柱列跡・柱穴群	29
(3)	土坑・井戸跡	32
(4)	溝跡	45
(5)	道路状遺構	61
2	出土遺物	62
(1)	出土遺物の概要	62
(2)	縄文時代の遺物	62
(3)	12世紀の遺物	62
(4)	中世の遺物	63
(5)	近世・近代の遺物	63
(6)	石製品	63
(7)	金属製品	63
(8)	木製品	64
(9)	土製品	64
(10)	動物遺体	64
(11)	植物遺体	64

V	南日詰小路口Ⅱ遺跡	149
1	検出遺構	149
	(1) 検出遺構の概要	149
	(2) 竪穴住居跡	149
	(3) 建物跡・柱列跡・柱穴群	150
	(4) 土坑・井戸跡	154
	(5) 溝跡	163
	(6) 土器埋設遺構	171
2	出土遺物	173
	(1) 出土遺物の概要	173
	(2) 縄文時代の遺物	173
	(3) 古代の遺物	173
	(4) 12世紀の遺物	173
	(5) 中世の遺物	174
	(6) 近世・近代の遺物	174
	(7) 石製品	174
	(8) 金属製品	174
	(9) ガラス製品	175
	(10) 木製品	175
	(11) 土製品	175
	(12) 動物遺体	175
	(13) 植物遺体	175
VI	総括	247
1	12世紀の遺構と遺物	247
	(1) 遺構	247
	(2) 遺物	248
2	近世から近代にかけての屋敷地	249
	(1) 遺構	249
	(2) 遺物	249
	(3) 文書・絵図・地籍図・航空写真	250
	(4) 歴史的変遷	251
3	まとめ	252
VII	分析・鑑定	259
1	木製品樹種同定	259
2	種実同定	270
3	放射性炭素年代測定	273
	報告書抄録	391

図版目次

第1図 遺跡の位置……………	13	第37図 S K34～38……………	103
第2図 周辺の地形……………	14	第38図 S D01……………	104
第3図 周辺の遺跡……………	15	第39図 S D03～06……………	105
第4図 基準点・トレンチ位置図……………	16	第40図 S D07・19・20……………	106
第5図 検出面標高・基本土層位置図……………	17	第41図 S D08・13～16・26……………	107
第6図 基本土層（南日詰小路口Ⅰ遺跡）……………	18	第42図 S D09～11……………	108
第7図 基本土層（南日詰小路口Ⅱ遺跡）……………	19	第43図 S D12・17・18……………	109
第8図 遺構配置全体図……………	20	第44図 S D21～23・25……………	110
第9図 遺構配置図1・4……………	21	第45図 S D24・30～32……………	111
第10図 遺構配置図2……………	22	第46図 S D27・33……………	112
第11図 遺構配置図3……………	23	第47図 S D28・42……………	113
第12図 遺構配置図5……………	24	第48図 S D34平面図（Q区全体）……………	114
第13図 遺構配置図6……………	25	第49図 S D34・35平面図（Q区北側）……………	115
第14図 遺構配置図7……………	26	第50図 S D34・36平面図（Q区南側）……………	116
第15図 遺構配置図8……………	27	第51図 S D34断面図（1）……………	117
第16図 遺構配置図9・10……………	28	第52図 S D34断面図（2）……………	118
〈南日詰小路口Ⅰ遺跡〉		第53図 S D35断面図……………	119
第17図 H3・H4区ピット①・②……………	83	第54図 S D37・43・45、S X01平面図……………	120
第18図 H3・H4区ピット③・④……………	84	第55図 S D36・45、S X01断面図……………	121
第19図 I区ピット①・②……………	85	第56図 S D38～41・44……………	122
第20図 I区ピット③・④（1）……………	86	第57図 縄文土器、石製品、かわらけ（1）……………	123
第21図 I区ピット④（2）……………	87	第58図 かわらけ（2）……………	124
第22図 M区ピット……………	88	第59図 かわらけ（3）……………	125
第23図 N区ピット……………	89	第60図 かわらけ（4）……………	126
第24図 Q区ピット……………	90	第61図 かわらけ（5）……………	127
第25図 S区ピット……………	91	第62図 かわらけ（6）……………	128
第26図 S B01～09……………	92	第63図 かわらけ（7）……………	129
第27図 S B10～12……………	93	第64図 かわらけ（8）……………	130
第28図 S K01～05……………	94	第65図 国産陶器：常滑（1）……………	131
第29図 S K06～09……………	95	第66図 国産陶器：常滑（2）……………	132
第30図 S K10～13……………	96	第67図 国産陶器：渥美（1）……………	133
第31図 S K14～19……………	97	第68図 国産陶器：渥美（2）……………	134
第32図 S K20～23……………	98	第69図 国産陶器：水沼・須恵器系……………	135
第33図 S K24～27……………	99	第70図 中国産陶磁器：白磁・青磁・青白磁、 中世の陶磁器……………	136
第34図 S K28～31……………	100	第71図 近世・近代の陶磁器……………	137
第35図 S K32……………	101	第72図 石製品、金属製品……………	138
第36図 S K33・39～41……………	102		

第73図	木製品 (1) ……………	139	第107図	S D 110 ~ 112……………	217
第74図	木製品 (2) ……………	140	第108図	S D 113 ~ 116・120 ……	218
第75図	木製品 (3) ……………	141	第109図	S D 117 ~ 119・121・125・126 ……	219
第76図	木製品 (4) ……………	142	第110図	S D 122・123 ……………	220
第77図	木製品 (5) ……………	143	第111図	S D 124・127 ……………	221
第78図	遺構別出土遺物集成図 (1) ……	144	第112図	縄文土器、石器 ……………	222
第79図	遺構別出土遺物集成図 (2) ……	145	第113図	土師器 (1)……………	223
第80図	遺構別出土遺物集成図 (3) ……	146	第114図	土師器 (2)……………	224
第81図	遺構別出土遺物集成図 (4) ……	147	第115図	須恵器、石製品 ……………	225
第82図	遺構別出土遺物集成図 (5) ……	148	第116図	かわらけ ……………	226
〈南日詰小路口Ⅱ遺跡〉					
第83図	S I 101・102……………	193	第117図	国産陶器：常滑 (1)……………	227
第84図	S I 103 (1)……………	194	第118図	国産陶器：常滑 (2)……………	228
第85図	S I 103 (2)……………	195	第119図	国産陶器：渥美・須恵器系、 中国産磁器：白磁・青白磁、中世の磁器 ……	229
第86図	A・E 1区ピット①・②、B区ピット…	196	第120図	近世・近代の陶磁器 (1)……………	230
第87図	A・E 1区ピット③・E 2・E 3区ピット ……………	197	第121図	近世・近代の陶磁器 (2)……………	231
第88図	C・D区ピット平面図……………	198	第122図	近世・近代の陶磁器 (3)……………	232
第89図	C区ピット断面図……………	199	第123図	近世・近代の陶磁器 (4)……………	233
第90図	G 2・G 3区ピット平面図……………	200	第124図	近世・近代の陶磁器 (5)……………	234
第91図	G 2・G 3区ピット断面図……………	201	第125図	石製品、金属製品、ガラス製品 ……	235
第92図	G 4区ピット①・②……………	202	第126図	木製品 (1)……………	236
第93図	G 4区ピット③・G 5区ピット……………	203	第127図	木製品 (2)……………	237
第94図	G 6区ピット……………	204	第128図	木製品 (3)……………	238
第95図	S B 101 ~ 103 ……………	205	第129図	木製品 (4)……………	239
第96図	S B 104 ~ 109 ……………	206	第130図	木製品 (5)……………	240
第97図	S B 110 ~ 113 ……………	207	第131図	木製品 (6)……………	241
第98図	SK101 ~ 104・111 ~ 113・117・118 ……	208	第132図	遺構別出土遺物集成図 (1)……………	242
第99図	S K 105 ……………	209	第133図	遺構別出土遺物集成図 (2)……………	243
第100図	S K 106 ~ 109……………	210	第134図	遺構別出土遺物集成図 (3)……………	244
第101図	S K 110・114 ~ 116 ……………	211	第135図	遺構別出土遺物集成図 (4)……………	245
第102図	S K 119 ~ 122……………	212	第136図	遺構別出土遺物集成図 (5)……………	246
第103図	S K 123 ~ 126……………	213	第137図	井戸跡集成図 ……………	255
第104図	S K 127・128、S Z 101……………	214	第138図	絵図 ……………	256
第105図	S D 101 ~ 105……………	215	第139図	地籍図 ……………	257
第106図	S D 106 ~ 109……………	216	第140図	近世から近代にかけての屋敷地の周辺図 ……	258

表 目 次

第1表 周辺の遺跡一覧表……………	11	第24表 建物跡・柱列跡観察表……………	176
第2表 遺構一覧表・基準点一覧表……………	12	第25表 柱穴観察表……………	177
〈南日詰小路口Ⅰ遺跡〉			
第3表 建物跡・柱列跡観察表……………	65	第26表 土坑・井戸跡観察表……………	182
第4表 柱穴観察表……………	66	第27表 溝跡観察表……………	183
第5表 土坑・井戸跡観察表……………	70	第28表 土器埋設遺構観察表……………	183
第6表 溝跡観察表……………	71	第29表 出土地点別かわらけ重量表……………	184
第7表 道路状遺構観察表……………	65	第30表 出土地点別土師器重量表……………	186
第8表 出土地点別かわらけ重量表……………	72	第31表 出土地点別須恵器重量表……………	186
第9表 遺構別出土遺物一覧表……………	75	第32表 遺構別出土遺物一覧表……………	187
第10表 縄文土器観察表……………	75	第33表 縄文土器観察表……………	188
第11表 石製品観察表……………	75	第34表 石器観察表……………	188
第12表 かわらけ観察表……………	76	第35表 土師器・須恵器観察表……………	188
第13表 国産陶器観察表……………	78	第36表 石製品観察表……………	188
第14表 中国産陶磁器観察表……………	79	第37表 かわらけ観察表……………	189
第15表 中世の陶磁器観察表……………	80	第38表 国産陶器観察表……………	189
第16表 近世・近代の陶磁器観察表……………	80	第39表 中国産磁器観察表……………	190
第17表 石製品観察表……………	80	第40表 中世の磁器観察表……………	190
第18表 金属製品観察表……………	80	第41表 近世・近代の陶磁器観察表……………	190
第19表 木製品観察表……………	81	第42表 石製品観察表……………	190
第20表 土製品観察表……………	81	第43表 金属製品観察表……………	191
第21表 動物遺体観察表……………	81	第44表 ガラス製品観察表……………	191
第22表 植物遺体観察表……………	82	第45表 木製品観察表……………	191
〈南日詰小路口Ⅱ遺跡〉			
第23表 竪穴住居跡観察表……………	176	第46表 土製品観察表……………	191
		第47表 動物遺体観察表……………	191
		第48表 植物遺体観察表……………	192

写真図版目次

写真図版 1	航空写真、かわらけ……………	279	写真図版37	S D30～33……………	315
写真図版 2	国産陶器、中国産磁器……………	280	写真図版38	S D34(1)……………	316
写真図版 3	航空写真(1)……………	281	写真図版39	S D34(2)……………	317
写真図版 4	航空写真(2)……………	282	写真図版40	S D34遺物出土状況……………	318
写真図版 5	航空写真(3)……………	283	写真図版41	S D35(1)……………	319
〈南日詰小路口Ⅰ遺跡〉					
写真図版 6	H1～H4区……………	284	写真図版42	S D35(2)……………	320
写真図版 7	I区(1)……………	285	写真図版43	S D36、S X01(1)……………	321
写真図版 8	I区(2)……………	286	写真図版44	S D36、S X01(2)……………	322
写真図版 9	J・K・L区……………	287	写真図版45	S D37・38・41・42……………	323
写真図版10	L・M・N区……………	288	写真図版46	S D39・40・43～45……………	324
写真図版11	O・P区……………	289	写真図版47	縄文土器、石製品、かわらけ(1)…	325
写真図版12	Q区……………	290	写真図版48	かわらけ(2)……………	326
写真図版13	R1・R2区……………	291	写真図版49	かわらけ(3)……………	327
写真図版14	R3・S区……………	292	写真図版50	かわらけ(4)……………	328
写真図版15	S B01～05・07～09……………	293	写真図版51	かわらけ(5)……………	329
写真図版16	S B10～12……………	294	写真図版52	かわらけ(6)……………	330
写真図版17	I区柱穴……………	295	写真図版53	国産陶器：常滑(1)……………	331
写真図版18	S K01～04……………	296	写真図版54	国産陶器：常滑(2)、渥美(1)…	332
写真図版19	S K05～07……………	297	写真図版55	国産陶器：渥美(2)、 水沼、須恵器系(1)……………	333
写真図版20	S K08～11……………	298	写真図版56	国産陶器：須恵器系(2)、 中国産陶磁器、中世の陶磁器…	334
写真図版21	S K12～15……………	299	写真図版57	近世・近代の陶磁器……………	335
写真図版22	S K16・18～20……………	300	写真図版58	石製品、金属製品、木製品(1)…	336
写真図版23	S K17・21～24……………	301	写真図版59	木製品(2)……………	337
写真図版24	S K25～28……………	302	写真図版60	木製品(3)……………	338
写真図版25	S K29～31・34……………	303	写真図版61	木製品(4)……………	339
写真図版26	S K32……………	304	写真図版62	木製品(5)……………	340
写真図版27	S K33・35～38……………	305	写真図版63	土製品、動物遺体、植物遺体…	341
写真図版28	S K39～41……………	306	〈南日詰小路口Ⅱ遺跡〉		
写真図版29	S D01・07……………	307	写真図版64	A区……………	342
写真図版30	S D03～06……………	308	写真図版65	B区……………	343
写真図版31	S D08～10……………	309	写真図版66	C区……………	344
写真図版32	S D11～15・26……………	310	写真図版67	D区……………	345
写真図版33	S D16～18……………	311	写真図版68	E区……………	346
写真図版34	S D19～22……………	312	写真図版69	F区……………	347
写真図版35	S D23～25……………	313	写真図版70	G1・G2区……………	348
写真図版36	S D27・28……………	314			

写真図版71	G 3・G 4区	349	写真図版93	S D 115～120	371
写真図版72	G 5・G 6区	350	写真図版94	S D 121・124～126	372
写真図版73	S I 101・102	351	写真図版95	S D 122・123	373
写真図版74	S I 103 (1)	352	写真図版96	S D 127	374
写真図版75	S I 103 (2)	353	写真図版97	縄文土器、石器、土師器 (1)	375
写真図版76	S B 101～103、柱穴 (1)	354	写真図版98	土師器 (2)、須恵器、石製品	376
写真図版77	S B 104～113	355	写真図版99	かわらけ、国産陶器：常滑 (1)	377
写真図版78	柱穴 (2)	356	写真図版100	国産陶器：常滑 (2)	378
写真図版79	柱穴 (3)	357	写真図版101	国産陶器：渥美、須恵器系、 中国産磁器、中世の磁器	379
写真図版80	S K 101～104	358	写真図版102	近世・近代の陶磁器 (1)	380
写真図版81	S K 105	359	写真図版103	近世・近代の陶磁器 (2)	381
写真図版82	S K 106～108	360	写真図版104	近世・近代の陶磁器 (3)	382
写真図版83	S K 109～112	361	写真図版105	近世・近代の陶磁器 (4)	383
写真図版84	S K 113～115	362	写真図版106	近世・近代の陶磁器 (5)	384
写真図版85	S K 116～118	363	写真図版107	石製品、金属製品、ガラス製品	385
写真図版86	S K 119～122	364	写真図版108	木製品 (1)	386
写真図版87	S K 123～126	365	写真図版109	木製品 (2)	387
写真図版88	S K 127・128、S Z 101	366	写真図版110	木製品 (3)	388
写真図版89	S D 101～105	367	写真図版111	木製品 (4)	389
写真図版90	S D 106～108	368	写真図版112	土製品、動物遺体、植物遺体	390
写真図版91	S D 109～111	369			
写真図版92	S D 112～114	370			

I 調査に至る経過

南日詰小路口Ⅰ遺跡は、「経営体育成基盤整備事業 南日詰地区」のほ場整備事業工事に伴い、その事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

本地区は、紫波郡紫波町南日詰に位置し、東側を北上川、南側を滝名川、西側を国道4号に囲まれた約90haの水田地帯である。本事業は、平成12年からほ場整備の区画整理、用水路のパイプライン化、道路及び排水路の新設、改良により、農作業の効率化、生産コストの削減、生産性の向上等を図り、農地集積による安定した経営体および担い手農家の育成を目的として、着手したものである。

本事業の施工にかかる埋蔵文化財の取扱いについては、岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室(現岩手県盛岡広域振興局)から平成18年9月28日付盛農整第470号「ほ場整備事業における埋蔵文化財の試掘調査について」により、岩手県教育委員会に対して試掘調査の依頼を行った。

依頼を受けた県教育委員会は、平成18年10月20、23、24日に試掘調査を実施し、工事に着手するには南日詰小路口Ⅰ遺跡の発掘調査が必要となる旨を、平成18年11月2日付教生第1044号「埋蔵文化財の試掘調査について」により回答を行った。

この調査結果に基づき、当室から平成18年11月15日付盛地農整第572号「埋蔵文化財試掘調査結果に係る工法協議について」、平成19年1月29日付盛農整第681号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」及び平成20年3月12日付盛地農整第573号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」により県教育委員会に対して、盛土工法による保存個所と発掘調査による記録保存個所についての協議を行った。

その後、これまでの経過を踏まえ、平成21年4月1日付けで財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。

南日詰小路口Ⅱ遺跡は、「経営体育成基盤整備事業 南日詰地区」のほ場整備事業工事に伴い、その事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

本地区は、紫波郡紫波町南日詰に位置し、東側を北上川、南側を滝名川、西側を国道4号に囲まれた約90haの水田地帯である。本事業は、平成12年からほ場整備の区画整理、用水路のパイプライン化、道路及び排水路の新設、改良により、農作業の効率化、生産コストの削減、生産性の向上等を図り、農地集積による安定した経営体および担い手農家の育成を目的として、着手したものである。

本事業の施工にかかる埋蔵文化財の取扱いについては、岩手県盛岡地方振興局農政部農村整備室(現岩手県盛岡広域振興局)から平成18年9月28日付盛農整第470号「ほ場整備事業における埋蔵文化財の試掘調査について」により、岩手県教育委員会に対して試掘調査の依頼を行った。

依頼を受けた県教育委員会は、平成18年10月20、23、24日に試掘調査を実施し、工事に着手するには南日詰小路口Ⅰ遺跡の発掘調査が必要となる旨を、平成18年11月2日付教生第1044号「埋蔵文化財の試掘調査について」により回答を行った。

この調査結果に基づき、当室から平成18年11月15日付盛地農整第572号「埋蔵文化財試掘調査結果に係る工法協議について」、平成19年1月29日付盛農整第681号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」及び平成20年3月12日付盛地農整第573号「埋蔵文化財試掘調査に係る工法協議について」により県教育委員会に対して、盛土工法による保存個所と発掘調査による記録保存個所についての協議を行った。

その後、これまでの経過を踏まえ、平成21年4月1日付けで財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。(岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室)

Ⅱ 遺跡の位置と立地

1 遺跡の位置と地理的環境

本遺跡の所在する紫波町は、岩手県内陸部に位置し、北は盛岡市・矢巾町・西は雫石町、南は花巻市に接している。面積約239.03km²、人口3万4千人である（平成21年現在）。岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、農業・酒造・観光などを柱に発展を目指す町である。

南日詰小路口Ⅰ遺跡は、紫波郡紫波町南日詰字小路口1-26ほかに所在し、紫波町域の南側にあり、JR東北本線日詰駅より直線距離で南東約2km付近に位置する。同地点は北緯39度31分53秒、東経141度10分12秒付近に位置する。同じく南日詰小路口Ⅱ遺跡は、紫波郡紫波町南日詰字小路口54-1ほかに所在する遺跡である。同地点は北緯39度31分52秒、東経141度10分5秒付近に位置する。両遺跡は東北新幹線を挟んで隣接し、東側をⅠ遺跡、西側をⅡ遺跡としている。

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、国土交通省国土地理院発行5万分の1地形図「日詰」(NJ-54-13-15:平成11年発行)、同2万5千分の1地形図「日詰」(NJ-54-13-15-2:平成元年発行)の図幅に属する。

2 遺跡の立地と周辺の地形・地質

紫波町の地形は、西側に奥羽山脈、東側に北上山地があり、中央を北上川が南流しており、北上川流域で都市化が進む中央を挟んで、東側と西側で大きく分かれる。北上川に西側から注ぎ込む滝名川、東側から北上川に注ぎ込む常川、赤沢川などによって、北上川の両側には低地が形成されている。特に西側の低地は大きく開けており、同地域は、小麦栽培など県内有数の穀倉地帯である。滝名川上流には山王海ダムが設けられ、下流域の水利の確保に貢献している。

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、遺跡の東側を流れる北上川によって形成された河岸低地に立地する。遺跡の現況は水田・畑地である。遺跡周辺の地形を大きく見ると、奥羽山脈の裾野である西側から北上川が流れる東側に向かって緩やかに傾斜している。調査区の標高は92～93mである。参考までに、比爪館跡は、北上川右岸の低位段丘の突端部に位置しており、当遺跡を含む12世紀の遺跡群が立地する低地部より一段高い面に立地している。

3 基本土層

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、調査範囲全体が、南北400m、東西600m、面積は12,286m²の広い範囲に及ぶが、調査区は、ほ場整備事業の対象範囲で、田面の整備は、調査開始前に既に終了していた。調査範囲は、未着手となっていた用水路・排水路・農道部分について事業開始前に調査を行ったものである。調査範囲は、幅1.5～8m前後、長さ25～450m前後の細長い調査区が20か所以上に及んだ。そのため各調査区で1か所から2か所程度基本土層を確認するための掘り下げを行い、表土・盛土の厚さ、包含層の有無、遺構検出面の確認を行った。なお、平成18年度の試掘調査後に行われた田区のほ場整備の事業に伴い、調査対象範囲に盛土が施されていた個所が多く、試掘報告で確認された土層堆積状況と異なる部分があった。

(1) 各観察地点の土層の堆積状況と遺構検出面

北上川右岸に形成された低地に立地する南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、礫層・砂層など河川堆積物によって覆われている。その地形を生かした当地の主な土地利用は、近世以降において水田・畑地が営

まれていることが確認できる（註1）。広範囲に及ぶ地点で土層の確認を行った結果、地山面が落ち込む埋没沢状の地形が数か所で確認された。現在は画一的な水田が形成され、西から東にかけて緩やかに傾斜する地形だが、かつては随所に沢が入り込み、微高地が点在する地形であったと推測される。例えば、A・E区は西側に向かって低くなり、現在の五郎沼と当遺跡の間の地形は、落ち込んで低くなるようである。

（2）基本土層

地点により若干の差がみられるが、遺跡全体の土層の堆積状況と基本土層は次のとおりである。

- I層 10Y R3/2～2/2 黒褐色 層厚10～110cm 締り疎 現表土（盛土、旧耕作土を含）
- II層 10Y R2/2 黒褐色 層厚0～40cm シルト 締り中（12世紀の遺物包含層）
- III層 10Y R4/4 褐色 層厚20～40cm 砂質粘土層 締り密 いわゆる地山
- IV層 7.5Y R4/6 灰黄褐色 層厚50cm以上 礫層 基盤となる礫層

4 周辺の遺跡

紫波町の遺跡数は、325遺跡（平成17年現在）を数える。第3図には、そのなかで本遺跡周辺に分布する遺跡を図示した。南日詰小路口I・II遺跡は、かつてはI～III遺跡として3か所に分かれていたようである（註2）。平成18年度に事業予定地であった字小路口一帯で試掘調査が行われ、全域から12世紀の溝跡や土坑などの遺構や包含層、遺物などが確認され、遺跡の範囲は字小路口一体に広がるということが判明した。遺跡の名称は、試掘調査報告の時点で新幹線東側をI遺跡、同西側をII遺跡として報告されている（註3）。

平泉藤原氏に関連する遺跡として、平泉藤原氏の一族比爪（樋爪）氏の居館として『吾妻鏡』に記載される「比爪館」と推定される比爪館跡がある。比爪館跡（現赤石小学校付近）は、紫波町教育委員会によって、これまで断続的に調査が行われており、館跡を囲む大溝跡や、その内部に建物跡や井戸跡などが確認されており、12世紀の拠点的な遺跡と考えられている。館跡の南側には五郎沼がある。南日詰小路口I・II遺跡は、比爪館跡の南東側約0.6kmに位置する遺跡であり、位置的にも密接な関連が窺える遺跡である。

また、比爪館跡の周辺をみると、館跡と北上川との間に12世紀の遺物が散布する、あるいはその可能性がある遺跡が複数分布することが知られている（註4）。そのなかで、南日詰経塚遺跡では、昭和9年の郷倉建設の際、12世紀の経塚が発見されたとされている。この地域からやや南東側に離れた下川原I・II遺跡でも、平成19・20年度調査で12世紀の遺構・遺物が確認されている。南日詰小路口I・II遺跡は、このように比爪館周辺に広がる12世紀の遺跡群のなかのひとつであり、それらの遺跡群のなかで大規模な調査が初めて行われた遺跡である。今回の南日詰小路口遺跡の調査によって、12世紀の「比爪」の様子を具体的に知ることができる手がかりが得られることが期待された。なお、昭和50年に東北新幹線の建設に伴って調査された大銀遺跡は、今回の南日詰小路口I・II遺跡の調査範囲内にあたり、調査地点は、いわゆる小路口屋敷付近に該当する。報告によれば、大銀遺跡の調査では屋敷跡に関連する遺構は確認されておらず、12世紀のかわらけと類推される遺物が出土した旨が報告されている（註5）。

註

- (1) 弘化3年（1846年）の絵図及び19世紀末頃の地籍図などによる。
- (2) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004ほか。
- (3) 岩手県教育委員会2008
- (4) 羽柴2006ほかの文献による。
- (5) 岩手県教育委員会1979

Ⅲ 調査・整理の方法

1 野外調査

(1) 野外調査の方法

a 調査区の設定と命名

遺跡は、I・II遺跡が隣接している。調査区の地区割にあたっては、I・II遺跡共通で、各区域にA・B・…（アルファベット大文字）の地区名を付した。また、広範囲の調査区の測量を行うために、I・II遺跡共通で、基準点4点、補点24点を設定し、測量の基準とした。

b 遺構の名称

検出された遺構の名称は、遺構の種類に応じてアルファベットで略号化し、検出順にそれぞれ番号を付けて、S I 01・S K 02のように命名した。精査の過程や終了後に検討した結果、遺構ではないと判断したものや、遺構の種類を変更した番号については、混乱を防止するために欠番とした。本調査で使用した遺構略号と遺構名は以下に記したとおりである。

S I：竪穴住居跡、S B：掘立柱建物跡・柱列跡、S K：陥し穴状遺構・土坑・井戸跡、S N：焼土遺構、S Z：土器埋設遺構、S D：溝跡

報告にあたっては、現場で命名した遺構名をそのまま使用しているため一部欠番を生じている。検出された遺構種別・検出数・遺構名は以下に記したとおりである。なお、遺構名の一覧表は第2表に記した。

遺構種別：遺構名（遺構数）

I 遺跡（01～）

掘立柱建物跡・柱列跡：S B 01～12（12）、柱穴状土坑：P 1～284（278）

土坑・井戸跡：S K 01～41（41）

溝跡：S D 01～45（43）※S D 02・29：欠番

その他（道路状遺構）：S X 01（1）

II 遺跡（101～、柱穴は1001～）

竪穴住居跡：S I 101～103（3）

掘立柱建物跡・柱列跡：S B 101～113（13）、柱穴状土坑：P 1001～1350（347）

土坑・井戸跡：S K 101～121（21）

溝跡：S D 101～127（27）

土器埋設遺構：S Z 101（1）

c 試掘・粗掘と遺構検出

当初、幅1～2m、長さ5～10mのトレンチを地形に応じて任意の場所に入れ、土層の堆積状況を把握した。試掘溝の設定にあたっては、平成18年度の試掘調査の成果を考慮しながら、計92本の試掘溝を入れた。試掘の結果、遺構・遺物が存在する可能性が低いと判断された区域は、試掘調査のみで調査を終えている。それ以外の区域においては、試掘にもとづいて表土掘削を行った。調査区全体の表土の厚さは20～30cm程あり、包含する遺物はほとんどないことを確認し、基本的には重機により表土除去を行った。遺構検出は人力で行い、遺構の検出は、III層の黄褐色土層、一部ではII層黒褐色土層（包含層中）で行った。

d 精 査

検出された遺構は、原則として住居跡などの大形の遺構の場合は4分法、土坑類は2分法で行った。溝跡では適宜土層観察用のベルトを残して精査を進めた。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適宜行っている。

遺構内出土の遺物は、埋土で可能な限り分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則として地点ごとに出土した層位を記して取り上げ、適宜、写真撮影・図面作成をしている。

また、現場での記録作成では、上記の図面・写真以外にField・Card（以下F・Cと略す）を使用して、遺跡の調査経過や遺構の精査の進捗状況を記録している。

e 実測・写真撮影

トレンチ位置図・個々の遺構平面図については、グリッド杭・水糸によって設けられた基準から計測する簡易遣り方測量ではなく、電子平板を用いて図化作業を行った。断面実測については、任意の高さを基に設定した水糸を基準として計測し、1/20を基本としてマイラー用紙に記録した。

写真撮影は、デジタルカメラ1台、モノクローム6×9cm判1台、補助用としてコンパクトデジタルカメラ1台を使用して調査員が行った。撮影に際しては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを使用した。実際の撮影は各種遺構の埋土堆積状況、掘り上げ状況、遺物の出土状況などについて行っている。また、調査区の様子と遺跡の現況を把握するため、2回に分けて航空写真撮影を行った。

f 土層注記

断面図作成後に土層注記を行った。観察項目は、色調・土性・締まり・混入物などである。基本的には『新版標準土色帳』（1990年版、小山正忠・竹原秀雄編・著）をもとに行っているが、締まりは、密・やや密・中・やや疎・疎、の5段階で判断した。個々の遺構の埋土堆積状況は、自然か人為かの判断と、埋没している土の起源を把握することを課題とした。層名は調査区内に見られる基本的な土層をローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、遺構内埋土をアラビア数字（1・2・3）で表した。層位の細分の必要が生じた場合は、小文字のアルファベットを付し、Ⅰa・Ⅰb・1c・・・などと表わした。ただし、実際の注記内容は、担当調査員が個々の遺構を観察して行った。煩雑な業務に追われ、調査員間で記載内容が統一されなかった部分があるが、報告に際しては調査時の記録をそのまま掲載した。

g 土壌水洗

古代の竪穴住居跡の焼土などについて、動物遺体が存在する可能性や製鉄関連の遺構である可能性を考慮し、住居跡のカマドの埋土及び焼土を採取し、水洗い・天日での乾燥・篩（5mm・3mm・1mm）による仕分けを行った。この工程を経て得られた遺物に、動物遺体（焼骨）・植物遺体（種子）がある。

（2）野外調査の経過

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡の調査経過を時系列で記載すると次のようになる。

3月23日（月）現地確認

4月7日（火）10:00～11:00、住民説明会に係る協議。農村整備室、於埋蔵文化財センター

4月7日（火）18:00～19:00、地域住民への説明会。於地域活力センター

4月8日（水）13:00、資材搬入 調査開始

4月10日（金）13:30～16:30、調査区についての現地協議 農村整備室

4月15日（水）13:30～18:15、調査区についての現地協議 農村整備室

4月21日（火）10:00～12:00、調査区についての現地協議 農村整備室

- 4月27日（月）基準点設置（1回目）北栄調査設計株式会社
5月25日（月）基準点設置（2回目）北栄調査設計株式会社
5月26日（火）14:00～16:00、部分終了確認
5月28日（木）10:00～11:00、J R近接工事に係る打ち合わせ、於J R土木技術センター
7月7日（火）航空写真撮影（1回目）東邦航空株式会社
7月11日（土）11:00～12:00、西部公民館古代史講座見学会 見学者65名
8月20日（木）10:00～11:00、J R近接工事に係る現地打ち合わせ 仙建工業株式会社
8月21日（金）発掘体験1名
8月28日（金）J R近接工事に係る「工事施工に伴う覚書」の締結
9月3日（木）基準点打設（3回目）北栄調査設計株式会社
9月4日（金）10:30～12:00、部分終了確認（2回目）
9月4日（金）15:00～16:00、J R近接工事に係る打ち合わせ、於J R土木技術センター
9月11日（金）調査区についての現地協議、農村整備室
9月24日（木）調査区についての現地協議、農村整備室
9月28日（土）13:30～14:30、赤石地区日詰館懇話会見学会 見学者30名
10月2日（金）紫波町教育員会による電柱移設部分の試掘対応
10月5日（月）設計変更に伴う現地協議、農村整備室
10月20日（火）矢巾町教育委員会 西野修氏による調査指導
10月21日（水）10:30～12:00、部分終了確認（3回目）
10月24日（土）10:30～12:00、現地公開 見学者100名
10月28日（水）航空写真撮影（2回目）東邦航空株式会社
11月6日（金）15:30～16:15、終了確認（4回目、最終）
11月10日（火）岩手県教育委員会 佐藤嘉広・櫻井友梓氏による調査指導
11月17日（火）調査終了、資材搬出

作業員の稼働人数

作業員は登録人数32人で調査を開始した。調査の延べ稼働日数131日、一日平均の稼働人数は約26.8人で作業を行った。

調査区

調査対象範囲は、ほ場整備事業のうち農道・用水路・排水路の部分であり、田区については、すでに整備が終了していた。調査区は、最小1×73m、最大5×257mの範囲で、調査区数は19箇所（A～S区※枝番有り）に及んだ。そのため便宜的にアルファベット大文字A・B・C・・・で調査区名を付した。調査箇所が分断された場合や追加された場合は、必要に応じて枝番を付した。

基準点測量

4・5・9月の3回に分けて基準点打設を行った。支障物件が多く、4月の調査開始時点で調査区の詳細な境界が明示されていなかったことから、調査区の確定作業の進捗に合わせて、基準点打設を進めた。打設した基準の杭は、基準点4点・補点24点（区画点）である。

航空写真撮影

調査の進捗に合わせて7月と10月の2回撮影を行った。それぞれ撮影対象となった範囲は異なる。

現地公開など

7・9・10月の3回行った。7・9月は外部より依頼された見学会に対応したものである。10月は

調査機関が主体となって行った現地公開で、見学者は100名であった。

その他、8月21日に体験発掘1名の受け入れを行っている。

調査指導

10月20日に矢巾町教育委員会の西野修氏に来跡いただき、現地指導をいただいた。Q区で調査中の大溝跡について、その性格が不明であったため、運河の可能性の有無などについて指導をいただいた。その際、S X 101について道路状遺構の可能性について示唆を受けた。

11月10日には、柳之御所遺跡を調査している岩手県教育委員会の佐藤嘉広・櫻井友梓氏から指導を得る機会を得た。なお、10月24日に行った現地公開の際には、来跡された平泉町教育委員会の方々から多くのご指導をいただいた。また、紫波町教育委員会の方々には、現地に来ていただいた際、随時ご指導をいただいた。

部分終了確認

調査の進捗に合わせて、4回に分けて行われた。詳細は以下のとおりである。

- ・5月26日：部分終了確認（1回目）（A・B・C・D区：1,445㎡）
- ・9月4日：部分終了確認（2回目）（L・K・N・O・P・R 3・E・F区：4,154㎡）
- ・10月21日：部分終了確認（3回目）（M・I・R 1・R 2・H 1区：2,333㎡）
- ・11月6日：終了確認（4回目：最終）（Q・J・S・H 2・3・4・G区：4,354㎡）

5月に終了した調査区については、当方で埋め戻しを行ったが、9月以降に終了した調査区については、廃土処理、埋め戻し作業も含めて、事業の委託業者（かばら建設）に引き渡しを行った。

調査員の異動

4・5月：阿部・川又・中村、6月：阿部・川又、7月：阿部・川又・八重畑（7月21日～）、8・9・10・11月：阿部・川又・八重畑

当初、3人体制で調査を開始したが、5月末で1名が配置換えとなり、6月から7月中旬は2名体制で調査を行った。その後は1名加わって再び3名体制で調査を行った。調査員の異動により当初計画した分掌を見直し、I・II遺跡の調査をそれぞれ並行して行うこととした。I・II遺跡ともに9月以降でなければ調査着手できない個所があったことから、最終的に2か所に分かれての並行調査を余儀なくされることを見込まれたことから判断したものである。調査の総括・調整を阿部が行い、I遺跡の調査を川又、II遺跡の調査を阿部が行い、八重畑がこれを補助した。本報告書の原稿も、担当した遺跡と調査区について記載している。

調査区確定のための現地確認と設計変更

4月の調査着手時点で調査範囲を示す境界杭は明示されておらず、工事図面に示された調査範囲と、現地において実際に調査を行う範囲には、誤差があることが常態化していた。そのため調査区については、開始前に現地で確認を行いながら調査を進行した。調査開始後に繰り返し行われた現地協議への対応も通常の調査体制とは異なる事態で、調査員1名は調査に専念できない事態が常態化した。

また、調査開始後に生じた設計変更にも対応して調査を進めた。当初の計画に含まれていなかった部分については、10月5日に現地で確認を行い、必要な部分について調査を行った

支障物件への対応

調査に際しての主な支障物件に以下のものがあった。

- ・東北電力の電柱（F区）
- ・NTTの鉄柱（E区）
- ・ケーブルテレビの鉄柱（R区）

・仮設パイプライン（E・R区）

これらの物件は、調査開始前に移設・撤去が行われなかったため、これらの支障物件を抱えたまま調査は開始された。

そのため、E区、F区、R区については、はじめに物件を避けた形での調査となり、その後に移設・撤去された跡地について調査を行った。結果として本来1回で行える調査を2～4回に分けて行っており、不本意ながら非効率的な調査を進めざるをえなかった。

なお、東北電力の電柱の移設に際しては、紫波町教育委員会対応で試掘調査が行われている。

また、調査区の周辺の田区は麦が撒かれていたため、麦刈の時期（7月）まで現農道を維持して調査を行った。また、調査区域外への排土場の確保についても、許可を得たのは、調査開始9日後の4月16日で、17日以降に重機による表土掘削を開始した。このことも調査の進行が遅れた要因のひとつとなった。廃土の仮置きあたっては、すでに整備の終了している田区に仮置きするため、委託者の指示でシートを敷いた上に仮置きした。埋め戻しの際には、シートの回収も行ったが、9月以降の調査終了箇所については、調査終了後に円滑に工事着手するため、埋め戻し作業とシートの回収作業についても、ほ場整備の委託業者に引き継ぎを行った。

その他、調査区Q区の西側に隣接する、ほ場整備地外の田区では、田植に伴い、随時土側溝の用水・配水が機能していた。そのため調査区Q区は、9月下旬の稲刈り後に調査することとなった。

J R近接工事

J R近接工事の対象範囲については、J Rの許可をもらう手続きが必要であったが、調査開始前に手続きは進められていなかったため、調査開始後に手続きを進めることとなった。対象とされた区域は、新幹線西側の調査区G区3,079㎡である。

事務手続きに関しては、5月28日にJ Rで打ち合わせを行った。その後、事業と調査を1本化して事務手続きが進められ、8月28日には「工事施工に伴う覚書」を締結した。

現場においては、8月20日にJ近接工事の資格業者である仙建工業株式会社と作業内容の打ち合わせを行った後、9月1日に施工計画を提出し、9月4日にJ Rで具体的な打ち合わせを行い、9月1日～10月30日までの「近接工事協議済証」（盛土技設21第83号）を得た。現場では、資格業者の仙建工業株式会社に委託し、重機による掘削及び排土の運搬作業を9月7日～10月7日の間行った。

実際の調査では、掘削作業を南側から北側に順次行う予定であったが、調査開始後に調査区途中（G4区）にあるJ R高架からの昇降口に隣接する範囲の設計変更箇所が出たため、当初の予定を変更して、南側（G5・6区）→北側（G1・2区）→南側（G3・4区）と場所を反転しての非効率的な調査を行った。G区の調査は、遺構密度が高かったため、当初予定の10月30日までに終了できず、11月13日まで期間を延長して行った。

事前の調査条件の整備と調査への影響

以上のような諸々の調査条件の制約のもとに調査は進行した。結果的に調査着手が遅れ、9月以降に開始となったG・Q区が、他の区域と比べて遺構密度が高く、出土遺物量も多かった。本来であれば、もっとも時間を掛けて慎重に調査すべき区域であったが、予定期間7か月中約1か月半しか期間を割けなかったことが悔やまれる。そのため調査精度は他区より劣っており、残念な結果になった。

今回の調査は、事前の調査条件の整備が、いかに調査精度に影響を与えるか。また条件が整わない状況のなかで、とりあえずできるところから、と安易に調査着手することが、いかに非効率的な調査に直結するか、痛感させられた調査であった。

安易な調査着手は、担当調査員の負担が大きく、非効率的な精度の低い調査を行わざるをえない場

合が多い。事前の条件整備を確実に行うことが、経費節減も含めた円滑な調査を進めるための必須条件となることは自明のことである。今後の教訓としたい。

2 室内整理

(1) 室内整理の方法

a 遺構に関わる記録

電子平板で測量したデータについては、現場で入手した情報をそのまま保存することとし、手実測で記録したその他の実測図を読み込んでデジタル化して、点検・合成、図版作成を行った。

デジタル写真は、撮影したすべての写真データを保存対象として整理・収納した。撮影されたフィルムはネガアルバムに密着写真と一組にして収納した。

b 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、細片は別として、出土地点・層位等を登録した遺物Noを破片に注記した。その後、出土地点・層位ごとに仕分けを行い、遺構ごと、遺構外出土の遺物はグリッドごとに接合・復元作業を行った。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮小して図化した。石材・炭化材・炭化種実・放射性炭素年代測定の実測図は外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影はセンター内の専門技師1名が行った。

c 遺物の選別・図化の基準

遺物の整理・報告にあたっての作業・記録作成は以下の方針で進めた。報告書に掲載された遺物は出土した遺物のすべてではなく、整理のなかで設定した基準を基に選別した一部の資料である。以下に選別基準を明示する。今回は、限られた整理期間のなかで、できるかぎり情報を提供しようと努めたが、担当者の力量不足により、不十分に終わった部分がある。掲載にあたっては、時代別・遺物の種類別に掲載し、別に出土地点ごとの集成図も作成し、掲載した。

土器類（縄文土器・土師器・須恵器・かわらけ）

はじめに出土地点別に重量計測を行った。土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合した土器については、原則としては計測値（器高・口径・底径）1箇所以上計測可能なもの（器形が把握できるもの）を立体土器として登録し、図化した。破片資料は、優先的に口縁部破片や底部破片を選別したが、一部胴部破片も選んでいる。かわらけは、原則1/2以上残存するか、図化により計測値が復元可能なものについて掲載することとし、一部の遺構内資料については、残存率が不良なものについても掲載している。掲載にあたっては、縄文土器・土師器・かわらけと種類別に分けて掲載した。

陶磁器類（12世紀、中世、近世、近代）

陶磁器は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、選別した資料について図・写真を掲載した。12世紀の陶磁器類については、国産陶器（常滑・渥美・水沼・須恵器系）・中国産磁器（白磁・青磁・青白磁・陶器）に分類した。すべてについて観察表を掲載し、一部について図・写真を掲載した。陶磁器類の分類については、平泉町の八重樫忠郎氏にご指導いただいた。近世・近代の陶磁器については、陶器・磁器に大別して、出土地点別に掲載した。遺構（屋敷地）の存続年代に係わることから、近代の陶磁器類についても可能なかぎり掲載したが、整理期間の制約などから、出土したすべての資料内容を提示することができなかった。

土製品

土製品は、出土したすべてを対象として、仕分け・登録作業・計測・分類を行い、一部について、

観察表・写真を掲載した。

石器・石製品

石器は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、さらに一部資料について図化を行い、写真・観察表を掲載した。石製品は、出土したすべてを対象として、仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。

金属製品

金属製品には、鉄製品・銭貨がある。鉄製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。

ガラス製品

ガラス製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、一部について観察表・図・写真を掲載した。

木製品

木製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、遺存状態や器種の同定が可能なものを優先して選別したものについて、観察表・図・写真を掲載した。なお、掲載のみならず、不掲載の遺物についても報告に必要と判断したものについては、専門家による樹種同定を行い、分析結果を掲載した。一部の近世の遺物を除いて、掲載遺物は保存処理を施した。

動物遺体

すべてを対象として、個々に仕分け・登録・計測・分類作業を行い、全点について観察表を作成し、一部について写真掲載とした。動物遺体については佐々木務氏に同定していただいた。

植物遺体

種実・炭化材とも、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行った。植物遺体（種子・炭化したものも含む）については、観察表と写真を掲載した。また代表的な遺物は、外部の専門機関に分析同定を依頼した。炭化材は観察表のみの掲載とし、樹種名を掲載するに留めた。なお、遺構内出土の一部の資料について、専門家による樹種同定と放射性炭素年代測定を行い、分析結果を掲載した。

d 報告書の編集

報告書の原稿は、I 遺跡（H区を除く）の遺構分を川又、II 遺跡のS I 103 竪穴住居跡を八重畑、それ以外を阿部が執筆した。図版は、II 遺跡の遺構分を八重畑、それ以外の遺構は川又、遺物は阿部が編集した。写真図版は川又が編集した。全体の編集は阿部・川又が行った。

(2) 室内整理の経過

室内整理の期間は、平成21年11月1日～平成22年3月31日で、延べ日数は97日である。整理に従事した作業員は4名である。野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は室内整理の段階で整理方針に基づいて処理し、整理を行い、報告書作成とともに資料化を図った。

なお、整理途中の中間報告であったが、以下に示した機会において調査成果の概要報告を行った。

12月5日（土）平泉フォーラム

2月13日（土）岩手県埋蔵文化財センター主催の遺跡報告会

2月19日（金）平泉遺跡群調査整備指導委員会

3月4日（木）紫波郷土史同好会

第1表 周辺の遺跡一覧表

No	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	所在地	調査経歴など
1	LE66-1370	桜町上野沢	散布地	縄文・平安	桜町字上野沢	
2	LE66-1368	桜町下野沢	散布地	平安	桜町字下野沢、紫波中央駅前二丁目	
3	LE67-1072	日詰下野沢	散布地		日詰字下野沢	
4	LE67-2006	西裏	散布地	古代	日詰字牡丹野	
5	LE66-2376	北日詰牡丹野	散布地	縄文	北日詰字牡丹野	
6	LE66-2337	平沢松田	散布地	古代	平沢字松田、字長尾沢	
7	LE67-2002	桜町中桜Ⅰ	散布地	縄文・古代	桜町字中桜	
8	LE67-2013	日詰牡丹野	散布地	古代	桜町字中桜	
9	LE67-2033	平沢松田Ⅲ	散布地	古代	桜町字中桜	
10	LE67-2034	田頭	散布地		桜町字田頭	S 49 (県教委第35集)
11	LE67-2064	桜町田頭	散布地	古代	桜町字高木	
12	LE67-2158	星山館	城館跡	中世	星山字間野村	
13	LE67-2279	花立	散布地		大巻字花立	
14	LE77-0310	大巻館跡	城館跡	中世	大巻館字花立、字館山	紫波町指定史跡 (S50指定)
15	LE76-0362	北日詰外谷地Ⅵ	散布地	古代	北日詰字外谷地	
16	LE76-0323	北日詰外谷地	散布地	古代	北日詰字外谷地、平沢字の場	
17	LE76-0345	北日詰外谷地Ⅰ	散布地	縄文・古代	北日詰字外谷地	
18	LE76-0347	北日詰外谷地Ⅱ	散布地	縄文・古代	北日詰字外谷地	
19	LE76-0377	北日詰外谷地Ⅲ	散布地		北日詰字外谷地	
20	LE76-0378	北日詰外谷地Ⅳ	散布地		北日詰字外谷地	
21	LE76-0389	北日詰外谷地Ⅴ	散布地	古代	北日詰字外谷地	
22	LE77-0091	北日詰八卦	散布地	古代	北日詰字八卦	
23	LE77-0014	北日詰下藪	散布地	土師器	北日詰字下藪	
24	LE77-0077	北日詰東ノ坊Ⅰ	散布地	古代～中世	北日詰字東ノ坊	
25	LE77-0078	北日詰東ノ坊Ⅲ	散布地	古代～中世	北日詰字東ノ坊	
26	LE77-0069	北日詰東ノ坊Ⅱ	散布地	古代	北日詰東ノ坊、下東ノ坊	
27	LE77-0087	比爪館	城館跡	10・12C	南日詰字箱清水	S 40・44・47・49・57・60・62～H12 (紫波町) H03 (岩文振第155集) 紫波町指定史跡 (S50指定)
28	LE77-1007	五郎沼	散布地	縄文	南日詰字箱清水	
29	LE77-0131	大日堂	集落跡・城館跡		北日詰字大日堂、字白旗、字城内、字東ノ坊	S50 (県教委第35集)
30	LE77-0144	北日詰城内Ⅱ	集落跡	縄文	北日詰字城内	S50
31	LE77-0164	北条館	城館跡	中世	北日詰字城内	
32	LE77-0184	北日詰下東ノ坊	散布地	古代	北日詰下東ノ坊、字城内	
33	LE77-0194	北日詰城内Ⅰ	散布地	古代	北日詰字城内	
34	LE77-1104	南日詰大銀Ⅱ	散布地	古代	南日詰字小路口	
35	LE77-1101	南日詰大銀Ⅰ	散布地	古代	南日詰字大銀、字小路口	S50 (県教委第35集)
36	LE77-1123	南日詰小路口Ⅰ	散布地	古代	南日詰字小路口	
37	LE77-1131	南日詰小路口Ⅱ	散布地	古代	南日詰字小路口	
38	LE77-1142	南日詰小路口Ⅲ	散布地	古代	南日詰字宮崎	
39	LE77-1049	南日詰宮崎	散布地	古代	南日詰字宮崎	
40	LE77-0234	梅ノ木館 (八竜)	城館跡	中世	大巻字梅ノ木	
41	LE77-1205	大巻長沢尻Ⅱ	散布地	縄文	大巻字門田、字梅ノ木	
42	LE77-1207	大巻門田	散布地	古代	大巻字門田	
43	LE77-1225	大巻長沢尻	散布地	縄文・古代	大巻字長沢尻、字門田、字白旗	
44	LE77-1234	赤川館	城館跡	中～近世	大巻字長沢尻、字下川原	
45	LE77-1279	彦部久保	散布地	古代	彦部字久保	
46	LE76-1364	南日詰梅田	散布地	古代	南日詰字梅田	
47	LE76-1365	南日詰梅田Ⅱ	散布地	古代	南日詰字川原	
48	LE76-1355	南日詰長根Ⅱ	散布地	縄文・古代	南日詰字長根	
49	LE76-1357	南日詰川原	散布地	古代	南日詰字川原	
50	LE76-1379	南日詰京田Ⅰ	散布地	縄文・古代	南日詰字京田	
51	LE77-1061	南日詰京田Ⅱ	散布地	古代	南日詰字京田	
52	LE77-1054	南日詰藤沼Ⅰ	散布地	古代	南日詰字藤沼	
53	LE77-1063	南日詰藤沼Ⅱ	散布地	古代	南日詰字藤沼	
54	LE77-1037	伝蛇塚	散布地		南日詰字藤沼	
55	LE77-1068	南日詰田中Ⅰ	散布地	古代	南日詰字田中	
56	LE77-1161	南日詰田中Ⅱ	散布地	古代	南日詰字甘木	
57	LE77-1086	南日詰	散布地	縄文・古代	南日詰字藤沼、京田、滝名川、田中	S 62・S 63・H01 (岩文振第136集) H16 (岩文振第463集)
58	LE77-2016	伝善知鳥館 (善知鳥館)	城館跡	縄文・古代	南日詰字滝名川	S 38・S 63・H05 (紫波町) 紫波町指定史跡 (S50指定)
59	LE77-1091	南日詰京田Ⅲ	散布地	古代	南日詰字京田	
60	LE77-2038	南日詰滝名川Ⅴ	散布地	縄文	南日詰字滝名川、字甘木	
61	LE77-2036	南日詰滝名川Ⅰ	散布地		南日詰字滝名川	
62	LE77-2116	南日詰八坂	散布地	古代	南日詰字八坂	H17 (岩文振第524集)
63	LE77-2159	下川原Ⅰ	散布地	古代	南日詰字下川原、字八坂	H18 (岩文振第564集)
64	LE77-2198	下川原Ⅱ	集落跡	古代	南日詰字下川原、字上川原	H03 (岩文振第192集) H18 (岩文振第564集)
65	LE77-2196	西田東	集落跡	古代 (平安)	大測字西田	
66	LE77-2144	西田北	集落跡	縄文	大測字西田	
67	LE77-2174	西田	集落跡・城館跡	縄文・古代・中世	大測字西田	S50～52 (県教委第51集)・H01 (紫波町)
68	LE77-2048	大測新田堰	散布地	縄文・古代	大測字新田堰、字西田	
69	LE77-2057	南日詰滝名川Ⅳ	散布地		南日詰字滝名川	
70	LE77-2056	南日詰滝名川Ⅲ	散布地		大測字新田堰	
71	LE77-2075	大測谷地田	散布地	古代	大測字谷地田、字新田堰	
72	LE76-2369	片寄越田	散布地	縄文・古代	片寄字越田	
73	LE87-0014	大測谷地田南	散布地		大測字谷地田	
74	LE87-0111	下越田Ⅰ	散布地		大測字下越田	
75	LE87-0029	南谷地	散布地		大測字南谷地	
76	LE87-0121	下越田Ⅱ	散布地		大測字下越田	
77	LE87-0126	下越田Ⅲ	集落跡	古代	大測字下越田	
78	LE87-1106	野上	散布地	縄文	彦部字野上	S 49調査 (県教委第35集)
79	LE87-0238	寺沢	散布地	縄文・奈良	彦部字寺沢	
80	LE87-0229	小深田	散布地	古代	彦部字石ヶ森	
81	LE87-0301	是信房墓所	散布地		彦部字川久保	紫波町指定史跡 (H01指定)

第2表 遺構一覽表
南日詰小路口Ⅰ遺跡

遺構名	性 格	備 考	区域
SB01	柱列跡		H3
SB02	柱列跡		H3
SB03	柱列跡		H3
SB04	掘立柱建物跡		H3
SB05	柱列跡		H3
SB06	掘立柱建物跡		H3
SB07	柱列跡		H3
SB08	柱列跡		H3
SB09	掘立柱建物跡		H3
SB10	掘立柱建物跡		I
SB11	掘立柱建物跡		I
SB12	掘立柱建物跡		M
SK01	土坑		I
SK02	土坑		I
SK03	土坑		I
SK04	土坑		I
SK05	土坑		I
SK06	井戸跡		I
SK07	土坑		I
SK08	井戸跡		I
SK09	土坑		I
SK10	土坑		I
SK11	井戸跡		M
SK12	土坑		M
SK13	土坑		M
SK14	土坑		M
SK15	土坑		H1
SK16	土坑		H1
SK17	土坑		H1
SK18	土坑		N
SK19	土坑		N
SK20	土坑		N
SK21	土坑		H4
SK22	井戸跡		H4
SK23	井戸跡		H4
SK24	土坑		H4
SK25	土坑		L
SK26	井戸跡		Q2
SK27	井戸跡		Q2
SK28	土坑		Q2
SK29	土坑		Q2
SK30	土坑		H3
SK31	土坑		H3
SK32	土坑		H3
SK33	土坑		H3
SK34	土坑		H3
SK35	土坑		S
SK36	土坑		S
SK37	土坑		S
SK38	土坑		S
SK39	土坑		H3
SK40	陥し穴		Q2
SK41	土坑	IHS D29	R3
SD01	溝跡	IHS D02と統合	I
SD02	欠番	SD01へ統合	欠番
SD03	溝跡		I
SD04	溝跡		I
SD05	溝跡		I
SD06	溝跡		I
SD07	溝跡		I
SD08	溝跡		H1,M
SD09	溝跡		M
SD10	溝跡		M
SD11	溝跡		M
SD12	溝跡		M
SD13	溝跡		H1
SD14	溝跡		H1
SD15	溝跡		H1
SD16	溝跡		H1
SD17	溝跡		H2
SD18	溝跡		H2
SD19	溝跡		N

遺構名	性 格	備 考	区域
SD20	溝跡		N
SD21	溝跡		N
SD22	溝跡		N
SD23	溝跡		H4
SD24	溝跡		H4
SD25	溝跡		H4
SD26	溝跡		H1
SD27	溝跡		L
SD28	溝跡		J
SD29	欠番	SK41へ変更	欠番
SD30	溝跡		R3
SD31	溝跡		R3
SD32	溝跡		R3
SD33	溝跡		R3
SD34	溝跡		Q1,Q2 S,K
SD35	溝跡		Q2
SD36	溝跡		Q2
SD37	溝跡		Q2
SD38	溝跡		H3
SD39	溝跡		H4
SD40	溝跡		H4
SD41	溝跡		H3
SD42	溝跡		S
SD43	溝跡		Q2
SD44	溝跡		H4
SD45	溝跡		Q2
SX01	道路状遺構		Q2

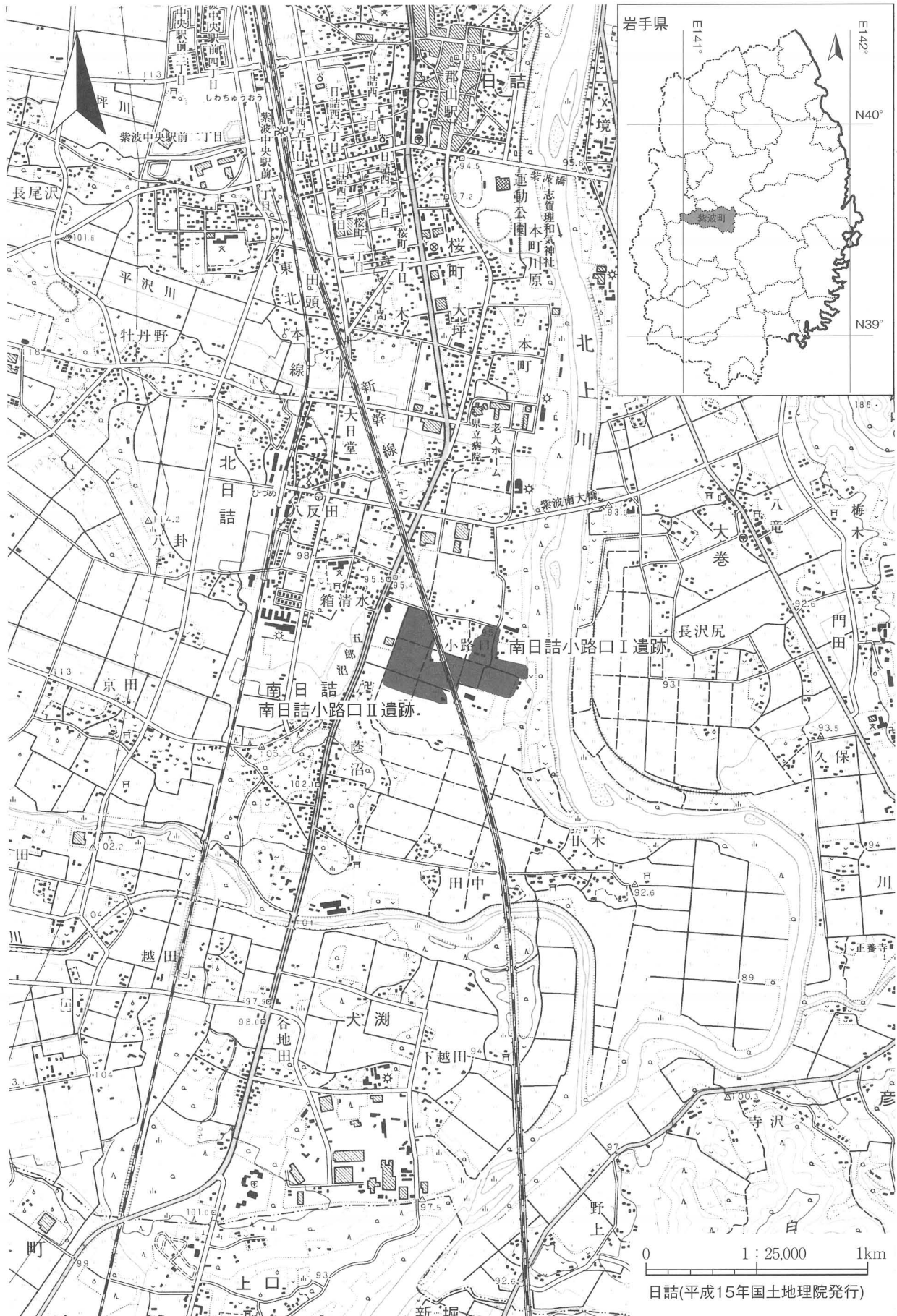
南日詰小路口Ⅱ遺跡

遺構名	性 格	備 考	区域
SI101	竪穴住居跡		C
SI102	竪穴住居跡		C
SI103	竪穴住居跡		G2
SB101	掘立柱建物跡		G3
SB102	掘立柱建物跡		G4
SB103	掘立柱建物跡		G4
SB104	掘立柱建物跡		G4
SB105	柱列跡		G4
SB106	掘立柱建物跡		G4
SB107	柱列跡		G4
SB108	柱列跡		G4
SB109	柱列跡		G4
SB110	掘立柱建物跡		G4
SB111	柱列跡		G4
SB112	掘立柱建物跡		G4
SB113	掘立柱建物跡		G6
SK101	土坑		D
SK102	土坑		D
SK103	土坑		A
SK104	土坑		C
SK105	井戸跡		C
SK106	井戸跡		E2
SK107	井戸跡		E2
SK108	井戸跡		E2
SK109	井戸跡		E3
SK110	井戸跡		F1
SK111	土坑		G5
SK112	土坑		G5
SK113	土坑		G5
SK114	土坑		G5
SK115	井戸跡		G2
SK116	井戸跡		G2
SK117	土坑		G3
SK118	土坑		G4
SK119	土坑		G4
SK120	土坑		G4
SK121	土坑		G4
SK122	土坑		G4
SK123	土坑		G4

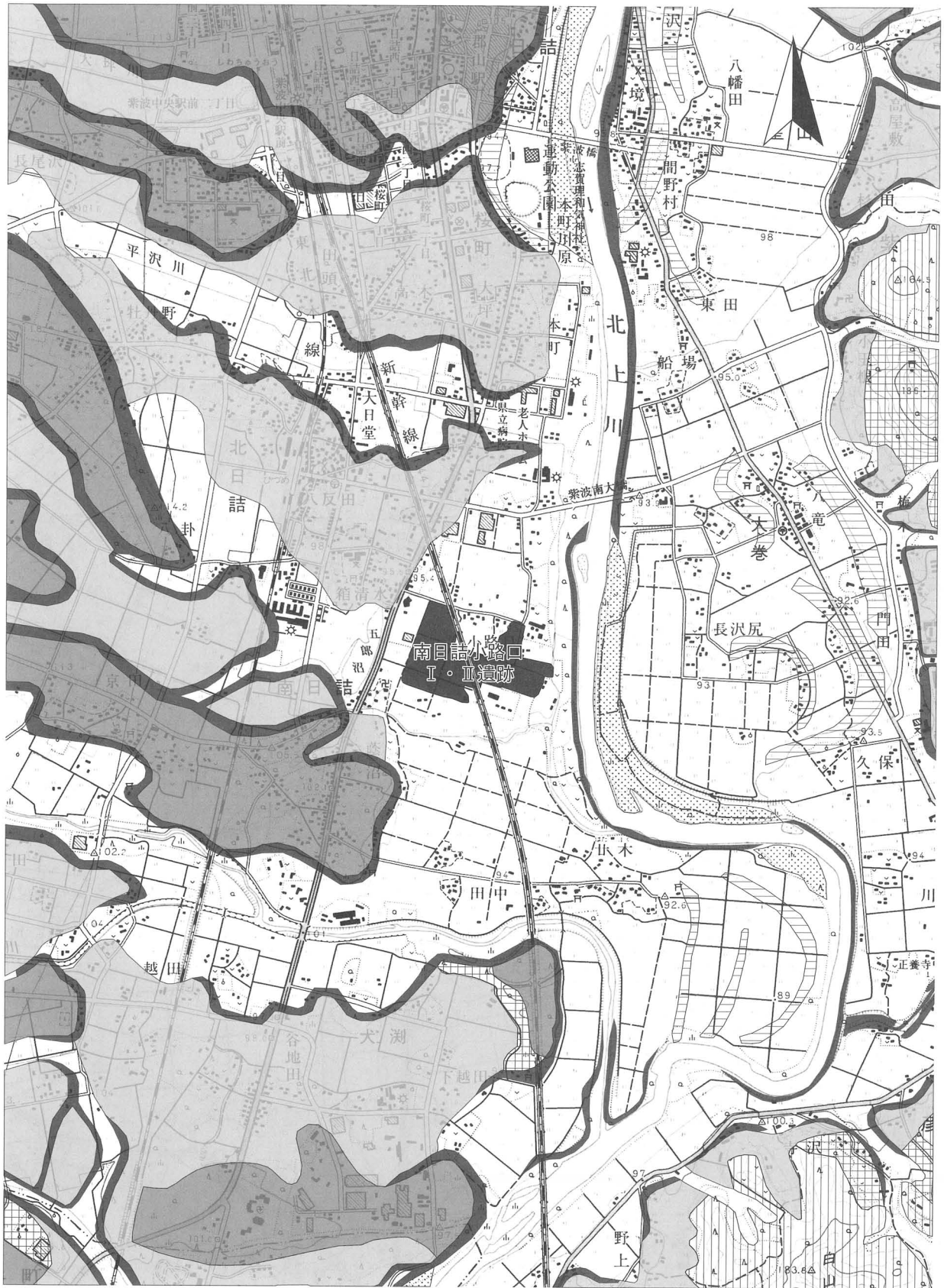
遺構名	性 格	備 考	区域
SK124	土坑		G4
SK125	土坑		G4
SK126	土坑		G4
SK127	土坑		G4
SK128	土坑		G4
SZ101	土器埋設遺構		G4
SD101	溝跡		B
SD102	溝跡		B
SD103	溝跡		D
SD104	溝跡		D
SD105	溝跡		D
SD106	溝跡		A
SD107	溝跡		D
SD108	溝跡		C
SD109	溝跡		C
SD110	溝跡		C,F3
SD111	溝跡		E1
SD112	溝跡		E1
SD113	溝跡		E1
SD114	溝跡		F1
SD115	溝跡		F2
SD116	溝跡		G6
SD117	溝跡		G5
SD118	溝跡		G5
SD119	溝跡		G5
SD120	溝跡		G2
SD121	溝跡		G2
SD122	溝跡		G3
SD123	溝跡		G3
SD124	溝跡		G4
SD125	溝跡		G4
SD126	溝跡		G4
SD127	溝跡		G4

基準点一覽表

杭 名	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)
基-101	-51891.786	28629.184	93.167
基-102	-51949.198	28959.751	92.896
基-103	-51972.815	28776.602	93.069
基-104	-52025.670	29177.245	92.602
区-01	-51844.000	28652.000	93.356
区-02	-51893.000	28798.000	93.385
区-03	-51974.000	28777.000	92.900
区-04	-51998.000	28847.000	92.745
区-05	-51996.000	28675.000	93.093
区-06	-52026.000	28763.000	92.963
区-07	-52057.000	28854.000	92.975
区-08	-52060.000	28950.000	92.414
区-09	-52070.000	28980.000	92.312
区-10	-52095.000	29055.000	92.045
区-11	-52104.000	29083.000	92.119
区-12	-51980.000	28945.000	92.317
区-13	-52039.000	29222.000	92.667
区-14	-52047.000	29196.000	92.455
区-15	-51851.000	28975.000	93.093
区-16	-51876.000	28967.000	93.183
区-17	-51976.000	29000.000	92.861
区-18	-51944.000	28906.000	93.125
区-19	-51923.000	28850.000	93.050
区-20	-52050.000	28897.000	92.973
区-21	-52087.000	28881.000	92.922
区-22	-51955.000	28832.000	93.686
区-23	-51820.000	28789.500	93.327
区-24	-51750.500	28767.000	93.334



第1図 遺跡の位置



- …崖
 …山地
 …丘陵地
 …砂礫段丘Ⅱ
 …砂礫段丘Ⅲ
 …平野
 …河原
 …旧河道

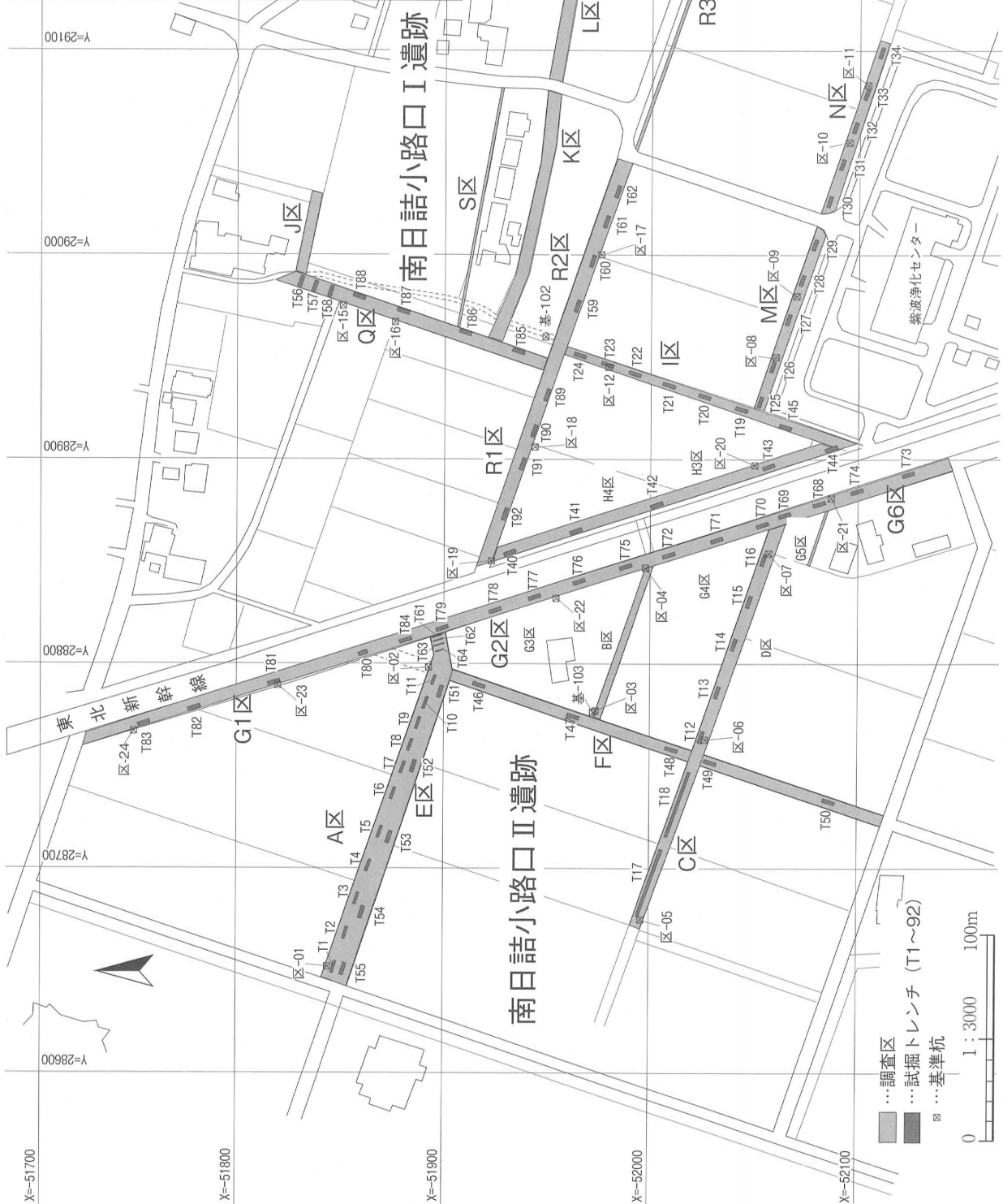
0 1 : 25,000 1km

日詰(平成15年国土地理院発行)

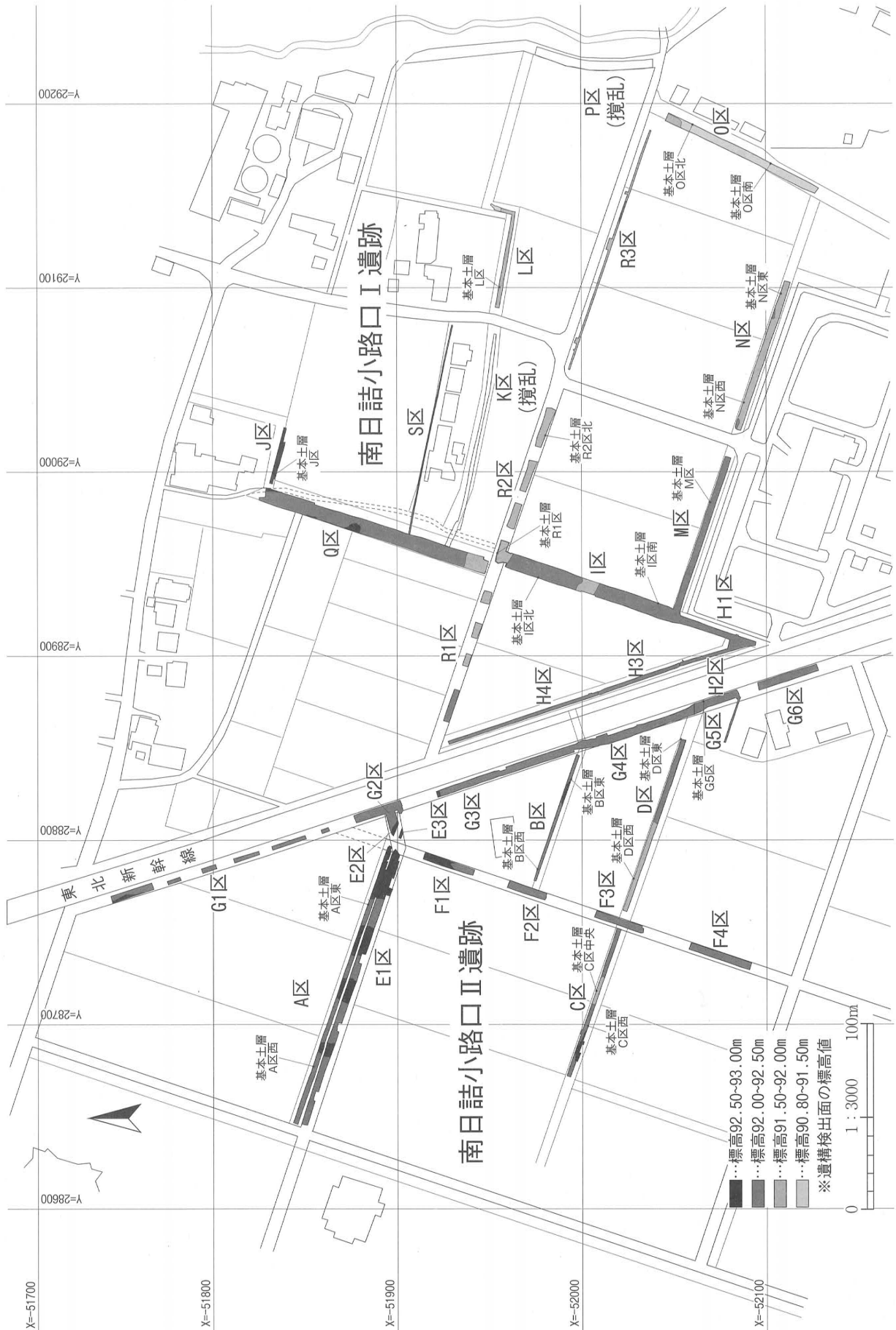
第2図 周辺の地形

基準点表

基-101	X=51891.786	Y=28629.184	H=93.167
基-102	X=51949.198	Y=28959.751	H=92.896
基-103	X=51972.815	Y=28776.602	H=93.069
基-104	X=52025.670	Y=29177.245	H=92.602
区-01	X=51844.000	Y=28652.000	H=93.356
区-02	X=51893.000	Y=28798.000	H=93.385
区-03	X=51974.000	Y=28777.000	H=92.900
区-04	X=51998.000	Y=28847.000	H=92.745
区-05	X=51996.000	Y=28675.000	H=93.083
区-06	X=52026.000	Y=28763.000	H=92.963
区-07	X=52057.000	Y=28684.000	H=92.975
区-08	X=52060.000	Y=28950.000	H=92.414
区-09	X=52070.000	Y=28980.000	H=92.312
区-10	X=52095.000	Y=29055.000	H=92.045
区-11	X=52104.000	Y=29083.000	H=92.119
区-12	X=51980.000	Y=28945.000	H=92.317
区-13	X=52039.000	Y=29222.000	H=92.657
区-14	X=52047.000	Y=29196.000	H=92.455
区-15	X=51851.000	Y=28975.000	H=93.083
区-16	X=51876.000	Y=28967.000	H=93.188
区-17	X=51976.000	Y=29000.000	H=92.861
区-18	X=51944.000	Y=28906.000	H=93.125
区-19	X=51923.000	Y=28850.000	H=93.050
区-20	X=52050.000	Y=28897.000	H=92.973
区-21	X=52087.000	Y=28881.000	H=92.922
区-22	X=51955.000	Y=28832.000	H=93.686
区-23	X=51820.000	Y=28789.500	H=93.327
区-24	X=51750.500	Y=28767.000	H=93.334

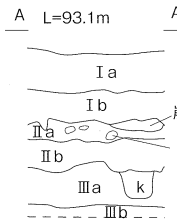


第4図 基準点・トレンチ位置図



第5図 検出面標高・基本土層位置図

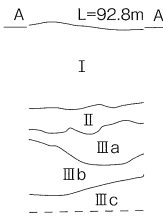
基本土層A区東



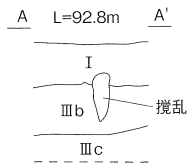
基本土層 A 区東

- Ia 10YR6/6 明黄褐色 粘土
亜角礫 (φ5~10cm) が混入。
ほ場整備時の盛土。
上位に厚さ 5 センチほどの現表土が堆積する。
- Ib 10YR5/2 灰黄褐色 シルト しまり密
旧水田の耕作土 (新しい)
- IIa 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- IIb 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
酸化鉄が筋状に不規則に入る。
- IIIa 10YR4/4 褐色 粘土 しまり密
上位に酸化鉄が不規則に入る。
- IIIb 10YR4/6 褐色 砂質粘土 しまり密
酸化鉄が筋状に不規則に入る。

基本土層B区西



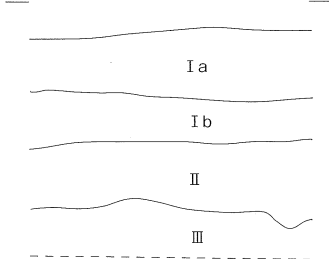
基本土層B区東



基本土層 B 区

- I 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎
水田土。表土。
- II 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- IIIa 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり密
土質II層に似る。
- IIIb 10YR5/6 黄褐色 シルト (やや砂質)
- IIIc 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト
粒子粗く、砂っぽい。

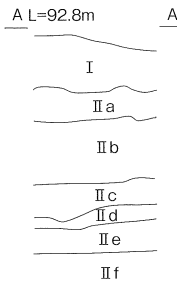
基本土層A区西



基本土層 A 区西

- Ia 10YR5/8 黄褐色 粘土 しまり密
礫 (φ1~5cm) を多量含む。盛土。
- Ib 10YR3/4 暗褐色 シルト しまり密
遺物包含層
- II 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
- III 10YR5/2 灰黄褐色 粘土 しまり密
酸化鉄が筋状に入る。地山のグライ化した層。

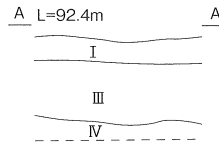
基本土層C区西



基本土層 C 区西

- I 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
グレー味あり。旧水田土? 東側のII層
- IIa 10YR4/6 褐色 砂質シルト しまりやや密
C区の検出面
- IIb 10YR4/6 褐色 砂 しまり中 砂層。
- IIc 10YR4/6 褐色 砂 しまりやや疎
IIb層より砂層粗く、しまり弱くなる。
- IId 10YR5/4 におい黄褐色 シルト (やや粘質)
SK105の壁ではこの層の下に礫含む。
- IIe 10YR4/6 褐色 IIc層に類似。
- II f 砂と礫の層。

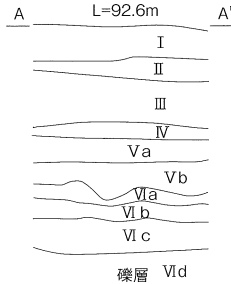
基本土層G5区



基本土層 G5 区

- I 表土。
- III 10YR4/4 褐色 砂
場所により、粘質土もある。
- IV 7.5YR4/6 褐色 砂礫層

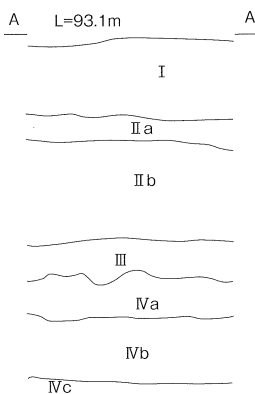
基本土層C区中央



基本土層 C 区中央

- I 造成盛土。黒色土に黄褐色粘質シルトブロックが斑状に入る。
- II 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 グレー味あり。旧水田土?
- III 10YR2/2 黒褐色 シルト II層との境界付近 (~10cm程度) に遺物を多く包含する。
白色粒子を全体に多く含む。下部にブロック状にたまる箇所あり。(To-aか?)
- IV 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密 III層よりやや明るく、グレー味あり。白色粒含まない。
- Va 10YR2/2 黒褐色 白色粒子なし。
- Vb 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密 Va層より明るく、グレー味強い。
IV層に似る。酸化鉄多く集積する。
- VIa 10YR5/2 灰黄褐色 粘土質シルト しまり密 グライ化。グレー味あり。
- VIb 10YR5/3 におい黄褐色 シルト (やや砂質) しまりやや密 グライ化。グレー味あり。
- VIc 10YR5/3 におい黄褐色 シルト しまりやや密 グライ化。グレー味あり。
- VId 10YR5/3 におい黄褐色 砂質シルト 礫含む。

基本土層D区西



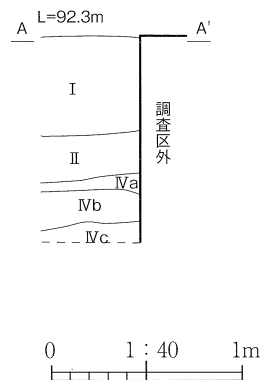
基本土層 D 区西

- I 盛土
- IIa 東側のII層と同じ
- IIb IIa層より黒味強い。白色粒子全体に入る。
- III 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト
- IVa 10YR2/3 黒褐色
B区と同じだが、グライ化して、グレー味がかかる。
- IVb 10YR3/3 暗褐色
B区と同じだが、グライ化して、グレー味がかかる。
- IVc B区と同じだが、グライ化して、グレー味がかかる。

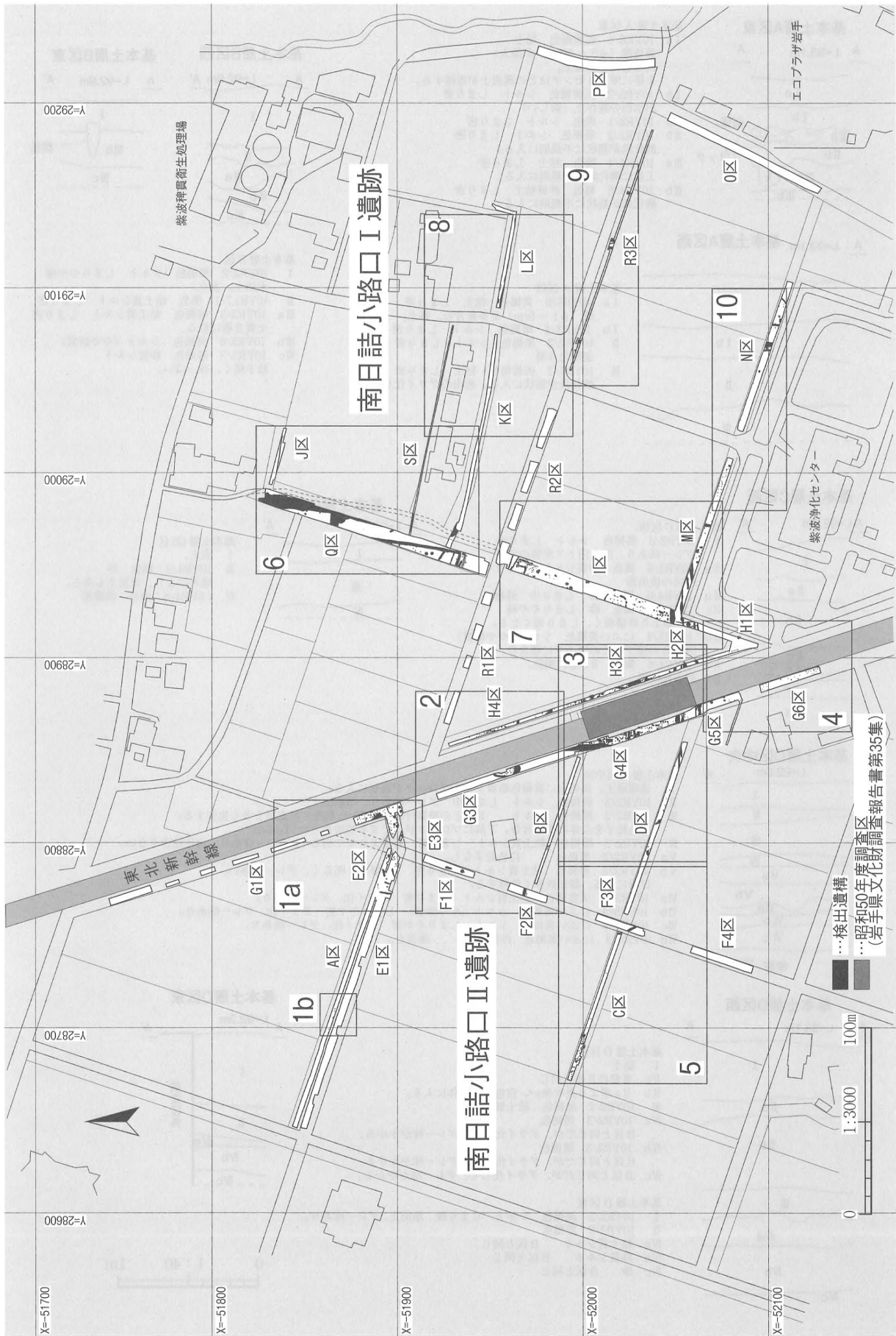
基本土層 D 区東

- I 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり疎 水田土。グレー味あり。
- II 10YR2/2 黒褐色
- IVa 粘土質シルト B区と同じ
- IVb 砂質シルト B区と同じ
- IVc 砂 B区と同じ

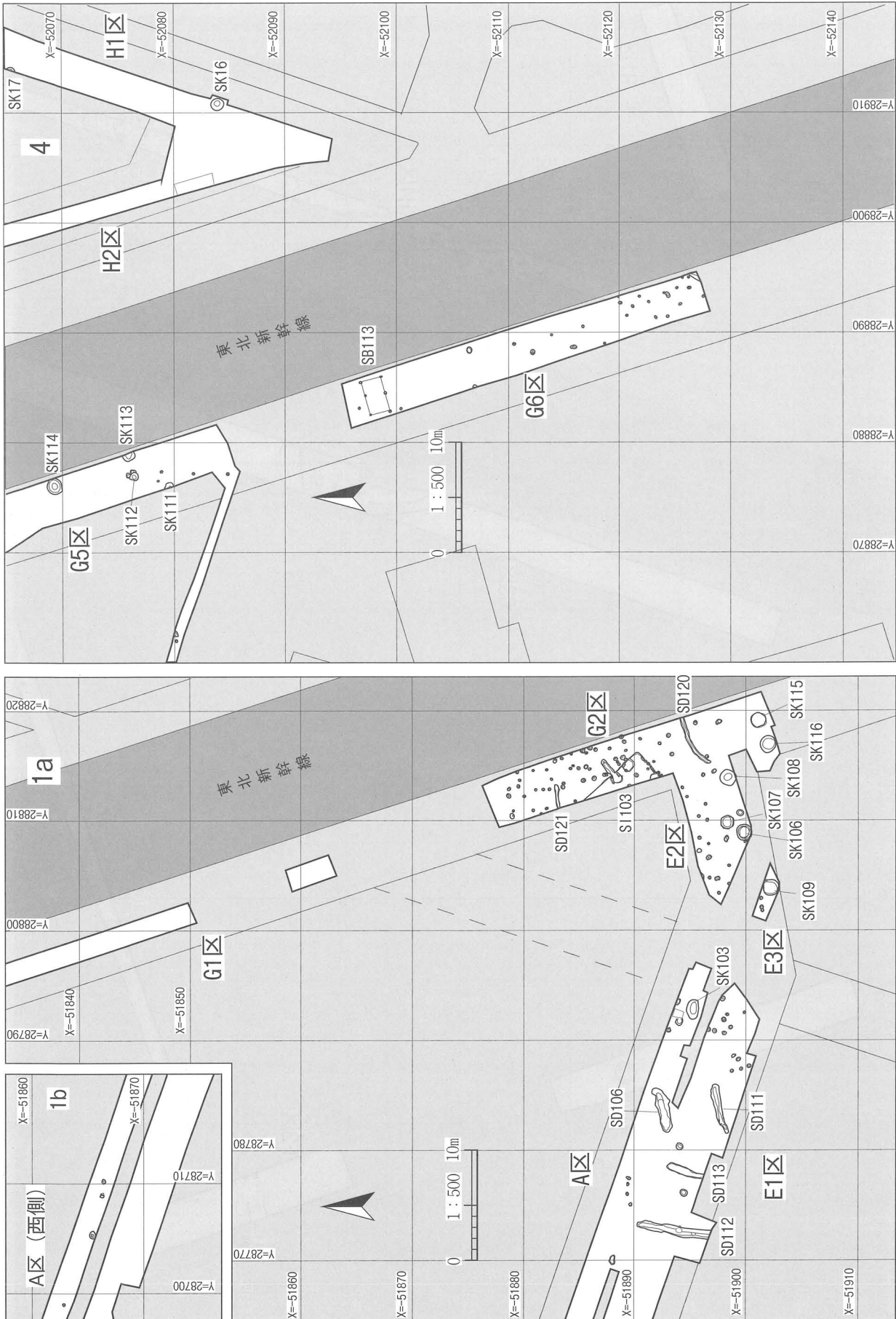
基本土層D区東



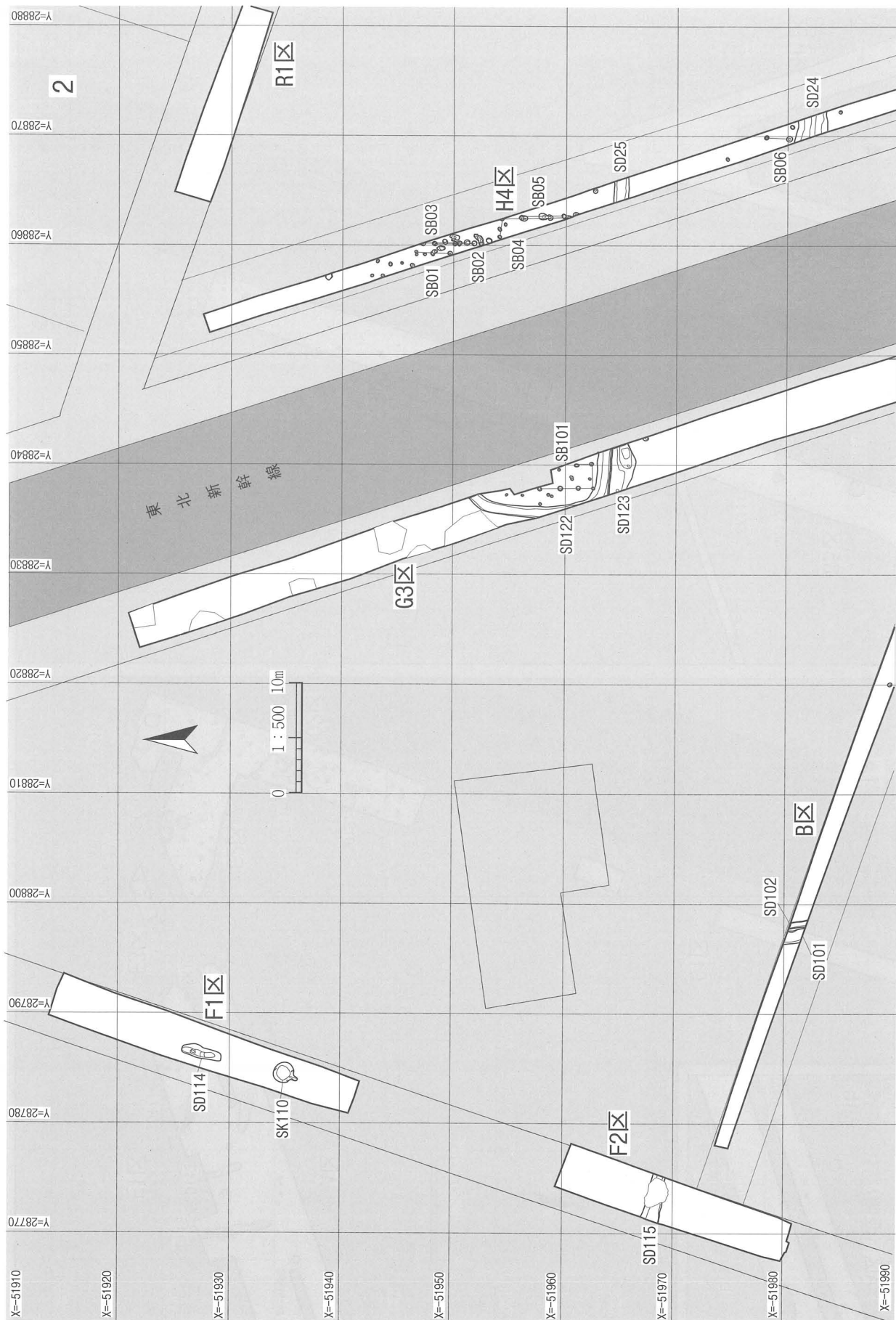
第7図 基本土層 (南日詰小路口II遺跡)



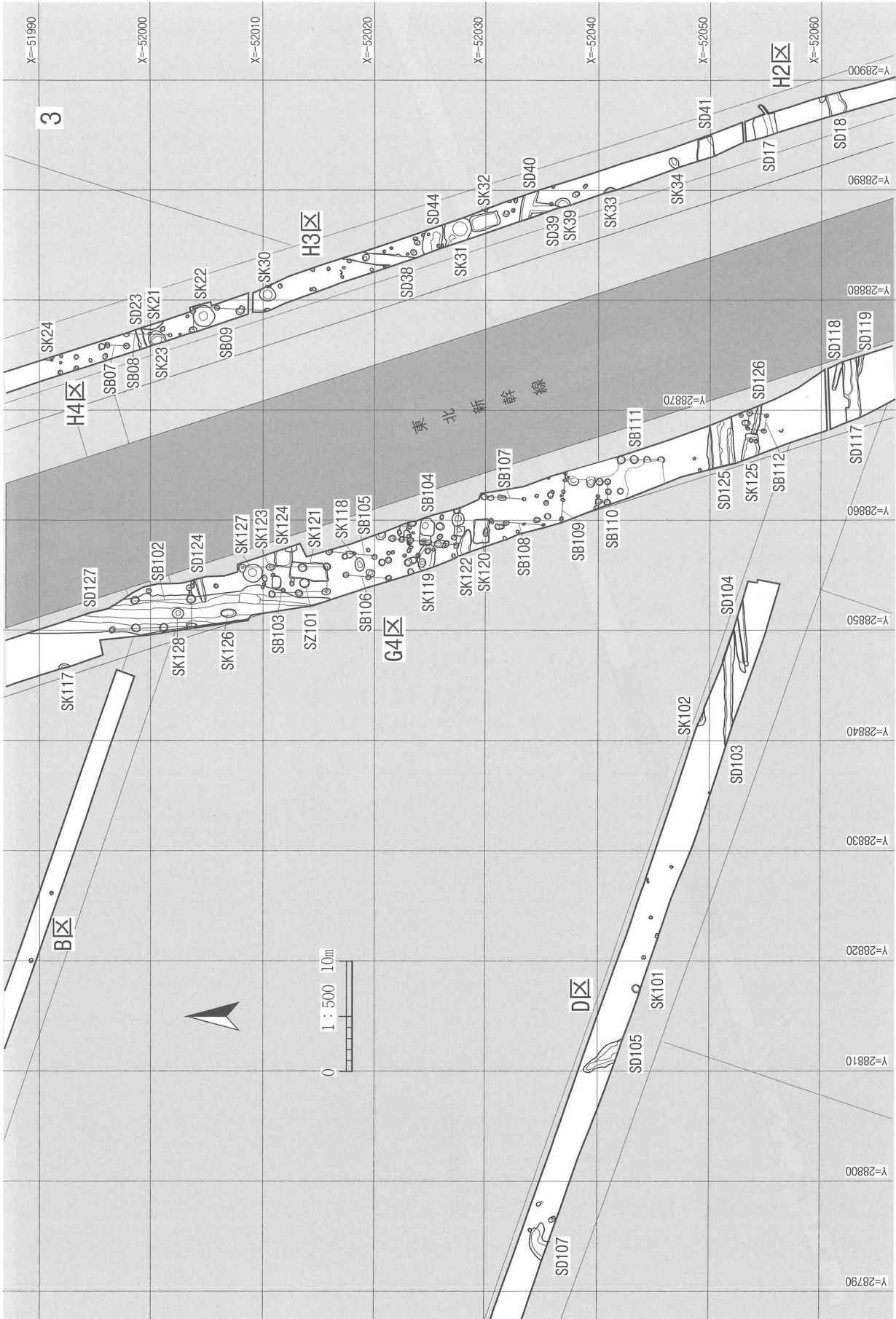
第8図 遺構配置全体図



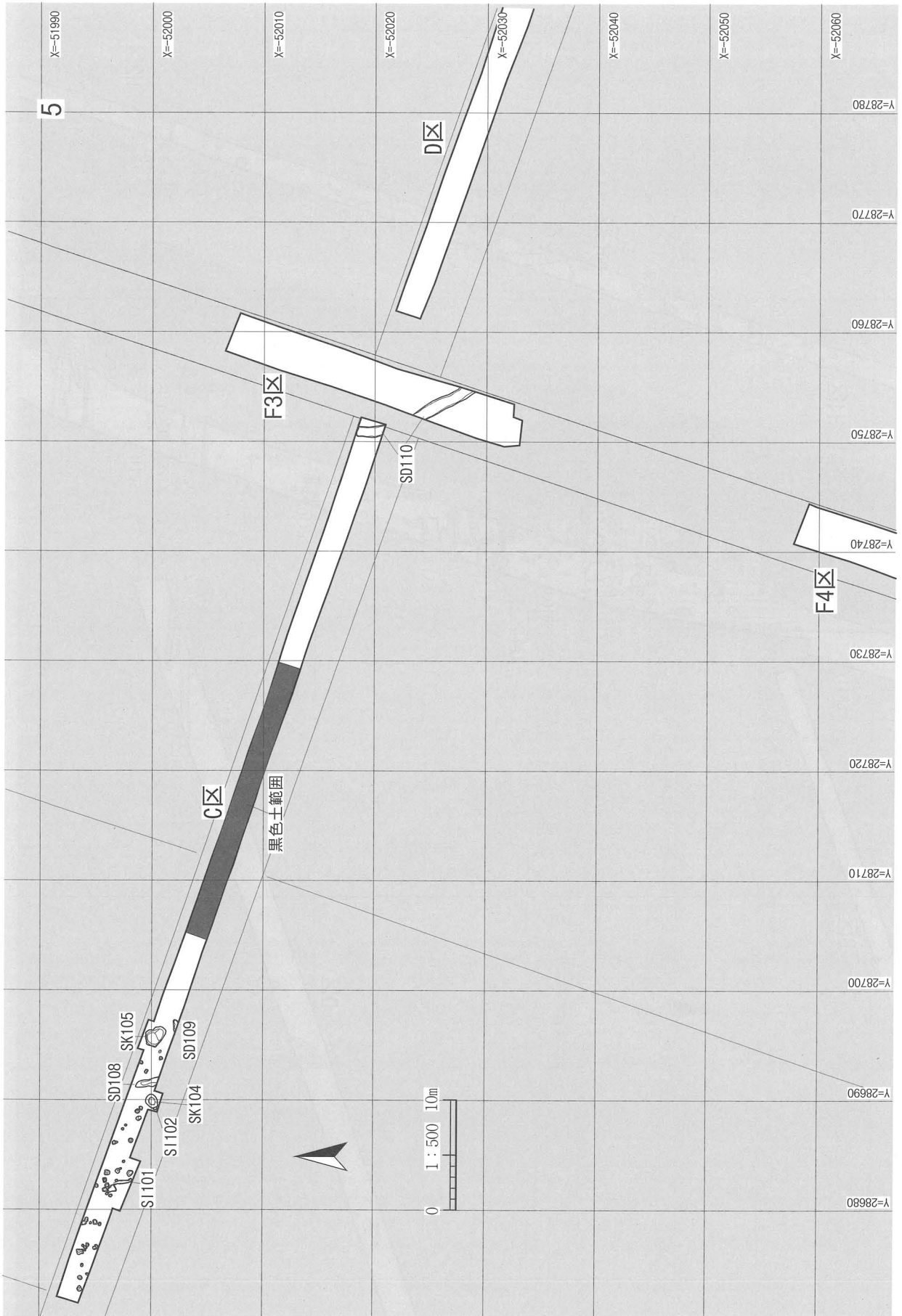
第9図 遺構配置図1・4



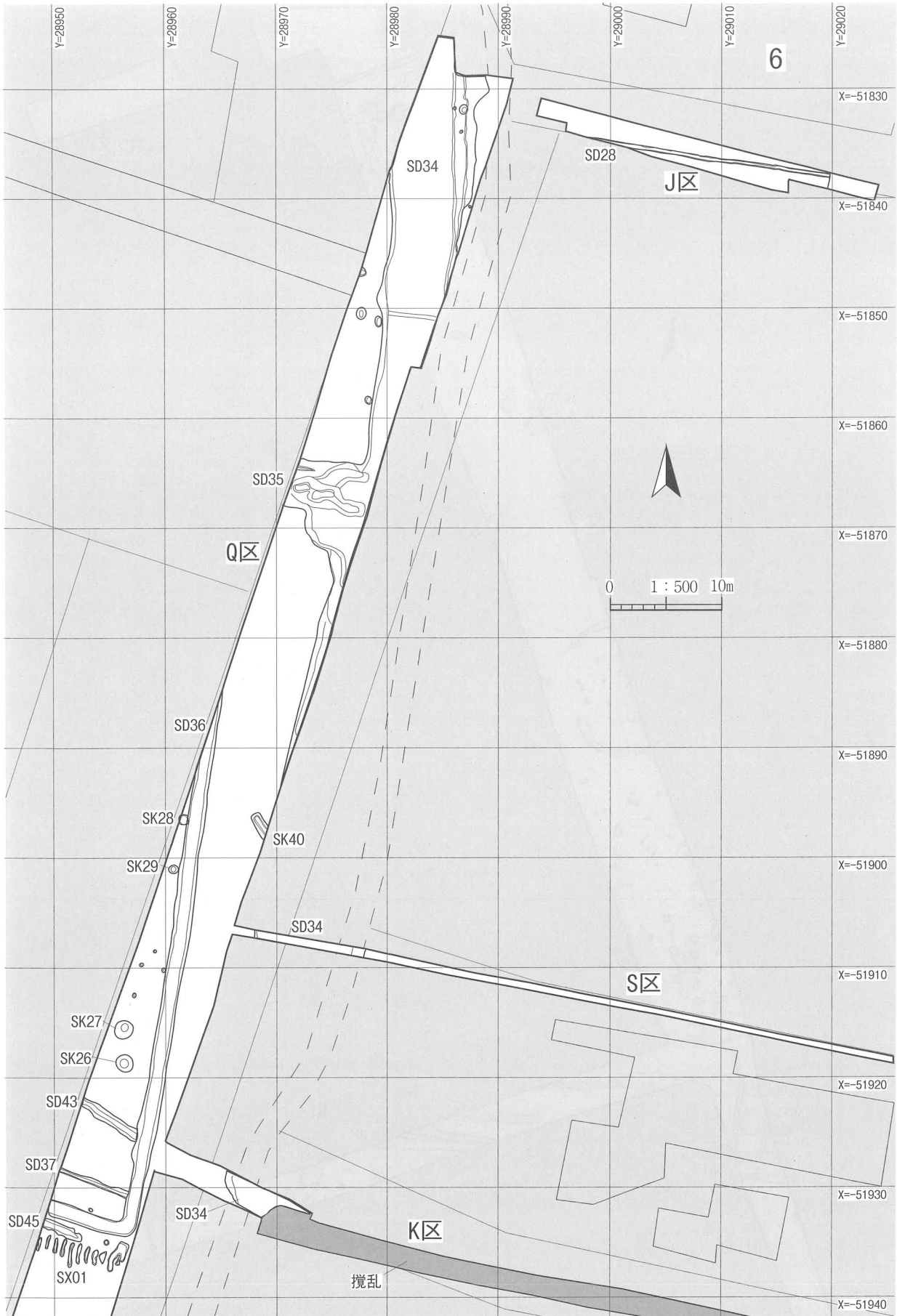
第10図 遺構配置図2



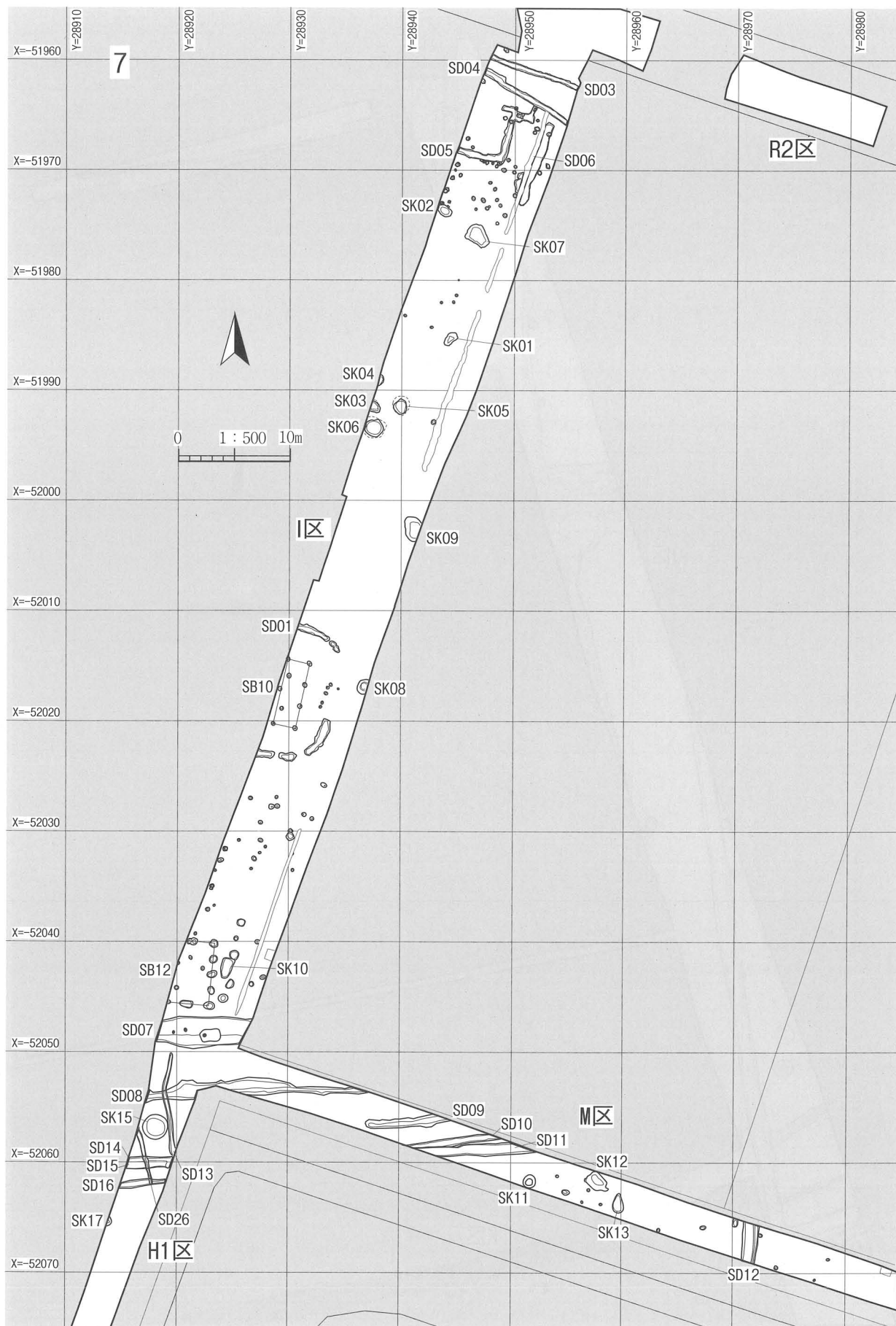
第 11 図 遺構配置図 3



第 12 図 遺構配置図 5



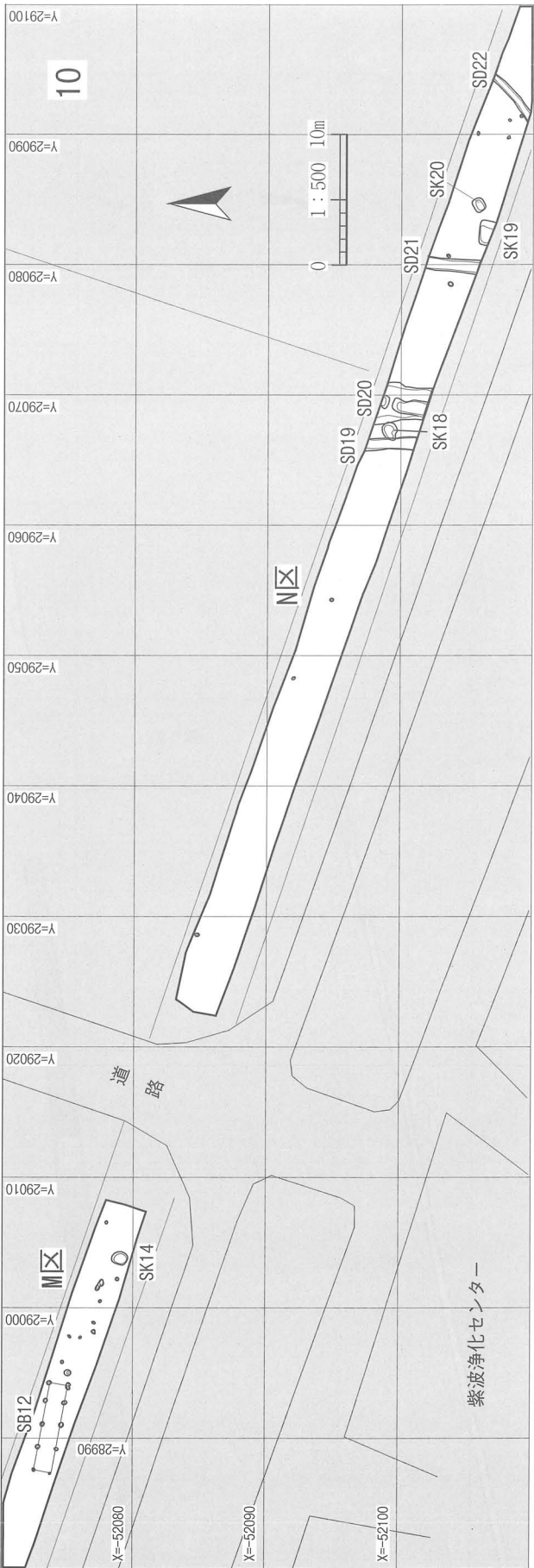
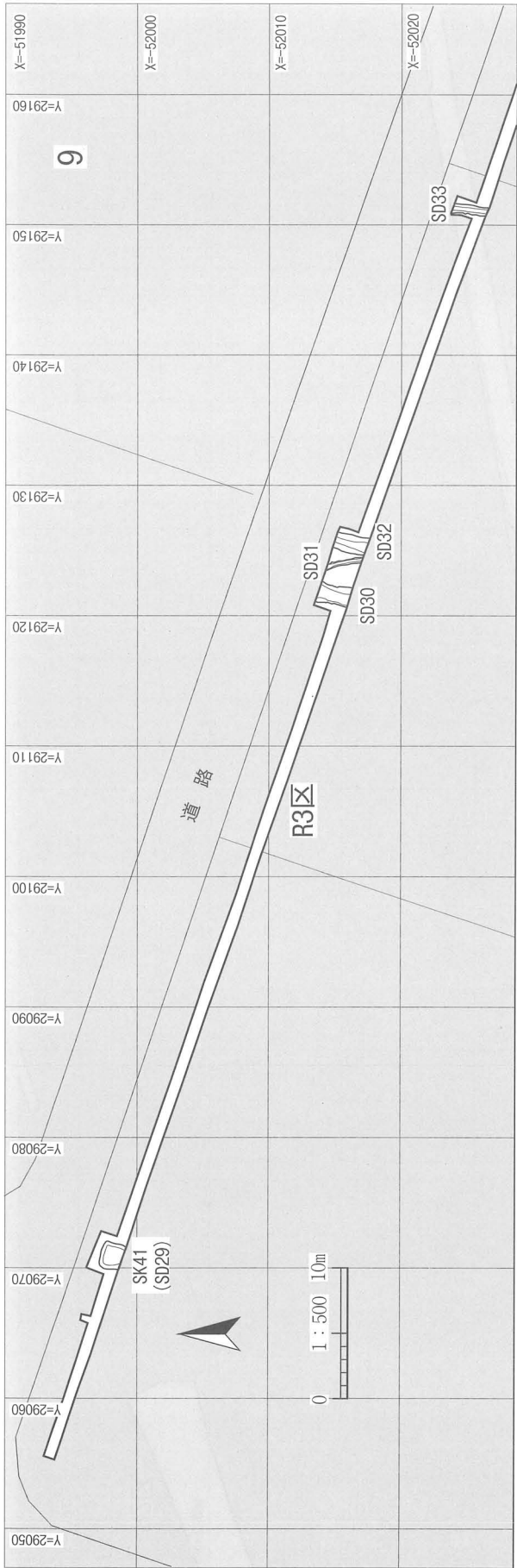
第13図 遺構配置図6



第 14 図 遺構配置図 7



第 15 区 遺構配置図 8



第 16 図 遺構配置図 9・10

IV 南日詰小路口 I 遺跡

1 検出遺構

(1) 検出遺構の概要

検出された遺構は、建物跡・柱列12棟、柱穴278個、土坑（井戸跡舎）41基、溝跡43条、道路状遺構1か所である。時代的には、12世紀のもの、近世・近代のもの、所属時期不明のものに大別される。記載にあたっては、遺構の種類ごとに記述することとする。

(2) 建物跡・柱列跡・柱穴群

柱穴群278個を確認した。そのなかから、建物跡あるいは柱列を構成するもの12棟について、建物跡・柱列跡として報告する。調査区の制約から、柱列としたものでも建物跡の一部の可能性があるので名称は一連の遺構名を付した。時期的には大きく12世紀のものと近世以降のものに大別される。

S B01柱列跡

遺構（第26図、写真図版15）

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は南西側の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 不明である。規模2.15m以上。3個の柱穴（P209・214・218）から構成される。P206との組合せで、建物跡を構成する可能性もある。

[建物方位] N - 4° - E。

[柱間寸法] 柱間1.50mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B02柱列跡

遺構（第26図、写真図版15）

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] S B03柱列跡と重複するが新旧関係は不明である。

[平面形式] 不明である。1間×2間以上の掘立柱建物である。規模（7.18）×（2.53）m以上。3個の柱穴（P202・205・212）から構成される。

[建物方位] N - 0° - E。

[柱間寸法] 柱間1.80mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 03柱列跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層南西の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] S B 02柱列跡と重複するが、新旧関係は不明である。

[平面形式] 不明である。規模(7.54)×2.32m以上。3個の柱穴(P202・210・216)から構成される。

[建物方位] N - 0° - E。

[柱間寸法] 柱間2.00mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 04掘立柱建物跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は南西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] S B 05柱列跡と重複する。柱穴の切り合いから、S B 04掘立柱建物跡が新しい。

[平面形式] 3×1間以上の掘立柱建物である。5.81×3.23m以上。5個以上の柱穴から構成される。南西側に展開する建物跡の一部である可能性がある。

[建物方位] N - 88° - W (梁)、N - 2° - E (桁)。

[柱間寸法] 1.80m (梁)、1.80～2.00m (桁) である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 05柱列跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は西側の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] S B 04掘立柱建物跡と重複する。柱穴の切り合いから、S B 05柱列跡が古い。

[平面形式] 3個(P189・191・193)の柱穴から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成している可能性がある。

[建物方位] N - 4° - W。

[柱間寸法] 1.80～2.00mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 06掘立柱建物跡

遺構 (第26図)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西南北の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 2個(P183・184)の柱穴から構成される柱列である。東西南北方向に延びて建物を構成する可能性がある。

[建物方位] N - 5° - E。

[柱間寸法] 柱間2.00mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 07柱列跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H 4 区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。東西の調査区域外に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 2個の柱穴 (P170・171) から構成される。東西方向に延びる建物跡の可能性がある。

[建物方位] N - 4° - E。

[柱間寸法] 柱間1.88m。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降の可能性がある。

S B 08柱列跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H 4 区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西の調査区域外に延びる。

[重複関係] 位置的にはS D 23溝跡・S K 23土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

[平面形式] 3個 (P166・168・169) の柱穴から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成する可能性がある。

[建物方位] N - 5° - E。

[柱間寸法] 柱間2.00mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降の可能性がある。

S B 09掘立柱建物跡

遺構 (第26図、写真図版15)

[位置・検出状況] H 3・4 区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] S K 22土坑と重複し、S K 22土坑に切られている。

[平面形式] 5個 (P161・162・164・231※検出のみ・284) の柱穴から構成される。1間×3間以上の建物跡で、西側に延びる可能性がある。

[建物方位] N - 85° - W (梁)、N - 5° - E (桁)。

[柱間寸法] 2.00～2.30m (梁・桁) である。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明だが、12世紀の可能性がある。

S B 10掘立柱建物跡

遺構 (第27図、写真図版16)

[位置・検出状況] I 区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

1 検出遺構

[平面形式] 3間×1間以上の掘立柱建物である。7個の柱穴（P7・8・9・10・18・115・116）で構成され、規模は、6.00×2.00mである。すぐ西側が調査区外であり、これより規模の大きい建物となる可能性もある。

[建物方位] N-13° - E。[柱間寸法] 2.00m。

[付属施設] 外側を巡るSD01溝跡のほぼ中央にSB10掘立柱建物跡が位置する。SD01がSB10の周溝として構築された可能性が高いと考えられる。

遺物 なし。

時期 不明。

SB11掘立柱建物跡

遺構（第27図、写真図版16）

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[平面形式] 4間×1間以上の掘立柱建物である。9個の柱穴（P97・98・102～106・112・113）で構成され、規模は、南北5.60m、東西3.70m以上である。西側部分は調査区外で不明である。

[建物方位] N-6° - E。

[柱間寸法] 南北方向は1.40m、東西方向は2.00mである。

遺物（第57・72図、写真図版51・62）

[かわらけ] P113でロクロかわらけ大（101）が出土した。この他にも、P105で7.0g、P106で0.9gのかわらけが出土している（不掲載）。

[金属製品] P112では、寛永通寶（612）が埋土上位で出土している。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SB12掘立柱建物跡

遺構（第27図、写真図版16）

[位置・検出状況] M区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[平面形式] 4間×1間の掘立柱建物である。10個の柱穴（P127・128・129・130・131・135・134・133・132・149）で構成され、規模は、6.72×1.44mである。

[建物方位] N-80° - E。

[柱間寸法] 東西方向は1.68m、南北方向は1.44mである。

遺物 なし。

時期 不明。

（3）土坑・井戸跡

用途不明のものを含む穴を一括した。41基ある。このなかには、井戸跡7基も含まれている。時期は、12世紀、近世から近代以降、時期不明のもの、に大別される。

SK01土坑

遺構（第28図、写真図版18）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-42°-Eである。規模は、開口部径1.43×0.84m、底部径0.70×0.42m、深さ0.42mである。

[埋土・堆積状況] 1～3層に分層した。1・2層は黒色シルト、3層は黒褐色粘土質シルトである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ7.1g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SK02土坑

遺構（第28図、写真図版18）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-47°-Wである。規模は、開口部径1.33×0.86m、底部径0.81×0.57m、深さ0.36mである。

[埋土・堆積状況] 1～4層に分層した。1層は黒褐色シルト、2・3層は黒色シルト、4層は褐色粘土である。1～4層とも砂や粘土のブロックが多く混入する。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

SK03土坑

遺構（第28図、写真図版18）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。精査した部分から、開口部の平面形は楕円形、長軸方向は北西-南東方向に近いと推定される。短軸方向は、開口部径0.96m、底部径0.78mで、深さは0.90mである。

[埋土・堆積状況] 1～4層に分層した。1・2層は黒色シルト、3・4層は黒色粘土質シルトである。4層以外、特に1層は砂のブロックが多く混入する。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近ではやや外傾し、底部付近では開口部よりも外側へ張り出す。底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ24.4g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SK04土坑

遺構（第28図、写真図版18）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。精査した部分から、開口部の平面形は円形に近いと推定される。

[埋土・堆積状況] 1～4層に分層した。1～3層は黒褐色シルト、4層は黒色シルトである。砂や

1 検出遺構

粘土のブロック、礫などが少量ずつ混入する。

[壁・壁面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ9.0g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 05土坑

遺構 (第28図、写真図版19)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-1°-Wである。規模は、開口部径1.41×1.08m、底部径1.15×0.90m、深さ0.91mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色シルトの単層である。径5～20cmの礫を大量に含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では直立し、底部付近では開口部より外側へ張り出す。底面はほぼ平坦であるが、中央部が周辺より若干へこんでいる。

遺物 (第69図、写真図版55)

[かわらけ] かわらけ383.9g (不掲載)。

[国産陶器] 須恵器系甕 (357)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 06井戸跡

遺構 (第29図、写真図版19)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は円形に近く、長軸方向はN-83°-Eである。規模は、開口部径1.65×1.50m、底部径1.29×1.20m、深さ0.91mである。

[埋土・堆積状況] 1～5層に分層した。1層が黒褐色シルト、2層がにぶい黄褐色砂質シルト、3層が黒色粘土質シルト、4層が褐灰色シルト、5層がにぶい黄褐色砂である。いずれの層もブロック状の混入物が多い。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では直立し、底部付近では開口部より外側へ大きく張り出す。底面はほぼ平坦である。底面付近では湧水が著しい。

遺物 (第73図、写真図版58)

[かわらけ] かわらけ228.2g (不掲載)。

[木製品] 部材 (701)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 07土坑

遺構 (第29図、写真図版19)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は台形に近く、長軸方向はN-34°-Wである。規模は、開口部径2.27

×1.82m、底部径1.63×1.17m、深さ0.35mである。

[埋土・堆積状況] 1～5層に分層した。1・4・5層が黒色シルト、2層が褐色砂、5層が褐灰色粘土で、いずれも砂や黄褐色土の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 (第67図、写真図版54)

[国産陶器] 渥美窯産甕 (332)。底面直上、中央部にまとまって出土している。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 08井戸跡

遺構 (第29図、写真図版20)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。開口部の平面形は円形と推定される。深さは0.76mである。

[埋土・堆積状況] 1・2層に分層した。1層は黒色粘土質シルト、2層は褐灰色粘土質シルトで砂を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、底部付近では直立する。底面はほぼ平坦である。

遺物 (第57図、写真図版47)

[かわらけ] かわらけ27.9g (不掲載)。

[石製品] 石球 (5)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 09土坑

遺構 (第29図、写真図版20)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。開口部の平面形は楕円形に近いと推定される。深さは0.58mである。

[埋土・堆積状況] 1～5層に分層した。1・2層が黒色粘土質シルト、3層が暗褐色粘土、4層が黒色砂質シルト、5層が褐色砂である。壁際や底面付近に黄褐色粘土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

S K 10土坑

遺構 (第30図、写真図版20)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-20° - Eである。規模は、開口部径1.88×1.04m、底部径1.64×0.74m、深さ0.32mである。

1 検出遺構

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1～4層とも黒褐色シルトで、砂や黄褐色土のブロックを含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ43.0g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 11 井戸跡

遺構 (第30図、写真図版20)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形はほぼ円形に近く、長軸方向はN-1°-Eである。規模は、開口部径1.20×1.14m、底部径0.67×0.60mである。

[埋土・堆積状況] 6層に分層した。黒褐色土・黒色土・黄褐色土で構成される。2～5層は粘土または粘土質シルトで、下位の4～6層はしまりが疎である。全体的に、黄褐色土ブロックや礫が比較的多く含まれる。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ22.0g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 12 土坑

遺構 (第30図、写真図版21)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] P 148に東壁を切られる。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、長軸方向はN-46°-Wである。規模は、開口部径1.82×1.36m、底部径1.29×0.56m、深さ0.39mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。1層は黒褐色シルト、2層は黒色粘土質シルトである。3層は褐色土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ2.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 13 土坑

遺構 (第30図、写真図版21)

[位置・検出状況] M区中央、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は楕円形に近く、北側が尖った形状である。長軸方向はN-4°-Eである。

[埋土・堆積状況] 黒色シルトの単層で、黄褐色土ブロックを少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

S K 14土坑

遺構 (第31図、写真図版21)

[位置・検出状況] M区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は円形に近い。長軸方向はN-9°-Eである。規模は、開口部径1.24×1.04m、底部径0.96×0.78m、深さ0.08mである。

[埋土・堆積状況] 黒色粘土質シルトの単層で、礫を多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。非常に浅く、壁の立ち上がりは不明瞭である。底面は、やや凹凸がある。

遺物 なし。

時期 不明。

S K 15土坑

遺構 (第31図、写真図版21)

[位置・検出状況] H 1 区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部2.31×2.26m、底部1.17×1.57m、平深さ0.25m。面形は円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 16土坑

遺構 (第31図、写真図版22)

[位置・検出状況] H 1 区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.18×1.09m、底部0.54×0.48m、深さ0.39m。平面形は円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 17土坑

遺構 (第31図、写真図版23)

[位置・検出状況] H 1 区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部0.9×(0.3)m、底部0.24×0.12m、深さ0.48m。平面形は円形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 18土坑

遺構（第31図、写真図版22）

[位置・検出状況] N区中央、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] S D 19土坑に西側を切られる。

[規模・平面形] 重複のため詳細は不明である。開口部の平面形は歪な楕円形で、長軸方向は東西方向に近いと推定される。短軸径は、開口部で1.10m、底部で0.70m前後である。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層で、褐色土のブロックを少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面は凹凸が多く、中央付近が盛り上がる。

遺物 かわらけ15.7 g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 19土坑

遺構（第31図、写真図版22）

[位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。南側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。北・東壁は直線的であり、三角形のような平面形が想定される。深さは0.39mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒色シルト、2層は黒褐色粘土質シルトで大きめの粘土ブロックを含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ12.4 g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 20土坑

遺構（第32図、写真図版22）

[位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形は長方形に近い。長軸方向はN - 58° - Eである。規模は、開口部径1.01 × 0.82m、底部径0.84 × 0.50m、深さ0.15mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、砂ブロックを多量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は凹凸が多い。

遺物（第72図、写真図版62）

[金属製品] 嘉祐通寶（613）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 21土坑

遺構（第32図、写真図版23）

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.5 × (0.5) m、底部1.2 × (0.45) m、深さ0.11m。平面形の過半は調査区域外にかかるが、平面形は円形基調のようである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はやや凹凸がある。北側の壁を一部

掘り過ぎている。

遺物 (第71図、写真図版57)

[出土状況] 埋土から磁器が出土している。

[陶磁器] 磁器の碗1点 (504)、皿 (505)。

時期 出土遺物から、近世以降と推測される。

S K 22井戸跡

遺構 (第32図、写真図版23)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P 230に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.97×1.90m、底部0.85×0.78m、深さ0.72m。平面形は円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 (第70図、写真図版56)

[出土状況] 埋土から陶磁器が出土した。

[陶磁器] 白磁の皿1点 (403)。

時期 出土遺物から12世紀と推定される。

S K 23井戸跡

遺構 (第32図、写真図版23)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.40×(1.30)m、底部0.80×0.75m、深さ0.85m。平面形は円形基調である。底面は隅丸方形に形状になる。

[埋土・堆積状況] 褐色土・黄褐色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 24土坑

遺構 (第33図、写真図版23)

[位置・検出状況] H 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外に続く。

[重複関係] P 18に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.0×(0.2)m、底部径は不明。深さ0.36m。平面形は円形基調と推定されるが、平面形の過半は調査区域外であり、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 25土坑

遺構（第33図、写真図版24）

[位置・検出状況] L区西側、Ⅲ層上面で検出した。北側は調査区外である。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 詳細は不明である。深さは0.51mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。いずれも黒色シルトで、下位の2・3層は粘土質である。3層は地山のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、一部では階段状となる。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

S K 26井戸跡

遺構（第33図、写真図版24）

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形はほぼ円形で、長軸方向はN-38°-Wである。規模は、開口部径1.65×1.49m、底部径0.81×0.75m、深さ1.02mである。

[埋土・堆積状況] 6層に分層した。黒褐色土・黄褐色土・黒色土で構成される。下位は黒褐色土と黄褐色砂が交互に堆積し、しまりが疎である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、底部付近では直立する。底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ215.3g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 27井戸跡

遺構（第33図、写真図版24）

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形はほぼ円形で、長軸方向はN-62°-Eである。規模は、開口部径1.74×1.64m、底部径0.73×0.65m、深さ1.12mである。

[埋土・堆積状況] 7層に分層した。黒褐色土・暗褐色土・褐色土で構成される。下位は黒褐色土と褐色土が交互に堆積し、しまりが疎である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、一部では開口部より外側へ広がる。底部付近では直立に近い。底面はほぼ平坦である。

遺物（第57・65図、写真図版47・53）

[かわらけ] 柱状高台（103）。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて計274.1g出土した。

[国産陶器] 常滑窯産甕（302～304）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 28土坑

遺構 (第34図、写真図版24)

[位置・検出状況] Q 2 区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] S D 36溝跡に東側を切られる。

[規模・平面形] 開口部の平面形は円形に近い。長軸方向はN - 2° - Wである。規模は、開口部の長軸径0.89m、底部径0.81×0.68m、深さ0.54mである。開口部の短軸径は重複のため不明である。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。いずれも黒褐色土である。1層は土器片や粘土粒を大量に含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦で、礫層が露出する。

遺物 (第57図、写真図版47・63)

[かわらけ] 手づくね小 (104・105・107)、手づくね大 (106・108～110)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて7,680.3g出土した。

[土製品] 土壁 (801～803)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 29土坑

遺構 (第34図、写真図版25)

[位置・検出状況] Q 2 区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の平面形はほぼ円形である。長軸方向はN - 89° - Wである。規模は、開口部径0.85×0.80m、底部径0.52×0.41m、深さ0.53mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。いずれも黒褐色シルトで、2層は褐色土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面が狭く、断面形は「V」字状となる。

遺物 かわらけ81.2g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 30土坑

遺構 (第34図、写真図版25)

[位置・検出状況] H 3 区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.43×1.25m、底部0.83×0.80m、平面形は円形である。深さ0.65m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・灰黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 31土坑

遺構 (第34図、写真図版25)

[位置・検出状況] H 3 区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東西方向が調査区域外である。

[重複関係] S K 32土坑を切っている。西側調査区域に別遺構が重複していた可能性がある。

[規模・平面形] 規模は、開口部2.45×(2.35)m、底部1.31×1.28m、深さ0.76m。平面形は円形に近いと推定される。

1 検出遺構

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦である。底面を一部掘り過ぎている。

遺物 (第71図、写真図版57)

[出土状況] 磁器が出土している。

[陶磁器] 磁器の碗 1点 (506)。

時期 出土遺物と遺構の状態から、近世以降と推測される。

S K 32土坑

遺構 (第35図、写真図版22)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で、炭化物が混入する黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] S K 31土坑を切っている。

[規模・平面形] 規模は、開口部2.65×1.48m、底部2.22×1.08m、深さ0.42m。平面形は長方形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。炭化物を多く含んでいる。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦である。

[その他の付属施設] 土坑内に木枠が設けられていた。木枠の大きさは、長さ210cm、幅100cm、深さ30cmの横長の箱である。厚さは6cmである。材質はマツ属複維管束亜属との結果を得ている。底板は4枚の横長の板を並べてつくられている。側板と底板は要所が鉄釘で留められていた。底板の中央にも短軸方向に留板が設けられていた。埋土内で確認された木片が蓋か否かは判別がつかなかった。木枠内には、小さな炭片がぎっしりと詰まっていた。精査期間は雨天などの悪天候中ではあったが、炭は湿気を含むものであった。木枠内からは、炭化材のほかに漆塗膜 (漆器?)・動物遺体が出土している。

[性格] 用途を類推するのは容易ではないが、本土坑は、木枠を埋設するために掘り込まれた土坑であり、近世屋敷地に伴う地下の収蔵施設と推測される。

遺物 (第72図、写真図版62・67)

[出土状況] 木枠として用いられた材・鉄釘、木枠内から炭化材・漆膜・動物遺体が出土している。

材はマツ属複維管束亜属と同定された。炭化材はマツ属複維管束亜属・コナラ属コナラ亜属コナラ節と同定された(第Ⅶ章第2節)。漆膜は、内面朱・外面黒の碗の塗膜と判断された。ともに不掲載である。

[鉄製品] 鉄製品 (611)。

[動物遺体] 魚骨 (901・902)。焼骨である。

時期 炭化材を年代測定した結果、 270 ± 30 ryBP、16世紀から18世紀で17世紀頃の可能性が高い、との結果が出ている (第Ⅶ章第3節)。出土遺物と遺構の状態から近世以降と判断される。

S K 33土坑

遺構 (第36図、写真図版27)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.30×(0.39)m、底部0.80×(0.30)m、深さ0.21m。平面形は円形基調と推測される。大半は調査区域外であり、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 34土坑

遺構 (第37図、写真図版25)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.15×0.76m、底部0.69×0.39m、深さ0.36m。平面形は楕円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 35土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。調査区境部分では、開口部径2.14m、底部径1.08m、深さ0.69mである。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1・3層が黒褐色土、2・4層が褐色土で、いずれも粘土質シルトである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は大きな凹凸がある。

遺物 なし。

時期 不明。

S K 36土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。調査区境部分では、開口部径2.14m、底部径1.00m、深さ0.72mである。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1層が黒褐色土、2層が褐色土、3層が黒色土で、いずれも粘土または粘土質である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はほぼ直立し、一部で開口部より外側へ膨らむ。

[付属施設] 底面でピット1個(P1)を確認した。北側が調査区外にあるため全体は不明であるが、調査区境部分での開口部径が0.22m、深さ0.12mである。

遺物 かわらけ182.4g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 37土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] S K 38土坑に東側を切られる。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。平面形は円形に近いと推定される。底部径は0.68×0.49m、深さは0.73mである。

[埋土・堆積状況] 最上位は黒褐色の粘土質シルトである。下位～底面付近については記録がない。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦である。

遺物 重複するS K 38土坑出土分も含め、かわらけ200.3gが出土している。取り上げの段階で混合してしまった。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 38土坑

遺構 (第37図、写真図版27)

[位置・検出状況] S 区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] S K 37土坑を切る。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。平面形は円形、長軸方向は南北方向に近いと推定される。規模は、東西方向で開口部径0.98m、底部径0.50m、深さ1.01mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。いずれも黒褐色土で、粘土質である。2層は黄褐色土のブロックや礫を多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 S K 37土坑出土分も含め、かわらけ200.3gが出土した。取り上げの段階で混合してしまった。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S K 39土坑

遺構 (第36図、写真図版28)

[位置・検出状況] H 3 区。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] S D 39溝跡と重複し、S D 39溝跡に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.2×(0.8)m、底部1.04×(0.6)m、平面形は円形基調と推測される。深さ0.68m。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・黒色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は直立ぎみに立ち上がる。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 40陥し穴

遺構 (第36図、写真図版28)

[位置・検出状況] Q 2 区南側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。開口部の平面形は細長い溝形と推定され、長軸方向はN-32°-Wである。短軸方向では開口部径0.96m、底部径0.37mで、深さ1.39mである。

[埋土・堆積状況] 6層に分層した。黒色土・褐色土・黒褐色土・黄褐色土で構成される。いずれも

粘土質で、下位の2～4層はしまりが疎である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は、開口部付近では外傾し、底部付近では直立する。

遺物 なし。

時期 遺物は出土していないが、形態から縄文時代と推定される。

S K 41土坑

遺構 (第36図、写真図版28)

[位置・検出状況] R 3区西側、Ⅲ層上面で検出した。南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 一部が調査区外にあるため詳細は不明である。平面形は正方形に近いと推定される。

東西方向では開口部径2.08m、底部径1.46mで、深さ0.78mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒色粘土で、白色粘土ブロックを多く含む。2層は黒褐色粘土である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、湧水が著しく、グライ化している。

遺物 (第58・65図、写真図版51・57)

[かわらけ] ロクロ小 (117)、ロクロ大 (118・119)、手づくね小 (120)、手づくね大 (121・122)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて1,890.2g出土している。

[国産陶器] 常滑窯産片口鉢 (307)、常滑窯産甕 (308)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

(4) 溝 跡

溝状を呈する遺構で43条検出された。各区域で検出されているが、調査区の制約から遺構そのものが調査区域外に延びるため、遺構全体に対する調査個所が部分に留まったものが多い。また、同一の溝跡を別々の調査区で調査している場合もあるが、調査時には調査の便を図って、それぞれに名称を付した。報告にあたっては、命名が異なる溝跡でも同一遺構の可能性がある場合は、その旨を記載することとした。

S D 01溝跡

遺構 (第38図、写真図版29)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 半円状に湾曲する。a～eの5か所に分かれているが、遺構の上位が削平された可能性が高く、本来連続した1つの溝であった可能性が高い。ただし、b～c間は空白域が広く、もともと途切れていた可能性もある。幅は開口部0.93m、底部幅0.63mで、深さは0.25mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、黄褐色土の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は小さな凹凸が多い。

[付属施設] プランの内側にS B 10 (P 7～10・17～19・115・116)を検出している。位置関係から、S D 01溝跡がS B 10掘立柱建物跡の周溝として構築された可能性が高いとかがえられる。他にピットP 11～16を検出しているが、配列に規則性は見出せず、S D 01溝跡との関連は不明である。

遺物 なし。

時期 不明。

S D03溝跡

遺構（第39図、写真図版30）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外へ続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-70°-W、確認できた長さは8.20mである。幅は開口部0.52m、底部0.38mで、深さは0.23mである。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層である。にぶい黄褐色粘土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物 かわらけ38.4g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D04溝跡

遺構（第39図、写真図版30）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外へ続く。

[重複関係] S D05溝跡と重複する。前後関係は不明である。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-58°-W、確認できた長さは8.61mである。幅は開口部0.71m、底部0.32mで、深さは0.28mである。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層で、にぶい黄褐色粘土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物（第70・72図、写真図版56・58）

[かわらけ] かわらけ2,826.2g（不掲載）。

[中国産陶器] 褐釉陶器壺（401）。

[石製品] 基石（603）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D05溝跡

遺構（第39図、写真図版30）

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。東端は調査区外へ続く。

[重複関係] S D04溝跡、P 29・57・63～65・108・117・118と重複するが、前後関係は不明である。P 57・63・64・117・118はS D05溝跡の底面で確認した。

[規模・平面形] 基本的には直線状であるが、中央付近が90°に近い角度で屈曲する。北端では分岐し、一端がS D04溝跡と合流する。幅は開口部0.71m、底部0.32m、深さ0.28mである。

[埋土・堆積状況] 黒色土の単層で、にぶい黄褐色粘土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物（第65図、写真図版53）

[かわらけ] かわらけ771.8g (不掲載)。

[国産陶器] 常滑窯産片口鉢 (305)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D06溝跡

遺構 (第39図、写真図版30)

[位置・検出状況] I区北側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] 西壁の大部分を攪乱に切られる。P56を底面で検出した。

[規模・平面形] ほぼ直線状であり、長軸方向はN-19° - E、全長7.93mである。幅は開口部1.39m、底部1.22m、深さ0.17mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、黄褐色土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、小さな凹凸が多い。

遺物 かわらけ246.8g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D07溝跡

遺構 (第40図、写真図版30)

[位置・検出状況] I区南側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外へ続く。

[重複関係] 攪乱に中央部分を切られる。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-90° - E、確認できた長さは7.74mである。幅は開口部2.89m、底部2.45mで、深さは0.19mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒褐色土、2層は黒色土で、いずれも粘土質である。2層は砂のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁の立ち上がりは緩く、壁と底面の境界は明瞭ではない。底面はほぼ平坦である。南側が北側より1段高く、2つの溝が平行に重なるような状況である。

[付属施設] 底面でピット3個 (P1~3)を確認した。配列に規則性は見出せない。

遺物 (第67・71図、写真図版54・57・63)

[かわらけ] かわらけ269.8g (不掲載)。

[陶磁器] 渥美窯産陶器甕 (333)、陶器鉢? (501)、磁器湯呑 (507)。

[植物遺体] 種子：クルミ (951)。

時期 出土遺物から、近世以降と推定される。

S D08溝跡

遺構 (第41図、写真図版31)

[位置・検出状況] H1区北側~M区西側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] S D13溝跡に西側を切られる。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-88° - E、確認できた長さは19.17mである。幅は開口部0.72m、底部0.34mで、深さは0.14mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は暗褐色土、2層は黒褐色土で、いずれも礫を少量含む。

1 検出遺構

西端では1・2層に分かれるが、東側では2層のみである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。中央～西側付近では南側が北側よりも一段低く、2つの溝が平行に重なるような状況である。

遺物 (第67・72図、写真図版54・58)

[かわらけ] かわらけ131.4g (不掲載)。

[国産陶器] 渥美窯産甕 (334・335)。

[石製品] 砥石 (604)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D 09溝跡

遺構 (第42図、写真図版31)

[位置・検出状況] M区西側、Ⅲ層上面で検出した。東端は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-85°-E、確認できた長さは6.92mである。幅は、開口部0.78m、底部0.40mで、深さは0.13mである。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土の単層で、酸化鉄の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁の立ち上がりは緩く、底面との境界が不明瞭である。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

S D 10溝跡

遺構 (第42図、写真図版31)

[位置・検出状況] M区西側、Ⅲ層上面で検出した。西端と東端は調査区外にある。

[重複関係] S D 11溝跡を切る。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-82°-E、確認できた長さは7.62mである。幅は開口部0.58m、底部0.41mで、深さは0.10mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、礫を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 (第69図、写真図版55)

[かわらけ] かわらけ30.7g (不掲載)。

[国産陶器] 須恵器系鉢 (358)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D 11溝跡

遺構 (第42図、写真図版32)

[位置・検出状況] M区西側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] S D 10溝跡に切られる。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-86°-E、確認できた長さは8.64mである。幅は開口部1.11m、底部0.87mで、深さ0.27mである。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土の単層である。酸化鉄の粒を少量含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 (第57図、写真図版47)

[かわらけ] ロクロ大 (111)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて1,233.6 g 出土している。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SD12溝跡

遺構 (第43図、写真図版32)

[位置・検出状況] M区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-4°-E、確認できた長さは3.49mである。幅は開口部1.37m、底部0.74m、深さ0.29mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。いずれも黒色土で、2・3層は粘土質である。3層は黄褐色土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。西壁は外傾し、東壁は階段状である。底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ210.0 g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SD13溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD08溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(10.0) m、幅0.39m、底面の幅0.13m、深さ0.21mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD14溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD15溝跡を切り、SD26溝跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(3.91) m、幅0.65m、底面の幅0.36m、深さ0.17mである。東西方向に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第57図、写真図版32)

[出土状況] 埋土から、かわらけが出土している。

[かわらけ] 手づくねかわらけ1点 (112)。

1 検出遺構

時期 出土遺物から、12世紀の可能性がある。

SD15溝跡

遺構（第41図、写真図版32）

〔位置・検出状況〕 H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

〔重複関係〕 SD14・26溝跡に切られている。

〔規模・平面形〕 開口部の長さ（3.52）m、幅（0.42）m、底面の幅（0.37）m、深さ0.05mである。東西方向に直線的に延びる。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD16溝跡

遺構（第41図、写真図版33）

〔位置・検出状況〕 H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

〔重複関係〕 SD14・15溝跡を切っている。

〔規模・平面形〕 開口部の長さ（4.02）m、幅0.71m、底面の幅0.43m、深さ0.07mである。東西側に直線的に延びる。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物（第65・70図、写真図版53・56）

〔出土状況〕 埋土から12世紀の遺物が出土している。

〔国産陶器〕 常滑窯産の甕1点（306）。

〔中国産陶磁器〕 白磁の小壺1点（404）。

時期 出土遺物から12世紀の可能性がある。

SD17溝跡

遺構（第43図、写真図版33）

〔位置・検出状況〕 H2区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 開口部の長さ（2.00）m、幅2.04m、底面の幅0.47m、深さ0.26mである。南北に直線的に延びる。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土で構成される。

〔壁・底面〕 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物（第76・77図、写真図版61・63）

〔出土状況〕 埋土から木製品が出土した。

[木製品] 杭 4 点 (723 ~ 726)、樽の蓋 1 点 (727)。[植物遺体] マツボックリ (952)・モモ (953)。

時期 出土遺物から近世以降と推測される。

SD18溝跡

遺構 (第43図、写真図版33)

[位置・検出状況] H 2 区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ (1.94) m、幅1.28m、底面の幅0.95m、深さ0.11mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD19溝跡

遺構 (第40図、写真図版34)

[位置・検出状況] N 区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] SK18土坑を東側で切る。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N - 1° - W、確認できた長さは3.66mである。幅は開口部0.99m、底部0.80m、深さ0.24mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒色粘土質シルト、2層は灰黄褐色粘土である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ4.9g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SD20溝跡

遺構 (第40図、写真図版34)

[位置・検出状況] M 区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N - 10° - E、確認できた長さは3.46mである。幅は開口部2.59m、底部0.66m、深さ0.38mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒褐色粘土質シルト、2層は黒色粘土で、いずれも黄褐色土や砂のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面は、中央部分が一段深くなる。

遺物 (第57図、写真図版51)

[かわらけ] ロクロ小 (113)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて187.7g出土した。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D21 溝跡

遺構（第44図、写真図版34）

[位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向N-6°-E、確認できた長さは3.91mである。幅は開口部0.98m、底部0.68m、深さ0.26mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。黒褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土で構成され、2・3層は粘土質である。3層は混合土であるが、にぶい黄褐色土の割合が高い。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

S D22 溝跡

遺構（第44図、写真図版34）

[位置・検出状況] N区東側、Ⅲ層上面で検出した。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-50°-E、確認できた長さは4.12mである。幅は開口部0.57m、底部0.37m、深さ0.06mである。

[埋土・堆積状況] 3層に分層した。1・2層は黒色シルト、3層は黒褐色シルトである。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 不明。

S D23 溝跡

遺構（第44図、写真図版35）

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.84)m、幅0.54m、底面の幅0.38m、深さ0.28mである。東西に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D24 溝跡

遺構（第45図、写真図版35）

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.94)m、幅2.61m、底面の幅0.42m、深さ0.65mである。東西に直

線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第71・77図、写真図版57・62)

[出土状況] 埋土から陶磁器・木製品が多く出土した。

[陶磁器] 陶器2点：片口鉢1点(502)、播鉢1点(503)。磁器5点：碗(508～509)、小碗(510)、皿(511)、徳利(512)、火入れ(513)。

[木製品] 漆器の碗4点(728～731)、桶樽の側板1点(732)、把手1点(733)、棒状1点(734) 杭1点(735)。計8点。

時期 出土遺物から近世以降と考えられる。

S D25溝跡

遺構 (第44図、写真図版35)

[位置・検出状況] H4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(1.95)m、幅1.35m、底面の幅0.79m、深さ0.30mである。東西に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第57図、写真図版47)

[出土状況] 埋土から12世紀の遺物が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ大3点(114～116)。

時期 出土遺物から12世紀と推測される。

S D26溝跡

遺構 (第41図、写真図版32)

[位置・検出状況] H1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] S D14・15・16溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(5.01)m、幅0.32m、底面の幅0.12m、深さ0.15mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D27溝跡

遺構 (第46図、写真図版36)

[位置・検出状況] L区西側、Ⅲ層上面で検出した。北壁側の一部のみを検出した。遺構南側の大部

分は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 主体部は調査区外にあるとみられ、詳細は不明である。確認できた部分はほぼ直線状で、長軸方向は西北西－東南東である。L区の東側でも溝の一部とみられる部分を検出しているが、同一遺構だとすれば、確認できた部分だけで50mの長さになる。L区西端部分では、深さ0.46mである。ただし、南壁を検出していないため、遺構の規模は不明であり、最深部はこれより深くなる可能性がある。

[埋土・堆積状況] 4層に分層した。1・2層は黒色、3層は黒褐色の砂質シルトで、黄褐色土粒を含む。壁際の4層は黒色の粘土質土である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面については、確認できた部分が僅かであるため詳細は不明である。

遺物 かわらけ211.7g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D28溝跡

遺構（第47図、写真図版36）

[位置・検出状況] J区、Ⅲ層上面で検出した。東側は攪乱により削平され、西側は調査区外へ続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-81°-W、確認できた長さは19.99mである。幅は開口部0.32m、底部0.21m、深さは0.36mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層で、黄褐色土粒を含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ48.4g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D30溝跡

遺構（第45図、写真図版37）

[位置・検出状況] R3区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-16°-E、確認できた長さは2.41mである。幅は開口部1.29m、底部0.84m、深さ0.25mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。1層は黒褐色、2層は黒色の粘土質シルトで、いずれも黄褐色土や砂のブロックを含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ318.1g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D31溝跡

遺構（第45図、写真図版37）

[位置・検出状況] R3区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-13°-W、確認できた長さは2.85mである。幅は、開口部0.37m、底部0.20m、深さ0.19mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色粘土質シルトの単層で、黄褐色土のブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ4.3g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SD32溝跡

遺構（第45図、写真図版37）

[位置・検出状況] R3区中央、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-16°-Eである。確認できた長さは2.41mで、幅は開口部1.40m、底部0.47m、深さ0.60mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色粘土質シルトの単層で、黄褐色土粒を含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ75.5g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SD33溝跡

遺構（第46図、写真図版37）

[位置・検出状況] R3区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] ほぼ直線状で、長軸方向はN-6°-Eである。確認できた長さは2.58mで、幅は開口部0.66m、底部0.29m、深さ0.39mである。

[埋土・堆積状況] 2層に分層した。いずれも黒褐色の粘土質土で、2層は黄褐色土ブロックを多く含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 かわらけ42.8g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

SD34溝跡

遺構（第48～52図、写真図版38～40）

[位置・検出状況] Q1・Q2区・S区・K区、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外へ続く。

Q1・Q2区に隣接する田では、調査期間中に稲作が行われており、Q1区東側・南側にあった道路部分とQ2区全体は、稲刈りが終了するまで表土除去ができない状況であった。

最初、Q1区の西側（道路を除いた部分）に3箇所のトレンチ（T56～58）を入れたところ、多くの遺物が出土したが、トレンチはSD34の遺構内にすっぽり収まっており、この時点では遺構であるとの認識はできなかった。

次に、このQ1区西側部分全体の表土除去を行った。トレンチで状況がよく分からなかったことと、遺物の出土が多かったことから、バックホーでは最小限の表土のみを除去し、その後スコップで段階

的に掘り下げた。数段階掘り下げた所で、Q1区南西隅にSD34の西岸となる地山面が現れ、ようやく地山と埋土の境界線を面的に捉える事が出来た。

その後、Q1区東側道路部分も調査可能となり、西岸と平行する東岸部分を確認した。ここでようやくSD34の両岸を把握することができた訳だが、溝跡にしては幅が広すぎるのではないかという印象を受けたため、この時点では、自然の沢跡と考えた。

精査を進め、壁や底面など遺構の形状が明らかになるにつれ、自然の流路ではなく人工的に掘り込まれた遺構であると判断し、SD34溝跡とした。

Q1区部分のみ、先行して完掘までの作業を行った。稲刈りが完全に終了した後、南側のQ2区部分の表土除去を行い、Q1区の続きの部分を検出した。S区・K区部分を検出したのはさらに後である。

以上が調査経過である。遺構であることをなかなか判断できなかったことから、SD34埋土中の遺物を、当初は遺構外出土としてかなり取り上げている。遺物観察表で、「Q1区Ⅱ層」出土と表記されているものは、「SD34埋土1層」に該当する。また、「Q1区沢跡」とはSD34溝跡のことである。トレンチT56～58出土遺物も、SD34埋土のものである。本来であれば、表記を修正・整理した上で報告するべきであったが、時間的制約の中、不十分な整理のままで掲載せざるを得なかった。

[重複関係] SD35溝跡と合流する。新旧関係は不明であり、同時存在の可能性もある。

[規模・平面形] ほぼ直線的であるが、軸方向が少しずつ変化する。Q1区ではほぼ南北方向だが、Q2区で北北東-南南西方向にやや軸方向が変わり、S区・K区まで至る。

長さは、Q1区北端部からK区まで合わせると約105mとなる。

幅・深さは、断面B(Q1区)で、開口部幅7.64m、底部幅5.37m、深さ1.01mである。また断面E(S区)では、開口部幅10.30m、底部幅8.80m、深さ0.86mと、断面Bより広くなる。遺構の規模が非常に大きいため、調査区内で幅が計測できる所はこの2箇所のみである。Q1区、S区とも、東岸側の方が西岸側より検出面標高が高く、もともと東側の方が地形的に高かったようである。

北側の調査区外については、そのまま北方向へ直線的に続いていくと思われる。一方南側は、K区で確認できた部分を見ると、東側へ大きく進路を変えるようにも見えるが、周辺の調査区で続きは見つかっておらず、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 断面A～C(Q1区)では、大まかに3層に分層できる。1層は黒～暗褐色土主体である。遺物の小破片が多く含まれる。2層は、黒褐～黒色の粘土質土を主体とする。東壁付近では、粘土質土と砂が交互に堆積した状況である。この層が遺物を最も多く含み、1層より大きな破片が多い印象を受ける。3層は砂を主体とする。遺物量は2層より少ないが、完形に近いかわらけなども出土している。なお、Q1区では、埋土中だけでなくその上の表土(I層)中にも細かい遺物片が多く含まれていた。

断面D(Q2区)・E(S区)・F(K区)では、黒褐色シルト主体である。下位に砂を多く含む。[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られ、底面は礫層である。壁は外傾する。Q1区の東壁の一部は、階段状になる。底面はほぼ平坦である。

[付属施設] 副穴4個(P1～4)を、北側の東壁付近で確認した。橋脚等の可能性を想定したが、配列に規則性は見出せない。

遺物(第58～60・65～70・73・74図、写真図版48～50・53～56・59・63)

[かわらけ] ロクロ小(123～143)、ロクロ大(144～169)、手づくね小(170～177・183・185)、手づくね大(178～182・184・186)、柱状高台(187・188)、内折れ(189)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて86,779.3g出土している。ただし上で述べたように、Q1区遺構外出土として掲載し

たものの中にもS D34埋土中のものが含まれるので、総出土量はこれを上回る。

[国産陶器] 常滑窯産：片口鉢(309・316・317)、壺(310・312・313・320)、甕(311・314・315・318・319)。渥美窯産：片口鉢(337・342)、甕(338～341・343)。水沼窯産：甕(354)。須恵器系：壺(359)、甕(360～363)。

[中国産磁器] 白磁：四耳壺(405～408・410～413・420)、碗(409)、小壺(414)。青磁：碗(428・429)。

[木製品] 漆器椀(702～704)、曲物蓋(705・706・708)、曲物底板(707)、折敷？(708)、杓子(709)、下駄(711)、形代(712・713)。

[植物遺体] 種子：モモ(954)、アサ・カナムグラ(955)、サナエタデ・ヤナギタデ近似種(956)、クルミ(957)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。出土した木炭を年代測定したところ、11～12世紀との結果を得ている(第Ⅶ章第3節参照)。

S D35溝跡

遺構(第49・53図、写真図版41・42)

[位置・検出状況] Q2区北側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] S D34溝跡と合流する。新旧関係は不明であり、同時存在の可能性もある。

[規模・平面形] 基本的には直線状である。長軸方向はN-69°-Wで、北北西-東南東の方向である。確認できた長さは7.42mである。調査区に直交する方向であるため、確認できた範囲は短い。幅は、調査区境の断面Gで、開口部4.40m、底部2.46m、深さは1.46mである。開口部は東側へ行くほど広くなり、S D34溝跡と合流する。

[埋土・堆積状況] 3箇所(断面G～H)で覆土断面を記録している。断面Gは調査区西境、断面Hは調査区中央で、これらは溝の短軸方向であり、断面Iは長軸方向である。G・Hは、それほど距離が離れていないにも関わらず、堆積状況に違いがみられる。G断面付近では、上位が黒褐色シルト、中位～下位が黒色粘土質シルトである。これに対し、H断面では、上位の東側が黒褐色シルト主体、西側が砂主体で、埋土の下位に砂礫層が存在する。この砂礫層は、自然の層(Ⅳ層)に非常に類似するが、遺物が多く出土している。

[壁・底面] 底面は、地点により深い所と浅い所があり、状況は一様ではない。東側では二股に分かれる。

遺物(第61～63・66・68・69・70・74・75図、写真図版50・51・53～56・60・63)

[かわらけ] ロクロ小(190～218)、ロクロ大(219～225)、手づくね小(226～232)、手づくね大(233～240)、柱状高台(241～244)、内折れ(245)。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて68,358.6g出土している。

[国産陶器] 常滑窯産：甕(321・323)、片口鉢(322)。渥美窯産：片口鉢(344～347)。水沼産：甕(355)。

[中国産陶磁器] 褐釉陶器甕(402)、白磁四耳壺(415)。

[木製品] 曲物底板(714)、折敷？(715)、ちゅう木(716)、漆塗り板材(717a・b)、柱根(718)。718は、調査区境の断面G付近で出土した。尖った方を下にし、やや傾いているが直立に近い状態であった。断面形が八角形に加工されている。溝に架けられた橋脚であるという可能性を視野に入れ、注意して調査を行ったが、その場に埋設されていたという状況は確認できなかった。

[土製品] 土壁(804)、羽口(805)。

1 検出遺構

[植物遺体] 種子：クルミ（958・959）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。出土した木炭を年代測定したところ、11～12世紀との結果を得ている（第Ⅶ章第3節参照）。

S D36溝跡

遺構（第50・55図、写真図版43・44）

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。北側と西側は調査区外にある。

[重複関係] S K28土坑を切る。南側でS D43溝跡とS D37溝跡が重複する。

[規模・平面形] 基本的には直線状であるが、南側で屈曲し、屈曲点から北側と西側へ伸びている。屈曲角度は83度である。長軸方向は、北側ではN-9°-E、西側ではN-74°-Eであり、確認できた長さは、北側で44.00m、西側で7.60mである。幅は開口部1.50m、底部1.12mで、深さ0.74mである。
[埋土・堆積状況] 5箇所(断面J～N)で覆土断面を記録している。分層の仕方は地点により異なるが、黒褐色～黒色のシルト主体で、地点により黄褐色土や砂のブロックを含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁はやや外傾し、底面は平坦である。

遺物（第63・66・68・69・72図、写真図版52・54～56・58・63）

[かわらけ] ロクロ小（246・247・249）、ロクロ大（248）。かわらけは、掲載・不掲載分合わせて8,738.1g出土している。

[国産陶器] 常滑窯産甕（324）、渥美窯産甕（348・349）、須恵器系甕（364・365）。

[金属製品] 皇宋通寶（614）。

[動物遺体] ウマの臼歯（903）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。出土した木炭を年代測定したところ、11～12世紀との結果を得ている（第Ⅶ章第3節参照）。

S D37溝跡

遺構（第54図、写真図版45）

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] 東側でS D36溝跡と合流する。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-68°-W、確認できた長さは6.49mである。幅は開口部0.56m、底部0.22m、深さ0.26mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色シルトの単層で、黄褐色土ブロックと炭化物を僅かに含む。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 かわらけ71.9g（不掲載）。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

S D38溝跡

遺構（第56図、写真図版45）

[位置・検出状況] H3区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] P262・263・265と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ（4.42）m、幅1.03m、底面の幅0.93m、深さ0.20mである。南北に直

線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D 39溝跡

遺構 (第56図、写真図版46)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で褐灰色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] S D 40溝跡と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ (1.75) m、幅0.85m、底面の幅0.46m、深さ0.18mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 褐灰色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第75図、写真図版61)

[出土状況] 埋土から木製品が出土している。

[木製品] 部材? 1点 (719)。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明である。

S D 40溝跡

遺構 (第56図、写真図版46)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] S D 39溝跡と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ (2.52) m、幅1.19m、底面の幅0.89m、深さ0.15mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

[付属施設] なし。

遺物 (第72図、写真図版48)

[出土状況] 埋土から石製品が出土している。

[石製品] 硯 1点 (605)。

時期 時期が判断できる出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D 41溝跡

遺構 (第56図、写真図版45)

[位置・検出状況] H 3区。Ⅲ層で褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ (1.96) m、幅1.61m、底面の幅1.44m、深さ0.09mである。南北に直

1 検出遺構

線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D42溝跡

遺構 (第47図、写真図版45)

[位置・検出状況] S区東側、Ⅲ層上面で検出した。北側と南側は調査区外にある。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-9°-E、確認できた長さは0.53mである。幅は開口部0.97m、底部0.30m、深さ0.33mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色粘土質シルトの単層である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾し、東壁は開口部付近が大きく広がる。

遺物 なし。

時期 不明。

S D43溝跡

遺構 (第54図、写真図版46)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。西側は調査区外にある。

[重複関係] 東側でS D36溝跡と合流する。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-56°-W、確認できた長さは5.92mである。幅は、開口部1.16m、底部0.41mで、深さ0.20mである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色シルトの単層である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁は外傾する。底面はほぼ平坦であるが、凹凸が多い。

遺物 なし。

時期 不明。

S D44溝跡

遺構 (第56図、写真図版46)

[位置・検出状況] H3区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南北側が調査区域外に続く。

[重複関係] P251・252・272・273と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.15)m、幅1.71m、底面の幅0.75m、深さ0.73mである。南北に直線的に延びる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第66図、写真図版54)

[出土状況] 埋土から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 常滑窯産の甕1点(325)。

時期 出土遺物から12世紀の溝跡の可能性がある。

SD45溝跡

遺構 (第54・55図、写真図版46)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。東側は調査区内で途切れ、西側は調査区外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 調査区内ではほぼ直線状で、長軸方向はN-67°-W、確認できた長さは3.73mである。幅は、開口部0.69m、底部0.46m、深さ0.08mである。

[埋土・堆積状況] 黒色粘土質シルトの単層である。

[壁・底面] Ⅲ層を掘り込んで作られている。壁の立ち上がりは不明瞭である。底面はほぼ平坦であるが、細かい凹凸が多い。

遺物 なし。

時期 不明。

(5) 道路状遺構

1か所確認された。いわゆる波板状凹凸といわれるものである。

SX01道路状遺構

遺構 (第54・55図、写真図版43・44)

[位置・検出状況] Q2区南側、Ⅲ層上面で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 直線状の短い溝が、ほぼ等間隔に連続する。SX01a～jとした。各溝の計測値は第7表に示した。長軸方向は、隣接するSD45溝跡やSD36溝跡とほぼ直交する。aの西側、jの東側調査区外には、同様のものが連続する可能性が高い。

[埋土・堆積状況] 黒色粘土質土の単層である。底面直上では、小礫が多く出土した。

[壁・底面] 壁の立ち上がりは不明瞭である。底面には凹凸が多い。

遺物 かわらけ320.7g (不掲載)。

時期 出土遺物から、12世紀頃と推定される。

2 出土遺物

(1) 出土遺物の概要

南日詰小路口 I 遺跡の出土遺物は、縄文時代の土器、石製品、12世紀のかわらけ、国産陶器、中国産磁器、中世の陶磁器、近世の陶磁器、石製品、金属製品、木製品、土製品、動物遺体、植物遺体である。図版は遺物の種別ごとに作成し、出土地点別に編集した。なお、一部遺構名の訂正に誤りがあつたために掲載No.が前後している遺構がある。また、出土地点別に異なる種類の遺物の出土状況を把握するため、遺構内出土遺物について出土地点毎の集成図を作成した。以下、遺物の種別ごとに詳述する。

(2) 縄文時代の遺物

縄文土器（第57図、写真図版47、第10表）

縄文土器は1041.9 g 出土した。4点を掲載した。いずれも遺構外で、O区南端から出土している。縄文時代晩期の土器片である。3は注口土器の破片である。

石製品（第57図、写真図版47、第11表）

5は径3.2～3.5cmの石球で、石材は安山岩である。時期の詳細は不明だが、ここに含めた。

(3) 12世紀の遺物

12世紀の遺物の内訳として、かわらけ・国産陶器・中国産陶磁器がある。

かわらけ（第57～64図、写真図版47～52、第12表）

かわらけは、320,177.9 g 出土した。掲載したのは177点（15,640.4 g）である。内訳としては、ロクロかわらけの大小・手づくねかわらけの大小・柱状高台・内折れかわらけがある。ロクロかわらけは、器高のある碗形のかわらけがある。手づくねかわらけには、口縁部を面取りしているものと、面取りしていないものがあり、調整は1段などで、2段なでが多いが、3段以上の多段なでもある。器壁は薄手で胎土も混入物が少ない。微量だが骨針が含まれるものも数例ある。色調は、赤みの強いものが多い。ロクロかわらけは、手づくねかわらけに比べて、より砂礫が混じる傾向がある。色調もより赤みが強い傾向がある。153・160は、粘土板の継目が確認できる。262・270は、燈明皿として使用された痕跡を残す。柱状高台は、ロクロの痕跡が残る台部の径は4 cm前後のものが多い。台部は、小型のものは平坦だが、大きいものは中央がややくぼむものもある。内折れかわらけは、口縁部が強く屈曲する皿形のかわらけだが、小破片であり、詳細は不明である。ロクロかわらけと手づくねかわらけの比率をみると、ロクロかわらけの比率が高いように思われる。しかし、ロクロかわらけの方が、つくりが丈夫なため、破片でも残存率が良く、残存率の選別基準では、ロクロかわらけの方が、より多く掲載遺物として採取されている可能性があることにも留意しておく必要である。

遺構別にみると、出土量が多いのは、S D34・35溝跡である。S K28土坑からは手づくねかわらけがまとまって出土している。S K28土坑は、手づくねかわらけのみが出土している。270は、燈明皿として使用した痕跡が残る手づくねかわらけ小である。

国産陶器（第65～69図、写真図版53～56、第13表）

常滑窯産陶器は3,539.0 g 出土した。すべて破片である。30点（3151.0 g）を掲載した。器種には甕・壺・片口鉢がある。309は片口鉢の底部片である。内面に金が付着しており、砂金を搗り潰し、金粉にした作業の痕跡と推測される。310の底部の突起は焼成の際に付着した土塊のようである。326は三筋文壺の破片である。S D34溝跡から多く出土している。

渥美窯産陶器は5,588.4 g 出土した。すべて破片である。23点 (5,112.1 g) を掲載した。器種には甕と片口鉢がある。渥美窯産陶器は、常滑窯産陶器に比べて胎土が均一で灰白色の色調を呈する。331は袈裟襷文壺である。344は片口鉢の片口部である。S D34溝跡から多く出土している。

354・355は水沼窯産の陶器と思われる。354は縦耳が付く壺である。すべて掲載した。

須恵器系陶器は2,796.5 g 出土した。13点 (2,243.4 g) 掲載している。器種には壺・甕・鉢がある。

中国産陶磁器 (第70図、写真図版56、第14表)

中国産陶磁器は1,117.3 g 出土した。30点 (691.4 g) 掲載した。陶器と磁器がある。401・402は陶器である。磁器は、白磁が多く、青白磁・青磁が少量ある。器種は壺 (Ⅱ・Ⅲ系) と碗 (Ⅰ～Ⅴ類)・皿 (Ⅴ・Ⅵ類) がある。全破片81片のうち、壺類が53片と占める全体に割合が高い。出土地点をみると、S D34溝跡から多く出土している。405は、四耳壺の耳部である。408・410・411は四耳壺の口縁部、412は四耳壺の耳が着いていた体部片。413は水注の注口が付く部分の胴部破片と思われる。414は小壺の蓋で回転糸切りの痕跡がある貴重な事例である。Ⅱ系で黄褐色の色調である。421は碗である。424は水注の口縁部で、口縁端部の形状が四耳壺と異なる。426は皿、428・429は青磁碗の破片、430は青白磁の合子の蓋で、膨らみのある部分が真ん中付近と思われる。

(4) 中世の遺物

108.7 g 出土し、2点 (100.2 g) を掲載した (第70図、写真図版56、第15表)。451は伊豆沼産の陶器の口縁部片と思われる。452は中国産の青磁碗の破片である。

(5) 近世・近代の遺物

陶器・磁器がある (第71図、写真図版57、第16表)。総量3,324.7 g 出土した。うち14点 (1,103.8 g) を掲載した。S D07・24溝跡、S K21・31土坑からの出土で、いずれも近世の屋敷地に伴う遺構である。特にS D24溝跡は、Ⅱ遺跡のS D127溝跡と連続する同一遺構と推測される溝跡で、屋敷跡の周囲を取り囲む一連の溝跡と推測されるものである。S D24溝跡からは、陶器・磁器が出土している。502は片口鉢。503は播鉢片。ともに陶器である。磁器としては碗・皿・徳利・火鉢などが出土している。18世紀に属するものも含まれるが、19世紀後半の明治時代の碗皿類が主体である。

(6) 石製品

石製品は5点出土した (第72図、写真図版58、第17表)。601・602は砥石である。石材は石英安山岩である。603は黒色の扁平な円礫で、基石として使用されたものであろうか。中国産陶器 (401) とともに出土していることから、12世紀の可能性はある。石材は頁岩である。604も砥石で各面を使用しており、特に側面の擦痕が著しい。いずれの砥石も一端または両端を欠き、完形品はない。605は凝灰岩製の硯である。

(7) 金属製品

金属製品は5点出土した (第72図、写真図版58、第18表)。内訳は鉄釘1点、銭貨4点である。S K32内に埋設されていた木枠の板材を留めていた鉄釘のうち、1点のみ掲載した。611は鉄釘で断面が四角形のものである。銭貨は全点掲載した。612は寛永通寶 (新寛永：初鑄年1697年)、613は嘉祐通寶 (初鑄年1065年)、614は皇宋通寶 (初鑄年1038年)、615は寛永通寶 (古寛永：初鑄年1636年) である。616は、鍛冶滓と考えられる破片である。製品ではないが、ここに含めた。

(8) 木 製 品

木製品は35点掲載した(第73～77図、写真図版58～62、第19表)。出土した遺構から12世紀に属するものと近世以降に属するものに大別される。S D34溝跡から出土した702・703・704の漆器椀は内外面黒漆である。樹種はケヤキである。705・706・707・708は曲物の蓋か。樹種はアスナロ・スギである。711は差歯の下駄の歯部。樹種はアスナロである。712・713は欠損品であるが形代の可能性はある。716はちゅう木か。樹種はスギである。717は黒漆が塗られている板材である。樹種はアスナロである。折敷などと同じ材が使用されている。718は、12世紀のものと推測される大形の柱材で、断面形が八角形に面取りされ、先端も整形されている。樹種はマツ属複織管束亜属である。先端が炭化しているようにも見受けられる。

723～735は近世以降のものと推測される遺物である。723～726は、木杭か。一端を鋭角に整形している。樹種はモクレン属である。728～731は漆器の椀で内面赤・外面黒漆である。樹種はブナ属である。12世紀の漆器と用材が異なる点が注目される。727は樽の蓋。樹種はヒノキである。732は桶樽類の側板で、樹種はスギである。733は樽の持ち手部分と推測される。樹種はスギである。材の樹種同定結果については、第Ⅶ章第1節を参照されたい。

(9) 土 製 品

土製品は1,912.4 g 出土した(写真図版63、第20表)。内訳は、土壁・羽口・円盤状土製品である。写真のみの掲載で6点掲載した。土壁と思われる破片は全1,825.7 g 出土している。すべて破片で、木舞の跡は確認できていない。掲載したのは4点(801～804、488.2 g)である。805は躰の羽口の破片と思われる。スサが入る。806は円盤状の土製品である。壁土は12世紀の可能性はあるが、他の羽口片や円盤状の土製品の時期は明確ではない。

(10) 動 物 遺 体

動物遺体は、写真のみの掲載で4点(12.0 g) 掲載した(写真図版63、第21表)。確認できた種はウマ、魚骨・大型哺乳類であるが、小片のため詳細は不明である。S K32土坑からは魚類と思われる焼骨片が出土している。木枠内の炭化材とともに出土したものである。

(11) 植 物 遺 体

植物遺体には種実(99.8 g)がある(写真図版63、第22表)。全点について観察表を掲載し、9点(36.5 g)を写真掲載した。5点を鑑定して確認できた種別には、モモ・アサ・カナムグラ・サナエダテ近似種・ヤナギダテ近似種・オニグルミがある。955・956は出土した椀内部の土のなかから出土した種実で、アサ・カナムグラ、サナエダテ近似種・ヤナギダテ近似種であるとの鑑定結果を得ている。952はS D17溝跡から出土した。マツボックリである。

炭化材は1,851.2 g 出土した。そのうち4点(試料No1896・1915・1920・1758)について放射性炭素年代測定を行った(第Ⅶ章第3節)。

第3表 建物跡・柱列跡観察表

(残存値)

遺構名	性格	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	長軸方向 (N-x°-E)	長軸 (m)	短軸 (m)	柱 (配列順)	重複関係等 (旧<新、><<は不明)	時期	備考	図版 No.	写真 No.
SB01	柱列跡	H4	Ⅲ	-51948.142	28859.308	3	(3.00)	-	P218-P214-P209		近世以降		26	15
SB02	柱列跡	H4	Ⅲ	-51950.143	28860.154	0	(3.63)	-	P212-P205-P202	SB02<SB03	近世以降		26	15
SB03	柱列跡	H4	Ⅲ	-51949.323	28860.216	0	(4.08)	-	P216-P210-P203	SB03><SB02	近世以降		26	15
SB04	掘立柱建物跡	H4	Ⅲ	-51956.481	28861.636	-1	6.00	1.66	P197-P194-P192-P190-P188	SB04>SB05	近世以降		26	15
SB05	柱列跡	H4	Ⅲ	-51958.045	28862.671	-2	(3.78)	-	P193-P191-P189	SB05<SB04	近世以降		26	15
SB06	掘立柱建物跡	H4	Ⅲ	-51979.078	28869.845	3	(2.06)	-	P184-P183		近世以降		26	なし
SB07	柱列跡	H4	Ⅲ	-51996.975	28875.887	3	(1.87)	-	P171-P170		近世以降		26	15
SB08	柱列跡	H4	Ⅲ	-51999.903	28876.921	3	(3.77)	-	P169-P168-P166		近世以降		26	15
SB09	掘立柱建物跡	H4	Ⅲ	-52006.651	28878.287	4	(6.44)	2.23	P164-P231-P162-P161-P284	SB08><SD23・SK23	近世以降		26	15
SB10	掘立柱建物跡	I	Ⅲ	-52017.419	28930.284	13	6.03	(2.03)	P007-P008-P009-P010-P115-P018-P116	SB09<SK22	12世紀		27	16
SB11	掘立柱建物跡	I	Ⅲ	-52042.801	28921.200	6	5.64	(3.72)	P097-P098-P103-P104-P105-P106-P112-P113-P102		不明	外周にSD01	27	16
SB12	掘立柱建物跡	M	Ⅲ	-52073.759	28990.906	80	6.78	1.43	P127-P128-P129-P130-P131-P135-P134-P133-P132-P149		不明		27	16

第7表 道路状遺構観察表

遺構名	区域	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	方向 (N-x°-E)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	備考
SX01-a	Q	-51935.09	28948.71	92.04	15	1.23	0.26	1.11	0.21	1.43	
SX01-b	Q	-51934.82	28949.37	92.04	17	1.31	0.25	1.15	0.15	0.04	
SX01-c	Q	-51935.12	28950.09	92.03	7	1.35	0.34	1.30	0.21	0.05	
SX01-d	Q	-51935.10	28950.87	92.04	13	1.67	0.33	1.40	0.15	0.10	
SX01-e	Q	-51935.54	28951.50	91.99	10	2.27	0.34	2.06	0.19	0.10	
SX01-f	Q	-51935.73	28952.23	91.98	8	1.85	0.33	1.66	0.26	0.06	
SX01-g	Q	-51935.95	28952.90	91.97	10	1.52	0.38	1.33	0.19	0.11	
SX01-h	Q	-51936.16	28953.63	91.99	10	1.38	0.51	1.20	0.35	0.07	
SX01-i	Q	-51936.44	28954.41	92.02	17	1.13	0.56	0.90	0.45	0.08	
SX01-j	Q	-51936.04	28955.36	92.04	35	2.96	1.26	-	-	0.15	

* (SX01) を構成する各要素についての計測値である。

第4表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	建物	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考
P001	I	Ⅲ	-51981.34	28944.82	91.97	0.26	0.23	0.12	0.10	0.16			
P002	I	Ⅲ	-51982.02	28944.56	91.96	0.26	0.21	0.12	0.07	0.19			
P003	I	Ⅲ	-51982.03	28943.47	91.98	0.20	0.19	0.09	0.08	0.11			
P004	I	Ⅲ	-51983.24	28940.25	91.99	0.25	0.21	0.10	0.08	0.23			
P005	I	Ⅲ	-51984.28	28942.57	91.97	0.28	0.19	0.09	0.09	0.27			
P006	I	Ⅲ	-51992.90	28942.80	91.80	0.44	0.39	0.24	0.23	0.49			
P007	I	Ⅲ	-52014.82	28931.86	91.94	0.49	0.37	0.15	0.13	0.13	SB10		
P008	I	Ⅲ	-52016.71	28931.39	91.93	0.42	0.35	0.14	0.12	0.17	SB10		
P009	I	Ⅲ	-52018.66	28931.02	91.98	0.40	0.38	0.11	0.10	0.19	SB10		
P010	I	Ⅲ	-52020.67	28930.56	91.94	0.44	0.38	0.13	0.11	0.19	SB10		
P011	I	Ⅲ	-52017.09	28934.42	91.99	0.18	0.16	0.10	0.09	0.17			
P012	I	Ⅲ	-52016.71	28933.76	92.01	0.31	0.26	0.16	0.13	0.12			
P013	I	Ⅲ	-52016.95	28933.48	92.02	0.27	0.25	0.10	0.07	0.12			
P014	I	Ⅲ	-52017.48	28933.33	92.04	0.32	0.26	0.14	0.12	0.09			
P015	I	Ⅲ	-52018.33	28933.01	92.08	0.27	0.23	0.11	0.06	0.07	SB10		
P016	I	Ⅲ	-52018.68	28932.83	92.05	0.27	0.24	0.10	0.08	0.10	SB10		
P017	I	Ⅲ	-52015.97	28930.01	91.97	0.45	0.35	0.15	0.11	0.17			
P018	I	Ⅲ	-52017.11	28929.24	92.03	0.38	0.33	0.14	0.10	0.11	SB10		
P019	I	Ⅲ	-52018.85	28929.29	91.94	0.34	0.33	0.21	0.18	0.21			
P020	I	Ⅲ	-52025.85	28933.28	92.01	0.55	0.37	0.12	0.09	0.16			
P021	I	Ⅲ	-51959.01	28949.09	91.70	(0.50)	0.35	(0.39)	0.18	0.18			調査区外
P022	I	Ⅲ	-51965.48	28952.03	91.92	0.27	0.24	0.14	0.09	0.25			
P023	I	Ⅲ	-51966.23	28951.94	91.99	0.50	0.37	0.33	0.24	0.17			
P024	I	Ⅲ	-51966.59	28951.76	92.03	0.33	0.30	0.20	0.16	0.16			
P025	I	Ⅲ	-51965.30	28949.08	91.92	0.35	0.35	0.28	0.26	0.22			
P026	I	Ⅲ	-51961.98	28947.18	91.89	(0.30)	0.30	0.18	0.13	0.13			調査区外
P027	I	Ⅲ	-51967.15	28945.81	91.79	0.35	0.34	0.11	0.07	0.37			
P028	I	Ⅲ	-51969.10	28949.41	91.92	0.33	0.33	0.15	0.12	0.28			
P029	I	Ⅲ	-51969.12	28947.00	92.06	0.30	(0.15)	0.12	0.11	0.10		P029<SD05	
P030	I	Ⅲ	-51969.67	28950.01	92.01	0.29	0.23	0.21	0.20	0.11			
P031	I	Ⅲ	-51970.19	28949.94	92.01	0.33	0.28	0.19	0.17	0.23			
P032	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P033	I	Ⅲ	-51969.60	28952.93	92.05	0.53	0.33	0.29	0.18	0.17			
P034	I	Ⅲ	-51970.23	28952.20	91.90	0.43	0.35	0.25	0.24	0.28			
P035	I	Ⅲ	-51969.99	28949.05	92.09	0.43	0.37	0.22	0.20	0.12			
P036	I	Ⅲ	-51969.65	28948.33	91.93	0.32	0.26	0.19	0.16	0.28			
P037	I	Ⅲ	-51971.14	28947.77	91.67	0.33	0.23	0.12	0.11	0.49			
P038	I	Ⅲ	-51971.73	28948.21	92.09	0.34	0.28	0.19	0.11	0.13			
P039	I	Ⅲ	-51972.70	28948.35	91.99	0.31	0.26	0.18	0.15	0.20			
P040	I	Ⅲ	-51973.22	28948.72	91.98	0.28	0.24	0.14	0.13	0.16			
P041	I	Ⅲ	-51974.11	28949.11	92.04	0.40	0.36	0.22	0.20	0.10			
P042	I	Ⅲ	-51974.83	28948.42	92.05	0.30	0.27	0.23	0.19	0.11			
P043	I	Ⅲ	-51973.45	28947.51	92.04	0.36	0.31	0.20	0.19	0.08			
P044	I	Ⅲ	-51973.33	28947.70	92.04	0.18	0.16	0.12	0.11	0.09			
P045	I	Ⅲ	-51972.84	28947.19	91.81	0.44	0.35	0.17	0.12	0.32			
P046	I	Ⅲ	-51973.54	28946.50	92.00	0.23	0.19	0.13	0.11	0.09			
P047	I	Ⅲ	-51972.53	28946.30	91.83	0.40	0.31	0.23	0.16	0.23			
P048	I	Ⅲ	-51973.32	28944.02	91.80	0.20	(0.10)	0.15	0.10	0.26		P048><SK02	
P049	I	Ⅲ	-51972.87	28944.11	91.83	0.29	0.26	0.11	0.10	0.23			
P050	I	Ⅲ	-51972.99	28943.42	91.78	0.34	0.25	0.14	0.11	0.34			
P051	I	Ⅲ	-51971.91	28943.82	91.93	(0.35)	0.30	0.28	0.25	0.19			調査区外
P052	I	Ⅲ	-51970.74	28944.37	91.90	0.39	0.31	0.28	0.17	0.27			
P053	I	Ⅲ	-51969.43	28944.85	91.83	0.42	0.38	0.13	0.08	0.38			
P054	I	Ⅲ	-51969.99	28944.66	92.11	0.20	0.16	0.08	0.05	0.09			
P055	I	Ⅲ	-51967.89	28946.22	92.03	0.29	0.27	0.18	0.14	0.15			
P056	I	Ⅲ	-51966.74	28953.07	91.87	0.40	0.36	0.26	0.16	0.26		P056<SD06	
P057	I	Ⅲ	-51964.47	28951.74	91.85	0.33	0.23	0.18	0.13	0.29		P057<SD05	
P058	I	Ⅲ	-51970.45	28945.12	92.06	0.38	0.28	0.24	0.16	0.15			
P059	I	Ⅲ	-51972.32	28950.01	92.08	0.39	0.34	0.29	0.24	0.11			
P060	I	Ⅲ	-51969.38	28947.98	92.04	0.25	0.20	0.13	0.09	0.13			
P061	I	Ⅲ	-51969.23	28947.24	91.91	0.26	0.25	0.10	0.07	0.24			
P062	I	Ⅲ	-51969.31	28947.48	92.08	0.35	0.29	0.21	0.19	0.09			
P063	I	Ⅲ	-51965.00	28950.28	91.86	0.30	-	0.13	0.11	0.29		P063<SD05・P118	
P064	I	Ⅲ	-51964.97	28950.61	91.91	0.30	-	0.10	0.10	0.27		P064<SD05・P118	
P065	I	Ⅲ	-51964.41	28950.05	91.76	0.32	0.29	0.16	0.14	0.39			底面に礫
P066	I	Ⅲ	-52026.95	28926.56	92.03	0.35	0.32	0.19	0.16	0.16			
P067	I	Ⅲ	-52026.95	28928.93	91.70	0.30	0.25	0.12	0.10	0.47			
P068	I	Ⅲ	-52027.79	28928.50	91.87	0.52	0.45	0.15	0.10	0.30			底面に礫
P069	I	Ⅲ	-52027.74	28928.96	91.84	0.46	0.38	0.16	0.13	0.32			
P070	I	Ⅲ	-52028.92	28932.15	92.01	0.37	0.35	0.14	0.11	0.22			
P071	I	Ⅲ	-52029.97	28930.21	92.05	0.45	(0.30)	0.25	(0.20)	0.18		P071<P072	
P072	I	Ⅲ	-52030.42	28930.12	91.80	0.76	0.71	0.53	0.41	0.43		P072>P071	
P073	I	Ⅲ	-52029.22	28927.47	92.09	0.38	0.33	0.15	0.11	0.11			

第4表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	建物	重複関係等 (旧<新、>>は不明)	備考
P074	I	Ⅲ	-52030.78	28925.53	91.96	0.26	0.23	0.12	0.08	0.27			
P075	I	Ⅲ	-52031.56	28924.28	91.87	0.44	0.42	0.11	0.09	0.36			
P076	I	Ⅲ	-52032.63	28923.90	91.92	0.54	0.39	0.15	0.14	0.28			
P077	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P078	I	Ⅲ	-52030.84	28927.48	91.97	0.43	0.34	0.19	0.14	0.24			
P079	I	Ⅲ	-52031.39	28927.90	91.88	0.24	0.22	0.11	0.10	0.34			
P080	I	Ⅲ	-52031.93	28927.41	92.14	0.27	0.16	0.15	0.12	0.10			
P081	I	Ⅲ	-52032.47	28926.91	91.94	0.46	0.39	0.24	0.21	0.26			底面に礫
P082	I	Ⅲ	-52032.03	28930.28	91.84	0.31	0.29	0.21	0.16	0.35			底面に礫
P083	I	Ⅲ	-52033.52	28930.37	92.02	0.28	0.24	0.17	0.15	0.18			
P084	I	Ⅲ	-52033.39	28926.61	92.05	0.26	0.06	0.13	0.10	0.11			
P085	I	Ⅲ	-52033.52	28923.38	92.06	0.25	0.22	0.12	0.12	0.13			
P086	I	Ⅲ	-52034.97	28923.12	92.05	0.40	-	0.22	0.21	0.17		P086><P087	
P087	I	Ⅲ	-52035.20	28923.02	92.09	0.25	-	0.17	0.11	0.11		P087><P086	
P088	I	Ⅲ	-52028.47	28931.33	91.75	0.41	0.37	0.12	0.11	0.45			←P118
P089	I	Ⅲ	-52036.73	28923.30	92.00	0.23	0.19	0.12	0.11	0.20			
P090	I	Ⅲ	-52037.09	28922.73	91.97	0.39	0.35	0.20	0.13	0.26			
P091	I	Ⅲ	-52039.28	28921.62	92.11	0.28	0.26	0.14	0.12	0.14			
P092	I	Ⅲ	-52038.31	28925.77	92.00	0.73	0.70	0.58	0.54	0.22			
P093	I	Ⅲ	-52039.73	28925.29	91.88	0.42	0.38	0.24	0.23	0.33			
P094	I	Ⅲ	-52040.05	28927.22	91.97	0.45	0.35	0.20	0.17	0.25			
P095	I	Ⅲ	-52043.23	28927.74	91.96	0.52	0.37	0.25	0.17	0.23			
P096	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P097	I	Ⅲ	-52039.96	28921.18	92.00	0.50	-	0.39	0.29	0.28	SB11	P097><P098	底面に板
P098	I	Ⅲ	-52040.04	28921.52	91.93	0.65	-	0.35	0.26	0.34	SB11	P098><P097	底面に板
P099	I	Ⅲ	-52041.96	28920.16	92.15	0.30	-	0.20	-	0.11			調査区外 ←P090
P100	I	Ⅲ	-52041.51	28921.23	92.00	0.37	0.26	0.16	0.12	0.25			
P101	I	Ⅲ	-52044.16	28919.97	91.96	0.38	0.37	0.27	0.24	0.29			
P102	I	Ⅲ	-52045.49	28919.31	92.03	-	-	-	-	0.23	SB11		調査区外
P103	I	Ⅲ	-52040.20	28923.27	91.92	0.76	0.73	0.57	0.53	0.30	SB11		底面に礫
P104	I	Ⅲ	-52041.61	28923.28	91.91	0.76	0.68	0.57	0.48	0.27	SB11		
P105	I	Ⅲ	-52042.99	28923.10	91.88	0.92	0.64	0.67	0.37	0.39	SB11		底面に礫
P106	I	Ⅲ	-52044.44	28923.09	91.92	0.72	0.56	0.58	0.48	0.27	SB11		
P107	I	Ⅲ	-52043.88	28926.69	91.90	0.46	0.40	0.35	0.28	0.34			
P108	I	Ⅲ	-51969.40	28948.60	91.83	0.42	0.36	0.18	0.16	0.37		P108>SD05	
P109	I	Ⅲ	-52041.23	28925.18	91.83	0.86	0.84	0.68	0.64	0.38			
P110	I	Ⅲ	-52043.80	28924.76	91.92	0.87	0.61	0.77	0.43	0.34			
P111	I	Ⅲ	-52045.12	28924.19	91.84	0.86	0.75	0.49	0.39	0.34			
P112	I	Ⅲ	-52045.81	28922.97	91.96	0.98	0.65	0.54	0.47	0.33	SB11		
P113	I	Ⅲ	-52045.65	28920.86	92.01	1.16	0.65	0.99	0.50	0.35	SB11		
P114	I	Ⅲ	-52042.45	28922.30	92.06	0.35	0.32	0.19	0.12	0.17			
P115	I	Ⅲ	-52020.23	28928.58	91.98	0.37	0.33	0.16	0.14	0.19			
P116	I	Ⅲ	-52014.38	28929.93	91.90	0.42	0.31	0.17	0.12	0.25			
P117	I	Ⅲ	-51965.60	28949.60	91.84	0.37	0.34	0.18	0.15	0.24		P117><SD05	
P118	I	Ⅲ	-51965.09	28950.51	91.87	-	-	0.15	0.14	0.28		P118><SD05 P118><P063・P064	
P119	M	Ⅲ	-52061.17	28954.15	91.88	0.26	0.25	0.06	0.04	0.30			
P120	M	Ⅲ	-52062.44	28957.01	91.91	0.27	0.25	0.18	0.12	0.29			
P121	M	Ⅲ	-52063.53	28956.41	91.93	0.25	0.21	0.16	0.09	0.29			
P122	M	Ⅲ	-52063.73	28958.14	92.11	0.26	0.24	0.14	0.12	0.12			底面に礫
P123	M	Ⅲ	-52066.07	28963.34	91.85	0.34	0.31	0.19	0.16	0.27			
P124	M	Ⅲ	-52062.62	28954.91	92.09	0.71	0.45	0.43	0.26	0.15			
P125	M	Ⅲ	-52065.40	28970.26	91.96	(0.75)	0.30	0.53	0.30	0.25			調査区外
P126	M	Ⅲ	-52069.48	28973.89	91.97	0.36	0.32	0.21	0.13	0.11			
P127	M	Ⅲ	-52072.43	28987.62	91.78	0.26	0.23	0.11	0.09	0.22	SB12		
P128	M	Ⅲ	-52072.72	28989.32	91.80	0.36	0.33	0.25	0.20	0.18	SB12		
P129	M	Ⅲ	-52073.08	28991.09	91.83	0.36	0.32	0.18	0.17	0.17	SB12		
P130	M	Ⅲ	-52073.32	28992.90	91.86	0.35	0.29	0.22	0.16	0.13	SB12		
P131	M	Ⅲ	-52073.64	28994.22	91.85	0.35	0.30	0.21	0.20	0.17	SB12		
P132	M	Ⅲ	-52074.15	28989.18	91.85	0.31	0.25	0.22	0.17	0.13	SB12		
P133	M	Ⅲ	-52074.54	28991.01	91.76	0.39	0.36	0.29	0.23	0.18	SB12		
P134	M	Ⅲ	-52074.76	28992.70	91.76	0.40	0.30	0.21	0.16	0.21	SB12		
P135	M	Ⅲ	-52075.05	28994.01	91.85	0.55	0.33	0.39	0.17	0.15	SB12		
P136	M	Ⅲ	-52065.82	28967.39	91.97	0.55	0.33	0.40	0.19	0.16			
P137	M	Ⅲ	-52075.05	28995.02	91.88	0.52	0.46	0.21	0.17	0.12			
P138	M	Ⅲ	-52074.60	28995.82	91.90	0.26	0.24	0.14	0.12	0.10			
P139	M	Ⅲ	-52075.14	28997.79	91.81	0.27	0.17	0.10	0.09	0.16			
P140	M	Ⅲ	-52075.95	28997.69	91.87	0.19	0.17	0.10	0.09	0.10			
P141	M	Ⅲ	-52076.99	28998.18	91.87	0.34	0.28	0.22	0.15	0.08			
P142	M	Ⅲ	-52076.99	28998.87	91.86	0.25	0.18	0.12	0.07	0.09			
P143	M	Ⅲ	-52077.48	29000.49	91.86	0.22	0.18	0.11	0.10	0.09			
P144	M	Ⅲ	-52077.55	29001.94	91.82	0.99	0.40	0.33	0.15	0.15			

第4表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	建物	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考
P145	M	Ⅲ	-52078.79	29002.18	91.83	0.26	0.25	0.13	0.12	0.10			
P146	M	Ⅲ	-52077.93	29006.54	91.84	0.25	0.22	0.13	0.12	0.10			
P147	M	Ⅲ	-52066.55	28972.46	91.96	0.39	0.33	0.21	0.17	0.21			
P148	M	Ⅲ	-52061.50	28956.77	91.84	0.34	0.26	0.12	0.09	0.33		P148>SK12	
P149	M	Ⅲ	-52073.64	28987.31	91.80	0.18	0.15	0.13	0.10	0.16	SB12		
P150	M	Ⅲ	-52070.57	28977.24	91.83	0.23	0.17	0.11	0.06	0.28			
P151	M	Ⅲ	-52068.73	28978.51	91.91	0.33	0.21	0.13	0.11	0.22			
P152	N	Ⅲ	-52103.74	29078.46	91.74	0.38	0.32	0.26	0.21	0.15			
P153	N	Ⅲ	-52084.81	29028.57	91.81	0.34	0.24	0.14	0.10	0.20			
P154	N	Ⅲ	-52091.92	29048.25	91.79	0.29	0.21	0.22	0.09	0.14			
P155	N	Ⅲ	-52094.80	29054.26	91.67	0.30	0.25	0.16	0.10	0.20			
P156	N	Ⅲ	-52103.58	29080.67	91.66	0.29	0.24	0.09	0.07	0.30			
P157	N	Ⅲ	-52108.12	29091.05	91.83	0.21	0.18	0.16	0.12	0.14			
P158	N	Ⅲ	-52105.77	29090.08	91.79	0.29	0.17	0.15	0.14	0.22			
P159	N	Ⅲ	-52108.09	29089.78	91.84	0.30	0.22	0.18	0.12	0.13			
P160	N	Ⅲ	-52109.05	29091.36	91.88	0.25	0.23	0.13	0.11	0.12			
P161	H4	Ⅲ	-52007.98	28879.03	92.02	0.89	0.61	0.55	0.48	0.44	SB09		
P162	H4	Ⅲ	-52006.00	28879.34	91.94	0.47	0.44	0.26	0.00	0.47	SB09		
P163	H4	Ⅲ	-52003.27	28878.53	92.29	0.29	0.25	0.17	0.00	0.10			
P164	H4	Ⅲ	-52003.69	28877.26	91.89	0.70	(0.50)	0.39	0.33	0.48	SB09		調査区外
P165	H4	Ⅲ	-52002.61	28876.87	92.30	0.23	0.19	0.10	0.10	0.10			
P166	H4	Ⅲ	-52001.74	28876.85	92.25	0.36	0.29	0.29	0.23	0.15	SB08		底面に礫
P167	H4	Ⅲ	-52001.07	28877.36	92.22	0.51	0.40	0.33	0.24	0.18			底面に礫
P168	H4	Ⅲ	-51999.93	28876.98	92.25	0.26	0.23	0.14	0.10	0.12	SB08		
P169	H4	Ⅲ	-51997.93	28876.96	92.04	0.50	(0.30)	0.20	(0.15)	0.32	SB08		調査区外
P170	H4	Ⅲ	-51997.92	28875.84	92.01	0.56	0.50	0.35	0.22	0.33	SB07		
P171	H4	Ⅲ	-51996.06	28875.94	91.96	0.48	0.40	0.19	0.15	0.41	SB07		
P172	H4	Ⅲ	-51995.67	28875.80	92.08	0.63	0.59	0.47	0.43	0.27			
P173	H4	Ⅲ	-51996.02	28874.97	91.98	0.54	0.38	0.19	0.19	0.37			
P174	H4	Ⅲ	-51994.53	28874.50	92.16	0.34	0.28	-	-	0.68			下端未計測
P175	H4	Ⅲ	-51993.34	28874.87	92.06	0.42	0.35	0.24	0.19	0.29			底面に礫
P176	H4	Ⅲ	-51993.39	28873.89	92.07	(0.40)	0.45	0.20	0.18	0.34			調査区外 底面に礫
P177	H4	Ⅲ	-51991.97	28874.90	92.27	0.31	0.26	0.15	0.11	0.10			
P178	H4	Ⅲ	-51991.93	28874.33	92.31	0.25	0.21	0.14	0.11	0.06			
P179	H4	Ⅲ	-51991.85	28873.44	92.16	0.40	0.39	0.19	0.18	0.17			
P180	H4	Ⅲ	-51991.11	28874.59	92.22	0.27	0.21	0.15	0.11	0.15		P180>SK24	
P181	H4	Ⅲ	-51984.72	28872.27	91.86	0.30	0.28	0.18	0.08	0.49			
P182	H4	Ⅲ	-51980.39	28870.87	92.16	0.37	0.32	0.26	0.19	0.15			
P183	H4	Ⅲ	-51980.11	28869.75	91.92	0.54	0.49	0.25	0.23	0.36	SB06		
P184	H4	Ⅲ	-51978.08	28869.88	91.90	0.42	0.35	0.19	0.16	0.44	SB06		
P185	H4	Ⅲ	-51974.52	28867.91	91.97	0.36	0.28	0.14	0.13	0.38			
P186	H4	Ⅲ	-51962.60	28865.07	91.95	0.40	0.40	0.20	0.12	0.45			
P187	H4	Ⅲ	-51960.90	28862.79	92.17	0.50	(0.25)	0.25	(0.15)	0.21			調査区外
P188	H4	Ⅲ	-51960.22	28862.59	91.87	0.70	(0.30)	0.26	0.12	0.49	SB04		調査区外
P189	H4	Ⅲ	-51959.81	28862.68	92.15	0.41	0.34	0.29	0.26	0.18	SB05		
P190	H4	Ⅲ	-51958.55	28862.56	92.04	0.50	(0.45)	0.24	0.22	0.32	SB04	P190><P191	
P191	H4	Ⅲ	-51958.03	28862.65	92.09	(0.75)	(0.60)	0.32	0.26	0.26	SB05	P191><P190	
P192	H4	Ⅲ	-51956.35	28862.46	92.11	(0.65)	0.60	0.21	0.15	0.26	SB04	P192><P193	
P193	H4	Ⅲ	-51956.04	28862.61	92.15	0.35	(0.25)	0.16	0.14	0.25	SB05	P193><P192	
P194	H4	Ⅲ	-51954.31	28862.46	92.06	0.45	(0.20)	-	-	0.33	SB04		調査区外
P195	H4	Ⅲ	-51954.66	28861.90	92.05	0.31	0.23	0.16	0.01	0.31			
P196	H4	Ⅲ	-51954.12	28861.50	91.91	0.36	0.30	0.15	0.13	0.45			
P197	H4	Ⅲ	-51954.12	28860.79	92.18	0.34	0.29	0.22	0.20	0.17	SB04		
P198	H4	Ⅲ	-51952.40	28860.68	92.02	(0.40)	(0.40)	0.24	0.16	0.37		P198><P200・P201	
P199	H4	Ⅲ	-51952.46	28860.20	92.09	(0.40)	(0.40)	0.29	0.28	0.29		P199><P200	
P200	H4	Ⅲ	-51952.48	28860.45	92.12	(0.40)	(0.30)	(0.20)	0.20	0.30		P200><P198・P199	
P201	H4	Ⅲ	-51951.98	28860.89	92.15	(0.40)	0.30	0.19	0.19	0.24		P201><P198	
P202	H4	Ⅲ	-51951.88	28860.17	92.18	0.48	0.45	0.38	0.31	0.26	SB02		
P203	H4	Ⅲ	-51951.23	28860.23	92.15	0.53	0.51	0.37	0.32	0.27	SB03		
P204	H4	Ⅲ	-51950.48	28860.17	92.04	0.46	0.41	0.27	0.18	0.38			
P205	H4	Ⅲ	-51950.13	28860.16	91.97	0.41	0.34	0.19	0.15	0.43	SB02		
P206	H4	Ⅲ	-51949.96	28860.51	92.05	0.35	(0.30)	0.18	0.15	0.35		P206><P207・P208	
P207	H4	Ⅲ	-51950.13	28860.72	92.15	(0.60)	0.40	0.22	0.20	0.26		P207><P206・P208	
P208	H4	Ⅲ	-51949.80	28860.84	92.12	0.30	(0.20)	0.19	0.17	0.28		P208><P206・P207	
P209	H4	Ⅲ	-51949.68	28859.26	92.12	0.38	0.37	0.16	0.15	0.27	SB01		
P210	H4	Ⅲ	-51949.24	28860.37	92.17	0.49	0.42	0.30	0.26	0.26	SB03		
P211	H4	Ⅲ	-51948.95	28859.73	92.29	0.73	0.41	0.44	0.30	0.14			
P212	H4	Ⅲ	-51948.28	28860.16	92.11	0.43	0.37	0.21	0.14	0.35	SB02		
P213	H4	Ⅲ	-51948.36	28859.44	92.29	0.40	(0.30)	0.21	0.11	0.17		P213><P214	
P214	H4	Ⅲ	-51948.12	28859.25	92.00	0.40	(0.30)	0.29	0.13	0.46	SB01	P214><P213	
P215	H4	Ⅲ	-51947.44	28859.17	92.26	0.31	0.25	0.15	0.14	0.19			
P216	H4	Ⅲ	-51947.23	28860.16	92.23	0.50	(0.25)	(0.30)	(0.15)	0.22	SB03		調査区外

第4表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	建物	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考
P217	H4	Ⅲ	-51946.69	28859.15	92.28	(0.20)	0.20	0.16	0.10	0.19		P217><P218	
P218	H4	Ⅲ	-51946.67	28859.37	92.00	(0.30)	0.25	0.16	0.12	0.43	SB01	P218><P217	
P219	H4	Ⅲ	-51946.30	28858.15	92.04	0.38	0.33	0.15	0.12	0.43			
P220	H4	Ⅲ	-51945.37	28858.36	92.14	0.24	0.22	0.13	0.10	0.33			
P221	H4	Ⅲ	-51944.29	28858.27	92.08	0.36	0.30	0.21	0.17	0.35			
P222	H4	Ⅲ	-51943.65	28857.18	92.15	0.34	0.28	0.15	0.13	0.35			
P223	H4	Ⅲ	-51943.19	28858.54	92.25	0.29	0.24	0.10	0.07	0.21			
P224	H4	Ⅲ	-51942.63	28857.23	92.26	0.28	0.25	0.12	0.10	0.20			
P225	H4	Ⅲ	-51938.75	28857.12	92.37	-	-	-	-	0.13			調査区外
P226	H4	Ⅲ	-51953.15	28860.45	92.17	0.53	0.43	0.43	0.37	0.20			
P227	H4	Ⅲ	-51999.15	28875.66	92.20	-	-	0.19	0.18	0.24		P227><SD23	
P228	H4	Ⅲ	-51999.05	28875.99	92.17	-	-	0.23	0.18	0.21		P228><SD23	底面に礫
P229	H4	Ⅲ	-51999.32	28876.98	92.15	(0.20)	(0.15)	(0.15)	(0.10)	0.25		P229<SD23	
P230	H4	Ⅲ	-52003.81	28878.93	92.22	0.44	0.32	0.18	0.15	0.18		P230>SK22	
P231	H4	Ⅲ	-52004.13	28879.43		(0.7)	(0.3)	-	-	-	SB09		調査区外 検出のみ
P232	Q2	Ⅲ	-51909.68	28957.92	92.14	0.37	0.31	0.25	0.22	0.32			
P233	Q2	Ⅲ	-51912.46	28957.26	92.25	0.43	0.31	0.31	0.18	0.25			
P234	Q2	Ⅲ	-51932.00	28953.32	92.07	0.39	0.29	0.27	0.24	0.11			
P235	Q2	Ⅲ	-51934.96	28954.68	91.90	0.50	0.42	0.32	0.28	0.19			
P236	Q2	Ⅲ	-51908.46	28959.07	92.37	0.29	0.25	0.19	0.15	0.12			
P237	Q1	Ⅲ	-51846.72	28977.86	91.55	0.90	(0.60)	0.45	(0.45)	0.66			調査区外
P238	Q2	Ⅲ	-51850.57	28977.72	91.79	1.10	0.89	0.62	0.34	0.62			
P239	Q2	Ⅲ	-51851.25	28979.28	91.76	0.99	0.60	0.75	0.34	0.32			
P240	Q2	Ⅲ	-51858.42	28978.34	91.89	0.75	0.57	0.54	0.35	0.23			
P241	Q2	Ⅲ	-51910.19	28959.85	92.29	0.43	0.37	0.20	0.19	0.17			
P242	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P243	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P244	S	Ⅲ	-51921.38	29039.23	92.21	0.31	0.23	0.18	0.14	0.24			
P245	S	Ⅲ	-51922.39	29044.65	92.28	0.60	(0.15)	0.40	(0.10)	0.11			調査区外
P246	S	Ⅲ	-51922.69	29045.73	92.09	0.60	(0.20)	0.35	(0.15)	0.11			調査区外
P247	S	Ⅲ	-51924.33	29053.12	92.29	0.32	0.27	0.19	0.13	0.14			
P248	S	Ⅲ	-51928.39	29070.70	92.17	0.80	(0.35)	0.50	(0.25)	0.30			調査区外
P249	S	Ⅲ	-51928.54	29072.58	91.95	0.29	0.27	0.14	0.13	0.35			
P250	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P251	H3	Ⅲ	-52025.72	28884.90	91.69	0.40	0.35	0.25	0.18	0.67		P251><SD44	
P252	H3	Ⅲ	-52024.83	28886.02	92.09	0.30	0.20	0.19	0.15	0.26		P252><SD44	
P253	H3	Ⅲ	-52010.60	28881.38	91.90	(0.50)	(0.35)	(0.40)	(0.20)	0.55		P253><SK30	調査区外
P254	H3	Ⅲ	-52011.56	28881.35	91.96	0.40	0.35	0.14	0.01	0.52			
P255	H3	Ⅲ	-52014.40	28882.73	91.88	(0.40)	(0.30)	(0.25)	(0.25)	0.55			調査区外
P256	H3	Ⅲ	-52014.29	28880.95	92.10	0.29	0.24	0.13	0.10	0.32			
P257	H3	Ⅲ	-52014.54	28880.99	92.08	0.38	0.29	0.32	0.21	0.34			
P258	H3	Ⅲ	-52015.83	28882.85	91.97	0.32	0.27	0.21	0.18	0.15			
P259	H3	Ⅲ	-52017.16	28882.97	92.02	0.27	0.25	0.15	0.09	0.40			
P260	H3	Ⅲ	-52017.00	28882.19	92.24	0.31	0.23	0.12	0.12	0.18			
P261	H3	Ⅲ	-52016.89	28882.54	92.08	(0.30)	(0.20)	(0.25)	(0.15)	0.32			
P262	H3	Ⅲ	-52017.69	28883.55	92.17	0.36	0.34	0.29	0.26	0.21			
P263	H3	Ⅲ	-52019.10	28883.82	92.02	0.64	0.54	0.35	0.28	0.21			
P264	H3	Ⅲ	-52019.70	28882.76	92.26	0.35	0.31	0.29	0.23	0.16			
P265	H3	Ⅲ	-52020.84	28883.06	92.09	0.25	0.22	0.10	0.08	0.29			
P266	H3	Ⅲ	-52020.84	28884.46	92.25	0.24	0.20	0.14	0.12	0.16			
P267	H3	Ⅲ	-52022.96	28884.19	92.23	0.26	0.21	0.13	0.12	0.22			
P268	H3	Ⅲ	-52023.47	28884.40	91.89	0.55	0.46	0.29	0.18	0.51			
P269	H3	Ⅲ	-52021.45	28884.73	92.13	0.25	0.23	0.18	0.11	0.30			
P270	H3	Ⅲ	-52023.80	28885.18	92.11	0.49	0.41	0.16	0.15	0.26			
P271	H3	Ⅲ	-52023.62	28885.61	92.06	0.42	0.30	0.26	0.23	0.33			
P272	H3	Ⅲ	-52024.29	28885.94	91.87	0.30	(0.25)	0.21	0.15	0.49		P272<SD44	
P273	H3	Ⅲ	-52025.97	28885.09	91.81	(0.30)	(0.20)	(0.15)	(0.10)	0.56		P273<SD44	
P274	H3	Ⅲ	-52029.92	28888.19	92.07	(0.55)	(0.35)	(0.30)	(0.20)	0.38			調査区外
P275	H3	Ⅲ	-52031.79	28887.92	91.99	0.57	0.50	0.33	0.28	0.38			
P276	H3	Ⅲ	-52036.01	28890.37	92.11	(0.40)	(0.30)	(0.30)	(0.20)	0.30			調査区外
P277	H3	Ⅲ	-52035.81	28888.75	92.03	(0.30)	(0.15)	0.16	0.14	0.41		P277><SD40	
P278	H3	Ⅲ	-52037.42	28888.81	91.98	-	-	-	-	0.50		P278<SK39	規模不明
P279	H3	Ⅲ	-52038.01	28889.68	91.96	0.62	0.48	0.34	0.32	0.46			
P280	H3	Ⅲ	-52038.77	28890.40	92.12	0.43	0.28	0.20	0.18	0.25			
P281	H3	Ⅲ	-52032.09	28888.99	92.13	(0.40)	(0.20)	(0.30)	(0.20)	0.19			調査区外
P282	H3	Ⅲ	-52032.63	28889.04	92.18	0.42	0.31	0.20	0.16	0.19			
P283	H3	Ⅲ	-52032.42	28888.21	92.08	0.35	0.30	0.25	0.13	0.23			
P284	H3	Ⅲ	-52010.26	28879.10	92.10	(0.70)	(0.30)	(0.65)	(0.20)	0.34	SB09		調査区外

第5表 土坑・井戸跡観察表

(残存値)

遺構名	性 格	区 域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	平面形	開口部 長軸方向 (N-x°-E)	開口部 長軸 (m)	開口部 短軸 (m)	底部 長軸 (m)	底部 短軸 (m)	深さ (m)	埋土の堆積状況 (上位→下位)	付属 施設	重複関係 (旧<新、>は不明)	時期	備考	図版No	写真No
SK01	土坑	I	Ⅲ	-51985.29	28944.36	91.93	楕円形	42	1.43	0.84	0.70	0.42	0.34	黒色土・黒褐色土	なし		12世紀		28	18
SK02	土坑	I	Ⅲ	-51973.72	28943.83	91.69	楕円形	-47	1.33	0.86	0.81	0.57	0.36	黒褐色土・黒色土・褐灰色土	なし		不明		28	18
SK03	土坑	I	Ⅲ	-51991.52	28937.54	91.29	楕円形?	-	(0.78)	0.96	(0.60)	(0.70)	0.90	黒色土	なし		12世紀	調査区外	28	18
SK04	土坑	I	Ⅲ	-51989.09	28938.21	91.71	円形?	-	(1.00)	(0.30)	(0.70)	(0.20)	0.49	黒褐色土・黒色土	なし		12世紀	調査区外	28	18
SK05	土坑	I	Ⅲ	-51991.43	28939.91	91.40	円形	-1	1.41	1.08	1.15	0.90	0.91	黒褐色土	なし		12世紀		28	19
SK06	井戸跡	I	Ⅲ	-51993.46	28937.52	91.21	円形	83	1.65	1.50	1.29	1.20	0.91	黒褐色土・におい黄褐色土・黒色土・褐灰色土	なし		12世紀		29	19
SK07	土坑	I	Ⅲ	-51976.01	28946.73	91.81	台形	-34	2.27	1.82	1.63	1.17	0.35	黒色土・褐色土・褐灰色土	なし		12世紀		29	19
SK08	井戸跡	I	Ⅲ	-52016.83	28936.69	91.36	円形?	-	1.30	(0.76)	0.54	(0.48)	0.76	黒色土・暗褐色土・褐色土	なし		12世紀	調査区外	29	20
SK09	土坑	I	Ⅲ	-52002.39	28941.11	91.37	楕円形?	-	1.90	-	1.44	-	0.58	黒色土・暗褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	29	20
SK10	土坑	I	Ⅲ	-52042.40	28924.45	91.94	楕円形	20	1.88	1.04	1.64	0.74	0.32	黒褐色土	なし		12世紀		30	20
SK11	井戸跡	M	Ⅲ	-52061.85	28951.61	91.21	円形	1	1.20	1.14	0.67	0.60	1.01	黒褐色土・黒色土・黄褐色土	なし		12世紀		30	20
SK12	土坑	M	Ⅲ	-52061.32	28957.63	91.83	楕円形	-46	1.82	1.36	1.29	0.56	0.39	黒褐色土・黒色土	なし	SK12<P148	12世紀		30	21
SK13	土坑	M	Ⅲ	-52063.95	28959.65	92.10	楕円形	4	1.78	0.99	1.43	0.68	0.13	黒色土	なし		不明		30	21
SK14	土坑	M	Ⅲ	-52079.10	29003.73	91.87	楕円形	9	1.24	1.04	0.96	0.78	0.08	黒色土	なし		不明		31	21
SK15	土坑	H1	Ⅲ	-52056.54	28918.14	91.99	円形	71	2.31	2.26	1.77	1.57	0.25	黒褐色土	なし		不明		31	21
SK16	土坑	H1	Ⅲ	-52084.00	28910.76	91.71	円形	-12	1.18	1.09	0.54	0.48	0.39	黒褐色土	なし		不明		31	22
SK17	土坑	H1	Ⅲ	-52065.37	28913.90	91.81	円形?	-	0.90	(0.30)	0.24	0.12	0.48	黒褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	31	23
SK18	土坑	N	Ⅲ	-52099.03	29067.29	91.62	楕円形	68	(1.21)	1.12	(0.98)	0.72	0.19	黒色土	なし	SK18<SD19	12世紀		31	22
SK19	土坑	N	Ⅲ	-52106.40	29082.53	91.71	三角形?	-	1.90	-	1.28	-	0.39	黒色土・暗褐色土	なし		12世紀		31	22
SK20	土坑	N	Ⅲ	-52105.96	29084.41	91.80	長方形	58	1.01	0.82	0.84	0.50	0.15	黒褐色土	なし		12世紀		32	22
SK21	土坑	H4	Ⅲ	-52000.23	28877.61	92.33	円形?	-	1.50	(0.50)	1.20	(0.45)	0.11	黒褐色土・暗褐色土	なし		近世以降		32	23
SK22	井戸跡	H4	Ⅲ	-52004.74	28878.60	91.74	円形	28	1.97	1.90	0.85	0.78	0.72	黒褐色土・暗褐色土・黄褐色土・におい黄褐色土	なし	SK22<P230	12世紀		32	23
SK23	井戸跡	H4	Ⅲ	-52000.58	28876.36	91.54	円形?	-	1.40	(1.30)	0.80	0.75	0.85	褐色土・黄褐色土・黒褐色土・褐灰色土・褐色土・におい黄褐色土・黒色土	なし		不明	調査区外	32	23
SK24	土坑	H4	Ⅲ	-51990.92	28874.80	92.04	円形?	-	1.00	(0.20)	-	-	0.36	黒褐色土	なし	SK24<P180	不明	調査区外	33	23
SK25	土坑	L	Ⅲ	-51954.54	29092.59	91.24	-	-	2.50	(0.86)	1.06	(0.72)	0.51	黒色土	なし		不明	調査区外	33	24
SK26	井戸跡	Q2	Ⅲ	-51918.71	28956.28	91.45	円形	-38	1.65	1.49	0.81	0.75	1.02	黒褐色土・黄褐色土・黒色土	なし		12世紀		33	24
SK27	井戸跡	Q2	Ⅲ	-51915.47	28956.33	91.29	円形	62	1.74	1.64	0.73	0.65	1.12	黒褐色土・暗褐色土・褐色土	なし		12世紀		33	24
SK28	土坑	Q2	Ⅲ	-51896.64	28961.58	91.97	円形	-2	0.89	(0.76)	0.81	0.68	0.54	黒褐色土	なし	SK28<SD36	12世紀		34	24
SK29	土坑	Q2	Ⅲ	-51901.05	28960.69	91.95	円形	-89	0.85	0.80	0.52	0.41	0.53	黒褐色土	なし		12世紀		34	24
SK30	土坑	H3	Ⅲ	-52010.40	28880.58	91.83	円形	0	1.43	1.25	0.83	0.80	0.65	黒褐色土・黒色土・灰黄褐色土・褐色土	なし		不明		34	25
SK31	土坑	H3	Ⅲ	-52027.62	28886.48	91.65	円形?	-	2.45	(2.35)	1.31	1.28	0.76	黒褐色土・褐色土・暗褐色土・黒色土・褐色土	なし	SK31>SK32	近世以降	調査区外	34	25
SK32	土坑	H3	Ⅲ	-52030.01	28887.19	92.01	長方形	-19	2.65	1.48	2.22	1.08	0.42	黒褐色土・黒色土・暗褐色土	なし	SK32<SK31	近世以降		35	26
SK33	土坑	H3	Ⅲ	-52040.93	28890.00	92.13	円形?	-	1.30	(0.39)	0.80	(0.30)	0.21	暗褐色土	木枠		不明	調査区外	36	27
SK34	土坑	H3	Ⅲ	-52046.73	28892.58	91.76	楕円形	61	1.15	0.76	0.69	0.39	0.36	黒褐色土・黒色土	なし		不明		37	27
SK35	土坑	S	Ⅲ	-51926.30	29062.64	91.63	-	-	2.14	(0.46)	1.08	(0.26)	0.69	黒褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	37	27
SK36	土坑	S	Ⅲ	-51929.13	29075.75	91.54	-	-	1.70	(0.44)	1.00	(0.22)	0.72	黒褐色土・褐色土	なし		不明	調査区外	37	27
SK37	土坑	S	Ⅲ	-51929.74	29077.28	91.47	円形?	-	(1.18)	(0.66)	0.68	(0.49)	0.73	黒褐色土	なし	SK37<SK38	12世紀		37	27
SK38	土坑	S	Ⅲ	-51929.80	29078.38	91.23	円形?	-	0.98	(0.66)	0.50	(0.56)	1.01	黒褐色土	なし	SK38>SK37	12世紀		37	27
SK39	土坑	H3	Ⅲ	-52036.60	28888.74	91.75	円形	-	1.20	(0.80)	1.04	(0.60)	0.68	暗褐色土・黒色土・黒褐色土	なし	SK39<SD39	不明	調査区外	33	28
SK40	陥し穴	Q2	Ⅲ	-51896.83	28968.51	91.02	溝形	-32	(2.04)	0.96	(1.74)	0.37	1.39	黒色土・褐色土・黒褐色土・黄褐色土	なし		縄文	調査区外	33	28
SK41	土坑	R3	Ⅲ	-51998.15	29070.85	91.13	正方形	-	2.08	(1.68)	1.46	(1.40)	0.78	黒色土・黒褐色土	なし		12世紀	調査区外 SD29変更	33	28

第6表 溝跡観察表

(残存値)

遺構名	性格	区域	検出面	座標値X (m)	座標値Y (m)	座標値Z (m)	平面形 (間溝状)	長軸方向 (N-S・E)	長軸 (m)	開口部幅 (m)	底部幅 (m)	比高差 (m)	埋土の堆積状況 (上位→下位)	付属施設	重複 (旧<新、><は不明)	時期	備考	図版No.	写真No.
SD01	溝跡	I	Ⅲ	-52021.44	28932.94	91.96	湾曲 (間溝状)	-	-	0.93	0.63	0.25	黒褐色土	なし		不明	調査区外 内部にSD09	38	29
SD02	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	なし	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
SD03	溝跡	I	Ⅲ	-51961.09	28951.64	91.91	直線	-70	(8.20)	0.52	0.38	0.23	黒色土	なし	欠番	12世紀	調査区外	39	30
SD04	溝跡	I	Ⅲ	-51963.22	28950.76	91.89	直線	-58	(8.61)	0.71	0.32	0.28	黒色土	なし	SD04><SD05	12世紀	調査区外	39	30
SD05	溝跡	I	Ⅲ	-51968.91	28948.61	92.02	直線(屈曲)	-	-	0.68	0.35	0.20	黒色土	なし	SD05<SD04・PV09・057・063・065・108・117・118	12世紀	調査区外	39	30
SD06	溝跡	I	Ⅲ	-51968.78	28952.17	92.06	直線	19	7.93	1.39	1.22	0.17	黒褐色土	なし	SD06<PV06・SD06<クラフ	12世紀	調査区外	39	30
SD07	溝跡	I	Ⅲ	-52047.65	28922.33	92.04	直線	90	(7.74)	2.89	2.45	0.19	黒褐色土・黒色土	P1~P3	SD07<クラフ	近世以降	調査区外 P1~P3	40	30
SD08	溝跡	H1・M	Ⅲ	-52053.75	28919.85	92.09	直線	88	(19.17)	0.72	0.34	0.14	暗褐色土・黒褐色土	なし	SD08<SD13	12世紀	調査区外	41	31
SD09	溝跡	M	Ⅲ	-52056.49	28940.88	92.14	直線	85	(6.92)	0.78	0.40	0.13	暗褐色土	なし	なし	不明	調査区外	42	31
SD10	溝跡	M	Ⅲ	-52057.97	28945.79	92.14	直線	82	(7.62)	0.68	0.41	0.10	暗褐色土	なし	SD10>SD11	12世紀	調査区外	42	31
SD11	溝跡	M	Ⅲ	-52058.94	28945.07	92.11	直線	86	(8.64)	1.11	0.87	0.27	黒褐色土	なし	SD11<SD10	12世紀	調査区外	42	32
SD12	溝跡	M	Ⅲ	-52067.24	28971.50	91.88	直線	4	(3.49)	1.37	0.74	0.29	黒色土	なし	なし	12世紀	調査区外	43	32
SD13	溝跡	H1	Ⅲ	-52054.84	28919.16	92.17	直線(屈曲)	-	(10.0)	0.39	0.13	0.21	黒褐色土	なし	SD13>SD08	不明	調査区外	41	32
SD14	溝跡	H1	Ⅲ	-52059.72	28917.85	92.14	直線	89	(3.91)	0.65	0.36	0.17	黒褐色土	なし	SD14>SD15, SD14<SD26	12世紀	調査区外	41	32
SD15	溝跡	H1	Ⅲ	-52060.21	28917.68	92.28	直線	88	(3.32)	(0.42)	(0.37)	0.05	黒褐色土	なし	SD15<SD14, SD15<SD26	不明	調査区外	41	32
SD16	溝跡	H1	Ⅲ	-52061.77	28916.89	92.26	直線	84	(4.02)	0.71	0.43	0.07	黒褐色土	なし	SD16>SD14・15	12世紀	調査区外	41	33
SD17	溝跡	H2	Ⅲ	-52055.24	28895.60	91.88	直線	76	(2.00)	2.04	0.47	0.26	黒褐色土	なし	なし	近世以降	調査区外	43	33
SD18	溝跡	H2	Ⅲ	-52061.24	28897.72	92.12	直線	74	(1.94)	1.28	0.95	0.11	黒褐色土	なし	なし	不明	調査区外	43	33
SD19	溝跡	N	Ⅲ	-52098.93	29066.24	91.63	直線	-1	(3.66)	0.99	0.80	0.24	黒色土・灰黄褐色土	なし	SD19>SK18	12世紀	調査区外	40	34
SD20	溝跡	N	Ⅲ	-52100.11	29069.10	91.54	直線	10	(3.46)	2.59	0.66	0.38	黒褐色土・黒色土	なし	なし	12世紀	調査区外	40	34
SD21	溝跡	N	Ⅲ	-52103.69	29079.91	91.71	直線	6	(3.91)	0.98	0.68	0.26	黒褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土	なし	なし	不明	調査区外	44	34
SD22	溝跡	N	Ⅲ	-52108.72	29092.62	91.78	直線	50	(4.12)	0.57	0.37	0.06	黒色土・黒褐色土	なし	なし	不明	調査区外	44	34
SD23	溝跡	H4	Ⅲ	-51999.17	28876.57	92.16	直線	72	(1.84)	0.54	0.38	0.28	黒褐色土・褐色土・暗褐色土・黄褐色土	なし	なし	不明	調査区外	44	35
SD24	溝跡	H4	Ⅲ	-51982.26	28870.86	91.95	直線	-87	(1.94)	2.61	0.42	0.65	黒褐色土・黒色土・暗褐色土・黄褐色土	なし	なし	近世以降	調査区外	45	35
SD25	溝跡	H4	Ⅲ	-51964.97	28865.10	91.99	直線	90	(1.95)	1.35	0.79	0.30	黒褐色土・暗褐色土・黒色土	なし	なし	12世紀	調査区外	44	35
SD26	溝跡	H1	Ⅲ	-52060.21	28917.34	92.26	直線	-15	(5.01)	0.32	0.12	0.15	黒褐色土	なし	SD26>SD14~16	不明	調査区外	41	32
SD27	溝跡	L	Ⅲ	-51956.99	29096.55	91.30	直線	-	(33.70)	(0.67)	(0.50)	0.46	黒色土・黒褐色土	なし	なし	12世紀	調査区外	46	36
SD28	溝跡	J	Ⅲ	-51836.46	29008.63	92.50	直線	-81	(19.99)	0.32	0.21	0.36	黒褐色土	なし	なし	12世紀	調査区外	47	36
SD29	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	なし	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
SD30	溝跡	R3	Ⅲ	-52015.01	29121.39	91.72	直線	16	(2.41)	1.29	0.84	0.25	黒色土・黒褐色土	なし	なし	12世紀	調査区外	45	37
SD31	溝跡	R3	Ⅲ	-52015.73	29124.03	91.76	直線	-13	(2.85)	0.37	0.20	0.19	黒褐色土	なし	なし	12世紀	調査区外	45	37
SD32	溝跡	R3	Ⅲ	-52015.94	29125.38	91.43	直線	16	(2.41)	1.40	0.47	0.60	黒褐色土	なし	なし	12世紀	調査区外	46	37
SD33	溝跡	R3	Ⅲ	-52025.15	29151.14	91.69	直線	6	(2.58)	0.66	0.29	0.39	黒褐色土	なし	なし	12世紀	調査区外	46	37
SD34	溝跡	Q1・Q2・S・K	Ⅲ	-51847.85	28982.31	91.59	湾曲	-	(105.10)	7.64	5.37	1.03	黒褐色土・暗褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土	P1~P4	SD34><SD35	12世紀	調査区外 P1~P4	48-52	38-42
SD35	溝跡	Q2	Ⅲ	-51866.98	28974.36	90.96	直線	-69	(7.42)	4.40	2.46	1.46	黒褐色土・黒色土	なし	SD35><SD34	12世紀	調査区外	49・53	41・42
SD36	溝跡	Q2	Ⅲ	-51919.44	28953.33	92.04	直線(屈曲)	-	(44.00)	1.50	1.12	0.74	黒褐色土・黒色土	なし	SD36><SD37・43	12世紀	調査区外	50・55	43・44
SD37	溝跡	Q2	Ⅲ	-51929.83	28954.15	92.13	直線	-68	(6.49)	0.56	0.22	0.26	黒褐色土	なし	SD37><SD36	12世紀	調査区外	54	45
SD38	溝跡	H3	Ⅲ	-52019.70	28883.72	92.24	直線	8	(4.42)	1.03	0.93	0.20	黒褐色土・褐色土	なし	SD38><P262・263・265	不明	調査区外	56	45
SD39	溝跡	H3	Ⅲ	-52034.88	28888.32	92.22	直線	5	(1.75)	0.85	0.46	0.18	褐灰色土	なし	SD39><SD40	不明	調査区外	56	46
SD40	溝跡	H3	Ⅲ	-52033.63	28888.47	92.21	直線	-78	(2.52)	1.19	0.89	0.15	黒褐色土・褐色土	なし	SD40><SD39	不明	調査区外	56	46
SD41	溝跡	H3	Ⅲ	-52049.42	28894.23	92.13	直線	80	(1.96)	1.61	1.44	0.09	褐色土	なし	なし	不明	調査区外	56	37
SD42	溝跡	S	Ⅲ	-51926.99	29065.31	91.91	直線	9	(0.53)	0.97	0.30	0.33	黒褐色土	なし	なし	不明	調査区外	47	37
SD43	溝跡	Q2	Ⅲ	-51923.67	28954.92	92.27	直線	-56	(5.92)	1.16	0.41	0.20	黒褐色土	なし	SD43><SD36	不明	調査区外	54	46
SD44	溝跡	H3	Ⅲ	-52025.44	28885.39	91.64	直線	-85	(2.15)	1.71	0.75	0.73	黒褐色土・黒色土・黄褐色土	なし	SD44><P251・252・273	12世紀	調査区外	56	46
SD45	溝跡	Q2	Ⅲ	-51933.75	28950.45	92.01	直線	-67	(3.73)	0.69	0.46	0.08	黒色土	なし	なし	不明	調査区外	54・55	46

第8表 出土地点別かわらけ重量表
竪穴住居跡(SI)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G2	SI103	床面 (No6)	24.9
2	G2	SI103 P2	埋土	1.1
合計				26.0

柱穴(P)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	I	P022	埋土	2.6
2	I	P025	埋土	6.6
3	I	P026	埋土	8.0
4	I	P027	埋土	51.9
5	I	P028	埋土	12.6
6	I	P029	埋土	43.0
7	I	P030	埋土	3.1
8	I	P031	埋土	8.4
9	I	P033	埋土	10.9
10	I	P034	埋土	14.7
11	I	P035	埋土	10.6
12	I	P037	埋土	12.7
13	I	P038	埋土	1.9
14	I	P039	埋土	10.8
15	I	P041	埋土	5.3
16	I	P045	埋土	23.5
17	I	P046	埋土	12.6
18	I	P048	埋土	12.5
19	I	P050	埋土	7.6
20	I	P052	埋土	1.7
21	I	P053	埋土	114.2
22	I	P055	埋土	4.4
23	I	P056	埋土	23.8
24	I	P057	埋土	51.1
25	I	P058	埋土	8.0
26	I	P060	埋土	2.1
27	I	P061	埋土	5.7
28	I	P065	埋土	26.8
29	I	P092 南半	埋土	29.3
30	I	P105	埋土	7.0
31	I	P106	埋土	0.9
32	I	P108	埋土	48.7
33	I	P109	埋土	47.4
34	I	P111	埋土	24.8
35	I	P113	埋土上位	197.8
36	M	P148	埋土	8.9
37	H4	P172 南半	埋土1層	3.8
38	H4	P185 北半	埋土1層	4.4
39	H4	P186 西半	埋土1層	5.0
40	H4	P187 東半	埋土1層	2.9
41	H4	P188 東半	埋土1層	6.3
42	H4	P190 東半	埋土1層	20.5
43	H4	P191 東半	埋土1層	14.0
44	H4	P195 北半	埋土1層	5.2
45	H4	P196 南半	埋土1層	6.4
46	H4	P200 南半	埋土1層	9.4
47	H4	P201 南半	埋土1層	7.7
48	H4	P203 北半	埋土1層	3.1
49	H4	P205 南半	埋土1層	3.3
50	H4	P206 南半	埋土1層	1.2
51	H4	P207 北半	埋土1層	0.9
52	H4	P208 北半	埋土1層	8.5
53	H4	P212 南半	埋土1層	34.4
54	H4	P214 東半	埋土1層	32.5
55	H4	P216 西半	埋土1層	27.3
56	H4	P219 南半	埋土1層	18.6
57	H4	P222 西半	埋土1層	10.5
58	H4	P230	埋土 (No1)	90.4
59	Q2	P234	埋土	2.8
60	Q2	P235	埋土	8.1
61	Q2	P237	埋土	220.7
62	Q2	P238 南半	埋土	23.7
63	Q2	P238	埋土	76.4
64	Q2	P239	埋土	239.0
65	Q2	P239 東半	埋土	124.1
66	Q2	P240	埋土	125.2
合計				1,998.2

土坑・井戸跡(SK)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	I	SK01 南半	埋土1層	7.1
小計				7.1
2	I	SK03 東半	埋土1層	15.1
3	I	SK03 東半	埋土中位	9.3
小計				24.4
4	I	SK04 東半	埋土1層	9.0
小計				9.0
5	I	SK05 中央	埋土	51.9
6	I	SK05	埋土最上位	290.5
7	I	SK05 南半	埋土上位	19.6
8	I	SK05 南半	埋土中位	6.5
9	I	SK05 南半	埋土下位	5.8
10	I	SK05 北半	埋土下位	3.8
11	I	SK05	埋土下位	5.8
小計				383.9
12	I	SK06	埋土上位	35.9
13	I	SK06 東半	埋土3層	55.0
14	I	SK06 西半	埋土3層	137.3
小計				228.2
15	I	SK08	埋土	27.9
小計				27.9
16	I	SK10	埋土	43.0
小計				43.0
17	M	SK11 東半	埋土1層	18.3
18	M	SK11 東半	埋土下位	3.7
小計				22.0
19	M	SK12 北半	埋土中位	2.4
小計				2.4
20	H1	SK15 南半	埋土中位	21.8
21	H1	SK15 北半	埋土	9.4
小計				31.2
22	H1	SK16 東半	埋土1層	15.7
23	H1	SK16 西半	埋土上位	12.7
小計				28.4
24	N	SK18	埋土	15.7
小計				15.7
25	N	SK19	埋土上位	12.4
小計				12.4
26	H	SK22 ベルトA	埋土1層	1.8
27	H	SK22 ベルトA	埋土2層	1.8
28	H	SK22 ベルトA	埋土5層	46.7
29	H	SK22 東半	埋土中位	35.5
30	H	SK22 西半	埋土1層	11.0
31	H	SK22 西半	埋土上位	0.3
32	H	SK22 西半	埋土中位	16.0
小計				113.1
33	H	SK23 ベルトB	埋土5層	11.4
34	H	SK23 南半	埋土下位	19.2
35	H	SK23 北半	埋土3層	19.6
小計				50.2
36	Q2	SK26 南半	埋土1層	84.8
37	Q2	SK26 北半	埋土	130.5
小計				215.3
38	Q2	SK27 南半	埋土1層	130.0
39	Q2	SK27 北半	埋土	144.1
小計				274.1
40	Q2	SK28	埋土	2,007.5
41	Q2	SK28	埋土上位	4,914.7
42	Q2	SK28	埋土中位	71.9
43	Q2	SK28	埋土中位~下位	686.2
小計				7,680.3
44	Q2	SK29	埋土	81.2
小計				81.2
45	S	SK36	表土	5.8
46	S	SK36	埋土	176.6
小計				182.4
47	S	SK37-38	埋土	200.3
小計				200.3
48	R3	SK41	表土~埋土上面	290.9
49	R3	SK41 南側	埋土下位	431.6
50	R3	SK41 南側	埋土下位	2.4
51	R3	SK41 北壁付近	埋土	236.7
52	R3	SK41	埋土	15.7
53	R3	SK41	埋土下位	806.3
54	R3	SK41	底面	55.9
55	R3	SK41	底面付近	50.7
小計				1,890.2
合計				11,522.7

溝跡(SD)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	I	SD03	埋土1層	38.4
小計				38.4
2	I	SD04 東側	埋土1層	1,402.7
3	I	SD04 西側	埋土1層	1,278.7
4	I	SD04 中央ベルト	埋土	144.8
小計				2,826.2
5	I	SD05 南側	埋土	278.1
6	I	SD05 北側	埋土	48.6
7	I	SD05 東側	埋土	445.1
小計				771.8
8	I	SD06	埋土	246.8
小計				246.8
9	I	SD07	埋土最上位	5.0
10	I	SD07 東側	埋土上位	202.8
11	I	SD07 西側	埋土上位	10.4
12	I	SD07 西側	底面	12.3
13	I	SD07	底面	39.3
小計				269.8
14	M	SD08 東側	底面	131.4
小計				131.4
15	M	SD10	埋土	30.7
小計				30.7
16	M	SD11 東側	埋土上位	15.3
17	M	SD11 東側	埋土	468.1
18	M	SD11 西側	埋土	210.5
19	M	SD11	埋土上位 (No1)	76.4
20	M	SD11	底面 (No2)	70.6
21	M	SD11	底面 (No3)	24.1
22	M	SD11	底面 (No4)	54.2
23	M	SD11	底面 (No5)	65.1
24	M	SD11	底面 (No6)	35.3
25	M	SD11	底面 (No7)	15.8
26	M	SD11	埋土上位 (No8)	196.8
27	M	SD11	底面 (No9)	1.4
小計				1,233.6
28	M	SD12	埋土	210.0
小計				210.0
29	H	SD14 南半	埋土	42.8
30	H	SD14 北半	埋土	233.9
31	H1	SD14	埋土 (No1)	42.6
32	H1	SD14	埋土 (No2)	32.7
33	I	SD14 ベルト	埋土	99.8
小計				451.8
34	H2	SD17 東半	埋土下位	13.7
小計				13.7
35	H2	SD18	埋土中位	24.4
小計				24.4
36	N	SD19	埋土1層	4.9
小計				4.9
37	N	SD20	埋土2層	187.7
小計				187.7
38	H	SD23 東半	埋土中位	30.5
39	H	SD23 西半	埋土中位	36.9
小計				67.4
40	II	SD24	埋土1層	2.5
小計				2.5
41	H	SD25 東半	埋土上位	36.9
42	H	SD25	埋土下位	5.9
43	H	SD25	埋土4層 (No1)	44.2
44	H	SD25	埋土4層 (No2)	170.7
45	H	SD25	埋土3層 (No3)	38.1
46	H	SD25	埋土3層 (No4)	25.5
47	H	SD25	埋土3層 (No5)	153.9
小計				475.2
48	L	SD27	黒褐色土	208.2
49	L	SD27	埋土下位	3.5
小計				211.7
50	J区	SD28	埋土	48.4
小計				48.4
51	R3	SD30~33	表土直上	318.1
小計				318.1
52	R3	SD31 南側	埋土	4.3
小計				4.3
53	R3	SD32 南側	埋土	75.5
小計				75.5
54	R3	SD33	埋土	25.7
55	R3	SD33 南側	埋土	17.1
小計				42.8
56	H3	SD34 南半	埋土1層	3.6

No	区	出土地点	層位	重量(g)
57	K	SD34 西端	壁付近底面	104.1
58	Q1	SD34	埋土2層	2,044.5
59	Q1	SD34	埋土2層 (No14)	180.0
60	Q1	SD34	埋土2層～底面	116.1
61	Q1	SD34 南側	埋土2層	911.0
62	Q1	SD34 南側	埋土2層～底面	5,217.7
63	Q1	SD34 南側トレンチ	埋土2層～底面	1,044.4
64	Q1	SD34 南側	埋土2層	1,153.6
65	Q1	SD34 南側	溝?	69.1
66	Q1	SD34 中央	埋土1層	472.4
67	Q1	SD34 ベルトB	埋土1層	606.5
68	Q1	SD34 中央	埋土2層	1,215.2
69	Q1	SD34 中央	埋土2層～底面	2,165.8
70	Q1	SD34 ベルトB	埋土2層～底面	1,208.0
71	Q1	SD34	底面	1,126.8
72	Q1	SD34	底面 (No1)	75.9
73	Q1	SD34	底面 (No2)	80.6
74	Q1	SD34	底面 (No4)	45.8
75	Q1	SD34	底面 (No5)	67.4
76	Q1	SD34	底面 (No6)	48.9
77	Q1	SD34	底面 (No7)	66.6
78	Q1	SD34	底面 (No10)	56.7
79	Q1	SD34	底面 (No11)	80.6
80	Q1	SD34	底面 (No12)	189.3
81	Q1	SD34	底面 (No13)	144.3
82	Q1	SD34	埋土3層	490.9
83	Q1	SD34	埋土3層	54.9
84	Q2	SD34	埋土1層	422.8
85	Q2	SD34 南側トレンチ	埋土	1,602.6
86	Q2	SD34 北側	埋土1層	12,123.8
87	Q2	SD34 北側	埋土1層下位	77.1
88	Q2	SD34 北側	埋土1層下位	2,016.0
89	Q2	SD34 北側	埋土2層上位	3,475.1
90	Q2	SD34 北側	埋土2層	307.5
91	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	12,567.4
92	Q2	SD34 ベルトC	埋土1層	1,071.0
93	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	13,309.1
94	Q2	SD34 北側トレンチ	埋土	3,016.6
95	Q2	SD34 北側	底面	1.5
96	Q2	SD34 北側付近	埋土1層	1,601.2
97	Q2	SD34 北側	埋土2層上位	4,138.2
98	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	5,210.1
99	Q2	SD34 中央	埋土2層～底面	6,050.2
100	S	SD34	埋土	678.9
101	S	SD34	埋土	69.5
			小計	86,779.3
102	Q2	SD35 北側	埋土下位(砂礫層)	507.4
103	Q2	SD35 東側	埋土上位	2,897.2
104	Q2	SD35 東側	埋土下位(砂礫層)	8,387.6
105	Q2	SD35 東側	埋土下位(砂礫層)	4,120.4
106	Q2	SD35 東側トレンチ	埋土	1,270.3
107	Q2	SD35	埋土1層上位	3,940.8
108	Q2	SD35 中央	埋土1層	3,492.3
109	Q2	SD35 中央	埋土下位(砂礫層)	792.8
110	Q2	SD35 西側	埋土1層	5,775.4
111	Q2	SD35 西側断面	埋土3層	70.4
112	Q2	SD35 西側トレンチ	埋土	7,775.8
113	Q2	SD35 ベルト南側	埋土	1,353.3
114	Q2	SD35 ベルト南側	埋土	3,262.7
115	Q2	SD35 ベルトH	埋土3層(黒色土)	14,212.1
116	Q2	SD35 ベルトH	埋土1層(黒褐色)	2,217.4
117	Q2	SD35 ベルトH	埋土中位	461.4
118	Q2	SD35 ベルトH	埋土下位(砂礫層)	7,617.2
119	Q2	SD35 柱付近	底面	204.1
			小計	68,358.6
120	Q2	SD36	埋土1層	1,381.3
121	Q2	SD36 南側	埋土1層	949.8
122	Q2	SD36 南側	埋土1層下位～底面	410.1
123	Q2	SD36 中央	埋土1層下位～底面	753.7
124	Q2	SD36 中央	埋土～下位	138.5
125	Q2	SD36	埋土1層	1,312.2
126	Q2	SD36 北側	埋土1層下位～底面	781.1
127	Q2	SD36 ベルト	埋土	409.4
128	Q2	SD36 南側トレンチ	埋土	1,242.6
129	Q2	SD36 北側トレンチ	埋土	1,023.5
130	Q2	SD36 中央トレンチ	埋土	335.9
			小計	8,738.1
131	Q2	SD37	埋土	71.9
			小計	71.9
132	H3	SD44	埋土1層	95.2

No	区	出土地点	層位	重量(g)
			小計	95.2
			合計	171,730.2

道路状遺構 (SX)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	Q2	SX01	埋土	154.0
2	Q2	SX01 ベルト	埋土	77.7
3	Q2	SX01 南端	埋土	22.2
4	Q2	SX01	埋土	66.8
			合計	320.7

H区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	H	H区 北側	-	9.9
2	H	H区 落ち込み	-	33.1
			合計	43.0

H3区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	H3	H3区	表採	3.0
2	H3	H3区	検出面 (Ⅲa層)	82.6
			合計	85.6

H4区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	H4	H4区 落ち込み	-	17.7
2	H4	H4区 落ち込み	-	10.1
			合計	27.8

I区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	I	I区	I層盛土	7.6
2	I	I区	II層黒褐色土層	1.6
3	I	包含層	暗褐色土層	60.7
4	I	包含層 西ベルト	黒褐色土層	40.7
5	I	包含層	黒色土層	70.3
6	I	包含層 南ベルト	黒褐色土層	29.1
7	I	包含層 北ベルト	黒褐色土層	587.5
8	I	包含層 東ベルト	黒褐色土層	59.4
9	I	包含層	黒褐色土層	335.4
10	I	包含層 南東部	上位-10cm	709.3
11	I	包含層 南東部	黒褐色土層	111.1
12	I	包含層 南東部	黒褐色土層	560.4
13	I	包含層 北東部	上位	705.8
14	I	包含層 北東部	黒色土層	1,214.1
15	I	包含層 北東部	上位 (No1)	1,186.7
16	I	包含層 北東部	上位 (No2)	587.6
17	I	包含層 北西部	下位	1,074.4
18	I	包含層 北西部	黒褐色土層	990.9
19	I	I区	排土	5.5
20	I	攪乱	水田の排水溝跡	5.6
			合計	8,343.7

J区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	J	J区	表土	80.9
			合計	80.9

K区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	K	K区 東側	黒褐色土層	496.6
2	K	K区 西側	黒褐色土層	637.8
3	K	K区 西端	表土	66.9
4	K	K区 西端	黒褐色土層	3.9
			合計	1,205.2

L区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	L	L区	表土	14.3
2	L	L区落ち込み	黒褐色土	4.3
3	L	L区東端	I層	23.6
			合計	42.2

M区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	M	M区	検出面 (Ⅲ層)	13.7
			合計	13.7

N区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	N	N区	Ⅲ層	76.5
2	N	N区 中央	検出面	6.2
3	N	N区 西側	-	12.6
			合計	95.3

O区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	O	O区 南端	黒褐色土層	1,680.9
2	O	O区 南端	Ⅱ層黒褐色土	724.5
			合計	2,405.4

Q1区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	Q1	Q1区	I b層下位	5.5
2	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (4回目)	1,352.2
3	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (6回目)	2,240.6
4	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (7回目)	11,695.3
5	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (8回目)	135.7
6	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (4回目)	1,876.6
7	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (4回目)	1,102.4
8	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (5回目)	3,037.0
9	Q1	Q1区 南側	I層	1,066.6
10	Q1	Q1区 南側	I b層	991.6
11	Q1	Q1区 南側	I b層下位	2,722.0
12	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層上位	1,267.9
13	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層上位(2回目)	1,123.7
14	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層上位	1,301.5
15	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層上位(2回目)	983.6
16	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (2回目)	1,250.9
17	Q1	Q1区 南側	Ⅱ層 (3回目)	3,790.9
18	Q1	Q1区沢跡 南東側	埋土1層	1,104.6
19	Q1	Q1区沢跡 南東側	埋土2層	924.5
20	Q1	Q1区沢跡 南東側	埋土2層	3,143.1
21	Q1	Q1区 中央	表土	24.7
22	Q1	Q1区 中央	I b層	3,147.0
23	Q1	Q1区 中央	I b層下位	2,760.9
24	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層 (6回目)	1,483.3
25	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層 (7回目)	3,250.8
26	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層上位	812.9
27	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層 (2回目)	1,387.8
28	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層 (3回目)	2,065.4
29	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層 (4回目)	2,250.7
30	Q1	Q1区 中央	Ⅱ層 (5回目)	2,152.0
31	Q1	Q1区 北側	I b層	192.9
32	Q1	Q1区 北側	I b層下位	852.3
33	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層 (4回目)	1,002.6
34	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層 (5回目)	2,525.7
35	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層 (6回目)	629.8
36	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層 (7回目)	8,802.6
37	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層上位	886.7
38	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層 (2回目)	1,289.5
39	Q1	Q1区 北側	Ⅱ層 (3回目)	478.9
40	Q1	Q1区沢跡 北側	埋土1層	2,142.1
41	Q1	Q1区沢跡 北側	埋土2層～底面	2,952.2
42	Q1	Q1区沢跡 北側	埋土3層(砂)	1,462.5
43	Q1	Q1区沢跡 北側	底面	166.2
44	Q1	Q1区沢跡 北東側	埋土1層	922.8
45	Q1	Q1区沢跡 北東側	埋土2層	1,542.3
46	Q1	Q1区沢跡 北東側	埋土2層	2,182.3
47	Q1	Q1区 東側	表土	527.5
48	Q1	Q1区沢跡 東側	埋土1層	1,556.9
49	Q1	Q1区	排土	319.2
			合計	90,889.7

2 出土遺物

Q2区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	Q2	Q2区南端	表土	189.0
2	Q2	Q2区南端	II層	4.6
3	Q2	Q2区中央	2層~底面	1,073.7
4	Q2	Q2区中央	II層	758.9
5	Q2	Q2区中央	II層	296.9
6	Q2	Q2区北側	表土 (SD34上位)	2,566.2
合計				4,889.3

R1区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	R1	R1区	表土	13.9
2	R1	R1区東端	II層	1,000.2
3	R1	R1区	排土	12.3
合計				1,026.4

R1.5区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	R1.5	R1.5区	II層	1,650.1
合計				1,650.1

R2区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	R2	R2区東	I層	7.0
2	R2	R2区中央	I層	170.2
3	R2	R2区西	I層	355.0
合計				532.2

R3区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	R3	R3区中央	II層	54.0
合計				54.0

S区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	S	S区東側	I層	193.9
合計				193.9

トレンチ

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	I	T24	I層	4.7
2	N	T30	表土	52.7
3	O	T35	II層	17.1
4	O	T36	II層	12.7
5	H	T40	I c層耕作土	10.9
6	H	T41	I c層暗褐色土	20.7
7	H	T42	I c層暗褐色土	4.6
8	H	T43	I c層暗褐色土	20.5
9	H	T44	I c層暗褐色土	3.3
10	Q1	T56	II層	2,371.5
11	Q1	T57	II層	2,926.9
12	Q1	T57	-	400.1
13	Q1	T58	黒褐色土層	1,081.9
14	Q1	T58	II層	1,205.3
15	Q1	T58	II層	5,990.9
16	R2	T59	黒褐色土	192.1
17	R2	T60	黒褐色土	226.1
18	Q2	T88	-	1,269.8
19	R1	T89	II層	64.0
20	R1	T90	-	79.7
21	R1	T92	I~II層	29.3
22	O	O区南側トレンチ	黒褐色土層	1,173.1
23	O	O区南辺トレンチ	黒褐色土層	2,377.3
24	O	O区トレンチ	黒褐色土層	1,028.2
25	Q1	Q1区トレンチ	-	412.1
26	Q1	Q1区南側トレンチ	-	471.3
27	Q1	Q1区北側トレンチ	-	322.7
28	Q2	Q2区南側トレンチ	表土	798.8
29	Q2	Q2区トレンチ	表土	159.4
30	R3	R3区トレンチ	表土~黒褐色土	208.4
合計				22,936.1

その他

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	不明	不明	-	65.6
合計				65.6
総合計				320,177.9

遺構種別ごと

No	遺構名	重量(g)	比率(%)
1	竪穴住居跡 (SI)	26.0	0.01%
2	柱穴 (P)	1,998.2	0.62%
3	土坑・井戸跡 (SK)	11,522.7	3.60%
4	溝跡 (SD)	171,730.2	53.64%
5	道路状遺構 (SX)	320.7	0.10%
6	H区	156.4	0.05%
7	I区	8,343.7	2.61%
8	J区	80.9	0.03%
9	K区	1,205.2	0.38%
10	L区	42.2	0.01%
11	M区	13.7	0.00%
12	N区	95.3	0.03%
13	O区	2,405.4	0.75%
14	Q区	95,779.0	29.91%
15	R区	3,262.7	1.02%
16	S区	193.9	0.06%
17	トレンチ	22,936.1	7.16%
18	不明	65.6	0.02%
総合計		320,177.9	100.00%

第9表 遺構別出土遺物一覽表(掲載No.)

No	遺構名	縄文		古代		12世紀				中世				近世・近代				共通				備考					
		縄文土器	石製品	土師器	須恵器	石製品	かわらけ	常滑	渥美	水沼	須恵器系	陶器	白磁	青磁	磁器	陶磁器	陶器	磁器	石器	石製品	金属製品		木製品	土製品	動物遺体	植物遺体	
1	P074																		601・602		612(銭)						
2	P112																										
3	P113																										
4	P192																										
5	P230									301																	
6	P230									331																	
7	SK05																										
8	SK06																										
9	SK07																										
10	SK08																										
11	SK20																										
12	SK21																										
13	SK22																										
14	SK27																										
15	SK28																										
16	SK31																										
17	SK32																										
18	SD04																										
19	SD05																										
20	SD07																										
21	SD08																										
22	SD10																										
23	SD11																										
24	SD14																										
25	SD16																										
26	SD17																										
27	SD20																										
28	SD24																										
29	SD25																										
30	SK41																										
31	SD34																										
32	SD35																										
33	SD36																										
34	SD39																										
35	SD40																										
36	SD44																										

第10表 縄文土器観察表

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	文様		胎土	時期		(推定値) (残存値)		
					口:工字文、胴:無文?、内面ミガキ	口:工字文、胴:無文?、内面ミガキ		絞密	絞密	図版No	写真No	
1	O	O区南~南端部	II層	鉢	口:唇刻目、口縁:沈線(微位)、内面ナナ	絞密	絞密	晩期(大河A-A)	405~414	428・429	57	47
2	O	O区南~南端部	II層	深鉢	口:唇刻目、口縁:沈線(微位)、内面ナナ	絞密	絞密	晩期(大河C?)	402	425	57	47
3	Q1	Q1区南側	-	注口土器	胴:磨消縄文、注口部を久く、内面不明	絞密	絞密	晩期(大河C)			57	47
4	O	T35	II層	深鉢	口:無文、胴:LR横、内面ナナ	砂含	砂含	晩期(大河C?)			57	47

第11表 石製品観察表

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	許測値(cm)		重量(g)	石材	産地	時代	(推定値) (残存値)		
					長さ	幅					備考	図版No	写真No
5	I	SK08	埋土下位	石球	3.45	3.2	27.3	安山岩	奥羽山脈	新生代新第三紀	4面使用	57	47

第12表 かわらけ観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載No	区域名	出土地点	層位	分類	計測値(cm)			重量(g)	色調	残存率	胎土	備考	図版No	写図No
					口径	底径	器高							
101	I	P113	埋土上位	ロクロ大	(13.9)	7.0	3.9	1365	10YR8/3浅黄橙	50%	4		57	47
102	Q1	P230	埋土 (No2)	ロクロ大	8.0	5.6	2.0	535	10YR8/3浅黄橙	80%	2		57	47
103	L	SK27 南半	埋土1層	ロクロ柱状高台	-	(4.8)	(3.7)	26.0	5YR7/6橙色	50%	4		57	47
104	J	SK28	埋土中位	手づくね小	9.5	-	2.1	706	5YR7/6橙色	100%	1	平面形にゆがみあり	57	47
105	J	SK28	埋土上位	手づくね小	8.45	-	2.1	584	10YR8/6黄橙	100%	1	1段まで	57	47
106	J	SK28	埋土上位	手づくね小	(8.4)	-	1.8	364	10YR8/4浅黄橙	25%	1	1段まで	57	47
107	J	SK28	埋土中位～下位	手づくね小	(9.8)	-	2.3	40.2	7.5YR7/6橙色	50%	1	2段まで、口縁部面取	57	47
108	J	SK28	埋土上位	手づくね大	(11.4)	-	3.4	89.5	7.5YR7/6橙色	50%	1	2段まで、口縁部面取	57	47
109	J	SK28	埋土上位	手づくね大	(13.8)	-	3.5	106.9	10YR8/4浅黄橙	70%	1	2段まで、口縁部面取	57	47
110	J	SK28	埋土上位	手づくね大	(13.0)	-	3.2	61.6	10YR8/4浅黄橙	30%	1	2段まで、口縁部面取	57	47
111	M	SD11	埋土上位 (No8)	ロクロ大	(13.1)	7.3	3.7	170.2	10YR8/4浅黄橙	75%	4		57	47
112	H1	SD14	埋土 (No1)	手づくね小	8.8	-	2.1	14.5	10YR7/6明黄褐色	50%	1		57	47
113	N	SD20	埋土2層	ロクロ小	(9.2)	(7.6)	2.3	43.3	10YR7/4鈍い黄橙	50%	2		57	47
114	H4	SD25	埋土4層 (No1)	ロクロ小	8.7	(6.0)	1.9	44.3	10YR7/3鈍い黄橙	70%	2		57	47
115	H4	SD25	埋土3層 (No5)	ロクロ大	(14.8)	(9.4)	4.2	153.6	7.5YR7/3鈍い橙	50%	2		57	47
116	H4	SD25	埋土4層 (No2)	ロクロ大	-	7.4	(2.7)	170.5	7.5YR7/6鈍い橙色	40%	3		57	47
117	R3	SK41	埋土下位	ロクロ小	8.9	6.7	1.8	61.3	7.5YR8/4浅黄橙	70%	4		58	47
118	R3	SK41	埋土下位	ロクロ大	13.8	7.2	4.3	219.1	7.5YR7/4鈍い橙色	100%	3		58	47
119	R3	SK41	埋土下位	ロクロ大	(14.0)	7.6	6.6	149.5	10YR8/3浅黄橙	60%	3		58	47
120	R3	SK41	底面付近	手づくね小	8.4	-	1.7	49.9	10YR8/4浅黄橙	100%	1	1段まで、口縁部面取	58	47
121	R3	SK41 南側	埋土下位	手づくね大	(18.6)	-	4.4	146.2	10YR8/3浅黄橙	30%	2	多段まで	58	47
122	R3	SK41 北壁付近	埋土	手づくね大	15.5	-	3.55	204.3	10YR8/3浅黄橙	90%	2	2段まで	58	47
123	Q1	SD34	底面 (No7)	ロクロ小	8.2	5.9	2.3	66.0	7.5YR8/4浅黄橙	50%	1		58	48
124	Q1	SD34	底面 (No11)	ロクロ小	8.3	6.6	1.7	79.6	10YR8/3浅黄橙	100%	2		58	48
125	Q1	SD34	底面 (No10)	ロクロ小	(9.2)	6.6	1.9	55.5	10YR8/3浅黄橙	80%	3		58	48
126	Q1	SD34	底面 (No6)	ロクロ小	(8.5)	5.6	2.4	47.8	7.5YR7/4鈍い橙色	50%	2		58	48
127	Q2	SD34 北側	埋土1層下位	ロクロ小	8.6	6.4	1.6	75.8	7.5YR8/4浅黄橙	100%	2		58	48
128	Q2	SD34 北側	埋土1層下位(2回目)	ロクロ小	(7.8)	(6.0)	1.5	33.2	7.5YR7/6橙色	50%	4	骨針	58	48
129	Q2	SD34 ベルトC	埋土1層	ロクロ小	9.1	6.5	1.7	47.4	7.5YR7/4鈍い橙色	80%	2		58	48
130	Q2	SD34 ベルトC	埋土1層	ロクロ小	(8.9)	(6.0)	1.5	35.7	10YR7/2鈍い黄橙	30%	3		58	48
131	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	ロクロ小	8.9	6.2	2.0	59.6	7.5YR7/6橙色	80%	3		58	48
132	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ小	9.1	6.8	1.95	79.1	7.5YR8/4浅黄橙	100%	2		58	48
133	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ小	8.9	6.8	1.7	91.1	7.5YR8/4浅黄橙	100%	3		58	48
134	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	ロクロ小	(7.75)	(6.2)	1.5	25.3	7.5YR8/4浅黄橙	30%	2		58	48
135	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ小	8.8	6.0	1.8	59.3	10YR8/2灰白色	85%	2		58	48
136	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ小	(8.5)	5.8	1.8	43.6	7.5YR7/6橙色	50%	2	骨針?	58	48
137	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ小	8.8	6.0	1.8	67.3	7.5YR8/4浅黄橙	75%	3		58	48
138	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ小	(8.4)	6.2	2.4	48.4	10YR8/4浅黄橙	50%	2		58	48
139	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ小	8.4	6.5	1.7	57.2	7.5YR8/4浅黄橙	100%	2		59	48
140	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ小	(9.4)	(6.0)	2.2	42.8	7.5YR7/1橙色	30%	4		59	48
141	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ小	(8.3)	(6.1)	1.6	49.5	7.5YR7/4鈍い橙色	50%	3		59	48
142	Q2	SD34 北側	トレンチ	ロクロ小	8.7	5.8	1.9	59.6	7.5YR8/4浅黄橙	80%	2		59	48
143	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ小	(8.7)	6.0	1.4	33.4	7.5YR7/6橙色	50%	3		59	48
144	Q1	SD34 南側	埋土2層～底面	ロクロ大	13.6	7.8	3.9	207.8	10YR8/3浅黄橙	80%	2		59	48
145	Q1	SD34 南側	埋土2層	ロクロ大	(14.1)	7.8	4.0	219.7	7.5YR8/4浅黄橙	65%	2		59	48
146	Q1	SD34	埋土2層 (No14)	ロクロ大	12.9	6.9	3.9	177.9	7.5YR7/6橙色	80%	3		59	48
147	Q1	SD34	底面No12	ロクロ大	13.1	6.8	4.1	172.4	7.5YR7/6橙色	80%	3	骨針?	59	48
148	Q1	SD34 ベルトB	埋土2層～底面	ロクロ大	14.5	8.4	3.6	164.4	7.5YR7/6橙色	70%	2	骨針?	59	48
149	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	ロクロ大	-	(8.0)	(1.2)	88.7	7.5YR8/4浅黄橙	60%	2		59	48
150	Q2	SD34 北側	トレンチ	ロクロ大	13.4	7.2	4.3	204.1	7.5YR8/4浅黄橙	80%	2		59	48
151	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	13.5	7.6	3.8	191.6	7.5YR8/4浅黄橙	60%	3		59	48
152	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	14.3	7.5	3.9	272.6	10YR8/4浅黄橙	100%	4		59	48
153	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	13.9	7.8	4.3	244.6	10YR8/3浅黄橙	80%	2	粘土板の継目あり	59	48
154	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	13.7	7.2	4.7	237.3	10YR8/4浅黄橙	80%	2		59	48
155	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	13.7	8.3	3.6	222.6	10YR8/3浅黄橙	80%	2		60	49
156	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ大	(13.7)	8.0	3.9	152.3	10YR7/2鈍い黄橙	50%	1		60	49
157	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	13.4	7.7	4.5	190.0	7.5YR7/6橙色	70%	2	骨針?	60	49
158	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	13.3	7.5	3.9	176.7	7.5YR7/6橙色	70%	3		60	49
159	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(12.9)	7.5	3.9	142.7	7.5YR7/6橙色	50%	2		60	49
160	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(13.0)	7.5	4.2	153.2	10YR7/2鈍い黄橙	50%	4		60	49
161	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(13.25)	6.3	4.2	123.0	7.5YR8/4浅黄橙	50%	2		60	49
162	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(14.0)	(8.0)	3.8	102.9	7.5YR7/6橙色	30%	4		60	49
163	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(14.0)	(7.0)	3.8	113.6	10YR7/4鈍い黄橙	50%	3		60	49
164	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(13.7)	7.3	3.9	123.0	7.5YR6/6橙色	50%	3	骨針?	60	49
165	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(14.8)	(8.4)	4.2	85.7	7.5YR8/4浅黄橙	30%	4		60	49
166	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	-	-	3.7	75.6	10YR7/4鈍い黄橙	25%	4		60	49
167	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(14.3)	(8.0)	3.9	78.6	10YR7/4鈍い黄橙	25%	2		60	49
168	Q2	SD34 中央	埋土2層～底面	ロクロ大	(12.9)	(8.0)	4.2	109.8	10YR7/4鈍い黄橙	50%	3		60	49
169	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	ロクロ大	(14.0)	(8.0)	(3.9)	63.0	7.5YR7/4鈍い橙色	30%	3	粘土板の継目あり	60	49
170	Q1	SD34 中央	埋土2層～底面	手づくね小	(10.0)	-	2.4	40.2	7.5YR8/4浅黄橙	50%	1	2段まで	61	49
171	Q1	SD34 中央	埋土2層～底面	手づくね小	(9.4)	-	1.7	33.3	7.5YR8/4浅黄橙	50%	1	1段まで、口縁面取	61	49
172	Q1	SD34	底面No1	手づくね小	9.6	-	2.1	75.2	10YR8/4浅黄橙	100%	1	1段まで、口縁面取	61	49
173	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	手づくね小	8.1	-	1.8	38.7	10YR8/4浅黄橙	75%	1	2段まで、口縁面取	61	49
174	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	手づくね小	(9.1)	-	1.75	29.4	7.5YR7/4鈍い橙色	50%	1	1段まで	61	49
175	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	手づくね小	(9.4)	-	1.8	26.0	10YR5/3鈍い黄褐	30%	1	1段まで	61	49
176	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	手づくね小	(9.4)	-	2.25	33.0	7.5YR7/6橙色	60%	1	2段まで	61	49
177	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	手づくね小	(9.35)	-	2.0	37.8	5YR7/6橙色	50%	1	2段まで、口縁面取	61	49
178	Q1	SD34 中央	埋土2層	手づくね大	15.1	-	3.8	218.8	7.5YR8/4浅黄橙	100%	1	2段まで、口縁面取	61	49
179	Q1	SD34	埋土2層	手づくね大	14.2	-	4.1	186.3	7.5YR8/4浅黄橙	100%	1	2段まで、口縁面取	61	49
180	Q2	SD34 北端	埋土2層～底面	手づくね大	(13.4)	-	3.0	62.9	10YR8/3浅黄橙	30%	1		61	49
181	Q2	SD34 北端	埋土2層～底面	手づくね大	13.5	-	3.6	161.2	7.5YR8/4浅黄橙	80%	1	2段まで、口縁面取	61	49
182	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層～底面	手づくね大	13.4	-	3.7	180.1	7.5YR8/2灰白色	100%	1	2段まで、口縁面取	61	49
183	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	手づくね小	(9.35)	-	2.0	53.0	5YR7/6橙色	50%	1	2段まで、口縁面取	61	49
184	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	手づくね大	(15.6)	-	3.8	155.3	7.5YR7/6橙色	50%	1		61	50
185	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	手づくね小	-	-	<3.0>	42.3	10YR8/3浅黄橙	25%	1	1段まで	61	50
186	Q2	SD34 中央	埋土2層～底面	手づくね大	15.1	-	4.3	225.5	5YR7/6橙色	100%	1	2段まで、口縁面取	61	50
187	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ柱状高台	(8.7)	(4.4)	2.3	23.9	7.5YR8/4浅黄橙	50%	2		61	50
188	Q2	SD34 北側	埋土2層～底面	ロクロ柱状高台	-	<4.1>	<1.8>	36.7	7.5YR8/4浅黄橙	50%	2		61	50
189	Q1	SD34 北端	埋土1層	手づくね内折	-	-	0.95	7.7	10YR7/2鈍い黄橙	20%	1		61	50

第13表 国産陶器観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載 No	区域名	出土地点	層位	種別	器種	分類	部位	計測値(cm)			重量(g)	時期	図版 No	写真 No
								口径	底径	器高				
301	H4	P192 南半	埋土1層	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	35.5	12世紀	65	53
302	Q2	SK27 北半	埋土	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	133.5	12世紀	65	53
303	Q2	SK27 北半	埋土	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	96.8	12世紀	65	53
304	Q2	SK27 南半	I層	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	153.8	12世紀	65	53
305	I	SD05 南側	埋土	常滑	片口鉢		口縁部	-	-	-	6.6	12世紀	65	53
306	H1	SD16	埋土	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	15.5	12世紀	65	53
307	R3	SK41	埋土上位	常滑	片口鉢		体部	-	-	-	23.6	12世紀	65	53
308	R3	SK41	埋土上位	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	66.7	12世紀	65	53
309	Q1	SD34 北側	埋土2層~底面	常滑	片口鉢		底部	-	(13.4)	(3.3)	252.7	12世紀	65	53
310	Q1	SD34 北東	埋土2層	常滑	壺	2型式	体部~底部	-	(11.2)	(8.6)	270.7	12世紀	65	53
311	Q2	SD34 ベルトC	埋土上位	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	267.5	12世紀	65	53
312	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	常滑	壺	2型式	口縁部~体部	-	-	-	123.0	12世紀	65	53
313	Q1	SD34	埋土3層	常滑	壺		体部	-	-	-	182.8	12世紀	65	53
314	Q1	SD34 中央	埋土2層	常滑	甕	1b型式	体部	-	-	-	119.9	12世紀前半	65	53
315	Q2	SD34 ベルトC	埋土	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	143.8	12世紀	66	53
316	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	常滑	片口鉢		口縁部	-	-	-	76.7	12世紀	66	53
317	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	常滑	片口鉢		口縁部	-	-	-	71.1	12世紀	66	53
318	Q2	SD34 北ベルト	埋土2層~底面	常滑	甕		口縁部	-	-	-	21.0	12世紀	66	53
319	Q2	SD34	埋土2層~底面	常滑	甕	2型式	体部~底部	-	-	-	90.8	12世紀	66	53
320	Q1	SD34	底面(No15)	常滑	壺		口縁部~体部	-	-	-	113.2	12世紀	66	53
321	Q2	SD35 北側	埋土下位(砂礫層)	常滑	甕	2型式	口縁部	-	-	-	8.2	12世紀	66	53
322	Q2	SD35 ベルトH	埋土下位(砂礫層)	常滑	片口鉢		底部	-	-	-	54.0	12世紀	66	53
323	Q2	SD35 東側	埋土下位(砂礫層)	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	240.5	12世紀	66	54
324	Q2	SD36 中央トレンチ	埋土	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	73.1	12世紀	66	54
325	H3	SD44	埋土1層	常滑	壺		体部	-	-	-	35.5	12世紀	66	54
326	I	II区包含層 北ベルト	黒褐色土層	常滑	三筋壺		体部	-	-	-	18.8	12世紀後半	66	54
327	Q1	Q1区 南側	I b層下位	常滑	甕	2型式	口縁部	-	-	-	23.7	12世紀	66	54
328	Q1	Q1区沢跡 北東側	埋土2層	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	249.0	12世紀	66	54
329	R1	R1区	I層	常滑	甕	2型式	口縁部	-	-	-	59.4	12世紀	66	54
330	R1.5	R1.5区	II層	常滑	甕	2型式	底部	-	-	-	123.6	12世紀	66	54
331	H4	P202 北半	埋土1層	渥美	袈裟襷文壺		頸部	-	-	-	17.0	12世紀	67	54
332	I	SK07 中央	底面の5cm上	渥美	甕		体部	-	-	-	2,181.6	12世紀	67	54
333	I	SD07 東側	埋土上位	渥美	甕		体部	-	-	-	29.4	12世紀	67	54
334	M	SD08 東側	底面	渥美	甕		体部	-	-	-	63.4	12世紀	67	54
335	M	SD08 西側	埋土	渥美	甕		体部	-	-	-	90.3	12世紀	67	54
336	L	SD27	埋土1層	渥美	片口鉢		口縁部	-	-	-	60.2	12世紀	67	54
337	Q2	SD34 北側	埋土1層下位	渥美	片口鉢		口縁部~底部	-	-	-	195.6	12世紀	67	54
338	Q1	SD34 北東側	埋土1層	渥美	甕		体部	-	-	-	274.7	12世紀	67	54
339	Q1	SD34	埋土1層	渥美	甕		体部	-	-	-	260.2	12世紀	67	54
340	Q2	SD34 中央	埋土2層~底面	渥美	甕		口縁部	-	-	-	176.6	12世紀	68	55
341	Q1	SD34 中央	埋土1層下位	渥美	甕		体部	-	-	-	94.9	12世紀	68	55
342	Q1	SD34	底面(No8)	渥美	片口鉢		体部~底部	-	12.8	(7.2)	450.0	12世紀	68	55
343	S	SD34	埋土	渥美	甕		体部	-	-	-	161.3	12世紀	68	55
344	Q2	SD35 東側	埋土上位(黒褐色土)	渥美	片口鉢		口縁部~体部	-	-	-	41.1	12世紀	68	55
345	Q2	SD35 東側	砂礫層	渥美	片口鉢		口縁部~体部	-	-	-	56.3	12世紀	68	55
346	Q2	SD35 西側	埋土1層	渥美	片口鉢		口縁部~体部	-	-	-	68.6	12世紀	68	55
347	Q2	SD35 ベルト	埋土3層(黒褐色土)	渥美	片口鉢		口縁部~体部	-	-	-	56.1	12世紀	68	55
348	Q2	SD36 北側	埋土1層	渥美	甕		体部	-	-	-	297.9	12世紀	68	55
349	Q2	SD36 北側	埋土1層	渥美	甕		体部~底部	-	(12.7)	(6.8)	308.7	12世紀	68	55
350	I	II区包含層 北西部	黒色土層	渥美	壺		体部	-	-	-	19.2	12世紀	68	55
351	Q1	Q1区 南側	I層	渥美	甕		体部	-	-	-	14.6	12世紀	68	55
352	Q1	Q1区沢跡 北側	埋土2層~底面	渥美	片口鉢		体部	-	-	-	90.1	12世紀	68	55
353	Q1	Q1区沢跡 北側	埋土3層(砂)	渥美	甕		体部	-	-	-	104.3	12世紀後半	68	55
354	S	SD34	埋土	水沼	甕		口縁部~体部	(20.8)	-	(8.1)	272.0	12世紀前半	69	55
355	Q2	SD35 ベルト南側	埋土下位(砂礫層)	水沼	甕		体部	-	-	-	160.1	12世紀前半	69	55
356	H4	P202 北半	埋土1層	須恵器系陶器	壺		口縁部	-	-	-	10.0	12世紀後半	69	55
357	I	SK05 南半	埋土中位	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	205.8	12世紀	69	55
358	M	SD10	底面	須恵器系陶器	鉢		底部	-	-	-	36.3	12世紀	69	55
359	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	須恵器系陶器	壺		口縁部	-	-	-	16.0	12世紀後半	69	55
360	Q2	SD34 北側	埋土1層	須恵器系陶器	甕		口縁部	-	-	-	64.8	12世紀	69	55
361	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	164.2	12世紀	69	55
362	Q1	SD34 南	埋土2層	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	893.1	12世紀	69	55
363	Q2	SD34 北ベルト	埋土2層~底面	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	166.3	12世紀	69	56
364	Q2	SD36 中央	トレンチ	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	81.0	12世紀	69	56
365	Q2	SD36	埋土1層	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	294.9	12世紀	69	56
366	O	O区 南東部	II層	須恵器系陶器	鉢		口縁部	-	(10.4)	(3.8)	118.2	12世紀	69	56
367	Q1	T57	II層	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	59.3	12世紀	69	56
368	Q2	Q2区 南端	II層	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	133.5	12世紀	69	56
-	H	SD24	埋土1層(No2)	常滑	片口鉢		体部	-	-	-	14.3	12世紀	-	-
-	Q1	SD34	埋土1層	常滑	壺		体部	-	-	-	11.6	12世紀	-	-
-	Q2	SD36 中央	埋土2層~底面	常滑	片口鉢		体部	-	-	-	50.7	12世紀	-	-
-	Q2	SD36南側	埋土1層	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	82.5	12世紀	-	-
-	I	II区包含層 北ベルト	黒褐色土層	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	68.1	12世紀	-	-
-	Q1	Q1区 南側	I b層下位	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	160.8	12世紀	-	-
-	I	SD07 東側	埋土上位	渥美	甕		体部	-	-	-	27.3	12世紀	-	-
-	S	SD34	埋土	渥美	甕		体部	-	-	-	46.3	12世紀	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	渥美	片口鉢		口縁部~体部	-	-	-	43.3	12世紀	-	-
-	Q1	SD35 中央	埋土1層下位	渥美	甕		体部	-	-	-	58.6	12世紀	-	-
-	I	II区包含層 南東部	埋土上位~10cm	渥美	甕		体部	-	-	-	37.7	12世紀	-	-
-	Q2	Q2区 南側トレンチ	I層	渥美	片口鉢		口縁部~体部	-	-	-	134.1	12世紀	-	-
-	Q2	Q2区 南側トレンチ	I層	渥美	甕		底部	-	-	-	129.0	12世紀	-	-
-	Q1	SD34	底面	須恵器	甕		体部	-	-	-	103.4	9~10世紀	-	-
-	O	O区 南東部	II層	須恵器	甕		口縁部	-	-	-	185.4	9~10世紀	-	-
-	Q1	SD34 南側	埋土	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	146.6	12世紀	-	-
-	Q2	SD34 北端	埋土2層~底面	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	216.8	12世紀	-	-
-	Q1	Q1区 中央	I b層	須恵器系陶器	甕		体部	-	-	-	189.7	12世紀	-	-

第14表 中国産陶磁器観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載 No	区域名	出土地点	層位	種別	器種	分類	部位	計測値(cm)			重量 (g)	備考	時期	図版 No	写真 No
								口径	底径	器高					
401	I	SD04 東側	I層	褐釉陶器	壺		口縁部	(11.7)	-	(2.3)	12.0		12世紀	70	56
402	Q2	SD35 西端	トレンチ	褐釉陶器	甕		体部	-	-	-	44.4		12世紀	70	56
403	I	SK22 西半	埋土中位	白磁	皿	IV類	口縁部	-	-	-	1.9		12世紀後半	70	56
404	H1	SD16	底面 (No2)	白磁	小壺		口縁部	(5.4)	-	(2.1)	4.5		12世紀後半	70	56
405	Q1	SD34 南側	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	14.5		12世紀後半	70	56
406	Q1	SD34 南側	埋土2層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	13.5		12世紀後半	70	56
407	Q1	SD34 南側	埋土2層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	3.6		12世紀後半	70	56
408	Q1	SD34 中央	埋土2層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	口縁部	(12.0)	-	(5.6)	49.4		12世紀後半	70	56
409	Q1	SD34 南側	埋土2層	白磁	碗 劃花文	V類	口縁部~体部	-	-	-	7.7		12世紀	70	56
410	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	口縁部	(13.2)	-	(3.2)	46.1		12世紀後半	70	56
411	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	口縁部	-	-	-	10.9		12世紀後半	70	56
412	Q2	SD34 北端	埋土2層上位	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	25.5		12世紀後半	70	56
413	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	26.3		12世紀後半	70	56
414	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	白磁	小壺	Ⅱ系	蓋	2.7	-	1.3	8.8		12世紀前半	70	56
415	Q2	SD35 東側	埋土下位 (砂礫層)	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	(6.3)	-	104.9		12世紀前半	70	56
416	I	II区 中央	Ic層 (暗灰色)	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	9.0		12世紀後半	70	56
417	K	K区 東側	黒色土層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	17.7		12世紀後半	70	56
418	O	O区 南端部	II(黒褐土)	白磁	壺 広東系	Ⅱ系	口縁部~底部	-	(16.8)	(5.4)	134.3	漆漚ぎ、底面片痕	12世紀後半	70	56
419	Q1	Q1区 南側	Ib層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	8.7		12世紀後半	70	56
420	Q1	SD34 南側	埋土2層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	13.6		12世紀後半	70	56
421	Q1	Q1区 南側	II層 (6回目)	白磁	碗 広東系	Ⅱ系	体部	-	-	-	13.6		12世紀前半	70	56
422	Q1	Q1区 北端	T58	白磁	壺 水注	Ⅲ系	口縁部	-	-	(2.5)	19.4		12世紀	70	56
423	Q1	Q1区 中央	Ib層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	8.6		12世紀後半	70	56
424	Q1	Q1区 中央	Ib層下位	白磁	壺 水注	Ⅲ系	口縁部	(10.4)	-	(3.3)	21.3		12世紀後半	70	56
425	Q1	Q1区 沢跡	埋土1層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	6.5		12世紀後半	70	56
426	Q1	Q1区	Ib層下位	白磁	皿	IV類	口縁部~底部	(11.4)	-	(1.9)	10.7		12世紀後半	70	56
427	Q2	Q2区 北ベルト	2層~底面	白磁	壺 水注	Ⅲ系	口縁部	-	-	(2.9)	13.8		12世紀	70	56
428	Q2	SD34 中央	2層~底面	青磁	碗		体部~底部	-	-	-	26.1	劃花文 龍泉窯	12世紀後半	70	56
429	Q2	SD34 北側	埋土1層	青磁	碗		体部	-	-	-	3.7	劃花文	12世紀	70	56
430	Q1	Q1区	Ib層下位	青白磁	合子?		体部	-	-	-	2.7		12世紀	70	56
-	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	褐釉陶器	壺		胴部	-	-	-	2.7		12世紀	-	-
-	H	SD24	埋土1層 (No10)	白磁	碗	IV・VⅧ類	体部	-	-	-	3.1		12世紀後半	-	-
-	R3	SD29	埋土下位	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	10.4		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	I層上位	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	3.2		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土1層	白磁	壺 広東系		体部	-	-	-	19.0		12世紀前半	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土1層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	3.4		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	白磁	壺 水注	Ⅲ系	体部	-	-	-	5.1		12世紀	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	17.3		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	2.0		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	8.1		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	I層	白磁	碗	V・Ⅷ類	体部	-	-	-	3.3		12世紀	-	-
-	Q2	SD34 北側	I層	白磁	壺		口縁部	-	-	-	2.6		12世紀	-	-
-	Q2	SD34 北側	排土	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	15.2		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北端	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	22.0		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	9.7		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	トレンチ	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	8.8		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 北側	トレンチ	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	5.0		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 南側	トレンチ	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	7.0		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 南側	トレンチ	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	1.9		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD35	埋土1層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	17.2		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD35 南側	埋土1層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	7.3		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD35 北側	トレンチ	白磁	碗	IV系?	体部	-	-	-	3.8		12世紀	-	-
-	Q2	SD35 ベルトH	埋土3層 (黒色土)	白磁	碗	IV・VⅧ類	底部	-	-	-	4.9		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD35 ベルトH	埋土3層 (黒色土)	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	14.2		12世紀後半	-	-
-	H	T43	Ic暗褐土	白磁	壺		体部	-	-	-	3.4		12世紀	-	-
-	Q1	Q1区 南側	II層 (6回目)	白磁	碗	Ⅷ類	口縁部	-	-	-	2.3		12第4四半期	-	-
-	Q1	Q1区 南側	Ib層	白磁	碗	IV・V・Ⅷ類	体部	-	-	-	5.5		12世紀後半	-	-
-	Q1	Q1区 中央	II層 (7回目)	白磁	壺 広東系		体部	-	-	-	17.4		12世紀前半	-	-
-	Q2	Q2区 南側	表土	白磁	碗	IV~V類	体部~底部	-	-	-	4.2		12世紀	-	-
-	Q2	Q2区 中央	2層~底面	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	7.8		12世紀後半	-	-
-	Q2	Q2区 中央	II層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	24.5		12世紀後半	-	-
-	Q2	Q2区 北側	I層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	7.6		12世紀後半	-	-
-	Q2	Q2区 北側	トレンチ	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	8.8		12世紀後半	-	-
-	R1	R1区 東端	II層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	15.9		12世紀後半	-	-
-	R1.5	R1.5区	II層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	8.2		12世紀後半	-	-
-	R1	R1区	排土	白磁	碗	IV・VⅧ類	体部	-	-	-	9.9		12世紀後半	-	-
-	S	SD34	埋土	白磁	壺	Ⅱ系	体部	-	-	-	14.7		12世紀前半	-	-
-	I	II区包含層 北東部	黒色土層	青磁	碗 龍泉窯		体部~底部	-	-	-	32.2	龍泉窯	12世紀	-	-
-	N	N区 西側	II層上面	青磁	碗		底部	-	-	-	37.3	龍泉窯	12世紀	-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土1層	青磁	碗		体部	-	-	-	8.1		12世紀	-	-
-	I	SD07 西側	埋土上位	青白磁	壺(梅瓶)		体部	-	-	-	4.0		12世紀後半	-	-
-	Q1	SD34 ベルトB	埋土2層~底面	青白磁	碗		体部	-	-	-	3.9		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	青白磁	壺		体部	-	-	-	2.2		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	青白磁	皿		体部	-	-	-	0.6		12世紀後半	-	-
-	Q2	SD34 ベルトC	埋土2層~底面	青白磁	碗		体部	-	-	-	1.0		12世紀	-	-
-	Q2	SD36 ベルト	埋土	青白磁	碗		体部	-	-	-	4.0		12世紀後半	-	-
-	K	K区 西側	黒色土層	青白磁	碗		体部	-	-	-	1.0		12世紀	-	-
-	Q1	Q1区 南側	Ib層	青白磁	梅瓶		体部	-	-	-	2.3		12世紀後半	-	-
-	Q1	Q1区 南側	II層(4回目)	青白磁	碗		体部	-	-	-	0.4		12世紀	-	-
-	R3	R3区 トレンチ	I層	青白磁	碗		体部~底部	-	-	-	1.5		12世紀	-	-

2 出土遺物

第15表 中世の陶磁器観察表

(推定値) (残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	部位	分類	計測値(cm)			重量(g)	備考	時期	図版No	写図No	
							口径	底径	器高						
451	I	SD07 東側	埋土上位	鉢	体部	瓷器系陶器	-	-	-	35.7	伊豆沼産	東北地方産	13～14世紀後	70	56
452	Q1	Q1区 中央	I b層	碗	底部	青磁	-	(4.6)	(2.6)	64.5	龍泉窯	14～15世紀	15世紀前半	70	56
-	O	O区 南端部	II層	盤	口縁	青磁	-	-	-	4.4		14～15世紀	14世紀前半	-	-
-	R3	SD29	埋土上位	碗	体部	青磁	-	-	-	4.1		14～15世紀		-	-

第16表 近世・近代の陶磁器観察表

(推定値) (残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	種別	産地	計測値(cm)			重量(g)	色調	胎土	備考	時期	図版No	写図No
							口径	底径	器高							
501	I	SD07 中央	埋土1層	鉢?	陶器	不明	-	-	-	52.7	灰色	灰釉		19世紀頃?	71	57
502	H4	SD24	埋土1層 (No12)	片口鉢	陶器	平清水	(12.8)	5.5	5.2	111.6	鈍い黄橙	灰釉?	見込みに目の跡	江戸後期	71	57
503	H5	SD24	埋土1層 (No1)	搦鉢	陶器	不明	-	-	-	152.8	鈍い黄橙	なし	おろし目粗い	江戸後期?	71	57
504	H6	SK21	埋土1層 (No1)	碗	磁器	不明	-	-	(3.4)	16.0	白色	型紙刷		明治?	71	57
505	H7	SK21	埋土1層 (No2)	皿?	磁器	不明	-	-	-	5.5	白色	染付		江戸後期?	71	57
506	H8	SK31 東半	埋土1層	碗?	磁器?	不明	-	-	(2.5)	4.7	鈍い黄橙	灰釉?		明治?	71	57
507	I	SD07 西側	埋土上位	湯呑	磁器	不明	(6.8)	4.5	6.8	51.3	白色	上絵付	赤色使用	20世紀	71	57
508	H4	SD24	埋土1層 (No11)	碗	磁器	不明	(7.6)	-	5.3	40.6	白色	染付		明治?	71	57
509	H5	SD24	埋土1層 (No5)	碗	磁器	瀬戸	(8.1)	5.0	3.6	67.6	白色	染付		明治	71	57
510	H6	SD24	埋土1層 (No9)	小碗	磁器	不明	8.0	3.6	4.3	55.5	白色	銅版刷?	プリント?	明治?	71	57
511	H7	SD24	埋土3層 (No20)	皿	磁器	瀬戸	(8.2)	3.6	2.3	45.1	白色	染付	型おこし皿	19世紀中頃	71	57
512	H8	SD24	埋土1層 (No16)	爛徳利	磁器	不明	2.8	-	(9.0)	43.4	白色	銅版刷?		明治?	71	57
513	H9	SD24	埋土1層 (No7)	火入れ	磁器	瀬戸	(11.1)	8.4	9.5	208.0	白色	染付・砂目		明治	71	57
514	H3	H3区	I層	皿	磁器	瀬戸	(26.0)	(14.8)	3.7	249.0	白色	染付		18世紀	71	57

第17表 石製品観察表

(推定値) (残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	石材	産地	時代	備考	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ							
601	I	P074	埋土上位	砥石	(12.65)	3.6	2.85	218.3	石英安山岩	奥羽山脈	新生代新第三紀	4面使用?	72	58
602	I	P074	埋土上位	砥石	9.2	(9.55)	(5.65)	671.3	石英安山岩	奥羽山脈	新生代新第三紀	4面使用	72	58
603	I	SD04 東側	埋土1層	碁石	2.15	1.95	0.7	4.13	頁岩	奥羽山脈	新生代新第三紀	球状に成形	72	58
604	M	SD08 西半	埋土	砥石	(11.4)	6.45	3.25	409.7	石英安山岩	奥羽山脈	新生代新第三紀	-	72	58
605	H3	SD40	埋土1層	硯	(14.8)	7.2	3.05	480.6	凝灰岩	奥羽山脈	新生代新第三紀	一端を欠損	72	58

第18表 金属製品観察表

(推定値) (残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	製品名	計測値(cm)			重量(g)	備考	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ				
611	H	SK32 木枠内	埋土	鉄釘	4.4	0.6	0.4	0.7	断面方形	72	58
612	I	P112	埋土上位	寛永通寶	外径1.93×1.97	内径0.58×0.55	0.11	1.1	外縁部欠損 新寛永、初鑄年1697～	72	58
613	N	SK20	埋土	嘉祐通寶	外径2.36×2.35	内径0.77×0.75	0.12	2.2	裏面、外内郭無、蒙書 初鑄年1056 (北宋)、裏面摩滅著しい	72	58
614	Q2	SD36 西端	埋土上位	皇宋通寶	外径2.03×2.07	内径0.6×0.6	0.09	1.2	外縁を欠く裏郭無、真書、 初鑄年1038 (北宋)	72	58
615	H2	H2区	Ic層	寛永通寶	外径2.50×2.50	内径	0.18	2.7	外縁内部明瞭 古寛永、初鑄年1636～	72	58
616	Q1	SD34 南側	埋土2層	鍛冶滓	-	-	-	206.9	磁着有り (反能小)、炉壁に鉄滓が付着、 炉壁部分わずかに反能有	-	58

第19表 木製品観察表

(推定値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			樹種	備考	時代	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ					
701	I	SK06	埋土4層	部材	85.9	7.2	2.7	アスナロ		12世紀	73	58
702	Q1	SD34	底面 (No17)	漆器椀	16.6	7.2	5.8	ケヤキ	内外面黒漆	12世紀	73	59
703	Q1	SD34	底面 (No19)	漆器椀	(16.0)	(7.4)	(5.7)	ケヤキ	内外面黒漆	12世紀	73	59
704	Q2	SD34北側	底面	漆器椀	-	(7.4)	(3.1)	ケヤキ	内外面黒漆	12世紀	73	59
705	Q2	SD34中央	埋土2層~底面	曲物蓋	(19.9)	(6.0)	0.9	アスナロ	閉穴欠損?	12世紀	73	59
706	Q1	SD34	底面 (No20)	曲物蓋?	(31.8)	(13.1)	1.2	アスナロ	桶・樽の類	12世紀	73	59
707	Q1	SD34	埋土3層	曲物 (底板)	(12.1)	(4.2)	0.9	アスナロ	曲物の底板	12世紀	73	59
708	Q1	SD34北側	底面	曲物蓋?	41.0	14.5	1.3	スギ		12世紀	73	59
709	Q1	SD34	底面No21	折敷?	31.5	(3.1)	0.9	アスナロ		12世紀	74	59
710	Q2	SD34ベルトC	埋土2層~底面	杓子	(17.1)	7.8	0.5	スギ	柄の部分を欠く	12世紀	74	59
711	Q2	SD34ベルトC	埋土2層~底面	下駄 (歯)	8.0	15.2	2.0	アスナロ	差歯の歯 (接地面が磨り減っている)	12世紀	74	59
712	Q2	SD34ベルトC	埋土2層~底面	形代	(14.9)	3.8	0.4	スギ	下部を欠く	12世紀	74	59
713	Q2	SD34北側	底面	形代	32.9	3.1	0.9	ヒノキ属	一端が尖る	12世紀	74	59
714	Q2	SD35ベルトH	埋土下位 (砂礫層)	曲物 (底板)	(28.0)	(11.1)	1.6	スギ		12世紀	74	60
715	Q2	SD35ベルトH南側	埋土上位	折敷?	(11.6)	(7.3)	0.6	スギ		12世紀	74	60
716	Q2	SD35ベルトH	埋土下位 (砂礫層)	ちゅう木	33.6	2.2	0.6	スギ	片側に面取り有り	12世紀	74	60
717a	Q2	SD35ベルトH	埋土下位 (砂礫層)	漆塗り板材 (2点)	16.5	(2.7)	0.7	アスナロ	片面に黒漆	12世紀	74	60
717b	Q2	SD35ベルトH	埋土下位 (砂礫層)	漆塗り板材 (2点)	16.9	(3.1)	0.3	アスナロ	片面に黒漆	12世紀	74	60
718	Q2	SD35	埋土下位 (砂礫層)	柱根	(105.8)	34.4	29.6	マツ属 複雑管束亜属	断面八角形 一端面取り	12世紀	75	60
719	H4	SD39北ベルト	埋土2層~底面	部材?	21.9	2.0	9.5	スギ	両端凸部	12世紀	75	61
720	Q2	T88	底面?	部材	29.8	4.5	1.2	スギ	両端凸部	12世紀	75	61
721	L	L区 南側落ち込みSD27?	II層	漆器椀	-	(6.2)	(5.7)	ケヤキ	内外面黒漆	12世紀	75	61
722	Q1	T56	II層	不明	(10.1)	2.9	0.5	スギ	両端を欠く、片面に刻目	12世紀	75	61
723	H2	SD17	埋土2層 (No17)	杭	148.3	4.4	3.8	マツ属 複雑管束亜属	一端が尖る	近世	76	61
724	H2	SD17	埋土2層 (No3)	杭	130.4	-	φ4.7	モクレン属	一端が尖る	近世	76	61
725	H2	SD17	埋土2層 (No5)	杭	133.5	10.9	5.2	モクレン属	一端が尖る	近世	76	61
726	H2	SD17	埋土2層 (No4)	杭	121.5	4.9	2.7	モクレン属		近世	76	61
727	H2	SD17	埋土2層 (No1)	樽蓋?	13.0	12.5	1.1	ヒノキ属	樽の蓋? 栓の穴?	近世	77	61
728	H4	SD24	埋土2層 (No15)	漆器椀	-	(5.2)	(3.0)	ブナ属	内面赤漆、外面黒漆	近世	77	62
729	H4	SD24	埋土2層 (No23)	漆器椀	-	(5.0)	(6.2)	ブナ属	内面赤漆、外面黒漆	近世	77	62
730	H4	SD24	埋土2層 (No24)	漆器椀	-	(5.4)	(3.8)	ブナ属	内面赤漆、外面黒漆	近世	77	62
731	H4	SD24	埋土2層 (No21)	漆器椀	-	(4.8)	(4.0)	ブナ属	内面赤漆、外面赤漆	近世	77	62
732	H4	SD24	埋土2層 (No40)	桶樽の側板	40.3	4.9	1.0	スギ	桶・樽の側板	近世	77	62
733	H4	SD24	埋土2層 (No31)	把手	36.1	4.7	1.4	スギ	釣瓶?	近世	77	62
734	H4	SD24	埋土1層 (No32)	棒状	20.6	2.0	φ2.5	アスナロ	一端が尖る	近世	77	62
735	H4	SD24	埋土2層 (No41)	杭	124.1	7.3	4.3	モクレン属	一端が尖る	近世	77	62
736	H3	SK32	埋土2層 (No2)	漆膜	-	-	-			-	-	62
737	H3	SK32	埋土2層 (No1)	漆膜	-	-	-			-	-	62

※容器は口径・底径・器高を示す。

第20表 土製品観察表

(推定値) (残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	胎土	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ				
801	Q2	SK28	埋土上位	土壁	(9.0)	(9.0)	2.5	163.7	褐色	-	63
802	Q3	SK28	埋土上位	土壁	(9.5)	(5.5)	2.6	81.3	橙色	-	63
803	Q4	SK28	埋土上位	土壁	(8.0)	(4.7)	2.5	75.1	褐色	-	63
804	Q1	SD35 西側トレンチ	埋土	土壁	(7.0)	(6.0)	(5.0)	128.1	褐色	-	63
805	Q2	SD35 西側トレンチ	埋土	羽口	(4.4)	(2.7)	(2.9)	21.3	スサ入る	-	63
806	O	O区 南側トレンチ	黒褐色土	円盤状土製品	3.4	3.3	1.0	11.9	砂粒を含む	-	63

第21表 動物遺体観察表

(推定値) (残存値)

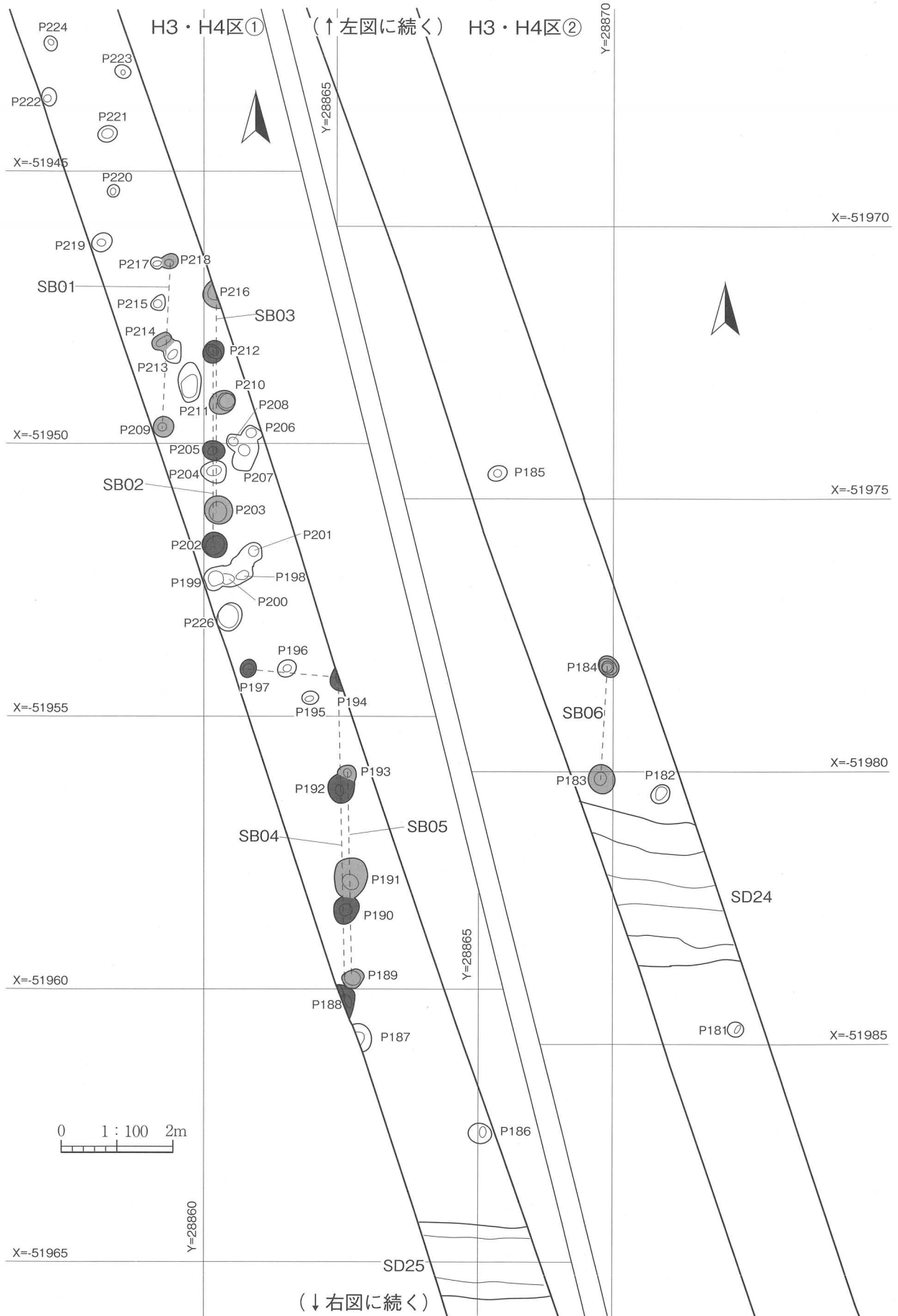
掲載No	区域名	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	近・遠	焼骨	重量(g)	備考	図版No	写図No
901	H3	SK32	埋土2層	不明	不明	-	-	○	0.02	魚類	-	63
902	H3	SK32	埋土2層 (炭化物)	不明	椎骨(腹椎)	-	-	○	0.08	魚類	-	63
903	Q2	SD36 ベルト	埋土	ウマ	臼歯片	-	-	×	0.93		-	63
904	Q1	T58 北端	II層	不明	不明	-	-	×	11.0	大型哺乳類	-	63

2 出土遺物

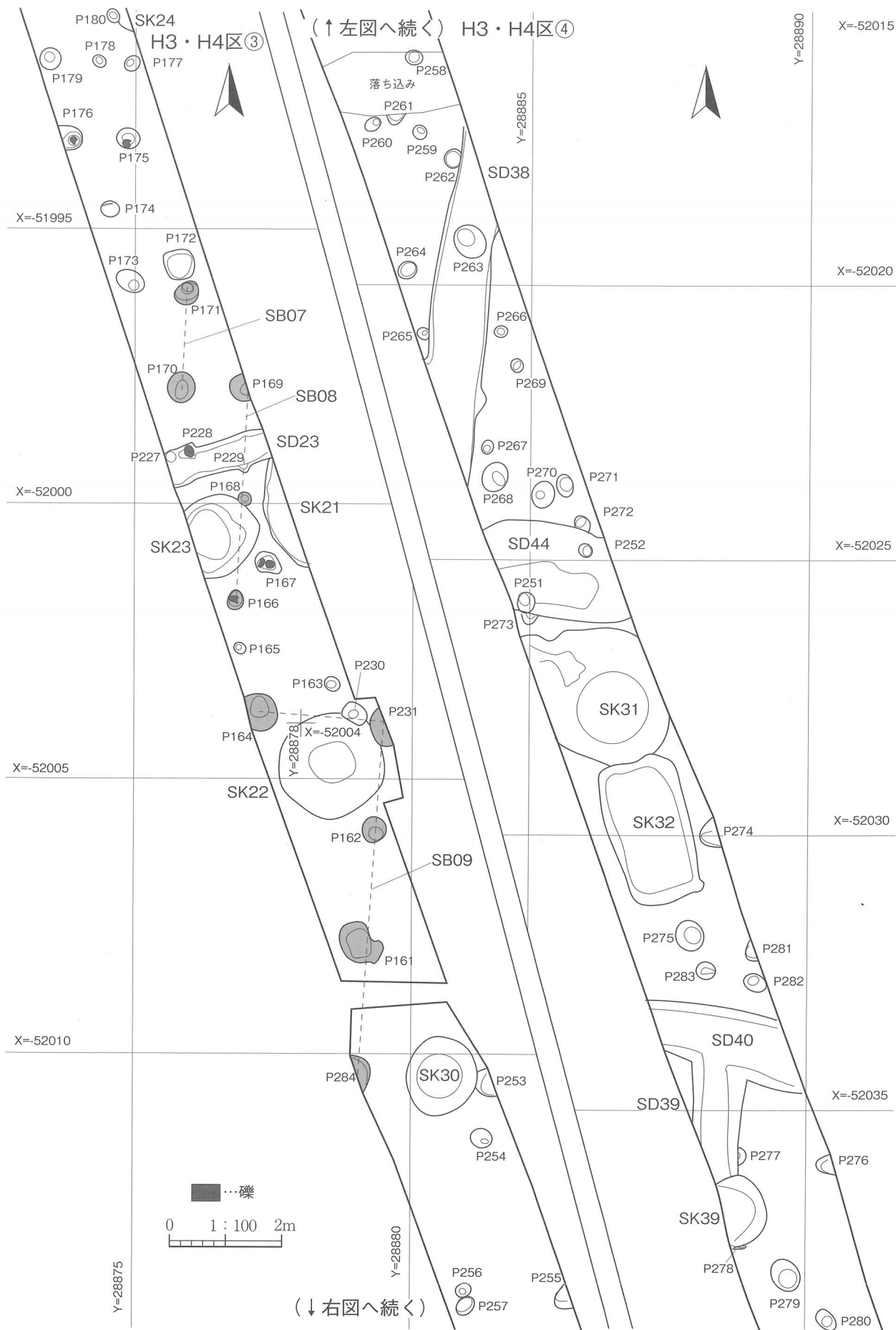
第22表 植物遺体観察表

(推定値) (残存値)

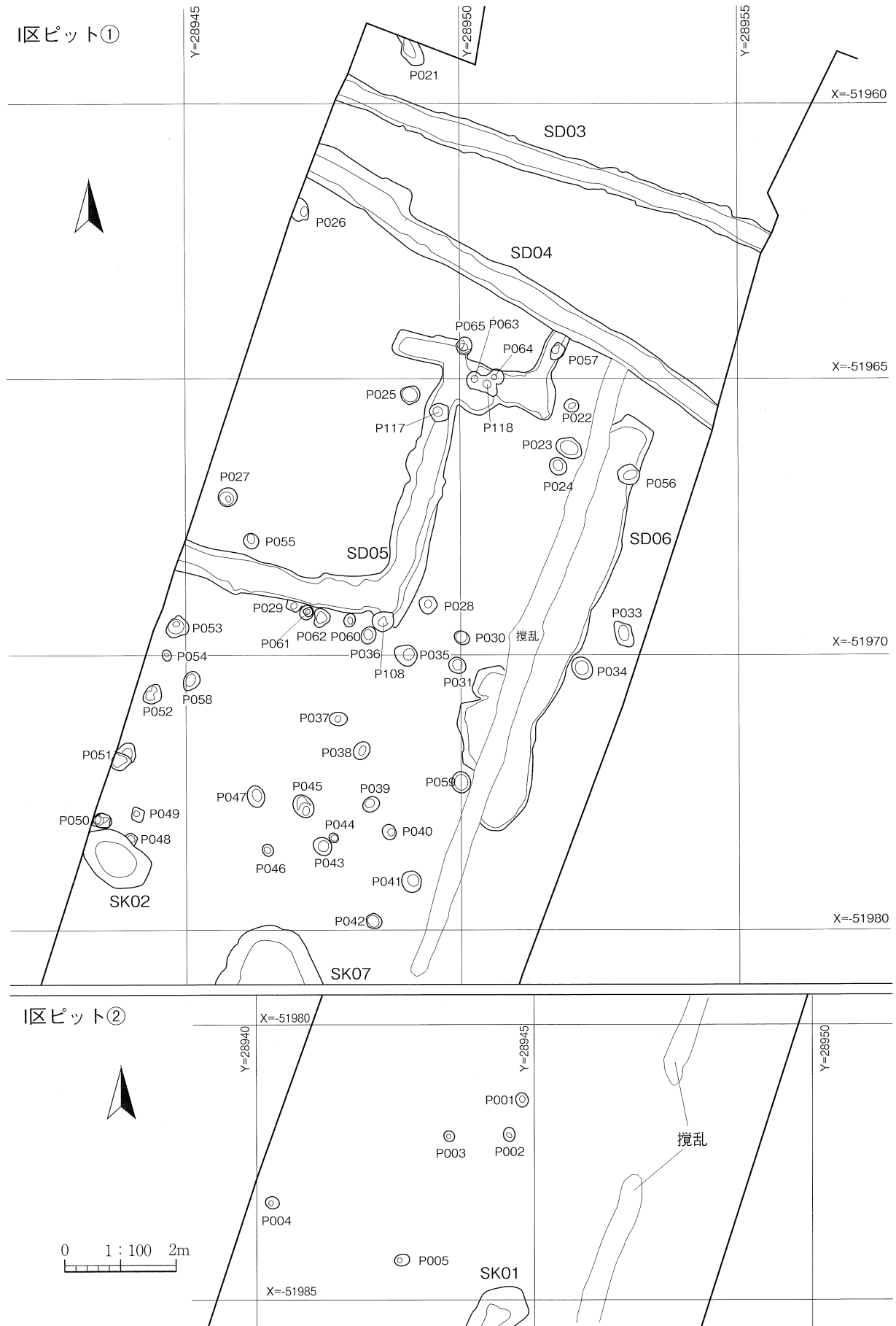
掲載No.	区域名	出土地点	層位	種名	重量(g)	備考	図版No.	写真No.
951	I	SD07	底面	クルミ?	6.2		-	63
952	H	SD17	埋土中位	マツボックリ	6.7		-	63
953	H2	SD17	(No.14)	モモ	2.9		-	63
954	Q1	SD34 南側	埋土2層~底面	モモ	4.5	分析2.7g 1	-	63
955	Q1	SD34	底面703 (No.19) 内の土	不明小さいもの	0.2	分析 - 5	-	63
956	Q1	SD34	底面703 (No.19) 内の土	不明小さいもの	-	分析 - 5	-	63
957	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	クルミ	5.1	分析5.1g 1	-	63
958	Q2	SD35 南側	埋土1層	クルミ	4.4		-	63
959	Q2	SD35 ベルトH	埋土3層	クルミ	6.5		-	63
-	Q2	P235		クルミ	2.5		-	-
-	I	SK06 東半	埋土3層	モモ	0.6		-	-
-	H3	SK32 西側	埋土2層 (炭化材) 上位	モモ	0.8	分析0.8g 1	-	-
-	I	SD04	埋土1層	モモ	0.7		-	-
-	I	SD04 東側	埋土1層	モモ	0.2		-	-
-	I	SD07	底面	モモ	0.8		-	-
-	H	SD17	埋土中位	モモ	15.2		-	-
-	H4	SD24	埋土2~3層	不明	0.6		-	-
-	Q1	SD34	底面703 (No.19) 内の土	不明小さいもの	0.1		-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	モモ	1.5		-	-
-	Q2	SD34 北側	埋土2層~底面	クルミ	3.0		-	-
-	Q2	SD34 北ベルト	埋土1層	クルミ	1.8		-	-
-	Q2	SD35 南側	埋土1層	クルミ	2.8		-	-
-	Q2	SD35 南側	埋土1層	クルミ	1.3		-	-
-	Q2	SD35 ベルトH	埋土1層	クルミ	1.7		-	-
-	Q2	SD35 ベルトH	埋土下位 (砂礫層)	クルミ	3.6		-	-
-	Q2	SX01 ベルト		クルミ	1.6		-	-
-	H	T43	Ic層	モモ	1.2		-	-
-	Q1	Q1区 南側	II層 (5回目)	モモ	1.4		-	-
-	Q1	Q1区 北側	II層 (7回目)	クルミ	4.1		-	-
-	Q1	T58 北端	II層	モモ	1.1		-	-
-	Q1	T58 北端	II層	モモ	6.5		-	-
-	Q1	T58	II層	クルミ	5.2		-	-
-	Q1	T58	II層	モモ	1.8		-	-
-	Q1	Q1区	排土	クルミ	1.7		-	-
-	Q2	T58	II層	モモ	1.6		-	-



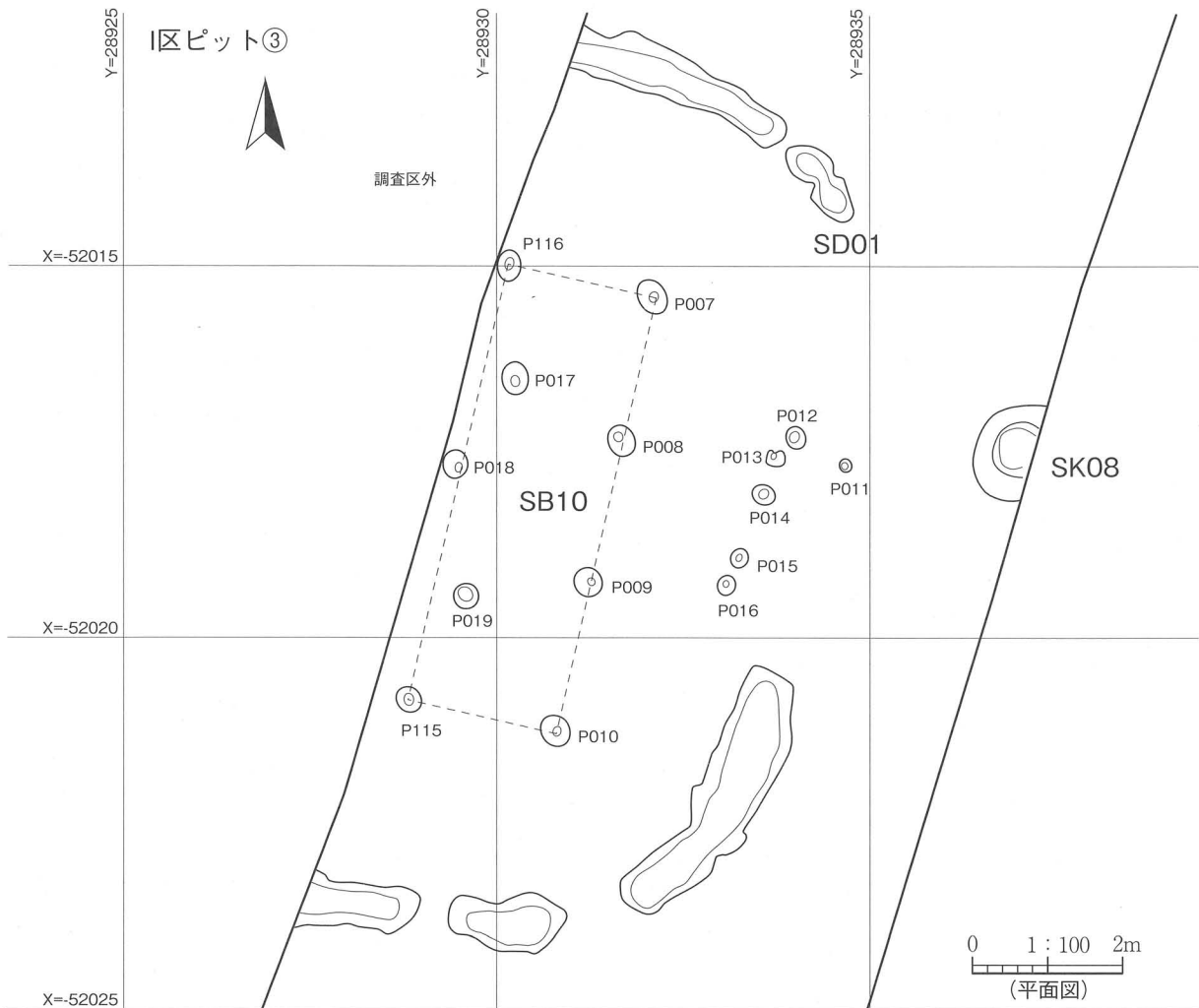
第17図 H3・H4区ピット①・②



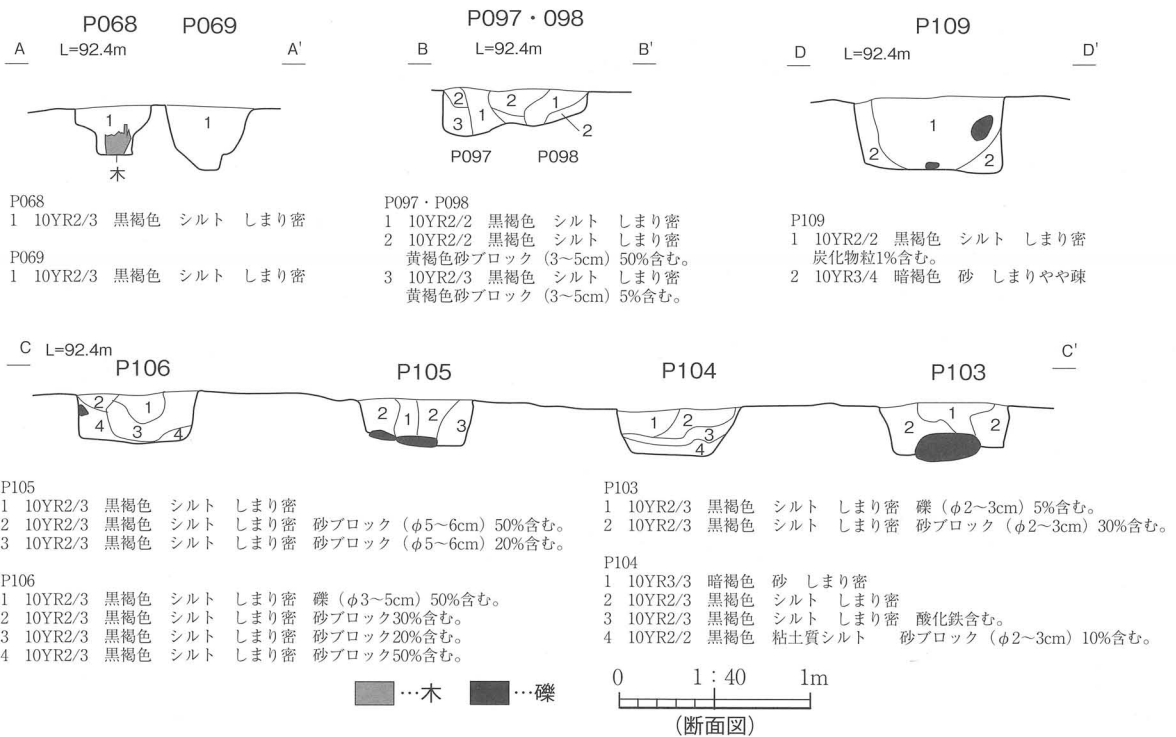
第18図 H3・H4区ピット③・④



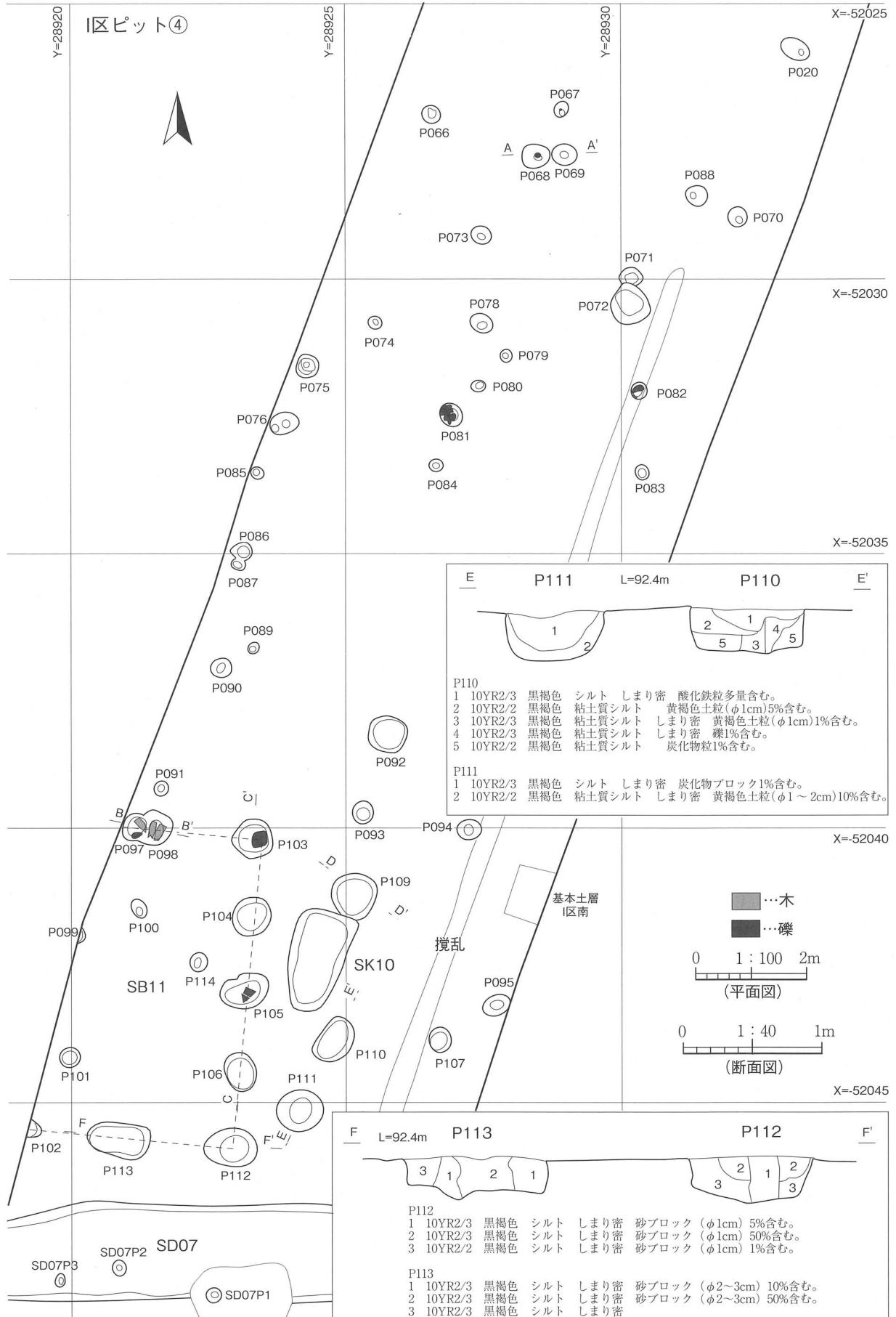
第19図 Ⅰ区ピット①・②



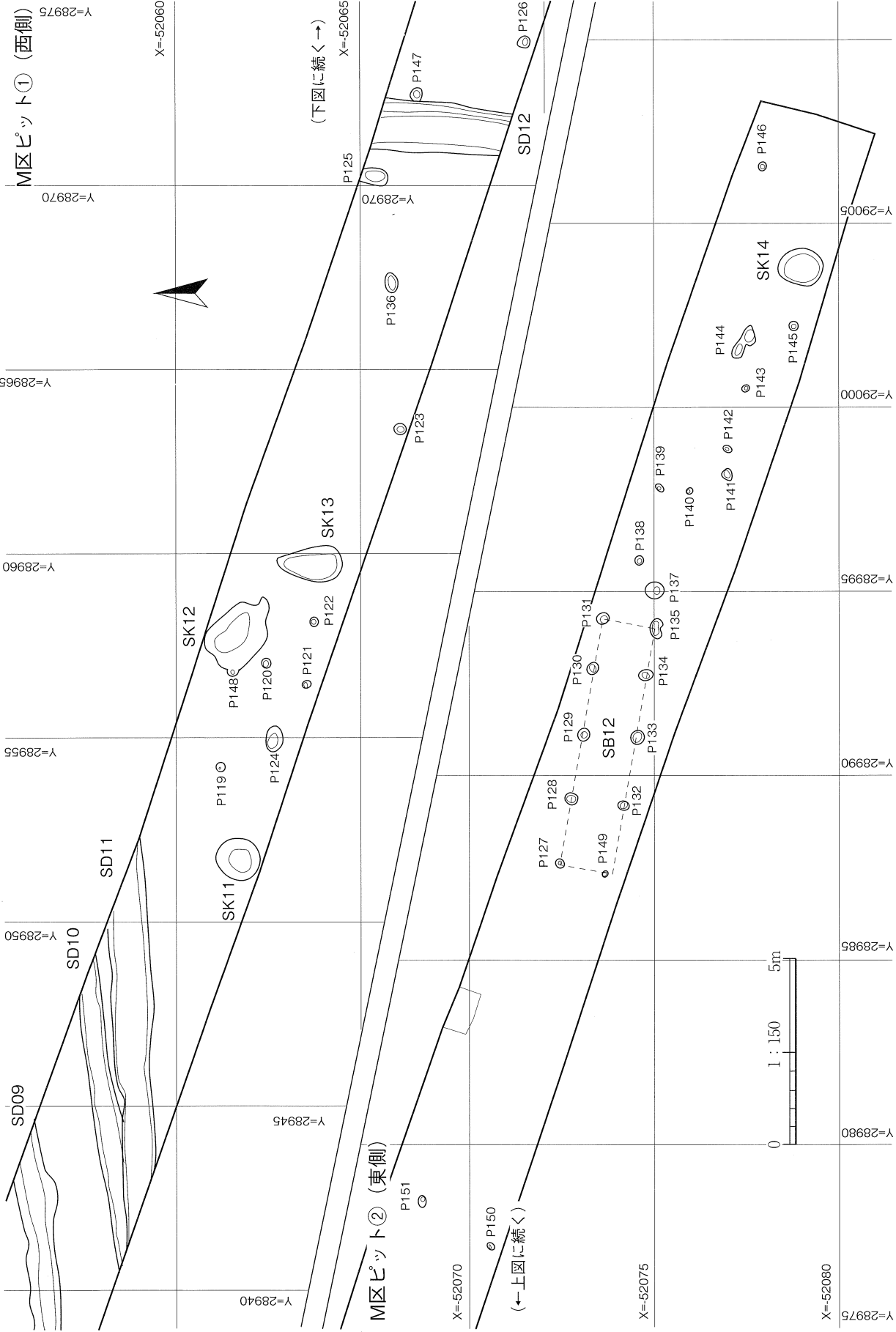
I区ピット④断面図



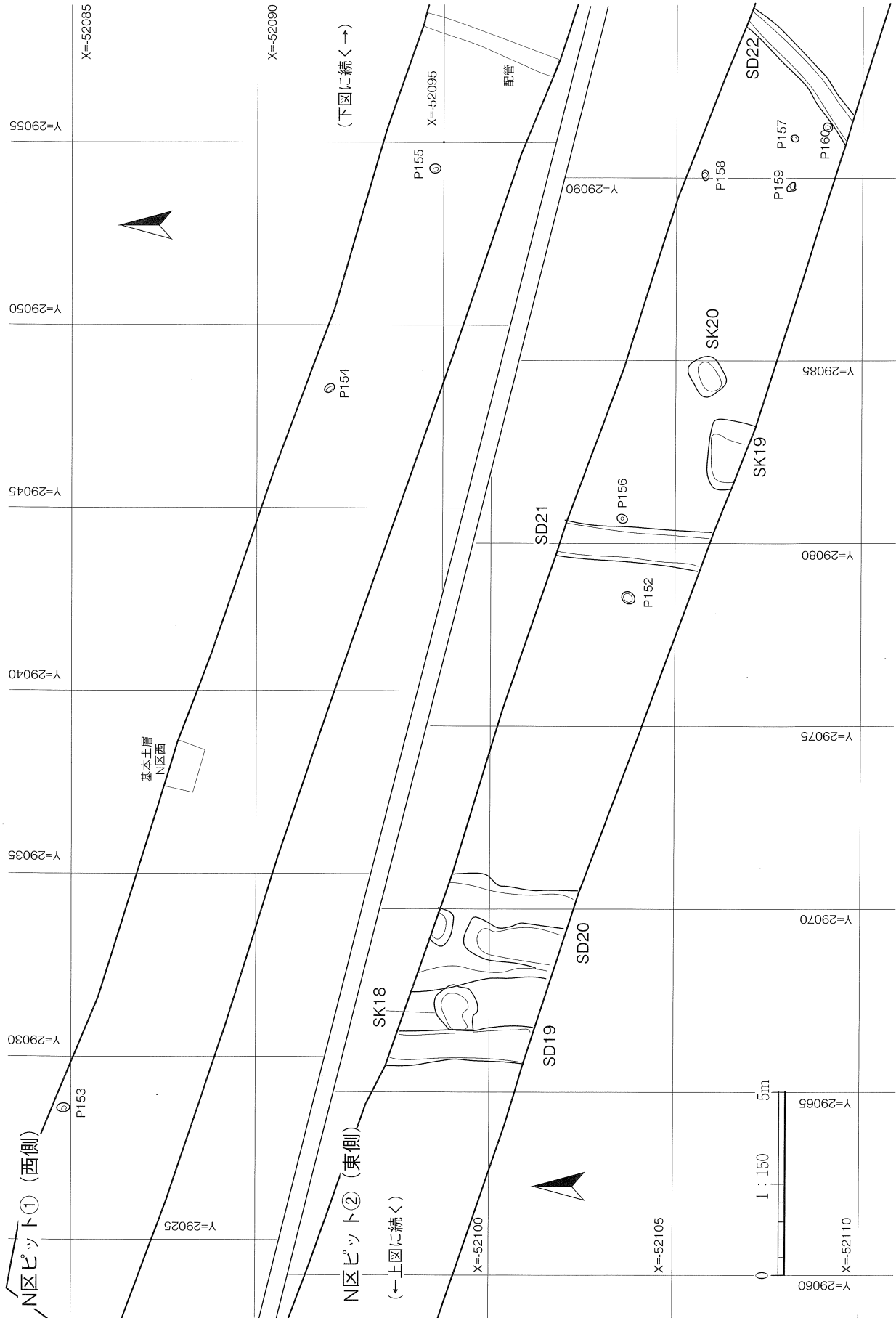
第20図 I区ピット③・④(1)



第21図 I区ピット④(2)



第 22 図 M 区ピット

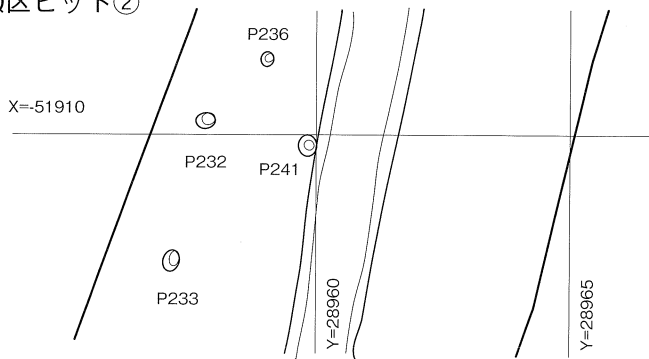


第 23 図 N 区ピット

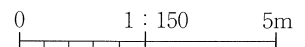
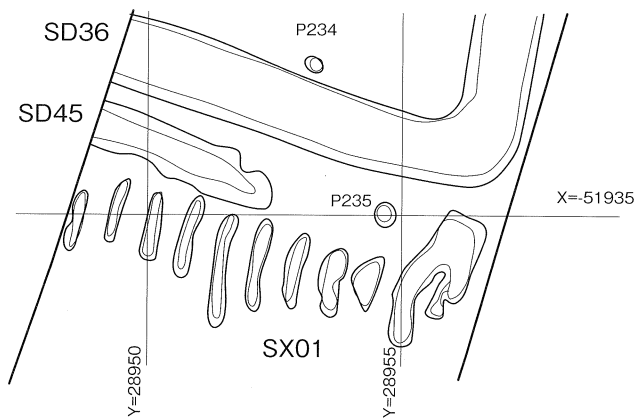
Q区ピット①



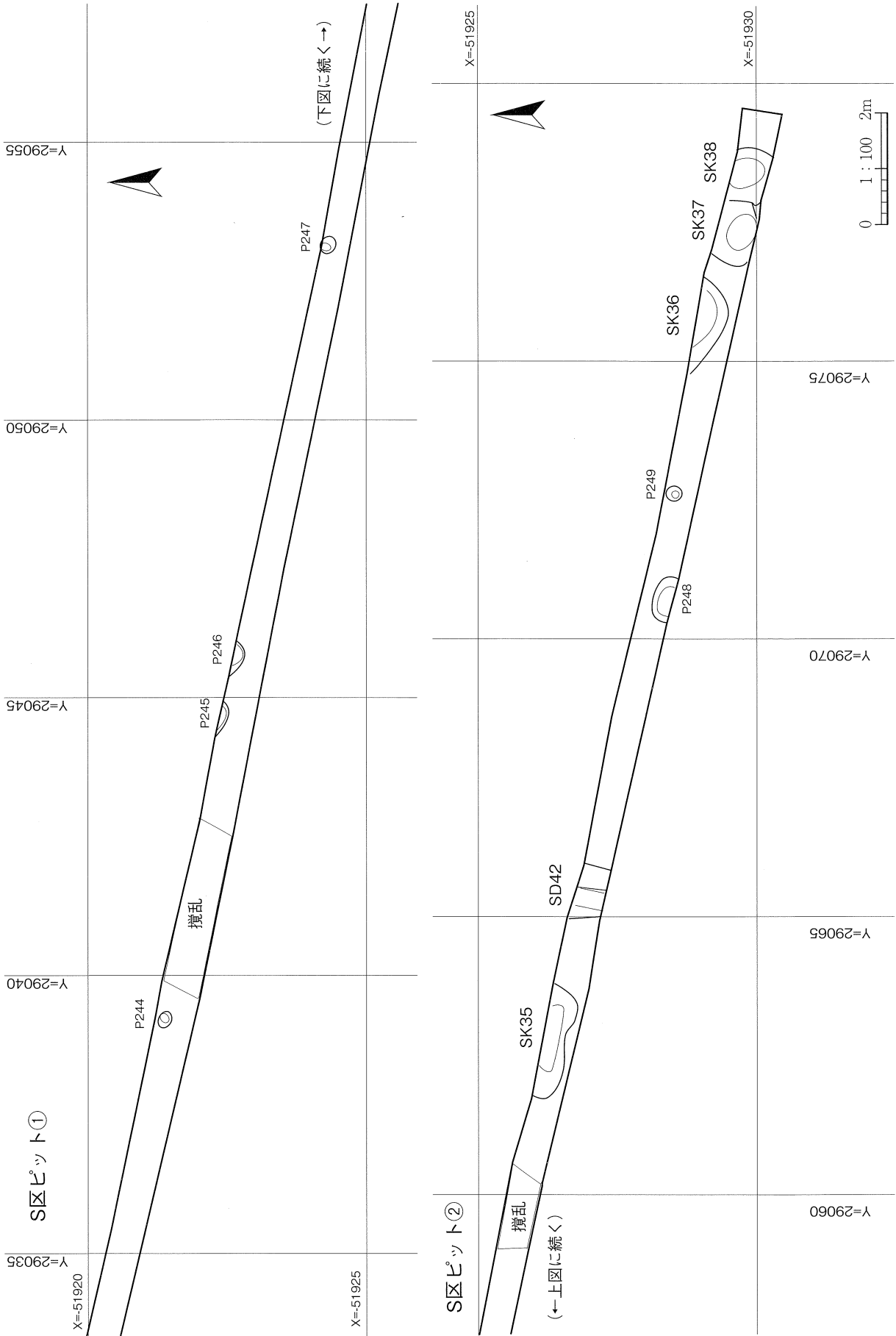
Q区ピット②



Q区ピット③

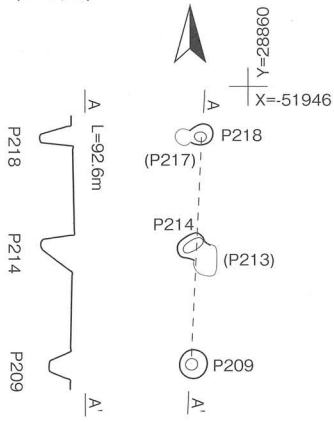


第24図 Q区ピット

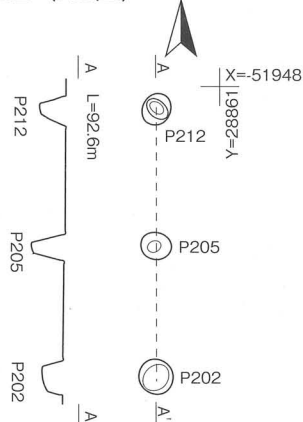


第25図 S区ピット

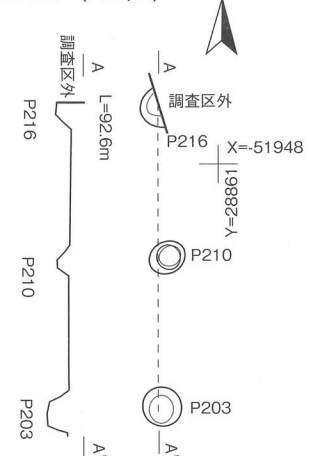
SB01 (H3区)



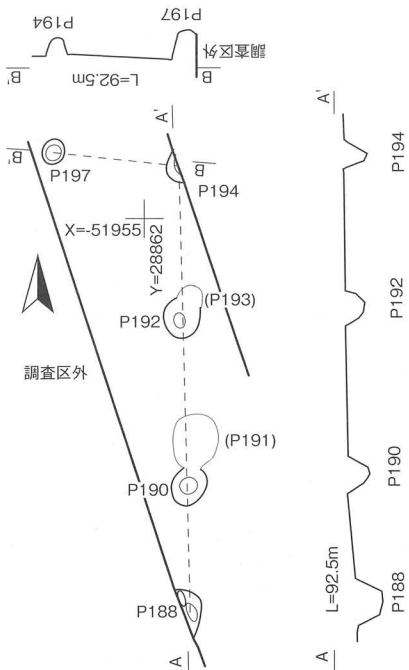
SB02 (H3区)



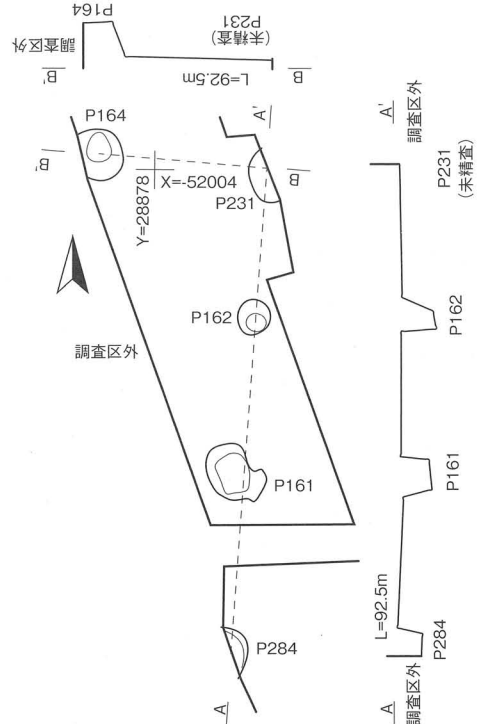
SB03 (H3区)



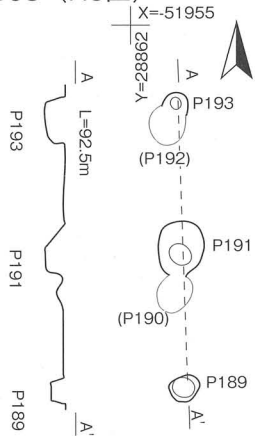
SB04 (H3区)



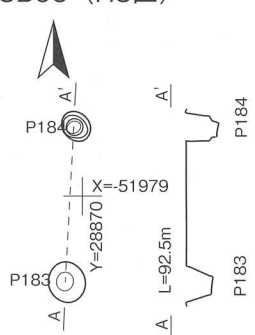
SB09 (H3区)



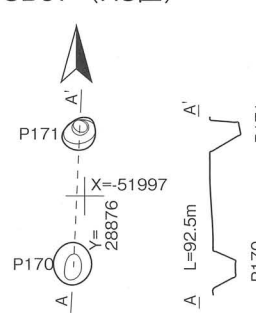
SB05 (H3区)



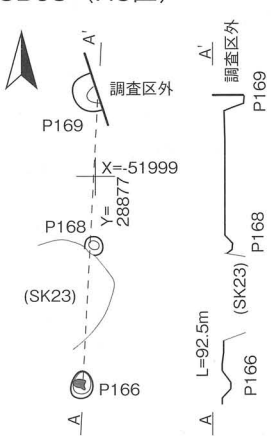
SB06 (H3区)



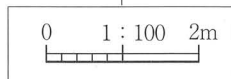
SB07 (H3区)



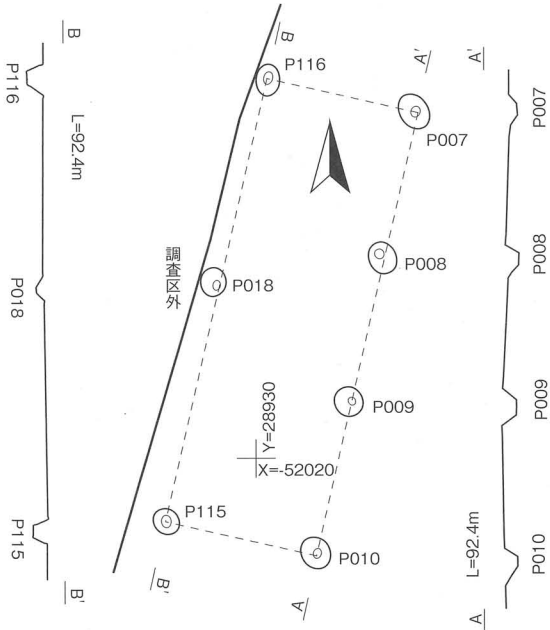
SB08 (H3区)



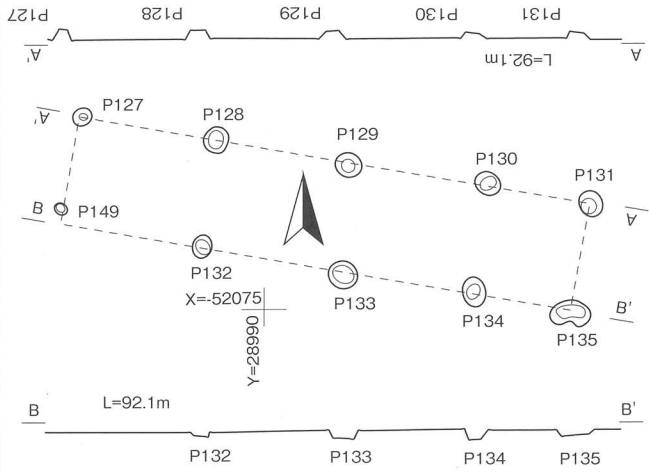
第26図 SB01 ~ 09



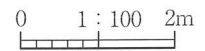
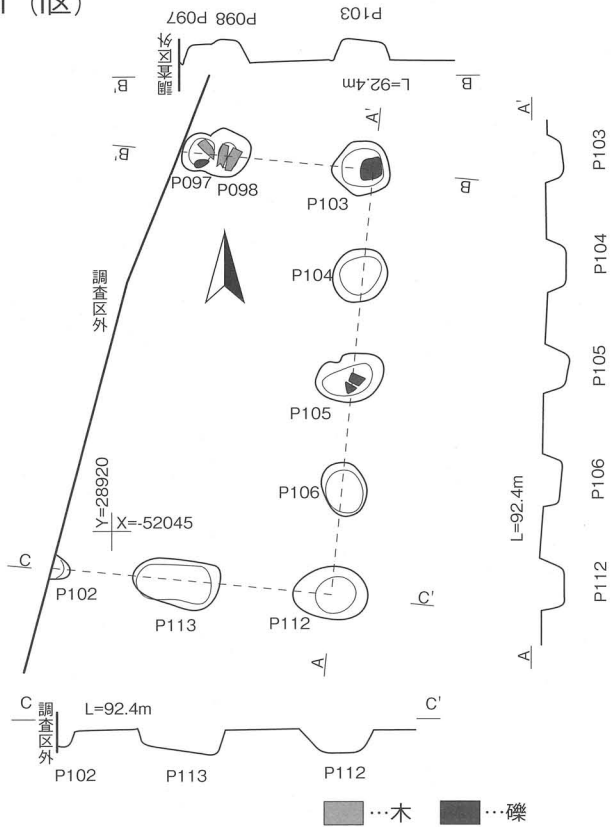
SB10 (I区)



SB12 (M区)

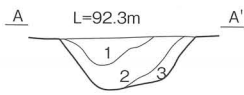
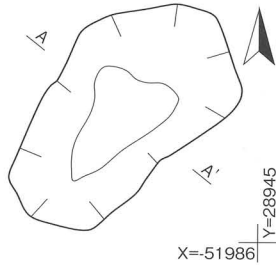


SB11 (II区)



第27図 SB10 ~ 12

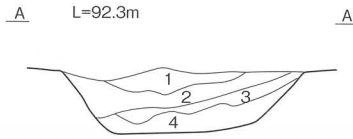
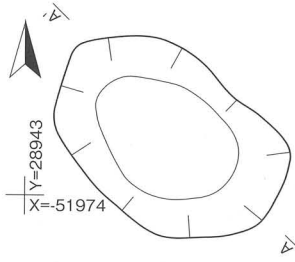
SK01 (I区)



SK01

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
砂ブロック (φ3cm) 5%含む。
- 3 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト しまり密

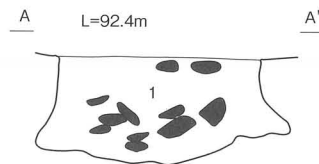
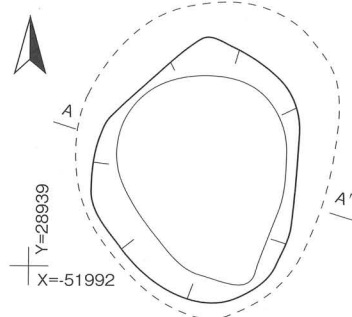
SK02 (I区)



SK02

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
砂ブロック (φ5cm) 5%含む。埋め戻し。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
灰色粘土ブロック (φ2cm) 3%
・砂ブロック (φ2cm) 3%含む。埋め戻し。
- 3 10YR1.7/1 黒色 シルト しまり密
灰色粘土ブロック (φ2cm) 10%
・砂ブロック (φ2cm) 10%含む。埋め戻し。
- 4 10YR4/1 褐灰色 粘土 しまりやや疎
砂ブロック (φ3cm) 10%含む。埋め戻し。

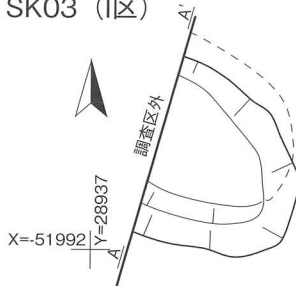
SK05 (I区)



SK05

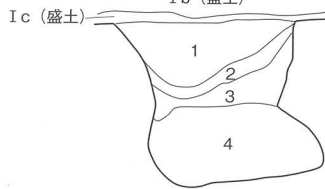
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
礫 (5~20cm) 多量・砂ブロック (1cm) 10%含む。
埋め戻し。

SK03 (I区)



I a (盛土)

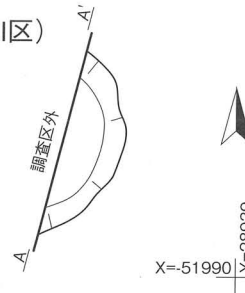
I b (盛土)



SK03

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
砂ブロック (φ2~5cm) 5%含む。埋め戻し。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
砂ブロック (φ2~5cm) 10%含む。埋め戻し。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
砂ブロック (φ2~5cm) 30%含む。埋め戻し。
- 4 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎
自然堆積。

SK04 (I区)



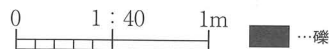
I a (盛土)

I b (盛土)

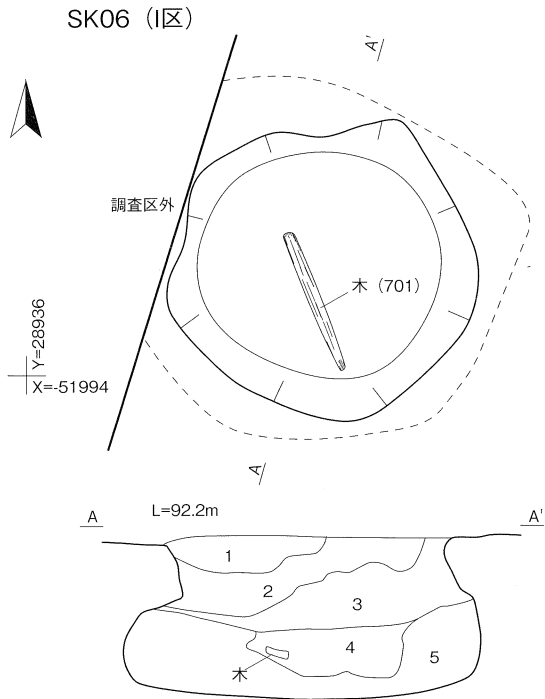


SK04

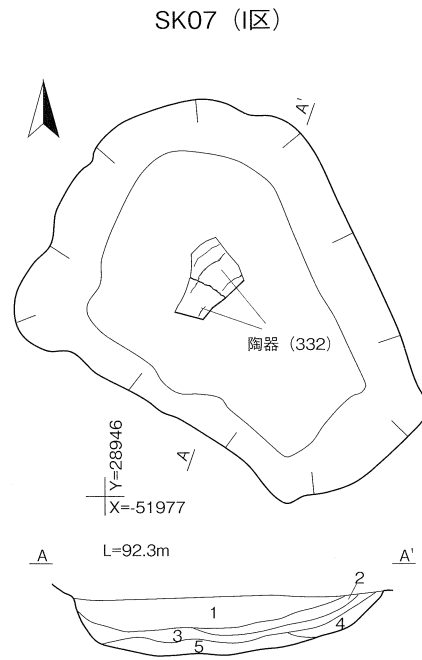
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト
砂ブロック (φ1cm) 10%含む。埋め戻し。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト
粘土ブロック (φ1~2cm) 5%含む。埋め戻し。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト
粘土ブロック (φ2~5cm) 5%・礫 (φ5cm) 2%含む。埋め戻し。
- 4 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
薄い層状の黄褐色粘土含む。埋め戻し。



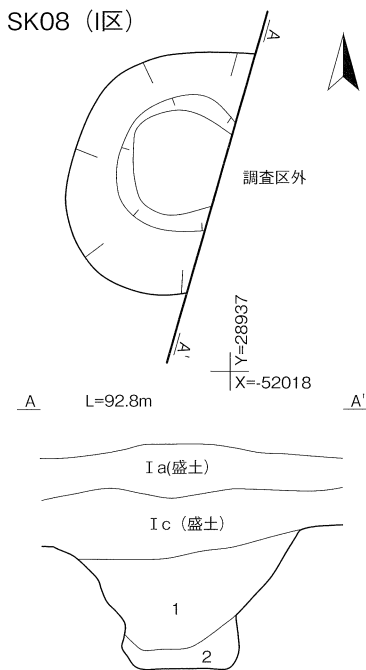
第28図 SK01 ~ 05



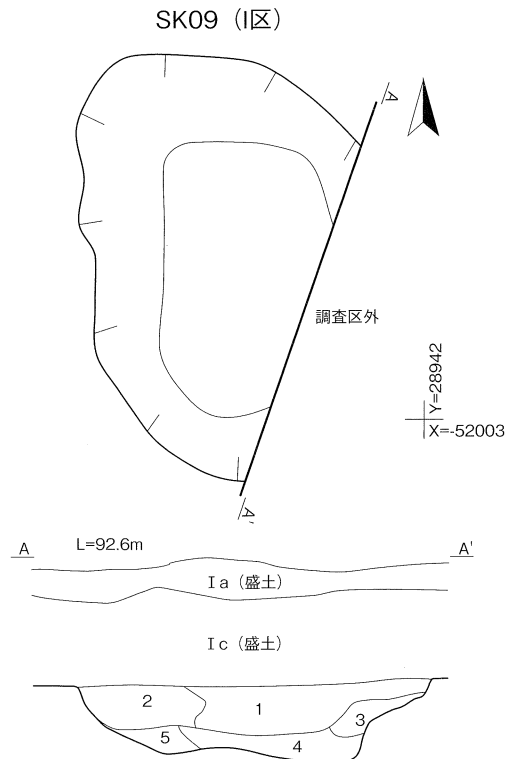
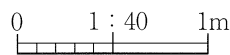
- SK06
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 地山粒20%含む。
 - 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト しまり密 筋状の酸化鉄含む。
 - 3 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎
 - 4 10YR4/1 褐灰色 シルト 砂ブロック80%含む。
 - 5 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂 しまり疎 層状の酸化鉄・黒色土ブロック含む。



- SK07
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 黄褐色土粒 (φ~1cm) 1%含む。自然堆積。
 - 2 10YR4/4 褐色 砂 しまり密 自然堆積。
 - 3 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 砂10%含む。自然堆積。
 - 4 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 砂20%含む。自然堆積。
 - 5 10YR4/1 褐灰色 粘土 しまり密 砂10%・酸化鉄含む。自然堆積。



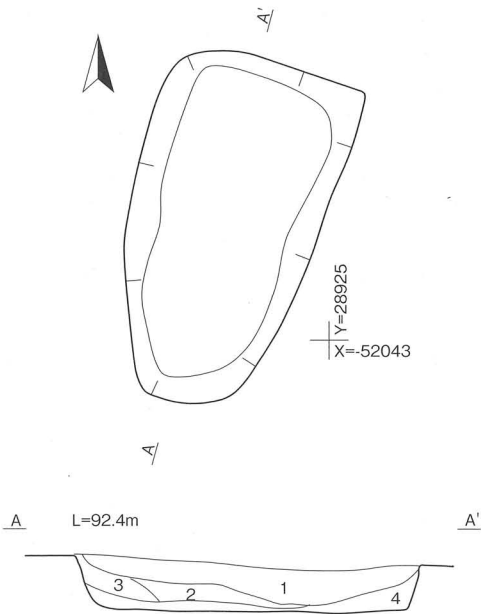
- SK08
- 1 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまり密
 - 2 10YR4/1 褐灰色 粘土質シルト しまりやや疎 砂少量含む。



- SK09
- 1 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎
 - 2 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎 にぶい黄褐色粘土ブロック (φ5~10cm) 多量含む。
 - 3 10YR3/3 暗褐色 粘土 しまり密
 - 4 10YR2/1 黒色 砂質シルト しまりやや疎 にぶい黄褐色粘土ブロック (φ3~5cm) 5%含む。
 - 5 10YR4/4 褐色 砂 しまり密

第 29 図 SK06 ~ 09

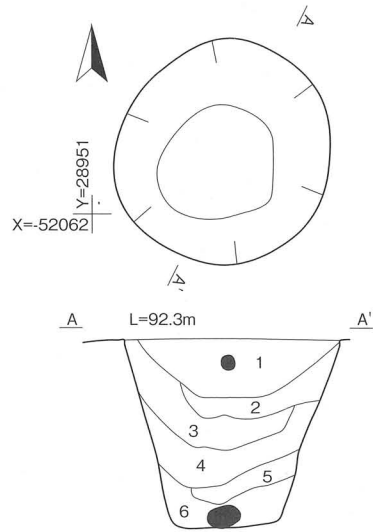
SK10 (I区)



SK10

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密砂・黄褐色土ブロック含む。埋め戻し。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密黄褐色土ブロック・砂含む。埋め戻し。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密砂・黄褐色土ブロック1層より少量含む。埋め戻し。
- 4 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト砂多量含む。埋め戻し。

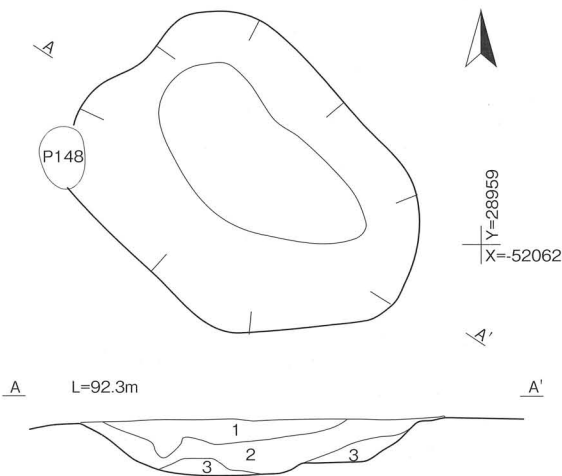
SK11 (M区)



SK11

- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密礫 (5cm) 1%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密黄褐色土ブロック (3~5cm) 10%含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土 しまり密
- 4 10YR2/1 黒色 粘土 しまりやや疎黄褐色土ブロック10%含む。
- 5 10YR5/6 黄褐色 粘土 しまり疎
- 6 10YR2/3 黒褐色 砂 しまり疎礫 (5~10cm) 30%含む。

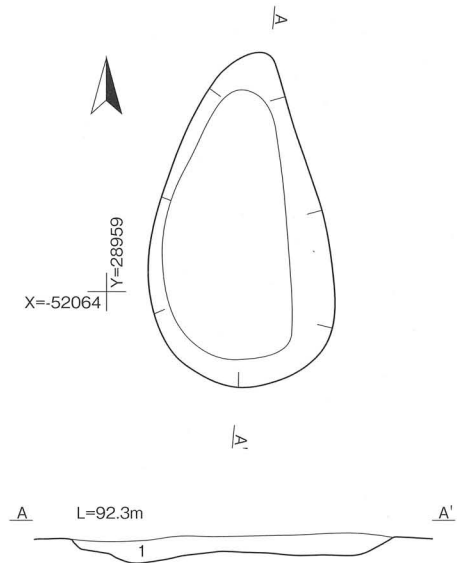
SK12 (M区)



SK12

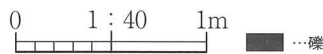
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密黄褐色土粒2%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- 3 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密褐色粘土ブロック (φ3~5cm) 50%含む。

SK13 (M区)

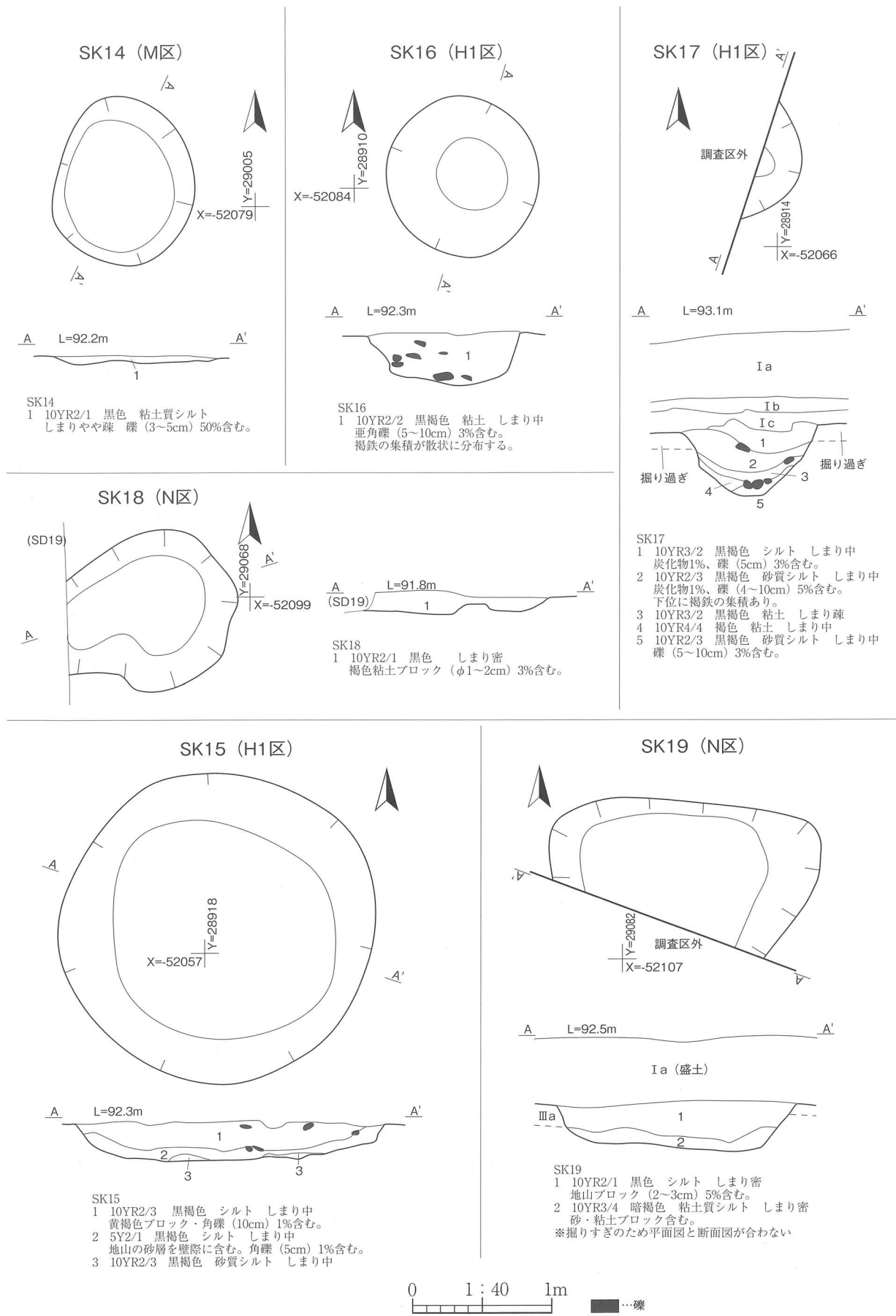


SK13

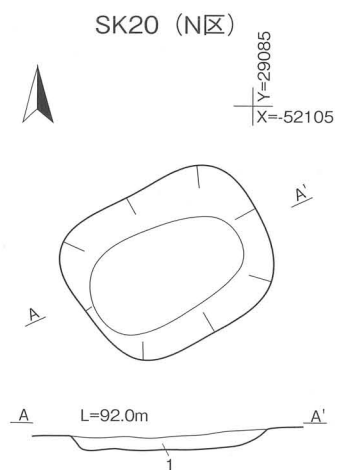
- 1 10YR2/1 黒色 シルト黄褐色土ブロック (φ1~2cm) 10%含む。



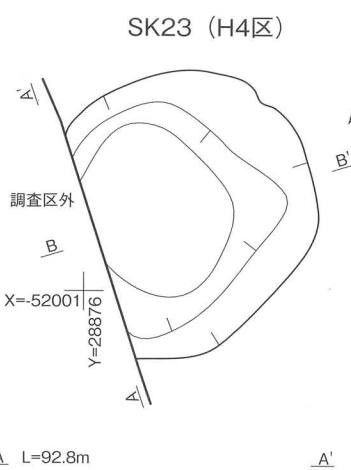
第30図 SK10~13



第31図 SK14~19

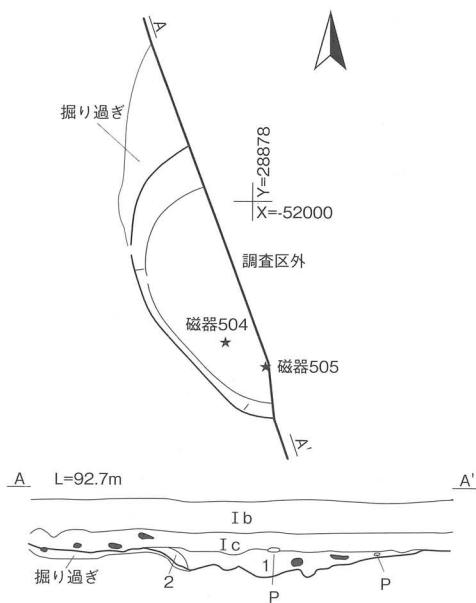


SK20
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
にぶい黄褐色砂ブロック (3~5cm) 3%含む。



SK23
1 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり密
小礫混入。
2 10YR5/6 黄褐色 砂 しまり密
3 10YR3/1 黒褐色 シルト しまり中
上位に褐色土ブロックが入る。炭化物1%含む。
4 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
5 10YR4/1 褐灰色 粘土 しまり中
6a 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土 しまり中
6b 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘土 しまり中
6a層に褐色土ブロックが入る。
7 10YR5/8 黄褐色 粘土 しまり中
8 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり中
9 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中
10 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり中
褐色土ブロック10%含む。
11 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 しまり中
暗褐色土10%含む。

SK21 (H4区)

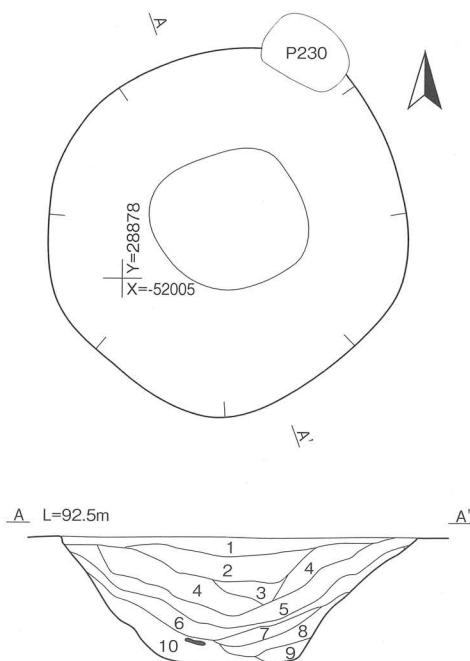


SK21
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
褐色土ブロック20%含む、礫(φ10cm)、陶磁器片含む。
2 10YR3/4 暗褐色 粘土 しまり中 褐色土30%含む。



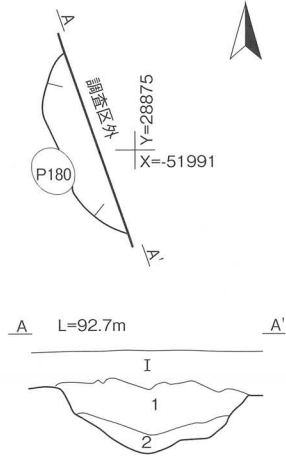
★ …遺物出土地点
■ …礫

SK22 (H4区)



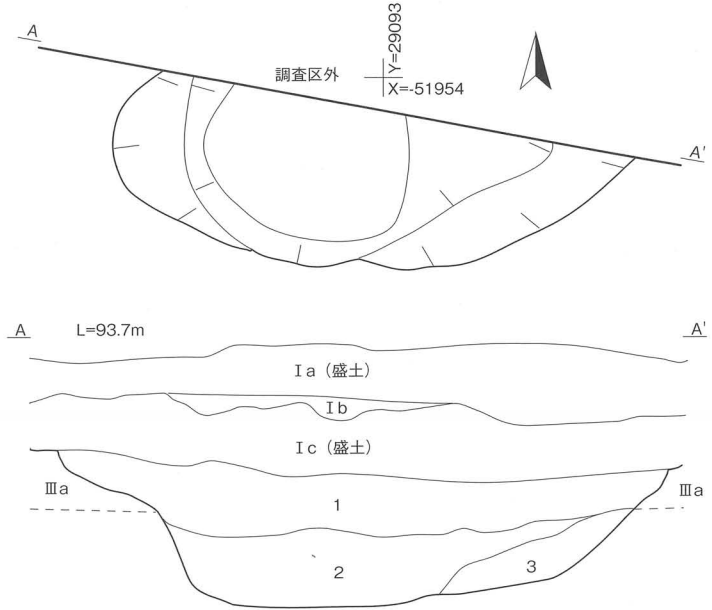
SK22
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 炭化物1%含む。
2 10YR3/3 暗褐色 シルト しまり密 褐色土粒1%含む。
3 10YR3/4 暗褐色 シルト しまり密
4 10YR3/2 黒褐色 シルト しまり密
5 10YR3/2 黒褐色 シルト しまり密
6 10YR5/8 黄褐色 砂質シルト しまり中
7 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト
8 10YR5/6 黄褐色 砂 にぶい黄褐色砂 (10YR5/4)との混土
9 10YR5/6 黄褐色 砂
10 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘土 黒褐色土5%含む。

SK24 (H4区)



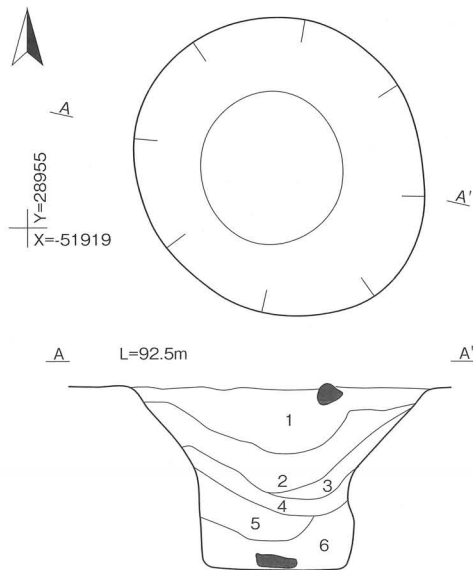
- SK24
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
 褐色土5%含む。
 2 10YR2/2 黒褐色 シルト質粘土 しまり中

SK25 (L区)



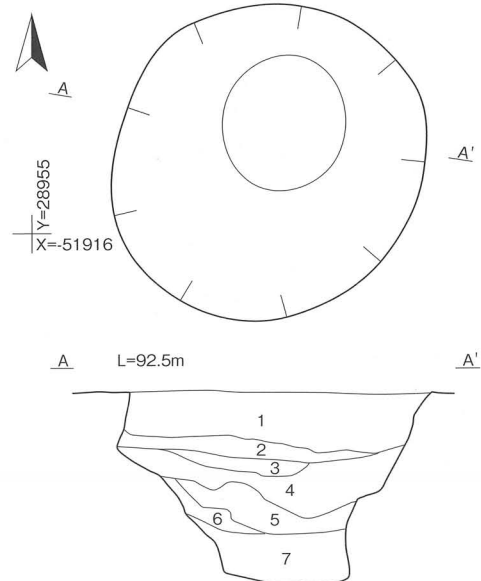
- SK25
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
 2 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまり密
 3 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまり密 地山ブロック (φ3~5cm) 30%含む。
 ※掘りすぎのため、平面図と断面図が合わない。

SK26 (Q2区)



- SK26
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密
 土器粒・炭化物粒 (φ~1cm) 1%含む。
 2 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり密
 黄褐色砂質土ブロック10%含む。
 3 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 崩落土。
 4 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト
 3層の砂ブロック50%含む。
 5 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎
 薄い層状の砂含む。
 6 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎
 薄い層状の砂 (5層より少ない) 含む。

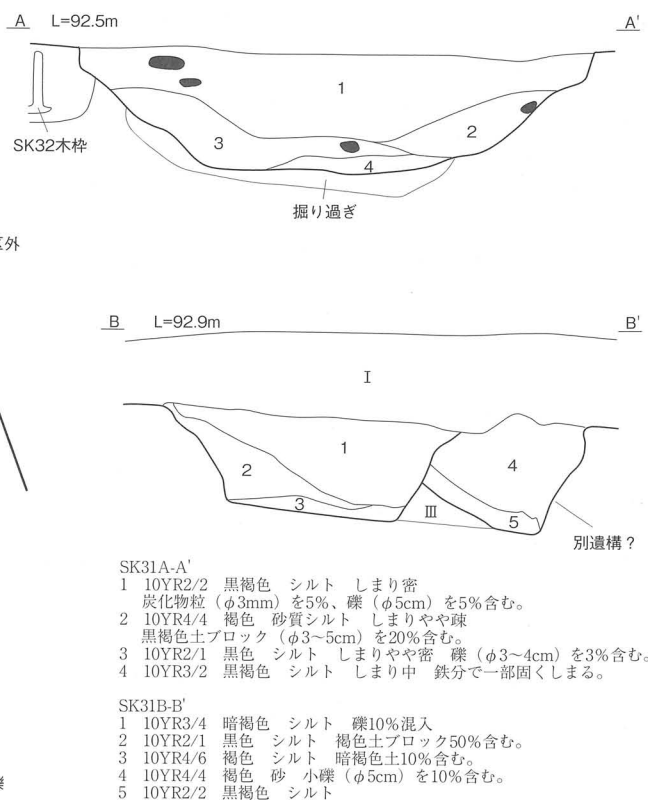
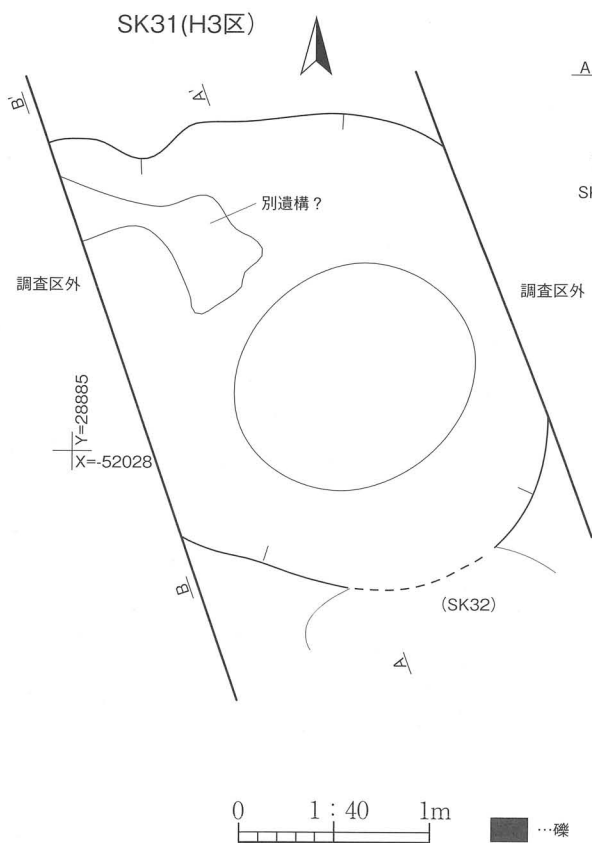
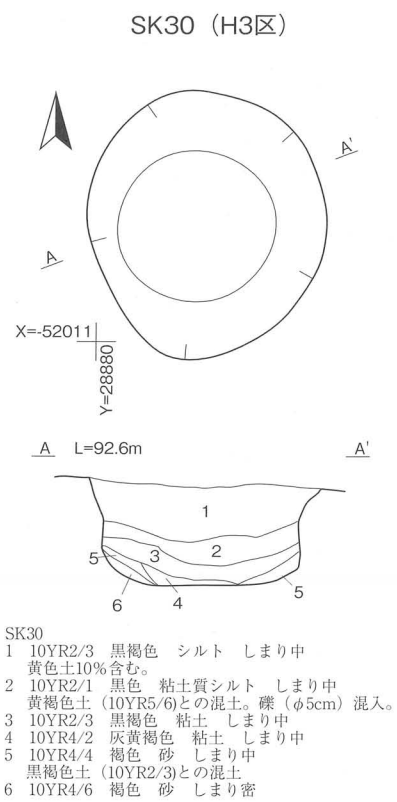
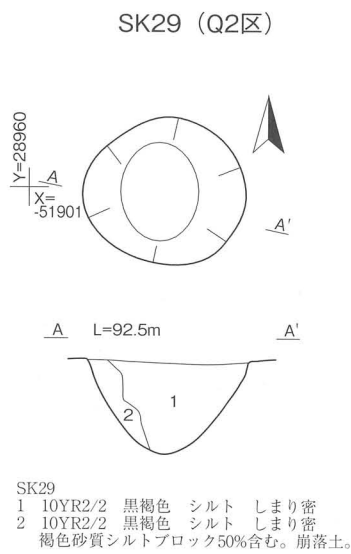
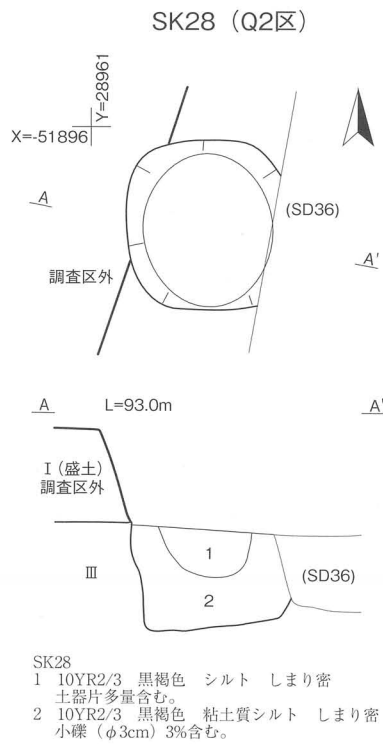
SK27 (Q2区)



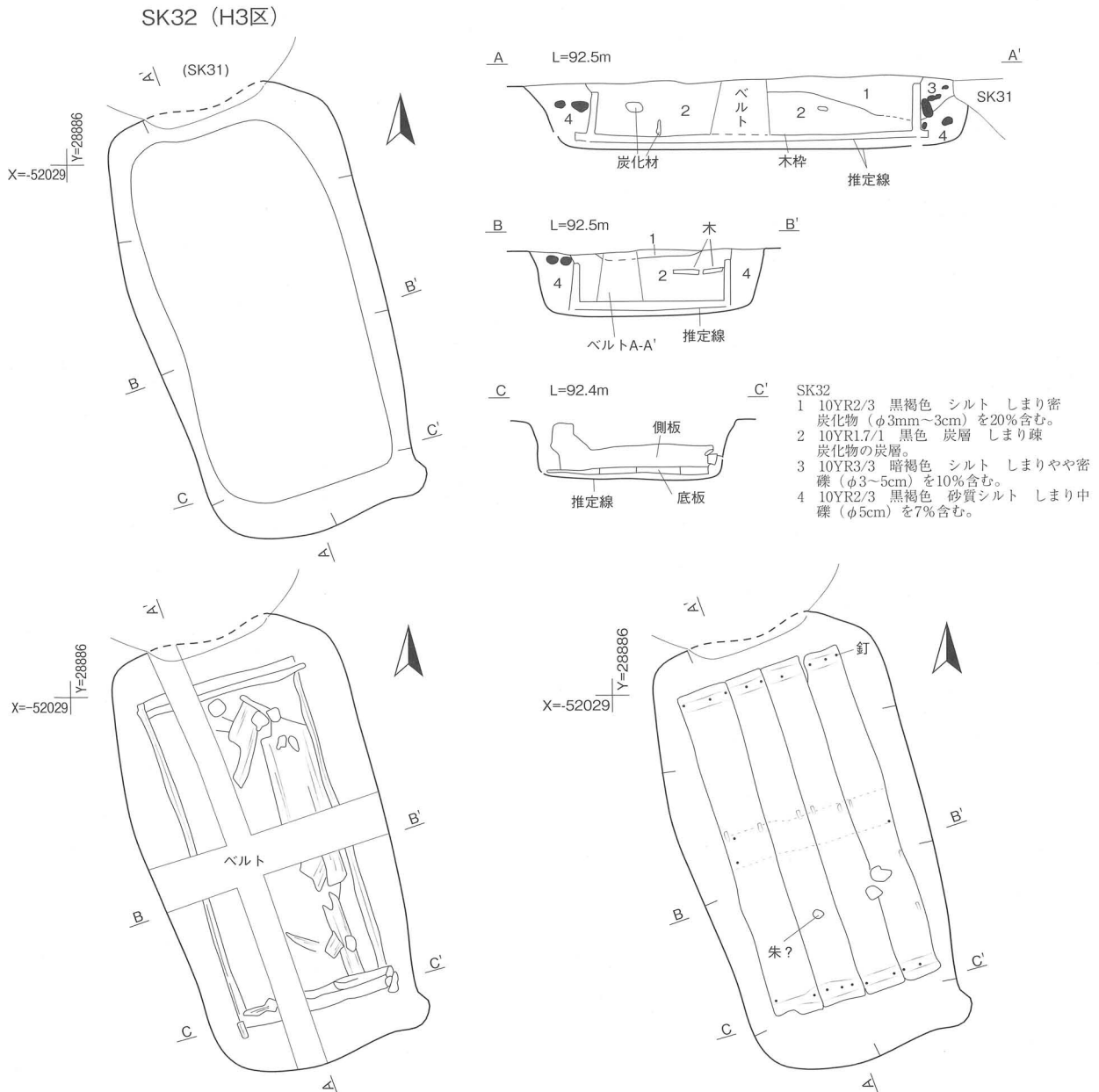
- SK27
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密
 黄褐色土ブロック (壁際に多い)・土器粒・炭化物粒1%含む。
 2 10YR3/4 暗褐色 砂
 3 10YR4/6 褐色 砂質シルト
 黒褐色土粒10%含む。
 4 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
 砂ブロック (φ3cm) 10%含む。
 5 10YR4/4 褐色 シルト 崩落土。
 6 砂
 7 10YR4/6 褐色 粘土質シルト 崩落土。



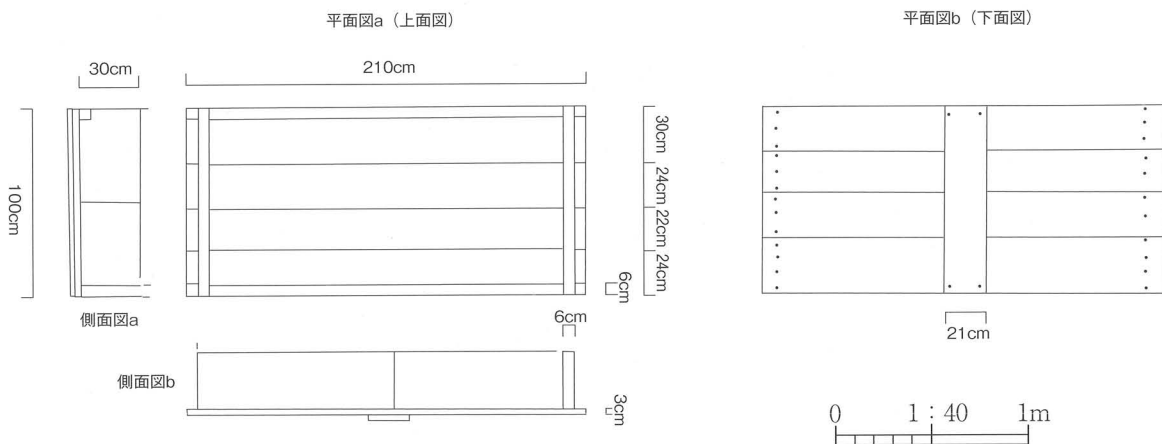
第33図 SK24~27



第34図 SK28～31

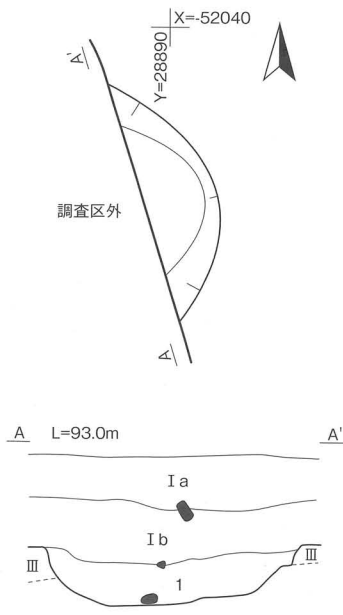


SK32木柁模式図



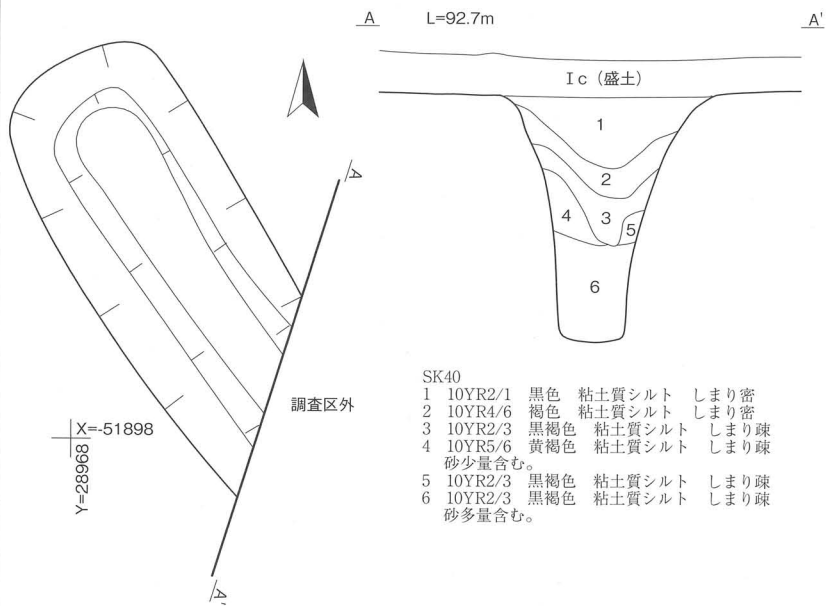
第 35 図 SK32

SK33 (H3区)



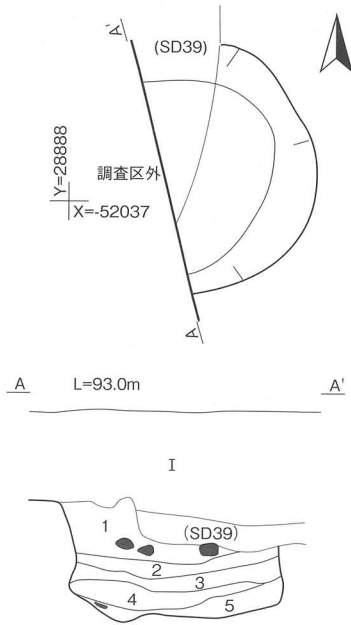
SK33
1 10YR3/3 暗褐色 シルト しまり中
礫3%含む。

SK40 (Q2区)



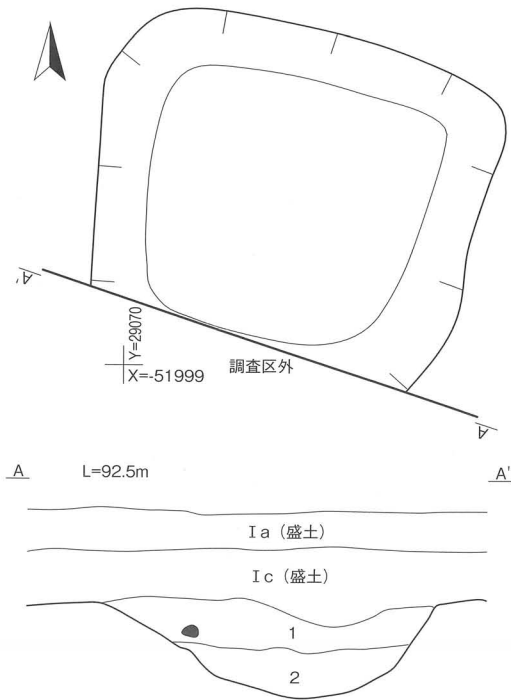
SK40
1 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
2 10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまり密
3 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり疎
4 10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト しまり疎
砂少量含む。
5 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり疎
6 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり疎
砂多量含む。

SK39 (H3区)

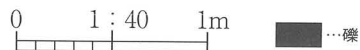


SK39
1 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり中
褐色土粒1%混入。
2 10YR3/3 暗褐色 粘土 しまり中
3 10YR2/1 黒色 シルト しまり中
4 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
5 10YR1.7/1 黒色 シルト しまり中
礫5%含む。

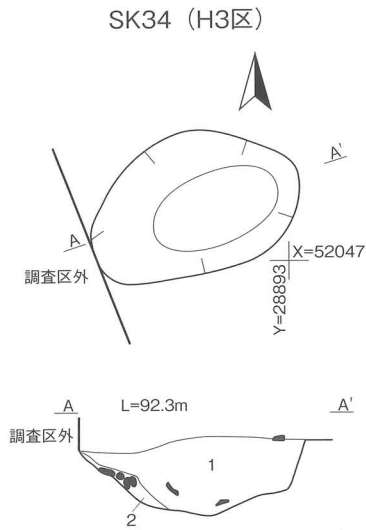
SK41 (R3区)



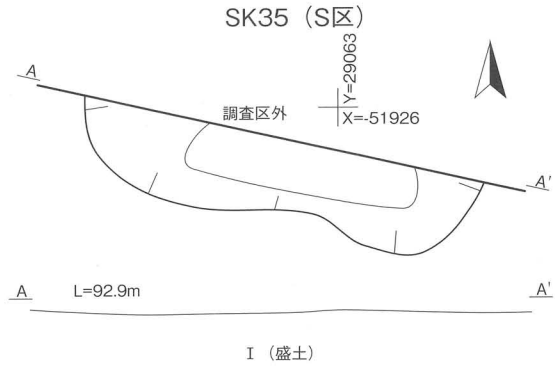
SK41 (IHSD29)
1 10YR2/1 黒色 粘土 しまり密
白色粘土ブロック (φ5-6cm) 10%含む。
2 10YR3/1 黒褐色 粘土 しまりやや疎



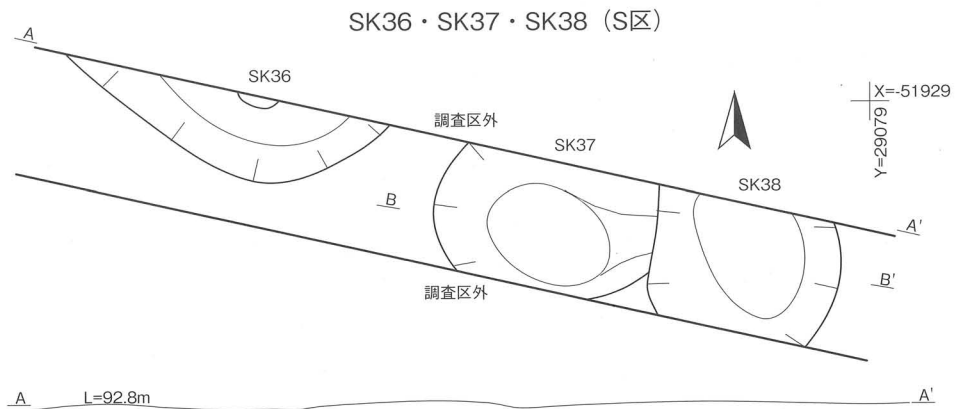
第 36 図 SK33・39～41



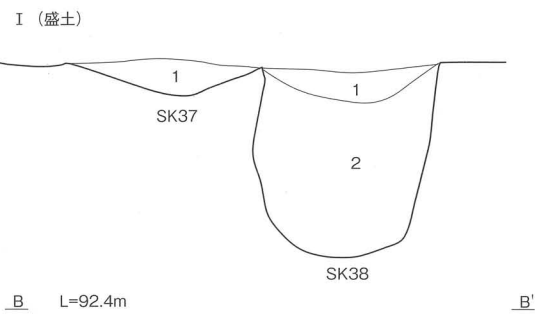
- SK34
- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト しまり中
礫 (φ5~10cm) を3%含む。
 - 2 10YR2/1 黒色 砂質シルト しまり中
黄褐色土5%含む。(SD39の埋土) SK39→SD39



- SK35
- 1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
 - 2 10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまりやや密
 - 3 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
 - 4 10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまりやや疎

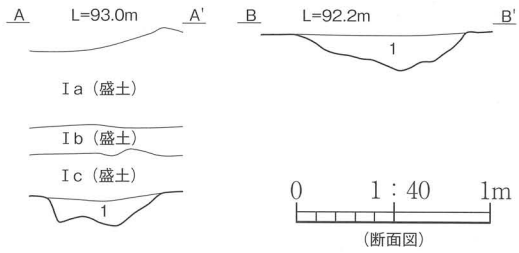


- I (盛土)
- SK36
- 1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎
 - 2 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎
黄褐色土ブロック3%含む。
 - 3 10YR4/6 褐色 粘土 しまり密
 - 4 10YR2/1 黒色 粘土 しまりやや疎
- SK37
- 1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
- SK38
- 1 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
 - 2 10YR2/2 黒褐色 粘土 しまり密
黄褐色土ブロック・礫 (φ3~5cm) 5%含む。埋め戻し。

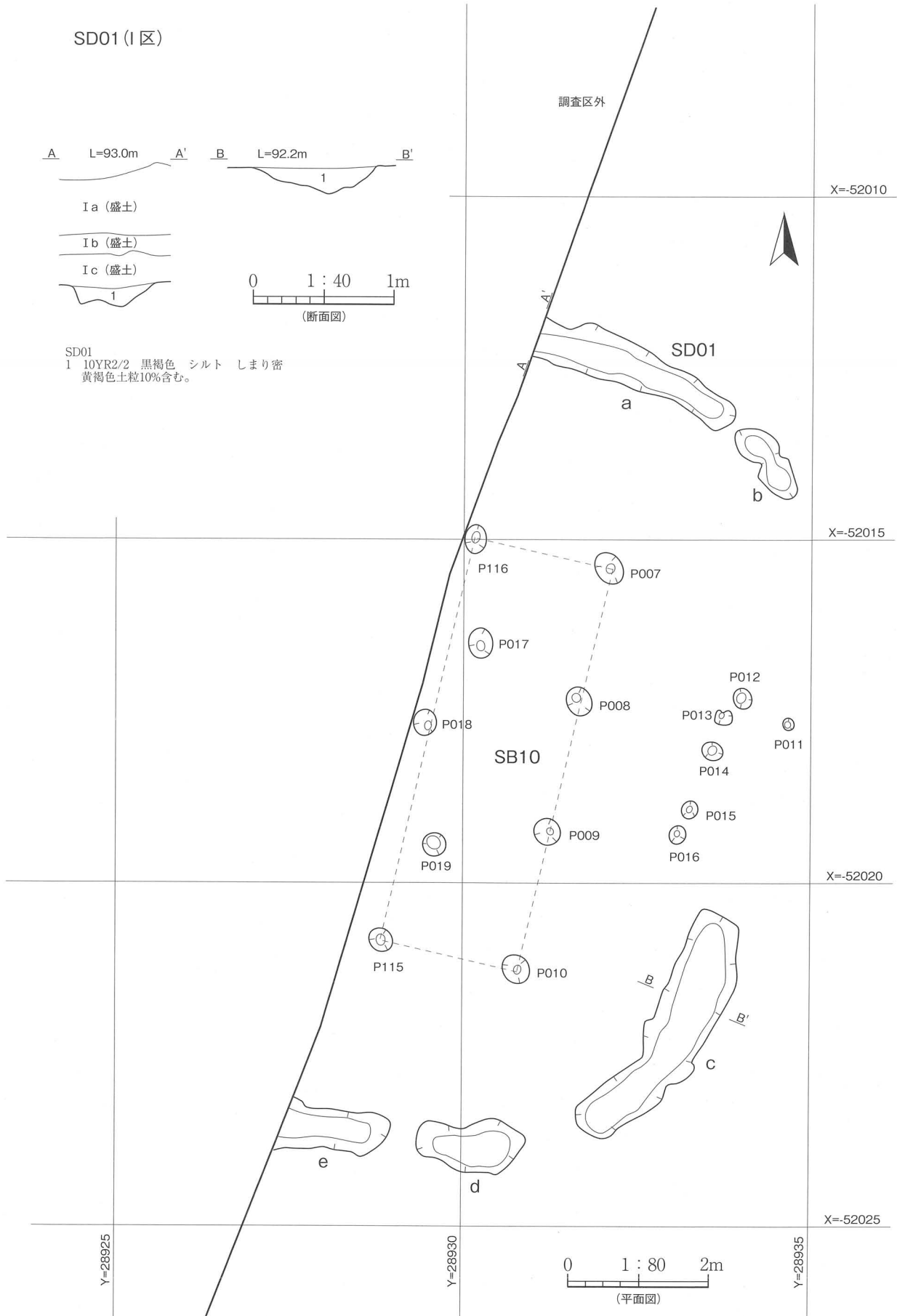


第 37 図 SK34 ~ 38

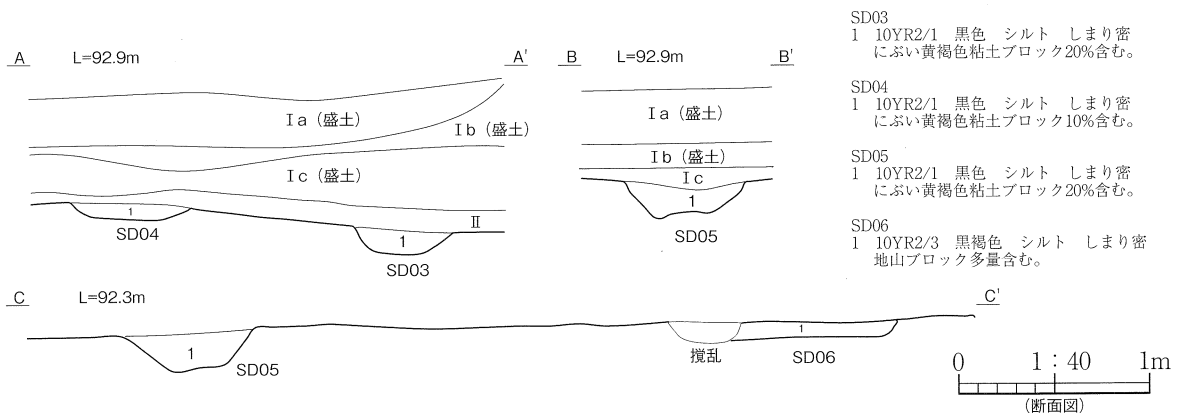
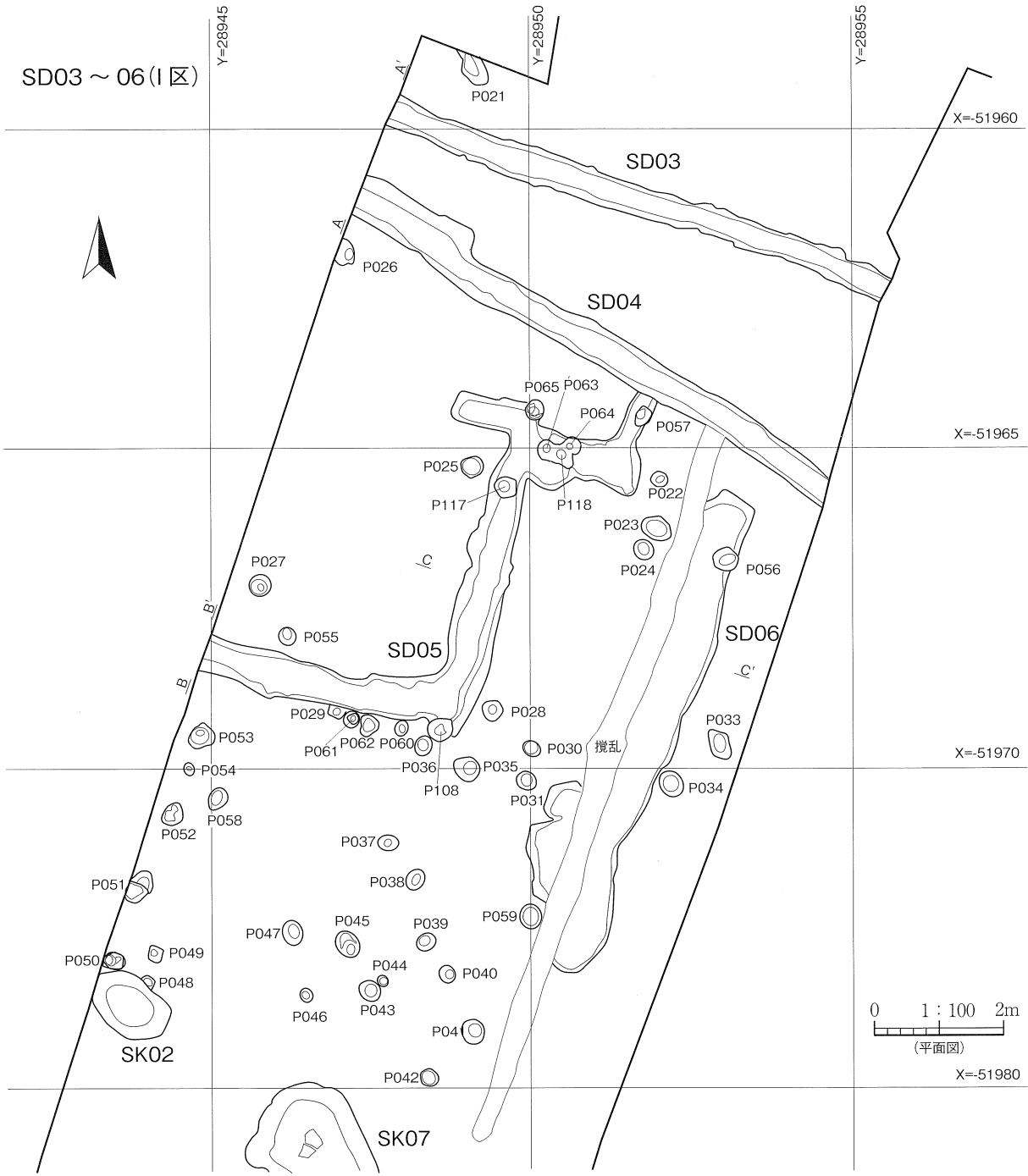
SD01 (I 区)



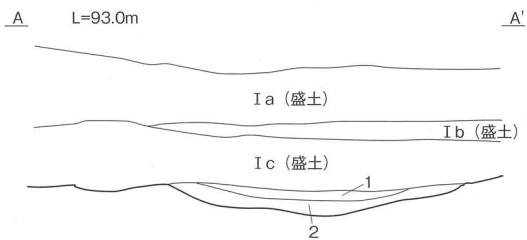
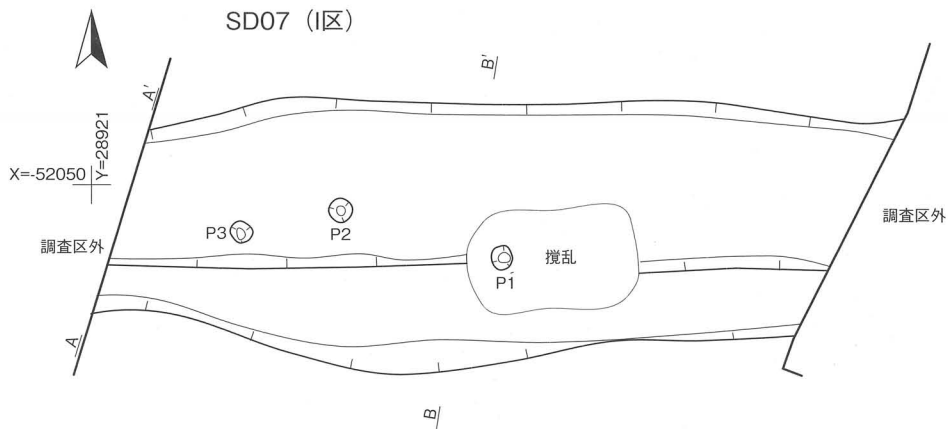
SD01
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
 黄褐色土粒10%含む。



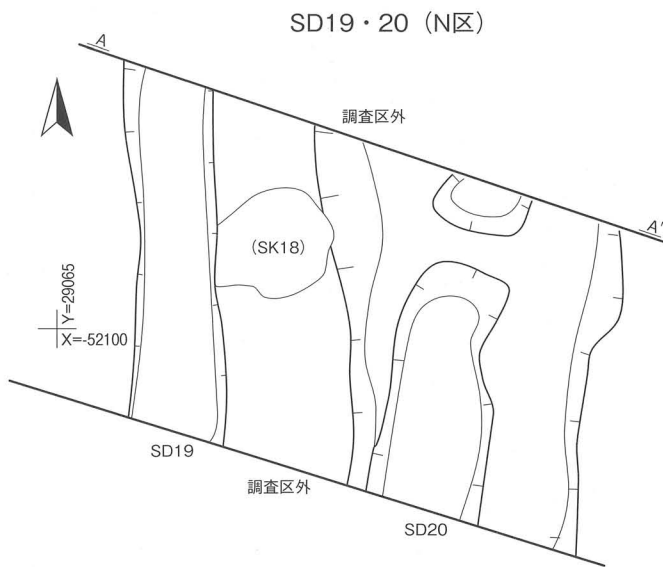
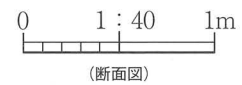
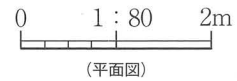
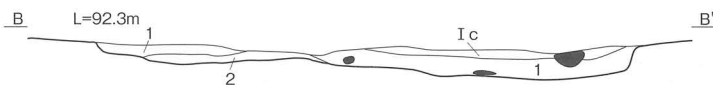
第 38 図 SD01



第39図 SD03~06

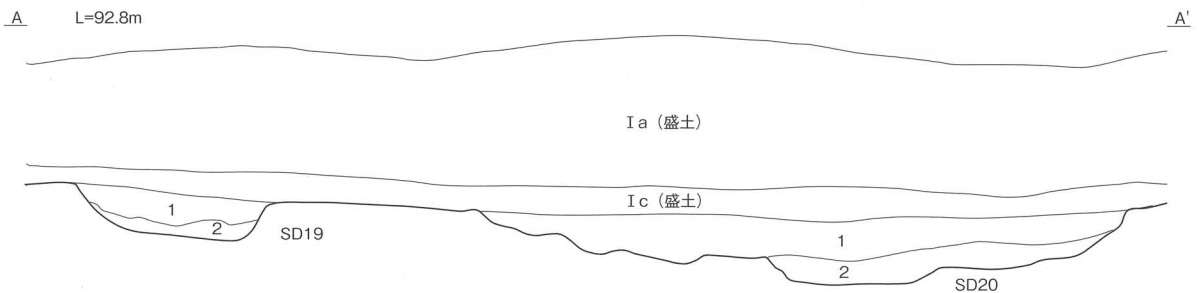


SD07
 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや密
 砂ブロック (φ3~5cm) 30%含む。



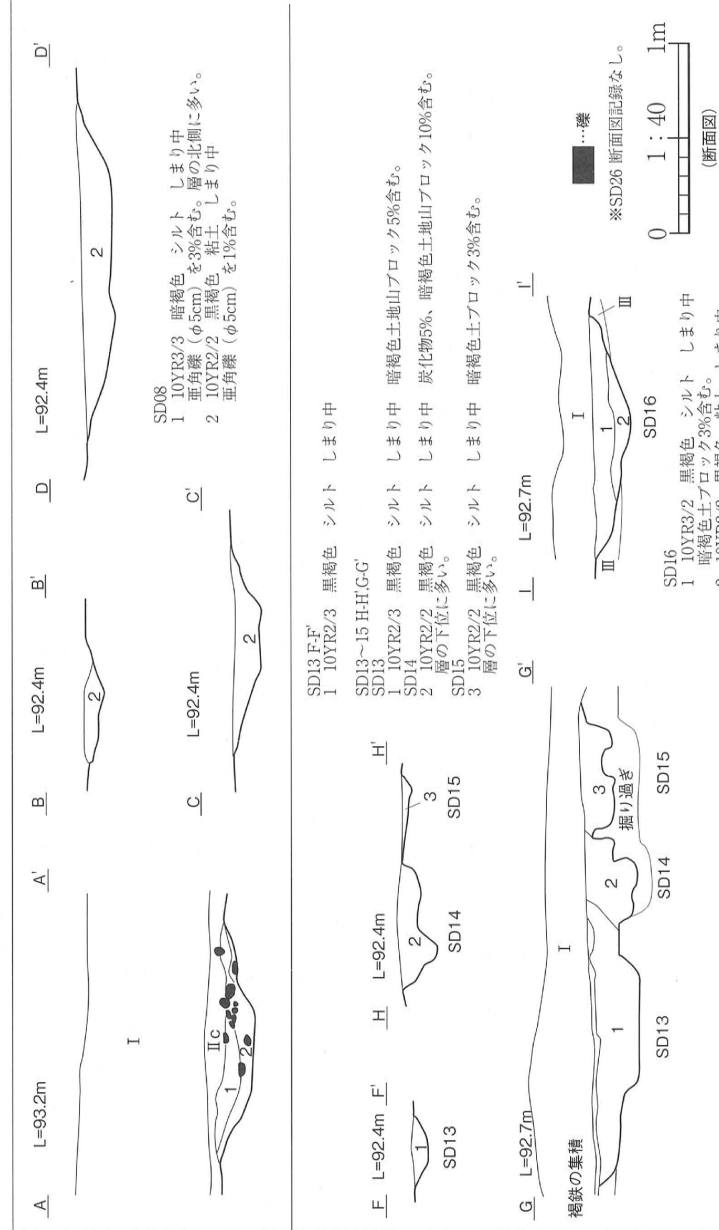
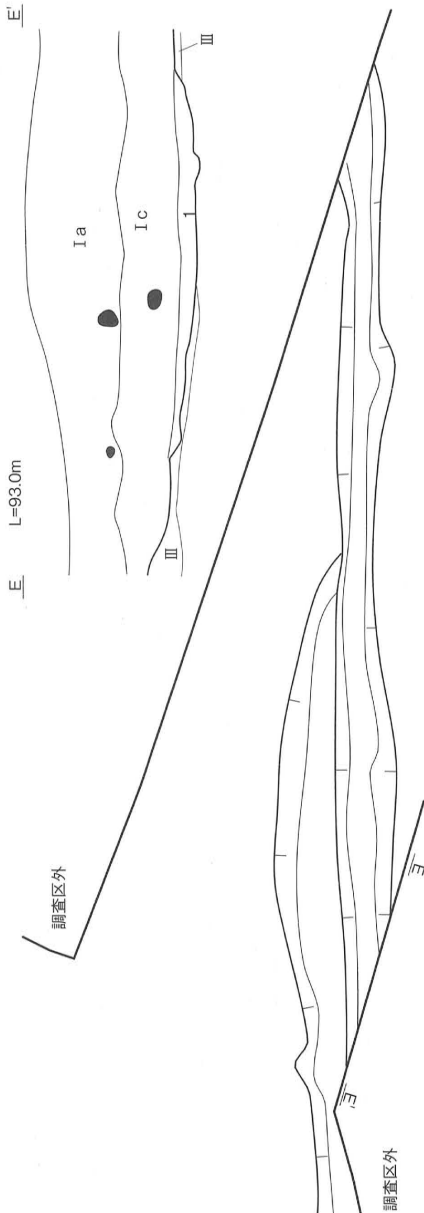
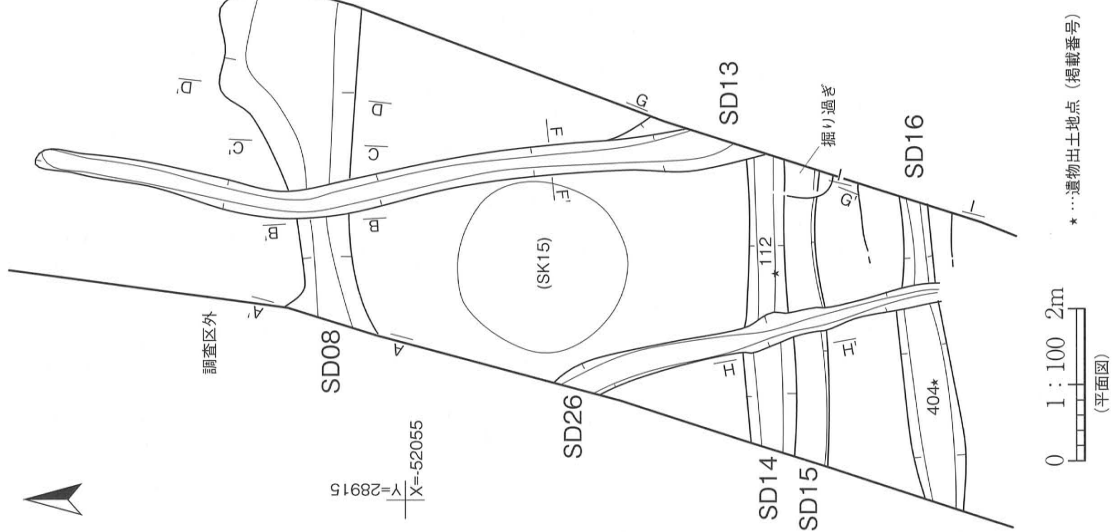
SD19
 1 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
 酸化鉄粒少量含む。
 2 10YR4/2 灰黄褐色 粘土 しまり密
 黒色土粒 (1~2cm) 5%含む。

SD20
 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密
 黄褐色土粒 (2~5cm) 10%含む。
 2 10YR2/1 黒色 粘土 しまり密
 地山ブロック30%・砂ブロック30%含む。



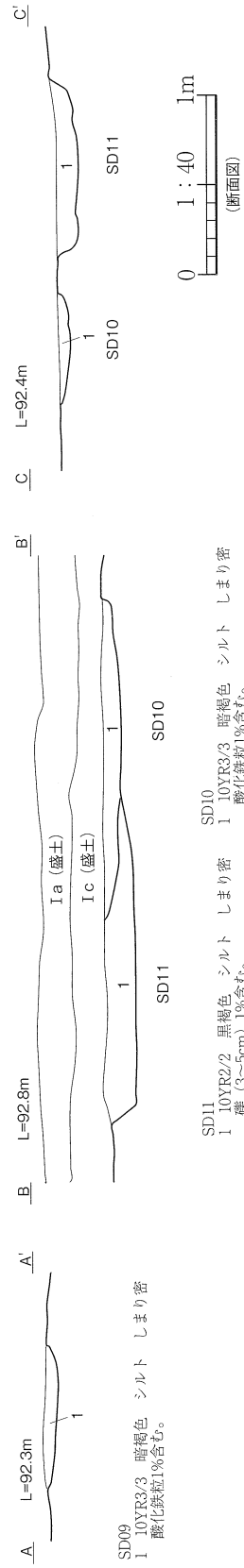
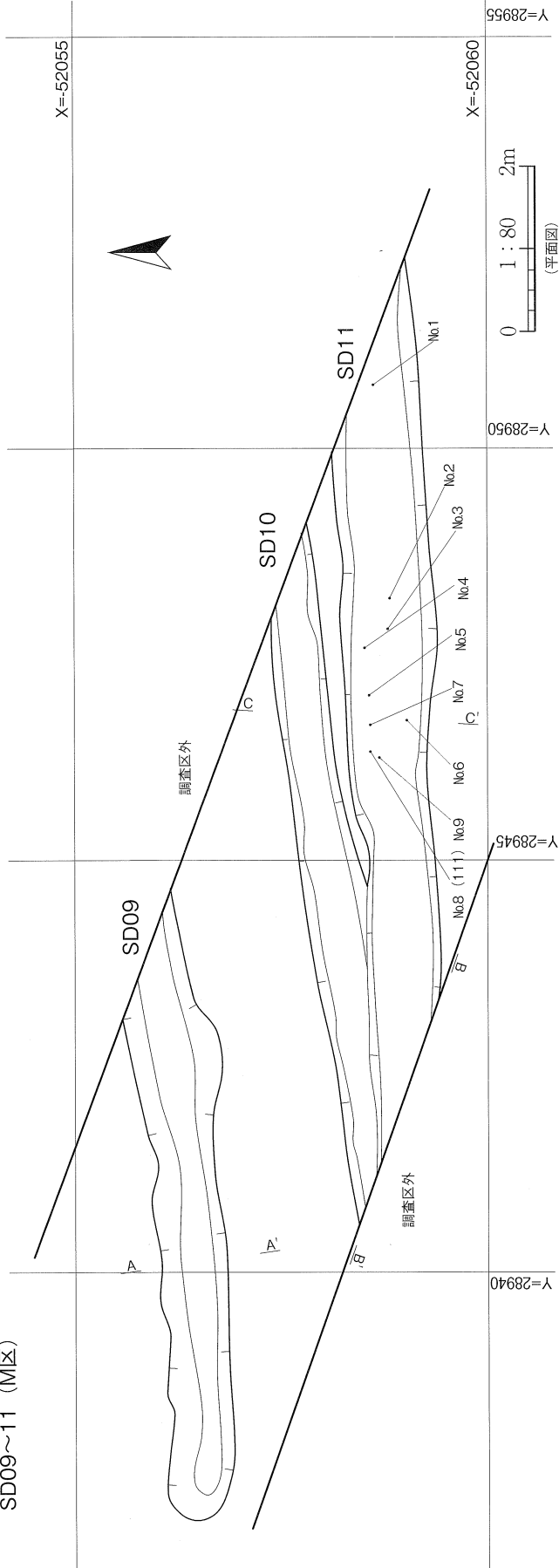
第 40 図 SD07・19・20

SD08・13~16・26 (H1区・M区)



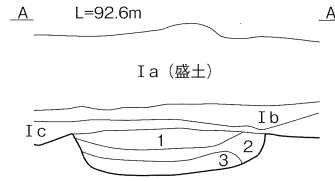
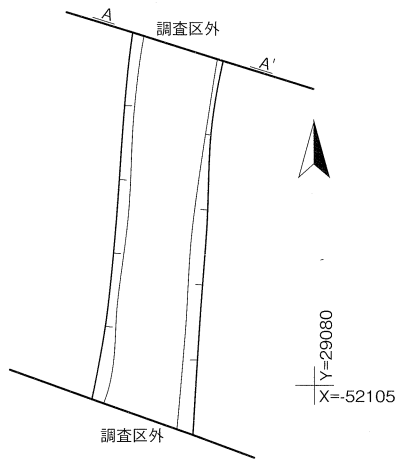
第41図 SD08・13~16・26

SD09~11 (M区)



第 42 図 SD09 ~ 11

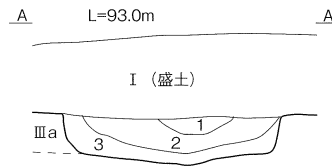
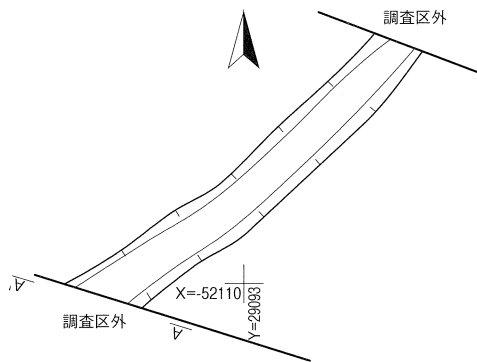
SD21 (N区)



SD21

- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト しまり密
地山ブロック (2~3cm) 10%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘土 しまり密
黒色土ブロック30%・砂ブロック30%含む。

SD22 (N区)

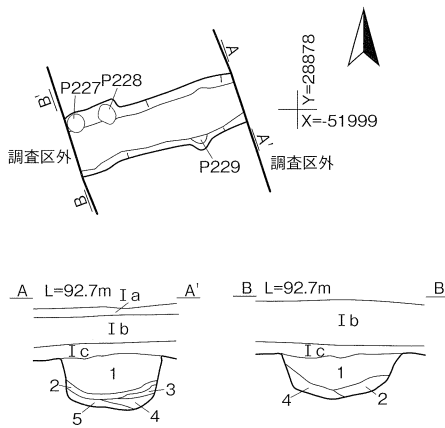


SD22

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
地山ブロック (2~3cm) 50%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
地山粒 (1~2cm) 10%含む。

※検出面下げすぎのため、平面図と断面図が合わない。

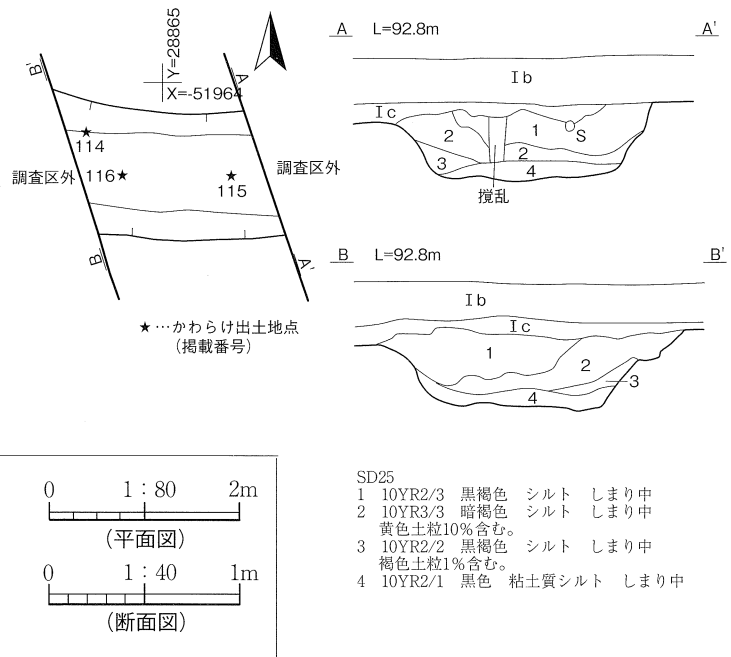
SD23 (H4区)



SD23

- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
- 3 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり中
- 4 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり中
褐色土5%含む。
- 5 10YR5/6 黄褐色 砂 しまり中

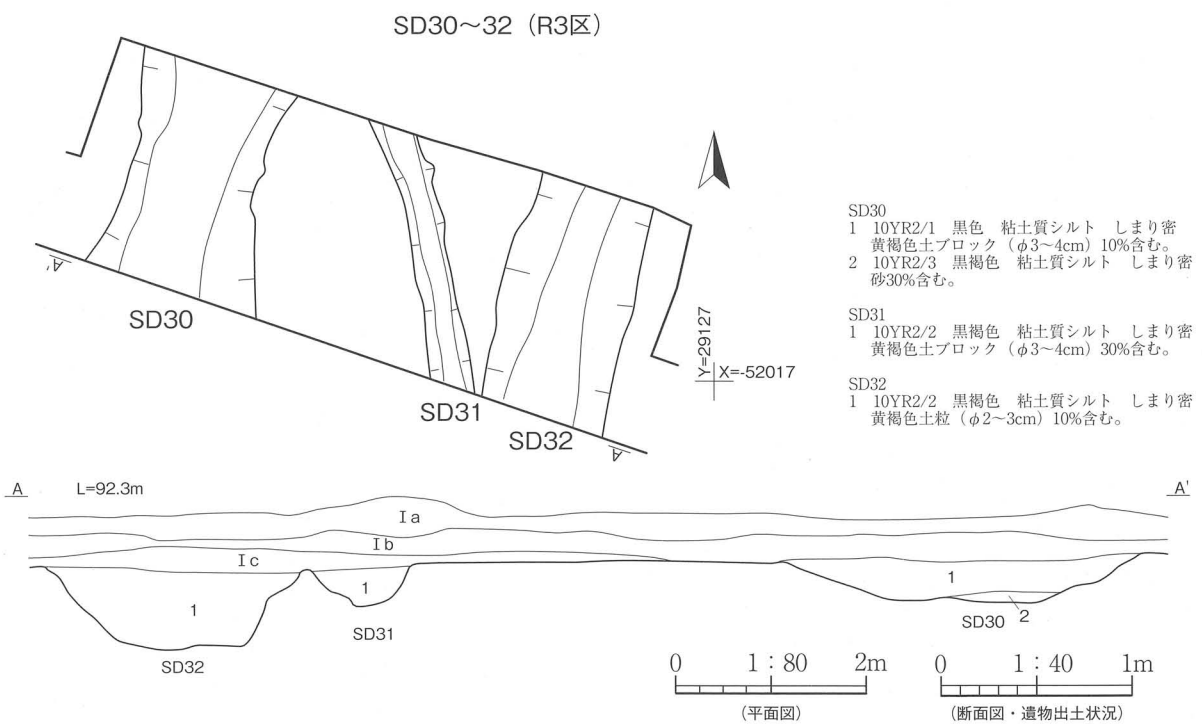
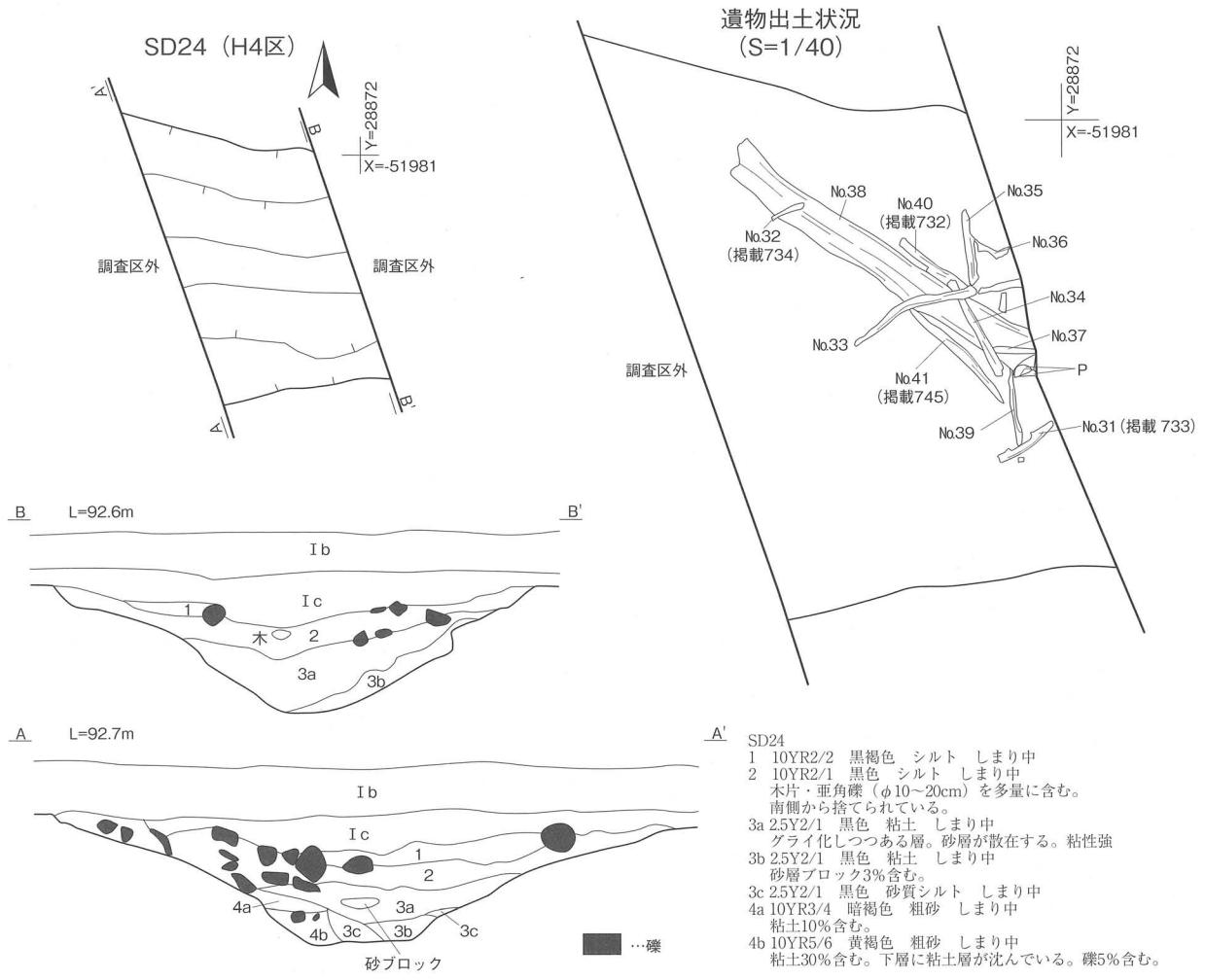
SD25 (H4区)



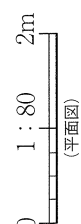
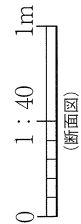
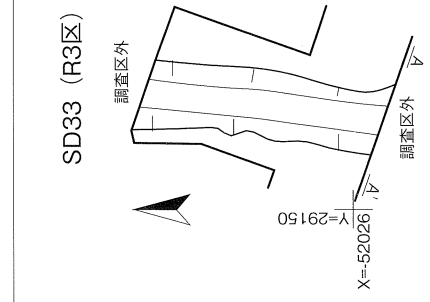
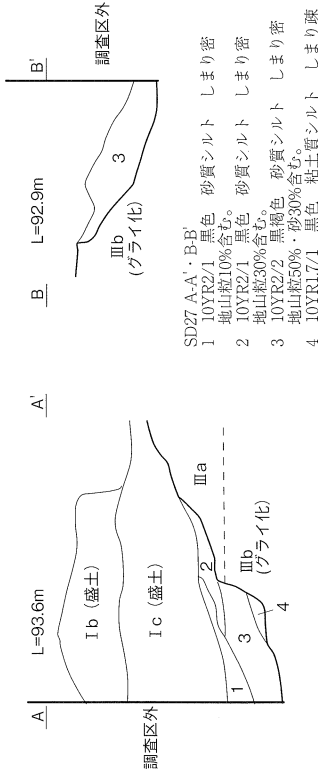
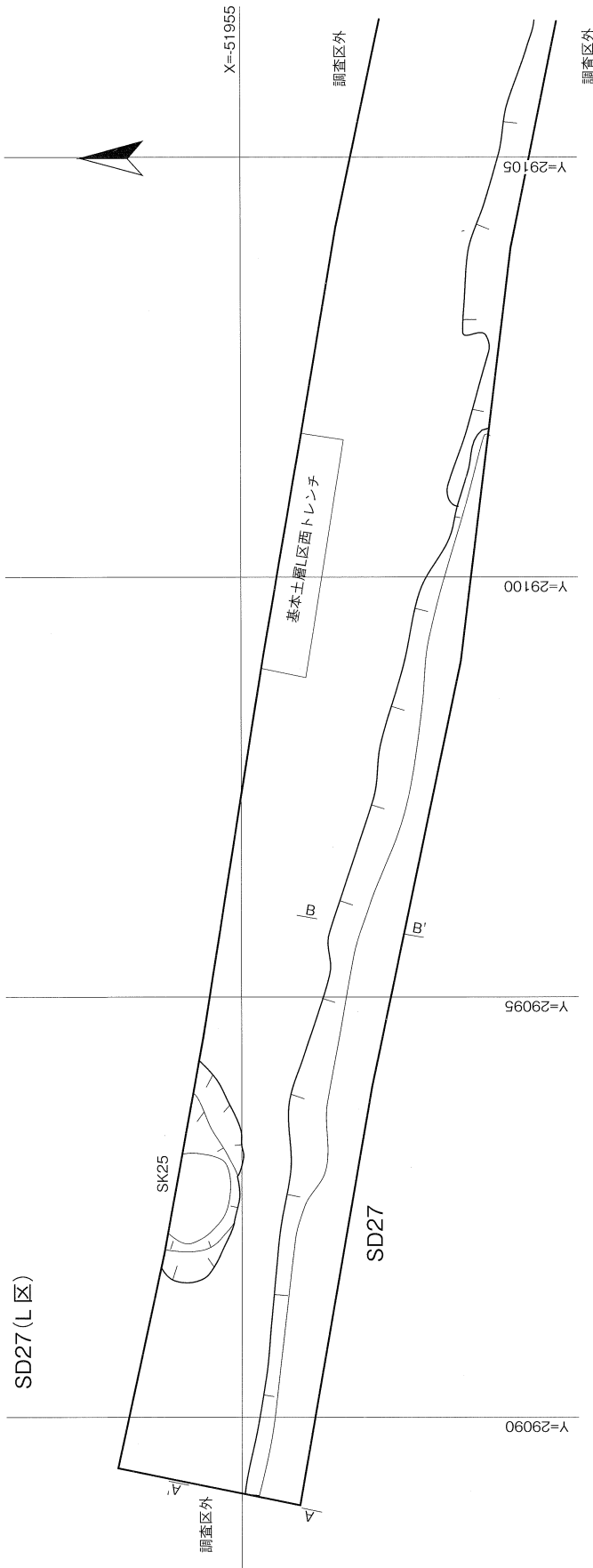
SD25

- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
- 2 10YR3/3 暗褐色 シルト しまり中
黄色土粒10%含む。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
褐色土粒1%含む。
- 4 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中

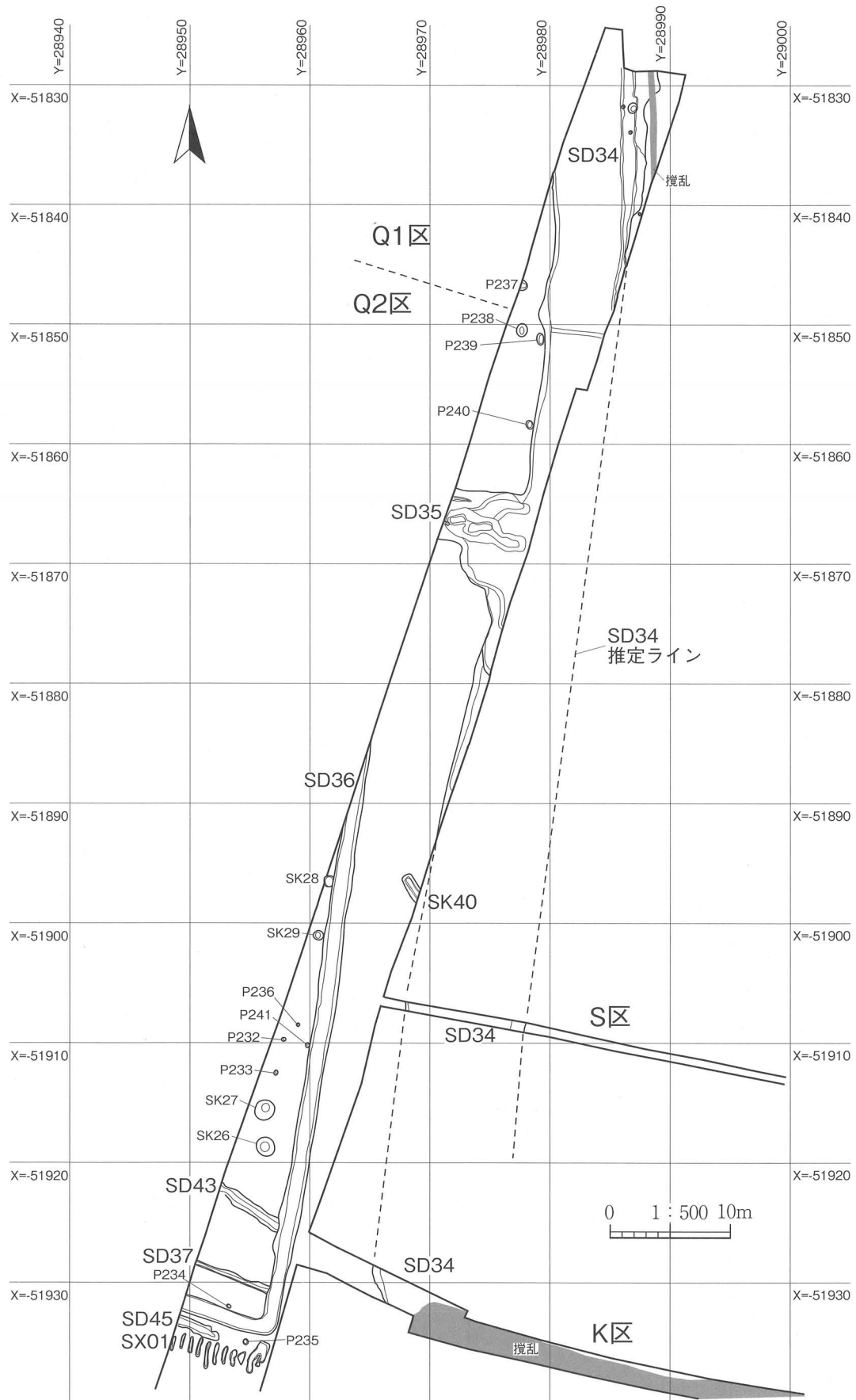
第 44 図 SD21 ~ 23・25



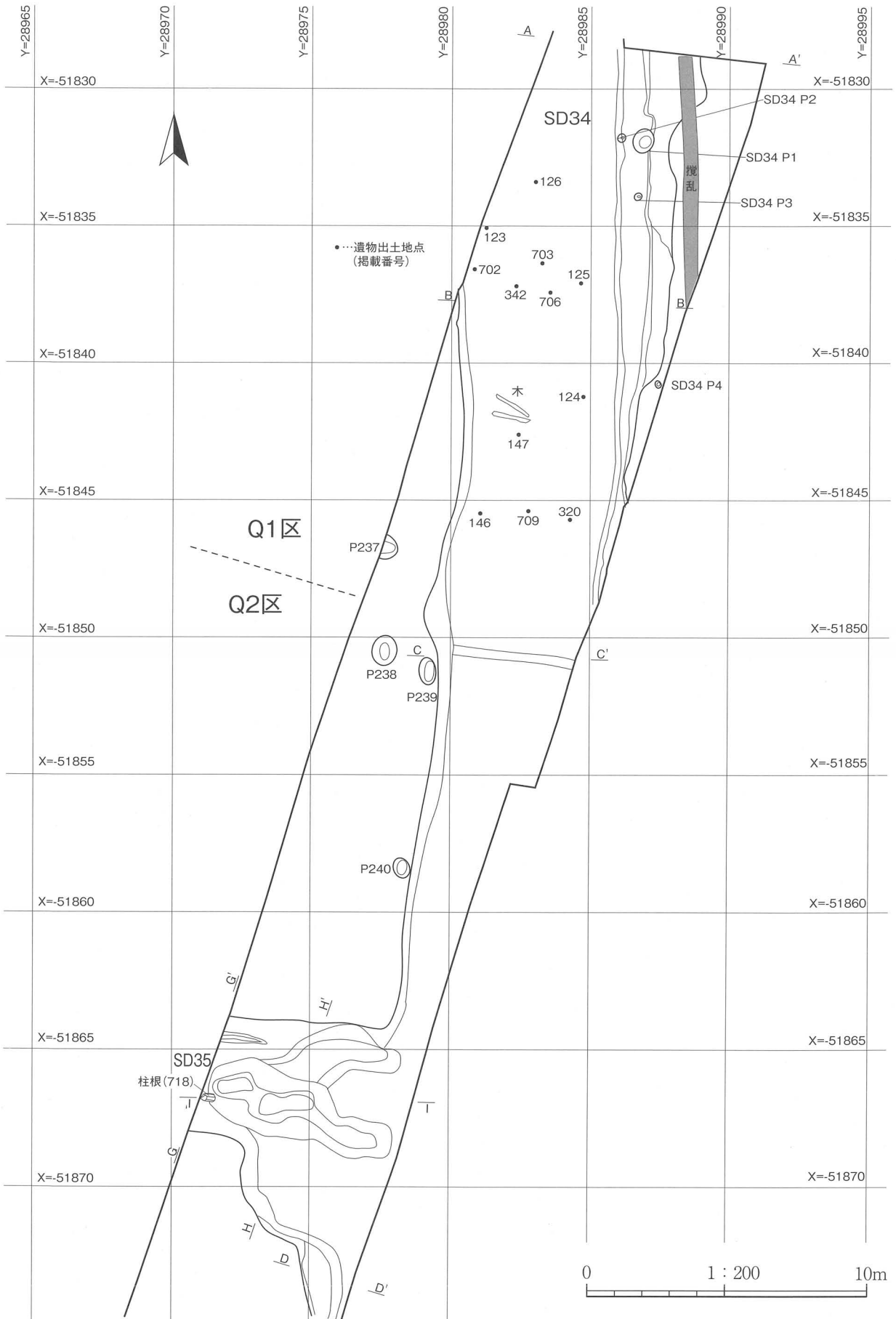
第45図 SD24・30~32



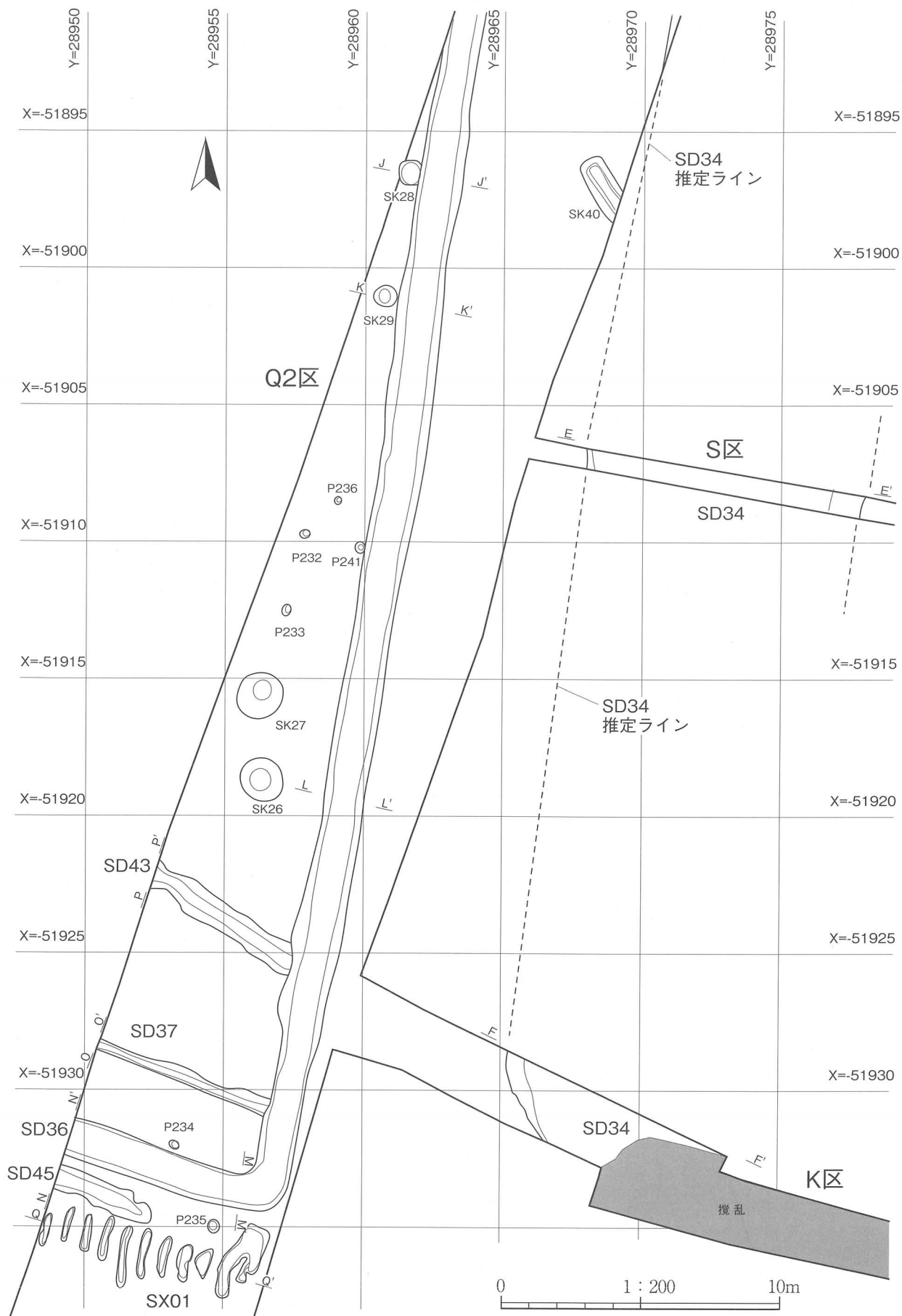
第 46 図 SD27・33



第 48 図 SD34 平面図 (Q 区全体)



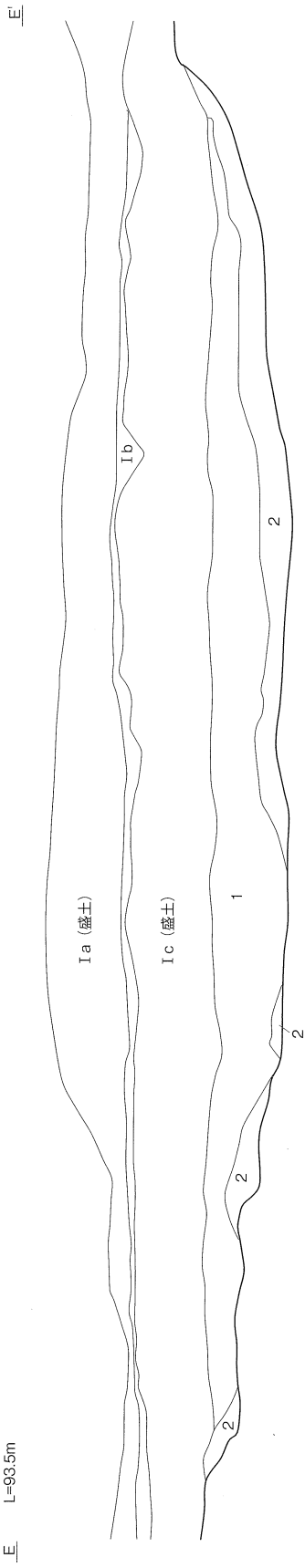
第 49 図 SD34・35 平面図 (Q 区北側)



第 50 図 SD34・36 平面図 (Q 区南側)

SD34 (断面E)

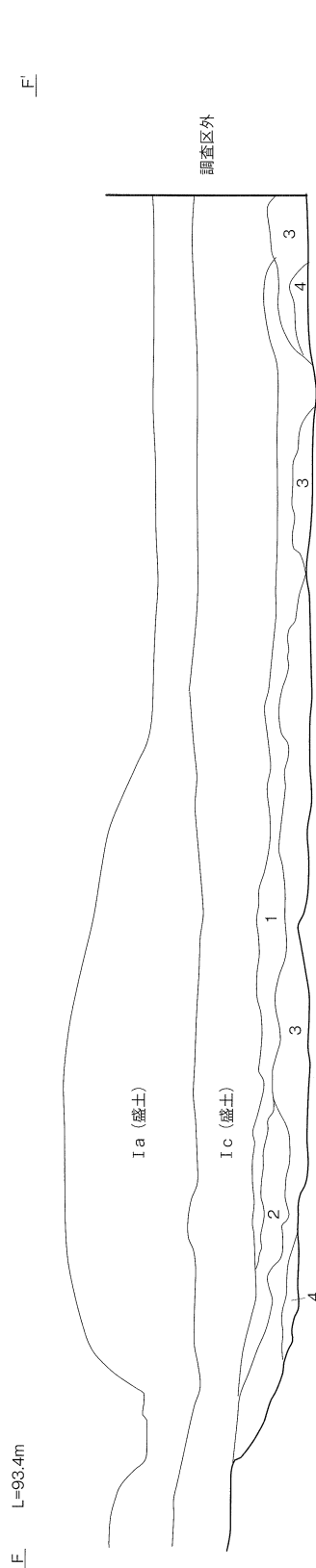
L=93.5m



SD34 断面E
 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密 礫 (φ~1cm)・土器小片・炭化物粒少量含む。
 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密 砂50%含む。

SD34 (断面F)

L=93.4m

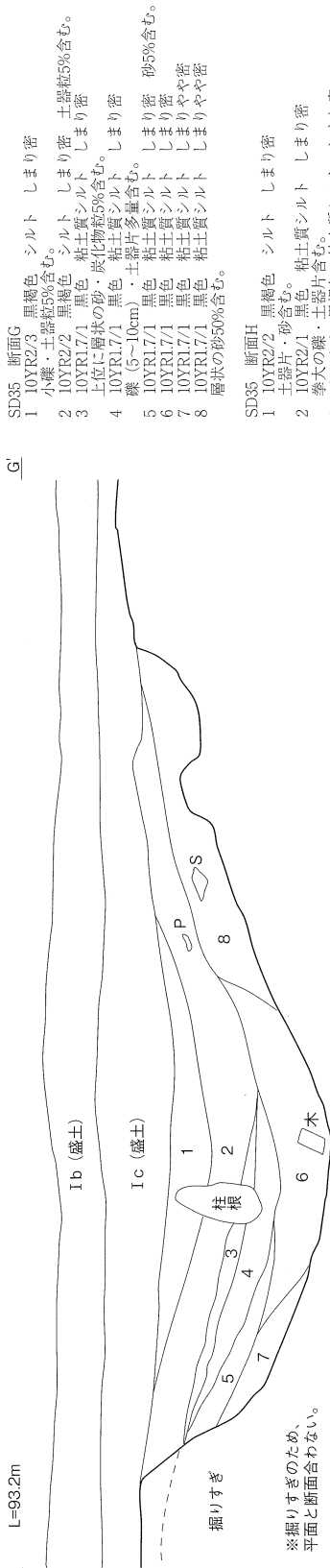


SD34 断面F
 1 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや密 砂少量含む。
 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや密 砂30%含む。
 3 10YR3/1 黒褐色 砂 しまりやや密 黒色土10%含む。
 4 10YR3/1 黒褐色 砂 しまりやや密 黒色土10%含む。

第52図 SD34断面図(2)

SD35 (断面G)

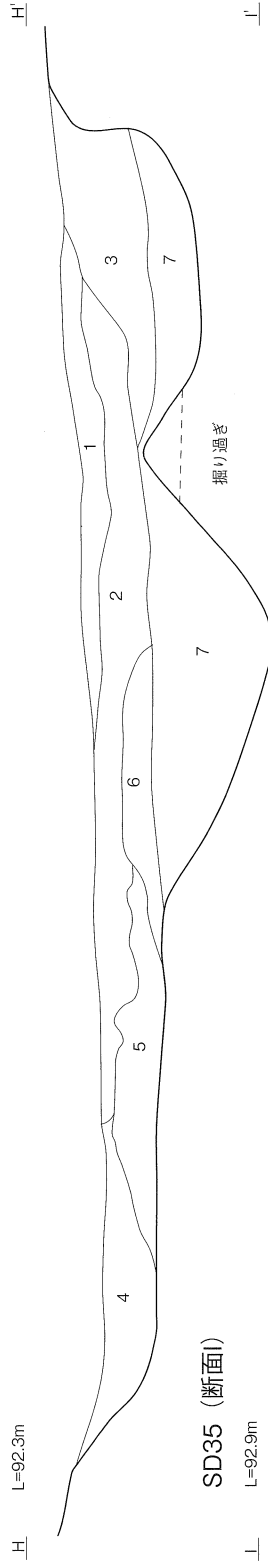
G L=93.2m



※掘りすぎのため、
平面と断面合わない。

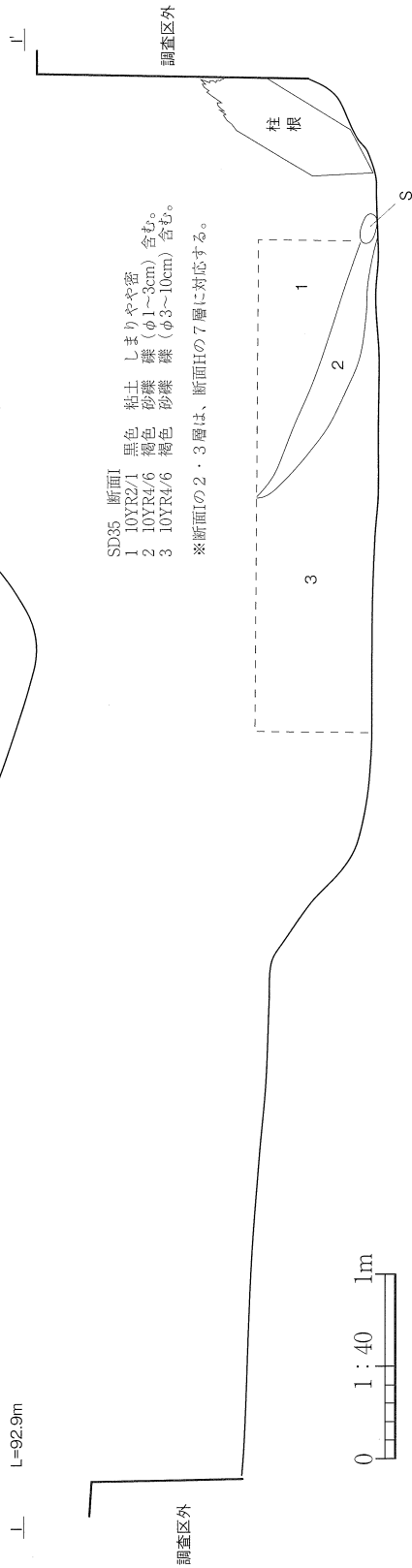
SD35 (断面H)

H L=92.3m



SD35 (断面I)

I L=92.9m



SD35 断面G

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト しまり密
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。
- 3 10YR1/7/1 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。
- 4 10YR1/7/1 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。
- 5 10YR1/7/1 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。
- 6 10YR1/7/1 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。
- 7 10YR1/7/1 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。
- 8 10YR1/7/1 黒褐色シルト しまり密 土器粒5%含む。

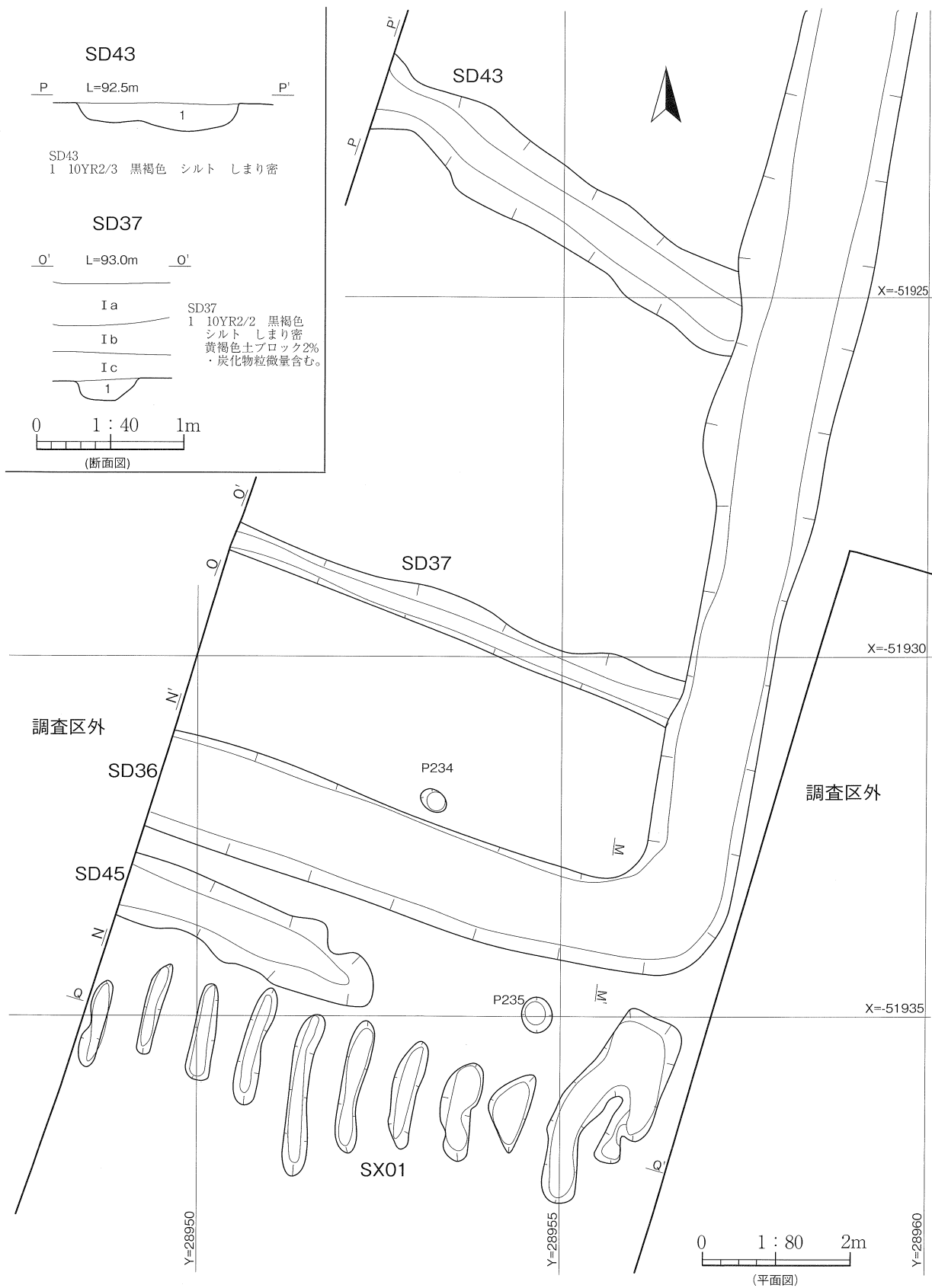
SD35 断面H

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト しまり密
- 2 10YR2/1 黒褐色シルト しまり密
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト しまり密
- 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂 しまり疎
- 5 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂 しまり疎
- 6 10YR2/2 黒褐色シルト しまり密
- 7 10YR7/3 にぶい黄褐色 砂 しまり密

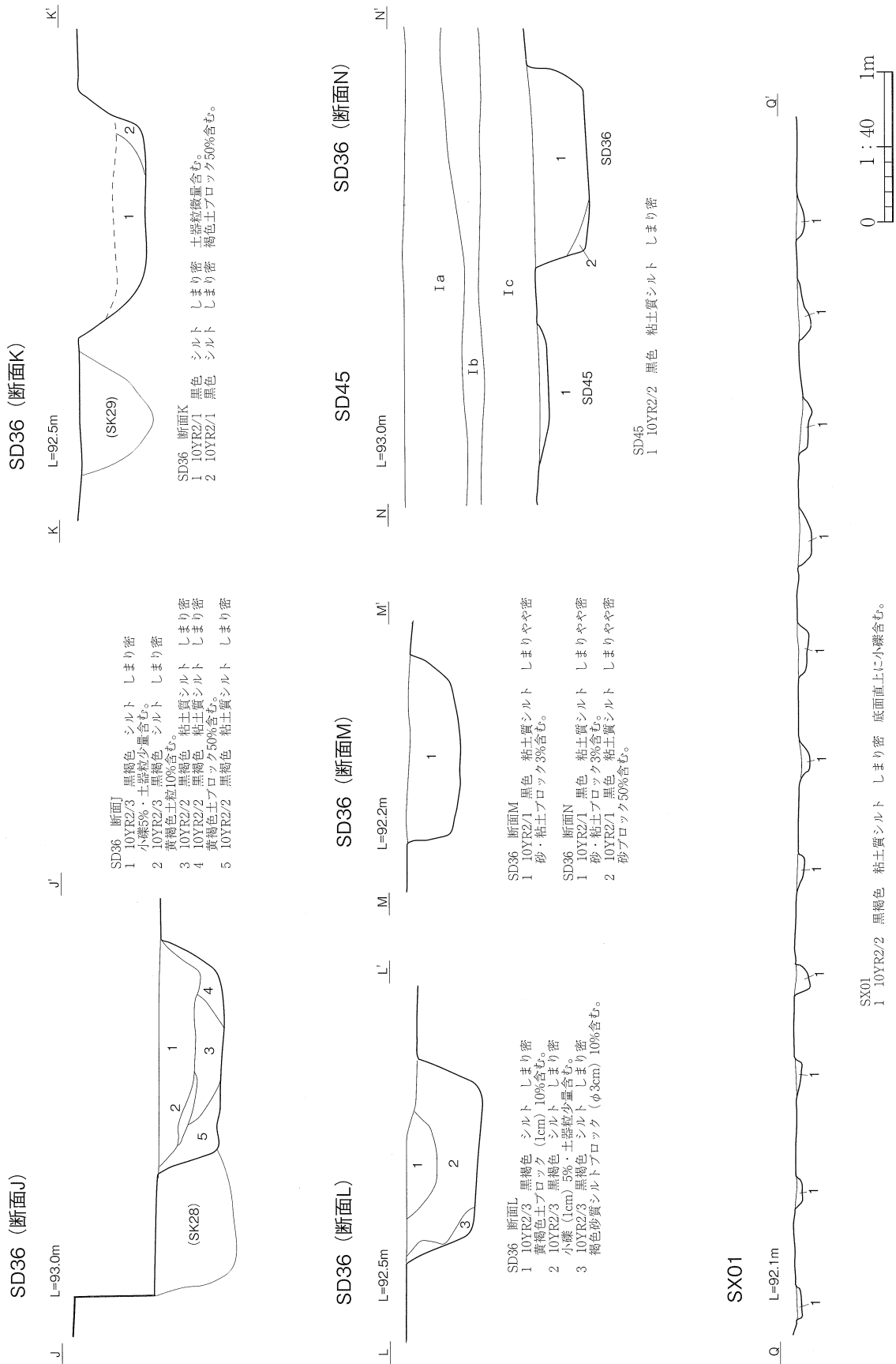
SD35 断面I

- 1 10YR2/1 黒褐色シルト しまり密
 - 2 10YR4/6 褐色シルト しまり密
 - 3 10YR4/6 褐色シルト しまり密
- ※断面Iの2・3層は、断面Hの7層に対応する。

第 53 図 SD35 断面図

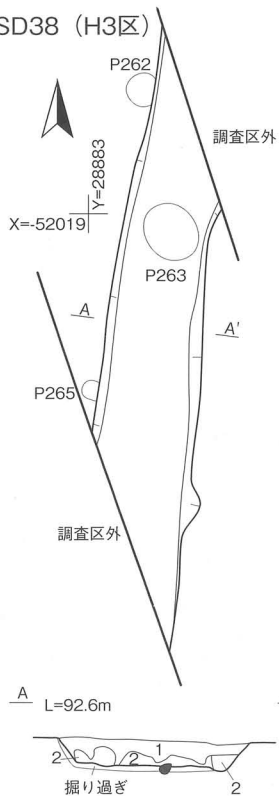


第 54 図 SD37・43・45、SX01 平面図 (Q 区南端)



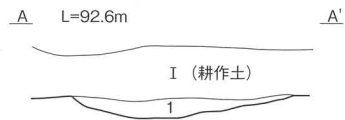
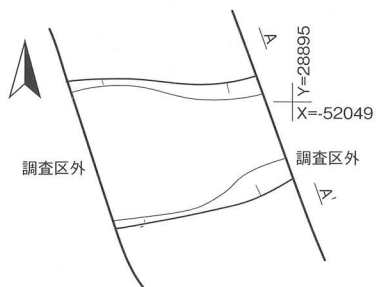
第 55 図 SD36・45、SX01 断面図

SD38 (H3区)



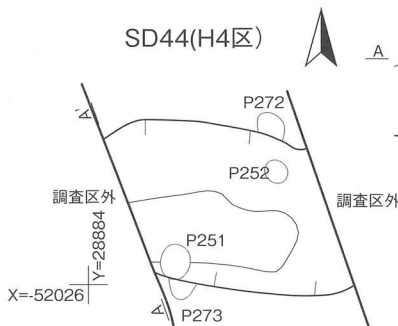
SD38
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
 2 10YR4/4 褐色 粘土 しまり中
 黒褐色土3%含む。

SD41 (H3区)



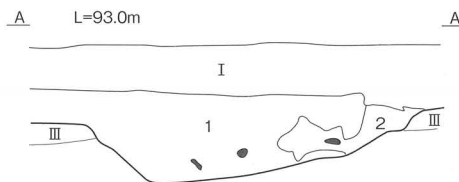
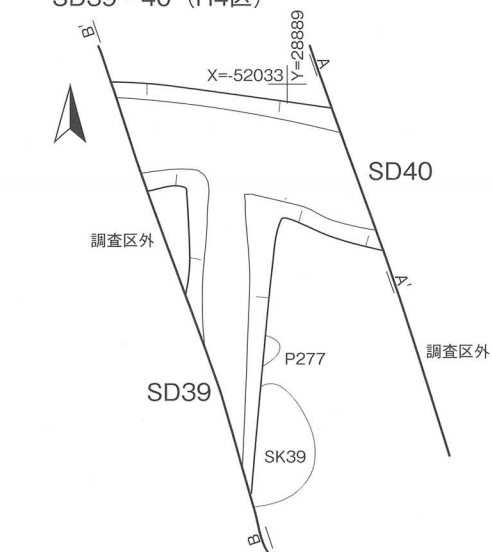
SD41
 1 10YR4/6 褐色 砂質シルト しまり中
 暗褐色土(10YR3/4)との混土

SD44(H4区)

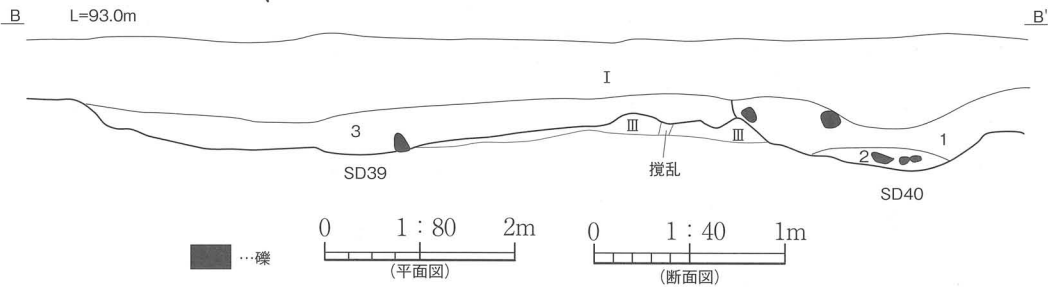


SD44
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
 2 10YR2/2 黒褐色 粘土 褐色土10%含む。
 3 10YR2/1 黒色 シルト質粘土 しまり中
 4 10YR5/6 黄褐色 粘土 しまり中

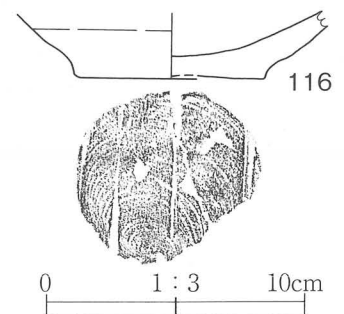
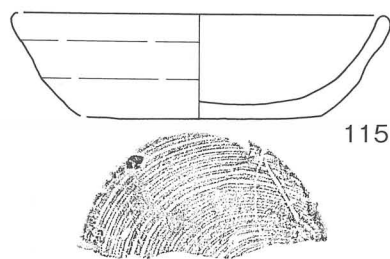
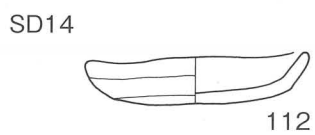
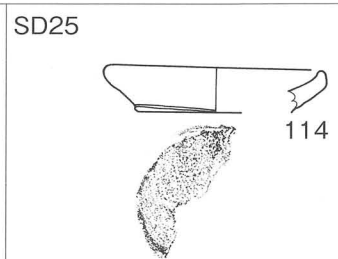
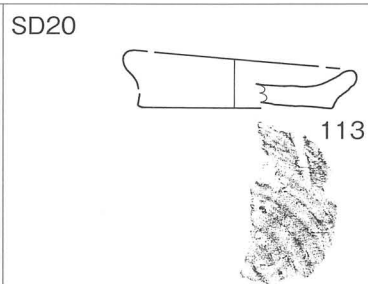
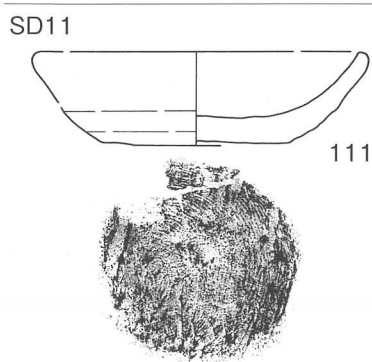
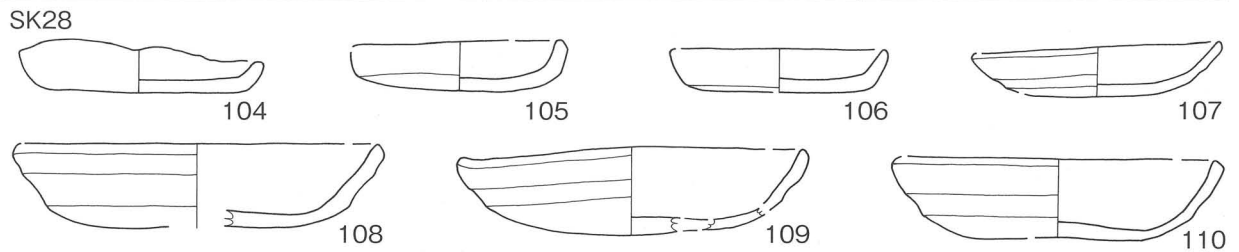
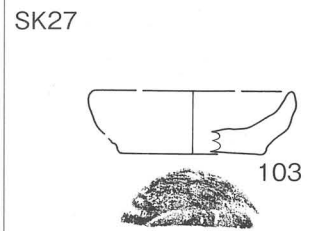
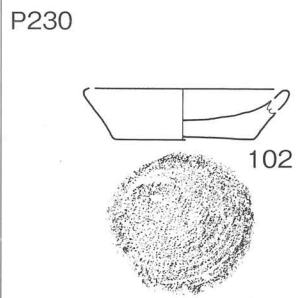
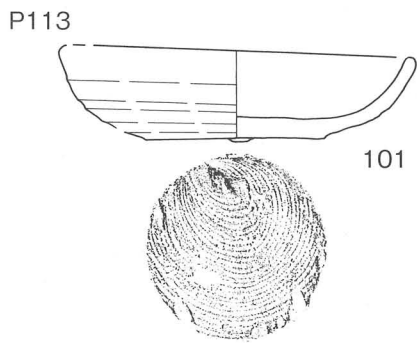
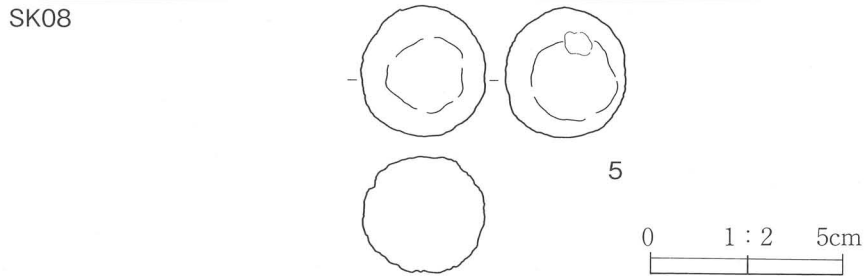
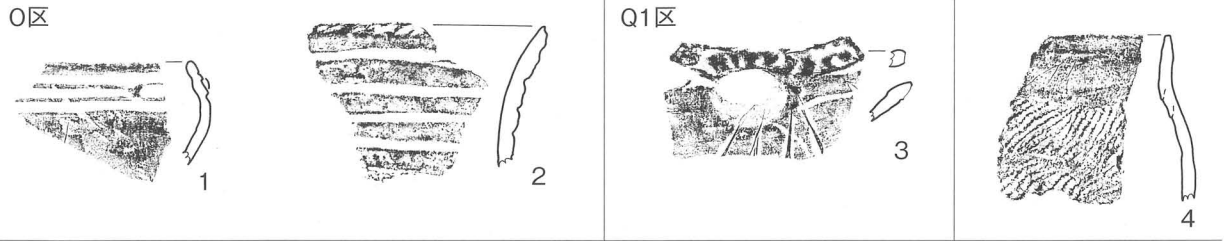
SD39・40 (H4区)



SD39・40
 1 10YR3/1 黒褐色 粘土 しまり疎 礫(φ5cm)を2層との境界に多く含む。
 2 10YR4/6 褐色 砂 しまり中
 3 10YR4/1 褐色 シルト しまり中 炭化物1%、礫(φ5cm)を5%含む。

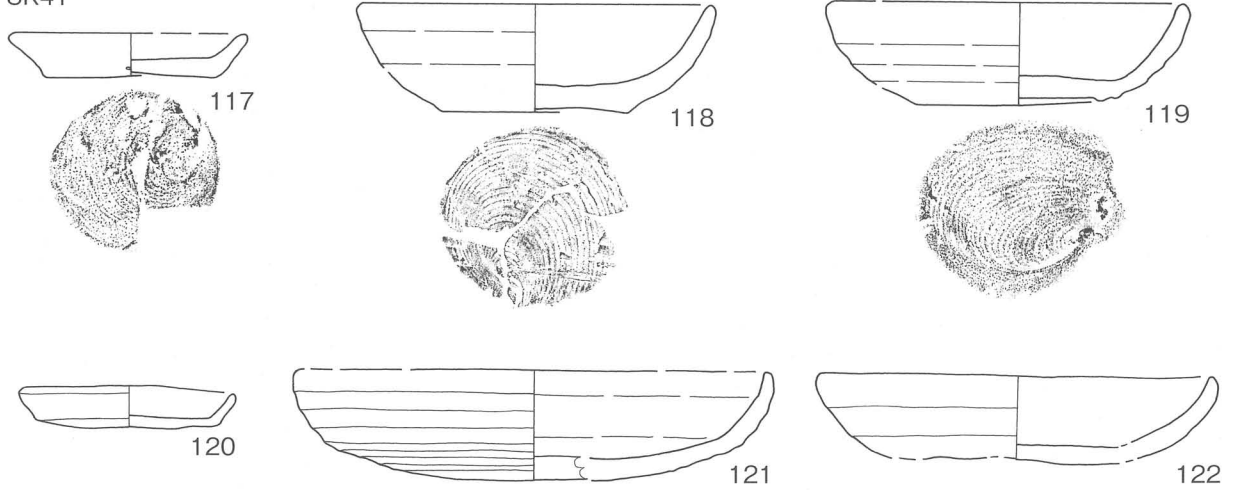


第56図 SD38～41・44

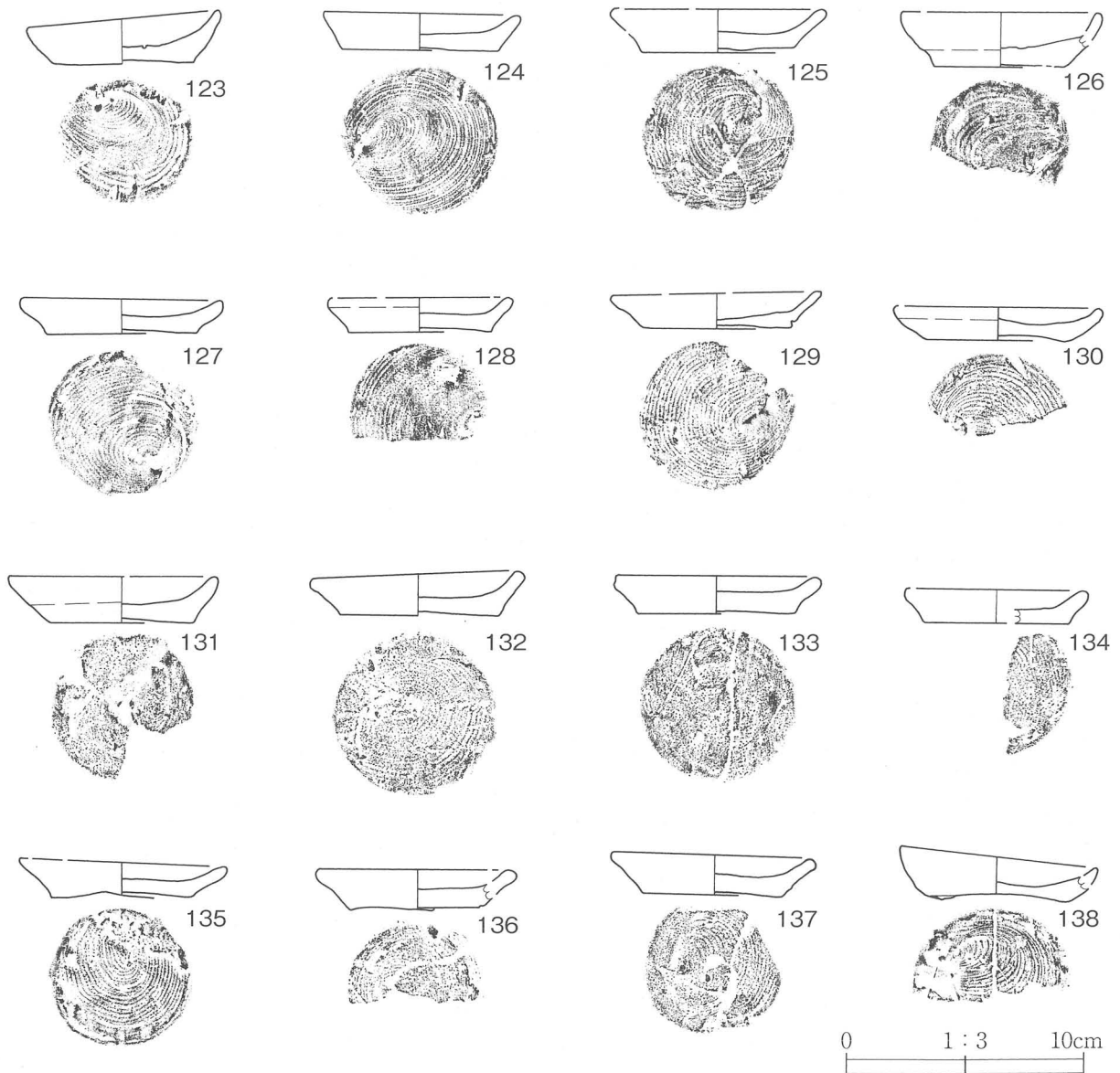


第 57 図 縄文土器、石製品、かわらけ (1)

SK41

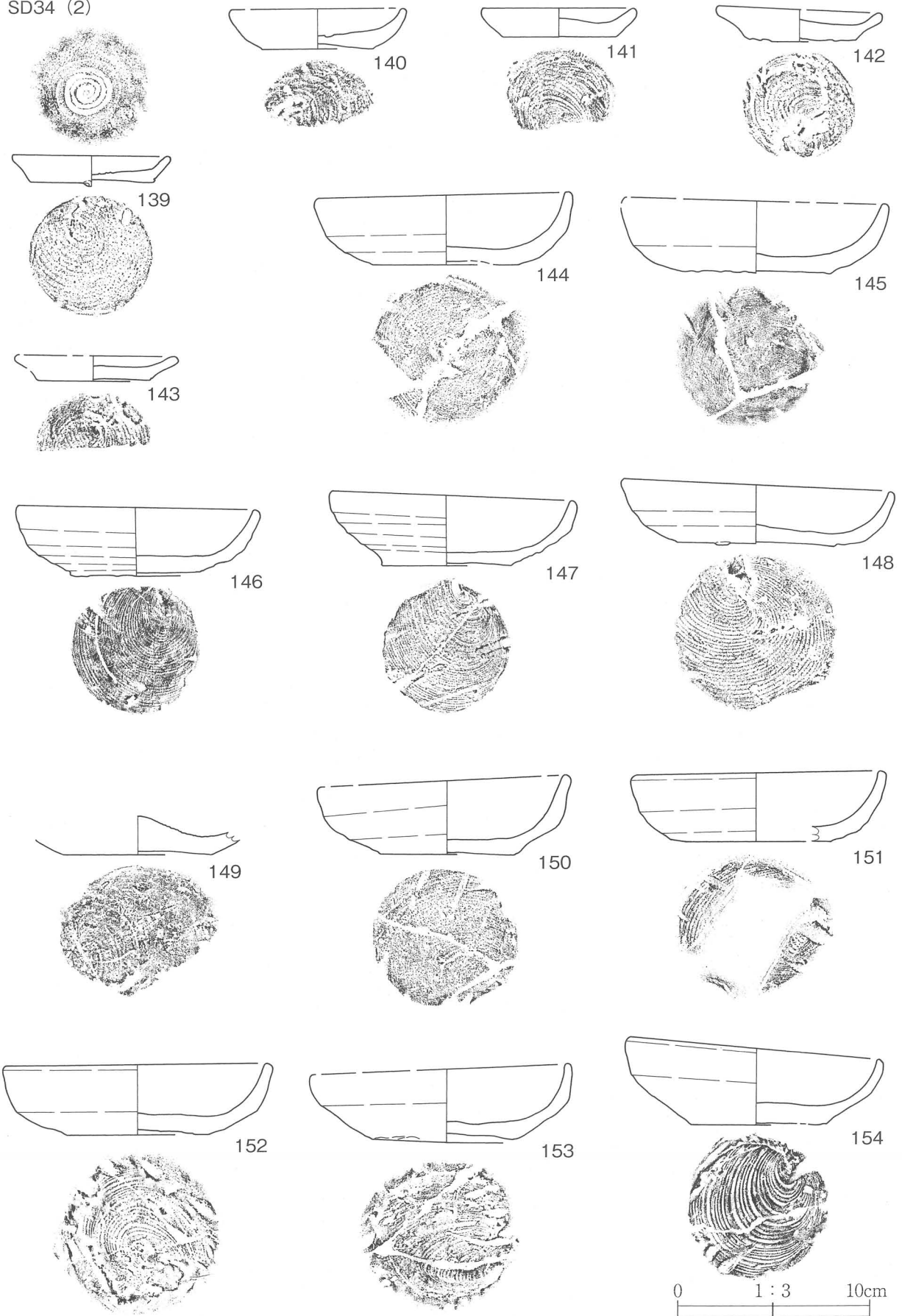


SD34(1)



第58図 かわらけ(2)

SD34 (2)

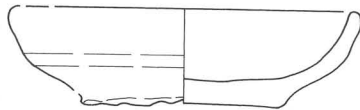


第59図 かわらけ(3)

SD34 (3)



155



156



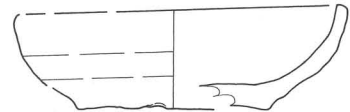
157



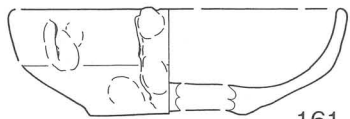
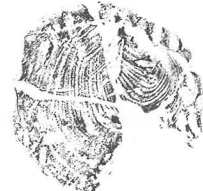
158



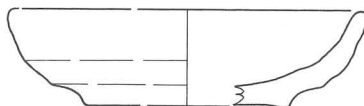
159



160



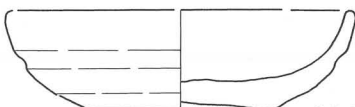
161



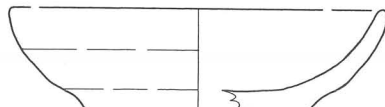
162



163



164



165



166



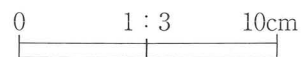
167



168

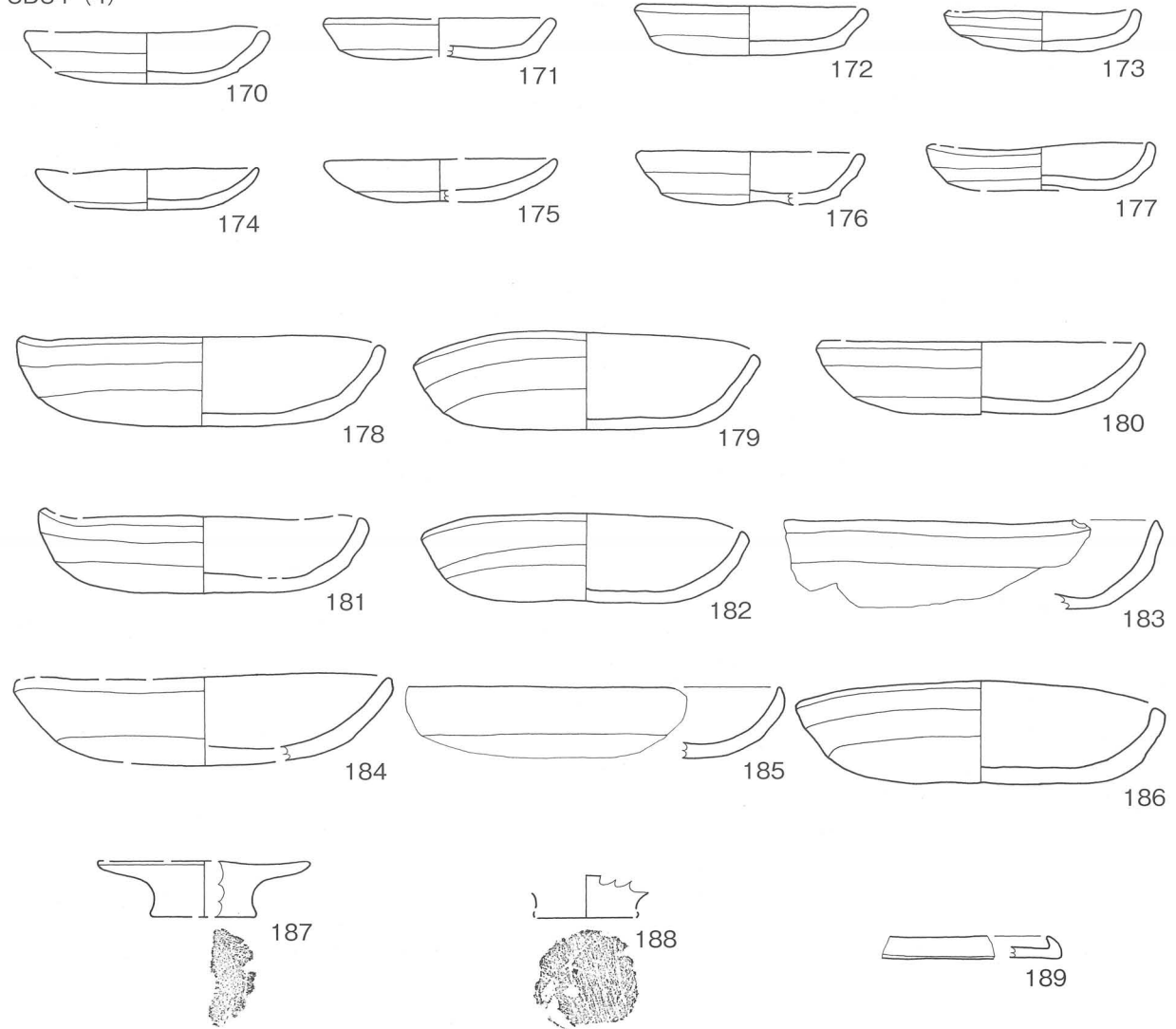


169

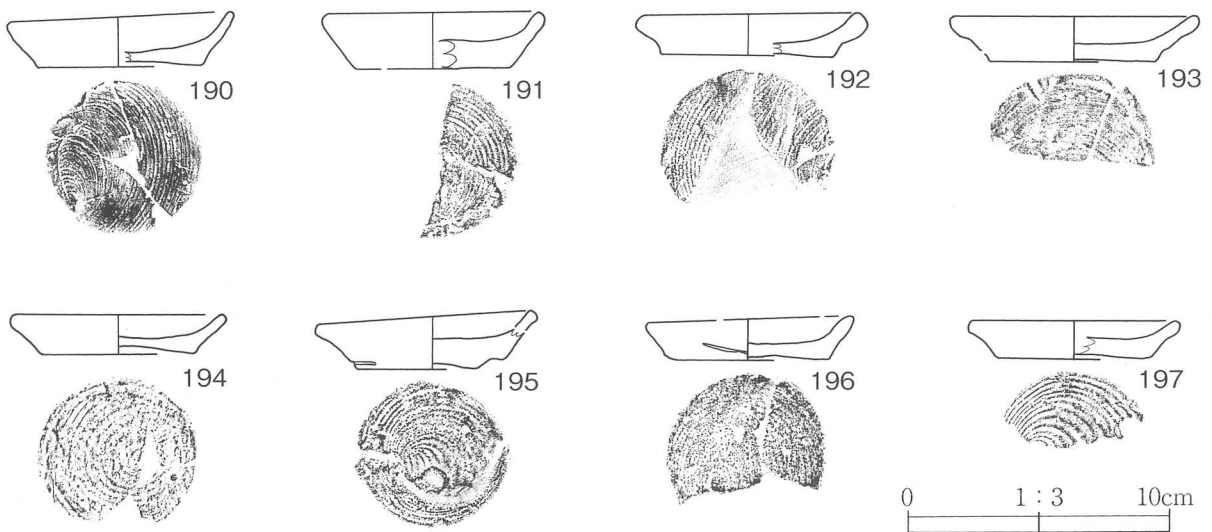


第60図 かわらけ(4)

SD34 (4)

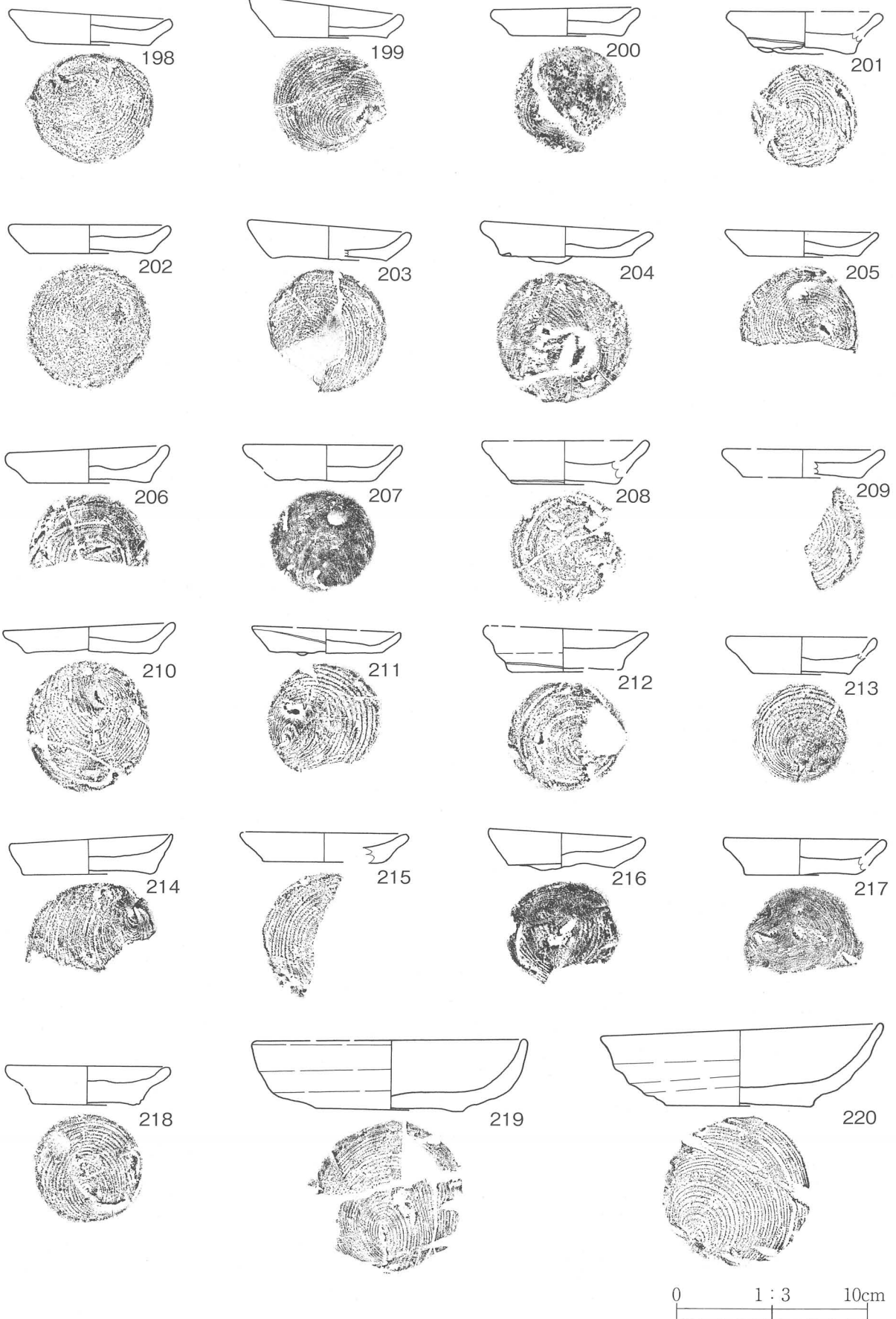


SD35 (1)



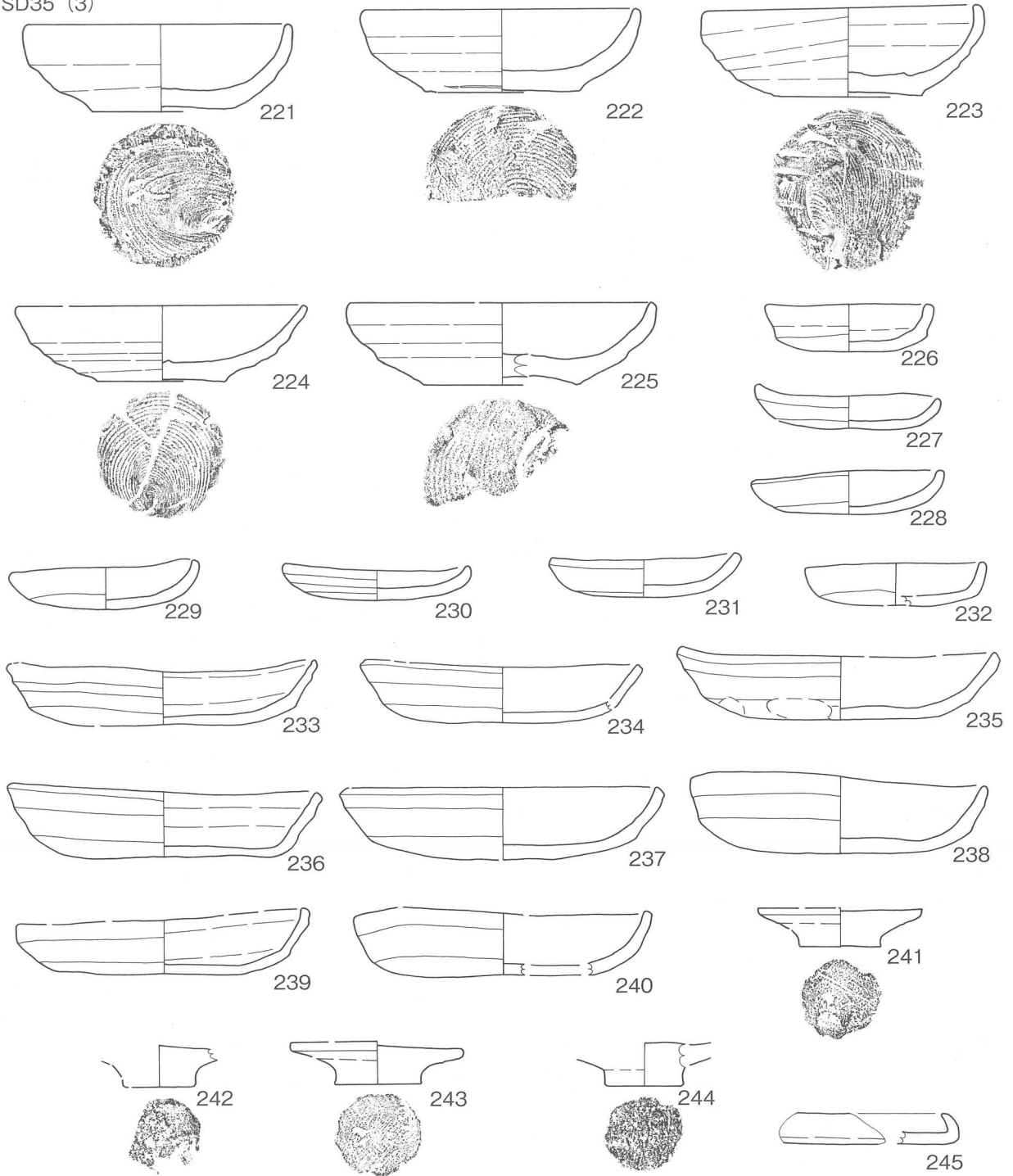
第61図 かわらけ (5)

SD35 (2)

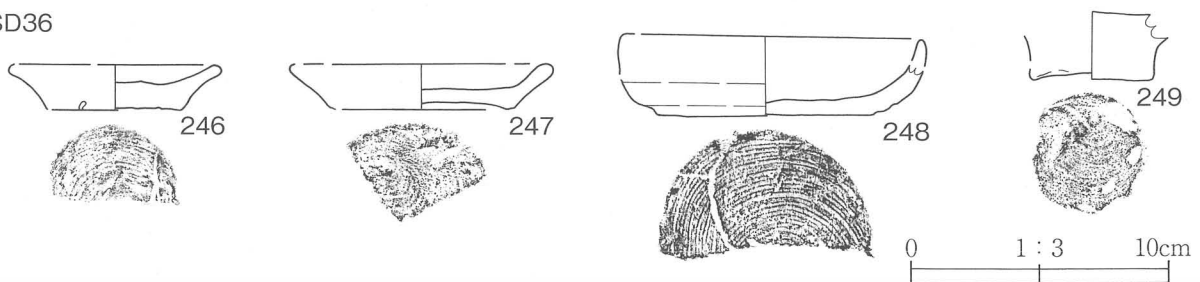


第62図 かわらけ (6)

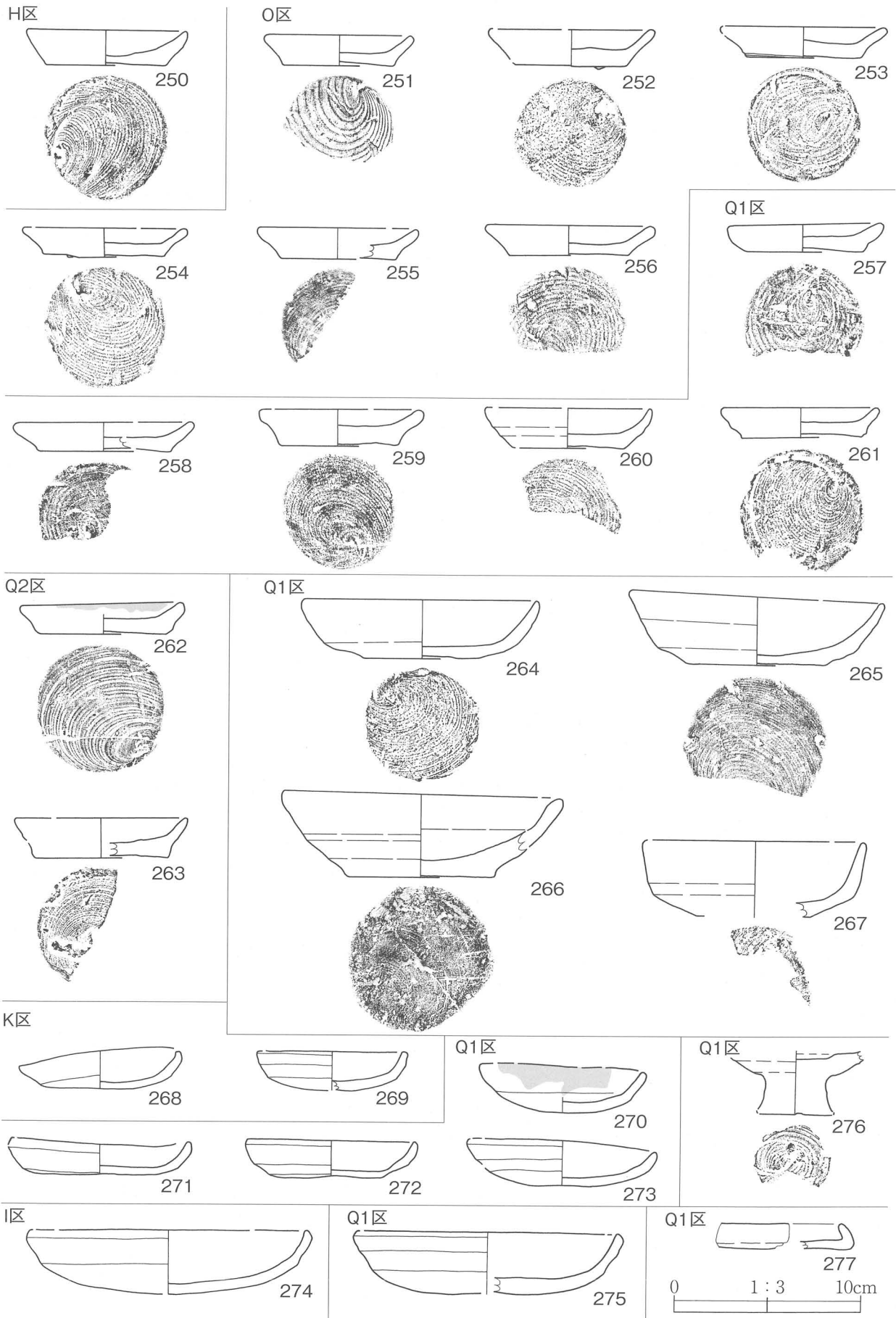
SD35 (3)



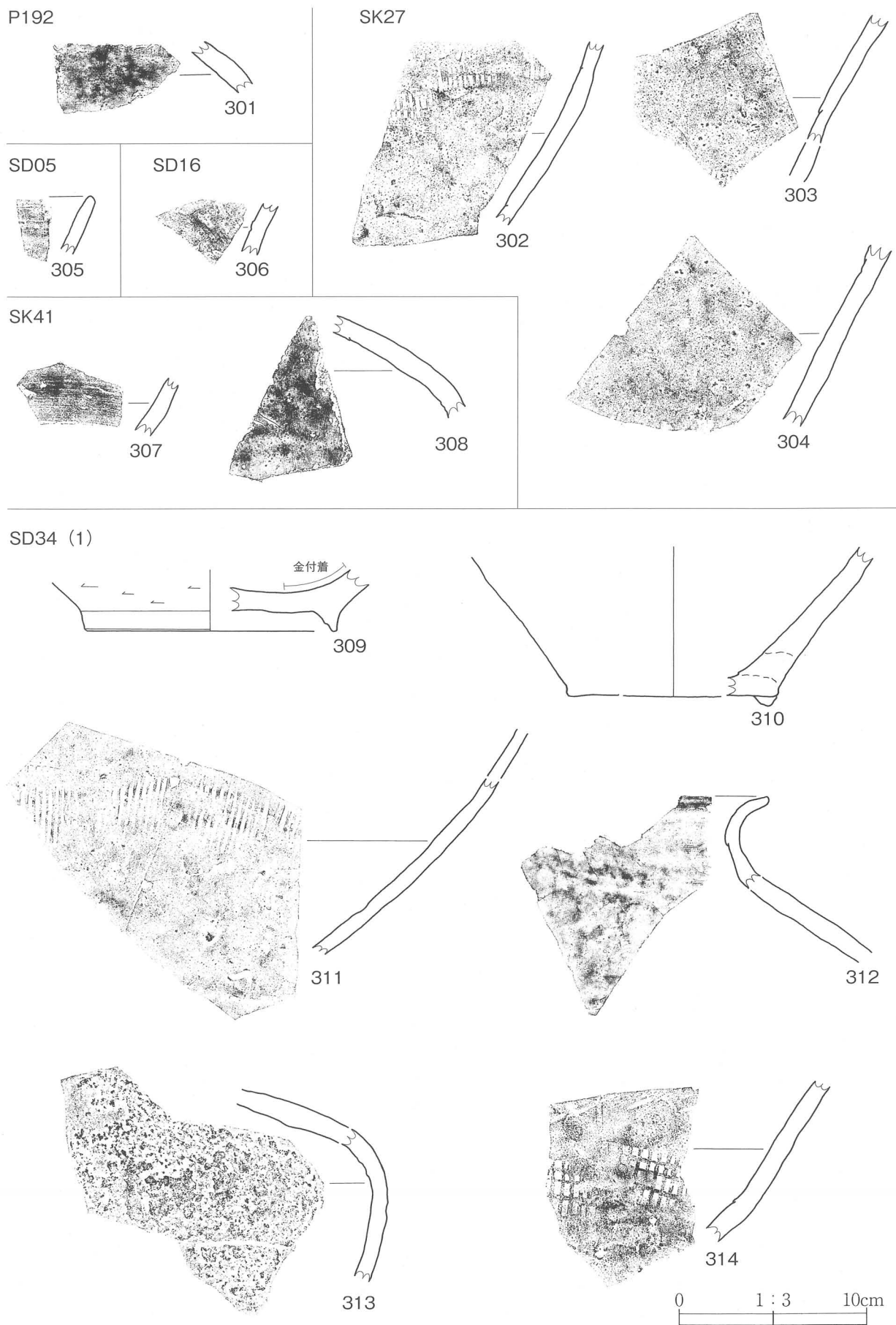
SD36



第63図 かわらけ(7)

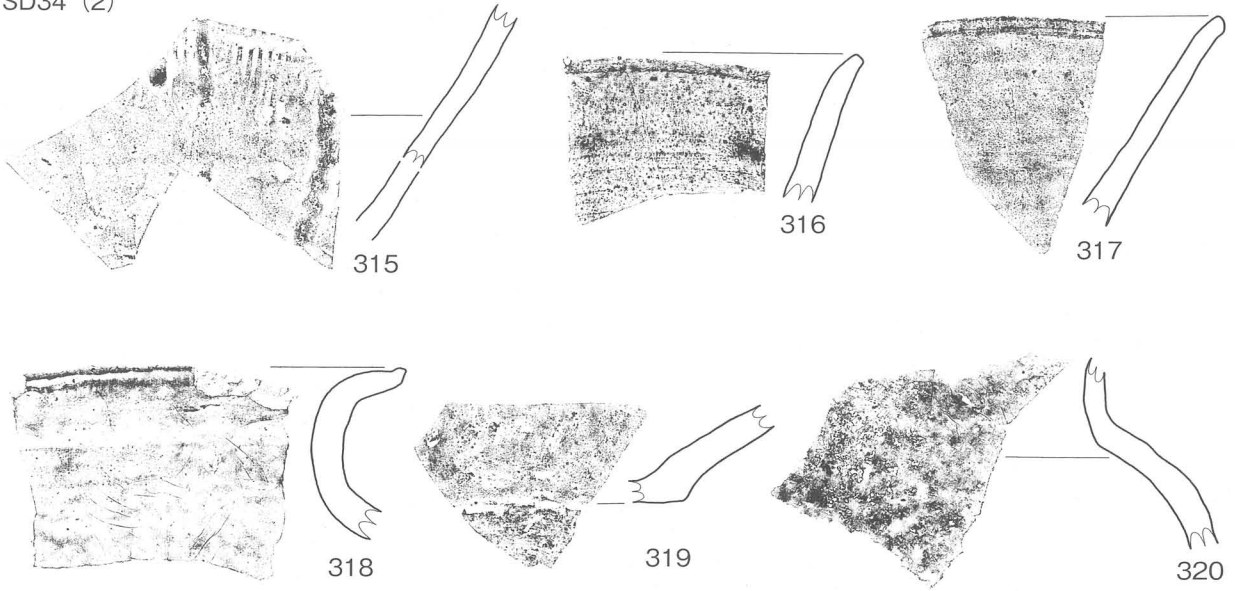


第64図 かわらけ(8)

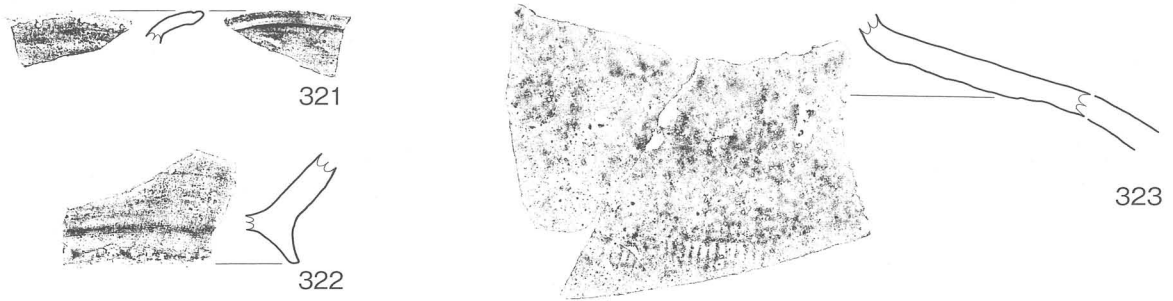


第 65 図 国産陶器：常滑（1）

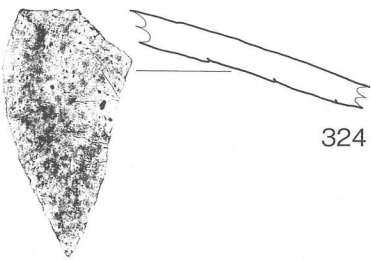
SD34 (2)



SD35



SD36



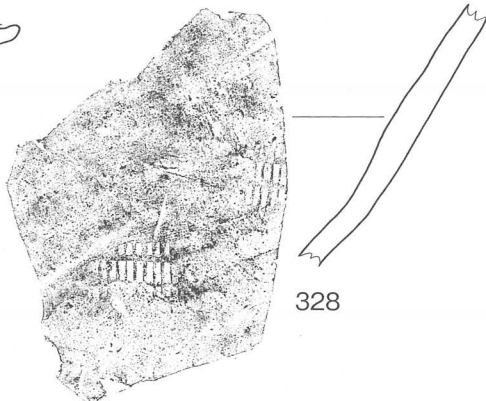
SD44



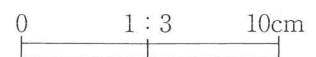
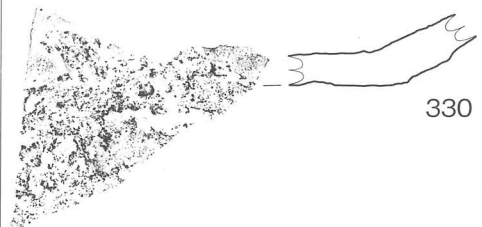
I 区



Q1 区

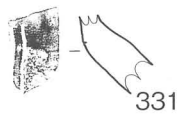


R1 区



第 66 図 国産陶器：常滑（2）

P202



331

SK07



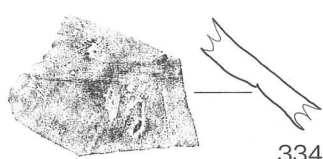
332

SD07



333

SD08

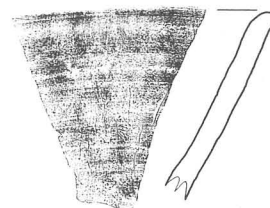


334



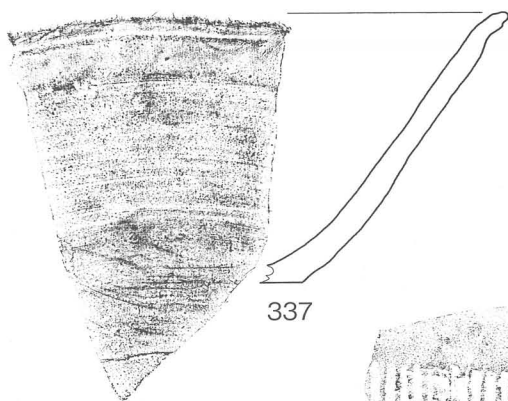
335

SD27

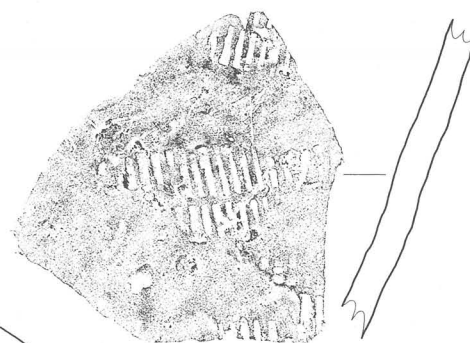


336

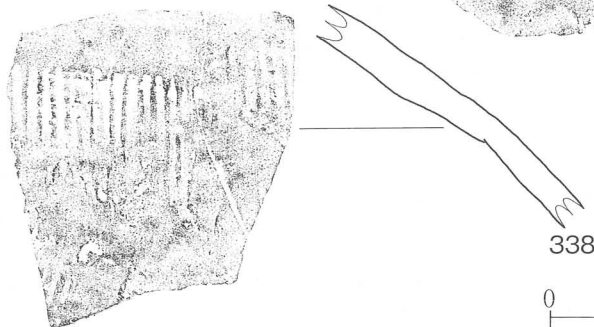
SD34 (1)



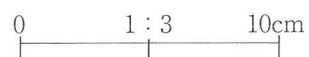
337



339

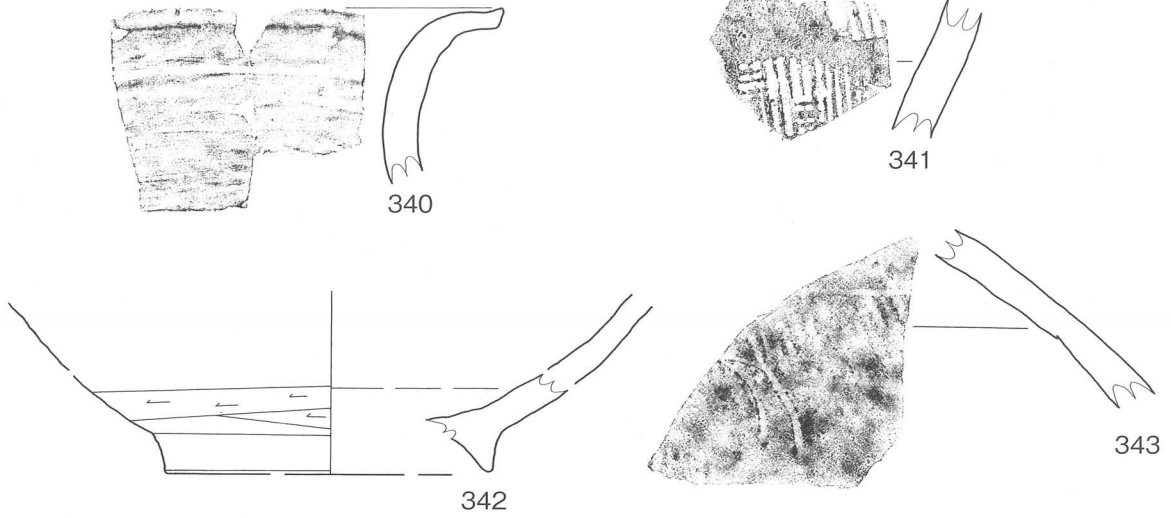


338

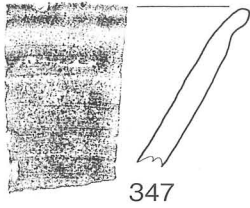
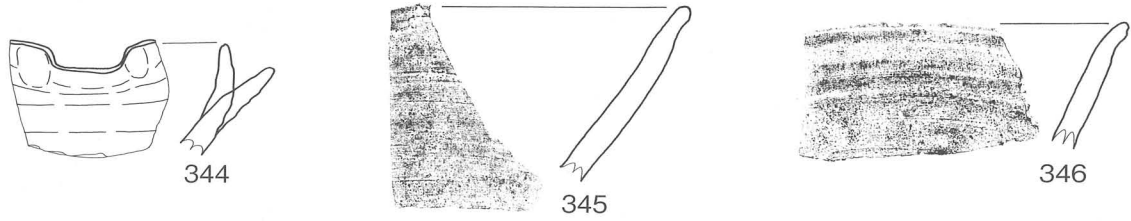


第 67 図 国産陶器：渥美（1）

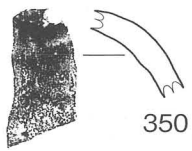
SD34 (2)



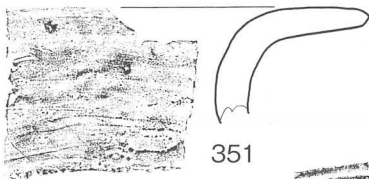
SD35



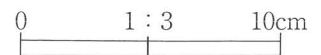
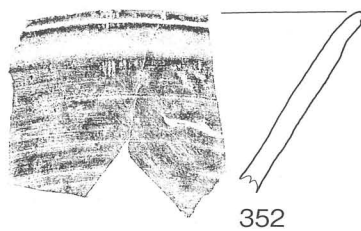
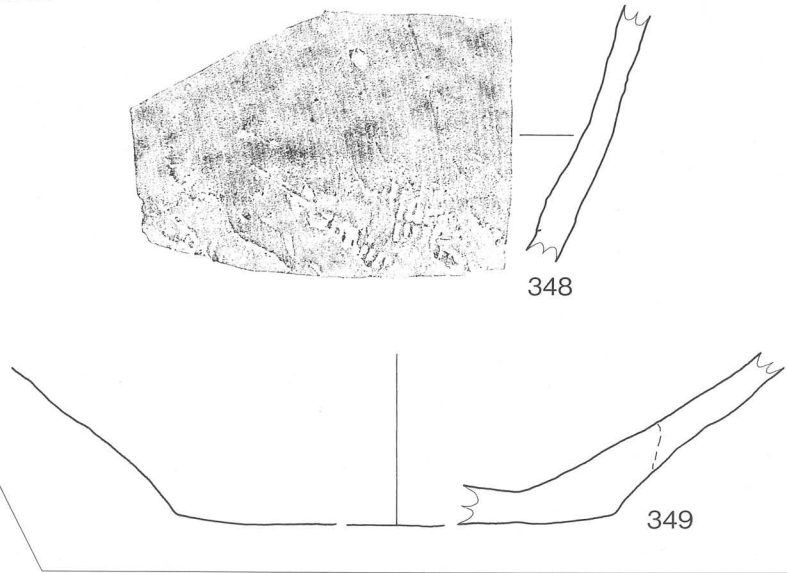
I区



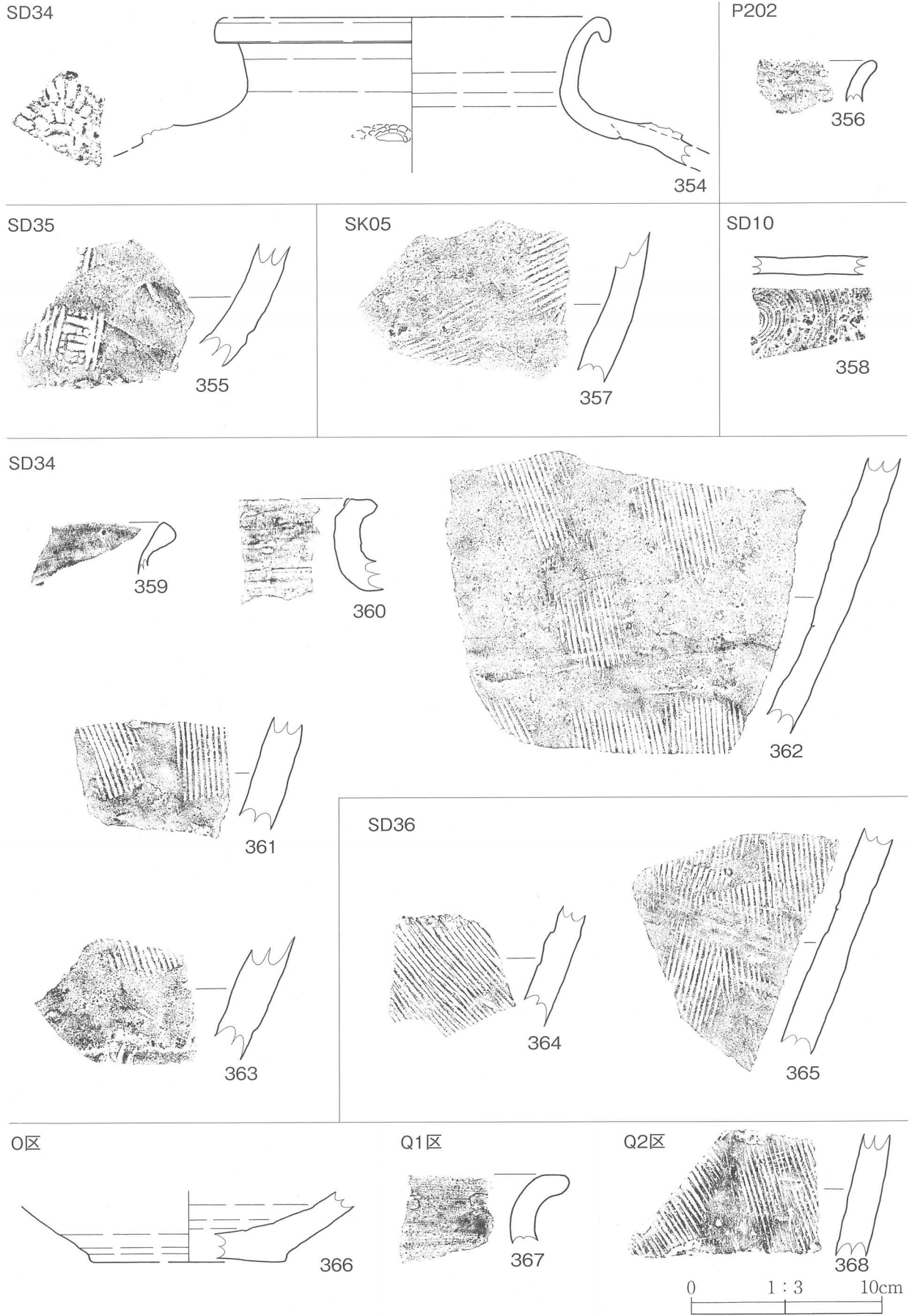
Q1区



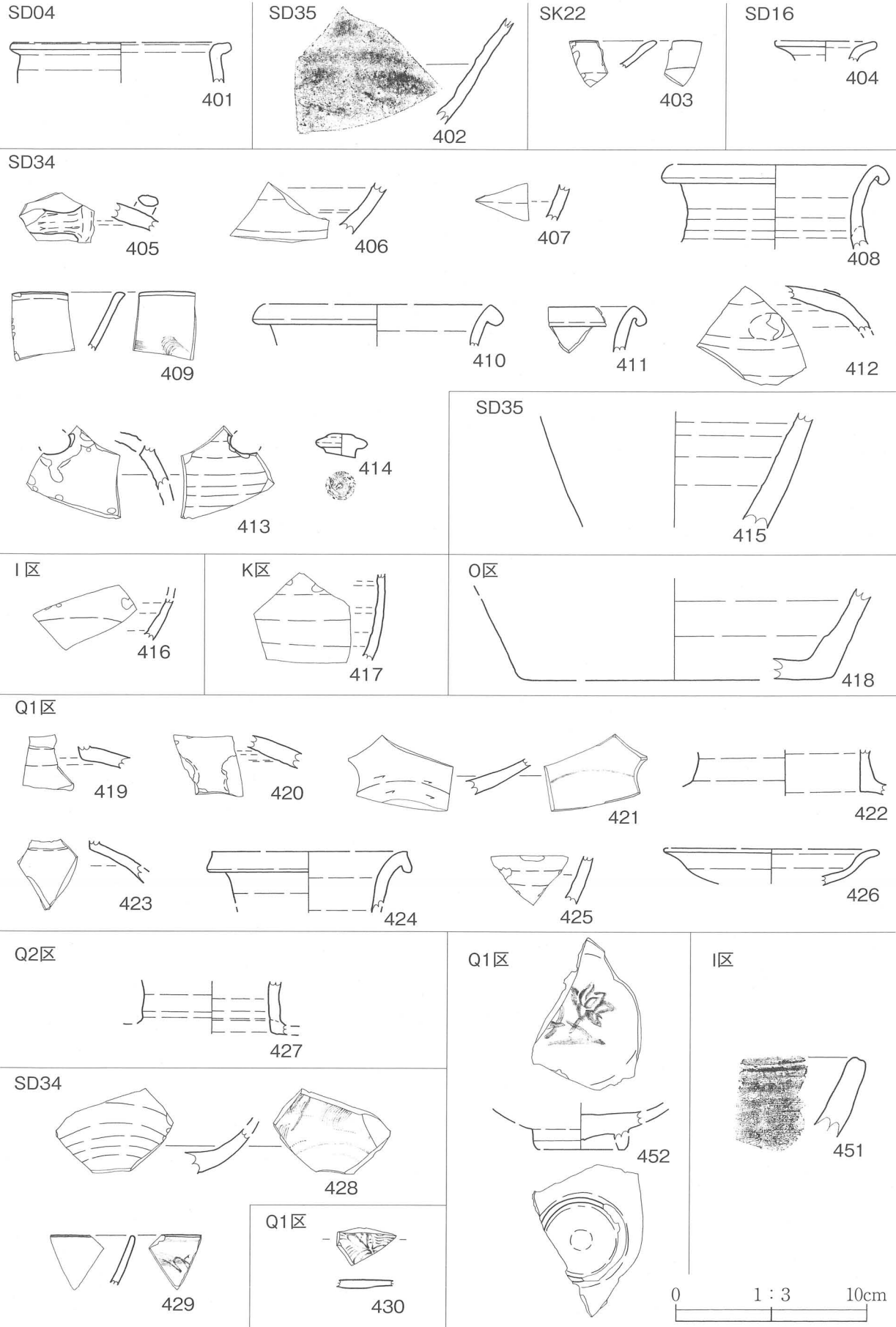
SD36



第68図 国産陶器：渥美(2)

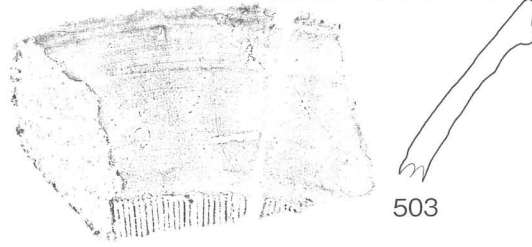
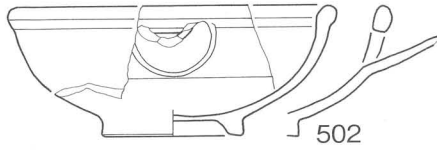
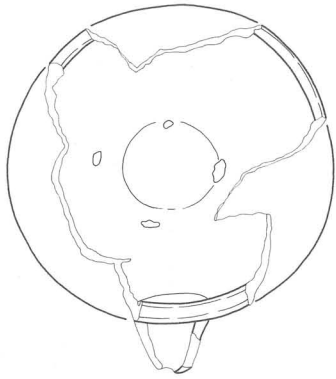


第 69 図 国産陶器：水沼・須恵器系



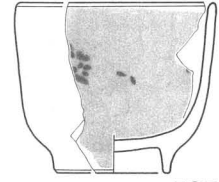
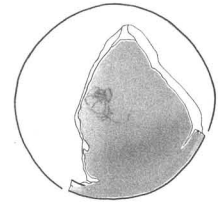
第70図 中国産陶磁器：白磁・青磁・青白磁、中世の陶磁器

SD24

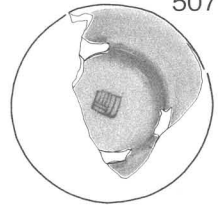


503

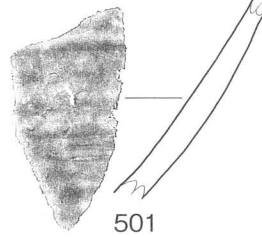
SD07



507

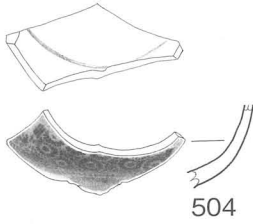


SD07

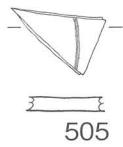


501

SK21



504



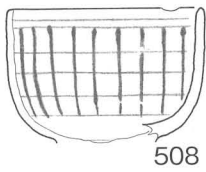
505

SK31

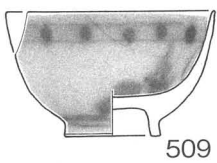


506

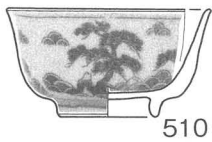
SD24



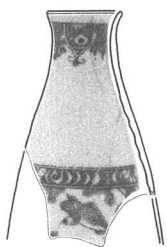
508



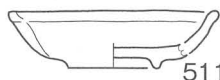
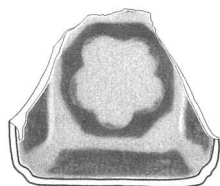
509



510



512

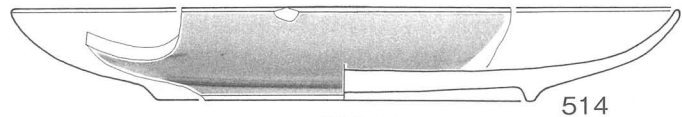
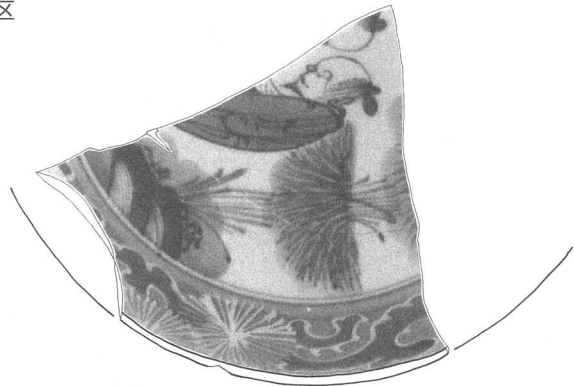


511

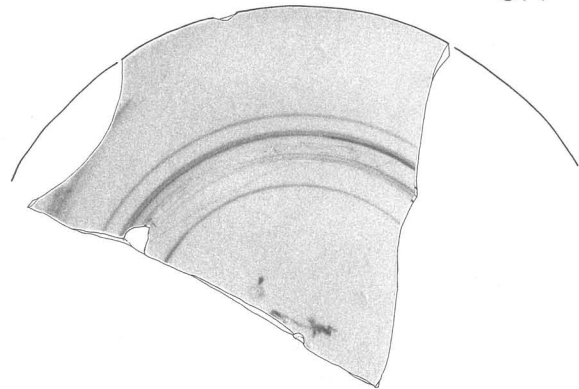


513

H3区

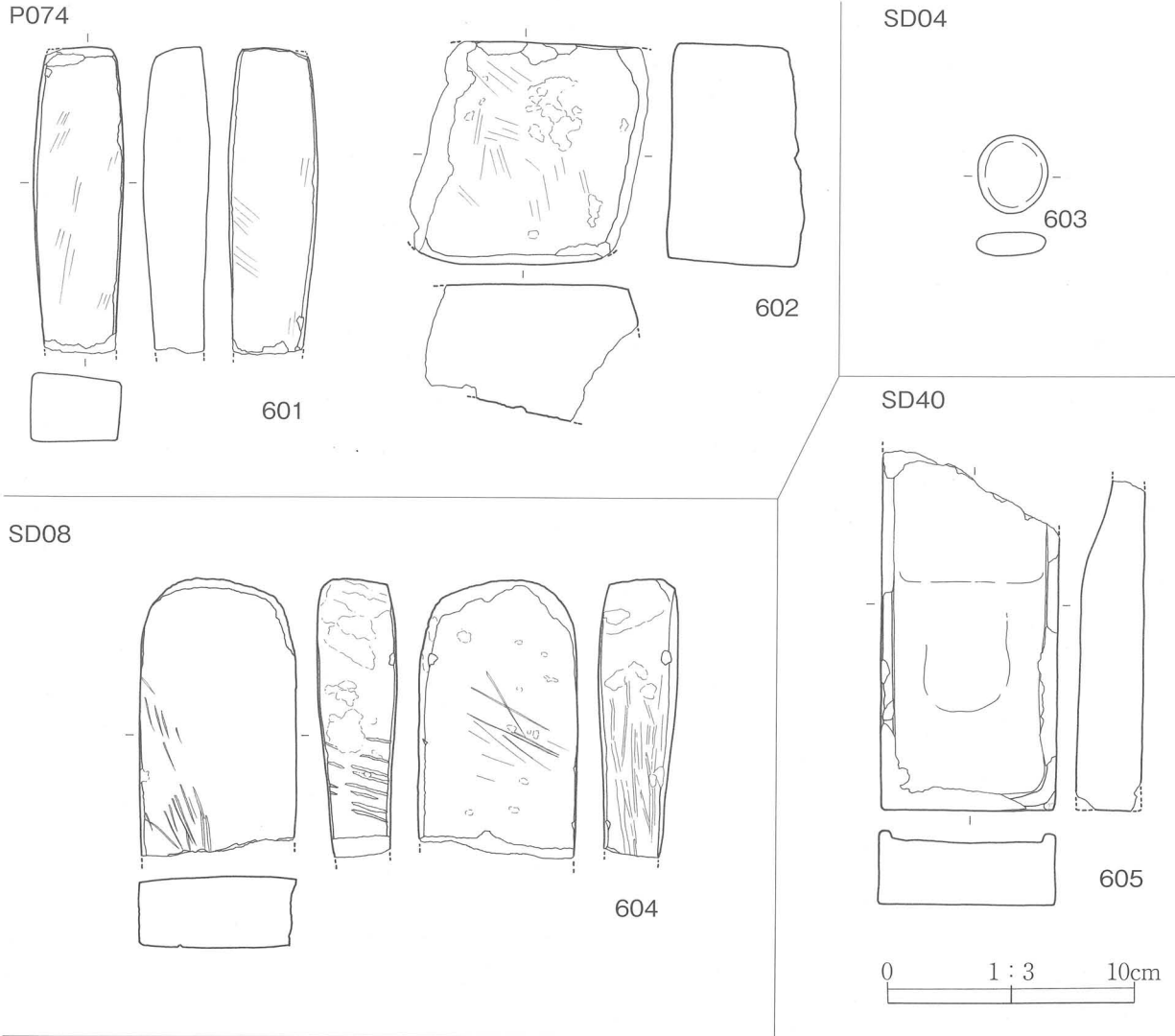


514

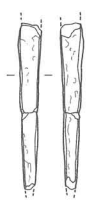


0 1:3 10cm

第71図 近世・近代の陶磁器

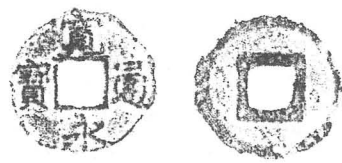


SK32



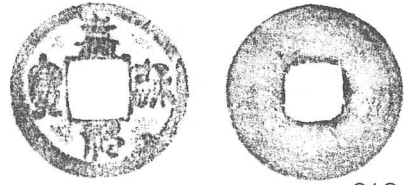
611

P112



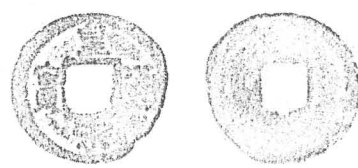
612

SK20



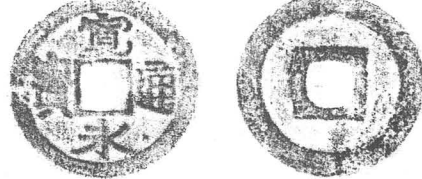
613

SD36



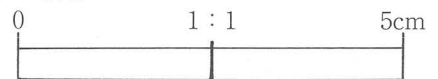
614

H2区



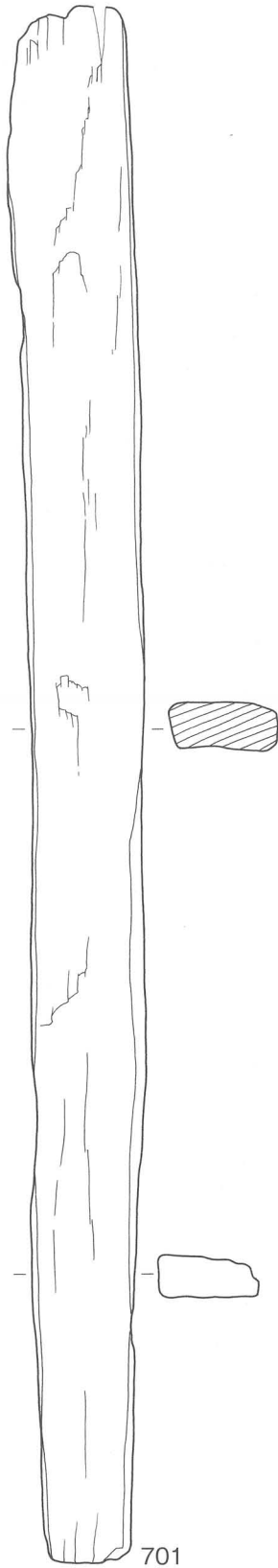
615

612 ~ 615



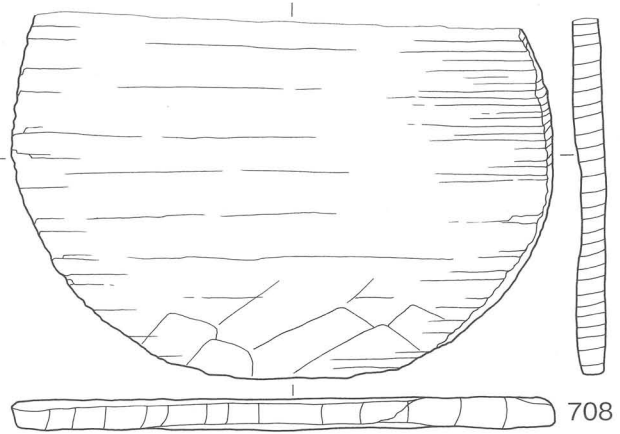
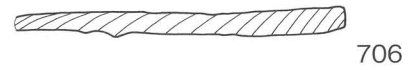
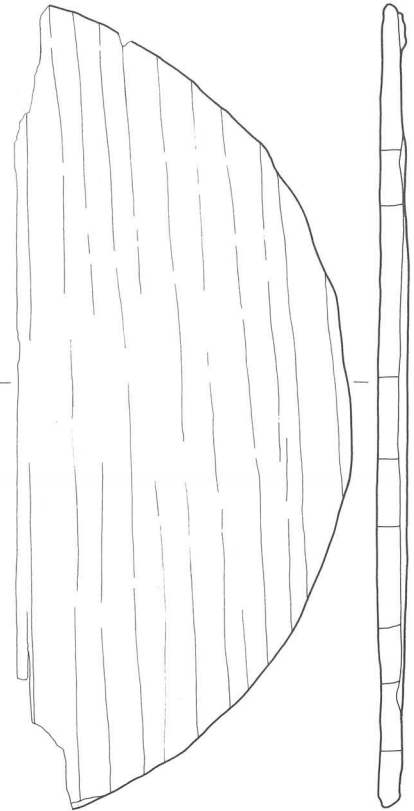
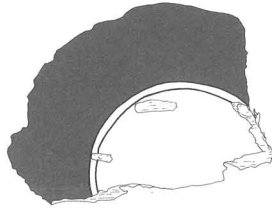
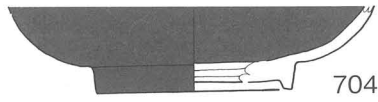
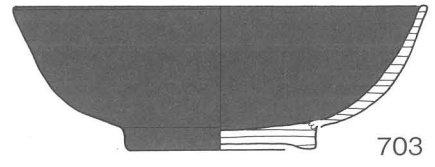
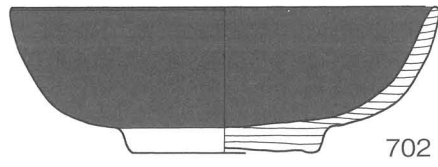
第 72 図 石製品、金属製品

SK06



0 1 : 4 10cm

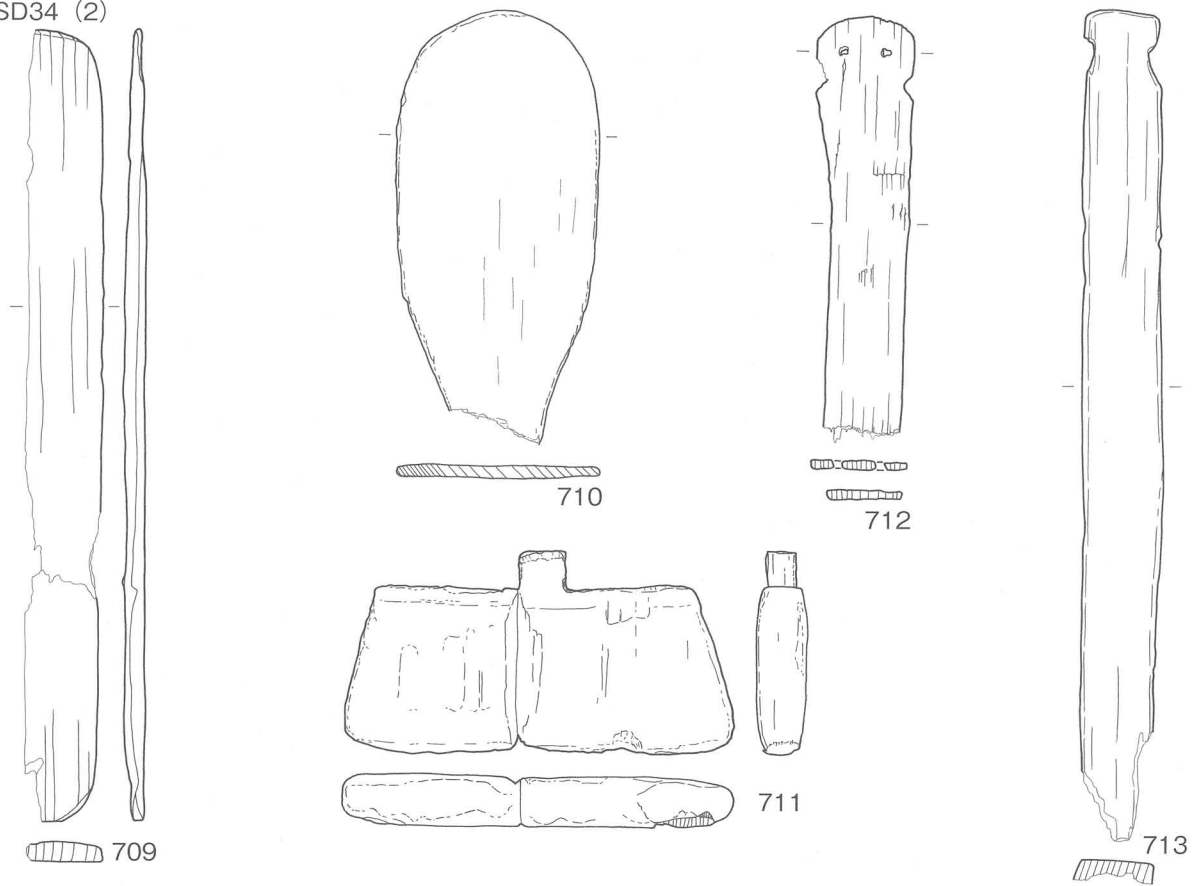
SD34 (1)



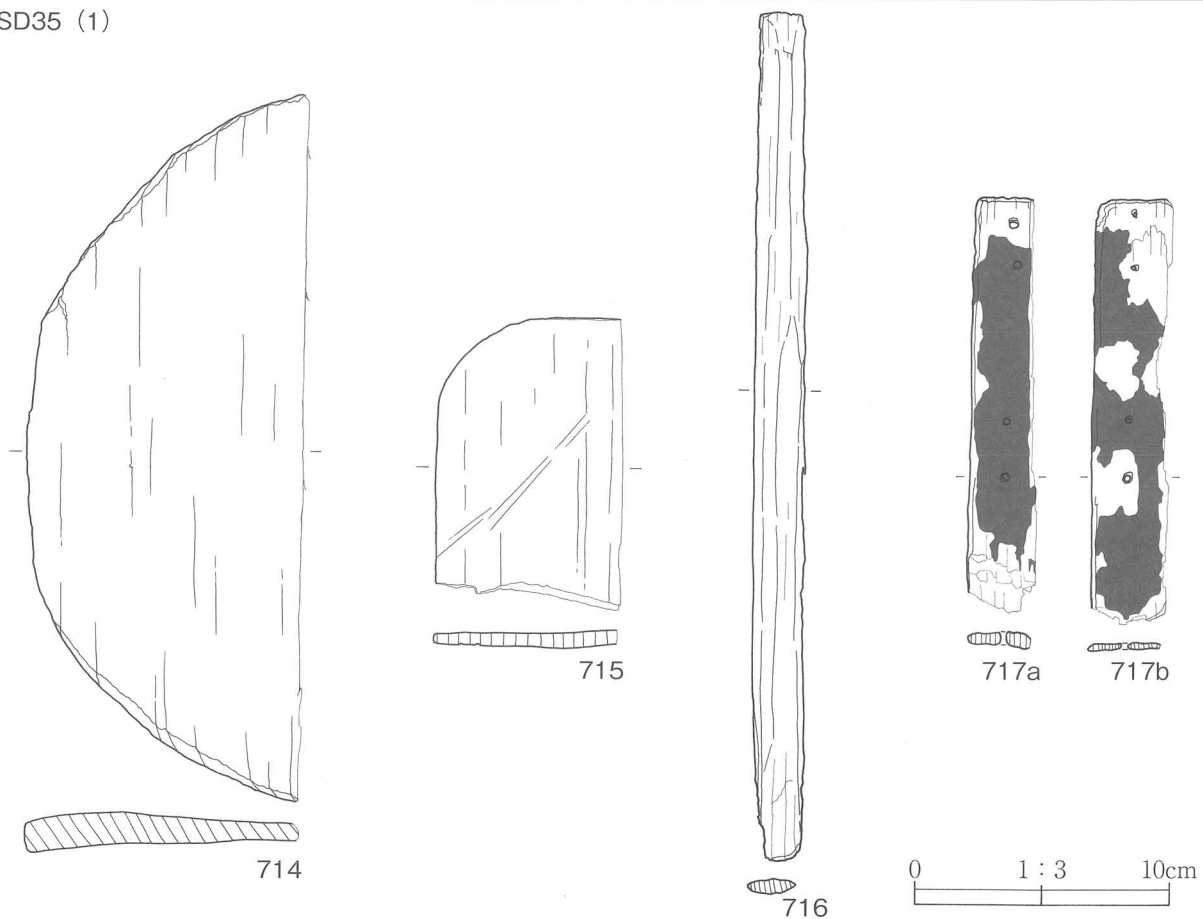
0 1 : 3 10cm

第 73 図 木製品 (1)

SD34 (2)

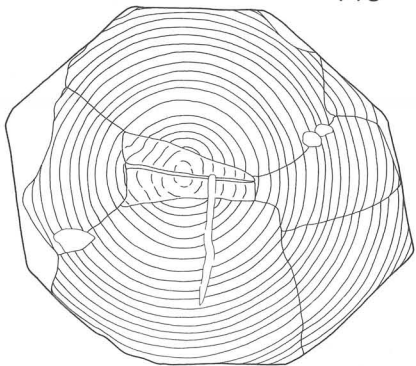
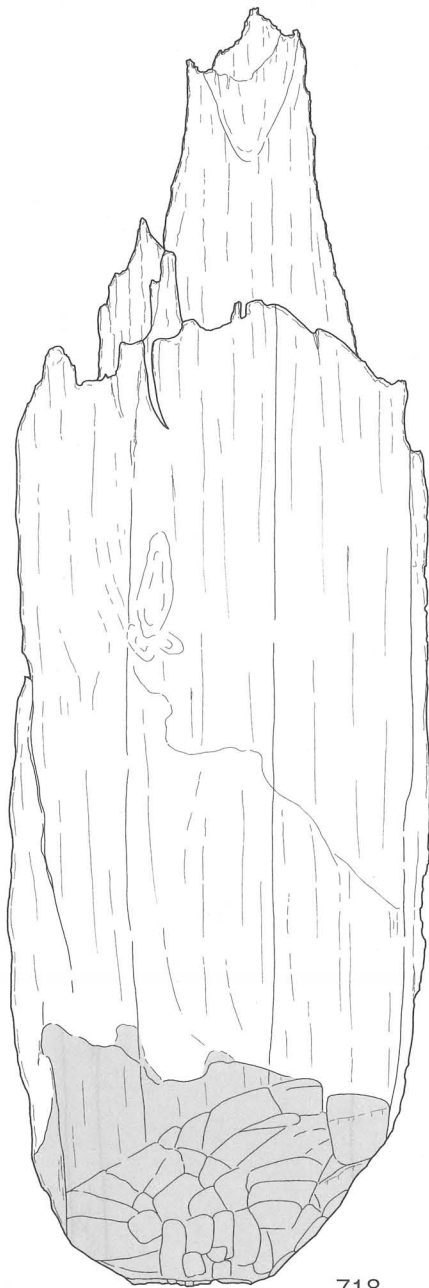


SD35 (1)



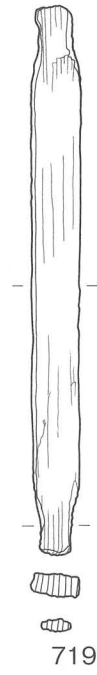
第74図 木製品(2)

SD35 (2)

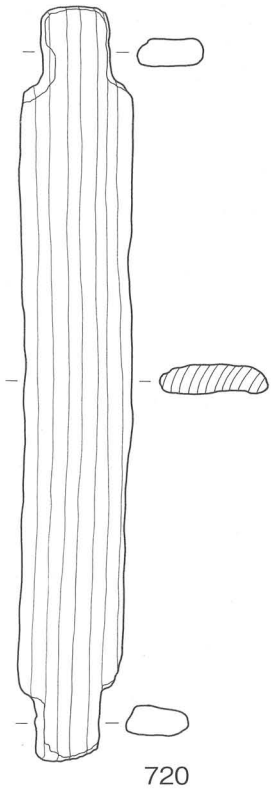


0 1 : 5 20cm

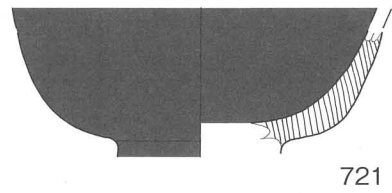
SD39



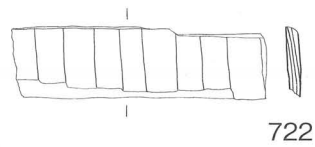
J2区



L区



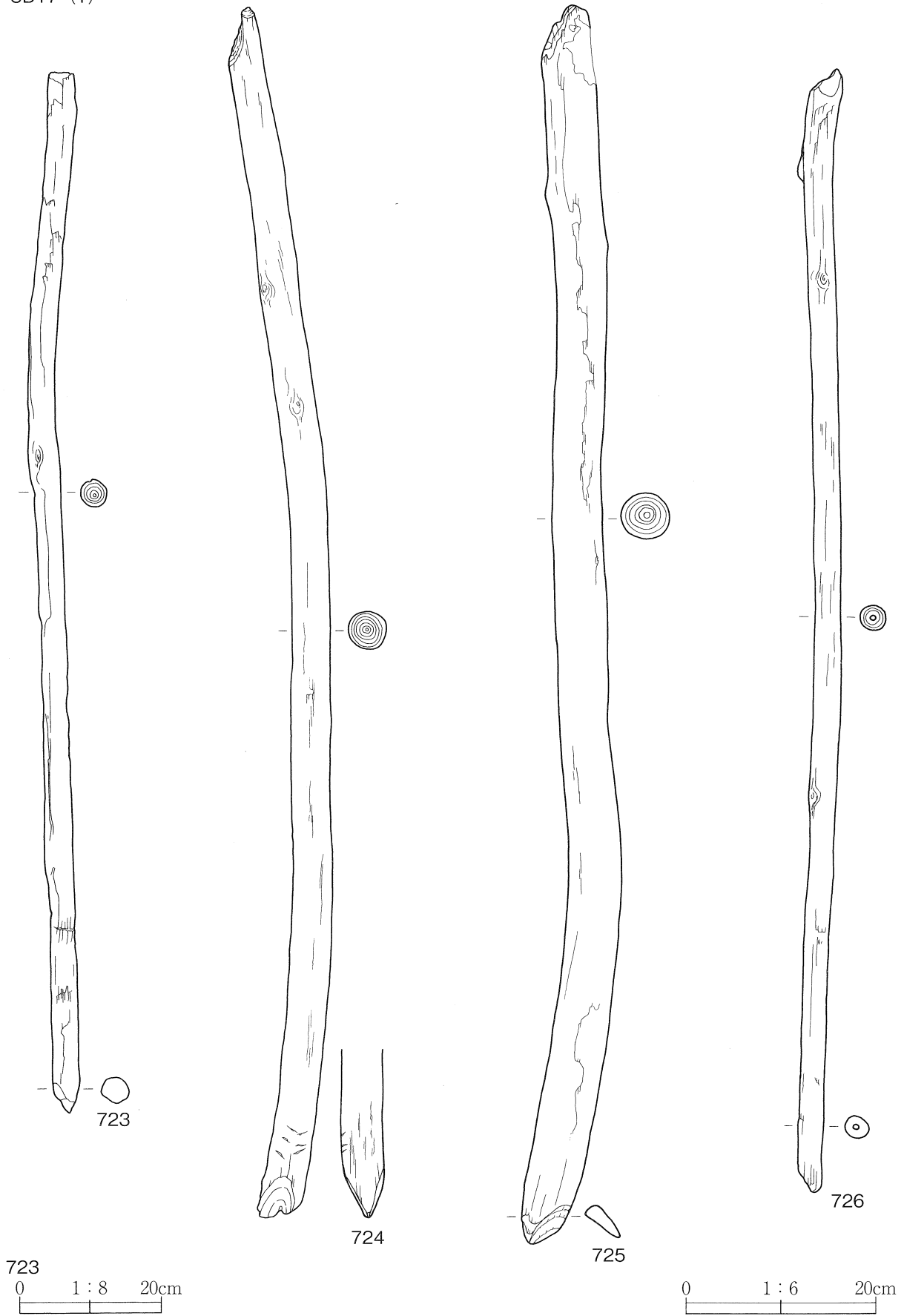
Q1区



0 1 : 3 10cm

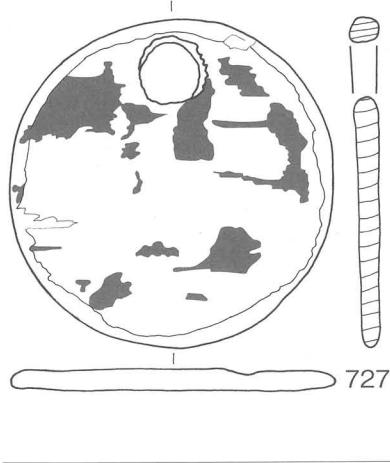
第 75 図 木製品 (3)

SD17 (1)

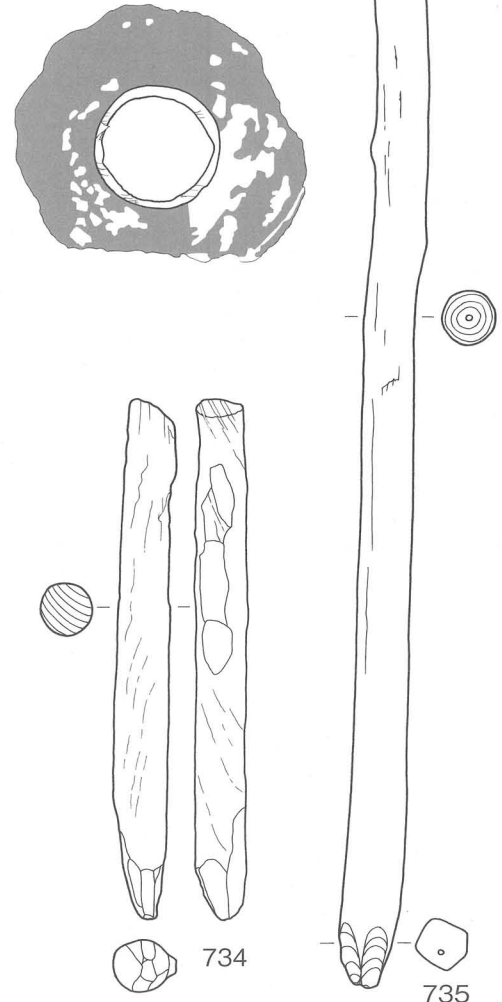
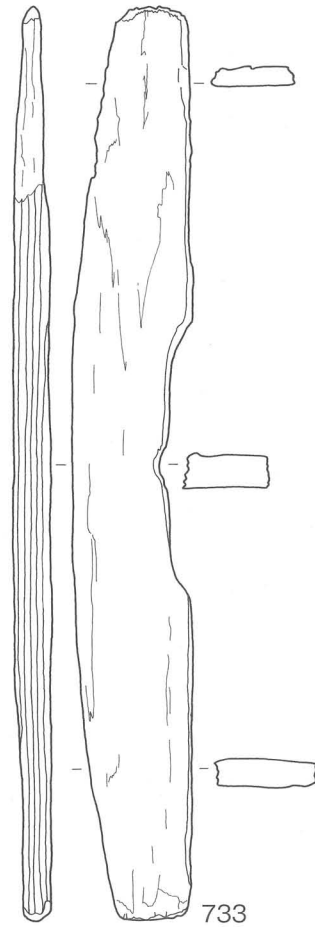
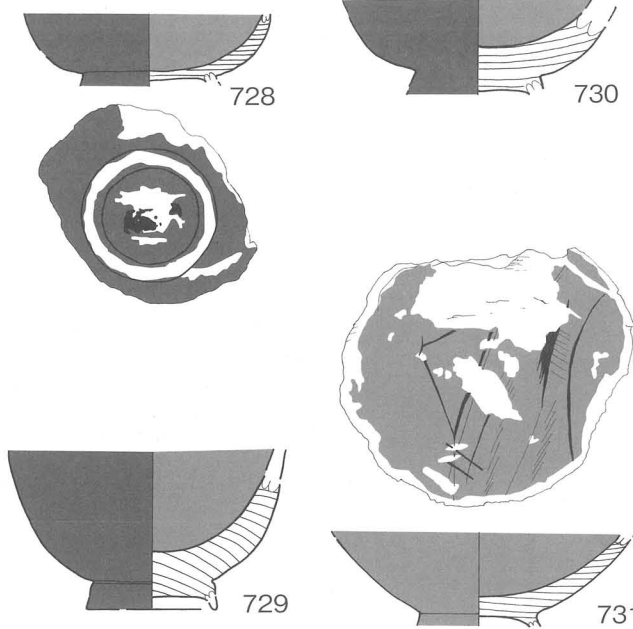


第76図 木製品(4)

SD17 (2)



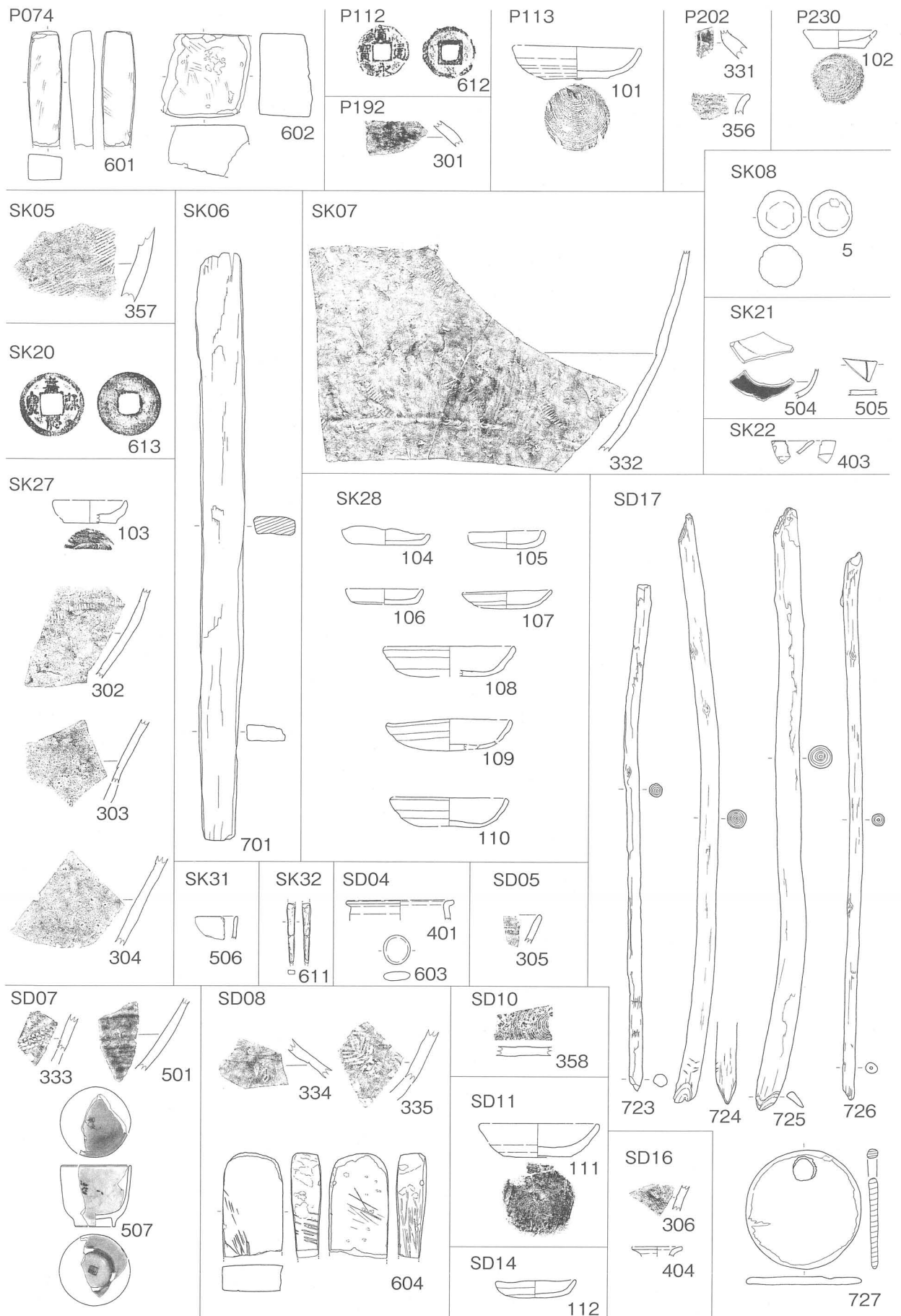
SD24



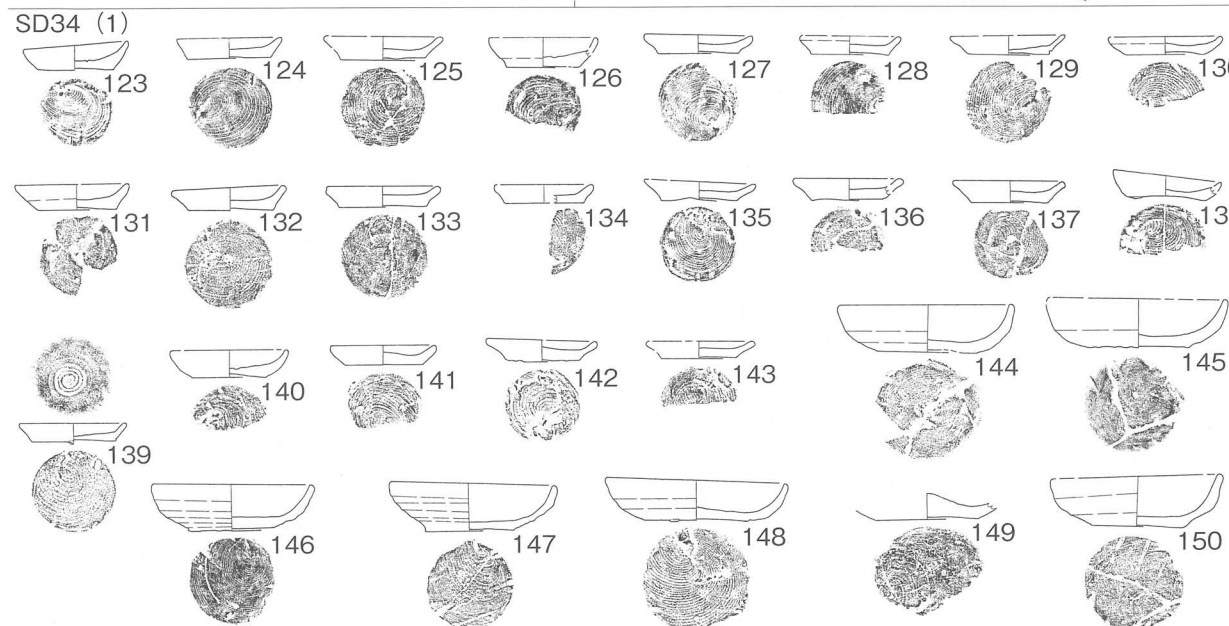
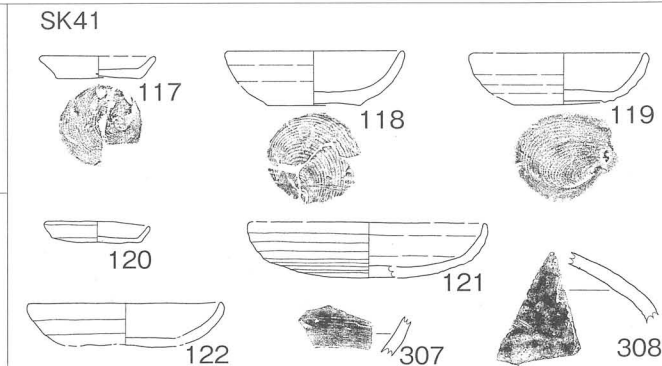
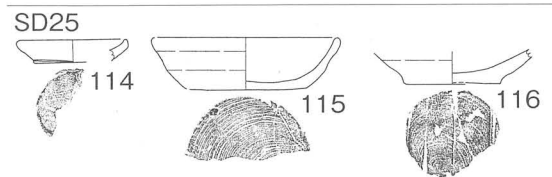
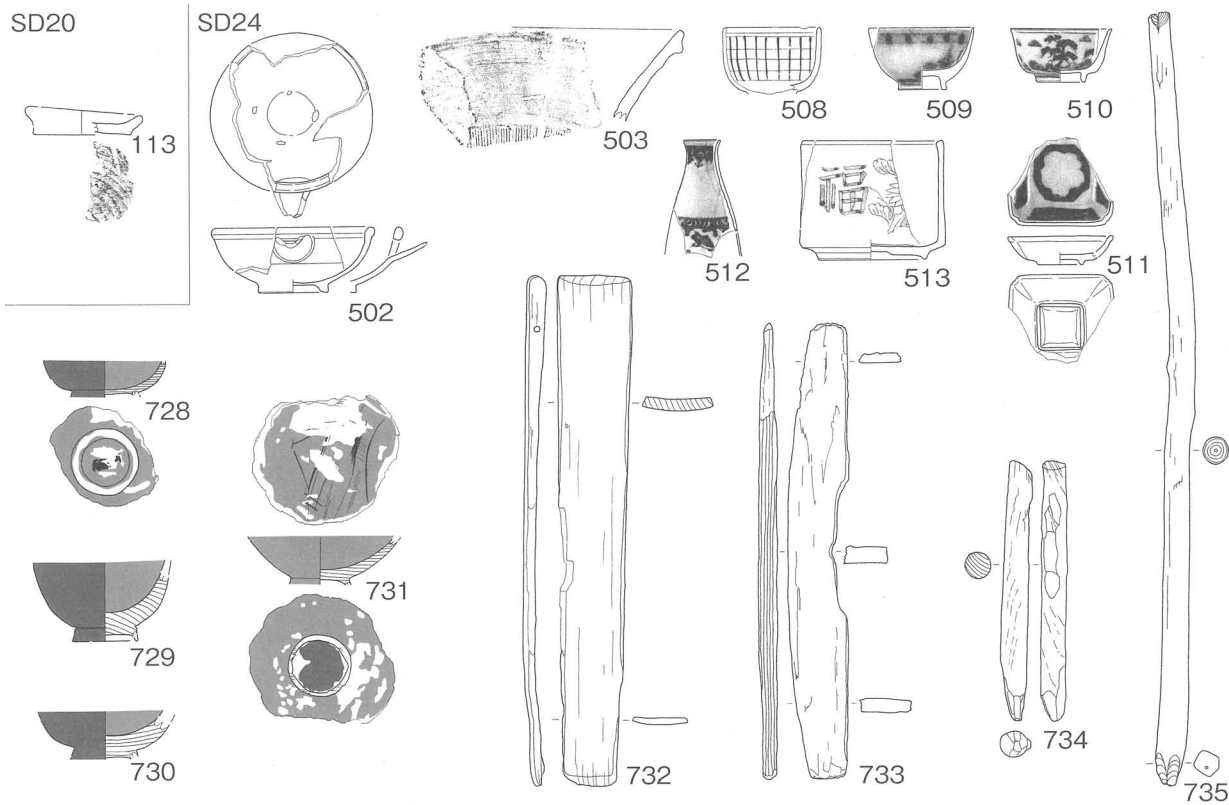
0 1:3 10cm

735 0 1:6 20cm

第77図 木製品(5)

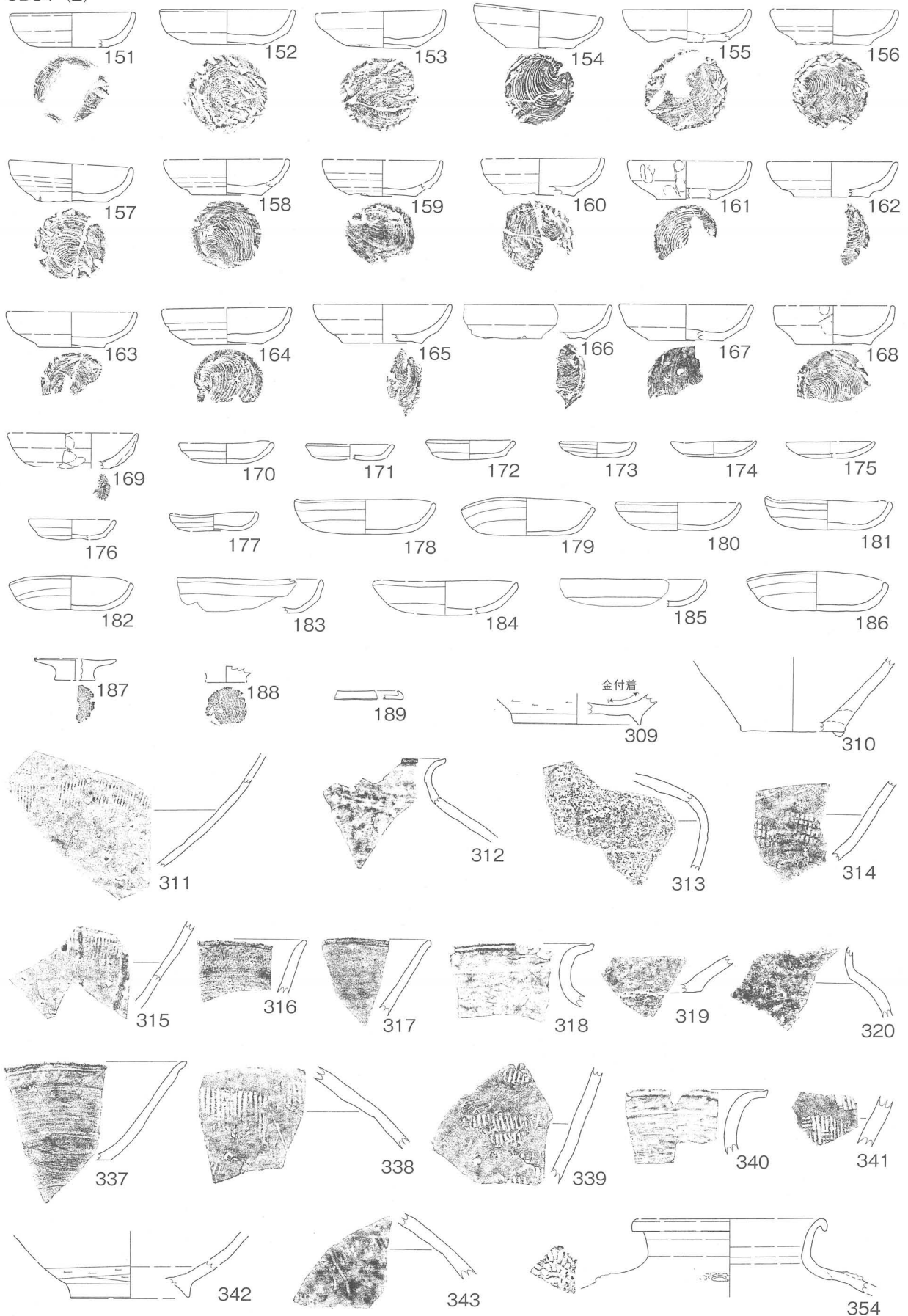


第 78 図 遺構別出土遺物集成図 (1)

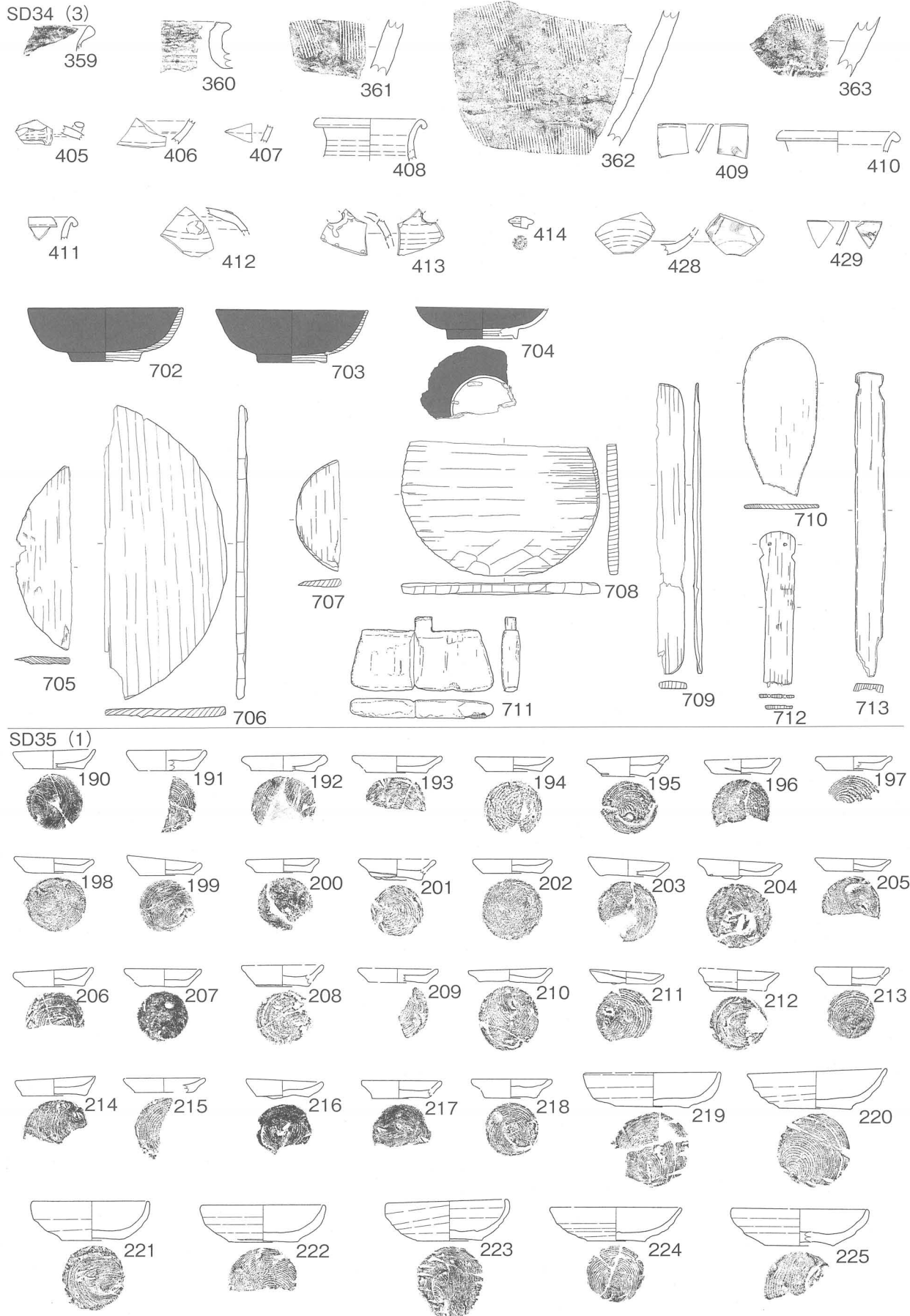


第 79 図 遺構別出土遺物集成図 (2)

SD34 (2)

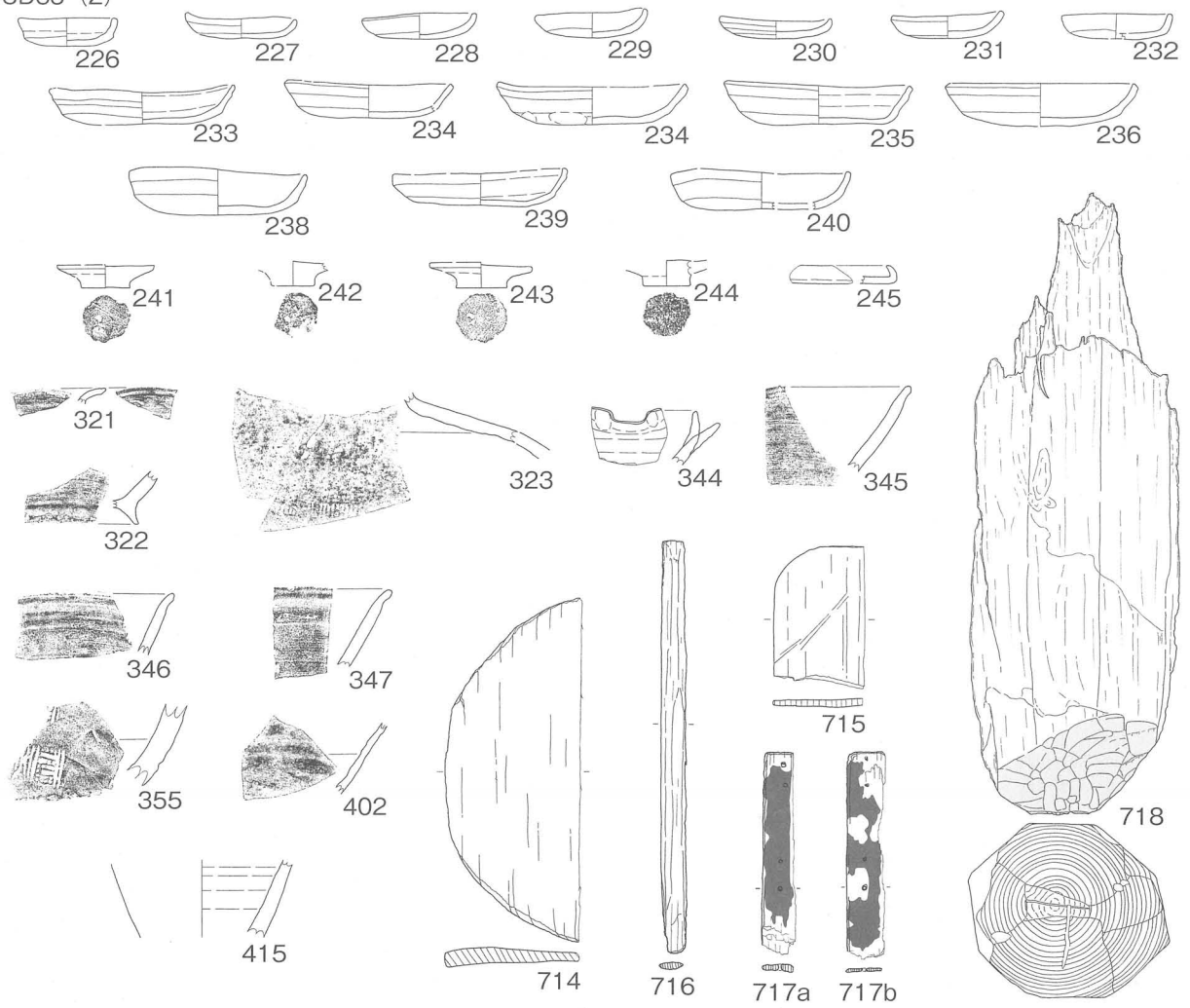


第 80 図 遺構別出土遺物集成図 (3)

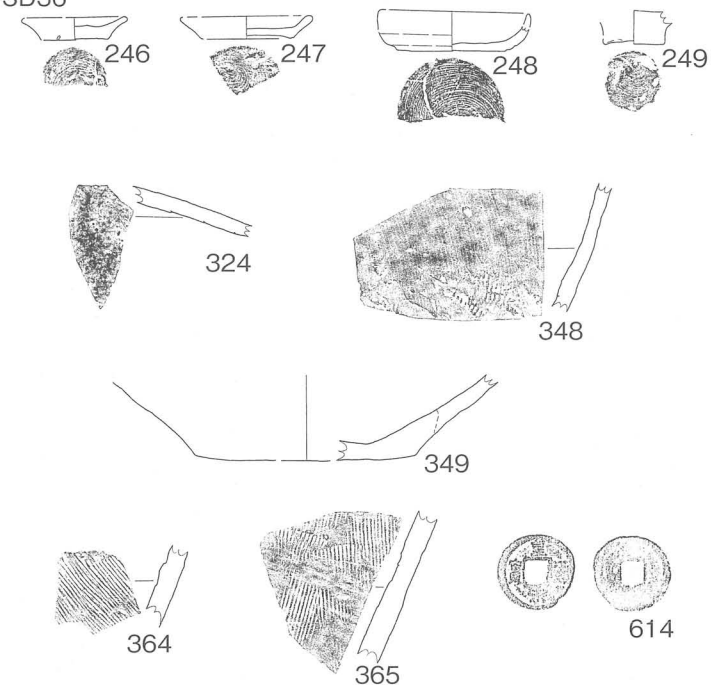


第 81 図 遺構別出土遺物集成図 (4)

SD35 (2)



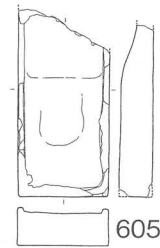
SD36



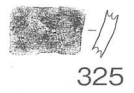
SD39



SD40



SD44



遺構別出土遺物集成図(1)~(5) 縮尺：個別図×½

第 82 図 遺構別出土遺物集成図 (5)

V 南日詰小路口Ⅱ遺跡

1 検出遺構

(1) 検出遺構の概要

検出された遺構は、古代の竪穴住居跡3棟、建物跡・柱列跡13棟、柱穴347個（建物を構成する柱を含）、土坑・井戸跡28基、溝跡27条、土器埋設遺構1基である。時代的には、古代、12世紀、近世・近代、所属時期不明に大別される。記載にあたっては、遺構の種類ごとに記述することとする。

(2) 竪穴住居跡

古代の竪穴住居跡は3棟確認された。C区から2棟。E区から1棟である。いずれもカマド・煙道部周辺が確認されたもので、部分的な調査にとどまっており、住居跡の全体像は不明である。

S I 101竪穴住居跡

遺構（第83図、写真図版73）

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で焼土と黒褐色土の煙道部分を検出した。水田整備の際に竪穴住居跡の床面まで削平が及んだものと判断される。遺構の広がりには調査区北側に延びると思われる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 住居跡全体の規模・形状は不明である。南側にカマド・煙道を持つ住居である。

[埋土・堆積状況] 不明である。

[壁・床面] 不明である。

[柱穴・配置] カマド周辺に柱穴を数個確認しているが、住居跡に伴う柱穴は不明である。

[カマド] 径約50cmの焼土を確認した。燃焼部と思われる。焼土の厚さは8cmである。焼土上とその周辺から土師器・須恵器片が出土している。煙道は、南向きにつくられている。径30cm、長さ160cmで、煙出部直下が最も低くなるように削り抜いて掘り込まれている。

[その他の付属施設] 焼土の西側に径70×60cm、深さ3～4cmの浅い土坑がある。埋土内から土師器・須恵器片が出土しており、住居跡に伴う施設と判断される。

遺物（第113・115図、写真図版97・98）

[出土状況] カマド燃焼部とカマド脇の土坑から土師器・須恵器が出土している。

[土師器・須恵器] 土師器の甕（1011）・須恵器の甕（1023）。

時期 出土遺物と遺構の状態から平安時代（9世紀前半）と推測される。

S I 102竪穴住居跡

遺構（第83図、写真図版73）

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で極暗褐色土の広がりとして検出した。南側の調査区域外に延びる。20cmほどの耕作土を除去しての検出であり、大方は削平されたものと判断された。

[重複関係] S K 104土坑と重複し、S K 104土坑に切られている。

[規模・平面形] 煙道の一部の検出であり、住居跡全体の規模・形状は不明である。

[埋土・堆積状況] 不明である。

1 検出遺構

[壁・床面] 不明である。

[柱穴・配置] 不明。

[カマド] 不明。煙出部が北側にある。煙道の一部を検出したのみである。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明だが、S I 101 竪穴住居跡と同時期と推測される。

S I 103 竪穴住居跡

遺構 (第84・85図、写真図版74・75)

[位置・検出状況] G 2 区。Ⅲ層上面から方形基調の黒色土の広がりを検出した。大半が調査区外に続くが、カマドとみられる部分に粘土が残存していたため、住居跡を想定して調査を開始した。

[重複関係] P1198・P1199が住居跡を切って構築されていた。

[規模・平面形] 残存部で径(6.6) × (2.73) mを測る。一辺6.6m前後の正方形もしくは長方形と考えられる。主軸方位はN-54°-Eを測る。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。壁際は三角堆積が認められ、自然に埋没したと考えられる。

[壁・床面] 後世の耕作により削平されたためか、壁は5~7cm程しか残存していなかった。床面は一部に貼床が施された形跡があった。また床面上に3箇所の焼土のまとまりがみられた。このうちカマド周辺のはカマドから掻き出された焼土と考えられる。

[柱穴・配置] ピットは7基検出したが、支柱穴となりうるのは、P 1のみである。P 1は径39×34cm、深さ61cmを測る。配置は不明であるが、P 1の位置から4本柱の可能性が考えられる。

[カマド] 住居跡の東側の壁、中央よりやや南側に設けられていた。煙道は刳り貫き式で、先に向かって徐々に深くなるように掘り込まれており、煙出し部の深さは125cmを測る。袖部は礫8個を芯材として用い、そのまわりに粘土を貼り付けて構築されていた。燃焼部は径112×90cm、焼土の厚さは5~8cmを測る。燃焼部の奥に小型の甕が逆位に設置されており、支脚として用いられたものと考えられる。また、崩落した天井部の粘土から土師器甕1個体(1022)が横倒した状態で出土した。

[その他の付属施設] P 5・P 6は貯蔵穴と考えられる。埋土は焼土を多く含んでおり、土器片が多数出土した。規模はP 5で径72×56cm、深さ13cmを測る。

遺物 (第113~115図、写真図版97・98・112)

[出土状況] カマド内とその周辺の床上から土師器・須恵器、焼土中から動物遺体が出土した。

1021は支脚として設置されていたもの。1022はカマドに設置された甕と推測される。

[土師器・須恵器] 土師器の甕11点(1012~1022)・須恵器の甕1点(1024)・坏2点(1025・1026)・蓋1点(1027)。

[動物遺体] 動物遺体1点(1511)。

時期 出土遺物と遺構の状態から平安時代(9世紀前半)と考えられる。

(3) 建物跡・柱列跡・柱穴群

柱穴群347個を確認した。そのなかから、建物跡あるいは柱列跡を構成するもの13棟について、建物跡・柱列跡として報告する。調査区の制約から、柱列としたものでも建物跡の一部の可能性があるため名称は一連の遺構名を付した。時期的には、12世紀のものと近世以降のものに大別される。

S B 101 掘立柱建物跡

遺構（第95図、写真図版76）

[位置・検出状況] G 3 区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 1 間×3 間以上の掘立柱建物跡である。規模（4.78）×（2.15）m 以上。6 個の柱穴（P 1205・1206・1207・1208・1216・1217）から構成される。庇の有無は不明である。

[建物方位] N - 0° - E（梁）。N - 90° - E（桁）。

[柱間寸法] 柱間1.3～2.1m である。梁方向1.3～1.7m、桁方向2.1m。

[付属施設] S D 122 溝跡の内部に位置する。溝跡内に建てられた建物跡の可能性がる。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀の可能性がある。

S B 102 掘立柱建物跡

遺構（第95図、写真図版76）

[位置・検出状況] G 4 区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。掘り方はどれも浅く、かなり削平されたものと思われる。

[重複関係] S D 127 溝跡に切られている。

[平面形式] 1 間×2 間以上の掘立柱建物である。規模（7.18）×（2.53）m 以上。7 個の柱穴（P 1330・1331・1332・1333・1334・1346・1350）から構成される。P 1330・1346間の柱穴は確認できなかった。建物跡は西側に展開する可能性があり、全体の平面形式は不明である。P 1350は庇に関連する柱穴の可能性もある。

[建物方位] N - 85° - E（梁）。N - 5° - W（桁）。

[柱間寸法] 柱間2.5m である（梁・桁とも）。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀と推測される。

S B 103 掘立柱建物跡

遺構（第95図、写真図版76）

[位置・検出状況] G 4 区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は東西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] P 1323がS D 127 溝跡に切られていた。P 1337がS K 127 土坑に切られていた。また、建物内部にS Z 101 土器埋設遺構が位置するが、関係は不明である。

[平面形式] 1 間×3 間以上の掘立柱建物である。規模（7.54）×2.32m 以上。7 個の柱穴（P 1318・1319・1320・1321・1322・1323・1337）から構成される。P 1323の北側に柱穴は確認できなかった。S D 127 溝跡に切られて消滅した可能性がある。

[建物方位] N - 1° - W（梁）。N - 89° - E（桁）。

[柱間寸法] 柱間2.3m（梁）2.5m（桁）である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀と推測される。

S B 104掘立柱建物跡

遺構（第96図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びるものと推測される。

[重複関係] なし。

[平面形式] 2 × 3間以上の掘立柱建物跡である。5.81 × 3.23m以上。9個の柱穴（P 1235・1236・1242・1248・1249・1252・1256・1315・1316）から構成される。

[建物方位] N - 84° - W（梁）。N - 6° - E（桁）。

[柱間寸法] 柱間1.5 ~ 1.7m（梁）・1.0 ~ 1.5m（桁）である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 105柱列

遺構（第96図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴（P 1229・1226・1317）から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成している可能性がある。

[建物方位] N - 10° - E。

[柱間寸法] 柱間1.8 ~ 2.0mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 106掘立柱建物跡

遺構（第96図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴（P 1221・1223・1224）から構成される。東側に展開する建物跡の西端を構成している可能性がある。

[建物方位] N - 4° - E。

[柱間寸法] 柱間1.8 ~ 2.0mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 107柱列

遺構（第96図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴（P 1271・1274・1277）から構成される。東側に延びる建物跡の西端を構成する可能性がある。

[建物方位] N - 2° - E。

[柱間寸法] 柱間1.7 ~ 1.8m。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 108柱列

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。構成建物は北西側の調査区域外に延びる。

[重複関係] なし。

[平面形式] 4個の柱穴 (P 1264・1267・1269・1309) から構成される。西側に展開する建物跡の東端を構成する可能性がある。

[建物方位] N - 5° - E。

[柱間寸法] 柱間1.6 ~ 1.7mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 109柱列

遺構 (第96図、写真図版77)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。東西方向に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 3個の柱穴 (P 1271・1274・1277) から構成される。

[建物方位] N - 85° - W。

[柱間寸法] 1.8mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S B 110掘立柱建物跡

遺構 (第97図、写真図版77)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。西側は調査区域外になり、東側・南側は攪乱を受けている。構成建物は北側を除く方向に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 1 × 2間の掘立柱建物跡である。(1.89) × (0.75) m以上。4個 (P 1282・1284・1286・1287) の柱穴から構成される。P 1282・1287の間に柱穴は確認できていない。P 1285・1288の柱列も一連のものか別ものか不明である。複数の柱列が混在する可能性がある。

[建物方位] N - 90° - E (梁)、N - 0° - W (桁)。

[柱間寸法] 0.75m (梁)、2 m (桁) である。

遺物 なし。

時期 不明だが、近世以降と推測される。

S B 111柱列

遺構（第97図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。西側と北側はカクラン受けている。柱列と考えた場合でもさらに北側に延びる可能性がある。

[重複関係] なし。

[平面形式] 4個の柱穴（P 1292・1305・1306・1307）から構成される柱列である。並びは4個だが、掘り方が浅いP 1305と1307、掘り方が深いP 1292・1306の組み合わせとなる可能性もある。その場合の柱間は2.5mとなる。また、東西方向に展開して建物跡を構成する可能性もある。

[建物方位] N - 0° - E。

[柱間寸法] 柱間1.2mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明である。

S B 112掘立柱建物跡

遺構（第97図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。東側に延びる可能性はある。

[重複関係] 位置的にはS D 126溝跡と重なるが、新旧関係は不明である。

[平面形式] 1間×1間の掘立柱建物跡である。規模は1.61×1.43m、4個の柱穴（P 1295・1298・1299・1300）から構成される。

[建物方位] N - 10° - E。

[柱間寸法] 1.61～1.41mである。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と考えられる。

S B 113掘立柱建物跡

遺構（第97図、写真図版77）

[位置・検出状況] G 6区。Ⅲ層で柱穴群を検出した。[重複関係] なし。

[平面形式] 1×2間の掘立柱建物跡である。規模3.10×1.79m。6個の柱穴（P 1127・1128・1129・1130・1131・1132）から構成される。

[建物方位] N - 15° - W（梁）。N - 75° - E（桁）。

[柱間寸法] 柱間1.5～1.7m、1.7m（梁）。1.5～1.8m（梁）。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明である。近世以降の可能性はある。

（4）土坑・井戸跡

用途不明のものを含む穴を一括した。28基ある。このなかには、井戸跡9基も含まれている。時期は、古代、12世紀、近世・近代、時期不明に大別される。

S K 101土坑

遺構 (第98図、写真図版80)

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部0.77×0.72m、底部0.55×0.54m、平面形は円形を呈する。深さ0.26m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 102土坑

遺構 (第98図、写真図版80)

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部(1.85×0.8)m以上、底部(0.9×0.2)m以上、平面形は円形基調と推定される。深さ0.39m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 103土坑

遺構 (第98図、写真図版80)

[位置・検出状況] A区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.81×1.08m、底部1.10×0.53m、平面形は楕円形である。深さ0.48m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられ、底面は湾曲する。壁を一部掘り過ぎている。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 104土坑

遺構 (第98図、写真図版80)

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側が調査区域外にかかる。

[重複関係] S I 102竪穴住居跡と重複する。S K 104土坑が切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部1.00×(0.45)m、底部0.40×(0.20)m、平面形は円形基調である。深さ0.87m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 105井戸跡

遺構（第99図、写真図版81）

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。検出の段階では、平面形から二つの土坑が重複している可能性を考えて精査を開始したが、精査中に土坑のほぼ中央から井戸枠と判断される材を確認したことから、以後、井戸の掘り方として精査を行った。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部2.05×1.51m、底部1.90×1.30m、平面形はやや不整な楕円形である。深さ1.00m。底面に一部掘り過ぎがあるが、井戸枠が設けられた北東側がやや低くなる。井戸枠の位置は、掘り方の北西側に寄っており、軸方向も一致していないが、掘り方はひとつと思われる。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。底部付近の壁がやや抉れている。

[その他の付属施設] 埋土中から井戸枠の材が出土した。

遺物（第126・127図、写真図版108・109・112）

[出土状況] 井戸枠の材が出土した。検出面から10cm下位で、井戸枠と考えられる材が出土した。それより上部は腐食したと判断される。井戸枠の平面形は方形で四方に縦板があり、内側に横棧がある。縦板上部は内側に倒れ、横棧は南東側に傾き、下がった状態で確認された。材の樹種は、縦板がアスナロ・横棧がクリとの鑑定結果を得ている（第Ⅶ章第1節）。植物遺体はモモとの鑑定結果を得ている。

[木製品] 井戸枠の縦板2点（1431・1432）、井戸枠の横棧4点（1433～1436）。

[植物遺体] モモの種子（1521）。

時期 時期を判断できる出土遺物が無く、詳細は不明である。出土した材について年代測定を行った結果、910±30yrBPとの結果を得ている（第Ⅶ章第3節）。古代の井戸跡と判断される。

S K 106井戸跡

遺構（第100図、写真図版82）

[位置・検出状況] E 2区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.47×1.41m、底部径1.08×0.88m、平面形は円形。深さ1.39m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。4層から下はグライ化した土層である。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物（第116・128図、写真図版99・109）

[出土状況] 埋土4層から、かわらけ・木製品が出土している。

[かわらけ] 手づくねかわらけ大2点（1102・1103）。

[木製品] 板状の木製品2点（1437・1438）。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の井戸跡と考えられる。

S K 107井戸跡

遺構（第100図、写真図版82）

[位置・検出状況] E 2区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.25×1.16m、底部径0.92×0.77m、平面形は円形。深さ1.09m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・黒色土で構成される。5層から下はグライ化している。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は外傾する。

遺物 (第116・117・128・129図、写真図版99・100・109・110)

[出土状況] 5層から陶磁器類・木製品などがまとまって出土した。廃棄されたものと判断される。

[かわらけ] ロクロかわらけ小 (1104)・ロクロかわらけ大3点 (1105～1107)。

[国産陶器] 常滑窯産の甕1点 (1203)、片口鉢2点 (1204・1205)

[木製品] 漆器椀3点 (1439～1441)・曲物蓋? (1442)・折敷 (1443)・棒状の製品 (1444)・部材3点 (1445～1447) など計9点。

時期 遺構の状態と出土遺物から、12世紀の井戸跡と考えられる。

S K 108井戸跡

遺構 (第100図、写真図版82)

[位置・検出状況] E 2区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.51×1.47m、底部径0.76×0.61m、平面形は円形。深さ1.13m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。3層から下はグライ化している。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀の井戸跡の可能性はある。

S K 109井戸跡

遺構 (第100図、写真図版83)

[位置・検出状況] E 3区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.58×1.47m、底部径1.31×1.14m、平面形は円形。深さ1.19m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・黄褐色土で構成される。6層から下位はグライ化しているが、湧水のために底面まで明確に掘り上げることができず、大まかな形状を把握するにとどまった。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物 (第119図、写真図版101)

[出土状況] 国産陶器が埋土上位から出土している。

[国産陶器] 渥美窯産の甕1点 (1214)。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の井戸跡と判断される。

S K 110井戸跡

遺構 (第101図、写真図版83)

[位置・検出状況] F 1区。Ⅲ層で黒褐色土の円形の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.93×1.75m、底部径1.32×1.25m、平面形は円形。深さ1.19m。湧水のため底面まで掘りあげていない。南東側に張り出しがあるが、詳細は不明である。

1 検出遺構

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・褐色土・暗褐色土で構成される。6層から下はグライ化している。

西側5層中に径20～30cmの角礫・亜角礫50個ほどが廃棄された状態で確認された。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。壁は直立ぎみに立ち上がる。

[その他の付属施設] 南側に幅40cm、長さ80cmの張り出しがあり、内側に向かって傾斜している。埋土の状態をみると、埋没する段階では穴と一体化していたようである。貼り出し部の両側に15×10cmほどの小さな掘り込みがある。

遺物 (第119図、写真図版101)

[出土状況] 5層から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 渥美窯産の甕1点 (1215)。

時期 遺構の状態と出土遺物から、12世紀の井戸跡と判断される。

SK111土坑

遺構 (第98図、写真図版83)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径0.80×(0.47)m、底部径0.25×(0.13)m、平面形は円形基調と推定される。0.4m。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

SK112土坑

遺構 (第98図、写真図版83)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径0.83×0.76m、底部径0.41×0.34m、平面形は円形。深さ0.48m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

SK113土坑

遺構 (第98図、写真図版84)

[位置・検出状況] G5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。東側が調査区外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.05×(0.7)m、底部径0.5×(0.5)m、平面形は円形基調である。深さ0.4m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦である。

遺物（第130図、写真図版110）

[出土状況] 2層から木製品が出土している。

[木製品] 杵？（1448）。

時期 時期を判断できる出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 114土坑

遺構（第101図、写真図版84）

[位置・検出状況] G 5区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。東側が一部調査区外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.4×1.4m、底部径0.6×0.5m、平面形は円形。深さ0.54m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 115井戸跡

遺構（第101図、写真図版84）

[位置・検出状況] G 2区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.44×1.40m、底部径1.31×1.29m、平面形は円形。深さ1.29m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。3層より下位がグライ化している。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物（第116・119・130図、写真図版99・101・110～112）

[出土状況] 埋土から、かわらけ・国産陶器・木製品・土製品など多くの遺物が出土した。

[かわらけ] ロクロかわらけ大2点（1108・1109）・手づくねかわらけ3点（1110～1112）。

[国産陶器] 渥美窯産の甕1点（1216）・須恵器系陶器の甕1点（1228）

[木製品] 曲物底板？1点（1449）、木錘1点（1450）、不明木製品3点（1451～1453）。1453は題箋？

[土製品] 羽口？1点（1501）、土壁？1点（1502）。

[植物遺体] 種子：モモ（1522）、トチノキ（1523）、オニグルミ（1524）。

時期 遺構の状態と出土遺物から、12世紀の井戸跡であると推測される。

S K 116井戸跡

遺構（第101図、写真図版85）

[位置・検出状況] G 2区。Ⅲ層で黄褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.58×1.36m、底部径1.14×1.00m、平面形は円形。深さ1.32m。

[埋土・堆積状況] 黄褐色土・黒褐色土・褐色土・黒色土で構成される。4層より下位がグライ化している。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物（第119・130・131図、写真図版101・111・112）

[出土状況] 埋土4層から下駄・容器などの遺物が出土している。

[中国産磁器] 白磁の壺1点（1229）

[木製品] 漆塗?の容器(1454)、下駄(1455)、編物(1456)。

[植物遺体] 種子:オニグルミ(1526)。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の井戸跡であると推測される。

S K 117土坑

遺構(第98図、写真図版85)

[位置・検出状況] G 3区。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.0×(0.4)m、底部径0.6×(0.26)m、平面形は円形基調。深さ0.20m。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 118土坑

遺構(第98図、写真図版85)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.20×0.81m、底部径0.65×0.38m、平面形は楕円形。深さ0.16m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物がなく、詳細は不明である。

S K 119土坑

遺構(第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黄褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外である。

[重複関係] P 1311・1312・1329・1310と重複している。S K 119土坑が柱穴に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径(2.20)×1.60m、底部径2.0×1.0m、平面形は楕円形と推定される。深さ0.20m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S K 120土坑

遺構(第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P 1308に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径2.14×1.39m、底部径1.99×1.26m、平面形は長方形。深さ0.21m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・灰色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と推測される。

S K 121土坑

遺構 (第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P 1319・1318、S Z 01土器埋設遺構と重複し、それらを切っている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径3.43×1.68m、底部径3.24×1.51m、平面形はやや不整な長方形。深さ0.11m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲している。壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物 (第120図、写真図版102)

[出土状況] 埋土から近世の陶器が出土した。また、重複するS Z 01土器埋設遺構に埋設された陶器片も埋土から出土している。

[陶磁器] 陶器の碗1点 (1301)。

時期 出土遺物と遺構の状態から近世以降と判断される。

S K 122土坑

遺構 (第102図、写真図版86)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] P 1255に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径 (2.15) ×1.20m、底部径 (2.00) ×0.8m、平面形は不整な楕円形。深さ0.16m。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦で、壁は緩く立ち上がる。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

S K 123土坑

遺構 (第103図、写真図版87)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.13×0.75m、底部径0.98×0.88m、平面形は長方形。深さ0.08m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

S K 124土坑

遺構（第103図、写真図版87）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外にかかる。

[重複関係] S K 121と重複し、S K 121に切られている。また、未精査だが、S K 124土坑に切られる土坑がある。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.9×（1.7）m、底部径1.3×（1.5）m、平面形は長方形基調と推定される。深さ0.25m。

[埋土・堆積状況] 垂角礫を多量に含む黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物（第122図、写真図版108）

[出土状況] 近世の磁器が出土している。

[陶磁器] 磁器の皿？ 1点（1317）。

時期 出土遺物と遺構の状態から、近世以降と判断される。

S K 125土坑

遺構（第103図、写真図版87）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] S D 126溝跡と重複する。P 1302・1304と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 規模は、開口部径（2.2）×1.5m、底部径（1.8）×1.0m、平面形は長方形基調と推定される。やや不整形である。深さ0.4m。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立して立ち上がる。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

S K 126土坑

遺構（第103図、写真図版87）

[位置・検出状況] G 4区。S D 127溝跡の底面Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出された。

[重複関係] S D 127溝跡に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.35×0.74m、底部径1.07×0.54m、平面形は楕円形。深さ0.65m。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層の礫層を掘り込んでつくられている。底面は平坦で、壁は直立ぎみに立ち上がる。

遺物（第120・122・125図、写真図版102・106・107）

[出土状況] 埋土から陶磁器類・石製品がまとめて出土している。

[陶磁器] 陶器：播鉢（1302）、磁器の碗3点（1318～1320）・皿2点（1321・1322）。

[石製品] 硯1点（1401）。

時期 出土遺物と遺構の状態から近世以降と判断される。

S K 127井戸跡

遺構（第104図、写真図版88）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] P 1337を切っている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.71×1.63m、底部径0.74×0.70m、平面形は円形。深さ0.77m。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾して立ち上がる。

遺物（第116・117・119図、写真図版99～101）

[出土状況] 埋土1・2層から、かわらけ、国産陶器が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ3点（1113～1115）

[国産陶器] 常滑窯産の甕1点（1206）・渥美窯産の甕1点（1217）。

時期 出土遺物と遺構の状態から12世紀の井戸跡と判断される。

S K 128土坑

遺構（第104図、写真図版88）

[位置・検出状況] G 4区。S D 127底面のⅢ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

[重複関係] S D 127溝跡に切られている。

[規模・平面形] 規模は、開口部径1.02×0.94m、底部径0.45×0.42m、平面形は円形。深さ0.53m。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層礫層を掘り込んでつくられている。底面は緩く湾曲し、壁は外傾する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降と判断される。

（5）溝 跡

溝状を呈する遺構で27条検出した。各区域で検出されているが、調査区の制約から遺構が調査区域外に伸びるものが多く、調査個所が部分に留まったものが多い。また、同一の溝跡を別々の調査区で調査している場合もあるが、調査時には調査の便を図って、それぞれに名称を付した。報告にあたっては、命名が異なる溝跡でも同一遺構の可能性がある場合は、その旨を記載することとした。

S D 101溝跡

遺構（第105図、写真図版89）

[位置・検出状況] B区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。南北両側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（1.56）m、幅1.12m、底面の幅0.85m、深さ0.38mである。南北に直線的に伸びる。S D 102溝跡と平行して走っている。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物（写真図版112）

[出土状況] 埋土から動物遺体が出土している。

[動物遺体] ウマの臼歯片1点（1513）。

1 検出遺構

時期 時期を判断できる出土遺物はなく、詳細は不明である。

S D102溝跡

遺構（第105図、写真図版89）

[位置・検出状況] B区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。南北両側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（1.58）m、幅0.56m、底面の幅0.40m、深さ0.25mである。南北に直線的に延びる。S D101溝跡と平行して走っている。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D103溝跡

遺構（第105図、写真図版89）

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（8.04）m、幅0.76m、底面の幅0.39m、深さ0.32mである。東西方向に直線的に伸びている。S D104溝跡と並行して走っている。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D104溝跡

遺構（第105図、写真図版89）

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。西側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（5.15）m、幅1.07m、底部の幅0.85m、深さ0.25mである。東西方向に直線的に伸びているようである。S D103溝跡に並行して走っている。溝跡は短軸方向に段差があり、2条の溝跡が並行しているようにも見えるが、ほとんど時間差なく、つくりかえられた溝跡の可能性もある。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物（第116・119図、写真図版99・101）

[出土状況] 埋土からNo.1～7の遺物が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ1点（1116）・手づくねかわらけ1点（1117）。

[国産陶器] 渥美窯産の甕2点（1218・1219）。

時期 遺構の状態と出土遺物から12世紀の溝跡であると考えられる。

S D105溝跡

遺構（第105図、写真図版89）

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（3.14）m、幅1.71m、底面の幅0.91m、深さ0.80mである。南北方向に延びるようであるが、南側の様子は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。自然の落ち込みであった可能性もある。

S D106溝跡

遺構（第106図、写真図版90）

[位置・検出状況] A区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ4.15m、幅0.99m、底面の幅0.44m、深さ0.46mである。東西方向に延びる溝跡のようである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。自然の落ち込みの可能性もある。

S D107溝跡

遺構（第106図、写真図版90）

[位置・検出状況] D区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（2.60）m、幅1.75m、底面の幅1.04m、深さ0.30mである。南側に向かって延びているが、全体の形状は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・赤灰色で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D108溝跡

遺構（第106図、写真図版90）

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（2.04）m、幅0.62m、底面の幅0.31m、深さ0.28mである。南側に向かって直線的に延びるようにみえるが、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

1 検出遺構

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D 109溝跡

遺構（第106図、写真図版91）

[位置・検出状況] C区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（0.76）m、幅0.42m、底面の幅0.26m、深さ0.28mである。確認できた範囲が部分的であるため、詳細は不明であるが、溝跡の可能性はある。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D 110溝跡

遺構（第107図、写真図版91）

[位置・検出状況] C区・F 3区に分かれて確認した。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。北側・東側で調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（8.8）m、幅1.15m、底面の幅0.91m、深さ0.14mである。北西から南東方向に向かって曲線的に延びている。全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D 111溝跡

遺構（第107図、写真図版91）

[位置・検出状況] E 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ4.61m、幅0.57m、底面の幅0.27m、深さ0.35mである。ほぼ東西方向に直線的に延びている。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D 112溝跡

遺構（第107図、写真図版92）

[位置・検出状況] E 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

調査条件の制約から、2回に分けて調査している。

[重複関係] N T Tの電柱の掘り方に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(6.51) m、幅0.78m、底面の幅0.29m、深さ0.40mである。南北方向に直線的に延びているが、全体の規模は不明である。南側に向かって低くなっている。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD113溝跡

遺構(第108図、写真図版92)

[位置・検出状況] E 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。南側が調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(3.34) m、幅0.67m、底面の幅0.60m、深さ0.10mである。南側に向かって低くなり、一部消滅しているため、全体の規模・形状は不明瞭である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD114溝跡

遺構(第108図、写真図版92)

[位置・検出状況] F 1区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ3.65m、幅1.10m、底面の幅0.49m、深さ0.69mである。ほぼ南北方向に長軸がある。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD115溝跡

遺構(第108図、写真図版93)

[位置・検出状況] F 2区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東西方向の調査区域外に続く。風倒木痕と重複しているため、平面形が明確に認識できない個所があった。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(4.20) m、幅1.12m、底面の幅0.51m、深さ0.40mである。東西方向に延びているようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

1 検出遺構

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD116溝跡

遺構（第108図、写真図版93）

[位置・検出状況] G 6区。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。大部分が調査区域外に続くため全体像は不明である。遺構の状態から溝跡の可能性があると判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（1.00）m、幅（0.58）m、底面の幅0.30m、深さ0.23mである。全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD117溝跡

遺構（第109図、写真図版93）

[位置・検出状況] G 5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。調査区域外に続く。

[重複関係] SD118・119溝跡と重複しているようだが、重複関係は判然とししない。

[規模・平面形] 開口部の長さ（5.44）m、幅1.39m、底面の幅1.25m、深さ0.18mである。東西方向に延びる溝跡のようであるが、全体の規模は不明である。平面形も歪んでおり、攪乱を受けている可能性がある。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。伴共関係は不明だが、溝内に杭跡が残る。

遺物 なし。

時期 近世以降の溝跡と推測される。

SD118溝跡

遺構（第109図、写真図版93）

[位置・検出状況] G 5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（2.04）m、幅0.45m、底面の幅0.32m、深さ0.09mである。東西方向に伸びているようであるが、西側が消滅しており、規模は明らかではない。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物（第119図、写真図版101）

[出土状況] 埋土から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 渥美窯産の甕1点（1220）。

時期 12世紀の遺物が出土しているが、時期の詳細は不明である。

SD119溝跡

遺構（第109図、写真図版93）

[位置・検出状況] G 5 区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側が調査区域外に続く。

[重複関係] SD117溝跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ（1.45）m、幅0.43m、底面の幅0.19m、深さ0.12mである。東西方向に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD120溝跡

遺構（第108図、写真図版93）

[位置・検出状況] G 2 区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側は調査区域外に続く。

[重複関係] なし

[規模・平面形] 開口部の長さ（5.00）m、幅0.38m、底面の幅0.15m、深さ0.17mである。検出した範囲では湾曲して、東側は途中で消滅する。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD121溝跡

遺構（第109図、写真図版94）

[位置・検出状況] G 2 区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側は調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ（2.16）m、幅0.25m、底面の幅0.20m、深さ0.11mである。東西方向に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

SD122溝跡

遺構（第110図、写真図版95）

[位置・検出状況] G 3 区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。西側は調査区域外に続く。

[重複関係] SD123溝跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ（16.4）m、幅1.40m、底面の幅0.80m、深さ1.14mである。周溝状に屈曲し、西側は調査区域外となる。西辺の長さは12mほどあるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。

1 検出遺構

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は平坦である。

[付属施設] 溝跡の内部にS B101建物跡がある。同時に存在していた可能性がある。

遺物 (第116・119図、写真図版99・101)

[出土状況] 埋土から、かわらけ・国産陶器が出土している。

[かわらけ] ロクロかわらけ小2点 (1118・1119)。

[国産陶器] 国産陶器の渥美窯産の甕1点 (1221)。

時期 出土遺物と遺構の状態から12世紀と判断される。

S D123溝跡

遺構 (第110図、写真図版95)

[位置・検出状況] G 3区。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。東西方向で調査区域外に続く。

[重複関係] S D122溝跡に切られている。重複する柱穴との関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ(4.23)m、幅2.10m、底面の幅1.23m、深さ0.46mである。S D122溝跡と接する箇所に壁の立ち上がりがあったことから、溝跡としたが、部分的な調査のため、定かでない部分がある。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面は緩く湾曲する。

遺物 (第119図、写真図版101)

[出土状況] 埋土から国産陶器が出土している。

[国産陶器] 渥美窯産の片口鉢1点 (1222)・甕1点 (1223)。

時期 出土遺物と遺構の状態から12世紀と判断される。

S D124溝跡

遺構 (第111図、写真図版94)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東側が調査区域外に続く。位置的にH区で検出されたS D23溝跡と一連の溝跡の可能性はある。

[重複関係] S D127溝跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.22)m、幅0.60m、底面の幅0.35m、深さ0.36mである。東西方向に延びる溝跡のようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から12世紀の溝跡と考えられる。

S D125溝跡

遺構 (第109図、写真図版94)

[位置・検出状況] G 5区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。東西方向で調査区域外に続く。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部の長さ(3.99)m、幅2.41m、底面の幅1.71m、深さ0.31mである。東西方向

に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗オリーブ色土・オリーブ黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 時期を判断できる出土遺物はないが、遺構の状態から近世以降の溝跡と判断される。

S D126溝跡

遺構 (第109図、写真図版94)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒褐色土の細長い広がりとして検出された。東側は調査区域外に続く。

[重複関係] S K125土坑と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 開口部の長さ(2.59)m、幅0.51m、底面の幅0.22m、深さ0.13mである。東西方向に延びるようであるが、全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾し、底面はほぼ平坦である。

遺物 なし。

時期 出土遺物はなく、時期の詳細は不明である。

S D127溝跡

遺構 (第111図、写真図版96)

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で黒色土の細長い広がりとして検出された。南北方向が調査区域外に続く。

[重複関係] S D124溝跡・S K126・128土坑を切っている。P1330～1335を切っている。

[規模・平面形] 開口部の長さ(17.04)m、幅3.39m、底面の幅0.87m、深さ0.67mである。ほぼ南北方向に伸びているが全体の規模は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでいる。壁は外傾する。底面は緩く湾曲する。

遺物 (第120～125図、写真図版102～107)

[出土状況] 埋土から近世・近代の陶磁器類21kg、金属製品、ガラス製品などが出土している。

[陶磁器] 陶器13点：土瓶の注口1点(1303)・土瓶の蓋1点(1304)・鉢2点(1305・1306)・播鉢9点(1307～1315)・碗1点(1316)。磁器34点：碗15点(1323～1337)・猪口1点(1338)・盃1点(1339)・碗2点(1340・1341)・湯呑1点(1342)・蓋3点(1343～1345)・皿11点(1346～1356)。

[金属製品] シャベル1点(1412)・寛永通寶1点(1413)・明治1銭銅貨1点(1414)。

[ガラス製品] コップ1点(1421)・瓶1点(1422)。

時期 出土遺物と遺構の状態から近世以降の溝跡と判断される。また、遺構の状態や出土遺物、位置関係から、I遺跡のS D24溝跡も連続する一連の溝跡と推測される。これらの溝跡は、近世の屋敷地を囲んでいた区画溝で、S D127溝跡は、その区画溝の東側の一部と推測される。

(6) 土器埋設遺構

土器埋設遺構は、G 4区から1基検出された。出土した陶器から12世紀の遺構と判断されるものである。常滑窯の甕が倒立で埋設されていた遺構であったと推測される。

S Z01土器埋設遺構

遺構（第104図、写真図版88）

[位置・検出状況] G 4区。Ⅲ層で陶磁器片を含む円形状の黒褐色土の広がりとして検出された。検出した時点でS K121土坑に切られていた。本遺構の陶器片はS K121土坑埋土にも含まれていた。

[重複関係] S K121土坑に切られている。

[掘り方の規模・平面形] 規模は、開口部径0.87×0.82m、底部径0.78×0.70m、平面形は円形で、深さ0.13m。上部はかなり削平されたものと推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土で構成される。

[壁・底面] 壁・底面はⅢ層を掘り込んでつくられている。底面はほぼ平坦で、壁は外傾する。

[土器の埋設方法と土器内部の様子] 陶器は口縁部を下にした状態で確認された。破片は胴部から底部もあり、本来は倒立で埋設されていた可能性がある。その場合、S Z01土器埋設遺構は、近世以降の遺構（S K121土坑やS D127溝跡など）構築の際、本来の掘り込み面より大幅に削平されたと判断される。埋設土器内部からは、埋土以外に混入物は確認できていない。

[所属施設] S B103建物跡の内部に位置するが関係は不明である。単独の遺構と考えておきたい。

遺物（第118図、写真図版100）

[出土状況] 掘り込み内に、口縁部を下にした陶器の甕片が出土した。

[国産陶器] 常滑窯の甕1点（1212a・b）。a・b同一個体である。器形の歪みが著しい。

時期 12世紀の遺構である。墓の可能性も考えられるが、性格については定かでない。

2 出土遺物

(1) 出土遺物の概要

南日詰小路口Ⅱ遺跡の出土遺物には、縄文時代の土器、石器、古代の土師器、須恵器、石製品、12世紀のかわらけ、国産陶器、中国産磁器、中世の磁器、近世・近代の陶磁器、石製品、金属製品、ガラス製品、木製品、土製品、動物遺体、植物遺体などがある。図版は遺物の種別ごとに作成し、出土地点別に作成した。また、出土地点別に異なる種類の遺物の出土状況を把握するため、別に出土地点別の集成図を作成した。以下、遺物の種別ごとに詳述する。

(2) 縄文時代の遺物

縄文土器 (第112図、写真図版97、第33表)

縄文土器は188.7 g 出土した。1001は深鉢の口縁部破片で、時期は縄文時代中期頃と推測される。

石器 (第112図、写真図版97、第34表)

石器は凹石2点、石鏃1点が出土した。凹石2点は、いずれも欠損品で、円礫・垂円礫を使用し、1002は両面、1003は片面に円錐状の窪みが形成されている。1004は先端部を欠損する有茎鏃である。時期の詳細は不明だが、縄文時代の石器と推測される。

(3) 古代の遺物

土師器・須恵器 (第113～115図、写真図版97・98、第35表)

土師器9,644.2 g、須恵器3,383.4 g が出土した。掲載した遺物は土師器12点、須恵器7点である。主な出土地点は古代の竪穴住居跡 S I 101竪穴住居跡 (1011・1023)・S I 103竪穴住居跡 (1012～1022・1024～1027) である。いずれも土師器・須恵器の組み合わせである。S I 103竪穴住居跡は住居跡全体の1/3程度の範囲の精査であったが、カマド付近を中心とする範囲から、まとまって遺物が出土した。掲載した遺物は、土師器11点・須恵器4点である。1021はカマドの支脚に用いられた小型の甕である。1024は底部が丸みを帯びる大型の甕の底部片である。1025・1026は坏である。1027の須恵器は蓋と推測される破片である。

石製品 (第115図、写真図版98、第36表)

1030は、表採資料だが、古代の石製品である紡錘車と推測されることから掲載した。

(4) 12世紀の遺物

かわらけ (第116図、写真図版99、第37表)

かわらけは、22,198.7 g 出土した。掲載したのは22点 (1294.8 g) である。内訳はロクロかわらけの大小・手づくねかわらけの大小がある。ロクロかわらけは、全体に赤みがかかる色調で胎土に砂礫が混じる特徴がある。手づくねかわらけは、ロクロかわらけと比べると、胎土に比較的混入物が少なく、緻密で、薄手につくられている。手づくねかわらけは、口縁部を面取りしているものと面取りしていないものがあり、調整は2段なると1段なとがある。S K 106井戸跡からは手づくねかわらけ、S K 115・127井戸跡からは、器高の高い碗形のかわらけが出土している。表中の法量は実測図上での計測値 (口径・底径は推定値、器高は残存値) で、重量は残存値を示した。

国産陶器 (第117～119図、写真図版99～101、第38表)

国産陶器は14,879.8 g 出土している。すべて破片である。内訳は常滑窯産・渥美窯産・須恵器系である。

常滑窯産陶器は12,609.3 g 出土した。12点（1201～1212）を掲載した。S K 107井戸跡からは甕と片口鉢が出土した。1204・1205は同一個体の可能性があるが、片口鉢の内外面には黒色の遺物が付着し、特に内面には固形化して付着している。漆の可能性がある。すりこぎで漆を加工した容器であったと推測される。1206は底部片である。1207は、三筋文壺の破片と思われる。1212は、S Z 101土器埋設遺構出土で、倒立で埋設されていたと推測される大型の甕である。口縁部から底部まで歪みが非常に大きい。外面には押印文が施され、内面に輪積痕がある。渥美窯産陶器は2,234.6 g 出土した。14点（1213～1226）掲載した。常滑窯産陶器に比べて比較的胎土が均一で、色調が灰白色である。器種には甕と片口鉢がある。須恵器系陶器は35.9 g 出土した。2点（1227・1228）すべて掲載した。

中国産磁器（第119図、写真図版101、第39表）

中国産磁器は130.4 g 出土した。すべて破片で、4点すべて掲載した。器種は壺（Ⅲ系）と碗（Ⅰ～Ⅴ）・皿（Ⅴ・Ⅵ）類である。1230は壺類の底部片である。1232は青磁の碗の破片で、蓮弁文が描かれている。

（5）中世の遺物

中世の磁器は18.1 g 出土した。出土した1点を掲載した（第119図、写真図版101、第40表）。1251は16世紀の染付の破片である。

（6）近世・近代の遺物

陶器・磁器がある。総量24,924.1 g が出土した。うち59点（7,860.9 g）を掲載した（第120～125図、写真図版102～106、第41表）。限られた時間のなかでの図化作業であったため、内容を十分に提示できていない可能性がある。主にS K 121・126土坑・S D 127溝跡からの出土したもので、いずれも近世の屋敷地に伴う遺構である。S D 127溝跡から出土した陶磁器類は総量約21kgである。1301～1316は陶器である。1301は相馬産の腰折碗。1303は注口、1304は蓋である。1307～1315は播鉢で、卸目の状態から1315は古手のものと判断される。S K 126土坑、S D 127溝跡出土の陶磁器類をみると、時期差はほとんどないようである。器種は、碗・碗蓋・盃・湯呑・皿などがある。碗・皿ともに掲載したものの他に同一のものが2～5個体確認できたものがあり、複数からなるセットで購入・使用されたことがわかる。1322は壽文皿である。1343の蓋は1324の碗とセットである。1344の蓋は1327の碗とセットである。これらの陶磁器類の時期は17世紀代から19世紀後半に属し、特に19世紀後半の明治時代に属するものが多い傾向がある。

（7）石製品

石製品は1点（487.6 g）出土した（第125図、写真図版107、第42表）。1401は近世の屋敷地に伴うS K 126土坑から出土した頁岩製の硯で、縁を一部欠くがほぼ完形品である。裏面に「明石組第三部大沼喜悦」の刻線がある。大沼喜悦氏は、大正から昭和初期に生存した大沼家の祖先であるとの聞き取りに元づけば、20世紀前半に使用された硯ではなかったかと判断される。

（8）金属製品

金属製品は4点出土した。鉄製品2点・銭貨2点である（第125図、写真図版107、第43表）。1411は、S K 107井戸跡の検出時にその平面形とその周囲を跨いで出土したものである。よってS K 107井戸跡より新しく、時期は近世以降の可能性がある。1412はS D 127溝跡出土で、土砂・炭などをすくう際に使用したスコップと推測される。柄を差し込んだと推測される部分には留金具がある。1413は寛永

通寶（新寛永、初鑄年1697年）。1414は不鮮明ながら龍1銭銅貨（明治6年（1873）～明治21年（1888）鑄造）と推測される。

（9）ガラス製品

ガラス製品はコップと瓶各1点である（第125図、写真図版107、第44表）。ともにS D127溝跡からの出土である。1421のコップは透明ガラス製である。1422の瓶の口縁部片でコルク栓と判断される。その他に不掲載としたが、ランプの破片と思われる白色ガラス片が出土している。

（10）木製品

木製品は27点出土している（第126～131図、写真図版108～111、第45表）。出土した遺構から12世紀に属するものと近世以降に属するものに大別される。1431・1432は、S K105井戸跡出土の井戸枠の縦板で一部を掲載した。縦板の厚さは5cm前後である。樹種はアスナロである。1433～1436は横棧で、縦板の内側に凸部と凹部を組み合わせで方形に組まれていた。樹種はクリである。S K107井戸跡から出土した木製品は多く、9点（1439～1447）掲載した。1439～1441の漆器椀は、内外面とも黒漆である。部材はケヤキである。1443は折敷の破片か。樹種はアスナロである。1445～1447は部材と思われ、1445は中央付近に方形の穿があり、一端が炭化している。1450は木錘と思われるが、表面がかなり風化している。樹種はクリである。1453は用途不明の木製品で一部が炭化している。題箋の可能性はあるか。樹種はアスナロである。S K116からは容器と下駄・編物片が出土した。1454は挽き物の漆容器と思われ、内外面に漆と思われる痕跡がある。樹種はケヤキである。1455は連歯の下駄で樹種はケヤキである。1456は竹製の編物片と推測される。外側に藁状の繊維が付着している。1457は連歯の下駄で樹種はクリである。樹種の同定結果については、第Ⅶ章第1節を参照されたい。

（11）土製品

土製品は、写真のみの掲載で2点（94.9g）を掲載した（写真図版112、第46表）。S K115井戸跡からの出土である。1501は羽口、1502は土壁の可能性はあるが、小破片のため詳細は不明である。

（12）動物遺体

動物遺体は72.1g出土した（写真図版112、第47表）。確認できた種別は、シカ・ウマである。S I103竪穴住居跡のカマド付近から焼骨片が出土している。住居使用時に住人が食した動物の食べ滓と推測される。S D101溝跡からはウマの臼歯片が出土している。時期は不明である。

（13）植物遺体

植物遺体は種子83.6gが出土した。全点の観察表を掲載し、6点（1521～1526）を写真掲載した（写真図版112、第48表）。5点について鑑定を行った結果、モモ・トチノキ・オニグルミと同定された。S K115井戸跡からはオニグルミ38.8g・モモ6.8g・トチノキ4.1gなど、種子が比較的多く出土した。

炭化材は209.6g出土した。6点（試料No.496・498・504・507・511・701）について放射性炭素年代測定を行った。分析の結果では、第Ⅶ章第3節を参照されたい。

第23表 竪穴住居跡観察表

遺構名	区域	検出面	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)	規模(m)	壁高(m)	カマド位置	煙道方位 (N・x°・E)	付属施設	埋土の堆積状況(上位→下位)	重複関係 (旧<新)	時期	備考	図版No.	写真No.
SI101	C	III	-51996.47	28682.47	92.50	-	-	-	-	なし	明赤褐色土・黒褐色土・暗赤褐色土(カマド煙道)	SI103<SK104	平安	カマド煙道部のみ	83	73
SI102	C	III	-52000.33	28689.29	92.34	-	-	-	-	なし	極暗褐色土(カマド煙道)	SI102<SK104	平安	カマド煙道部のみ	83	73
SI103	G2	III	-51888.37	28814.17	92.45	(6.6)	0.24	東壁	53	P1～P7・周溝	暗褐色土・黒色土	SI103<P1198・ I199	平安	西側調査区外	84・85	74・75

(残存値)

SI103ピット

遺構名	区域	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)	開口部長軸(m)	開口部短軸(m)	底部長軸(m)	底部短軸(m)	比高差(m)	備考
SI103-P1	G2	-51890.17	28814.07	91.67	0.42	0.34	0.18	0.13	0.63	
SI103-P2	G2	-51891.23	28814.67	92.16	0.21	0.20	0.13	0.11	0.17	
SI103-P3	G2	-51891.04	28815.35	92.24	0.22	0.21	0.12	0.11	0.19	
SI103-P4	G2	-51889.25	28814.52	92.13	0.24	0.20	0.11	0.08	0.18	
SI103-P5	G2	-51891.85	28813.98	92.13	1.00	(0.50)	0.70	(0.45)	0.26	調査区外
SI103-P6	G2	-51889.49	28815.02	92.13	1.06	0.85	0.95	0.74	0.21	
SI103-P7	G2	-51888.92	28814.04	92.23	0.24	0.17	0.14	0.08	0.11	

(残存値)

第24表 建物跡・柱列跡観察表

遺構名	性格	区域	検出面	X座標(m)	Y座標(m)	長軸方向 (N・x°・E)	長軸(m)	短軸(m)	柱穴(配列順)	重複関係等 (旧<新、><は不明)	時期	備考	図版No.	写真No.
SB101	掘立柱建物跡	G3	III	-51960.275	28838.896	-1	(4.78)	(2.15)	P1217-P1216-P1205-P1206-P1207-P1208		12世紀	SD122内部	95	76
SB102	掘立柱建物跡	G4	III	-52000.222	28851.581	-2	(7.18)	(2.53)	P1346-P1330-P1331-P1332-P1333-P1334	SB102<SD127	12世紀		95	76
SB103	掘立柱建物跡	G4	III	-52011.898	28854.739	-1	(7.54)	2.32	P1337-P1320-P1319-P1318-P1321-P1322-P1323	SB103<SD127・<SK127 SB103><SZ101	12世紀		95	76
SB104	掘立柱建物跡	G4	III	-52024.932	28859.502	6	(5.81)	3.23	P1316-P1256-P1315-P1252-P1249-P1248-P1243-P1236-P1235		近世以降		96	77
SB105	柱列跡	G4	III	-52017.988	28857.004	7	(4.01)	-	P1317-P1226-P1229		近世以降		96	77
SB106	掘立柱建物跡	G4	III	-52019.504	28854.900	5	(3.86)	-	P1221-P1223-P1224		近世以降		96	77
SB107	柱列跡	G4	III	-52031.533	28862.097	3	(3.60)	-	P1257-P1259-P1260		近世以降		96	77
SB108	柱列跡	G4	III	-52032.604	28859.780	4	(4.88)	-	P1308-P1264-P1267-P1269		近世以降		96	77
SB109	柱列跡	G4	III	-52036.896	28861.914	85	(3.55)	-	P1271-P1274-P1277		近世以降		96	77
SB110	掘立柱建物跡	G4	III	-52040.467	28862.663	90	(1.89)	(0.75)	P1287-P1286-P1285-P1284-P1282-P1288		近世以降		97	77
SB111	柱列跡	G4	III	-52043.818	28865.520	0	(3.57)	-	P1307-P1306-P1305-P1292		不明		97	77
SB112	掘立柱建物跡	G4	III	-52054.107	28868.990	11	(1.61)	(1.43)	P1298-P1299-P1300-P1295	SB112><SD126	近世以降		97	77
SB113	掘立柱建物跡	G6	III	-52098.041	28884.261	74	(3.10)	(1.79)	P1127-P1128-P1129-P1132-P1131-P1130		近世以降		97	77

(残存値)

第25表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考	建物
P1001	B	Ⅲ	-51991.09	28826.21	92.27	0.31	0.29	0.13	0.11	0.19			
P1002	B	Ⅲ	-51989.28	28820.05	92.18	0.39	0.32	0.14	0.12	0.26			
P1003	D	Ⅲ	-52049.95	28835.26	92.20	(0.20)	0.25	0.10	0.05	0.15		調査区外	
P1004	D	Ⅲ	-52046.64	28828.57	92.23	0.29	0.20	0.11	0.09	0.09			
P1005	D	Ⅲ	-52044.41	28827.43	92.22	0.22	0.18	0.12	0.08	0.07			
P1006	D	Ⅲ	-52044.51	28827.18	92.10	0.18	0.15	0.08	0.06	0.16			
P1007	D	Ⅲ	-52044.01	28826.65	92.18	0.20	(0.10)	-	-	0.10		調査区外	
P1008	D	Ⅲ	-52044.77	28823.95	92.16	0.32	0.26	0.19	0.12	0.13			
P1009	D	Ⅲ	-52045.31	28822.36	91.97	0.40	(0.30)	0.08	0.06	0.34		調査区外	
P1010	D	Ⅲ	-52044.19	28820.33	92.18	0.36	0.31	0.17	0.14	0.10			
P1011	A	Ⅲ	-51866.26	28709.06	91.76	0.36	0.32	0.29	0.19	0.70			
P1012	A	Ⅲ	-51866.44	28710.23	92.27	0.41	0.30	0.29	0.14	0.26			
P1013	A	Ⅲ	-51865.37	28705.35	91.96	0.70	0.53	0.19	0.13	0.32			
P1014	A	Ⅲ	-51862.84	28699.06	92.03	0.24	0.22	0.20	0.16	0.21			
P1015	A	Ⅲ	-51893.94	28793.55	92.36	0.60	(0.45)	0.35	(0.30)	0.16		調査区外	
P1016	A	Ⅲ	-51894.06	28791.77	92.38	0.70	0.60	0.50	(0.40)	0.19	P1016<トレンチ		
P1017	A	Ⅲ	-51893.15	28790.95	92.40	0.41	0.38	0.24	0.18	0.15			
P1018	A	Ⅲ	-51889.58	28777.48	92.34	0.42	0.25	0.19	0.14	0.19			
P1019	A	Ⅲ	-51889.48	28776.92	92.44	0.32	0.20	0.21	0.10	0.11			
P1020	A	Ⅲ	-51889.41	28776.07	92.25	0.30	0.23	0.13	0.10	0.31			
P1021	A	Ⅲ	-51889.69	28775.14	92.46	0.30	0.28	0.25	0.16	0.17			
P1022	A	Ⅲ	-51888.01	28770.04	92.22	0.84	0.52	0.70	0.32	0.30			
P1023	C	Ⅲ	-51994.14	28676.41	91.94	0.19	0.17	0.08	0.02	0.48			
P1024	C	Ⅲ	-51993.93	28676.77	92.26	0.23	0.21	0.12	0.12	0.20			
P1025	C	Ⅲ	-51993.58	28672.86	92.11	0.30	0.30	0.10	0.10	0.35	P1026<P1025		
P1026	C	Ⅲ	-51993.67	28672.95	92.09	0.40	0.35	0.20	(0.10)	0.35	P1026<P1025		
P1027	C	Ⅲ	-51993.70	28673.85	92.06	0.42	0.36	0.17	0.16	0.36			
P1028	C	Ⅲ	-51994.32	28674.15	92.14	0.26	0.20	0.17	0.13	0.28			
P1029	C	Ⅲ	-51993.88	28675.02	92.12	0.31	0.22	0.13	0.09	0.31			
P1030	C	Ⅲ	-51993.85	28676.23	92.06	0.40	0.35	0.17	0.15	0.38	P1030><P1031		
P1031	C	Ⅲ	-51993.58	28676.25	92.09	(0.45)	(0.30)	0.24	0.21	0.37	P1030><P1031		
P1032	C	Ⅲ	-51994.16	28676.61	92.14	0.33	0.26	0.20	0.12	0.28			
P1033	C	Ⅲ	-51994.33	28676.90	92.19	0.34	0.29	0.16	0.11	0.27			
P1034	C	Ⅲ	-51994.02	28678.85	92.13	0.50	0.35	0.30	0.23	0.28	P1034><P1035		
P1035	C	Ⅲ	-51994.24	28679.11	91.99	(0.45)	(0.30)	0.22	0.14	0.39	P1034><P1035		
P1036	C	Ⅲ	-51994.62	28678.87	92.22	0.21	0.19	0.16	0.14	0.25			
P1037	C	Ⅲ	-51995.04	28678.90	92.02	0.48	0.41	0.31	0.22	0.42			
P1038	C	Ⅲ	-51995.45	28678.74	92.25	0.31	0.25	0.13	0.09	0.19			
P1039	C	Ⅲ	-51995.16	28676.71	92.15	0.40	0.30	0.18	0.14	0.33	P1039><P1040		
P1040	C	Ⅲ	-51995.02	28676.58	92.32	0.50	0.30	0.23	0.15	0.27	P1040><P1039	底面に礫	
P1041	C	Ⅲ	-51995.15	28682.26	91.94	0.34	0.30	0.17	0.15	0.44			
P1042	C	Ⅲ	-51995.87	28682.69	92.05	0.38	0.37	0.18	0.14	0.34			
P1043	C	Ⅲ	-51996.08	28683.47	91.97	0.55	0.51	0.23	0.20	0.41			
P1044	C	Ⅲ	-51997.24	28683.78	92.43	(0.25)	0.15	0.15	0.10	0.10	P1044<P1045		
P1045	C	Ⅲ	-51997.04	28683.61	92.18	0.44	0.37	0.15	0.12	0.35	P1044<P1045		
P1046	C	Ⅲ	-51997.58	28684.44	92.42	0.23	0.21	0.15	0.11	0.13			
P1047	C	Ⅲ	-51998.16	28686.34	92.08	0.41	0.41	0.22	0.13	0.44			
P1048	C	Ⅲ	-51996.89	28686.21	92.36	(0.20)	0.20	(0.10)	0.10	0.10	P1048<P1049		
P1049	C	Ⅲ	-51996.68	28686.17	92.26	0.35	0.33	0.20	0.17	0.24	P1048<P1049		
P1050	C	Ⅲ	-51997.44	28687.39	92.36	0.21	0.21	0.13	0.12	0.16			
P1051	C	Ⅲ	-51997.73	28687.79	92.05	0.20	0.19	0.14	0.10	0.47			
P1052	C	Ⅲ	-51998.95	28688.39	92.27	0.48	0.37	0.31	0.24	0.26			
P1053	C	Ⅲ	-51998.71	28689.02	92.05	0.41	0.38	0.16	0.12	0.46			
P1054	C	Ⅲ	-51999.06	28689.34	92.14	0.34	0.30	0.20	0.18	0.43			
P1055	C	Ⅲ	-51999.52	28692.62	92.29	0.36	0.25	0.24	0.13	0.20			
P1056	C	Ⅲ	-51999.08	28693.47	92.28	0.30	0.25	0.23	0.16	0.22			
P1057	C	Ⅲ	-52000.74	28694.44	92.26	0.32	0.23	0.17	0.14	0.24			
P1058	C	Ⅲ	-52000.87	28693.84	92.18	0.31	0.29	0.15	0.10	0.32			
P1059	D	Ⅲ	-52036.12	28796.68	91.38	0.67	0.43	0.12	0.08	0.44			
P1060	D	Ⅲ	-52034.89	28797.98	91.43	0.43	0.31	0.24	0.21	0.28			
P1061	D	Ⅲ	-52034.05	28795.74	91.48	0.35	0.27	0.20	0.15	0.21			
P1062	C	Ⅲ	-51996.39	28681.25	92.28	0.27	0.22	0.20	0.11	0.11			
P1063	C	Ⅲ	-51996.08	28681.44	92.18	0.23	0.20	0.17	0.12	0.18			
P1064	C	Ⅲ	-51995.88	28681.81	92.09	0.41	0.39	0.31	0.18	0.27			
P1065	C	Ⅲ	-51996.09	28682.20	92.01	0.41	0.35	0.22	0.18	0.37			
P1066	C	Ⅲ	-51996.92	28682.62	92.36	0.25	0.16	0.15	0.12	0.06			
P1067	C	Ⅲ	-51998.15	28683.34	92.15	0.52	0.46	0.38	0.25	0.56			
P1068	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P1069	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P1070	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番
P1071	E2	Ⅲ	-51897.62	28803.44	92.39	0.26	0.25	0.14	0.12	0.18			
P1072	E2	Ⅲ	-51898.51	28804.25	92.36	0.28	0.22	0.17	0.11	0.20			

第25表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考	建物
P1073	E2	Ⅲ	-51897.57	28804.74	92.26	(0.30)	(0.20)	0.17	0.15	0.28	P1073><P1074		
P1074	E2	Ⅲ	-51897.33	28804.72	92.17	(0.30)	(0.30)	0.16	0.11	0.34	P1074><P1073		
P1075	E2	Ⅲ	-51896.75	28804.81	92.23	0.27	0.24	0.15	0.08	0.25			
P1076	E2	Ⅲ	-51898.52	28805.92	92.30	0.25	0.20	0.14	0.10	0.12			
P1077	E2	Ⅲ	-51896.78	28806.70	92.29	(0.35)	(0.30)	0.16	0.14	0.17	P1077><P1078		
P1078	E2	Ⅲ	-51896.59	28806.59	92.30	(0.30)	(0.30)	0.19	0.16	0.18	P1078><P1077		
P1079	E2	Ⅲ	-51895.86	28807.28	92.07	0.40	0.34	0.16	0.14	0.30			
P1080	E2	Ⅲ	-51896.69	28807.91	92.34	0.24	0.23	0.14	0.10	0.12			
P1081	E2	Ⅲ	-51895.85	28808.46	91.95	0.30	0.28	0.13	0.11	0.31			
P1082	E2	Ⅲ	-51896.58	28810.09	92.20	0.29	0.23	0.10	0.08	0.23			
P1083	E2	Ⅲ	-51895.86	28810.42	92.19	0.25	0.22	0.13	0.10	0.18			
P1084	E2	Ⅲ	-51898.30	28808.51	92.20	0.40	(0.30)	0.13	0.11	0.31	P1084><P1085		
P1085	E2	Ⅲ	-51898.22	28808.25	92.40	0.35	(0.30)	0.32	0.21	0.14	P1085><P1084		
P1086	E2	Ⅲ	-51894.34	28813.02	92.17	0.26	0.21	0.18	0.11	0.20			
P1087	E2	Ⅲ	-51899.51	28810.69	92.17	0.65	0.55	0.37	0.36	0.32			
P1088	E2	Ⅲ	-51894.73	28812.17	92.23	0.22	0.19	0.11	0.10	0.12			
P1089	E2	Ⅲ	-51896.22	28814.18	92.10	0.34	0.30	0.20	0.17	0.19			
P1090	E2	Ⅲ	-51897.08	28814.46	91.87	0.44	0.29	0.15	0.14	0.42			
P1091	E2	Ⅲ	-51896.40	28811.52	92.25	0.27	0.26	0.13	0.11	0.26			
P1092	E2	Ⅲ	-51896.15	28804.93	-	0.65	0.20	-	-	-		調査区外 検出のみ	
P1093	E4	Ⅲ	-51897.95	28793.83	92.34	0.46	0.43	0.18	0.13	0.25			
P1094	E4	Ⅲ	-51899.89	28792.55	92.37	0.27	0.21	0.09	0.06	0.24			
P1095	E4	Ⅲ	-51898.68	28791.22	92.27	0.35	0.32	0.24	0.18	0.27			
P1096	E4	Ⅲ	-51898.37	28792.34	92.33	0.30	0.24	0.09	0.08	0.29			
P1097	E4	Ⅲ	-51898.05	28791.94	92.32	0.43	0.39	0.21	0.17	0.30			
P1098	E4	Ⅲ	-51896.71	28791.01	92.31	0.39	0.36	0.16	0.14	0.27		調査区外	
P1099	E4	Ⅲ	-51897.25	28790.88	92.34	0.43	0.36	0.19	0.09	0.25			
P1100	E4	Ⅲ	-51898.07	28790.68	92.38	0.39	0.33	0.15	0.11	0.23			
P1101	E1	Ⅲ	-51894.15	28780.38	91.99	0.63	0.59	0.42	0.28	0.58			
P1102	E1	Ⅲ	-51894.50	28776.16	92.52	0.67	0.61	0.43	0.38	0.08			
P1103	E3	Ⅲ	-51901.34	28802.96	92.29	0.28	0.24	0.20	0.10	0.26			
P1104	E3	Ⅲ	-51901.27	28802.12	92.28	0.34	0.31	0.17	0.11	0.24			
P1105	E3	Ⅲ	-51901.46	28801.87	92.26	0.30	0.23	0.20	0.14	0.27			
P1106	G6	Ⅲ	-52127.51	28893.32	91.87	0.25	0.22	0.13	0.08	0.29			
P1107	G6	Ⅲ	-52125.61	28895.04	91.97	(0.20)	(0.20)	0.12	0.08	0.15		調査区外	
P1108	G6	Ⅲ	-52125.15	28894.04	91.88	0.22	0.21	0.10	0.07	0.27			
P1109	G6	Ⅲ	-52125.45	28892.54	91.75	0.29	0.20	0.09	0.07	0.41			
P1110	G6	Ⅲ	-52124.05	28893.56	91.95	0.26	0.18	0.10	0.07	0.22	P1111<P1110		
P1111	G6	Ⅲ	-52124.35	28893.33	91.84	0.55	0.30	0.31	0.12	0.33	P1111<P1110		
P1112	G6	Ⅲ	-52122.62	28892.79	91.91	0.25	0.19	0.10	0.04	0.25			
P1113	G6	Ⅲ	-52121.17	28892.36	91.94	0.26	0.21	0.12	0.11	0.23			
P1114	G6	Ⅲ	-52121.80	28893.25	92.00	0.22	0.20	0.13	0.10	0.14			
P1115	G6	Ⅲ	-52120.08	28892.69	91.94	0.30	0.24	0.14	0.11	0.22			
P1116	G6	Ⅲ	-52120.65	28891.54	92.05	0.23	0.20	0.11	0.11	0.13			
P1117	G6	Ⅲ	-52119.92	28893.25	91.99	0.15	(0.10)	-	-	0.14		調査区外	
P1118	G6	Ⅲ	-52118.65	28889.01	91.91	0.21	0.19	0.11	0.08	0.19			
P1119	G6	Ⅲ	-52116.65	28890.55	92.00	0.24	0.21	0.14	0.12	0.12			
P1120	G6	Ⅲ	-52115.73	28888.67	91.77	0.57	0.33	0.16	0.08	0.33			
P1121	G6	Ⅲ	-52113.83	28889.77	92.04	0.19	0.16	0.13	0.11	0.09			
P1122	G6	Ⅲ	-52112.15	28888.16	91.73	0.47	0.39	0.14	0.10	0.38			
P1123	G6	Ⅲ	-52110.46	28888.97	91.80	0.30	0.26	0.11	0.07	0.26			
P1124	G6	Ⅲ	-52124.31	28891.46	91.99	0.26	0.25	0.14	0.11	0.18	P1110<P1124		
P1125	G6	Ⅲ	-52106.40	28888.39	91.99	0.57	0.46	0.44	0.28	0.13			
P1126	G6	Ⅲ	-52106.89	28884.97	91.72	0.45	(0.25)	-	-	0.46		調査区外	
P1127	G6	Ⅲ	-52098.58	28885.93	92.00	0.21	0.13	0.12	0.07	0.16			SB113
P1128	G6	Ⅲ	-52099.00	28884.53	91.92	0.22	0.21	0.15	0.13	0.16			SB113
P1129	G6	Ⅲ	-52099.40	28882.83	91.96	0.23	0.20	0.15	0.08	0.13			SB113
P1130	G6	Ⅲ	-52096.77	28885.46	91.96	0.23	0.18	0.17	0.13	0.27			SB113
P1131	G6	Ⅲ	-52097.26	28884.26	91.90	0.17	0.16	0.12	0.10	0.24			SB113
P1132	G6	Ⅲ	-52097.70	28882.51	91.99	0.16	0.12	0.08	0.05	0.10			SB113
P1133	G6	Ⅲ	-52096.65	28883.14	91.86	0.21	0.14	0.07	0.04	0.27			
P1134	G6	Ⅲ	-52100.36	28883.10	91.96	0.23	0.20	0.13	0.11	0.11			
P1135	G6	Ⅲ	-52126.15	28894.98	91.90	0.20	0.19	0.12	0.06	0.25			
P1136	G6	Ⅲ	-52126.23	28894.04	91.95	0.31	0.25	0.17	0.11	0.23			
P1137	G6	Ⅲ	-52123.25	28891.40	91.81	0.30	0.19	0.14	0.12	0.34			
P1138	G5	Ⅲ	-52081.70	28877.19	91.99	0.22	0.21	0.08	0.06	0.14			
P1139	G5	Ⅲ	-52078.78	28877.38	91.93	0.24	0.22	0.10	0.07	0.29			
P1140	G5	Ⅲ	-52078.51	28876.50	92.03	0.18	0.17	0.10	0.08	0.15			
P1141	E5	Ⅲ	-51900.29	28787.69	92.21	0.35	0.31	0.16	0.11	0.25			
P1142	E5	Ⅲ	-51899.62	28787.41	92.20	0.29	0.25	0.13	0.10	0.20			
P1143	E5	Ⅲ	-51898.76	28787.30	92.03	0.28	0.25	0.20	0.15	0.37			

第25表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考	建物
P1144	E5	Ⅲ	-51899.36	28788.26	92.30	0.41	0.32	0.25	0.20	0.16			
P1145	E5	Ⅲ	-51899.01	28788.71	92.30	0.43	0.25	0.18	0.12	0.18			
P1146	G2	Ⅲ	-51882.31	28812.87	92.17	0.27	0.23	0.09	0.05	0.23			
P1147	G2	Ⅲ	-51885.39	28813.66	92.05	0.40	0.33	0.09	0.08	0.38			
P1148	G2	Ⅲ	-51882.11	28811.09	92.22	0.28	0.20	0.14	0.11	0.17			
P1149	G2	Ⅲ	-51883.49	28813.06	91.97	0.37	0.33	0.12	0.12	0.41			
P1150	G2	Ⅲ	-51883.62	28813.39	92.09	0.28	0.26	0.12	0.10	0.30			
P1151	G2	Ⅲ	-51879.53	28813.13	92.20	0.31	0.28	0.11	0.09	0.23			
P1152	G2	Ⅲ	-51882.50	28813.81	92.26	0.24	0.20	0.14	0.12	0.11			
P1153	G2	Ⅲ	-51882.08	28814.61	92.27	0.21	0.21	0.12	0.08	0.14			
P1154	G2	Ⅲ	-51882.87	28815.52	92.07	0.38	0.31	0.11	0.10	0.35			
P1155	G2	Ⅲ	-51883.43	28815.63	91.98	0.27	0.25	0.12	0.11	0.45			
P1156	G2	Ⅲ	-51884.29	28816.07	92.32	(0.20)	0.20	0.12	0.05	0.16		調査区外	
P1157	G2	Ⅲ	-51885.26	28816.36	92.16	0.50	(0.50)	0.30	0.10	0.28		調査区外	
P1158	G2	Ⅲ	-51885.88	28816.55	92.25	0.40	(0.30)	0.14	0.12	0.23		調査区外	
P1159	G2	Ⅲ	-51884.96	28814.76	92.15	0.29	0.29	0.11	0.09	0.27			
P1160	G2	Ⅲ	-51885.93	28814.69	92.35	0.28	0.19	0.16	0.11	0.08			
P1161	G2	Ⅲ	-51886.44	28816.50	92.23	0.32	0.30	0.18	0.09	0.25			
P1162	G2	Ⅲ	-51887.77	28816.59	92.13	0.27	0.24	0.10	0.09	0.33			
P1163	G2	Ⅲ	-51888.24	28815.62	91.92	0.35	0.30	0.10	0.09	0.53			
P1164	G2	Ⅲ	-51888.46	28815.33	92.20	0.24	0.17	0.06	0.04	0.23			
P1165	G2	Ⅲ	-51888.61	28815.13	92.22	0.24	0.22	0.15	0.11	0.22			
P1166	G2	Ⅲ	-51888.90	28815.80	91.89	0.50	0.38	0.17	0.13	0.56			
P1167	G2	Ⅲ	-51889.25	28816.37	92.35	0.26	0.19	0.16	0.13	0.11			
P1168	G2	Ⅲ	-51889.08	28817.19	92.11	0.33	0.28	0.12	0.10	0.34			
P1169	G2	Ⅲ	-51888.82	28817.64	92.16	0.45	(0.20)	0.11	0.08	0.29		調査区外	
P1170	G2	Ⅲ	-51890.56	28817.46	92.07	0.28	0.23	0.12	0.10	0.37			
P1171	G2	Ⅲ	-51892.47	28814.10	92.23	0.24	0.20	0.08	0.08	0.19			
P1172	G2	Ⅲ	-51892.21	28814.39	92.10	0.23	0.21	0.12	0.08	0.33			
P1173	G2	Ⅲ	-51891.78	28815.35	92.22	0.20	0.19	0.06	0.06	0.22			
P1174	G2	Ⅲ	-51892.31	28817.03	92.32	0.27	0.23	0.18	0.16	0.15			
P1175	G2	Ⅲ	-51893.37	28816.05	92.13	0.35	0.34	0.15	0.13	0.33			
P1176	G2	Ⅲ	-51893.06	28817.73	92.10	0.38	0.36	0.15	0.12	0.36			
P1177	G2	Ⅲ	-51880.04	28812.22	92.06	0.25	0.24	0.11	0.08	0.34			
P1178	G2	Ⅲ	-51879.04	28810.47	92.08	0.49	0.39	0.11	0.09	0.28			
P1179	G2	Ⅲ	-51878.65	28812.26	91.92	0.42	0.34	0.18	0.10	0.51			
P1180	G2	Ⅲ	-51879.08	28810.89	92.27	0.20	0.19	0.11	0.09	0.08			
P1181	G2	Ⅲ	-51878.67	28812.92	92.23	0.33	0.26	0.12	0.09	0.21			
P1182	G2	Ⅲ	-51881.03	28812.84	92.13	0.21	0.21	0.12	0.08	0.23			
P1183	G2	Ⅲ	-51881.78	28812.82	92.01	0.26	0.23	0.09	0.08	0.39			
P1184	G2	Ⅲ	-51879.62	28813.72	92.05	0.24	0.20	0.13	0.09	0.37			
P1185	G2	Ⅲ	-51879.39	28814.37	91.98	0.35	(0.25)	0.11	0.09	0.44			
P1186	G2	Ⅲ	-51884.26	28814.73	92.26	0.25	0.23	0.13	0.10	0.16			
P1187	G2	Ⅲ	-51885.62	28814.88	92.21	0.40	0.34	0.27	0.23	0.22			
P1188	G2	Ⅲ	-51889.21	28815.56	92.13	0.30	0.22	0.18	0.13	0.33			
P1189	G2	Ⅲ	-51895.50	28818.93	92.12	0.38	0.32	0.13	0.07	0.35			
P1190	G2	Ⅲ	-51896.58	28815.79	92.08	0.31	0.27	0.11	0.07	0.33			
P1191	G2	Ⅲ	-51897.48	28818.88	92.11	0.56	0.36	0.11	0.11	0.34			
P1192	G2	Ⅲ	-51880.82	28814.59	92.16	0.20	0.19	0.12	0.08	0.25			
P1193	G2	Ⅲ	-51880.85	28810.95	92.27	0.27	0.23	0.15	0.13	0.14			
P1194	G2	Ⅲ	-51884.67	28811.79	92.19	0.20	0.20	0.10	0.05	0.19		調査区外	
P1195	G2	Ⅲ	-51886.33	28813.87	92.19	0.42	0.37	0.14	0.05	0.25			
P1196	G2	Ⅲ	-51884.49	28814.99	92.12	0.22	0.16	0.12	0.09	0.32			
P1197	G2	Ⅲ	-51885.67	28816.19	92.15	0.26	0.20	0.10	0.07	0.30			
P1198	G2	Ⅲ	-51889.53	28813.11	92.14	(0.35)	(0.20)	(0.30)	(0.10)	0.17	SI103<P1198	調査区外	
P1199	G2	Ⅲ	-51891.25	28815.13	91.97	0.27	0.24	0.10	0.08	0.45	SI103<P1199		
P1200	G5-1	Ⅲ	-52080.02	28862.61	91.80	(0.40)	0.40	0.30	0.15	0.44		調査区外	
P1201	G5-1	Ⅲ	-52084.78	28877.14	91.87	0.29	0.26	0.09	0.09	0.29			
P1202	G5-1	Ⅲ	-52080.13	28862.01	91.75	0.27	0.25	0.13	0.10	0.50			
P1203	G2	Ⅲ	-51881.52	28810.67	92.28	0.22	0.18	0.11	0.08	0.14			
P1204	G3	Ⅲ	-51964.75	28837.71	91.72	0.44	0.36	0.26	0.21	0.33			
P1205	G3	Ⅲ	-51962.53	28837.87	92.25	0.33	0.29	0.14	0.14	0.17	P1205<SD122		SB101
P1206	G3	Ⅲ	-51961.18	28837.91	92.21	0.37	0.36	0.27	0.24	0.12			SB101
P1207	G3	Ⅲ	-51959.57	28837.90	92.15	0.42	0.42	0.32	0.30	0.16			SB101
P1208	G3	Ⅲ	-51957.75	28837.86	91.87	0.38	0.31	0.23	0.18	0.41			SB101
P1209	G3	Ⅲ	-51956.25	28837.32	91.95	0.23	0.19	0.13	0.11	0.18			
P1210	G3	Ⅲ	-51954.84	28837.26	91.93	0.24	0.19	0.12	0.10	0.20			
P1211	G3	Ⅲ	-51957.81	28836.46	91.93	0.26	0.23	0.15	0.12	0.29			
P1212	G3	Ⅲ	-51958.50	28837.33	92.13	0.26	0.22	0.11	0.10	0.21			
P1213	G3	Ⅲ	-51958.85	28837.18	92.08	0.24	0.19	0.16	0.12	0.24			
P1214	G3	Ⅲ	-51962.23	28838.77	91.96	0.24	0.21	0.15	0.12	0.44			
P1215	G3	Ⅲ	-51960.62	28838.86	91.96	0.40	0.25	0.14	0.11	0.34			

第25表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考	建物
P1216	G3	Ⅲ	-51962.41	28840.12	92.23	0.37	0.33	0.19	0.19	0.17			SB101
P1217	G3	Ⅲ	-51961.05	28839.99	92.25	0.41	0.29	0.25	0.16	0.11			SB101
P1218	G3	Ⅲ	-51959.46	28839.56	92.15	0.22	0.22	0.15	0.11	0.08			
P1219	G3	Ⅲ	-51967.31	28842.45	91.99	(0.40)	0.40	0.20	0.16	0.42		調査区外	
P1220	G4	Ⅲ	-52020.58	28858.70	91.96	0.90	(0.55)	0.55	0.40	0.37		調査区外	
P1221	G4	Ⅲ	-52017.41	28855.02	92.04	0.53	0.49	0.25	0.23	0.36			SB106
P1222	G4	Ⅲ	-52019.62	28855.20	91.96	0.75	(0.50)	0.46	0.34	0.43	P1222<P1223		
P1223	G4	Ⅲ	-52019.48	28854.85	91.94	0.44	0.41	0.30	0.19	0.41	P1222<P1223		SB106
P1224	G4	Ⅲ	-52021.22	28854.78	92.00	0.54	0.45	0.40	0.29	0.32			
P1225	G4	Ⅲ	-52017.32	28856.68	92.03	0.49	0.47	0.37	0.32	0.33	P1225>P1226		
P1226	G4	Ⅲ	-52017.94	28857.01	91.74	0.65	0.60	0.27	0.21	0.63	P1226<P1225・ P1227<P1226		SB105
P1227	G4	Ⅲ	-52018.20	28857.00	92.03	(0.30)	0.30	(0.20)	0.20	0.33	P1227<P1226		
P1228	G4	Ⅲ	-52019.46	28857.30	92.14	0.35	0.30	0.21	0.19	0.21			
P1229	G4	Ⅲ	-52020.00	28856.72	91.79	0.48	0.46	0.28	0.20	0.55			SB105
P1230	G4	Ⅲ	-52020.65	28856.19	91.90	0.62	0.51	0.45	0.45	0.42			
P1231	G4	Ⅲ	-52021.26	28856.42	91.96	0.54	0.54	0.36	0.31	0.30			
P1232	G4	Ⅲ	-52021.25	28857.04	92.07	0.36	0.34	0.25	0.20	0.22			
P1233	G4	Ⅲ	-52021.65	28857.12	92.05	0.32	0.28	0.17	0.11	0.25			
P1234	G4	Ⅲ	-52023.16	28855.30	92.02	(0.40)	0.50	(0.40)	0.40	0.32		調査区外 底面に礫	
P1235	G4	Ⅲ	-52021.54	28858.39	91.90	0.64	0.56	0.45	0.34	0.41			SB104
P1236	G4	Ⅲ	-52022.49	28858.36	91.95	0.47	0.46	0.36	0.32	0.39		柱	SB104
P1237	G4	Ⅲ	-52023.39	28859.72	91.73	(0.50)	0.60	0.50	0.40	0.56		調査区外	
P1238	G4	Ⅲ	-52022.89	28858.85	92.06	(0.70)	0.70	(0.80)	0.60	0.25	P1238<1341・P1243		
P1239	G4	Ⅲ	-52023.12	28857.21	91.91	0.35	0.32	0.10	0.08	0.41			
P1240	G4	Ⅲ	-52022.71	28856.78	91.98	0.31	0.26	0.12	0.10	0.33			
P1241	G4	Ⅲ	-52023.21	28857.47	92.10	0.42	0.25	0.14	0.11	0.22			
P1242	G4	Ⅲ	-52023.09	28857.94	91.94	0.35	0.31	0.15	0.14	0.38	P1243<P1242・P1342		
P1243	G4	Ⅲ	-52023.30	28858.26	91.88	(0.50)	(0.50)	0.29	0.16	0.39	P1243<P1242・P1342		SB104
P1244	G4	Ⅲ	-52023.49	28858.85	92.10	0.29	0.20	0.18	0.15	0.21			
P1245	G4	Ⅲ	-52023.09	28859.36	92.04	0.43	0.38	0.21	0.15	0.24		柱	
P1246	G4	Ⅲ	-52022.98	28856.20	91.84	0.71	0.65	0.47	0.44	0.43	P1247<P1246		
P1247	G4	Ⅲ	-52023.49	28856.40	91.94	(0.70)	(0.60)	(0.60)	(0.50)	0.39	P1247<P1246		
P1248	G4	Ⅲ	-52024.47	28858.00	91.52	1.09	0.44	0.37	0.19	0.75	P1335<P1248		SB104
P1249	G4	Ⅲ	-52025.81	28857.86	91.80	0.99	0.72	0.53	0.46	0.53	P1250<P1249		SB104
P1250	G4	Ⅲ	-52026.18	28857.74	91.89	(0.40)	0.35	0.20	0.20	0.41	P1250<P1249・ P1251<P1250		
P1251	G4	Ⅲ	-52026.52	28857.95	91.96	(0.55)	(0.40)	(0.35)	0.35	0.31	P1251<P1250		
P1252	G4	Ⅲ	-52027.34	28857.79	91.72	0.55	0.49	0.23	0.20	0.54	SK122<P1252		SB104
P1253	G4	Ⅲ	-52025.85	28859.41	91.79	0.78	0.67	0.58	0.46	0.45			
P1254	G4	Ⅲ	-52025.91	28858.60	92.00	0.51	0.41	0.24	0.15	0.22			
P1255	G4	Ⅲ	-52027.08	28858.49	92.07	0.50	0.40	0.32	0.27	0.16	P1255<SK122		
P1256	G4	Ⅲ	-52027.47	28860.14	91.44	1.29	1.11	0.62	0.60	0.68		底面に礫	SB104
P1257	G4	Ⅲ	-52029.83	28862.13	91.78	0.59	0.55	0.49	0.43	0.29			SB107
P1258	G4	Ⅲ	-52030.50	28862.06	91.87	0.55	0.41	-	-	0.24		下端未計測 底面に礫	
P1259	G4	Ⅲ	-52031.42	28862.11	91.85	0.74	0.48	0.54	0.21	0.25			SB107
P1260	G4	Ⅲ	-52033.45	28861.95	91.97	0.33	0.32	0.25	0.22	0.15			SB107
P1261	G4	Ⅲ	-52035.38	28861.61	91.94	0.43	0.41	0.23	0.20	0.23			
P1262	G4	Ⅲ	-52031.05	28859.50	91.86	(0.50)	0.50	0.44	0.28	0.30	P1262><P1263		
P1263	G4	Ⅲ	-52031.34	28859.41	91.88	(0.50)	0.45	0.30	0.25	0.28	P1263><P1262		
P1264	G4	Ⅲ	-52031.79	28859.78	91.91	0.53	0.40	0.21	0.14	0.23			SB108
P1265	G4	Ⅲ	-52031.69	28858.44	92.03	(0.40)	0.30	0.21	0.13	0.11		調査区外	
P1266	G4	Ⅲ	-52032.83	28858.96	91.91	0.32	0.25	0.22	0.20	0.17			
P1267	G4	Ⅲ	-52033.42	28859.67	92.00	0.29	0.19	0.22	0.13	0.05			SB108
P1268	G4	Ⅲ	-52034.59	28860.08	91.94	0.61	0.46	0.41	0.26	0.15			
P1269	G4	Ⅲ	-52035.18	28859.59	92.00	0.28	0.23	0.16	0.12	0.10			SB108
P1270	G4	Ⅲ	-52035.53	28860.38	91.91	0.57	0.50	0.46	0.43	0.18			
P1271	G4	Ⅲ	-52036.71	28860.14	91.88	0.41	0.31	0.21	0.13	0.24			SB109
P1272	G4	Ⅲ	-52035.76	28862.34	91.95	0.62	0.53	0.41	0.33	0.23	P1273<P1272		
P1273	G4	Ⅲ	-52036.01	28862.57	91.97	0.35	(0.20)	0.14	0.10	0.25	P1273<P1272		
P1274	G4	Ⅲ	-52036.87	28861.92	91.95	0.37	0.26	0.22	0.15	0.30		柱	SB109
P1275	G4	Ⅲ	-52036.73	28862.25	92.14	0.19	0.14	0.10	0.07	0.07			
P1276	G4	Ⅲ	-52036.89	28862.62	92.15	0.33	0.31	0.24	0.18	0.09			
P1277	G4	Ⅲ	-52036.97	28863.70	91.95	0.35	0.25	0.22	0.16	0.27		柱	SB109
P1278	G4	Ⅲ	-52037.20	28863.99	92.00	0.38	0.29	0.23	0.17	0.20	P1278<カクラン		
P1279	G4	Ⅲ	-52036.99	28864.35	92.09	(0.25)	0.20	(0.10)	(0.15)	0.13		調査区外	
P1280	G4	Ⅲ	-52034.56	28862.26	91.93	0.34	0.31	0.20	0.19	0.23			
P1281	G4	Ⅲ	-52039.78	28861.14	91.98	(0.25)	0.45	(0.10)	(0.20)	0.15		調査区外	
P1282	G4	Ⅲ	-52039.92	28861.60	91.92	0.65	0.54	0.45	0.31	0.25		柱	SB110
P1283	G4	Ⅲ	-52039.95	28862.19	92.02	0.33	0.28	0.18	0.17	0.13			

第25表 柱穴観察表

(残存値)

遺構名	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	比高差 (m)	重複関係等 (旧<新、><は不明)	備考	建物
P1284	G4	Ⅲ	-52040.76	28861.66	91.90	0.59	0.57	0.44	0.38	0.34			SB110
P1285	G4	Ⅲ	-52040.73	28862.72	91.89	0.53	0.51	0.43	0.37	0.41			SB110
P1286	G4	Ⅲ	-52040.75	28863.54	91.95	0.53	0.53	0.41	0.39	0.30			SB110
P1287	G4	Ⅲ	-52040.06	28863.45	91.92	0.64	0.60	0.54	0.49	0.33			柱 SB110
P1288	G4	Ⅲ	-52041.93	28862.66	91.91	0.53	0.53	0.45	0.40	0.34			柱 SB110
P1289	G4	Ⅲ	-52035.56	28863.91	92.11	(0.20)	0.35	(0.10)	0.20	0.17			調査区外
P1290	G4	Ⅲ	-52039.30	28863.50	91.76	(0.95)	0.80	0.58	0.51	0.37			P1290<カクラン
P1291	G4	Ⅲ	-52037.83	28863.64	91.82	1.00	(0.70)	0.50	0.40	0.33			P1291<カクラン
P1292	G4	Ⅲ	-52045.58	28865.49	91.84	0.60	0.60	0.50	0.45	0.37			P1292<カクラン SB111
P1293	G4	Ⅲ	-52048.56	28865.60	92.17	0.25	0.20	0.16	0.11	0.14			
P1294	G4	Ⅲ	-52049.06	28864.57	92.08	0.31	0.27	0.21	0.12	0.24			
P1295	G4	Ⅲ	-52053.28	28868.41	91.86	0.43	0.29	0.26	0.14	0.29			SB112
P1296	G4	Ⅲ	-52053.25	28868.88	91.90	0.72	0.51	0.38	0.33	0.31			
P1297	G4	Ⅲ	-52052.71	28869.55	92.03	0.34	0.33	0.12	0.06	0.21			
P1298	G4	Ⅲ	-52053.48	28869.81	91.95	0.57	0.49	0.17	0.11	0.26			SB112
P1299	G4	Ⅲ	-52055.03	28869.52	91.96	0.40	0.33	0.19	0.16	0.25			SB112
P1300	G4	Ⅲ	-52054.76	28868.13	91.88	0.47	0.36	0.24	0.15	0.35			SB112
P1301	G2	Ⅲ	-51887.31	28814.21	91.96	0.31	0.26	0.11	0.09	0.47			P1345<P1301
P1302	G4	Ⅲ	-52054.06	28867.24	91.78	0.33	0.32	0.16	0.13	0.24			P1302><SK125
P1303	G4	Ⅲ	-52056.35	28868.11	92.08	(0.25)	(0.30)	(0.20)	0.20	0.15			P1303<カクラン
P1304	G4	Ⅲ	-52053.63	28867.29	91.77	0.35	0.34	0.21	0.17	0.23			P1304><SK125
P1305	G4	Ⅲ	-52044.33	28865.51	92.03	0.63	0.58	0.60	0.58	0.16			P1305<カクラン SB111
P1306	G4	Ⅲ	-52043.19	28865.54	91.84	0.74	0.71	0.69	0.59	0.34			SB111
P1307	G4	Ⅲ	-52042.00	28865.52	92.00	0.76	0.73	0.64	0.58	0.24			SB111
P1308	G4	Ⅲ	-52030.33	28859.91	92.07	0.35	(0.20)	(0.15)	(0.10)	0.06			P1305<P1309・SK120 SB108
P1309	G4	Ⅲ	-52030.51	28860.08	91.97	0.52	0.33	0.29	0.15	0.17			P1308<P1309
P1310	G4	Ⅲ	-52025.29	28857.35	91.99	0.37	0.25	0.26	0.14	0.29			P1310><SK119
P1311	G4	Ⅲ	-52024.30	28856.15	91.88	0.78	0.66	0.46	0.31	0.42			P1311><SK119 柱
P1312	G4	Ⅲ	-52024.76	28857.23	91.90	0.55	0.45	0.37	0.31	0.23			P1312><SK119
P1313	G4	Ⅲ	-52027.11	28856.83	92.10	(0.30)	0.30	(0.25)	0.20	0.17			調査区外
P1314	G4	Ⅲ	-52030.06	28859.05	91.77	0.75	0.38	0.47	0.23	0.21			P1314><SK120
P1315	G4	Ⅲ	-52027.59	28859.15	91.68	1.11	1.08	0.45	0.39	0.38			SB104
P1316	G4	Ⅲ	-52027.38	28860.98	91.94	(0.50)	0.65	(0.45)	0.50	0.26			調査区外 SB104
P1317	G4	Ⅲ	-52015.99	28857.21	91.88	0.60	(0.40)	0.29	0.26	0.53			調査区外 SB105
P1318	G4	Ⅲ	-52015.71	28855.77	91.97	0.67	0.59	0.51	0.41	0.41			P1318<SK121 SB103
P1319	G4	Ⅲ	-52013.56	28855.68	91.96	0.75	0.70	0.63	0.56	0.37			P1319><SK121 SB103
P1320	G4	Ⅲ	-52010.75	28855.72	91.84	0.78	0.58	0.43	0.30	0.56			SB103
P1321	G4	Ⅲ	-52015.68	28853.57	91.95	0.77	0.58	0.32	0.27	0.42			SB103
P1322	G4	Ⅲ	-52013.19	28853.39	92.02	0.67	0.59	0.51	0.43	0.35			SB103
P1323	G4	Ⅲ	-52010.79	28853.29	92.17	0.62	0.55	0.47	0.44	0.14			P1323><SD127 SB103
P1324	G4	Ⅲ	-52011.80	28853.66	91.96	0.39	0.36	0.21	0.19	0.40			P1324><SD127
P1325	G4	Ⅲ	-52012.60	28854.21	91.98	0.41	0.37	0.21	0.18	0.39			P1326<P1325
P1326	G4	Ⅲ	-52012.65	28854.68	91.95	(0.35)	(0.35)	0.11	0.10	0.44			P1326<SK121・P1325
P1327	G4	Ⅲ	-52010.93	28855.03	92.20	0.36	0.24	0.15	0.12	0.19			
P1328	G4	Ⅲ	-52010.03	28854.81	92.11	0.59	0.42	0.16	0.14	0.33			
P1329	G4	Ⅲ	-52023.86	28856.78	92.09	0.46	0.40	0.26	0.21	0.23			P1329><SK119 柱
P1330	G4	Ⅲ	-52003.62	28852.87	91.83	0.82	0.75	0.66	0.63	0.52			底面に礫 SB102
P1331	G4	Ⅲ	-52003.67	28850.41	91.87	0.90	(0.50)	0.70	(0.40)	0.40			調査区外 SB102
P1332	G4	Ⅲ	-52001.16	28850.29	91.93	0.76	0.72	0.60	0.58	0.40			底面に板 SB102
P1333	G4	Ⅲ	-51998.70	28850.17	91.87	0.78	0.69	0.68	0.63	0.42			SB102
P1334	G4	Ⅲ	-51996.56	28850.06	92.22	0.57	0.47	0.40	0.29	0.20			SB102
P1335	G4	Ⅲ	-52024.41	28858.14	91.47	(1.10)	1.00	(0.60)	0.45	0.77			P1335<P1248
P1336	G4	Ⅲ	-52026.03	28860.31	91.81	0.46	0.32	0.28	0.24	0.31			
P1337	G4	Ⅲ	-52008.21	28855.69	92.15	-	-	0.24	0.20	0.30			P1337<SK127 SB103
P1338	G4	Ⅲ	-52005.75	28854.06	91.88	0.41	0.36	0.27	0.14	0.36			
P1339	G4	Ⅲ	-52010.06	28854.19	92.12	0.29	0.28	0.16	0.13	0.26			
P1340	G4	Ⅲ	-52022.23	28858.93	91.88	0.48	0.33	0.29	0.22	0.37			P1340><P1341
P1341	G4	Ⅲ	-52022.73	28859.57	91.83	(0.50)	0.70	(0.20)	0.50	0.40			P1341><P1340 調査区外
P1342	G4	Ⅲ	-52023.03	28858.00	91.90	(0.10)	(0.10)	-	-	0.36			P1342<P1242・ P1243<P1342
P1343	G4	Ⅲ	-52009.95	28853.84	91.96	0.30	0.24	0.14	0.09	0.38			P1343><SD127
P1344	G4	Ⅲ	-52024.53	28859.48	91.34	(1.00)	1.30	0.58	0.51	0.90			P1344<P1335
P1345	G2	Ⅲ	-51887.49	28814.20	92.11	(0.20)	(0.30)	0.18	0.06	0.32			P1345<P1301
P1346	G4	Ⅲ	-51998.66	28852.65	92.10	0.77	0.70	0.60	0.49	0.21			底面に礫 SB102
P1347	G4	Ⅲ	-51999.82	28853.65	92.12	0.42	0.40	0.13	0.11	0.35			
P1348	G4	Ⅲ	-52003.74	28854.02	92.16	0.38	0.34	0.19	0.16	0.25			
P1349	G4	Ⅲ	-52003.70	28854.34	92.22	0.31	0.30	0.22	0.15	0.27			
P1350	G4	Ⅲ	-52003.45	28853.84	92.07	0.53	0.42	0.14	0.12	0.36			

第26表 土坑・井戸跡観察表

(残存値)

遺構名	性格	区域	検出面	X座標 (m)	Y座標 (m)	Z座標 (m)	平面形	開口部 長軸方向 (N-x'-E)	開口部 長軸 (m)	開口部 短軸 (m)	底部 長軸 (m)	底部 短軸 (m)	深さ (m)	埋土の堆積状況 (上位→下位)	付属 施設	重複関係 (旧<新、><は 不明)	時期	備考	図版 No.	写真 No.
SK101	土坑	D	Ⅲ	-52043.49	28817.52	92.00	円形	20	0.77	0.72	0.55	0.54	0.26	黒褐色土	なし		不明		98	80
SK102	土坑	D	Ⅲ	-52049.22	28842.14	91.89	円形?	-	(1.85)	(0.80)	(0.90)	(0.20)	0.39	黒褐色土・黒色土	なし		不明	調査区外	98	80
SK103	土坑	A	Ⅲ	-51895.31	28792.98	92.05	楕円形	-80	1.81	1.08	1.10	0.53	0.48	黒褐色土・黒色土・暗褐色土	なし		不明	掘り過ぎ	98	80
SK104	土坑	C	Ⅲ	-51999.95	28689.99	91.64	円形?	76	1.00	(0.45)	0.40	0.20	0.87	黒褐色土・暗褐色土	なし	SI102<SK104	不明		98	80
SK105	井戸跡	C	Ⅲ	-52000.08	28695.57	91.46	楕円形	-43	2.05	1.51	1.90	1.30	1.00	黒褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土	なし		古代	井戸枠	99	81
SK106	井戸跡	E2	Ⅲ	-51899.85	28808.87	91.09	円形	-69	1.47	1.41	1.08	0.88	1.39	黒褐色土・黒色土	なし		12世紀		100	82
SK107	井戸跡	E2	Ⅲ	-51898.30	28809.82	90.98	円形	-33	1.25	1.16	0.92	0.77	1.09	黒褐色土・暗褐色土・黒色土	なし		12世紀		100	82
SK108	井戸跡	E2	Ⅲ	-51898.48	28814.09	91.26	円形	71	1.51	1.47	0.76	0.61	1.13	黒褐色土・黒色土	なし		12世紀		100	82
SK109	井戸跡	E3	Ⅲ	-51902.06	28803.93	91.42	円形	51	1.58	1.47	1.31	1.14	1.19	黒褐色土・黒色土・黄褐色土	なし		12世紀		100	83
SK110	井戸跡	F1	Ⅲ	-51935.05	28784.62	91.22	円形	45	1.93	1.75	1.32	1.25	1.19	黒褐色土・褐色土・暗褐色土	なし		12世紀		101	83
SK111	土坑	G5	Ⅲ	-52079.51	28875.95	91.69	円形?	-	0.80	0.47	0.25	0.13	0.40	黒色土	なし		不明	調査区外	98	83
SK112	土坑	G5	Ⅲ	-52076.34	28876.92	91.71	円形	-24	0.83	0.76	0.41	0.34	0.48	黒色土・黒褐色土	なし		不明		98	84
SK113	土坑	G5	Ⅲ	-52075.85	28878.83	91.70	円形?	-	1.05	(0.70)	0.50	(0.50)	0.45	黒色土・褐色土	なし		不明	調査区外	98	84
SK114	土坑	G5	Ⅲ	-52069.24	28876.07	91.60	円形	-	1.40	1.40	0.60	0.54	0.54	黒色土・暗褐色土・黒褐色土	なし		不明	調査区外	101	84
SK115	井戸跡	G2	Ⅲ	-51901.15	28819.17	90.95	円形	27	1.44	1.40	1.31	1.29	1.29	黒褐色土・黒色土	なし		12世紀		101	84
SK116	井戸跡	G2	Ⅲ	-51902.01	28816.76	91.11	円形	-79	1.58	1.36	1.14	1.00	1.32	黄褐色土・黒褐色土・褐色土・黒色土	なし		12世紀		101	85
SK117	土坑	G3	Ⅲ	-51992.16	28846.73	92.26	円形?	-	1.00	(0.40)	0.60	(0.26)	0.20	暗褐色土・にぶい黄褐色土	なし		不明	調査区外	98	85
SK118	土坑	G4	Ⅲ	-52018.67	28856.01	92.19	楕円形	-87	1.20	0.81	0.65	0.38	0.16	黒褐色土	なし		不明		98	85
SK119	土坑	G4	Ⅲ	-52024.64	28856.59	92.10	楕円形?	-	(2.20)	1.60	2.00	1.00	0.20	黒褐色土・黒色土	なし	SK119<P1310 ~1312・1329	近世以降	調査区外	102	86
SK120	土坑	G4	Ⅲ	-52029.60	28859.05	91.96	長方形	-90	2.14	1.39	1.99	1.26	0.21	黒色土・灰色土	なし	SK120<P1308	近世以降		102	86
SK121	土坑	G4	Ⅲ	-52014.25	28855.42	92.25	長方形	7	3.43	1.68	3.24	1.51	0.11	黒褐色土・暗褐色土	なし	SK121<P1318・ 1319・S2101	近世以降		102	86
SK122	土坑	G4	Ⅲ	-52028.27	28858.22	91.93	楕円形?	-	(2.15)	1.20	(2.00)	0.80	0.16	黒色土	なし	SK122<P1252	近世以降	調査区外	102	86
SK123	土坑	G4	Ⅲ	-52011.16	28854.33	92.31	長方形	90	1.13	0.75	0.98	0.68	0.08	黒褐色土	なし		近世以降		103	87
SK124	土坑	G4	Ⅲ	-52011.61	28856.58	92.26	長方形?	90	1.90	(1.70)	1.30	(1.50)	0.11	黒褐色土	なし	SK124<SK121	近世以降	調査区外	103	87
SK125	土坑	G4	Ⅲ	-52053.69	28866.50	91.99	長方形?	-	(2.20)	1.50	(1.80)	1.00	0.40	黒色土	なし	SD126<SK125	近世以降	調査区外	103	87
SK126	土坑	G4	Ⅲ	-52007.06	28851.52	91.19	楕円形	2	1.35	0.74	1.07	0.54	0.65	黒色土	なし	SK126<SD127	近世以降		103	87
SK127	土坑	G4	Ⅲ	-52009.08	28855.21	91.65	円形	-17	1.71	1.63	0.74	0.70	0.77	黒褐色土・黒色土・にぶい黄褐色土・ 暗褐色土・褐色土	なし	SK127<P1337	12世紀		104	88
SK128	土坑	G4	Ⅲ	-52002.47	28851.58	91.23	円形	-3	1.02	0.94	0.45	0.42	0.53	黒色土・暗褐色土	なし	SK128<SD127	近世以降		104	88

第27表 溝跡観察表

遺構名	性格	区域	検出面	座標値X (m)	座標値Y (m)	座標値Z (m)	平面形	長軸方向 (N-x-E)	長軸 (m)	開口部幅 (m)	底部幅 (m)	比高差 (m)	埋土の種類状況 (上位→下位)	付属施設	重複関係 (旧<新、><は不明)	時期	備考	図版 No.	写図 No.
SD101	溝跡	B	III	-51980.96	28797.15	92.14	直線	-8	(1.56)	1.12	0.85	0.38	黒色土	なし		不明	調査区外	105	89
SD102	溝跡	B	III	-51981.24	28797.21	92.20	直線	-8	(1.58)	0.56	0.40	0.25	黒色土	なし		不明	調査区外	105	89
SD103	溝跡	D	III	-52051.66	28844.58	92.01	直線	89	(8.04)	0.76	0.39	0.32	黒褐色土・黒色土	なし		不明	調査区外	105	89
SD104	溝跡	D	III	-52052.94	28849.33	91.95	直線	83	(5.15)	1.07	0.85	0.25	黒色土	なし		12世紀	調査区外	105	89
SD105	溝跡	D	III	-52040.35	28810.84	91.58	直線	-22	(3.14)	1.71	0.91	0.80	黒褐色土・黒色土・暗褐色土	なし		不明	調査区外	105	89
SD106	溝跡	A	III	-51892.72	28783.04	92.34	直線	74	4.15	0.99	0.44	0.46	黒褐色土・黒色土	なし		不明	調査区外	106	90
SD107	溝跡	D	III	-52034.97	28793.95	91.53	湾曲	-	(2.60)	1.75	1.04	0.30	黒褐色土・黒色土・赤灰色	なし		不明	調査区外	106	90
SD108	溝跡	C	III	-51999.77	28691.66	92.30	直線	-14	(2.04)	0.62	0.31	0.28	黒褐色土	なし		不明	調査区外	106	90
SD109	溝跡	C	III	-52002.16	28696.68	92.28	直線	81	(0.76)	0.42	0.26	0.28	黒褐色土	なし		不明	調査区外	106	91
SD110	溝跡	C-F3	III	-52024.13	28752.36	92.04	湾曲	-	(8.8)	1.15	0.91	0.14	黒褐色土	なし		不明	調査区外	107	91
SD111	溝跡	E1	III	-51897.55	28783.86	92.26	直線	76	4.61	0.57	0.27	0.35	黒褐色土	なし		不明	調査区外	107	91
SD112	溝跡	E1	III	-51893.21	28772.74	92.26	直線	10	(6.51)	0.78	0.29	0.40	黒褐色土・黒色土・暗褐色土	なし		不明	調査区外	107	92
SD113	溝跡	E1	III	-51894.60	28778.13	92.51	直線	19	(3.34)	0.67	0.60	0.10	黒褐色土	なし		不明	調査区外	108	92
SD114	溝跡	F1	III	-51927.23	28786.39	92.17	直線	15	3.65	1.10	0.49	0.69	黒色土	なし		不明	調査区外	108	92
SD115	溝跡	F2	III	-51968.39	28772.07	91.88	直線	-80	(4.20)	1.12	0.51	0.40	黒褐色土・黒色土	なし	SD115<風割木	不明	調査区外	108	93
SD116	溝跡	G6	III	-52126.90	28895.24	91.89	直線	27	(1.00)	0.58	0.30	0.23	黒色土	なし		不明	調査区外	108	93
SD117	溝跡	G5	III	-52062.96	28871.45	91.99	直線	85	(5.44)	1.39	1.25	0.18	黒色土	なし	SD119<SD117	近世以降	調査区外	109	93
SD118	溝跡	G5	III	-52061.35	28872.89	92.16	直線	-76	(2.04)	0.45	0.32	0.09	黒色土	なし		不明	調査区外	109	93
SD119	溝跡	G5	III	-52063.48	28874.22	92.14	直線	-78	(1.45)	0.43	0.19	0.12	黒色土	なし		不明	調査区外	109	93
SD120	溝跡	G2	III	-51895.16	28816.78	92.31	湾曲	-	(5.00)	0.38	0.15	0.17	黒色土・暗褐色土	なし		不明	調査区外	108	93
SD121	溝跡	G2	III	-51883.04	28812.14	92.26	湾曲	81	(2.16)	0.25	0.20	0.11	黒色土	なし		不明	調査区外	109	94
SD122	溝跡	G3	III	-51958.23	28835.83	91.92	湾曲 (周溝状)	-	16.4	1.40	0.80	1.14	黒褐色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土	なし		12世紀	調査区外 内部にSB101	110	95
SD123	溝跡	G3	III	-51964.57	28839.30	91.97	直線	90	(4.23)	2.10	1.23	0.46	暗褐色土・黒褐色土	P1-P2		12世紀	調査区外	110	95
SD124	溝跡	G4	III	-52004.46	28853.69	92.13	直線	76	(2.22)	0.60	0.35	0.36	黒褐色土・暗褐色土	なし	SD124>SD127	12世紀	調査区外	111	94
SD125	溝跡	G4	III	-52050.49	28866.57	91.99	直線	85	(3.99)	2.41	1.71	0.31	黒色土・暗オリーブ色土・オリーブ黒色土	なし		近世以降	調査区外	109	94
SD126	溝跡	G4	III	-52054.27	28869.09	92.12	直線	-80	(2.59)	0.51	0.22	0.13	黒褐色土	なし	SD126<SK125	不明	調査区外	109	94
SD127	溝跡	G4	III	-52003.39	28851.63	91.78	直線	-1	(17.04)	3.39	0.87	0.67	黒色土	なし	SD124・SK126・SK128・P1323・P1330~1334・P1343・P1346<SD127	近世以降	調査区外	111	96

第28表 土器埋設遺構観察表

遺構名	性格	区域	検出面	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)	平面形	開口部長軸方向 (N-x-E)	開口部長軸 (m)	開口部短軸 (m)	底部長軸 (m)	底部短軸 (m)	深さ (m)	埋土の種類状況 (上位→下位)	付属施設	重複関係 (旧<新、><は不明)	時期	備考	図版 No.	写図 No.
SZ101	土器埋設遺構	G4	III	-52013.74	28854.31	92.22	円形	-13	0.87	0.82	0.78	0.70	0.13	黒褐色土	なし		12世紀		104	88

2 出土遺物

第29表 出土地点別かわらけ重量表
竪穴住居跡 (SI)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G2	SI103	底面 (No7)	22.3
合計				22.3

柱穴 (P)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	A	P1016	埋土上位	8.6
2	C	P1036	埋土上位	2.8
3	E2	P1072 南半	埋土1層	2.5
4	E2	P1073 西半	埋土1層	2.8
5	E2	P1079 南半	埋土1層	16.2
6	E2	P1086 南半	埋土1層	6.9
7	E2	P1091 南半	埋土1層	4.4
8	E2	P1091 北半	埋土1層	25.0
9	E4	P1094	埋土	1.3
10	E4	P1096	埋土	1.2
11	E4	P1097	埋土	2.1
12	E1	P1101 北半	埋土3層	8.5
13	E1	P1102 南半	埋土	7.5
14	E3	P1104 北半	埋土1層	11.6
15	G6	P1109	埋土	21.3
16	G6	P1110	埋土	3.5
17	G6	P1111	埋土	14.6
18	G6	P1111	埋土	9.9
19	G6	P1113	埋土	2.0
20	G6	P1120	埋土	44.8
21	E5	P1141 北半	埋土1層	1.0
22	G2	P1146	埋土	6.0
23	G2	P1147	埋土	32.2
24	G2	P1148	埋土	4.0
25	G2	P1151	埋土	3.2
26	G2	P1153	埋土	6.8
27	G2	P1154	埋土	30.1
28	G2	P1155	埋土	22.2
29	G2	P1156	埋土	3.7
30	G2	P1157	埋土	37.0
31	G2	P1159	埋土	6.8
32	G2	P1161	埋土	53.3
33	G2	P1163	埋土	44.7
34	G2	P1164	埋土	5.2
35	G2	P1165	埋土	1.1
36	G2	P1166	埋土	2.4
37	G2	P1167	埋土	7.6
38	G2	P1172	埋土	14.8
39	G2	P1178	埋土	2.7
40	G2	P1179	埋土	7.0
41	G2	P1182	埋土	12.9
42	G2	P1184	埋土	14.1
43	G2	P1186	埋土	13.1
44	G2	P1187	埋土	3.6
45	G2	P1189	埋土	22.8
46	G2	P1191	埋土	55.1
47	G2	P1192	埋土	5.2
48	G2	P1194	埋土	6.0
49	G2	P1196	埋土	13.1
50	G2	P1198	埋土	19.0
51	G2	P1200	埋土	4.9
52	G4	P1214	埋土	15.9
53	G4	P1221	埋土	4.3
54	G4	P1222 西半	埋土1層	13.3
55	G4	P1223 西半	埋土1層	16.7
56	G4	P1229 西半	埋土1層	1.9
57	G4	P1240	埋土	7.6
58	G4	P1242	埋土	19.2
59	G4	P1247	埋土	98.8
60	G4	P1301	埋土	4.7
61	G4	P1310	埋土	4.0
62	G4	P1317	埋土	28.8
63	G4	P1320	埋土	47.7
64	G4	P1321	埋土	3.7
65	G4	P1324	埋土	16.8
66	G4	P1327	埋土	5.1
67	G4	P1328	埋土	16.0
68	G4	P1330	埋土	41.6
69	G2	P1345	埋土	4.6
70	E2	新P1 南半	埋土	4.5
合計				1,014.3

土坑・井戸跡 (SK)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	A	SK105 北半	埋土①層	16.2
2	C	SK105	埋土1層	9.3
3	C	SK105	埋土2層	63.9
4	C	SK105	埋土5層	1.3
5	C	SK105	埋土上部	33.1
6	C	SK105 北半	埋土③層	12.3
7	C	SK105 東半	埋土③層下位	3.7
8	C	SK105 西半	埋土③層	0.6
9	C	SK105	井戸枠内	8.3
10	C	SK105	検出面	3.6
小計				152.3
11	E2	SK106 東半	埋土1層	93.2
12	E2	SK106 東半	埋土下位	8.0
13	E2	SK106 東半	埋土下位(黒褐色)	459.1
14	E2	SK106 西半	埋土1層	91.6
15	E2	SK106 西半	埋土4層	65.1
16	E2	SK106	検出面	10.4
17	E2	SK106	埋土	12.8
小計				740.2
18	E2	SK107 南半	埋土1層	588.6
19	E2	SK107 南半	埋土中位黒褐色	220.2
20	E2	SK107 南半	埋土上位	110.7
21	E2	SK107 北半	埋土最上位	43.3
22	E2	SK107 北半	埋土1層	201.2
23	E2	SK107 北半	埋土2層	120.2
24	E2	SK107 北半	埋土3層	14.7
25	E2	SK107 北半	埋土4層	28.9
26	E2	SK107 北半	埋土5層	36.8
27	E2	SK107	埋土5層	168.7
小計				1,533.3
28	E2	SK108 南半	埋土1層	55.3
29	E2	SK108 南半	埋土中位	24.3
30	E2	SK108 北半	埋土1層	53.1
31	E2	SK108 北半	埋土2層	13.8
32	E2	SK108 北半	埋土3層	11.0
小計				157.5
33	E3	SK109 東半	埋土1層	286.8
34	E3	SK109 東半	埋土2層	22.6
35	E3	SK109 東半	埋土4層	24.1
36	E3	SK109 西半	埋土上位暗褐色	346.1
38	E3	SK109 西半	埋土下位黒褐色	41.0
39	E2	SK109 西半	埋土下位	27.1
小計				747.7
40	F1	SK110 西半	埋土	6.8
小計				6.8
41	G5	SK111	埋土	7.4
小計				7.4
42	G5	SK112 南半	埋土	6.2
43	G5	SK112 北半	埋土1層	3.9
44	E1	SK112 ベルトA	埋土1層	6.1
小計				16.2
45	G5	SK114	埋土	29.8
小計				29.8
46	G2	SK115 北半	埋土	3.4
47	G2	SK115 北半	埋土1層	293.4
48	G2	SK115 北半	埋土2層	663.2
49	G2	SK115 北半	埋土3層	842.5
50	G2	SK115 北半	埋土4層	120.2
51	G2	SK115 北半	埋土5層	36.5
52	G2	SK115 北半	埋土3層	4.2
53	G2	SK115	埋土2層	519.3
54	G2	SK115	埋土3層	217.3
55	G2	SK115	埋土4層	46.3
56	G2	SK115	埋土	1,045.7
小計				3,792.0
57	G2	SK116 西半	埋土3層	146.6
58	G2	SK116	埋土3層	43.3
59	G2	SK116	埋土上層(黒褐色土)	15.2
60	G2	SK116	埋土上層(黄褐色砂)	57.9
61	G2	SK116	埋土中層(黒褐色土)	167.0
小計				430.0
62	G2	SK118 北半	埋土	12.2
小計				12.2
63	G4	SK119 南半	埋土1層	33.3
64	G4	SK119 北半	埋土1層	36.7
小計				70.0
65	G4	SK120 北半	埋土1層	3.4
小計				3.4
66	G4	SK121	埋土1層	39.0
小計				39.0

No	区	出土地点	層位	重量(g)
67	G4	SK122 北半	埋土1層	19.4
小計				19.4
68	G4	SK124 南半	埋土1層	19.2
69	G4	SK124 北半	埋土1層	14.3
小計				33.5
70	G4	SK126	埋土	20.5
小計				20.5
71	G4	SK127 東半	埋土1層	777.3
72	G4	SK127 東半	埋土2層	116.3
73	G4	SK127 西半	埋土2層	397.6
74	G4	SK127	埋土	78.5
小計				1,369.7
合計				9,180.9

溝跡 (SD)

No	区	層位	重量(g)
1	D	SD103 新旧重複部一括	2.3
小計			2.3
2	D	SD104 埋土1層	16.0
3	D	SD104 埋土1層 (No3)	20.4
4	D	SD104 埋土1層 (No5)	32.7
5	D	SD104 埋土1層 (No6)	86.4
6	D	SD104 検出面	58.7
小計			214.2
7	C	SD108 一括	20.3
小計			20.3
8	F3	SD110 埋土	1.6
小計			1.6
9	E1	SD111 東半 埋土1層	16.8
10	E1	SD111 ベルトA 埋土1層	13.4
小計			30.2
11	E1	SD112 南半 埋土1層	36.5
12	E1	SD112 北半 埋土1層	43.8
13	E1	SD112 埋土	125.6
小計			205.9
14	F1	SD114 埋土	4.8
小計			4.8
15	G5	SD117 埋土	17.9
小計			17.9
16	G2	SD118 南半 埋土1層	9.5
小計			9.5
17	G2	SD120 埋土	78.9
小計			78.9
18	G2	SD121 埋土	11.6
小計			11.6
19	G3	SD122 北側 埋土下位	70.9
20	G3	SD122 1層	77.6
21	G3	SD122 2層	1.6
22	G3	SD122 南側 埋土1層	131.7
小計			281.8
23	G2	SD123 ベルトA 埋土9層	1.0
24	G2	SD123 埋土1層	178.2
25	G2	SD123 埋土上層	66.6
26	G2	SD123 埋土6層	14.3
小計			260.1
27	G2	SD124 埋土1層	14.8
小計			14.8
合計			1,153.9

土器埋設遺構 (SZ)

No	区	層位	重量(g)
1	G4	SZ101 埋土	8.8
合計			8.8

A区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	A	A区	排土中	10.2
2	A	A区 中央	II層	81.4
3	A	A区 西側	黒褐色土	57.7
合計				149.3

B区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	B	B区 中央	盛土層	14.4
2	B	B区 西側	排土中	61.6
3	B	B区 西端	黒色土層	56.5
4	B	B区 西端	最下層カクラン内	3.4
合計				135.9

C区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	C区	黒色土	49.7
2	C	C区包含層	検出面～黒色土	968.1
3	C	C区包含層	5cm下	168.7
4	C	C区包含層	黒色土5cmより下	322.8
5	C	C区 中央	黒褐色土層	12.1
6	C	C区 中央	黒色土上部	44.6
7	C	C区 東側	黒色土中	35.7
8	C	C区 東端	検出面 (ミソ内)	11.3
合計				1,613.0

D区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	D	D区	Ⅱ層	20.4
2	D	D区 中央	遺構外 No2	2.0
3	D	D区 中央	Ⅱ層	12.6
4	D	D区 東側	検出面	31.2
5	D	D区 東端	表土	2.4
合計				68.6

E1区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	E1	E1区	Ⅲ層検出面	3.4
2	E1	E1区	排土中	48.3
3	E1	E1区 中央	Ⅱ層下位～Ⅲ層	4.0
4	E1	E1区 西側	Ⅱ層	6.0
5	E1	E1区 西側	Ⅱ層下位	4.4
6	E1	E1区 西側	Ⅲ層検出面	30.4
7	E1	E1区 東側	I層	9.7
8	E1	E1区 東側	Ⅲ層検出面	1.9
合計				108.1

E2区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	E2	E2区	Ⅲ層検出面	8.5
2	E2	E2区	Ⅱ層	136.0
3	E2	E2区	包含層Ⅱ層No2	46.6
4	E2	E2区	排土	45.0
5	E2	E2区	廃土中	179.8
6	E2	E2区 飛地	I層	59.1
7	E2	E2区 排土	埋土	6.2
8	E2	E2区 東側	包含層③2層	27.7
9	E2	E3区 東側	包含層③	51.2
10	E2	E4区 東側	包含層④ Ⅱ層	12.3
11	E2	E5区 東側	包含層⑤ Ⅱ層	21.6
12	E2	E6区 東側	包含層? Ⅱ層	69.6
13	E2	E7区 東側	包含層⑦ Ⅱ層	19.5
合計				683.1

E4区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	E4	E4区	Ⅲa層 検出中	3.6
合計				3.6

E5区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	E5	E5区	I層	32.5
合計				32.5

E区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	E	E区	Ⅲa層 検出中	46.9
2	E	E区	Ⅲ層上	6.5
合計				53.4

F1区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	F1	F1区	表土	14.6
合計				14.6

F2区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	F2	F2区	I層	139.0
2	F2	F2区	Ⅱ層	410.4
合計				549.4

F3区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	F3	F3区	Ⅱ層	79.7
合計				79.7

F4区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	F4	F4区	Ⅱ層	157.2
合計				157.2

G2区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G2	区画a	I層	55.1
2	G2	区画a	Ⅱ層	143.2
3	G2	区画b	Ⅱ層	687.6
4	G2	区画c	Ⅱ層	1,420.6
5	G2	区画d	Ⅱ層	1,201.5
6	G2	区画e	Ⅱ層	176.8
7	G2	区画f	Ⅱ層	490.2
8	G2	区画g	Ⅱ層	500.0
9	G2	G2区	I～Ⅱ層	198.7
10	G2	G2区	Ⅱ層	22.6
11	G2	G2区	Ⅱ層 (No1)	35.5
12	G2	G2区	Ⅱ層 (No2)	78.8
13	G2	G2区	Ⅱ層 (No3)	39.9
14	G2	G2区	Ⅱ層 (No4)	14.2
15	G2	G2区	Ⅱ層 (No5)	110.4
16	G2	G2区	Ⅱ層 (No6)	14.8
17	G2	G2区	Ⅱ層 (No9)	36.1
18	G2	G2区	Ⅱ層 (No10)	11.9
19	G2	G2区	Ⅱ層 (No11)	59.3
20	G2	G2区 南側	Ⅱ層上位	59.0
21	G2	G2区 北側	Ⅱ層上位	172.0
合計				5,528.2

G3区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G3	G2区	I層	142.5
2	G3	G3区	排土	8.6
合計				151.1

G4区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G4	G4区	Ⅲ層上面	192.5
合計				192.5

G5区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G5	G5区	I層	18.4
合計				18.4

G6区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G6	G6区	Ⅱ層	48.6
合計				48.6

G区

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G	G区南端	I層	130.2
合計				130.2

トレンチ

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	T17	表土層	12.4
2	F2	T47	Ⅱ層	37.8
3	F3	T48	I層	9.8
4	F4	T50	I c層	39.0
5	E	T51	Ⅱ層～Ⅲa層	4.6
6	E2	T61	I層	178.1
7	E2	T62	南端土坑埋土上位	64.6
8	E2	T62	I層	111.5
9	E2	T63	I層	4.8
10	E2	T64	I層	7.9
11	G5	T68	I層	5.1
12	G4	T71	I層	22.5
13	G4	T72	I層	59.1
14	G6	T73	I層	44.6
15	G3	T76	I層	13.7
16	G2	T80	I～Ⅱ層	98.0
17	G1	T81	I層 (盛土下)	128.1
18	G1	T82	I層	99.7
19	G1	T83	I層	12.3

No.	区	出土地点	層位	重量(g)
20	G2	T84	I層	35.4
21	G2	T84	Ⅱ層	52.0
合計				1,041.0
総合計				22,198.7

遺構種別ごと

No.	遺構名	重量(g)	比率(%)
1	竪穴住居跡 (SI)	22.3	0.10%
2	柱穴 (P)	1,014.3	4.57%
3	土坑・井戸跡 (SK)	9,195.8	41.42%
4	溝跡 (SD)	1,164.8	5.25%
5	土器埋設遺構 (SZ)	8.8	0.04%
6	A区	149.3	0.67%
7	B区	135.9	0.61%
8	C区	1,613.0	7.27%
9	D区	68.6	0.31%
10	E区	880.7	3.97%
11	F区	811.9	3.66%
12	G区	6,092.3	27.44%
13	トレンチ	1,041.0	4.69%
総合計		22,198.7	100.00%

第30表 出土地点別土師器重量表
竪穴住居跡(SI)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	SI101	床面 (No1)	118.0
2	C	SI101	床面 (No5)	4.1
3	C	SI101	床面 (No6)	17.8
4	C	SI101	床面 (No7)	11.5
5	C	SI101 カマド西側	埋土	3.9
6	C	SI101	埋土	5.4
			小計	160.7
7	G2	SI103	床面 (No1)	74.0
8	G2	SI103	床面 (No2)	54.8
9	G2	SI103	床面 (No4)	8.2
10	G2	SI103	床面 (No5)	10.8
11	G2	SI103	床面 (No8)	41.3
12	G2	SI103	床面 (No9)	102.5
13	G2	SI103	床面 (No10)	54.0
14	G2	SI103	床面 (No11)	22.3
15	G2	SI103	床面 (No13)	13.4
16	G2	SI103	床面 (No14)	16.9
17	G2	SI103	床面 (No15)	16.0
18	G2	SI103	床面 (No16)	26.3
19	G2	SI103	床面 (No17)	45.2
20	G2	SI103	床面 (No18)	58.6
21	G2	SI103	床面 (No19)	21.6
22	G2	SI103	床面 (No20)	697.8
23	G2	SI103	床面 (No21)	131.6
24	G2	SI103	床面 (No24)	1,315.7
25	G2	SI103	床面 (No25)	150.8
26	G2	SI103	床面 (No26)	362.6
27	G2	SI103	床面 (No27)	96.7
28	G2	SI103	床面 (No28)	19.7
29	G2	SI103	床面 (No32)	37.6
30	G2	SI103	床面 (No37)	14.4
31	G2	SI103	床面 (No38)	35.8
32	G2	SI103	床面 (No39)	86.3
33	G2	SI103	床面 (No40)	36.3
34	G2	SI103	床面 (No42)	41.2
35	G2	SI103	床面 (No41)	14.9
36	G2	SI103	床面 (No43)	53.4
37	G2	SI103	床面 (No44)	9.9
38	G2	SI103	床面 (No45)	955.5
39	G2	SI103 カマド支脚	(No47)	355.7
40	G2	SI103 カマド袖部	埋土19層	162.6
41	G2	SI103 袖石採取痕?	埋土18層	27.8
42	G2	SI103	埋土上位	46.5
43	G2	SI103 Q1	埋土	17.8
44	G2	SI103 Q2	埋土	659.8
46	G2	SI103 Q2	床面	200.9
47	G2	SI103 Q3	埋土	398.0
48	G2	SI103 P4	埋土	49.6
49	G2	SI103 P5	埋土	243.3
50	G2	SI103 P6	埋土	992.7
51	G2	SI103 カマド煙道部	埋土	36.7
52	G2	SI103 カマド本体	埋土	280.9
53	G2	SI103 カマド本体	埋土	140.7
54	G2	SI103 カマド外	崩落粘土内	42.0
55	G2	SI103	床面	28.9
56	G2	SI103 カマド南側	床直	56.3
57	G2	SI103 カマド南付近	床直	210.0
58	G2	SI103	貼床	139.9
59	G2	SI103	床下 (トレンチ)	437.1
			小計	9,153.3
			合計	9,314.0

柱穴(P)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	P1043	埋土1層下部	38.0
			合計	38.0

C区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	C区黒色土範囲	5cm下	91.8
2	C	C区黒色土範囲	黒色土5cmより下	110.5
3	C	C区中央	黒色土上部	29.0
			合計	231.3

F4区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	F4	F4区	II層	54.8
			合計	54.8

G2区

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	G2	G2区北側	II層上位	6.1
				6.1
				9,644.2

遺構種別ごと

No	遺構名	重量(g)	比率(%)
1	竪穴住居跡 (SI)	9,314.0	96.58%
2	柱穴 (P)	38.0	0.39%
3	C区	231.3	2.40%
4	F区	54.8	0.57%
5	G区	6.1	0.06%
	総合計	9,644.2	100.00%

第31表 出土地点別須恵器重量表
竪穴住居跡(SI)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	SI101	床面 (No2)	3.2
2	C	SI101	床面 (No3)	9.9
3	C	SI101	床面 (No4)	75.7
4	C	SI101 カマド西側		7.7
			小計	96.5
5	G2	SI103 Q3	埋土	13.7
6	G2	SI103	床面 (No3)	205.3
7	G2	SI103	床面 (No12)	179.2
8	G2	SI103	床面 (No22・23・30)	2,824.7
9	G2	SI103	床面 (No45)	2.9
			小計	3,225.8
			合計	3,322.3

柱穴(P)

No	区	出土地点	層位	重量(g)
1	C	P1063	埋土上層	61.1
			合計	61.1
			総合計	3,383.4

遺構種別ごと

No	遺構名	重量(g)	比率(%)
1	竪穴住居跡 (SI)	0.0	0.00%
2	柱穴 (P)	61.1	100.00%
	総合計	61.1	100.00%

第32表 遺構別出土遺物一覽表 (掲載No.)

No.	遺構名	縄文					古代					12世紀							中世・近代					共通				
		縄文土器		石器		土師器	須恵器	石製品	かわらけ	国産陶器		水沼	須恵器系		中国産陶磁器			陶磁器	陶器	磁器		石製品	金属製品	ガラス製品	木製品	土製品	動物遺体	植物遺体
										常滑	瀬美			白磁	青磁	青白磁												
1	SI101					1011	1023																					
2	SI103					1012 1022	1024 1027																			1511		
3	P1040																											
4	P1063						1002																					
5	P1101																											
6	P1111																											
7	P1191							1101																		1512		
8	P1227																											
9	P1266								1201																			
10	P1305									1213																		
11	P1317																											
12	P1327												1227															
13	SK105																							1431 1436			1521	
14	SK106																											
15	SK107								1102 1103																1437 1438			
16	SK109								1104 1107	1203 1205															1439 1447			
17	SK110									1214																		
18	SK113									1215																		
19	SK115									1216															1448 1449 1453	1501 1502		1522 1522
20	SK116													1229											1454 1456			1526
21	SK121																											
22	SK124																											
23	SK125																											
24	SK126																											
25	SK127																											
26	SD101									1217																		
27	SD104								1116 1117																			
28	SD118																											
29	SD122									1221																		
30	SD123									1222 1223																		
31	SD127																											1421 1422
32	SZ101																											

第33表 縄文土器観察表

掲載No.	区域名	出土地点	層位	器種	文様			胎土	時期	図版No.	写図No.
					口縁隆帯+刺突、口～：LR縦→沈線、内面ナデ	砂粒含	中期(大木8a?)				
1001	A	A区西	I層	深鉢?	長さ	幅	重量(g)	112	97	97	

第34表 石器観察表

掲載No.	区域名	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	産地	時代	備考	図版No.	写図No.
					長さ	幅	厚さ						
1002	C	P1040	底面	凹石	(15.3)	(19.2)	10.5	1767.3	奥羽山脈	新生代新第三紀	両面に球状の凹みが連続する一面に球状凹み	112	97
1003	G4	P1227 東半	埋土	凹石	(9.5)	8.1	6.7	344.2	奥羽山脈	新生代新第三紀		112	97
1004	C	C区	検出面～5cm:黒色土中	石鏃	(2.05)	(1.35)	0.4	0.6	珪質頁岩	新生代新第三紀	凸基有茎族、先端部欠損	112	97

第35表 土師器・須恵器観察表

掲載No.	区域名	出土地点	層位	器種	種別	計測値(cm)		重量(g)	色調	残存率	胎土	主な外面調整	主な内面調整	底部	備考	時期	図版No.	写図No.
						口径	底径											
1011	C	SI101	床面 (No.1)	甃?	土師器	-	-	115.2	明黄褐色	-	礫含	口:タタキ→口:クロナデ・ハケメ	口:クロナデ・ハケメ・ナデ	破片ロクロ	9世紀	113	97	
1012	G2	SI103	床面 (No.45)	甃?	土師器	-	-	245.0	鈍い黄褐色	-	砂粒含	口:クロナデ・ハケメ	口:クロナデ・ハケメ	破片ロクロ	9世紀	113	97	
1013	G2	SI103	床面 (No.45)	甃?	土師器	-	-	209.0	浅黄褐色	-	礫含	口:ヨコナデ・ナデ	口:ヨコナデ・ナデ	破片	9世紀	113	97	
1014	G2	SI103	床面 (No.27)	甃?	土師器	-	-	98.6	浅黄褐色	-	礫多量含	口:ヨコナデ・ナデ	口:ヨコナデ・ナデ	破片	9世紀	113	97	
1015	G2	SI103	床面 (No.5)	甃?	土師器	-	-	126.9	褐色	-	礫多量含	口:ヨコナデ・ナデ	口:ヨコナデ・ナデ	破片	9世紀	113	97	
1016	G2	SI103	床面 (No.25)	甃?	土師器	-	-	151.0	浅黄褐色	-	礫多量含	口:ヨコナデ・ナデ	口:ヨコナデ・ナデ	破片	9世紀	114	97	
1017	G2	SI103	床面 (No.20)	甃?	土師器	-	7.0 (5.3)	448.2	黄褐色	10%未	礫多量	底:ケズリ	底:ナデ	ケズリ	9世紀	114	97	
1018	G2	SI103 P6	埋土	甃?	土師器	-	-	57.2	褐色	-	礫多量含	口:ヨコナデ・ナデ	口:ヨコナデ・ナデ	破片	9世紀	114	97	
1019	G2	SI103 P6	埋土	甃?	土師器	-	-	100.0	褐色	-	礫多量含	口:クロナデ・ナデ	口:クロナデ・ナデ	破片ロクロ	9世紀	114	97	
1020	G2	SI103 P6	埋土	甃?	土師器	-	8.5 (4.2)	127.7	褐色	10%未	礫多量	底:ケズリ	底:ナデ	破片	9世紀	114	97	
1021	G2	SI103	埋土 (No.47)	小型甃	土師器	13.0	6.7	10.1	鈍い黄褐色	80%	砂含	口～底:ヨコナデ・ナデ・ケズリ	口～底:ヨコナデ・ナデ	破片	9世紀	114	97	
1022	G2	SI103	II層・床直 (No.24)	長胴甃	土師器	22.0	10.8	33.2	1592.4	鈍い褐色	礫多量含	口～底:ヨコナデ・ハケメ	口～底:ヨコナデ・ハケメ	破片	9世紀	114	98	
1023	D	SI101	床面 (No.4)	甃	須恵器	-	-	75.7	-	-	-	-	-	破片	9世紀	115	98	
1024	G2	SI103	床面 (No.3・22・23・30)	甃	須恵器	-	-	(22.3)	3030.0	灰色	-	-	-	外平行タタキ	9～10世紀	115	98	
1025	G2	SI103 P6	埋土	坏	須恵器	13.6	6.0	4.0	109.9	灰白色	礫含	口～底:ロクロ	口～底:ロクロ	回転ヘラ切り	9世紀	115	98	
1026	G2	SI103	床面 (No.15)	坏	須恵器	(13.2)	4.0	4.15	80.0	灰白色	礫含	口～底:ロクロ	口～底:ロクロ	回転ヘラ切り	9世紀	115	98	
1027	G4	SI103	床面 (No.44)	蓋?	須恵器	(10.2)	-	(2.6)	9.9	-	内外面に灰釉	-	-	灰釉会津大戸窯?	9世紀	115	98	
1028	G3	P1063	上層	甃	須恵器	-	-	42.7	-	-	-	-	-	破片	9世紀	115	98	
1029	C	C区黒色土範圍	5cm下	甃	須恵器	-	-	195.6	-	-	-	-	-	破片	9～10世紀	115	98	

第36表 石製品観察表

掲載No.	区域名	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	産地	時代	備考	図版No.	写図No.
					長さ	幅	厚さ						
1030	E	E区南側の田区	表採	紡錘車	4.75	4.7	1.5	40.4	凝灰岩	新生代	断面台形 中央に穿孔あり	115	98

第37表 かわらけ観察表

(推定値)(残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	分類	計測値 (cm)			重量 (g)	色調	残存率	胎土	備考	図版No	写図No
					口径	底径	器高							
1101	G4	P1191	埋土	ロクロ小	(8.2)	5.4	2.1	490	7.5YR8/6浅黄橙	60%	2		116	99
1102	E2	SK106 東半	埋土下位黒褐土	手づくね大	-	-	<3.6>	22.5	7.5YR7/6橙	25%	1	2段まで、口縁面取	116	99
1103	E2	SK106 東半	埋土下位黒褐土	手づくね大	(14.9)	-	2.7	39.3	2.5YR8/2灰白色	25%	1	2段まで、口縁面取	116	99
1104	E2	SK107	埋土5層	ロクロ小	(9.0)	(6.0)	2.15	35.3	7.5YR7/4鈍い橙色	50%	2		116	99
1105	E2	SK107 北半	埋土2層	ロクロ大	-	-	3.6	35.5	10YR6/4鈍い黄橙	15%	2		116	99
1106	E2	SK107	南半埋土上位1層 北半埋土4層	手づくね大	-	-	<3.2>	24.1	10YR8/4浅黄橙	20%	1	3段まで、口縁面取	116	99
1107	E2	SK107	南半埋土中位黒褐土 南半埋土上位 北半埋土5層	手づくね大	(16.2)	-	<3.2>	63.9	10YR8/1灰白色	50%	1	3段まで	116	99
1108	G2	SK115	埋土	ロクロ大	(13.8)	6.6	4.2	116.6	7.5YR8/4浅黄橙	50%	3		116	99
1109	G2	SK115 北半	埋土1層	ロクロ大	(13.5)	6.15	4.1	106.6	7.5YR8/4浅黄橙	30%	3		116	99
1110	G2	SK115	埋土	手づくね大	-	-	<3.5>	20.4	10YR8/4浅黄橙	10%	1	2段まで、口縁面取	116	99
1111	G2	SK115 北半	埋土2・3層	手づくね大	(14.6)	-	3.1	90.4	10YR8/4浅黄橙	40%	1	3段まで、口縁面取	116	99
1112	G2	SK115 北半	埋土	手づくね大	-	-	<3.0>	37.1	10YR8/1灰白色	25%	1	2段まで、口縁面取	116	99
1113	G4	SK127 西半	埋土2層	ロクロ大	(14.2)	6.6	4.7	122.0	7.5YR7/4鈍い橙	50%	3		116	99
1114	G4	SK127 東半	埋土1層	ロクロ大	(15.3)	(8.8)	4.1	64.4	7.5YR8/4浅黄橙	20%	3		116	99
1115	G4	SK127 東半	埋土1層	ロクロ大	(14.1)	(7.8)	4.1	63.1	7.5YR8/4浅黄橙	25%	3		116	99
1116	D	SD104	検出面	ロクロ小	(9.5)	(6.8)	2.1	33.7	10YR8/3浅黄橙	25%	2		116	99
1117	D	SD104	埋土1層	手づくね大	-	-	<2.5>	20.2	10YR8/3浅黄橙	15%	1	1段まで	116	99
1118	G4	SD122 北側	埋土下位	ロクロ小	(7.7)	(5.2)	1.8	24.4	10YR7/4鈍い橙色	40%	2		116	99
1119	G3	SD122 南側	埋土1層	ロクロ小	9.3	7.0	2.0	77.1	7.5YR6/6橙	95%	4		116	99
1120	G2	G2区	II層	ロクロ小	8.4	5.2	2.4	58.9	7.5YR7/6橙	100%	4		116	99
1121	G2	G2区	II層	ロクロ大	(14.0)	6.8	3.8	100.3	7.5YR8/4浅黄橙	50%	3		116	99
1122	G2	G2区	II層	手づくね大	(13.6)	-	3.4	90.0	7.5YR6/6橙	30%	2	2段まで	116	99

胎土、1：緻密である。2：細礫を含まず砂粒を含む。3：細礫・砂粒を僅かに含む。4：細礫・砂粒を含む。

第38表 国産陶器観察表

(推定値)(残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	種別	器種	分類	部位	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	時期	図版No	写図No
								口径	底径	器高					
1201	G4	P1266	埋土1層	常滑	甕		体部	-	-	-	89.5		12世紀	117	99
1202	G4	P1317	埋土	常滑	甕		体部	-	-	-	15.8		12世紀	117	99
1203	E2	SK107	埋土5層 (No4)	常滑	甕	3型式	口縁部~体部	(36.4)	-	<22.2>	1,419.2		12世紀 第4四半期	117	99
1204	E2	SK107	埋土5層 (No7)	常滑	片口鉢		口縁部~底部	(31.2)	(13.8)	<11.8>	522.9	外スス 内漆	12世紀	117	99
1205	E2	SK107 北半	埋土1層	常滑	片口鉢		口縁部	(30.4)	-	<9.6>	290.0	漆	12世紀	117	100
1206	G4	SK127 西半	埋土2層	常滑	甕		底部	-	-	-	311.3		12世紀	117	100
1207	C	C区黒色土範囲	検出面~黒色土中5cm	常滑	三筋又壺		体部	-	-	-	18.3		12世紀	117	100
1208	C	C区黒色土範囲	検出面~黒色土中5cm	常滑	甕		体部	-	-	-	28.5		12世紀	117	100
1209	E2	E2区遺物包含層 南半	II層 (No1)	常滑	甕		体部	-	-	-	69.9		12世紀	117	100
1210	G2	G2区bグリッド	II層	常滑	甕		体部	-	-	-	11.7		12世紀	117	100
1211	G4	G4区	III層上	常滑	甕		口縁部	-	-	-	19.9		12世紀	117	100
1212a 1212b	G4	SZ101	埋土1層	常滑	甕	2型式	口縁部~底部	(40.6)	(16.0)	<61.0>?	9,740.0	a・b 同一個体	12世紀 第3四半期	118	100
1213	G4	P1305	埋土	渥美	甕		体部	-	-	-	35.3		12世紀	119	101
1214	E3	SK109 西半	埋土上位	渥美	甕		体部	-	-	-	357.2		12世紀	119	101
1215	F1	SK110 西半	埋土5層	渥美	甕		底部	-	(14.6)	<4.2>	210.0		12世紀	119	101
1216	G2	SK115	埋土1層	渥美	甕		口縁部	(54.2)	-	<5.7>	443.9		12世紀	119	101
1217	G4	SK127 東半	埋土1層	渥美	甕		体部	-	-	-	308.1		12世紀	119	101
1218	D	SD104	埋土1層 (No4)	渥美	甕		体部	-	-	-	75.8		12世紀	119	101
1219	D	SD104	埋土1層 (No2)	渥美	甕		体部	-	-	-	87.7	端部再 利用?	12世紀	119	101
1220	G5	SD118	埋土	渥美	甕		体部	-	-	-	41.0		12世紀	119	101
1221	G3	SD122	埋土2層	渥美	甕		体部	-	-	-	192.8		12世紀	119	101
1222	G3	SD123	埋土8層	渥美	片口鉢		口縁部	-	-	-	52.9		12世紀	119	101
1223	G3	SD123	埋土6層	渥美	甕		体部	-	-	-	36.3		12世紀	119	101
1224	B	B区西端	黒色土層	渥美	片口鉢?		底部	-	(13.5)	<2.6>	57.7	底部に 漆付着	12世紀	119	101
1225	E3	E3区 西半	埋土下位 (黒褐土)	渥美	甕		体部	-	-	-	88.5		12世紀	119	101
1226	G2	G2区	II層 (No7)	渥美	甕		体部	-	-	-	73.8		12世紀	119	101
1227	G4	P1327	埋土	須恵器系 陶器	甕		体部	-	-	-	23.5		12世紀	119	101
1228	G2	SK115 北半	埋土5層	須恵器系 陶器	甕		体部	-	-	-	12.4		12世紀	119	101
-	G4	P1072 南半	埋土1層	常滑	甕		体部	-	-	-	8.5		12世紀	-	-
-	G2	G2区区画d	II層	常滑	甕		体部	-	-	-	9.8		12世紀	-	-
-	G4	SD127	埋土	常滑	甕	2型式	体部	-	-	-	54.0		12世紀	-	-
-	G4	SD127	埋土	渥美	壺		頸部	-	-	-	68.1		12世紀	-	-
-	D	D区中央遺構外 (No1)		渥美	壺		頸部~体部	-	-	-	105.5		12世紀	-	-

第39表 中国産磁器観察表

(推定値)(残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	種別	器種	分類	部位	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	時期	図版No	写図No
								口径	底径	器高					
1229	G2	SK116	埋土中層	白磁	壺	Ⅲ系	体部	-	-	-	21.4	四耳壺	12世紀後半	119	101
1230	C	C区中央	黒褐土層	白磁	壺	Ⅲ系	底部	-	(9.5)	(5.5)	97.8	四耳壺	12世紀後半	119	101
1231	G	T80	I~II層	白磁	皿	V・VI類	体部	-	-	-	1.2		12世紀前半	119	101
1232	G	T74	I層	青磁	碗	I~V類	体部	-	-	-	10.0	龍泉窯蓮花文	12世紀中頃	119	101

第40表 中世の磁器観察表

(推定値)(残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	部位	分類	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	時期	図版No	写図No
							口径	底径	器高					
1251	E1	P1101 北半	埋土3層	碗	体部	染付	-	-	-	12.6	明、内外面染付	16世紀	119	101
-	不明	不明	不明	碗	体部	染付	-	-	-	5.5	明、内外面染付	16世紀	-	-

第41表 近世・近代の陶磁器観察表

(推定値)(残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	種別	産地	計測値 (cm)			重量 (g)	胎土	釉薬・絵付	備考	時期	図版No	写図No
							口径	底径	器高							
1301	G5	SK121	埋土1層	碗	陶器	大堀相馬	(9.7)	(3.9)	5.8	49.4	灰色	灰釉	腰折碗	18世紀後半	120	102
1302	G4	SK126	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	-	-	452.7	陶			明治	120	102
1303	G4	SD127	埋土	土瓶(注口)	陶器	大堀相馬	-	-	-	20.8	灰白色	鉄緑絵			120	102
1304	G4	SD127	埋土	土瓶(蓋)	陶器	大堀相馬	7.5	3.4	1.5	31.5	灰白色	鉄緑絵			120	102
1305	G4	SD127	埋土	こね鉢	陶器	大堀相馬	22.7	12.4	12.3	727.4	灰白色	灰釉	内面に目跡	17~18世紀	120	102
1306	G4	SD127	埋土	鉢?	陶器	大堀相馬	17.6	7.2	9.4	424.3	黄褐色	薬灰釉	内面に目跡	19世紀代	120	102
1307	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	(13.7)	(6.0)	6.1	106.5	灰褐	鉄釉	内底面磨減 7本	江戸	120	102
1308	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	(19.0)	(7.5)	8.7	155.5	鈍い赤褐	鉄釉?	内底面磨減	江戸	120	102
1309	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	(19.0)	(8.6)	7.8	139.0	褐灰	鉄釉	内底面磨減	江戸	120	102
1310	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	-	-	155.0	灰褐	鉄釉		江戸	120	102
1311	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	-	-	248.1	灰褐	鉄釉		江戸	120	102
1312	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	-	-	243.8	灰褐	鉄釉		江戸	121	103
1313	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	(17.4)	(10.7)	370.5	灰褐	鉄釉	内底面磨減 10本	江戸	121	103
1314	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	11.6	(16.2)	1,248.7	赤褐・灰褐	鉄釉	内底面磨減(回転切り)	江戸	121	103
1315	G4	SD127	埋土	搦鉢	陶器	在地?	-	(14.6)	(5.7)	212.2	赤褐	素焼き	御目粗い 10本	江戸	121	103
1316	G	T72	I層	碗	陶器	大堀相馬	-	4.1	(3.2)	71.3	灰色	灰釉・鉄釉		19世紀	121	103
1317	G4	SK124	埋土1層 南半	皿?	磁器	瀬戸	-	-	-	5.4	白色	染付		19世紀前半	122	104
1318	G4	SK126	埋土1層	碗	磁器	不明	(9.6)	3.4	5.4	28.6	白色	染付		明治	122	104
1319	G4	SK126	埋土	小碗	磁器	不明	-	(3.0)	(3.8)	22.2	白色	銅版刷?	刷色 赤と青	明治	122	104
1320	G4	SK126	埋土	碗	青磁	不明	4.4	3.4	4.5	104.3	白色		飛びカンナの上に青磁釉	明治	122	104
1321	G4	SK126	埋土1層	皿	磁器	不明	(10.7)	(7.0)	2.1	28.5	白色	型紙		明治	122	104
1322	G4	SK126	埋土	皿	磁器	不明	9.8	3.2	1.8	31.4	白色	型おこし	壽文皿	明治	122	104
1323	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	-	6.0	(5.0)	81.0	白色	染付		19世紀前半	122	104
1324	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	(10.3)	(4.2)	5.7	50.1	白色	染付		19世紀前半	122	104
1325	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	(11.7)	-	(5.5)	113.9	白色	染付		19世紀中葉	122	104
1326	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	(9.6)	3.6	4.8	50.7	白色	染付?		明治	122	104
1327	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	(11.0)	(4.2)	5.7	52.9	白色	型紙刷	330とセット	明治	122	104
1328	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(11.4)	3.9	5.2	49.6	白色	型紙刷		明治	122	104
1329	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(11.2)	3.8	5.1	118.1	白色	型紙刷		明治	122	104
1330	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(11.2)	(3.9)	5.13	72.5	白色	型紙刷		明治	122	104
1331	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	11.2	4.2	5.8	173.1	白色	型紙刷		明治	122	104
1332	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(11.2)	(4.2)	5.5	97.4	白色	銅版刷?		明治	122	104
1333	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(11.4)	(3.9)	4.85	73.9	白色	銅版刷?	刷色 青と緑	明治	122	104
1334	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(12.2)	3.6	4.5	42.0	白色	型紙刷?		明治	123	105
1335	G4	SD127	埋土	碗	磁器	不明	(11.2)	(3.4)	(4.6)	48.6	白色	緑茶釉		明治	123	105
1336	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	8.7	3.6	4.0	31.3	白色	染付		19世紀前半	123	105
1337	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	(8.6)	(2.8)	4.0	34.4	白色	染付		明治	123	105
1338	G4	SD127	埋土	猪口	磁器	不明	7.6	3.7	4.0	45.3	白色	染付?		明治	123	105
1339	G4	SD127	埋土	盃?	磁器	瀬戸	(6.9)	(2.3)	3.0	21.0	白色	染付?		19世紀代	123	105
1340	G4	SD127	埋土	碗	磁器	肥前	7.3	(7.0)	4.8	29.1	灰色	染付		18世紀末	123	105
1341	G4	SD127	埋土	碗	磁器	瀬戸	(12.4)	(8.2)	6.3	154.9	白色	染付	蓋付?	明治	123	105
1342	G4	SD127	埋土	湯呑	磁器	不明	(6.9)	4.2	7.1	70.1	白色	染付?	底面に銘	明治	123	105
1343	G4	SD127	埋土	蓋	磁器	瀬戸	(9.0)	(3.5)	2.4	25.4	白色	染付	底面に銘	19世紀前半	123	105
1344	G4	SD127	埋土	蓋	磁器	瀬戸	(9.4)	3.4	2.7	48.2	白色	型紙刷	331とセット	明治	123	105
1345	G4	SD127	埋土	蓋	磁器	瀬戸	10.2	4.0	2.9	64.2	白色	染付		明治	123	105
1346	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	9.2	4.4	2.0	56.8	白色	染付型紙刷	型おこし	(18世紀?)	123	105
1347	G4	SD127	埋土	皿	磁器	瀬戸	8.0	(4.2)	2.5	50.0	白色	染付?	型おこし	19世紀代	123	105
1348	G4	SD127	埋土	皿	磁器	肥前	(14.6)	(9.0)	4.0	129.2	白色	染付	蛇の目高台	18世紀末	123	105
1349	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	11.0	6.5	2.9	120.5	白色	染付?	型おこし	明治	123	105
1350	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	(10.6)	5.6	2.0	71.9	白色	型紙刷		明治	124	106
1351	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	-	-	-	78.9	白色	型紙刷		明治	124	106
1352	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	12.4	6.8	2.3	143.2	白色	型紙刷		明治	124	106
1353	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	(10.8)	6.4	1.9	42.6	白色	型紙刷		明治	124	106
1354	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	10.2	5.2	1.9	67.4	白色	染付		明治	124	106
1355	G4	SD127	埋土	皿	磁器	瀬戸	(14.0)	(8.2)	4.4	74.6	白色	染付	凹蛇目高台	明治	124	106
1356	G4	SD127	埋土	皿	磁器	不明	22.7	13.5	3.7	390.5	白色	型紙刷		明治	124	106
1357	G	T75	I層	碗	磁器	肥前	(9.0)	4.6	4.8	53.6	灰色	染付		明治	124	106
1358	G	T75	I層	鉢?	磁器	不明	(7.7)	7.9	4.6	95.2	白色	型紙刷		明治	124	106
1359	G	G区	I層	蓋	磁器	瀬戸	9.3	3.7	3.0	61.7	白色	型紙刷		明治	124	106

第42表 石製品観察表

(推定値)(残存値)

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	石材	産地	時代	備考	種別	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ								
1401	G4	SK126	埋土	硯	13.95	8.0	2.3	487.6	頁岩(スレート)	北上山地	古生代	裏面に刻銘 「赤石組第三部大沼喜悦」	石製品	125	107

第43表 金属製品観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載No	区域名	出土地点	層位	製品名	計測値 (cm)			重量 (g)	備考	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ				
1411	E2	SK107付近	検出面(No1)	棒状鉄製品	47.3	-	0.9	134.2	断面円形、両端は平坦で一端が湾曲する。	125	107
1412	G4	SD127	埋土	シャベル?	16.1	15.9	4.2	543.3		125	107
1413	G4	SD127	埋土	寛永通寶	外径: 2.35×2.35	内径: 0.66×0.68	0.14	2.1	新寛永(初鑄年1697) 歪み有	125	107
1414	G4	SD127	埋土	竜1銭銅貨	外径: 2.70×2.60	-	0.14	4.8	明治6(1873)~明治21(1888)。一端を欠く。	125	107

第44表 ガラス製品観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	種別	産地	計測値 (cm)			重量(g)	胎土	備考	図版No	写図No
							口径	底径	器高					
1421	G4	SD127	埋土	コップ	ガラス製品	-	5.2	3.2	6.0	42.3	透明	コップガラス製品	125	107
1422	G4	SD127	埋土	瓶	ガラス製品	-	2.3	-	(3.6)	14.0	茶色	1906年頃コルク栓	125	107

第45表 木製品観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			樹種	備考	時代	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ					
1431	C	SK105	埋土 (No1)	井戸枠(縦板)	(68.0)	26.8	4.8	アスナロ	堅板、上端を欠く、C14年代測定(木片)	古代	126	108
1432	C	SK105	埋土 (No2)	井戸枠(縦板)	(62.9)	34.9	5.4	アスナロ	上端を欠く	古代	126	108
1433	C	SK105	埋土 (No17)	井戸枠(横棧)	67.5	7.2	5.4	クリ	横棧、両端凸部	古代	127	108
1434	C	SK105	埋土 (No18)	井戸枠(横棧)	65.9	8.1	5.1	クリ	横棧、両端凹部	古代	127	108
1435	C	SK105	埋土 (No11)	井戸枠(横棧)	60.4	7.4	4.8	クリ	横棧、両端凹部	古代	127	108
1436	C	SK105	埋土 (No5)	井戸枠(横棧)	66.5	7.5	5.4	クリ	横棧、両端凹部	古代	127	109
1437	E2	SK106 西半	埋土4層	板材	(33.3)	2.4	0.6	アスナロ	両端、一側面を欠く	12世紀	128	109
1438	E2	SK106 南半	埋土4層 (No1)	板状の製品	(25.2)	2.9	0.7	アスナロ	一端を欠く	12世紀	128	109
1439	E2	SK113 南半	埋土	漆器椀	-	-	(3.1)	ケヤキ	内外面黒漆	12世紀	128	109
1440	E2	SK107 南半	埋土中位黒褐色土	漆器椀	-	(8.0)	(3.2)	ケヤキ	内面黒漆、底部黒漆	12世紀	128	109
1441	E2	SK107 南半	埋土中位黒褐色土	漆器椀	-	-	(4.8)	ケヤキ	内外面黒漆	12世紀	128	109
1442	E2	SK107 南半	埋土5層 (No17)	曲物蓋?	21.9	5.0	1.0	スギ		12世紀	128	109
1443	E2	SK107 南半	埋土5層 (No19)	折敷?	(9.6)	36.7	0.5	アスナロ	2箇所を紐で留める	12世紀	128	109
1444	E2	SK107 南半	埋土5層 (No16)	棒状の製品	(39.3)	3.1	1.8	コナラ属コナラ亜属コナラ節	一端を欠く	12世紀	128	109
1445	E2	SK107 南半	埋土5層 (No11)	部材	85.1	13.4	7.4	クリ	柄穴あり、径7.5cm	12世紀	129	110
1446	E2	SK107 南半	埋土5層 (No10)	部材	(72.9)	(6.7)	5.1	クリ	欠損品	12世紀	129	110
1447	E2	SK107 南半	埋土4層	部材	(56.0)	6.7	2.7	アスナロ	両端を欠く	12世紀	129	110
1448	G5	SK113	埋土2層	杵?	26.4	7.8	7.0	ミズキ属	柄11.0×3.8cm 上面と側面に使用痕有	12世紀	130	110
1449	G2	SK115	埋土2層	曲げ物底板?	30.9	(5.7)	0.8	スギ	端部に穿孔あり	12世紀	130	110
1450	G2	SK115 北半	埋土3層	木錘	12.2	5.2	3.9	クリ	形状がかなり崩れている	12世紀	130	110
1451	G2	SK115	埋土4層	板状木製品	(12.3)	3.5	0.5	アスナロ	両端を欠く	12世紀	130	111
1452	G2	SK115 北半	埋土3層	不明木製品	(18.7)	2.0	0.5	スギ	端部に一對穿孔あり	12世紀	130	111
1453	G2	SK115	埋土3層	不明木製品	33.9	2.0	1.0	アスナロ	先端6.3×2.0の長五角形 柄の一部が炭化している	12世紀	130	111
1454	G2	SK116	埋土3層	漆容器	16.0	19.4	10.4	ケヤキ	内外面黒漆?挽物、内面に渦状文	12世紀	130	111
1455	G2	SK116 西半	埋土	連歯下駄	23.6	11.7	5.5	ケヤキ	連歯	12世紀	131	111
1456	G2	SK116	埋土3層	編物	(9.9)	(13.7)	(0.1)		6本超え、6本潜り、2本送り、天地不明	12世紀	131	111
1457	G4	SK125 北半	埋土1層	連歯下駄	22.4	12.5	6.3	クリ	連歯	近世	131	111

第46表 土製品観察表

(推定値)〈残存値〉

掲載No	区域名	出土地点	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	胎土	図版No	写図No
					長さ	幅	厚さ				
1501	G2	SK115	1層	羽口?	(3.0)	(2.5)	(2.4)	5.5	スサ入る	-	112
1502	G2	SK115 北半	埋土2層	土壁?	(6.3)	(6.9)	3.3	89.4	橙色	-	112

第47表 動物遺体観察表

(推定値)〈残存値〉

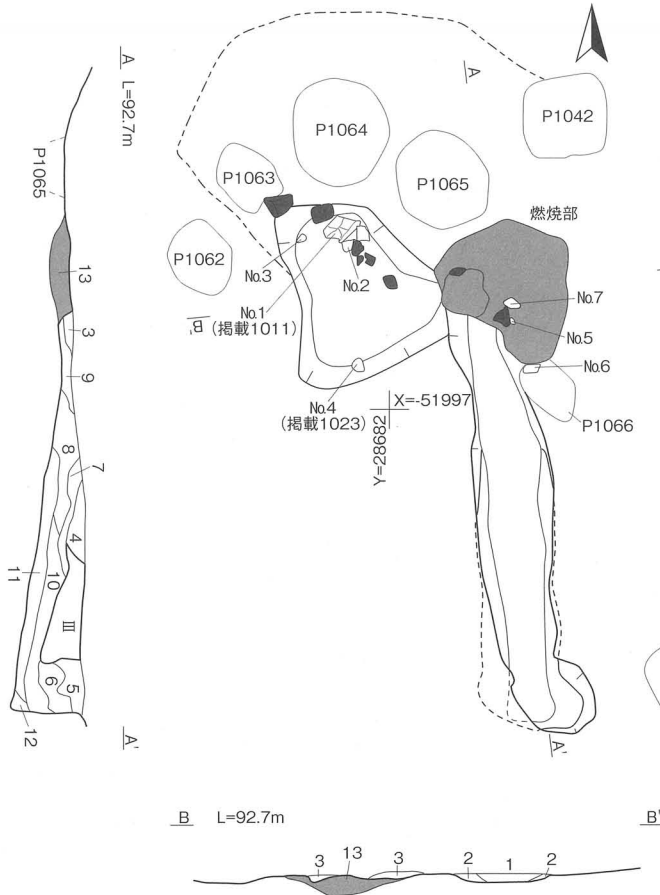
掲載No	区域名	出土地点	層位	種名	部位	左右・数	近・遠	焼骨	重量(g)	備考	図版No	写図No
1511	G2	SI103 カマド	燃焼部上	不明	不明	-	-	○	1.0	中型以上の動物?	-	112
1512	G6	P1111	埋土	シカ	鹿角	R1?	-	×	48.1		-	112
1513	B	SD101	埋土	ウマ	臼歯片	-	-	×	23.0		-	112

第48表 植物遺体観察表

(推定値)(残存値)

掲載No.	区域名	出土地点	層位	種名	重量(g)	備考	図版No.	写真No.
1521	C	SK105 南半	埋土下位(黒褐土)	モモ	2.1	分析2.1g 1	-	112
1522	G2	SK115	埋土2層	モモ	2.7		-	112
1523	G2	SK115	埋土3層	トチ	4.1	分析2.0g 1	-	112
1524	G2	SK115	埋土3層	クルミ	2.7		-	112
1525	G2	SK115 北半	埋土3層	モモ	2.7	分析2.7g 1	-	112
1526	G2	SK116 西半	埋土3層	クルミ	2.8	分析2.8g 1	-	112
-	G4	P1319 北半	埋土1層	モモ	1.3		-	-
-	G4	P1330	埋土	モモ	1.5		-	-
-	G6	P1111	埋土	クルミ	0.3		-	-
-	G6	P1111	埋土2層	モモ	3.8		-	-
-	C	SK105 北半	埋土1層	モモ	2.8		-	-
-	E	SK107	埋土5層	モモ	1.1		-	-
-	E3	SK109	埋土	クルミ	3.2		-	-
-	G5	SK112	埋土1層	モモ	1.7		-	-
-	G2	SK115	埋土	クルミ	12.3		-	-
-	G2	SK115	埋土2層	モモ	1.4		-	-
-	G2	SK115	埋土2層	不明	0.2		-	-
-	G2	SK115	埋土2層	クルミ	7.9		-	-
-	G2	SK115 北半	埋土2層	クルミ	3.5		-	-
-	G2	SK115 北半	埋土3層	クルミ	9.2	分析2.3g 1	-	-
-	G2	SK115 北半	埋土4層	クルミ	2.2		-	-
-	G2	SK115 北半	埋土4層	クルミ	1.0		-	-
-	G5	SK121	埋土1層	モモ	1.1		-	-
-	G4	SK124 南半	埋土1層	モモ	2.8		-	-
-	G4	SK124 北半	埋土1層	モモ	0.8		-	-
-	G5	SD117	埋土	モモ	2.0		-	-
-	G5	SD117	埋土	クルミ	2.4		-	-
-	G5	SD117	埋土1層	モモ	0.5		-	-
-	F2	F2区	II層	クルミ	0.4		-	-
-	F4	F4区	II層	モモ	0.5		-	-
-	G6	G6区	II層	クルミ	2.6		-	-

SI101 (C区)

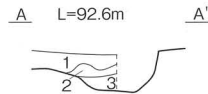
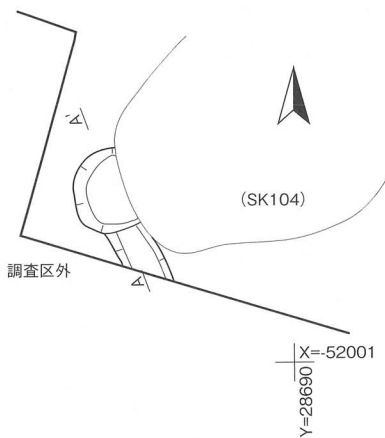


SI101カマド

- 1 5YR5/8 明赤褐色 シルト しまり中
黒褐色土 (φ1mm) を3%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
焼土ブロック (φ~5mm) を15%含む。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山ブロック、焼土ブロック (φ~1cm) を10%、
炭化物 (φ1~3mm) を2%全体に含む。
- 4 10YR2/3 黒褐色 シルト (やや砂質) しまり密
地山ブロック30%、被熱ブロック5%、
焼土ブロック5% (φ~1cm) を含む。
- 5 10YR2/3 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや密
地山ブロック40%を細かく含む。地山が汚れた感じ。
- 6 5YR3/3 暗赤褐色 シルト しまりやや密 壁被熱。
崩落ブロック層
- 7 10YR2/3 黒褐色 シルト
地山ブロック1%、炭化物2%、
焼土ブロック5% (φ1~2mm) を含む。
- 8 5YR3/3 暗赤褐色 シルト しまり密
6層より明るい。地山ブロックが被熱したものが主体。
焼土ブロック (φ~1cm) を20%、
黒褐色土ブロック (φ1~2mm) を2%含む。
- 9 5YR3/3 暗赤褐色 シルト しまり密
8層と同じ主体土だが、焼土ブロックを3%程度含む。
- 10 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
地山ブロック10%、焼土ブロック5%、
炭化物2% (φ~5mm) を斑状に含む。
- 11 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
地山ブロック (φ1mm) を2%、
焼土ブロック (φ~2mm) を3%を斑状に含む。
- 12 地山砂質シルト崩落層。やや汚れ、黒味あり。
- 13 5YR4/8 赤褐色 シルト 焼土。
地山シルト (やや砂質) 層が被熱したもの。焼成あり。

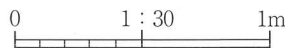
●...礫 ■...焼土

SI102 (C区)

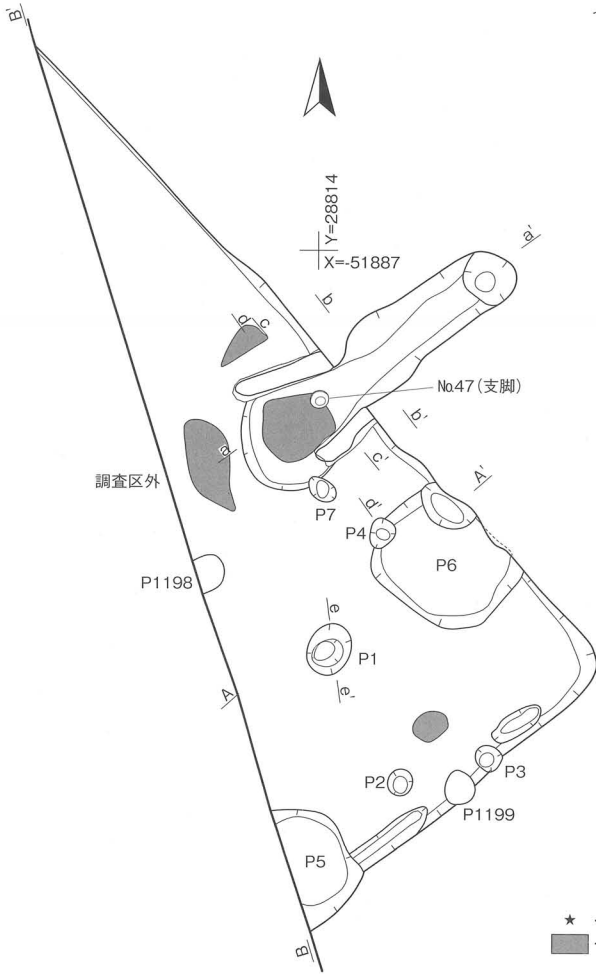


SI102

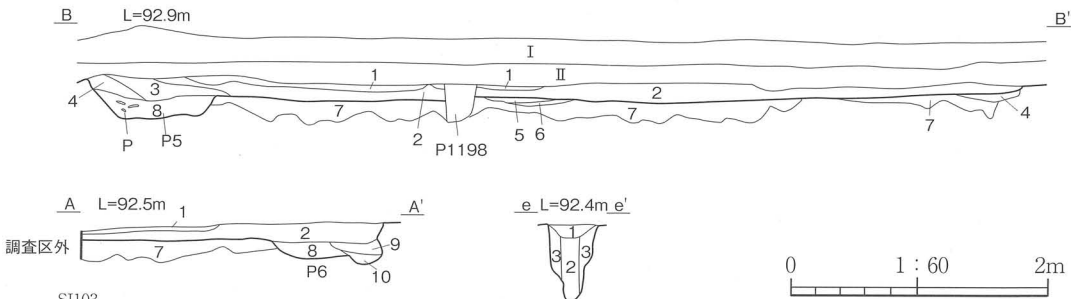
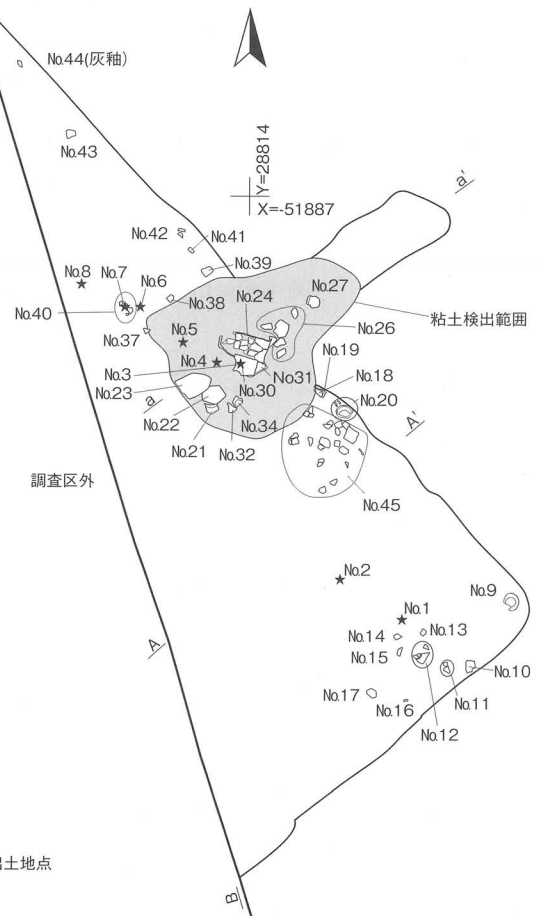
- 1 7.5YR2/3 極暗褐色 シルト しまりやや密
斑状の地山 (~0.5cm) 5%・炭 (0.5~1cm) 1%・焼土粒 (1mm) 1%含む。
- 2 7.5YR2/3 極暗褐色 シルト しまり中
1層よりやや明るい。被熱した地山ブロック30%含む。
- 3 7.5YR2/3 極暗褐色 シルト しまり中
層状の地山ブロック10%・黒褐色土ブロック10%含む。



SI103 (G2区)



遺物出土状況



SI103

- 1 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり密 黒色シルト (10YR2/1)との混土。
- 2 10YR1.7/1 黒色 シルト しまり密 酸化鉄分5%含む。
- 3 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂質土ブロック (φ1~2cm)を5%含む。
- 4 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや疎
- 5 10YR5/6 黄褐色 シルト しまり密
- 6 5YR3/4 暗赤褐色 シルト しまり疎 焼土
- 7 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 褐色砂質土 (10YR5/6)との混土。貼床
- 8 10YR3/4 暗褐色 砂質土 しまり密 焼土ブロック (φ1cm)を5%、炭化物粒 (φ3~5mm)を3%含む。(P5・P6)
- 9 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ1cm)を3%含む。(P6)
- 10 10YR3/3 暗褐色 砂 しまり疎 褐色土ブロック (φ1cm)を3%含む。(P6)

SI103 P1

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 褐色砂粒 (φ5mm) 3%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色砂ブロック (φ3~5cm)を10%含む。
- 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり中 黒褐色土ブロック (φ3cm)を3%含む。

SI103 P2

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 褐色土粒 (φ5~7mm)を3%含む。

SI103 P3

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密

SI103 P4

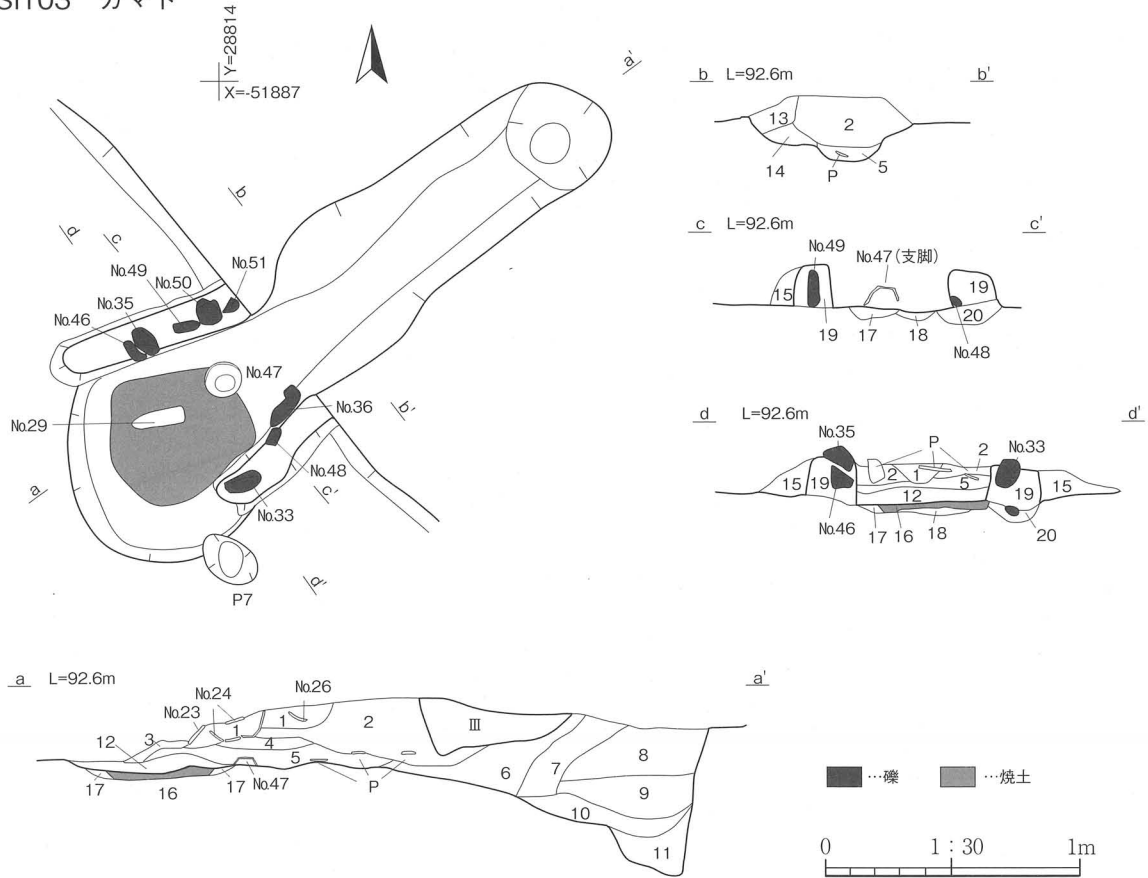
- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 褐色土粒 (φ5~7mm)を3%含む。

SI103 P5

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり疎 焼土ブロック (φ1cm)を5%含む。炭化物粒 (φ3~5mm)を1%含む。

第84図 SI103 (1)

SI103 カマド



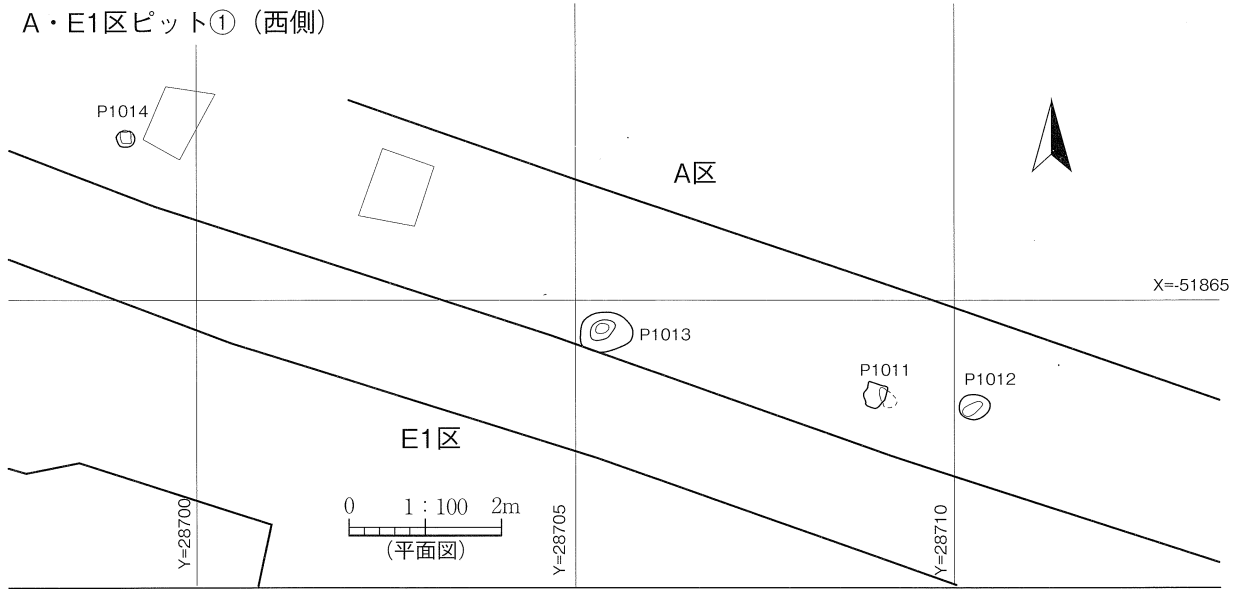
SI103 カマド

- 1 10YR1.7/1 黒色 シルト しまり密 におい黄褐色粘土ブロック (φ2~3cm) を5%含む。
- 2 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり密 焼土ブロック (φ1cm) を3%含む。(天井部崩落土)
- 3 10YR5/4 におい黄褐色 粘土質シルト しまり中 黒色土ブロック (φ1cm)、焼土粒 (φ5~7mm) を20%含む。(天井部崩落土)
- 4 10YR3/4 暗褐色 シルト しまりやや密
- 5 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 焼土粒~ブロックを10%含む。
- 6 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 焼土ブロック (φ1~2cm) を3%、灰ブロック (φ1~2cm) を3%含む。
- 7 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり疎 焼土ブロック (φ3~4cm) を15%含む。
- 8 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり疎 粘土ブロック (φ1~2cm) を3%含む。
- 9 10YR3/3 暗褐色 シルト しまりやや疎 焼土粒 (φ5~9mm) を10%含む。
- 10 10YR2/1 黒色 シルト しまり疎 焼土粒 (φ5~7mm) を5%含む。
- 11 10YR1.7/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂質土 (地山) ブロック (φ1cm) を3%含む。
- 12 7.5YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり疎 焼土粒 (φ5~7mm) を20%含む。
- 13 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 におい黄褐色粘土ブロック (φ1cm) を3%含む。
- 14 10YR3/3 暗褐色 シルト しまり中 黒褐色土ブロック (φ3~4cm) を5%含む。
- 15 10YR5/4 におい黄褐色 粘土 しまりやや密 焼土を層状に含む。(天井部崩落土)
- 16 10YR5/4 におい黄褐色 シルト しまり中 焼土 (燃焼部)
- 17 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 焼土粒 (φ2~3mm) を3%含む。
- 18 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり疎 焼土を10%含む。
- 19 10YR4/4 褐色 粘土 しまり密 黒色土粒 (φ5mm) を1%含む。(袖部)
- 20 7.5YR3/4 暗褐色 シルト しまり中 焼土粒 (φ5~7mm) を7%含む。(芯材の設置痕?)

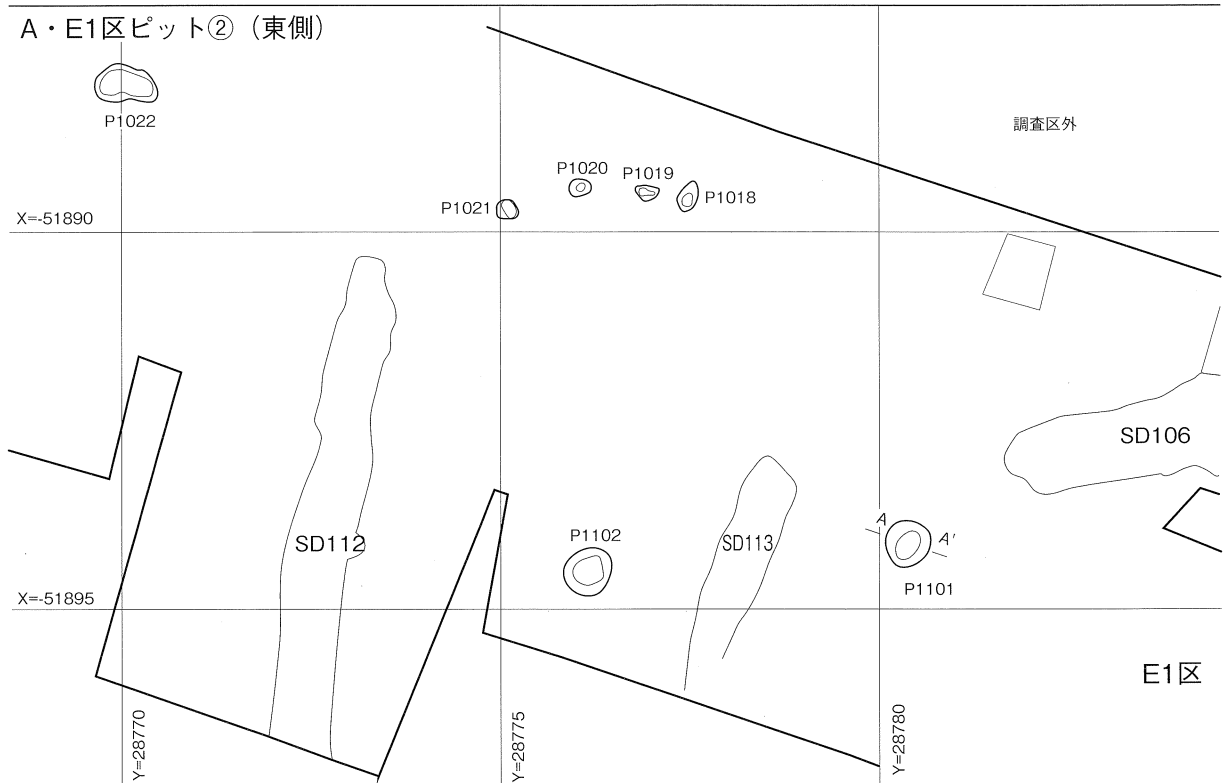
SI03 出土遺物一覧

遺物No.	種別	層位	備考	遺物No.	種別	層位	備考	遺物No.	種別	層位	備考
1	土師器 甕	床直		18	土師器 甕	床直		35	礫	カマド袖部	袖石
2	土師器 甕	床直		19	土師器 甕	床直		36	礫	カマド袖部	袖石
3	須恵器 甕	床直	掲載1024	20	土師器 甕	床直	掲載1017	37	土師器 甕	床上	
4	土師器	床直		21	土師器 甕	カマド天井部		38	土師器 甕	床上	
5	土師器	床直	掲載1015	22	須恵器 甕	カマド天井部	掲載1024	39	土師器 甕	床上	
6	土師器	床直		23	須恵器 甕	カマド天井部	掲載1024	40	土師器 甕	床上	
7	土師器	床直		24	土師器 甕	カマド天井部		41	土師器 甕	床上	
8	土師器	床直		25	土師器 甕	カマド天井部	掲載1016	42	土師器 甕	床上	
9	土師器 坏	床直		26	土師器 甕	煙道		43	土師器 甕	床上	
10	土師器 甕	床直		27	土師器 甕	煙道	掲載1014	44	須恵器 蓋	床上	掲載1027
11	土師器 甕	床直		28	土師器 甕			45	土師器 甕	床上	掲載1012・1013
12	須恵器 甕	床直		29	炭	燃焼部直上		46	礫	床上	
13	土師器	床直		30	須恵器 甕	カマド天井部	掲載1024	47	土師器 小型甕	燃焼部直上	支脚・掲載1021
14	土師器	床直		31	礫	燃焼部直上	袖石?	48	礫	カマド袖部	袖石
15	須恵器	床直	掲載1026	32	土師器 甕	カマド天井部		49	礫	カマド袖部	袖石
16	土師器	床直		33	礫	カマド袖部	袖石	50	礫	カマド袖部	袖石
17	土師器 甕	床直		34	礫	カマド天井部		51	礫	カマド袖部	袖石

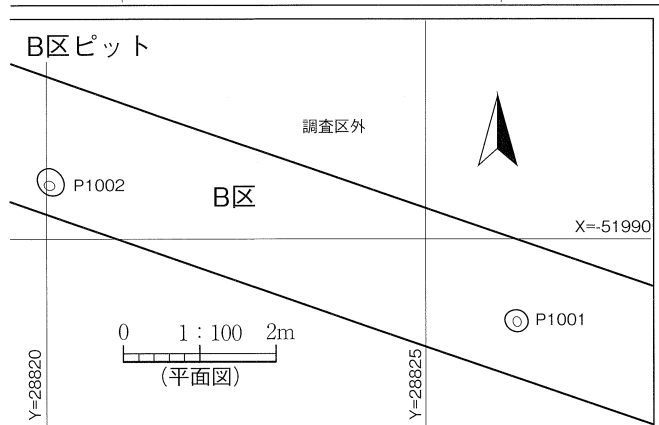
A・E1区ピット① (西側)



A・E1区ピット② (東側)

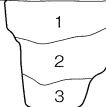


B区ピット

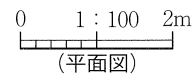
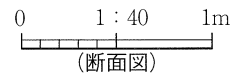


P1101

A L=92.6m A'

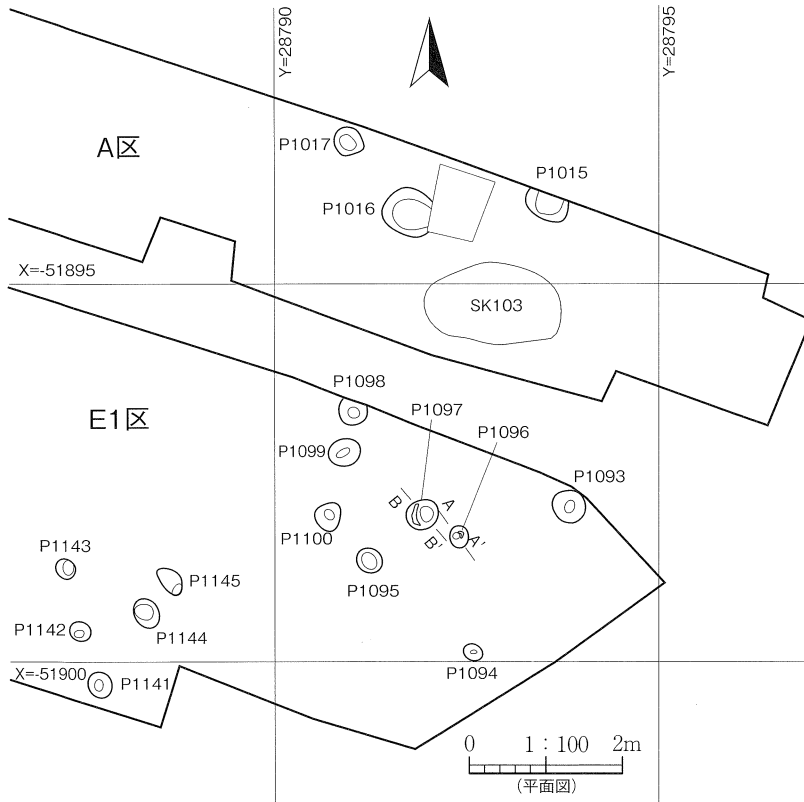


- P1101
- 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまりやや疎
炭化物粒 (φ5mm) を少量含む。
 - 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり中
褐色砂質土ブロックを1%含む。
 - 3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり疎

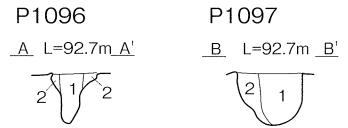


第 86 図 A・E1 区ピット①・②、B 区ピット

A・E1区ピット③ (東端)

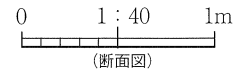


A・E1区ピット③断面図

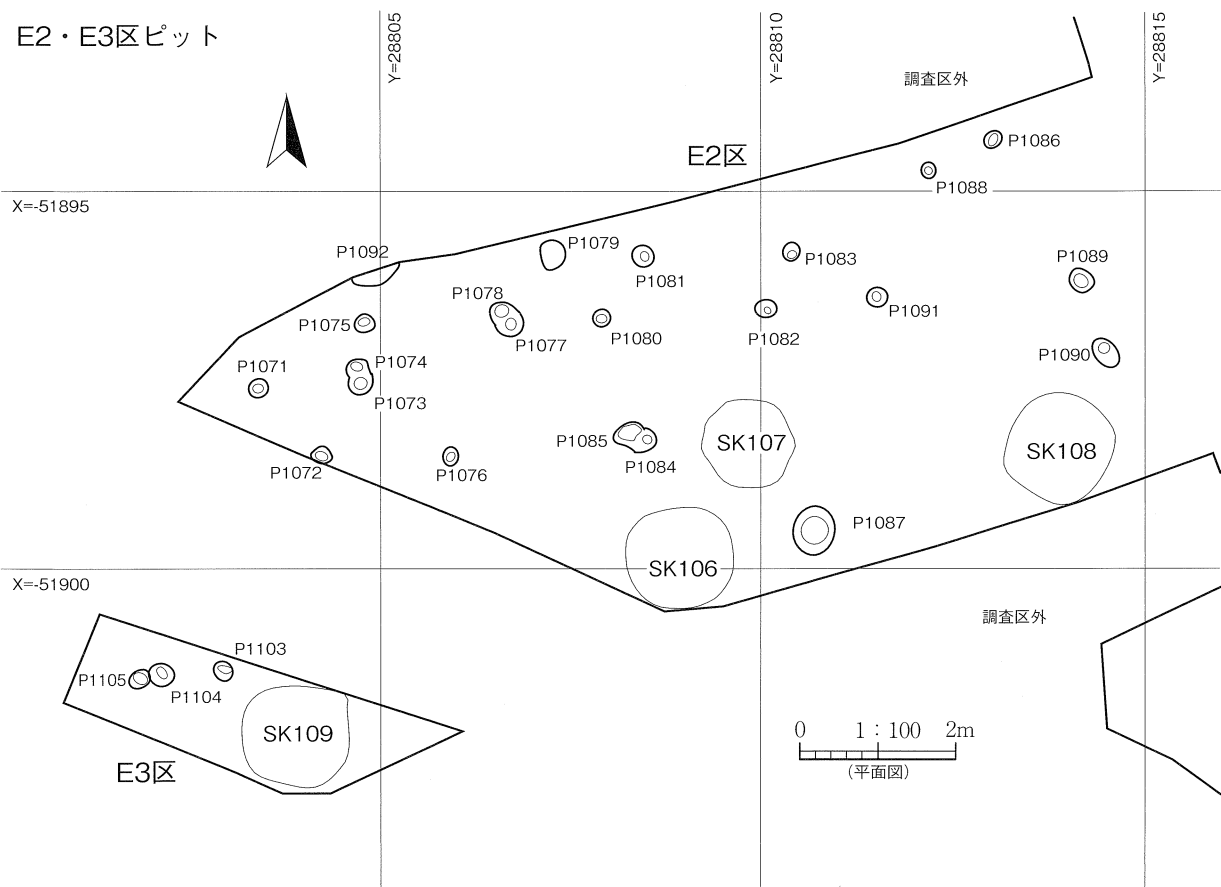


P1096
 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまり中
 褐色砂ブロック (φ1~2cm) を3%含む。柱痕か?
 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり中
 黒褐色土ブロック (φ1cm) を3%含む。

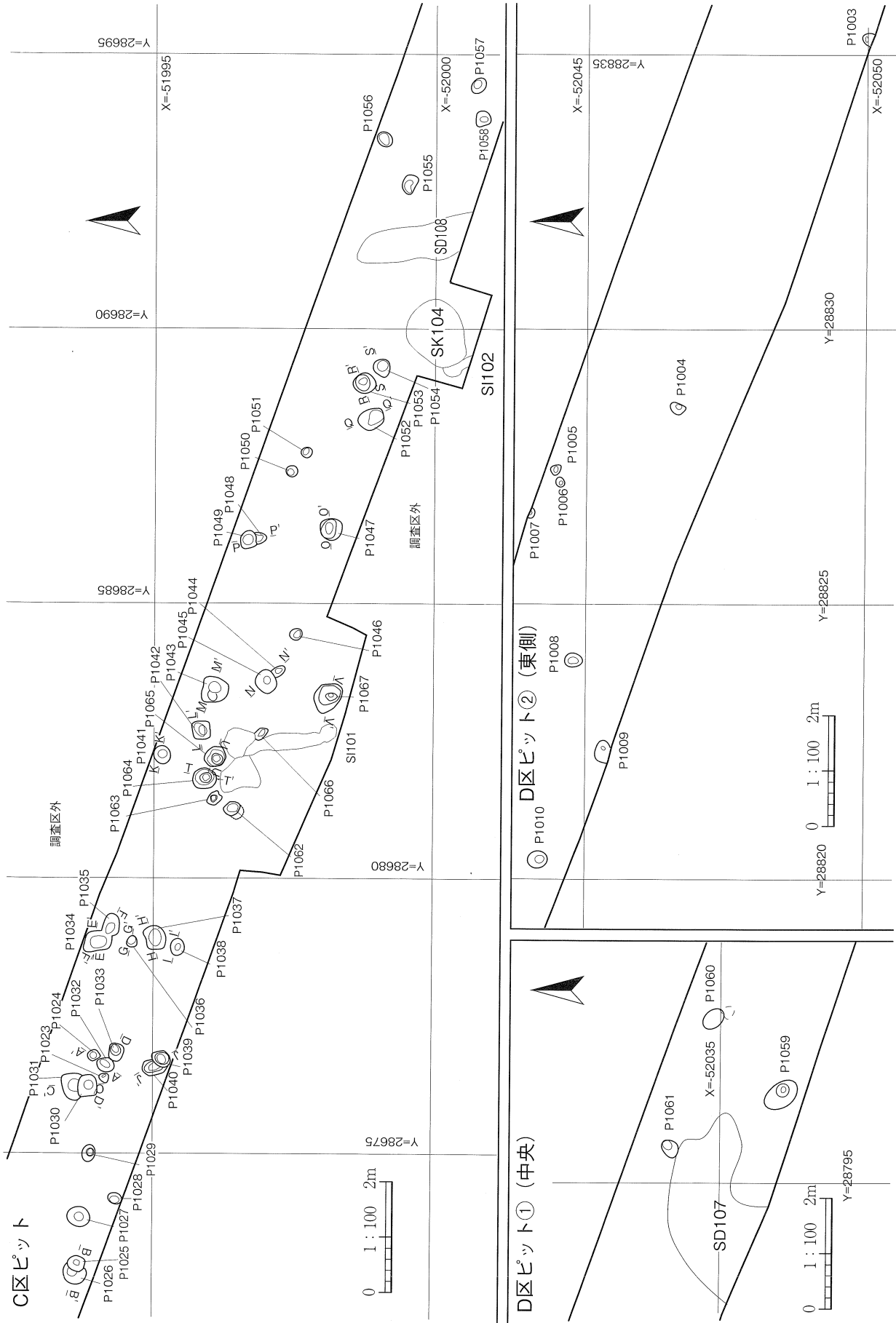
P1097
 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまりやや疎
 褐色砂質土ブロック (φ5cm) を10%含む。
 2 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまり中
 褐色砂質土粒 (φ1~2cm) を5%含む。



E2・E3区ピット

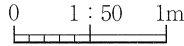


第77図 A・E1区ピット③、E2・E3区ピット



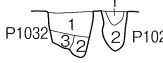
第 88 図 C・D 区ピット平面図

C区ピット断面図



P1024・P1032

A L=92.0m A'



- P1024・P1032
- 10YR4/3 におい黄褐色 シルト(やや砂質) 地山ブロック(φ~1cm)を斑状に5%含む。しまりやや密
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック1%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 地山ブロック(φ~1cm)を2%含む。

P1025・1026

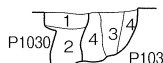
B L=91.6m B'



- P1025
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロックをまだらに40%含む。
- P1026
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロックをまだらに3%含む。

P1030・1031

C L=91.6m C'



- P1030
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山(φ~2cm)をまだらに5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまり中 地山(φ1mm)を1%含む。
- P1031
- 10YR2/3 黒褐色 シルト しまりやや疎 地山(φ1cm)を2%含む。柱痕。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ~5mm)をまだらに30%含む。炭化物(φ5mm)を1%含む。

P1033

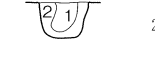
D L=91.6m D'



- P1033
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ~1cm)を斑状に10%含む。
 - 地山ブロックに黒褐色シルト(φ~2cm)を30%含む。

P1034

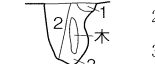
E L=91.6m E'



- P1034
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ~5mm)を含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ~1cm)を斑状に20%含む。

P1035

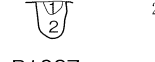
F L=91.6m F'



- P1035
- 10YR4/3 におい黄褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 グレー味あり。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや疎 地山ブロック(φ~5cm)30%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック50%以上含む。

P1036

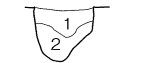
G L=91.6m G'



- P1036
- 10YR4/3 におい黄褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 グレー味あり。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ5mm~2cm)を3%含む。

P1037

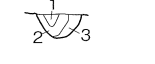
H L=91.6m H'



- P1037
- 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまり密
 - 10YR3/3 暗褐色 砂 しまり中 地山砂ブロック層。地山よりやや黒い。

P1038

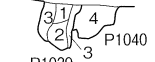
I L=91.6m I'



- P1038
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり疎
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山ブロックを大きく30%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) 地山50%、炭化物(φ1mm)を1%含む。

P1039・1040

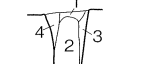
J L=91.6m J'



- P1039
- 10YR4/3 におい黄褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 グレー味あり。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ~5mm)を5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ5cm)を40%含む。
- P1040
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ~2cm)を10%含む。

P1041

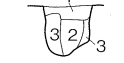
K L=91.6m K'



- P1041
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山ブロック(φ~2cm)を斑状に10%含む。
 - ボロボロの土が入っていたため、とれてしまい空洞。柱痕。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ~10cm)を斑状に30%含む。

P1042

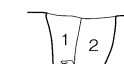
L L=91.6m L'



- P1042
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ~3cm)を斑状に5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり疎 地山ブロック(φ~2cm)を斑状に10%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまりやや密 地山ブロックを50%含む。

P1043

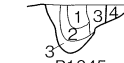
M L=91.6m M'



- P1043
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) 地山ブロック(φ~2cm)を斑状に5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) 地山ブロック(φ~2cm)を斑状に10%含む。

P1044・P1045

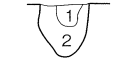
N L=91.6m N'



- P1044
- 10YR4/3 におい黄褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 グレー味あり。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 グレー味強い。
 - 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまりやや密 地山ブロック(φ~1cm)を斑状に50%以上含む。
- P1045
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロックを層状に5%含む。

P1047

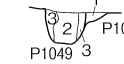
O L=91.6m O'



- P1047
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ1mm)を斑状に1%、炭化物(φ~1cm)を1%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 地山ブロック(φ1~2cm)を斑状に5%含む。

P1048・P1049

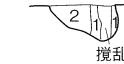
P L=91.6m P'



- P1048
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 黒味強い。地山ブロックを層状に15%含む。
- P1049
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや疎
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロックを50%以上全体に含む。

P1052

Q L=91.6m Q'



- P1052
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ1cm)を5%、黒色土ブロック(φ3cm)を10%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ1~3cm)を斑状に40%含む。

P1053

R L=91.6m R'



- P1053
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) 地山ブロック(φ1cm)を斑状に2%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ1~3cm)を斑状に40%含む。

P1054

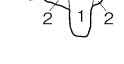
S L=91.6m S'



- P1054
- 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) 地山ブロック(φ1cm)を斑状に2%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまりやや密 地山ブロック(φ1~3cm)を斑状に40%含む。

P1064

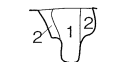
T L=92.5m T'



- P1064
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック(φ1~2mm)を7%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまり中 地山ブロック(φ1~2cm)を斑状に25%含む。

P1065

U L=92.6m U'



- P1065
- 10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック(φ1~5mm)を7%、炭化物・焼土(φ1mm)を2%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ0.5から2cm)を5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック(φ~2mm)を1%含む。

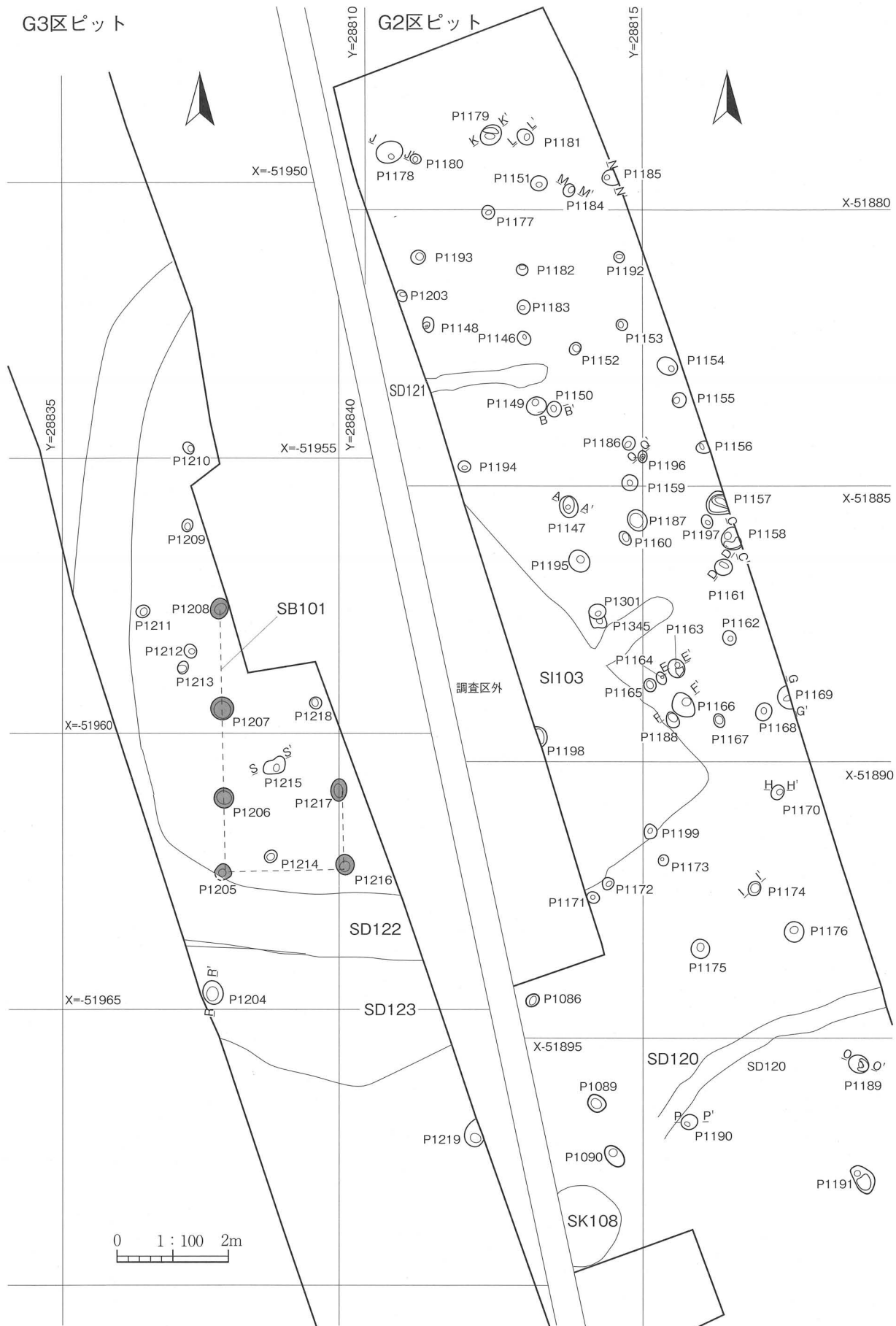
P1067

V L=92.6m V'



- P1067
- 10YR4/3 におい黄褐色 シルト(やや砂質) しまり中 地山ブロック(φ~1cm)を15%を斑状に、炭化物(φ1mm)を1%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山ブロック(φ5mm)を2%、炭化物(φ1mm)を1%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト(やや砂質) しまり疎 地山ブロック(φ1~3cm)を斑状に30%含む。

第89図 C区ピット断面図



第 90 図 G2・G3 区ピット平面図

G2区ピット断面図

P1147

A L=92.5m A'



P1147

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色土粒 (φ5mm) を5%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂質土ブロック (5cm) を30%含む。

P1150

B L=92.5m B'



P1150

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ1cm) を5%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり疎

P1158

C L=92.5m C'



P1158

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 かわらけ微細片含む。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂質土ブロック (5cm) を30%含む。

P1161

D L=92.5m D'



P1161

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色土粒 (φ5mm) を5%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 褐色土ブロック (φ2~3cm) を10%含む。

P1163

E L=92.5m E'

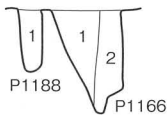


P1163

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色土ブロック (φ3cm) を5%含む。
- 2 10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまりやや密

P1166・P1188

F L=92.5m F'



P1166

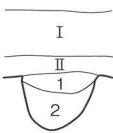
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック (φ1~2cm) を3%含む。柱痕か?
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂ブロック (φ2~3cm) を5%含む。

P1188

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック (φ1~2cm) を3%含む。

P1169

G L=92.9m G'



P1169

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 炭化物粒 (φ5mm) を1%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり疎 褐色砂ブロック (φ3~4cm) を20%含む。

P1170

H L=92.5m H'



P1170

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂粒~ブロック (3mm~3cm) を10%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎

P1174

I L=92.5m I'



P1174

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
- 2 10YR3/3 暗褐色 シルト しまり密 褐色砂質土粒 (φ5mm) を20%含む。



P1178

J L=92.4m J'



P1178

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 褐色砂質土粒~ブロック (φ5mm~3cm) を25%含む。
- 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり疎 黒褐色土ブロック (φ3~4cm) を5%含む。

P1179

K L=92.5m K'



P1179

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色砂ブロック (φ2~3cm) を10%含む。
- 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり疎 黒褐色土ブロック (φ3~4cm) を5%含む。

P1181

L L=92.5m L'



P1181

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色砂粒 (φ5mm) を3%、炭化物粒 (φ2~3mm) を1%含む。
- 2 10YR4/4 褐色 粘土質シルト しまりやや密 黒色土ブロック (φ4~5cm) を10%含む。

P1184

M L=92.5m M'



P1184

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
- 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり疎 褐色土粒 (φ3~4cm) を5%含む。

P1185

N L=92.5m N'



P1185

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 褐色土粒 (φ3mm) を3%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ5cm) を10%含む。

P1189

O L=92.5m O'



P1189

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂ブロック (φ3cm) を3%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 褐色砂ブロック (φ5cm) を10%含む。

P1190

P L=92.5m P'



P1190

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 褐色土粒 (φ3mm) を3%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ5cm) を10%含む。

P1196

Q L=92.5m Q'



P1196

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり疎 褐色砂ブロック (φ1cm) を5%含む。

G3区ピット断面図

P1204

R L=92.1m R'



P1204

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや疎 褐色砂粒 (φ7mm) を3%含む。
- 2 10YR4/4 褐色 砂 しまり中 黒色土ブロック (φ3cm) を3%含む。

P1215

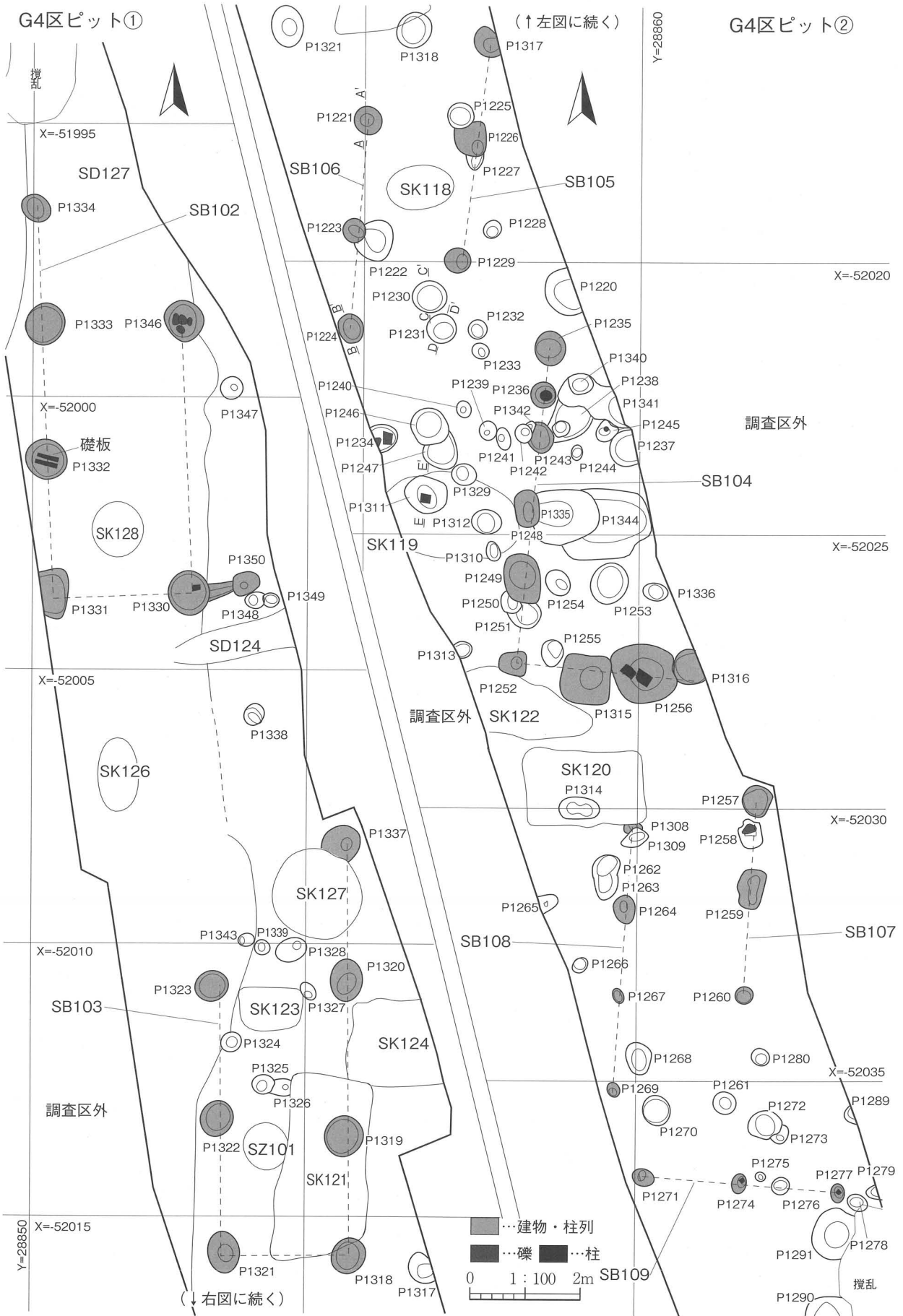
S L=92.5m S'



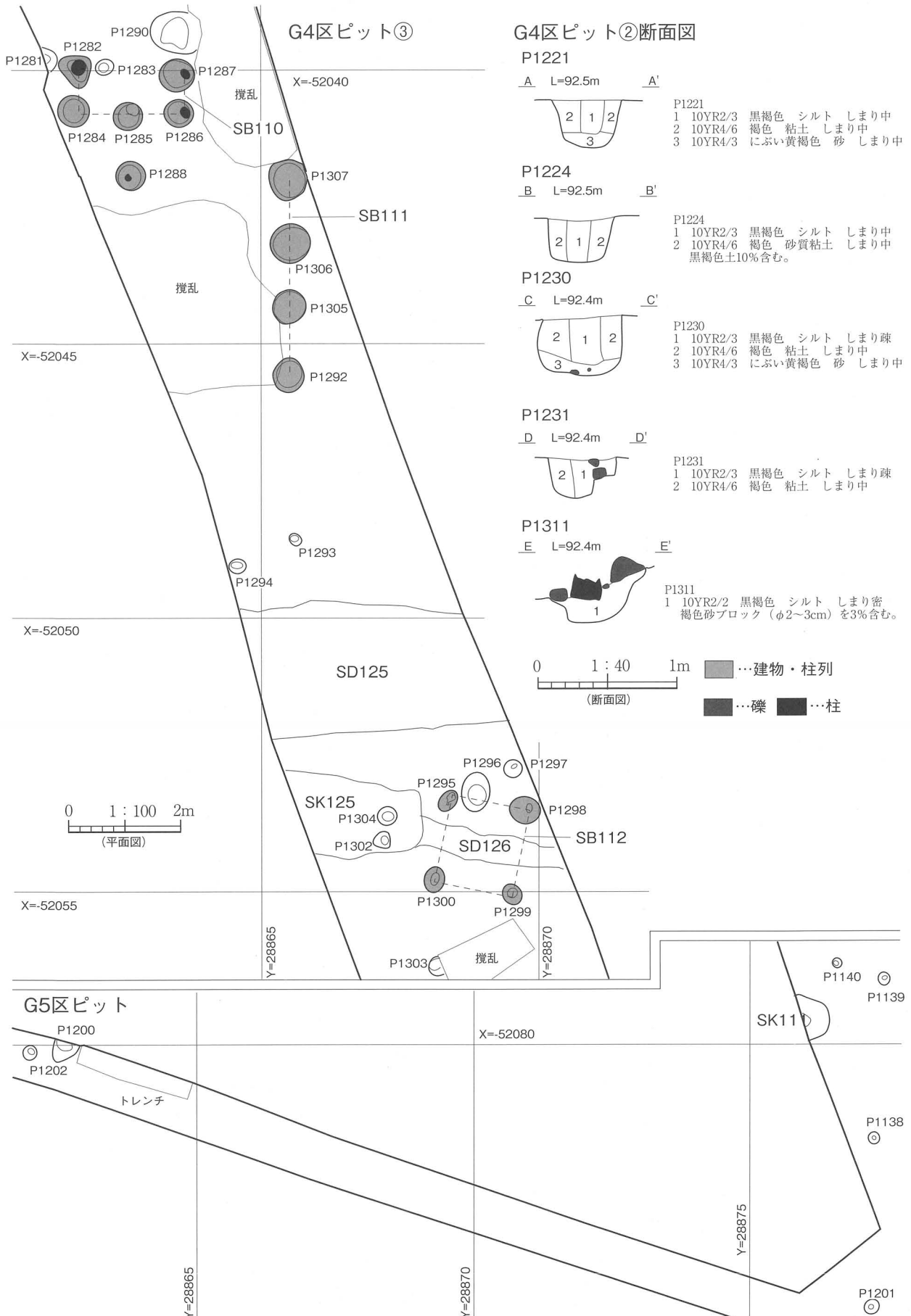
P1215

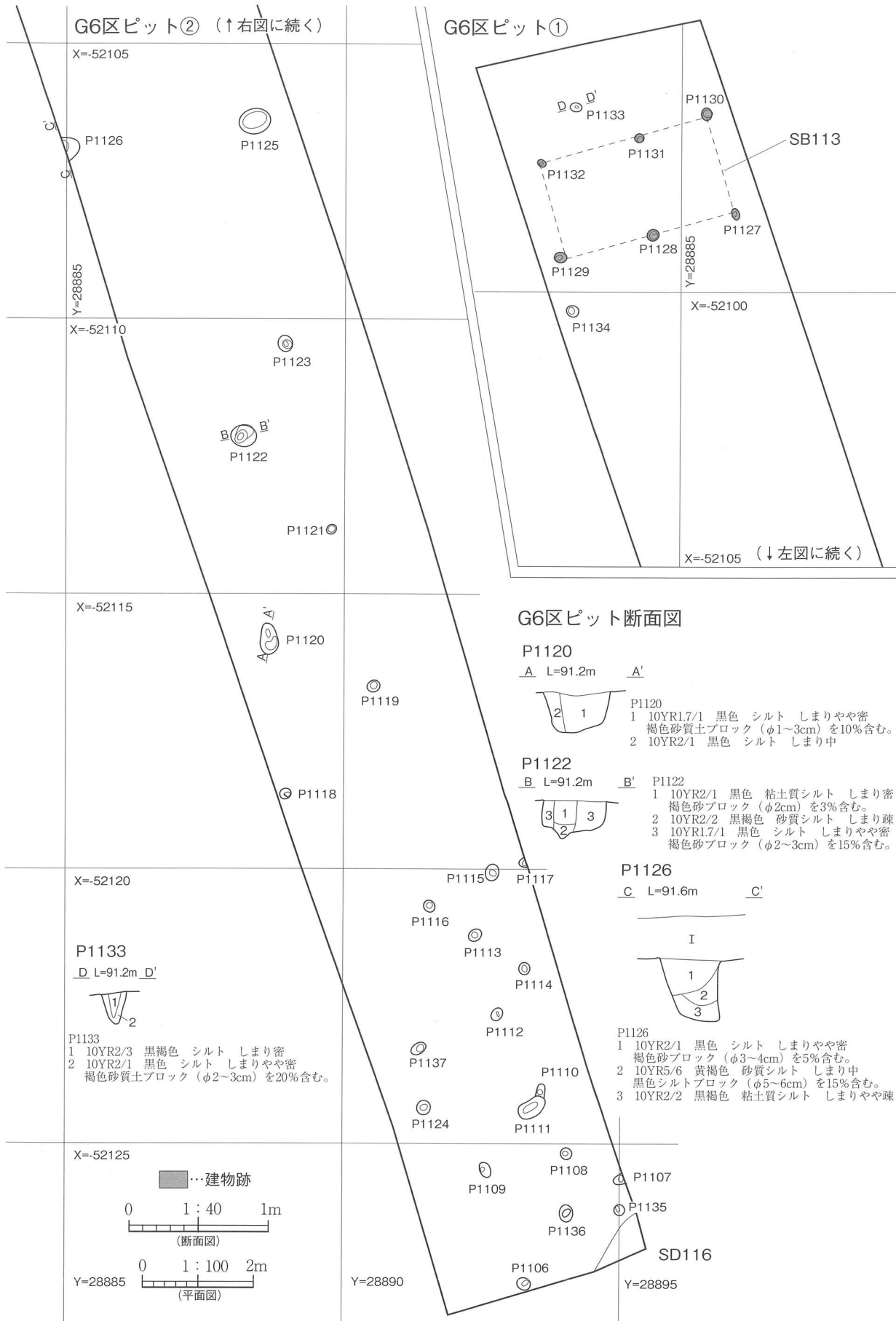
- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色砂ブロック (φ2cm) を5%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中

第91図 G2・G3区ピット断面図



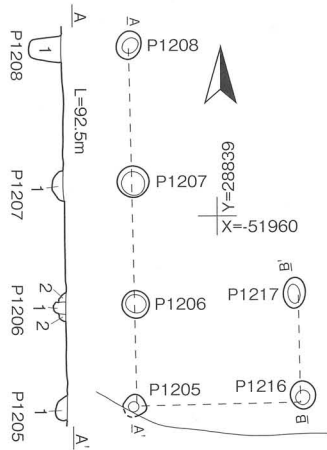
第92図 G4区ピット①・②





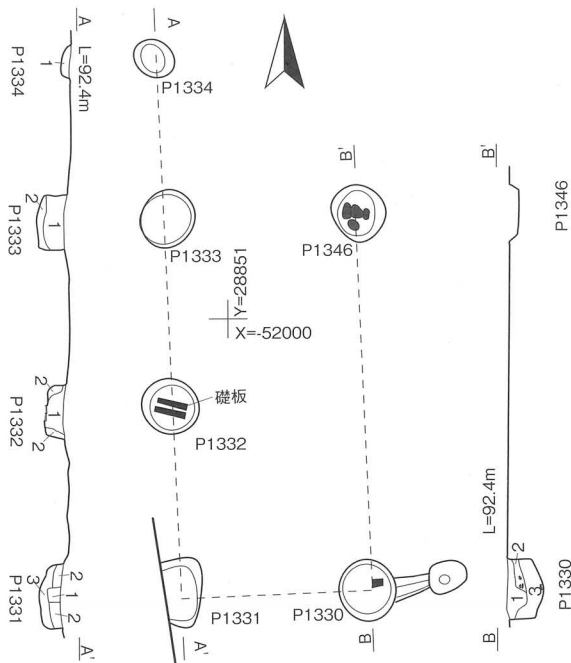
第94図 G6区ピット

SB101 (G3区)



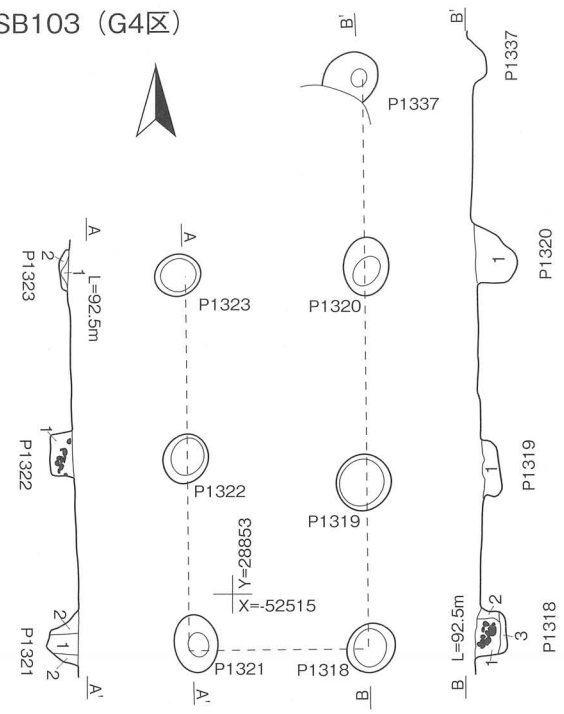
- P1205
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 褐色砂質土ブロック (φ1cm) を3%含む。
- P1206
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 粘土ブロック (φ1cm) を3%含む。
2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
- P1207
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ1cm) を20%含む。
- P1208
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物粒 (φ5mm) を1%含む。
- P1216・P1217
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色砂粒 (φ3~7mm) を10%含む。

SB102 (G4区)



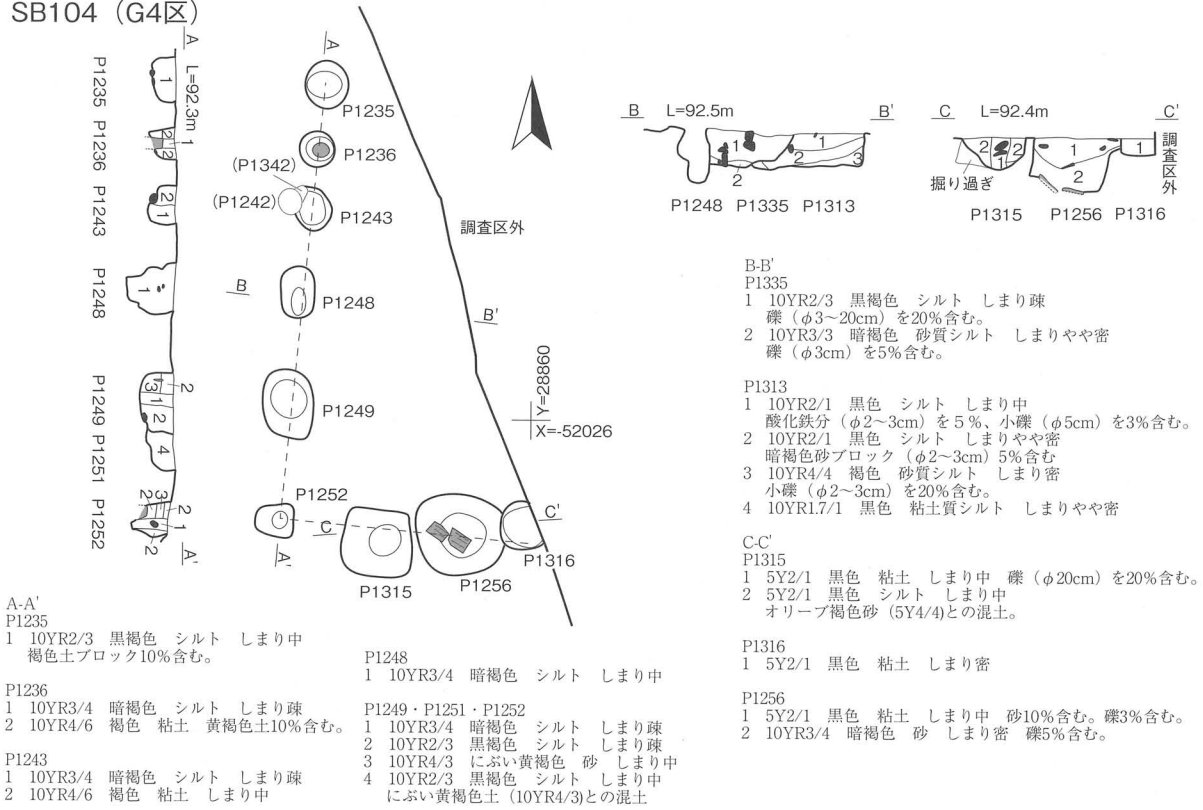
- P1330
1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 炭化物粒 (φ3mm) を3%含む。
2 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり疎 褐色砂質土ブロック (φ3~4cm) を10%、小礫 (φ4~5cm) を3%含む。
3 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 粘土ブロック (φ3~4cm) を20%含む。
- P1331
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物粒 (φ3mm) を1%含む。
2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 褐色粘質土ブロック (φ3~7cm) を10%含む。
3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまり疎 黒褐色シルトブロック (φ2~3cm) を3%含む。
- P1332
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまりやや密 粘土ブロック (φ1cm) を1%、黒色シルトブロック (φ1cm) を3%含む。
- P1333
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまりやや密 粘土ブロック (φ1cm) を1%、黒色シルトブロック (φ1cm) を3%含む。
- P1334
1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂質土を層状に含む。

SB103 (G4区)

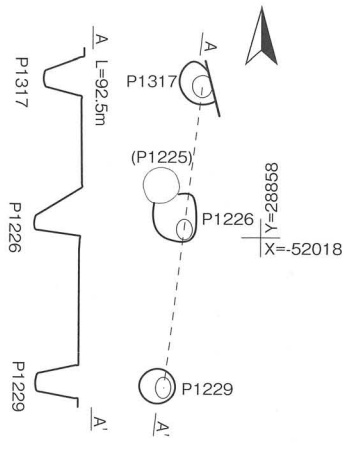


- P1318
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 礫 (φ5~20cm) を50%含む。
2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまりやや密 小礫 (φ2~3cm) を3%含む。
3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり中
- P1319
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 小礫 (φ3~4cm) を3%含む。
- P1320
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 酸化鉄分3%含む。小礫 (φ2~3cm) を1%含む。
- P1321
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 炭化物粒 (φ2~3mm) を1%、小礫 (φ2~3cm) を1%含む。
2 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり密 黒褐色シルトブロック (φ3~4cm) を10%含む。
- P1322
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 礫 (φ2~10cm) を30%含む。褐色砂質土ブロック (φ3cm) を3%含む。
- P1323
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 粘土ブロック (φ3cm) を3%含む。炭化物粒 (φ5mm) を1%含む。
2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまりやや密

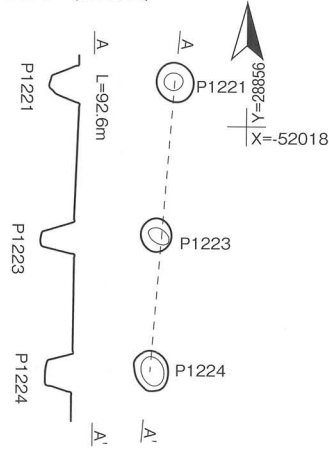
SB104 (G4区)



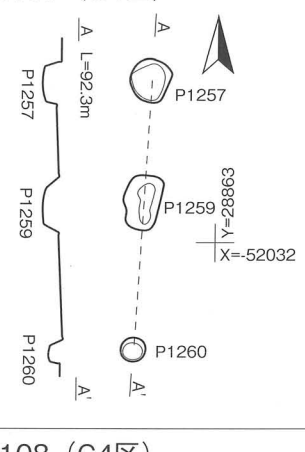
SB105 (G4区)



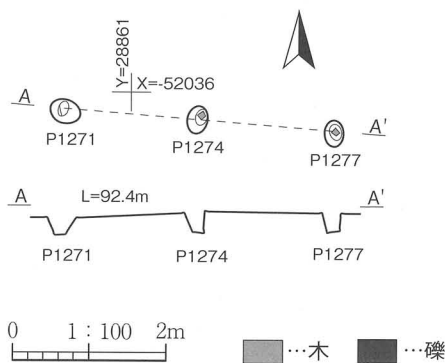
SB106 (G4区)



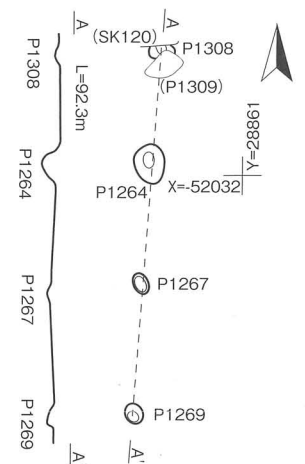
SB107 (G4区)



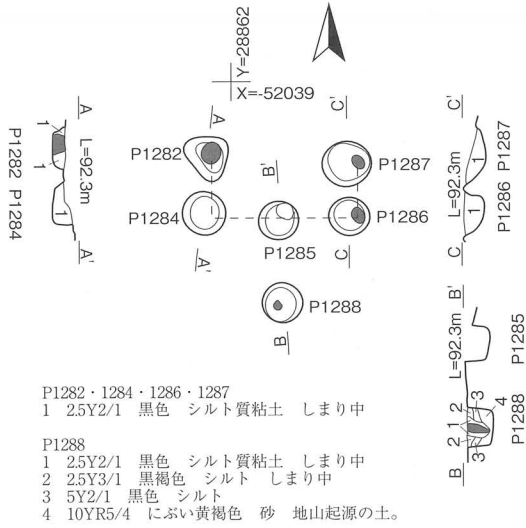
SB109 (G4区)



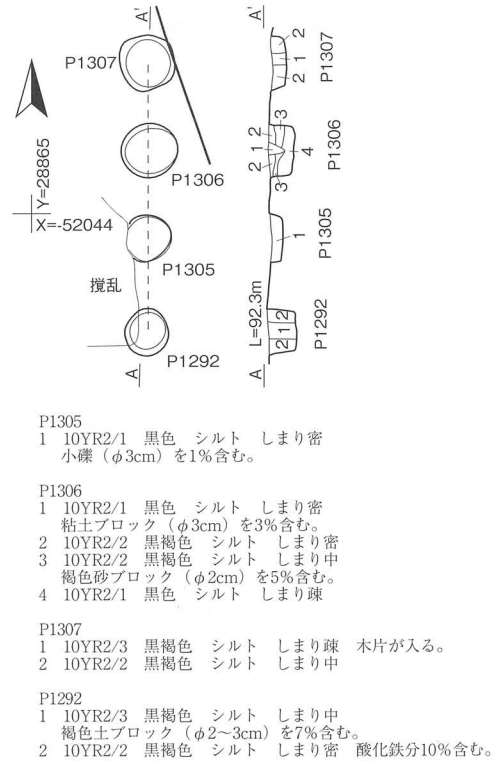
SB108 (G4区)



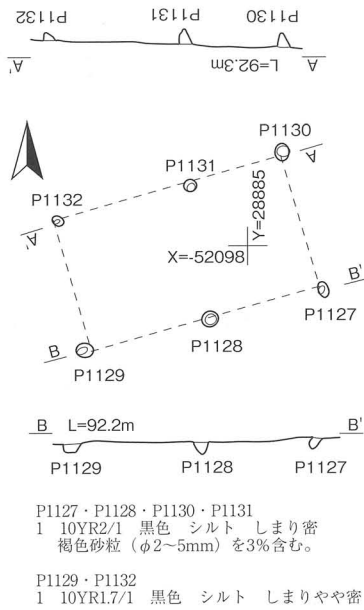
SB110 (G4区)



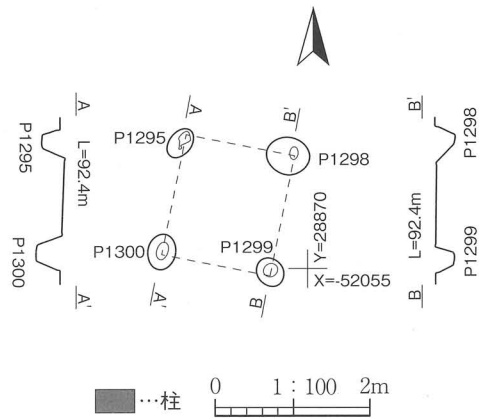
SB111 (G4区)

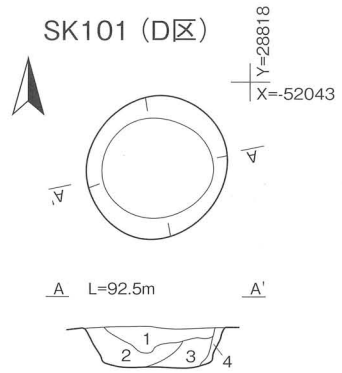


SB113 (G6区)

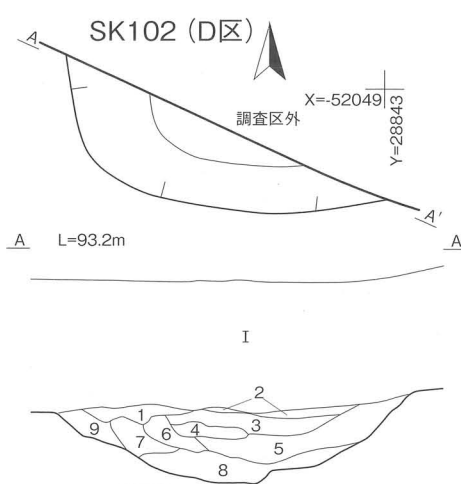


SB112 (G4区)

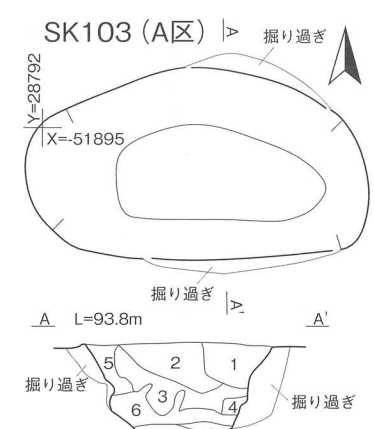




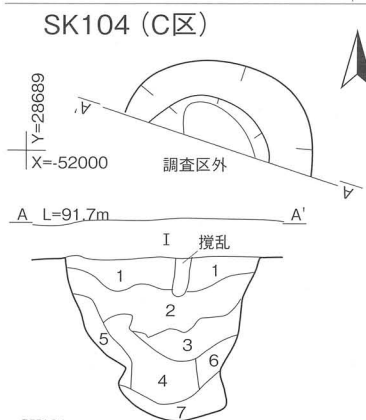
- SK101
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山ブロック (φ~1mm) 1%含む。
 - 2・3層より白っぽい。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロック (φ~2cm) を斑に20%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 地山ブロックを3%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまり中 黄褐色地山砂質シルトブロックを50%含む。



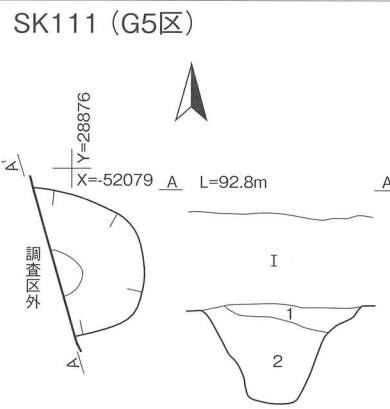
- SK102
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山 (φ~1cm) を1%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山 (φ~5cm) を40%含む。
 - 地山ブロック層 しまり密
 - 地山ブロック層 しまり密
 - 黒褐色シルト (φ~1cm) を3%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 地山ブロック (φ~5cm) を20%含む。
 - 地山ブロック層 しまり中 黒褐色シルト (φ~5cm) を40%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山 (φ~1cm) を1%含む。
 - 地山ブロック層 しまり中 黒褐色シルト (φ~5cm) を40%含む。
 - 10YR3/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山ブロックを全体に40%混じる。



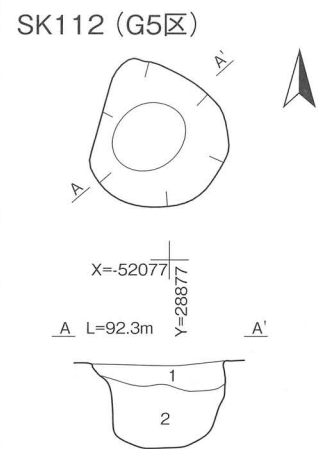
- SK103
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 黄褐色土ブロック (φ2cm) を5%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 黄褐色土ブロック (φ1cm) を10%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまりやや疎 黄褐色土ブロック (φ1cm) を10%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまりやや疎 黄褐色土ブロック (φ1cm) を10%含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまりやや疎
 - 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト しまりやや疎 黄褐色土ブロック (φ2cm) を5%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト しまり疎



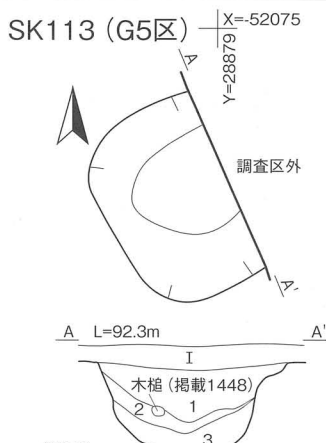
- SK104
- 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや密 砂質シルト (地山) ブロック25%を含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや密 砂質シルト (地山) ブロック5%をマーブル状に含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや疎 砂質シルト (地山) ブロック40%をマーブル状に含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト しまりやや疎 砂質シルト (地山) ブロック30%をマーブル状に含む。
 - 地山ブロック層 砂質シルト しまりやや疎 暗褐色シルトを薄い層状に含む。
 - 地山ブロック層 砂質シルト しまりやや疎
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) 砂質シルト (地山) ブロック15%を層状に含む。



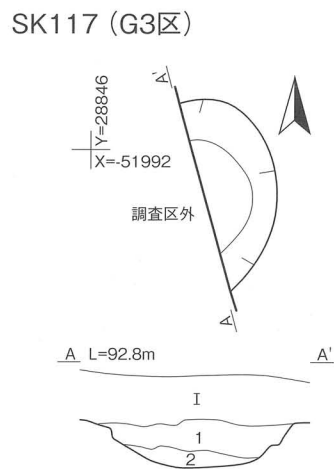
- SK111
- 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密
 - 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中



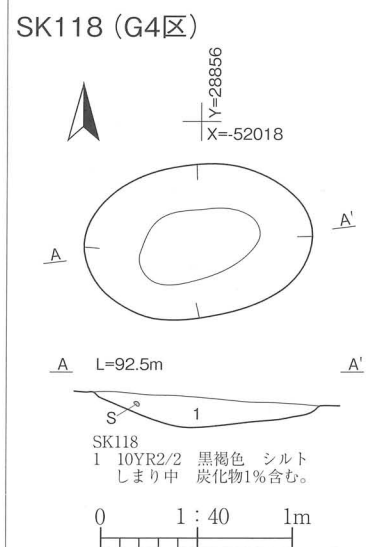
- SK112
- 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
 - 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり中 褐色砂質土ブロック (φ3cm) を3%含む。



- SK113
- 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂ブロック (φ2~3cm) を1%含む。
 - 10YR4/4 褐色 砂 黒色シルトとラミナ状に堆積する。
 - 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 炭化物粒 (φ5mm) を1%含む。

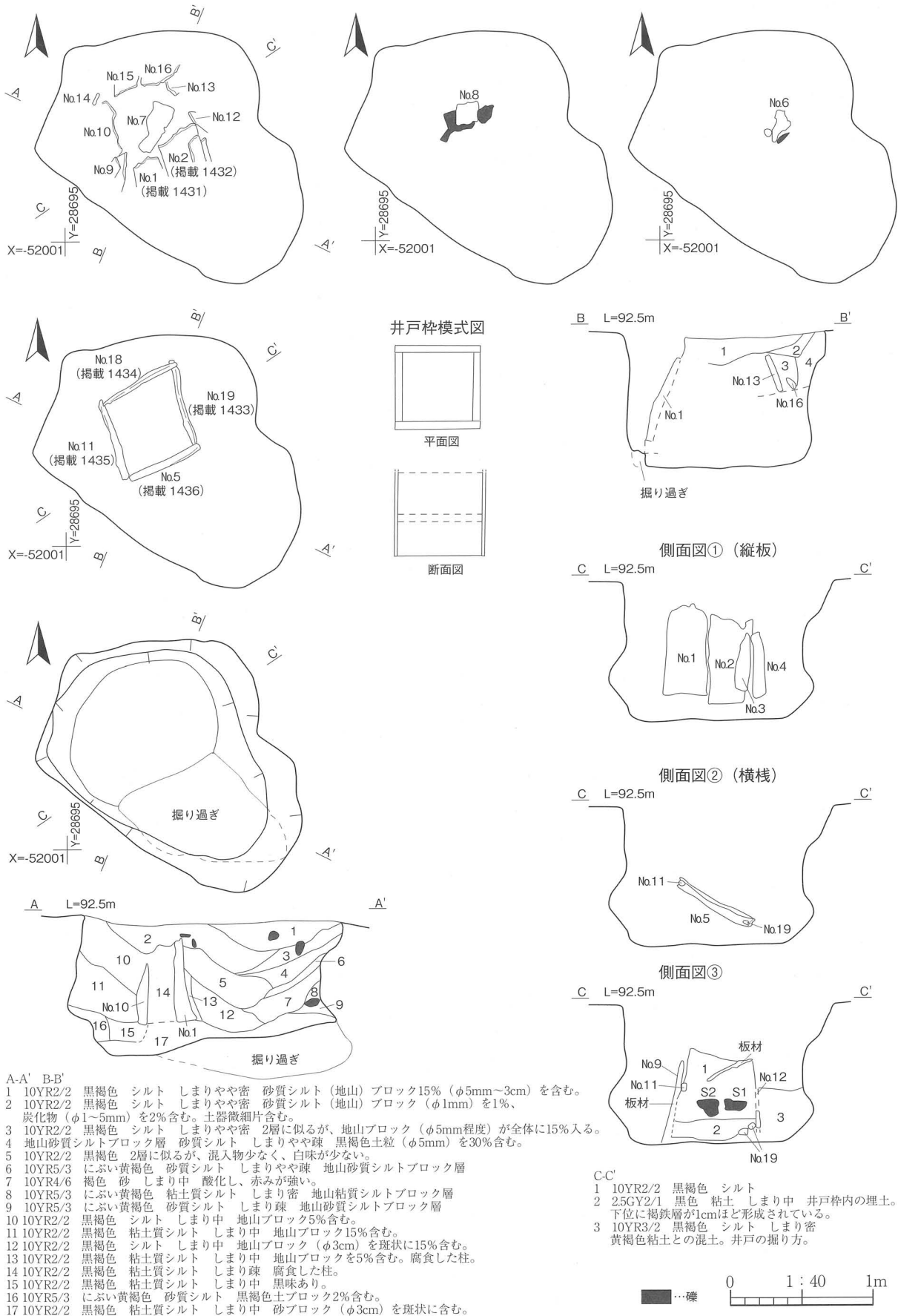


- SK117
- 10YR3/4 暗褐色 シルト しまり中 黄色土 (地山) ブロックを5%含む。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 しまり密



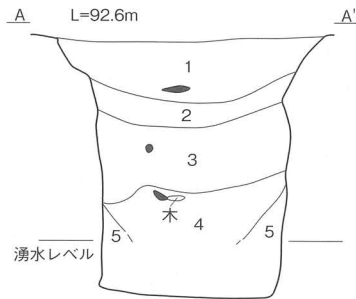
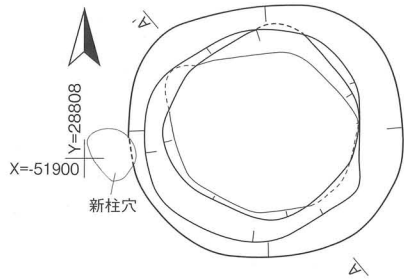
- SK118
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物1%含む。

SK105 (C区)



第99図 SK105

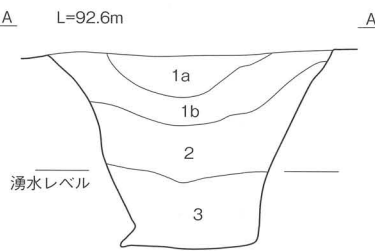
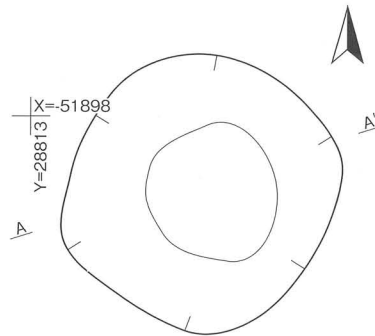
SK106 (E2区)



SK106

- 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり中 黄褐色土ブロック3%、礫(φ10cm)3%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中
- 3 10YR1/1 黒色 シルト しまり中 植物質の物質を含む。
- 4 2.5Y2/1 黒色 粘土 しまり中
- 5 10YR2/1 黒色 粘土 しまり中 グライ化した土層。

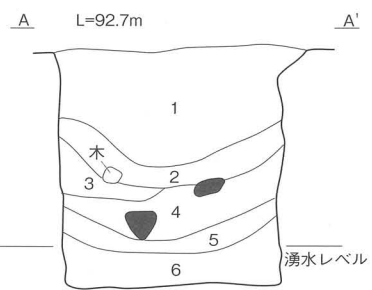
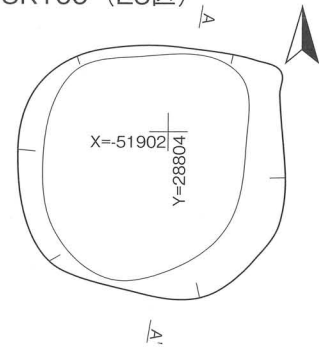
SK108 (E2区)



SK108

- 1a 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中
- 1b 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 褐色土ブロック10%含む。(地山起源の土)
- 2 10YR2/1 黒色 シルト質粘土 しまり密 褐色土ブロック20%含む。酸化鉄の集積あり。
- 3 N2/ 黒色 粘土 しまり密 グライ化土層

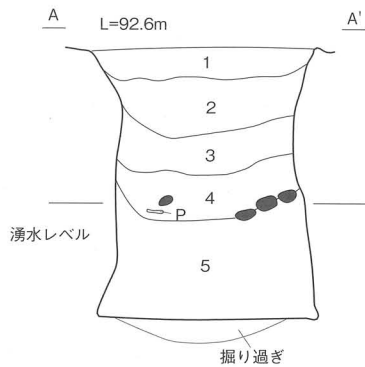
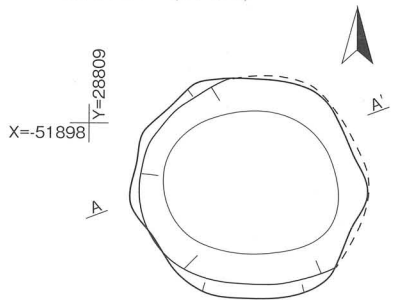
SK109 (E3区)



SK109

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物1% (層の上位に多い)、黄褐色土ブロック3%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中 灰黄褐色土の地山ブロック1%含む。
- 3 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂 しまり中 地山起源の土。黒色土層が層状に入る。
- 4 2.5Y2/1 黒色 粘土 しまり密
- 5 10YR5/6 黄褐色 砂 しまり密
- 6 記録なし

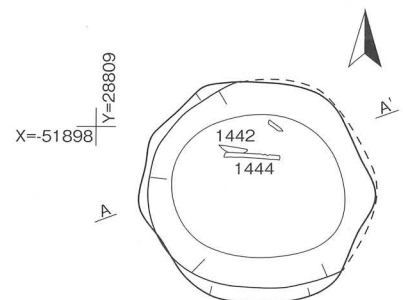
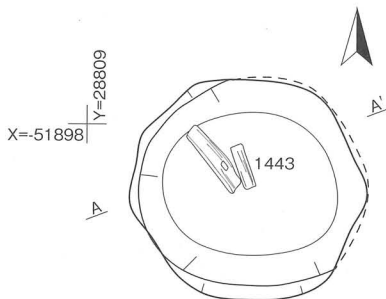
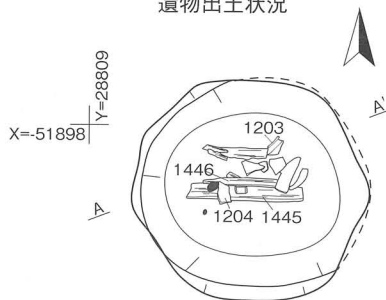
SK107 (E2区)



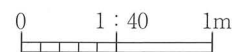
SK107

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 黄褐色土ブロック3%、炭化物1%を含む。かわらけ多く出土。
- 2 10YR3/4 暗褐色 シルト しまり中 黄褐色土ブロック3%含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土 しまり中
- 4 10YR2/1 黒色 粘土 しまり中 褐色土ブロック3%含む。遺物多量に含む。
- 5 10YR2/2 黒褐色 粘土 しまりやや疎

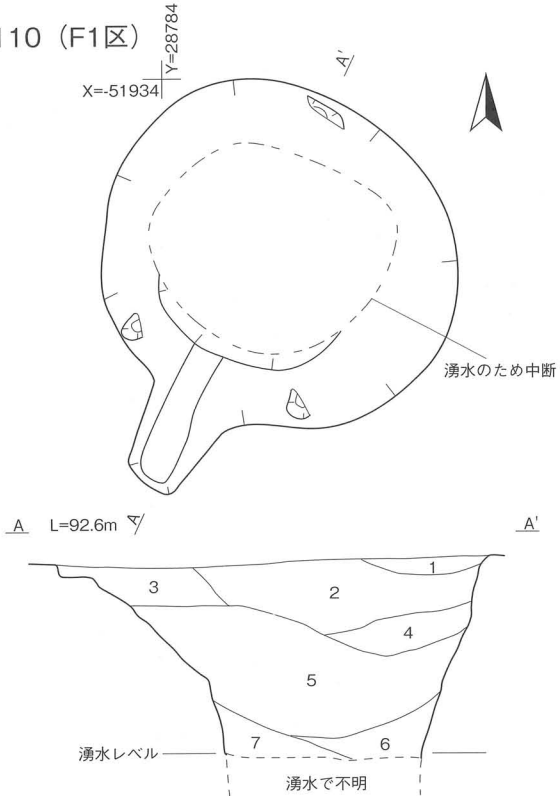
遺物出土状況



※数字は遺物掲載No.
1203・1204…常滑窯産陶器
1442～1446…木製品
■…礫

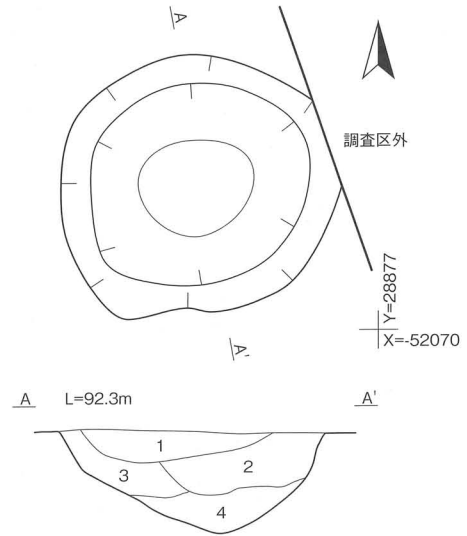


SK110 (F1区)

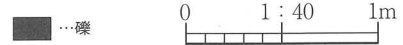


- SK110
- 7.5YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 II層相当
 - 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト しまり疎 褐色粘土ブロック(φ2~3cm)を15%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色砂ブロック(φ1~2cm)を5%含む。
 - 10YR4/4 褐色 砂質シルト しまり中 暗褐色粘質土ブロック(φ3~4cm)を10%含む。
 - 2.5Y3/2 黒褐色 砂質シルト しまり疎 黒色粘質土ブロック(φ3~4cm)、褐色粘土ブロック(φ2cm)を5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 粘土 しまり疎
 - 10YR3/3 暗褐色 砂 しまり疎

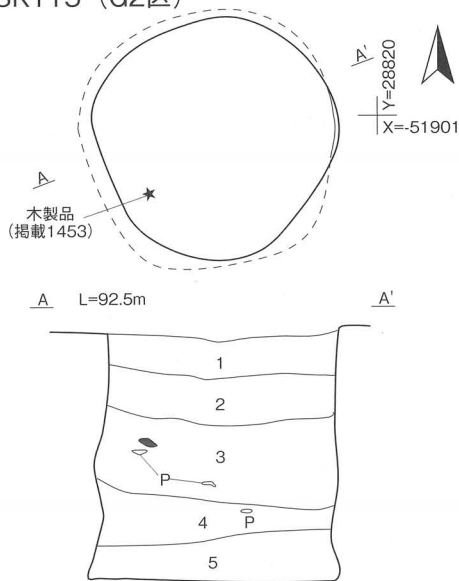
SK114 (G5区)



- SK114
- 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック(φ10cm)を30%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂ブロック(φ3~4cm)を10%含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや疎 褐色砂を層状に含む。
 - 10YR3/1 黒褐色 粘土質シルト しまり中 褐色砂質土を層状に含む。

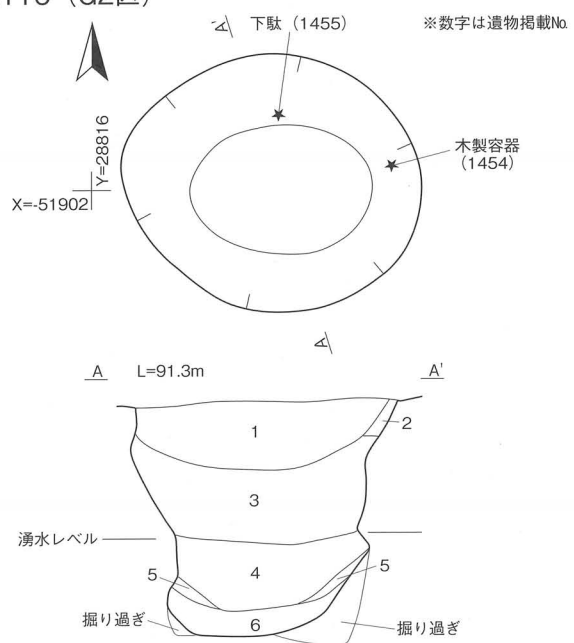


SK115 (G2区)



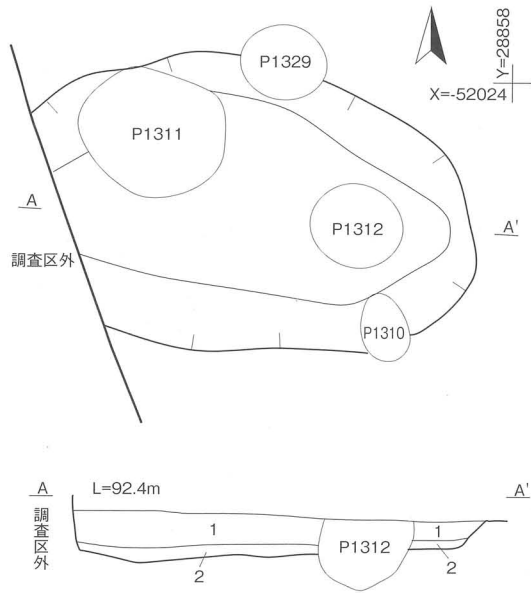
- SK115
- 7.5YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物ブロック(φ1~2cm)3%含む。酸化鉄分3%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや疎 褐色土ブロック(φ1~2cm)3%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまり疎 植物質を多く含む。
 - 10YR1.7/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色土粒(φ2~3mm)を3%含む。
 - 2.5Y2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや疎 暗灰黄色砂(地山)ブロック(φ5~7cm)を30%含む。

SK116 (G2区)



- SK116
- 10YR5/8 黄褐色 砂質シルト しまり疎 黒褐色粘質土を層状に含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 褐色砂粒(φ3~5mm)を3%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや疎 褐色土ブロック(φ1cm)を1%含む。植物質の層。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり疎
 - 7.5YR4/6 褐色 砂 しまり密 酸化して赤化する。硬くしまった層。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまり疎 配色粘質土ブロックを(φ3~4cm)を3%含む。

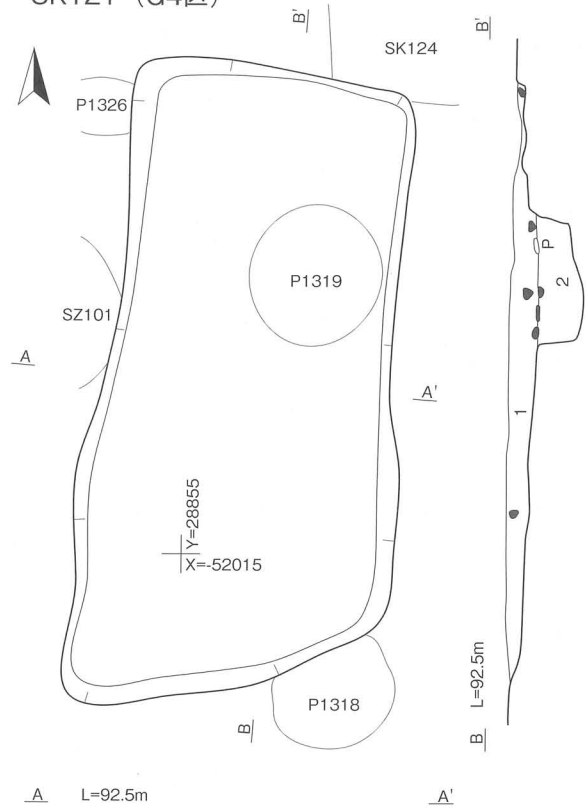
SK119 (G4区)



SK119
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
 2 5Y2/1 黒色 シルト しまり中 グライ化層。

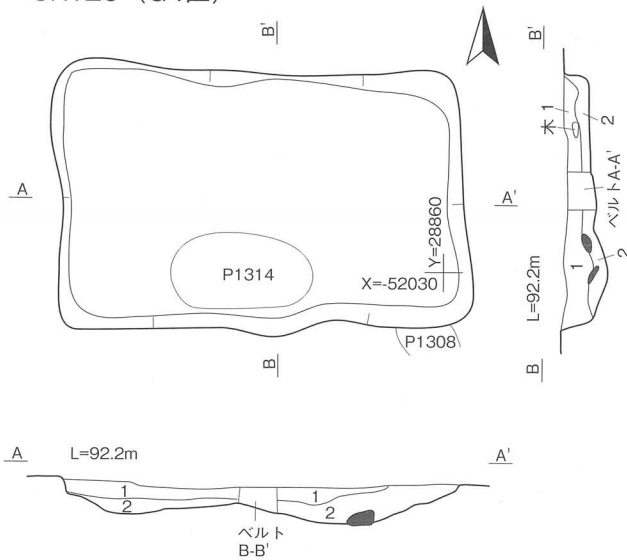


SK121 (G4区)



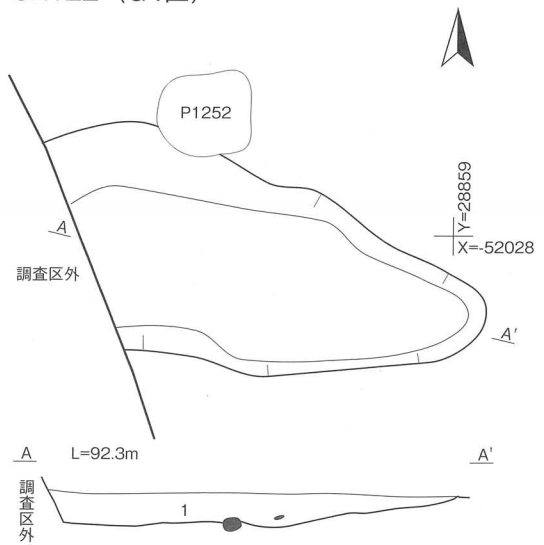
SK121
 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
 2 10YR3/4 暗褐色 粘土 しまり中 P1319

SK120 (G4区)



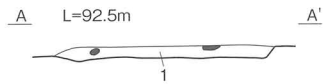
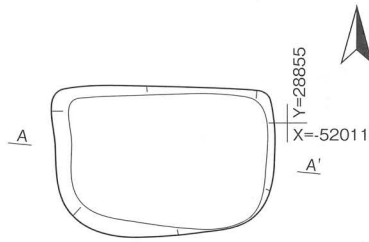
SK120
 1 5Y2/1 黒色 粘土 しまり中 礫 (φ10~20cm) 混入。灰色粘土層を含む。
 2 5Y5/1 灰色色 砂 しまり中 褐色土10%含む。

SK122 (G4区)



SK122
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 円礫 (φ10~20cm) を含む。

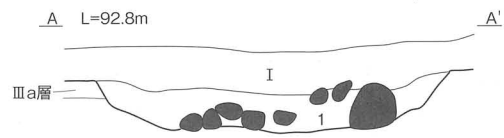
SK123 (G4区)



SK123
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中
黄色土ブロック20%含む。小礫を含む。

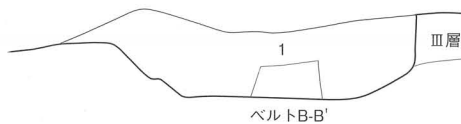
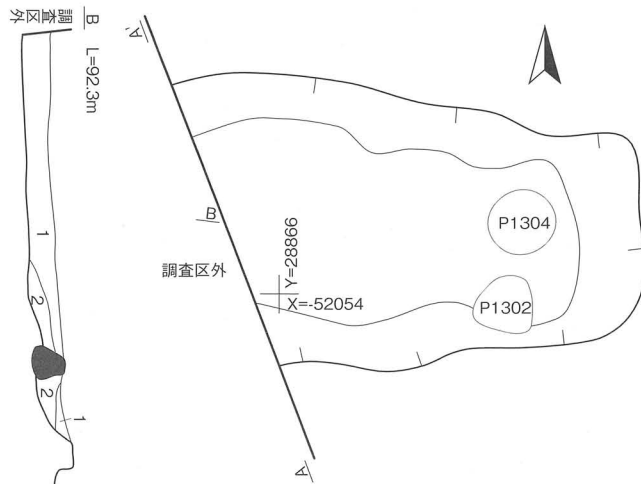


SK124 (G4区)



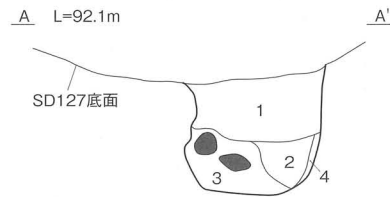
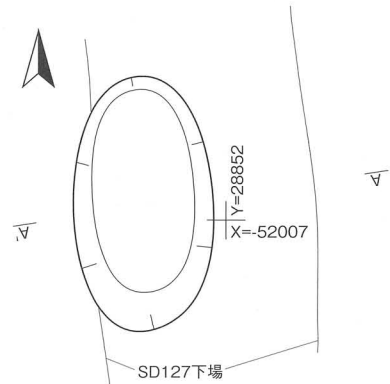
SK124
1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 礫 (φ10~20cm) を20%含む。

SK125 (G4区)



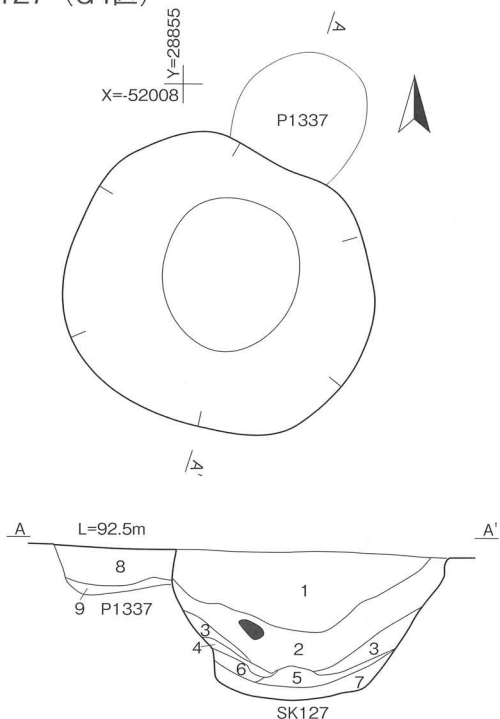
SK125
1 5Y2/1 黒色色 粘土 しまり疎 腐食した植物等を多量に含む。

SK126 (G4区)



SK126
1 10YR2/1 黒色 砂質シルト しまり疎
灰色砂と互層に堆積する。
2 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中
3 10YR2/1 黒色 砂質シルト しまり疎
礫 (φ10cm) を25%含む。
4 10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト しまり中
小礫 (φ2~3cm) を5%含む。

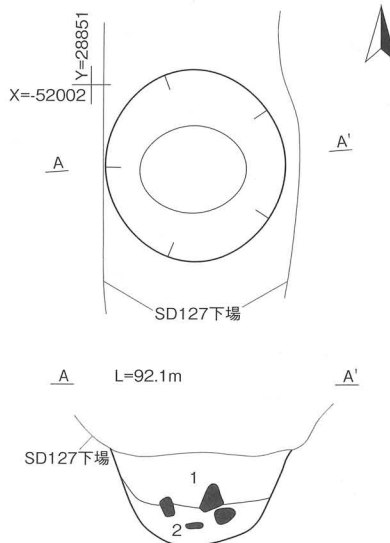
SK127 (G4区)



SK127

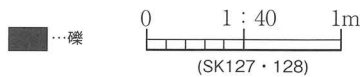
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 炭化物、土器片を5%含む。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 黒色粘質土を含む。
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 しまり中
- 4 10YR3/3 暗褐色 粘土 しまり中
- 5 10YR3/2 黒褐色 シルト しまり中
- 6 10YR4/6 褐色 砂 しまり中
- 7 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり中
- 8 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり中 P1337
- 9 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 しまり中 P1337

SK128 (G4区)

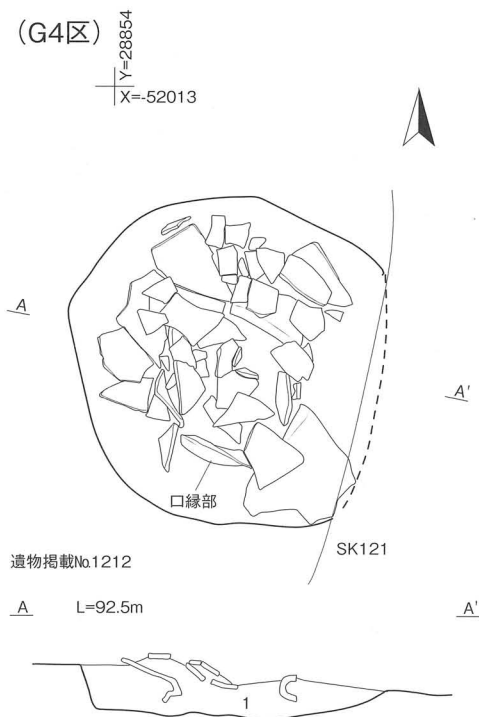


SK128

- 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや疎
- 2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト しまり疎 礫 (φ5~10cm) を30%含む。



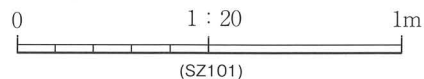
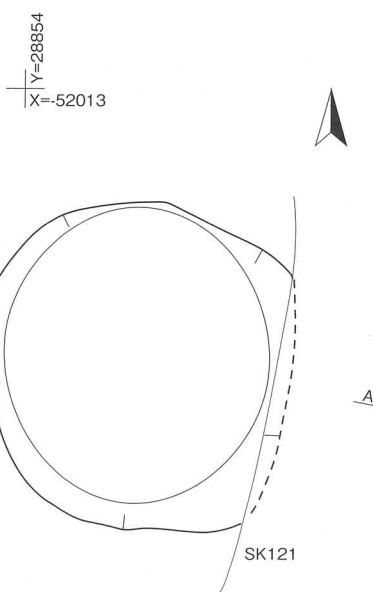
SZ101 (G4区)



遺物掲載No.1212

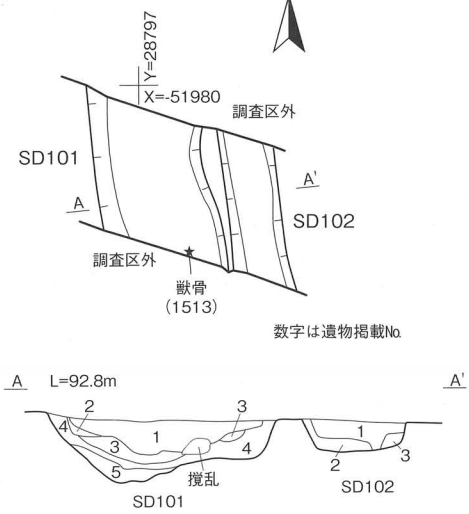
SZ101

- 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 褐色土粒5%含む。壺を逆位に埋設する。

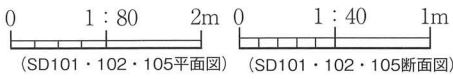


第104図 SK127・128、SZ101

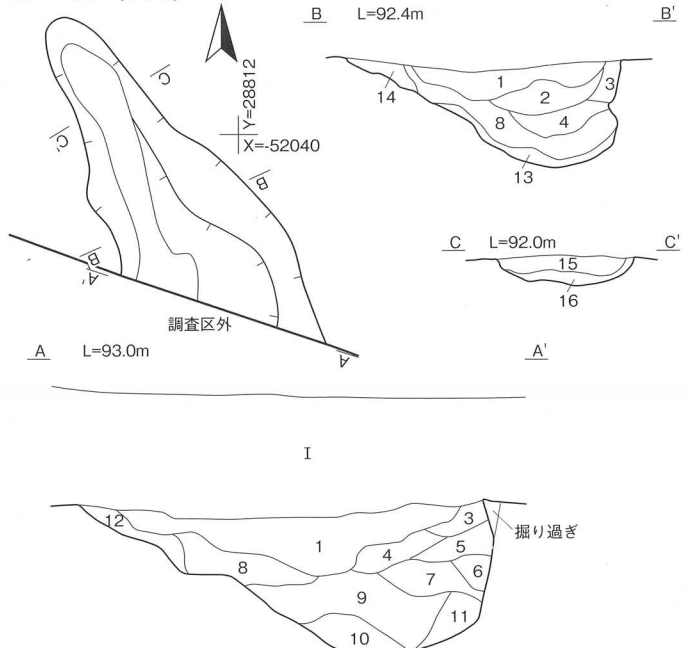
SD101・102 (B区)



- SD101・102
- 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) しまりやや密 地山ブロック (φ5mm~1cm) を2%含む。歯が出土。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 地山ブロック (φ~1cm) を20%含む。
 - Ⅲc層起源 砂質シルト しまりやや密 黒色土粒 (φ1mm) を1%、炭化物を1%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) 黒色土下層に厚く (4cm) 入る。
 - Ⅲb層起源 シルト (やや砂質) しまり中 黒褐色土をやや層状に10%含む。

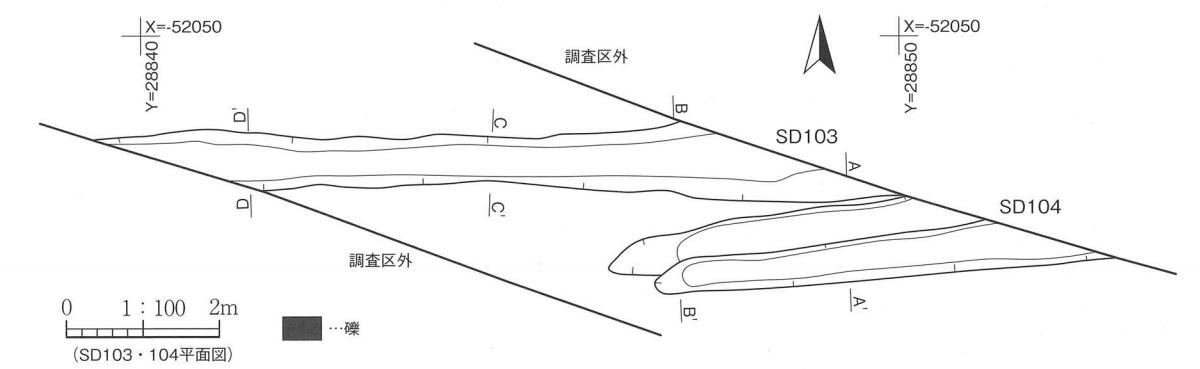


SD105 (D区)



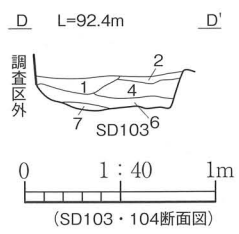
- SD105
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 地山ブロック (φ~5mm) を2%含む。白っぽい。
 - シルト しまりやや密 1層に似るが、黒味強く、地山ブロック (φ~1cm) を1%含む。
 - 地山ブロック層 しまりやや疎 黒色シルト (φ~5cm) を斑状に40%含む。
 - 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中 地山ブロックを含まないきれいな層。
 - 地山ブロックやや少ない (30%)。
 - 3層に類似。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 地山ブロックが全体に5%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト (やや粘質) しまり中 地山ブロックを全体に斑状に10%含む。
 - 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり中 4層に似るが、地山ブロック (φ~1cm) を1%含む。
 - 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや密 地山砂との混土。地山砂やや細長く入る。
 - 5層に類似。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 地山ブロックを20%含む。
 - シルト しまり中 黒褐色シルトを30%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 地山を全体に40%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 14層に似るが、黒色土ブロック (φ~5cm) を2%含む。
 - 10YR3/3 暗褐色 シルト しまりやや密 地山がやや汚れた感じ。

SD103・104 (D区)



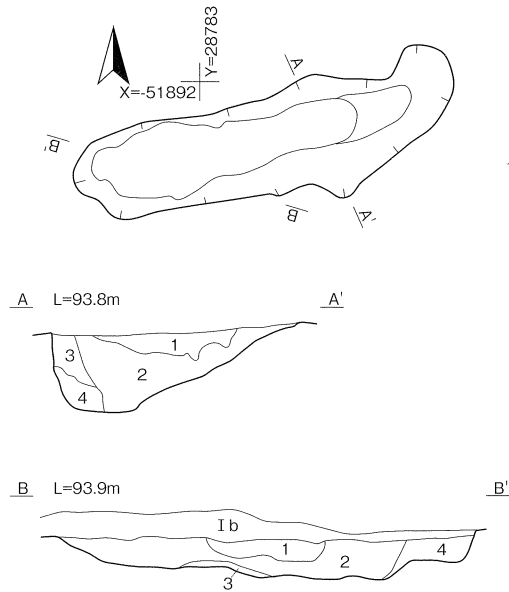
- SD103
- 10YR2/2 黒褐色 シルト質粘土 しまり中 グレー味強い。基本層序Ⅱ層より黒く、これに切られる。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト質粘土 しまり中 1層に地山ブロック (φ~5mm) を3%含む。
 - 10YR1/7 黒色 シルト しまり中 地山 (砂質シルト) ブロック (φ~5mm) を2%含む。
 - 地山砂質ブロック層 砂質シルト しまり中 黒色土が全体に30%混じる。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 地山ブロック (φ1~2mm) を1%含む。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 5層に似るが、地山ブロック (φ~5mm) が多い。3%程度。
 - 砂質シルト 4層に似る。

- SD104
- 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 白っぽい地山ブロック (φ~1cm) を1%含む。遺物含む層。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 白味少ない。1層より黒い層。混入物なし。
 - 10YR2/1 黒色 シルト (やや砂質) しまりやや密 地山砂がラミナ状に30%入る。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 地山砂がラミナ状に30%入る。
 - 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 4層に似るが、ブロック丸み強い。
 - 地山シルト (砂質ブロック) 層 シルト しまりやや密 黒褐色ブロック (φ~2cm) を斑状に15%含む。



第105図 SD101~105

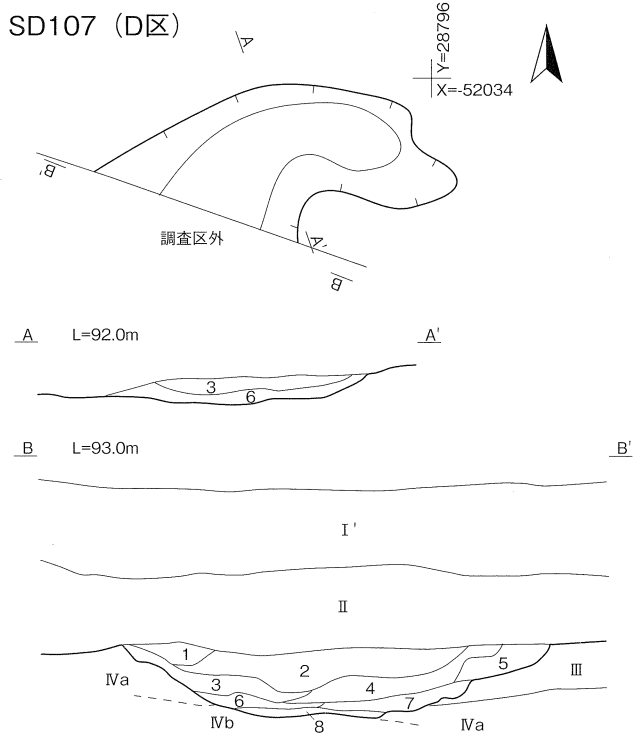
SD106 (A区)



SD106

- 1 10YR3/2 黒褐色 シルト しまり密
酸化鉄不規則に入る。
- 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり密
酸化鉄筋状に入る。
- 3 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密
- 4 10YR2/3 黒褐色 シルト しまりやや密
酸化鉄筋状に不規則に入る。

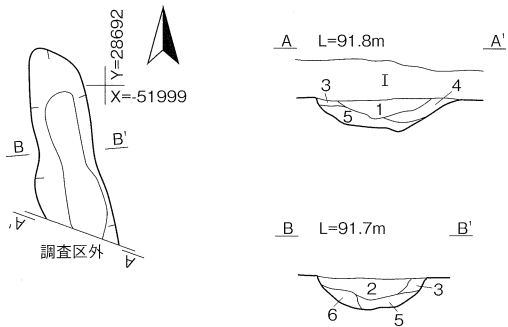
SD107 (D区)



SD107

- 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密 白色粒子含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密 白色粒子上層に多く含む。
- 3 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
炭化物 (φ1cm) を7%、焼土粒 (1~5mm) を1%含む。
- 4 2.5YR4/1 赤灰色 粘土質シルト しまり密
グライ化した地山粘土ブロック層。やや汚れる。
- 5 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり密
グライ化した地山ブロックを斑状 (1mm~3cm) を20%含む。
- 6 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
炭化物 (φ1mm) を5%、粘土ブロック (φ1cm) を5%、
地山ブロック (φ1cm) を1%含む。
- 7 10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり密
炭化物 (φ1mm) を5%、地山ブロック (φ1cm) を10%含む。
- 8 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト しまりやや疎
黒褐色粘質シルトを全体に含む。

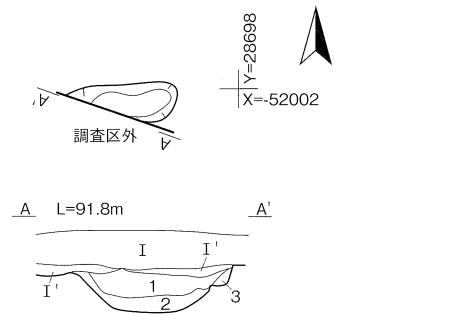
SD108 (C区)



SD108

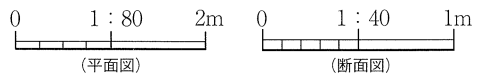
- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山ブロック (φ1mm) 1%含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山ブロックをマール状に10%含む。
- 3 地山砂質シルトブロック層 しまりやや密
- 4 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山砂質シルトブロック層と黒褐色土 (10YR2/2) の混土。
- 5 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山ブロック (φ~5mm) を3%含む。
- 6 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密 4層に似る。

SD109 (C区)

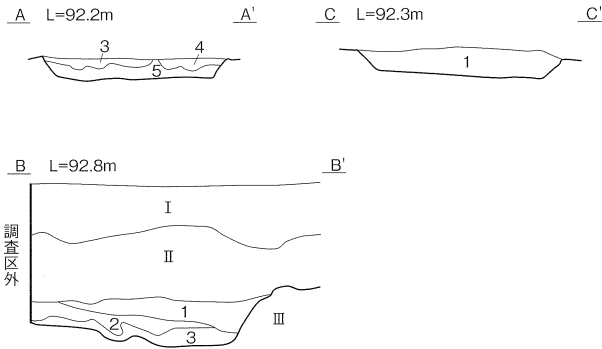
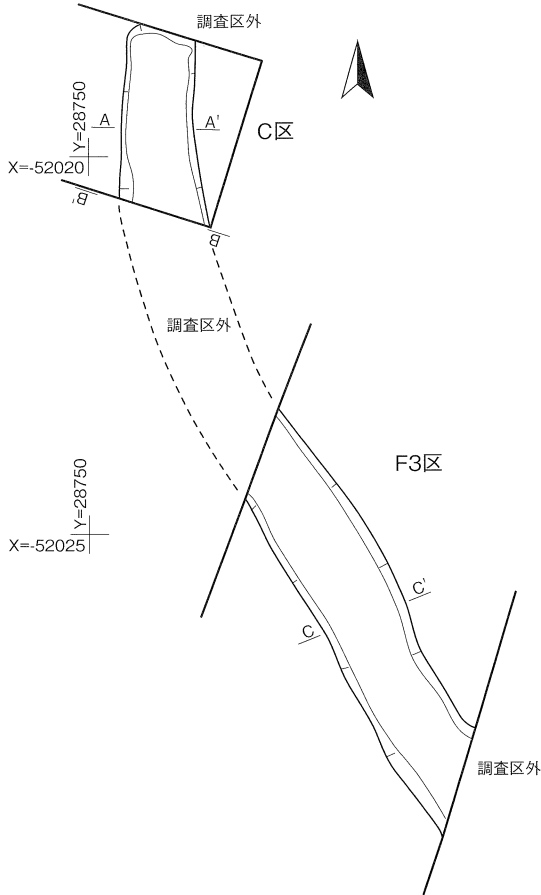


SD109

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや密
地山ブロック (φ~1cm) を斑状に含む。
- 2 地山ブロック層 黒褐色シルト (10YR2/2) を20%含む。
- 3 10YR2/2 黒褐色 シルト (やや砂質) しまりやや密
地山ブロック (φ5mm) を10%含む。

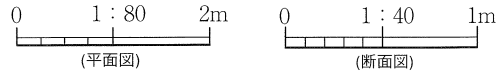


SD110 (C・F3区)

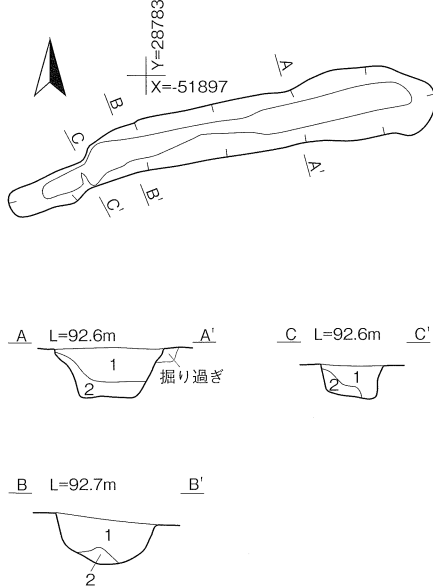


- SD110 A-A', B-B'
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山をブロック状 (φ5~15mm) を7%、マーブル状に薄く5%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山ブロックをマーブル状に10%含む。
 - 地山粘質シルトブロックと地山砂質ブロック しまり中
黒褐色シルトブロック (φ5mm~2cm) を斑状に40%含む。
 - 10YR2/2 黒褐色 シルト しまりやや密
地山粘質シルトブロックを20%、黒褐色シルトブロック (φ~2cm) を斑状に5%入る。
 - シルト しまりやや密 地山粘質シルトブロック20%、
黒褐色シルトブロック (φ2cm) を斑状に含む。

- SD110 C-C'
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密 褐色砂ブロック (φ1cm) を3%含む。

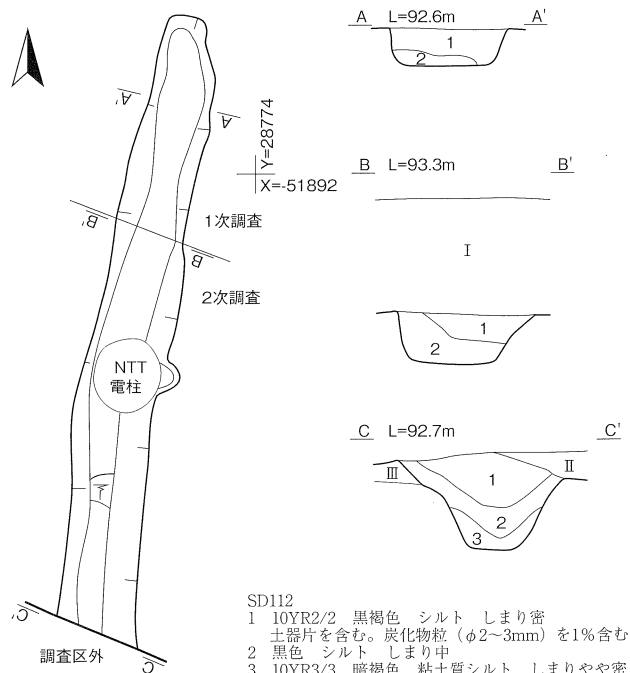


SD111 (E1区)



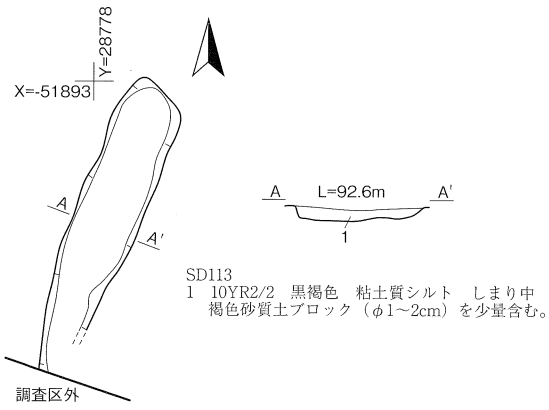
- SD111
- 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや密
褐色砂質土ブロック (φ2~3cm) を1%含む。
 - 10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり中
褐色砂質土 (10YR4/4) の混土。

SD112 (E1区)

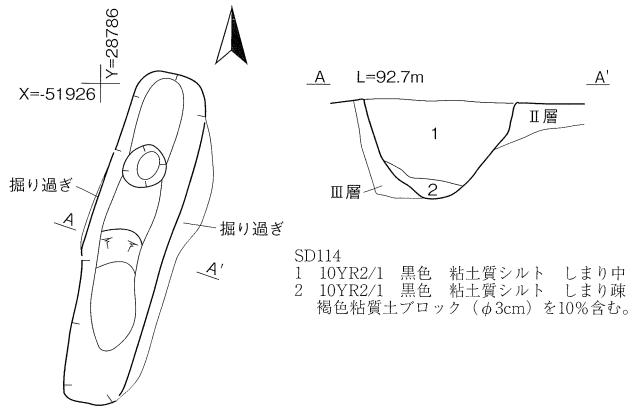


- SD112
- 10YR2/2 黒褐色 シルト しまり密
土器片を含む。炭化物粒 (φ2~3mm) を1%含む。
 - 黒色 シルト しまり中
 - 10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや密
褐色砂質土ブロック (φ2~3cm) を10%含む。

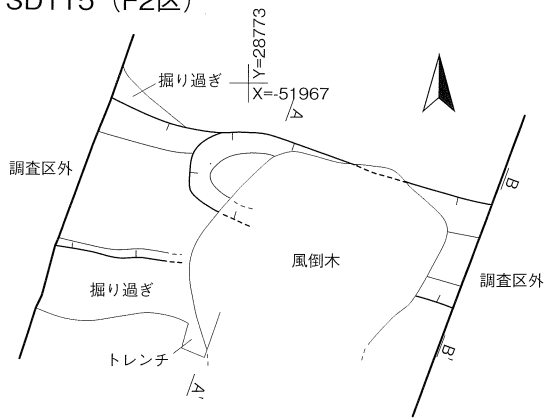
SD113 (E1区)



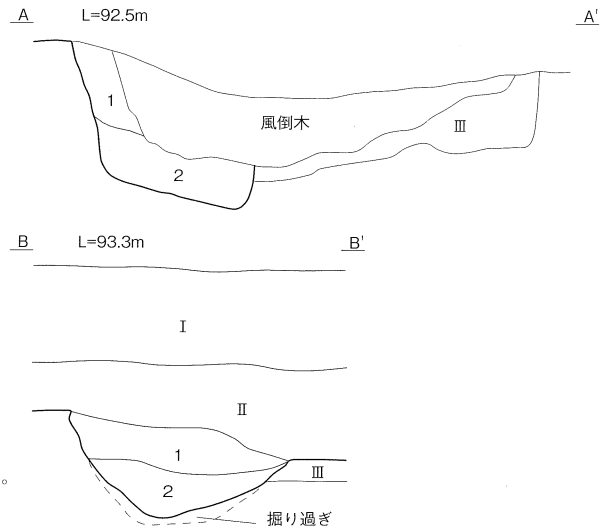
SD114 (F1区)



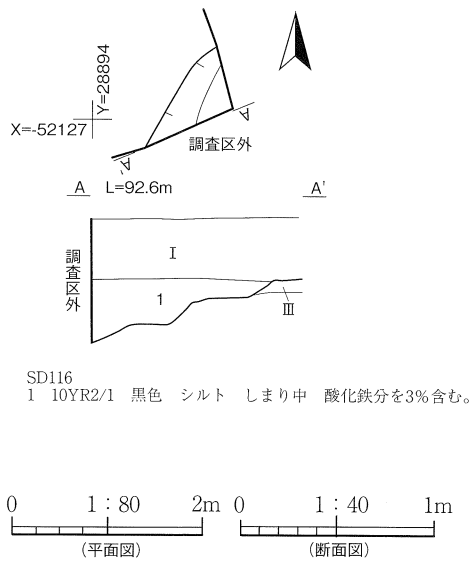
SD115 (F2区)



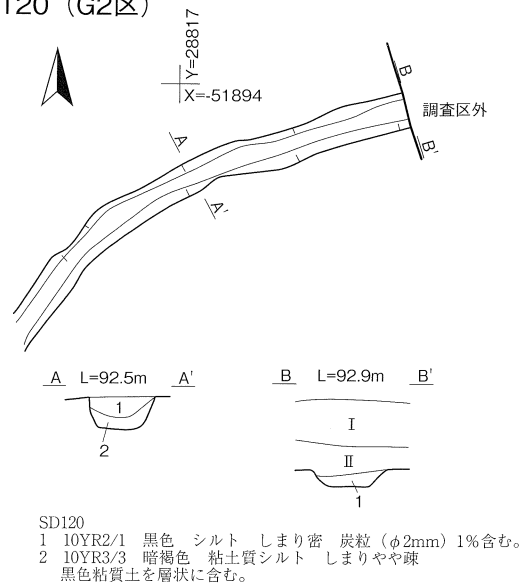
SD115
1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり密 酸化鉄分3%含む。
2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色土ブロック (φ2~3cm) 5%含む。



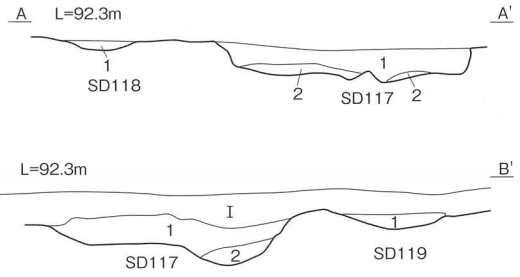
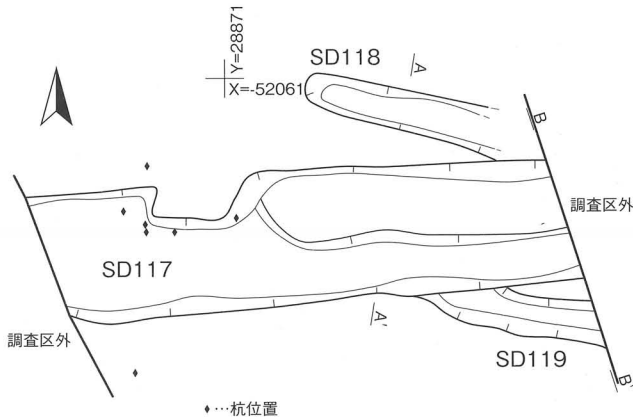
SD116 (G6区)



SD120 (G2区)



SD117・118・119 (G5区)

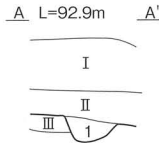
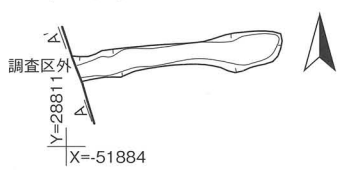


SD117
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック (φ1cm) を3%含む。
 2 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂 (10YR4/4)の混入

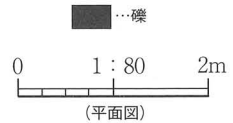
SD118
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり密 褐色砂ブロック (φ1cm) を3%含む。

SD119
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまり中 褐色砂ブロック (φ2cm) を3%含む。

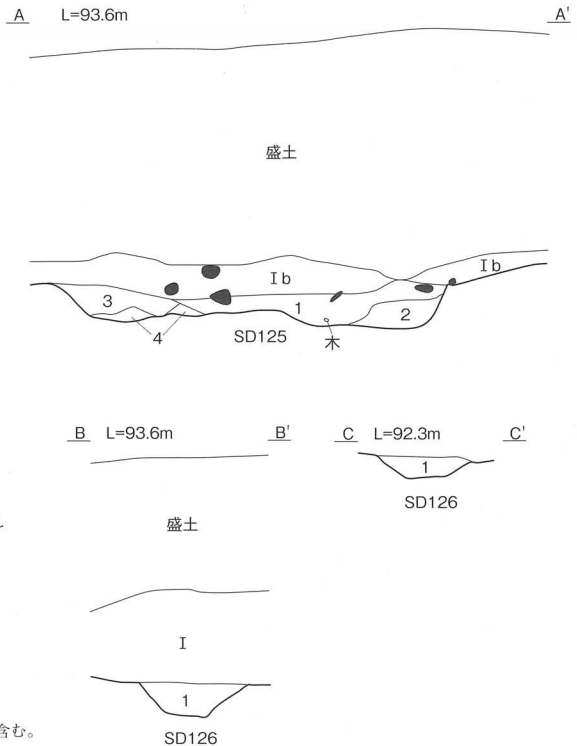
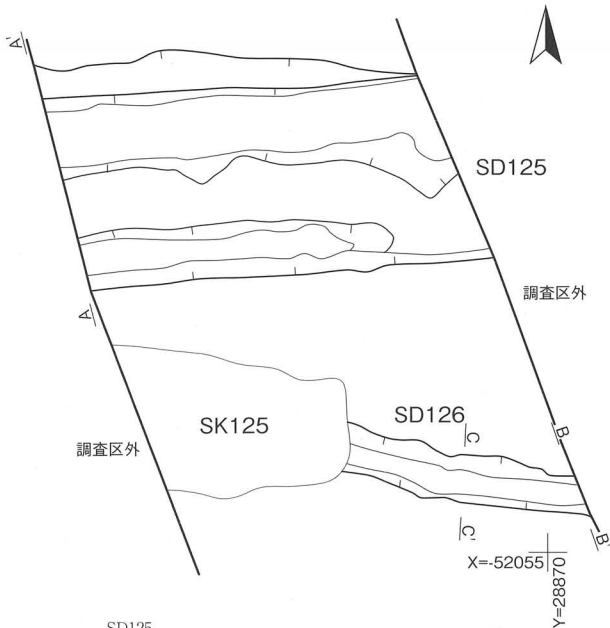
SD121 (G2区)



SD121
 1 10YR2/1 黒色 シルト しまりやや密 褐色土粒 (φ3mm) を1%含む。



SD125・126 (G4区)

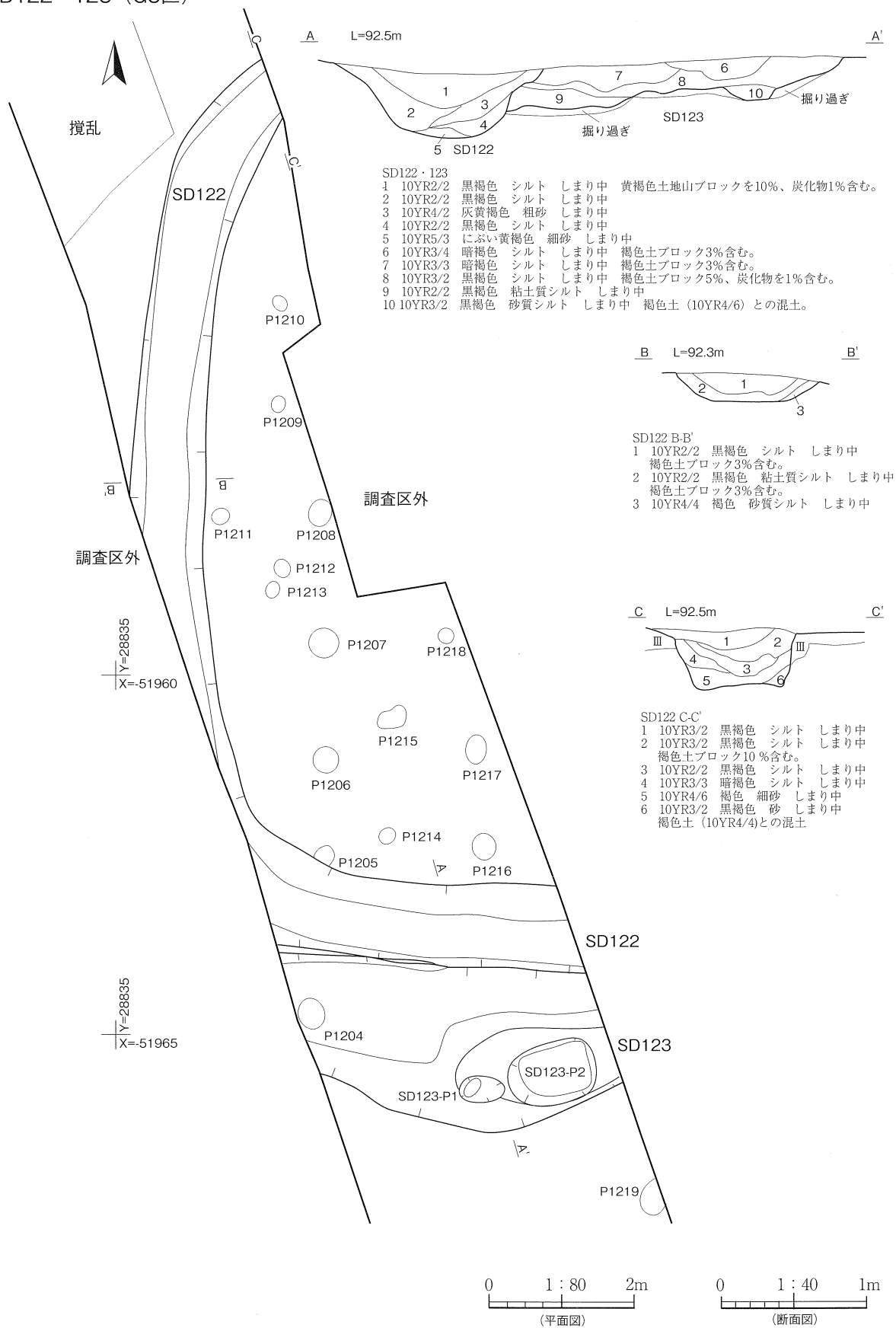


SD125
 1 5Y2/1 黒色 粘土 しまり中 小礫・木片を含む。
 2 5Y4/4 暗オリーブ色 砂 地山起源の土
 3 5Y2/2 オリーブ黒色 粘土 しまり中
 4 5Y4/4 暗オリーブ色 砂 地山起源の土

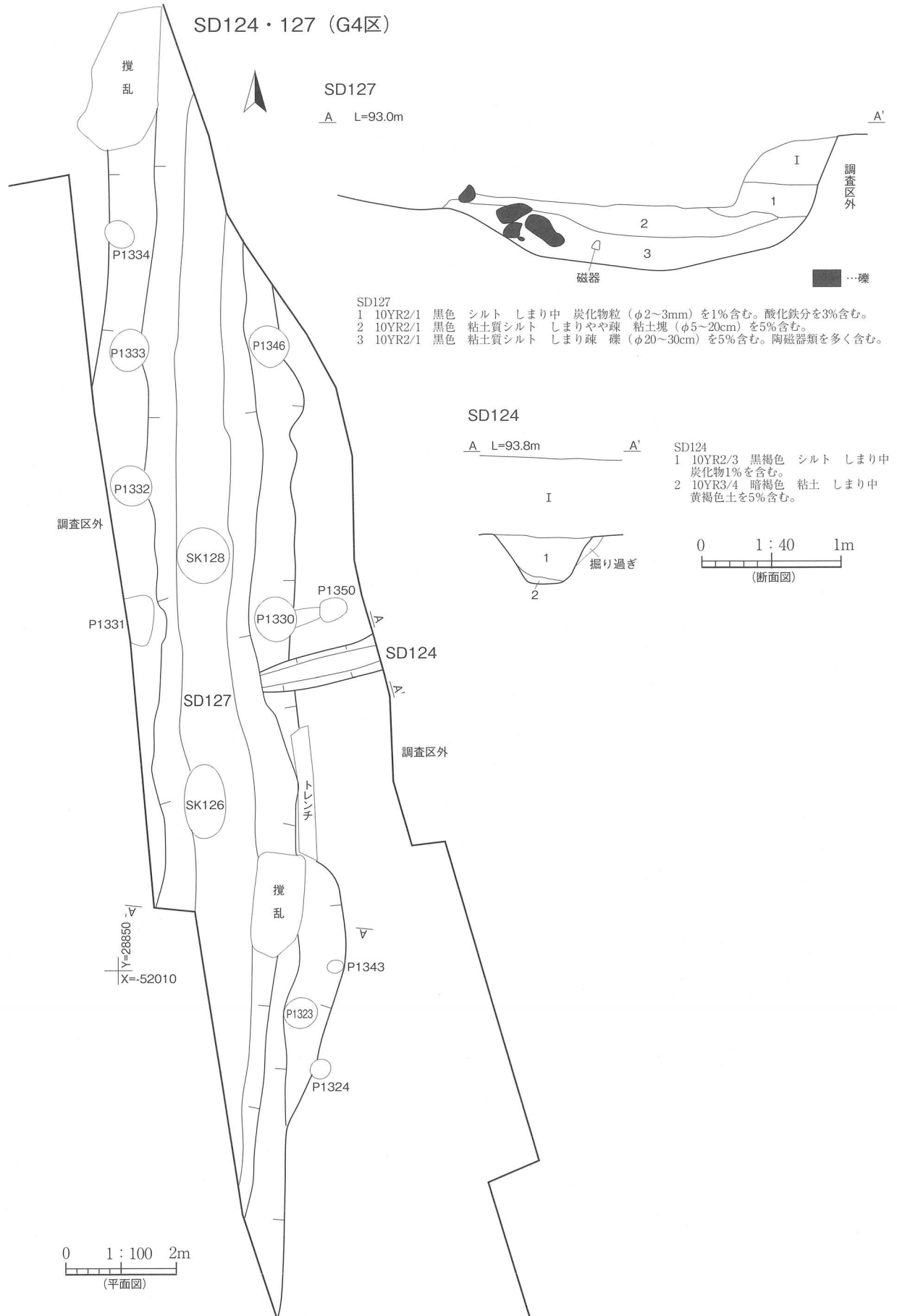
SD126
 1 10YR2/3 黒褐色 シルト しまり中 酸化鉄を含む。褐色土3%含む。

第109図 SD117～119・121・125・126

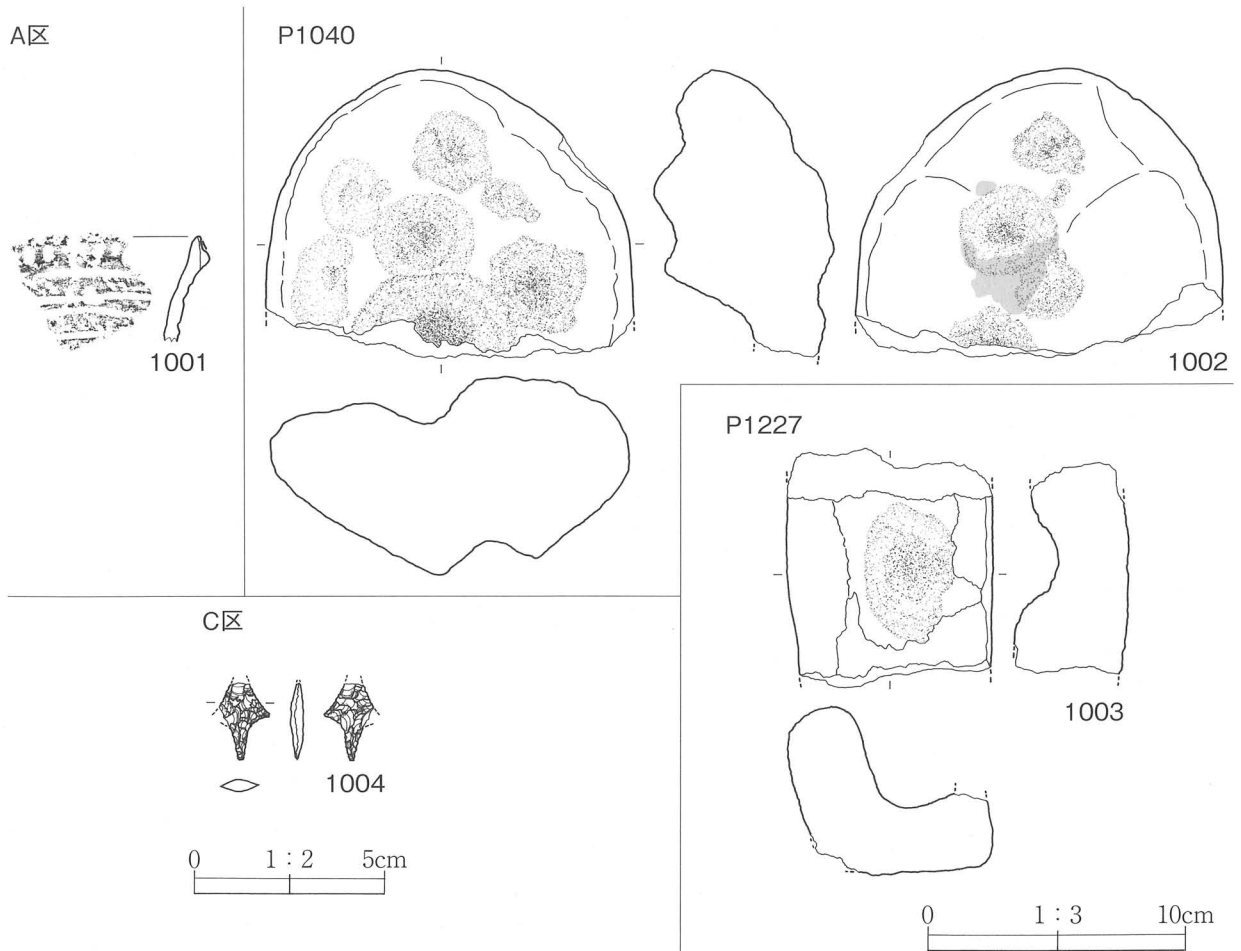
SD122・123 (G3区)



第110図 SD122・123

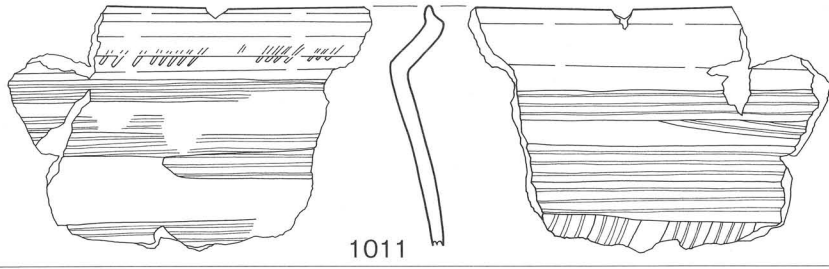


第111図 SD124・127

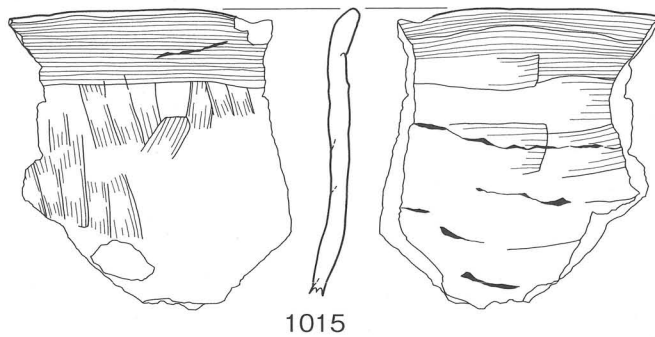
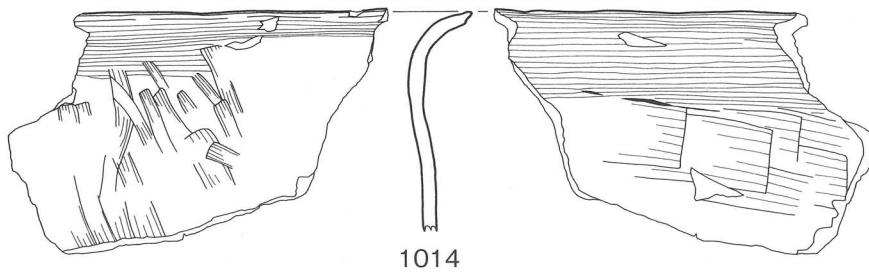
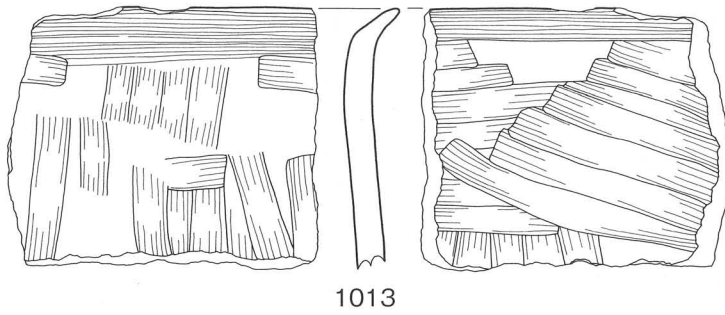
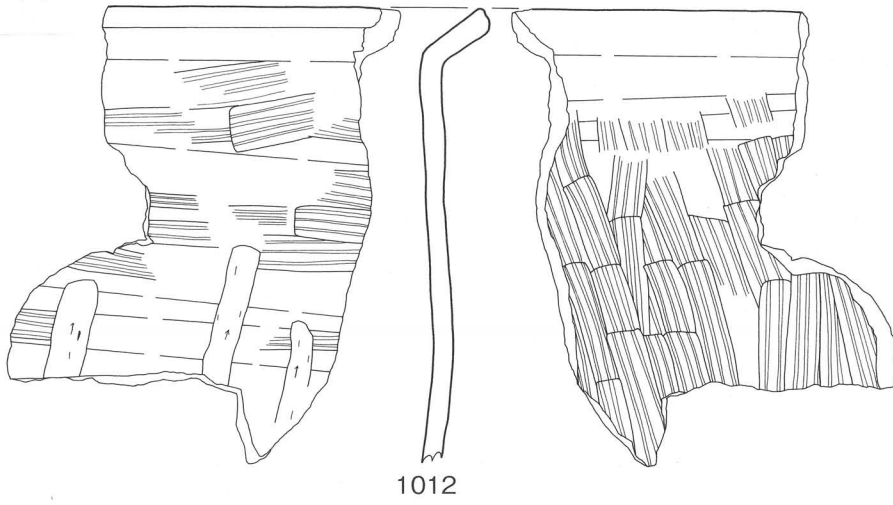


第 112 図 縄文土器、石器

SI101



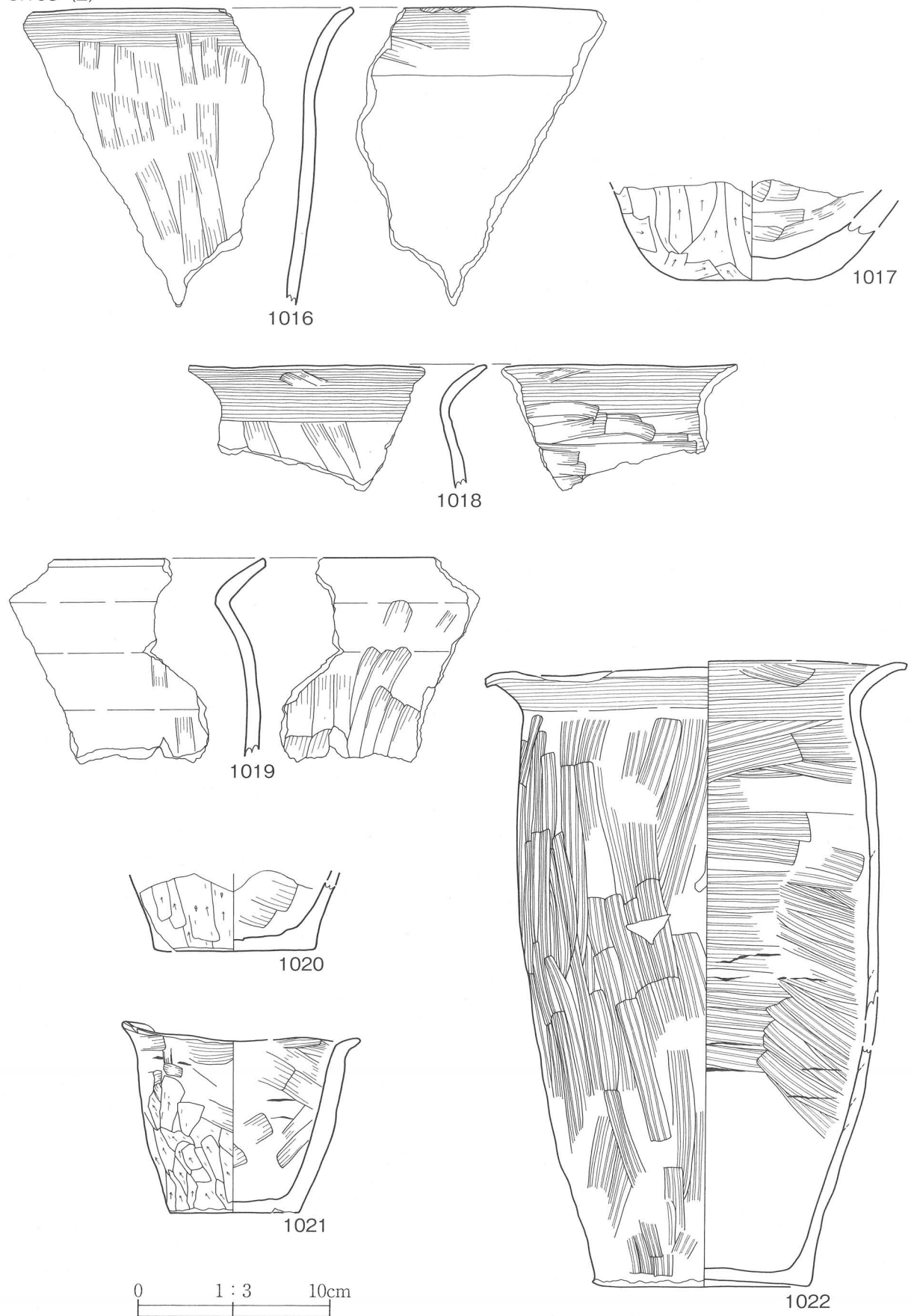
SI103 (1)



0 1:3 10cm

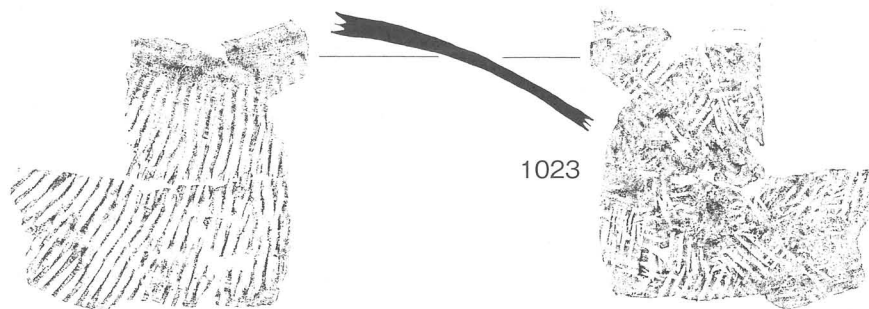
第113図 土師器(1)

SI103 (2)

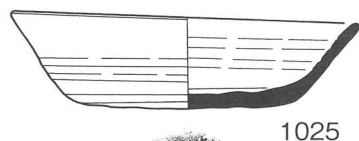
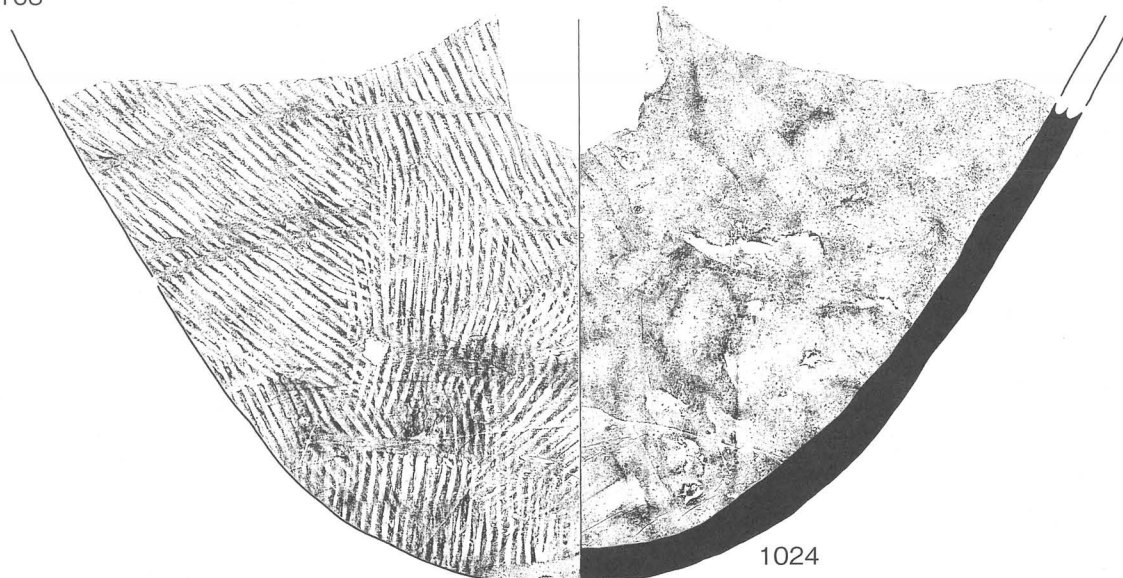


第114図 土師器(2)

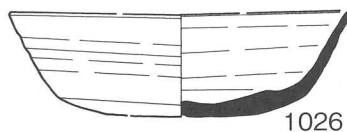
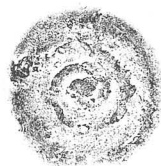
SI101



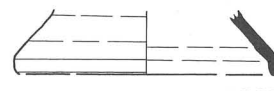
SI103



1025

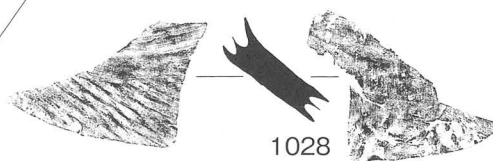


1026



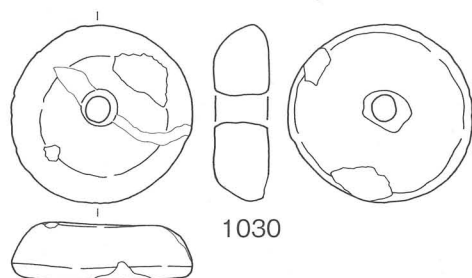
1027

P1063



1028

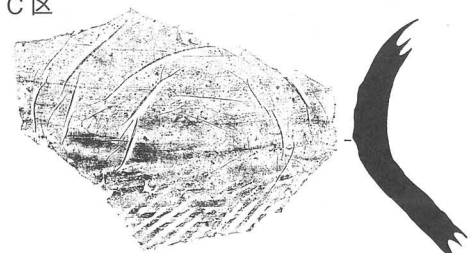
E区



1030

0 1:2 5cm

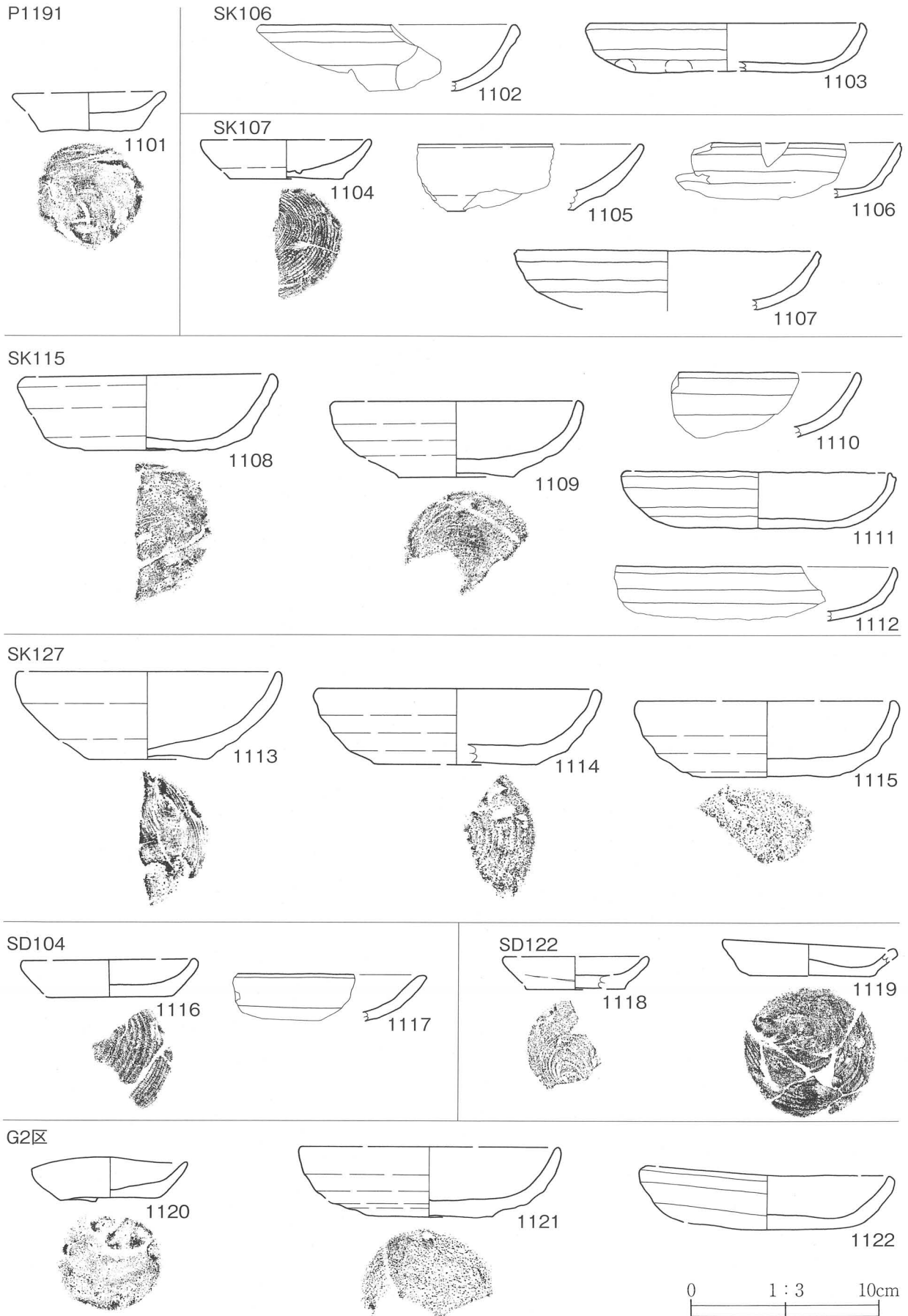
C区



1029

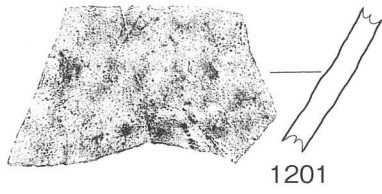
0 1:3 10cm

第115図 須恵器、石製品



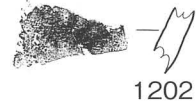
第116図 かわらけ

P1266



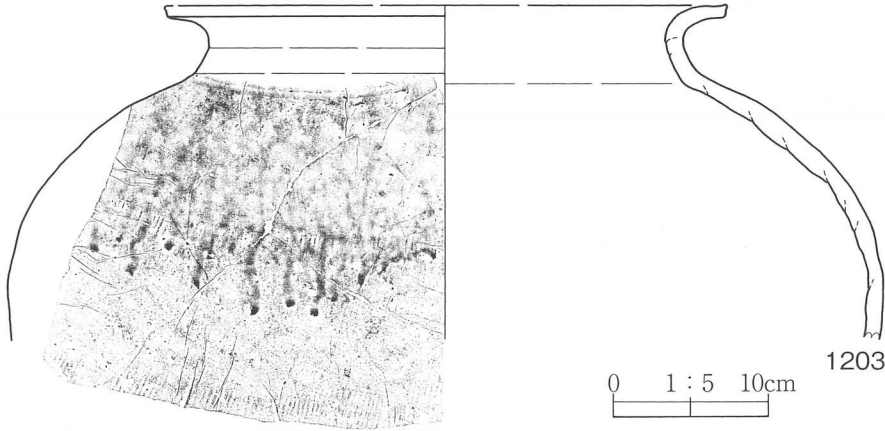
1201

P1317



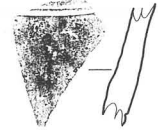
1202

SK107

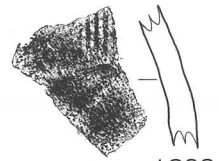


1203

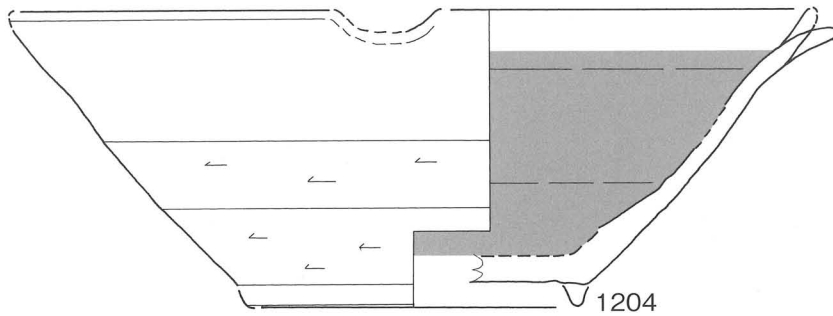
C区



1207

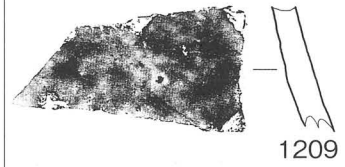


1208

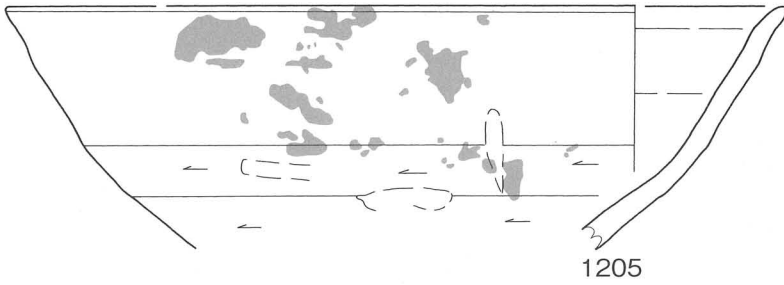


1204

E2区

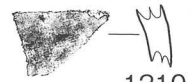


1209



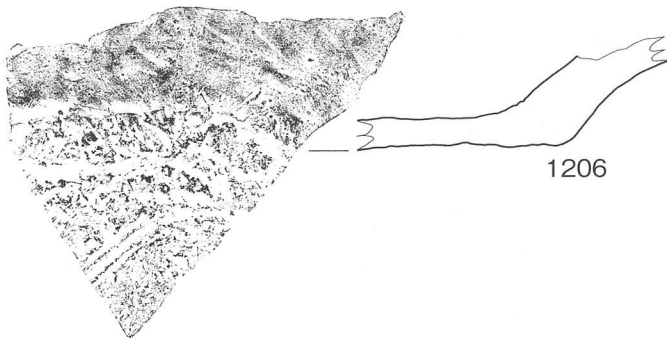
1205

G2区



1210

SK127

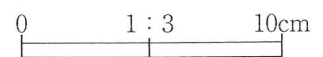


1206

G4区

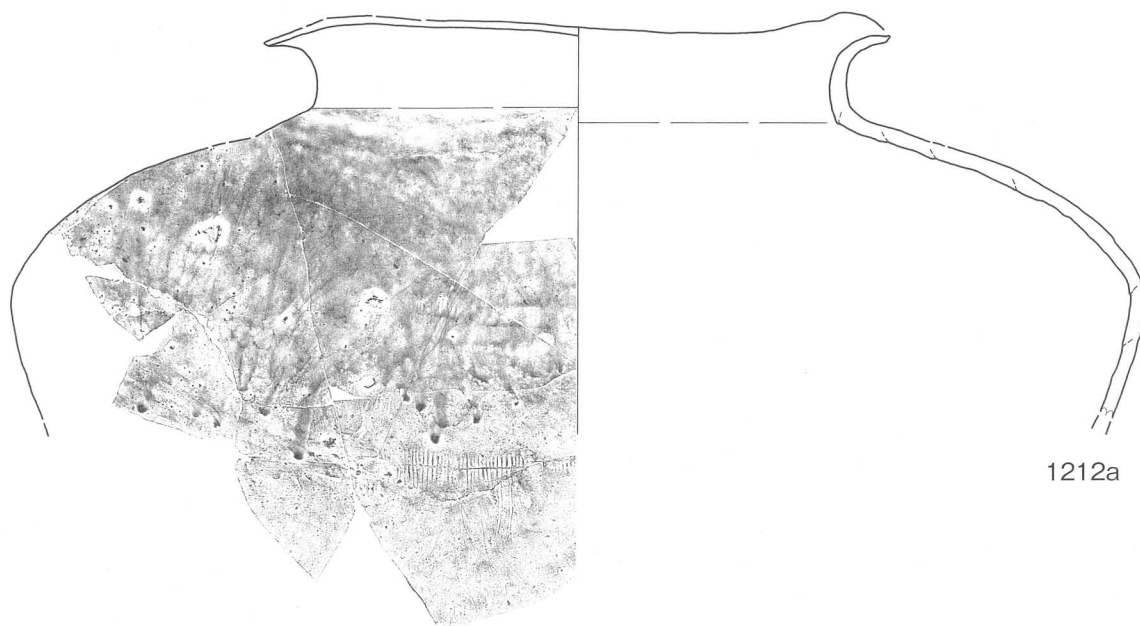


1211



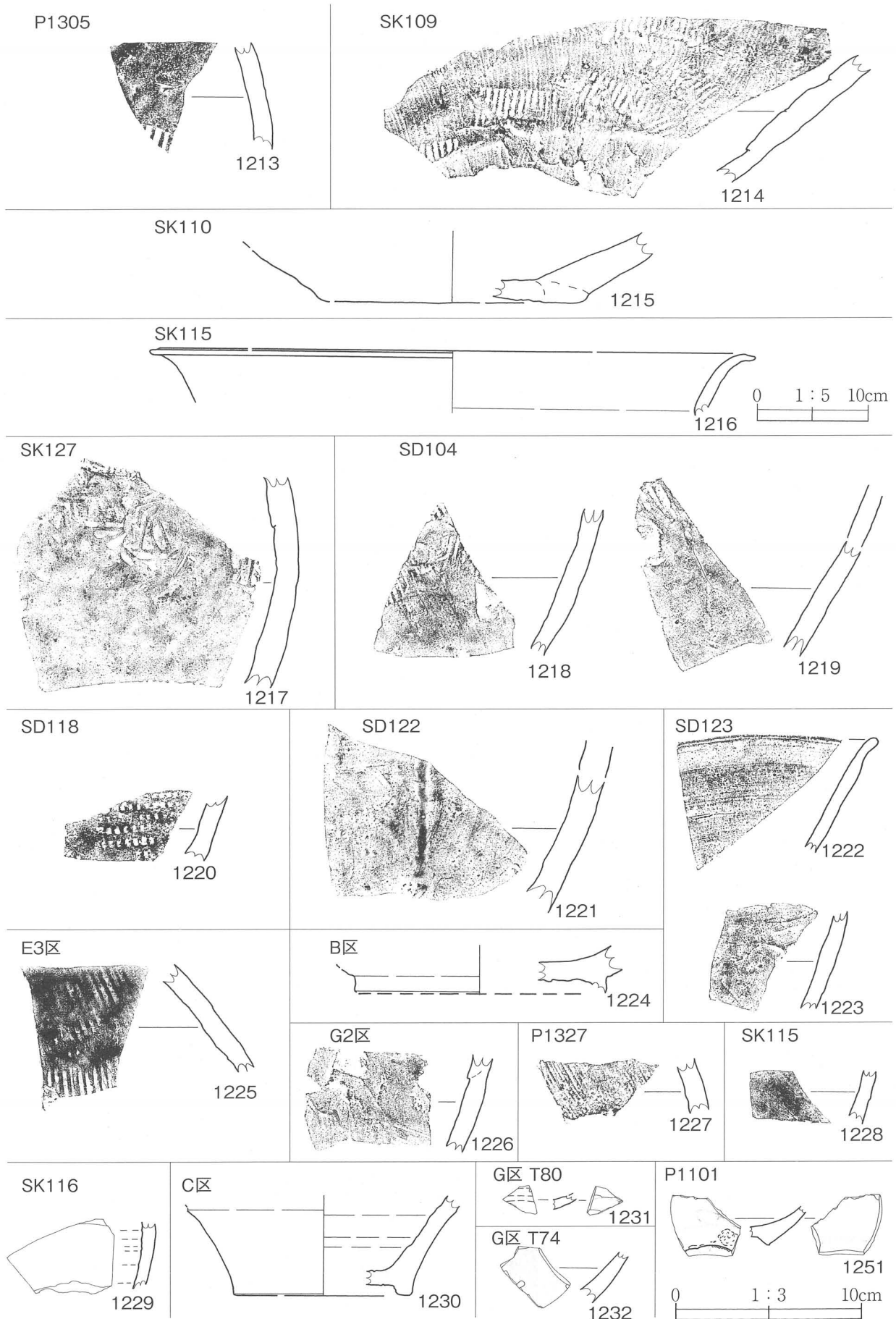
第 117 図 国産陶器：常滑（1）

SZ101



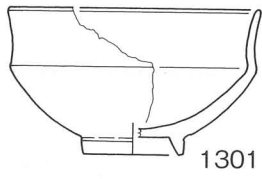
0 1:5 20cm

第118図 国産陶器：常滑（2）

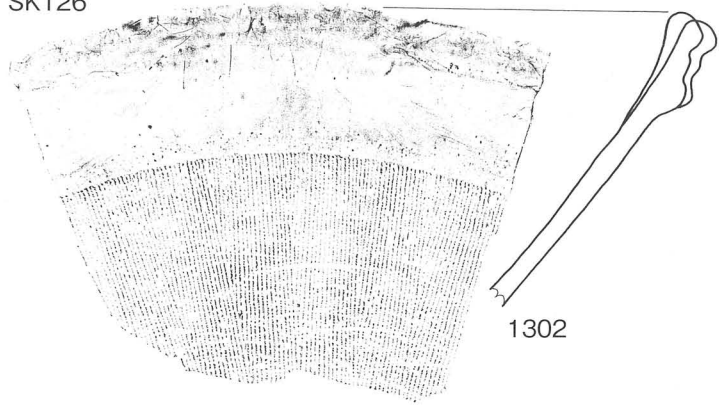


第119図 国産陶器：渥美・須恵器系、中国産磁器：白磁・青白磁、中世の磁器

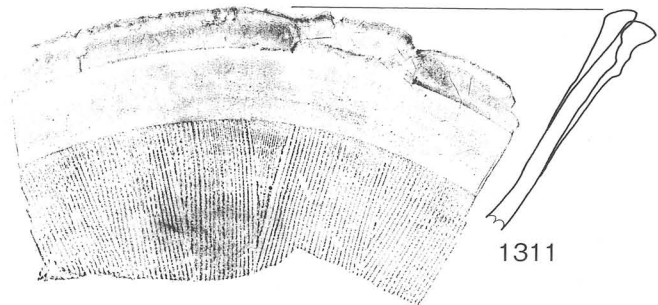
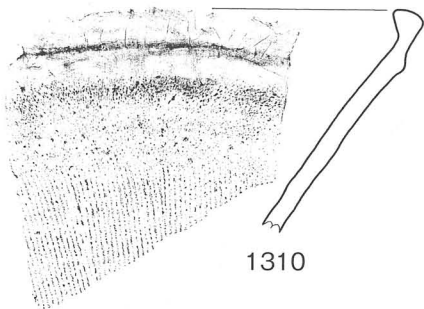
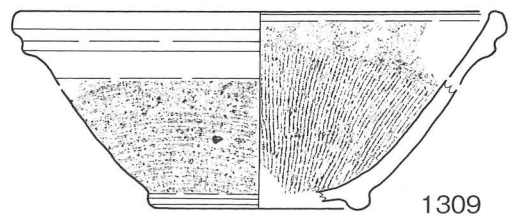
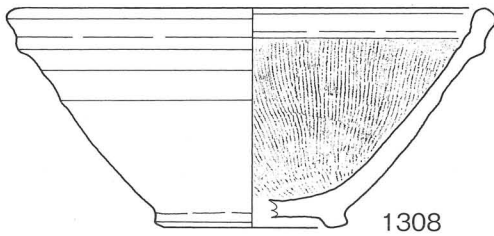
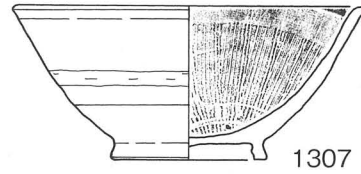
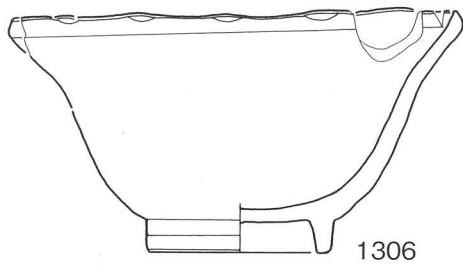
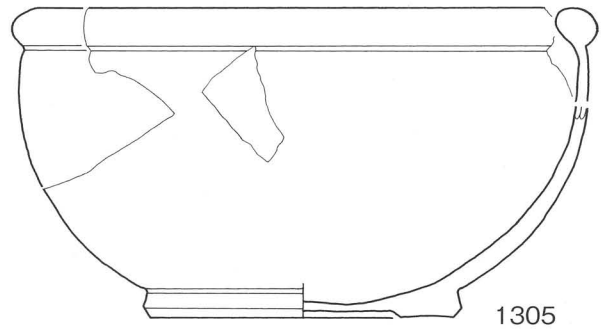
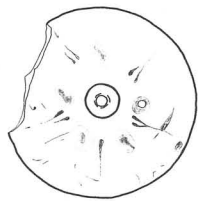
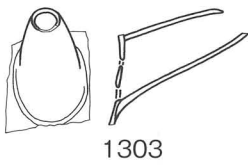
SK121



SK126



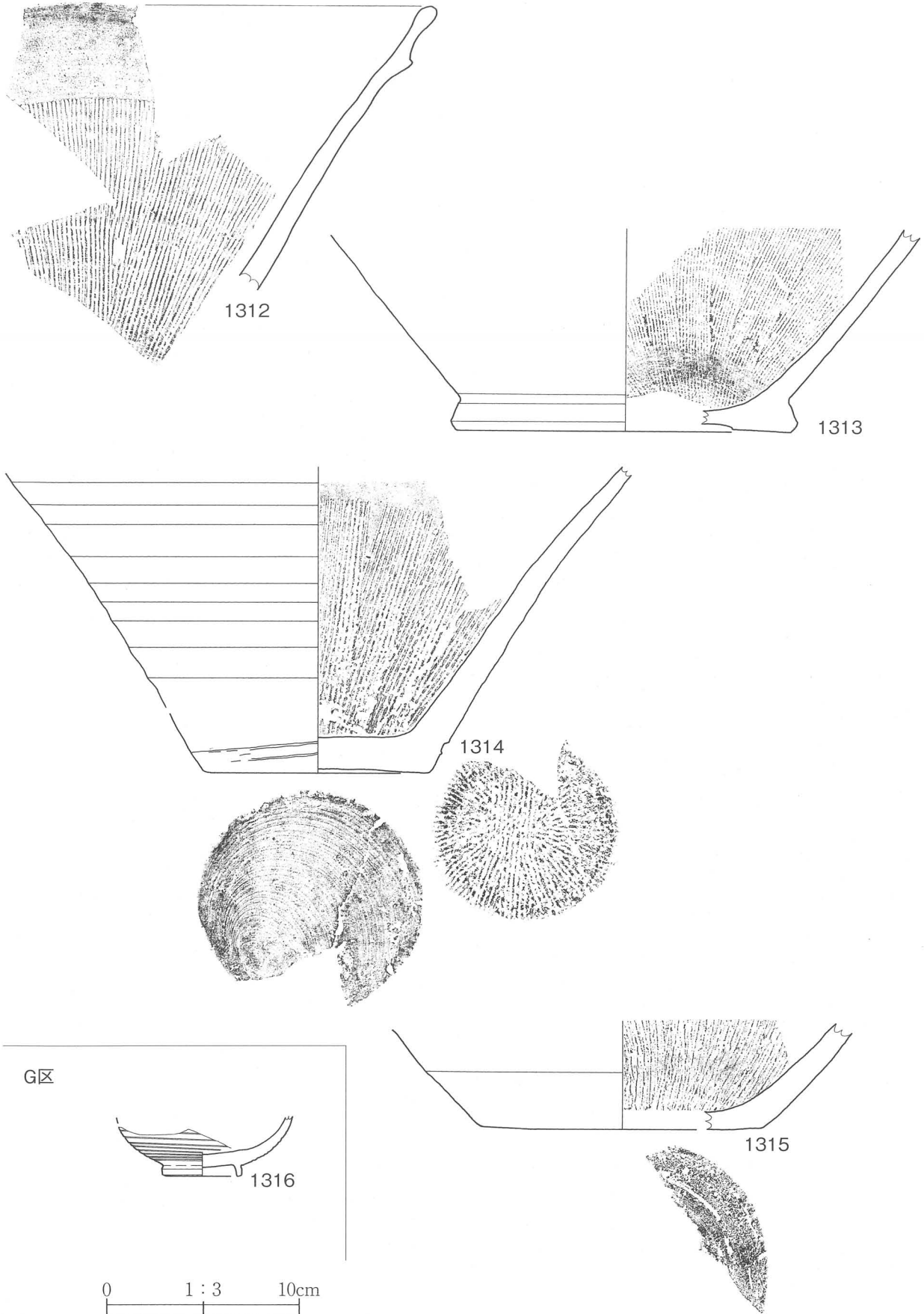
SD127 (1)



0 1 : 3 10cm

第120図 近世・近代の陶磁器(1)

SD127 (2)

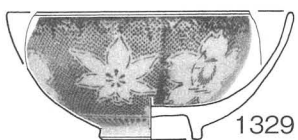
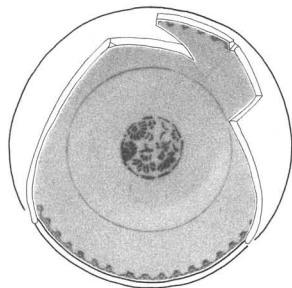
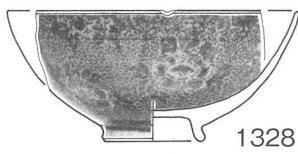
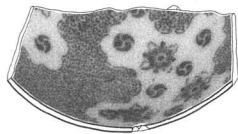
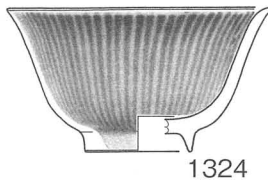
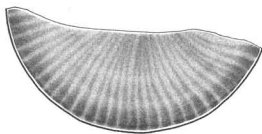
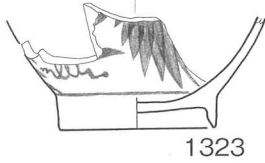
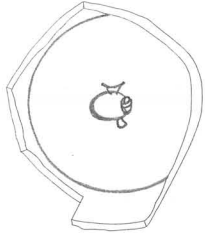


第121図 近世・近代の陶磁器(2)

SK124

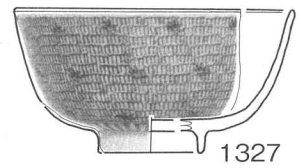
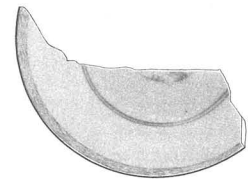
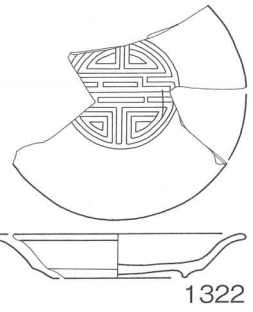
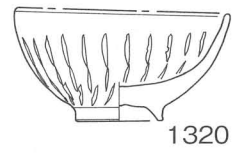
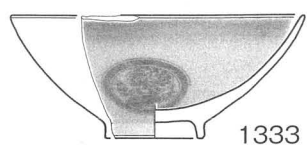
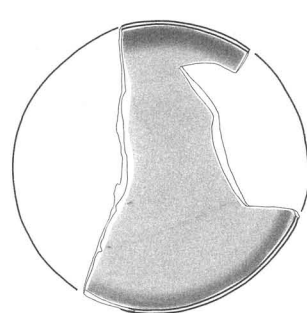
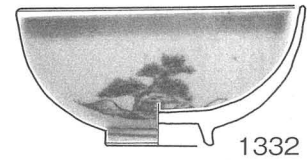
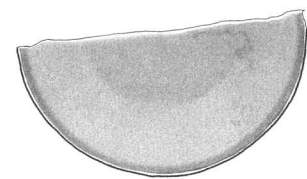
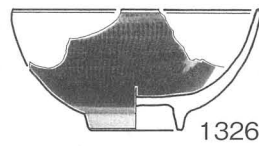
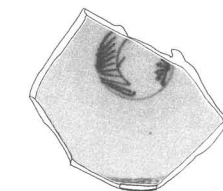
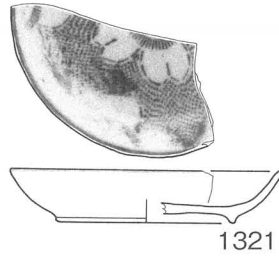
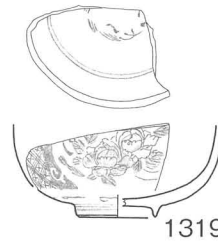
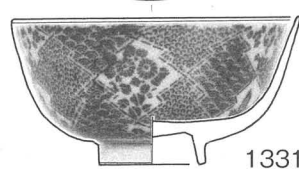
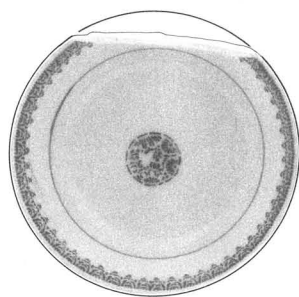
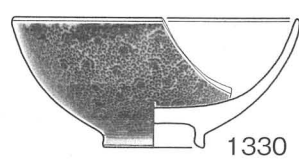
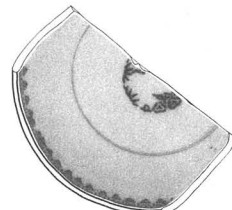
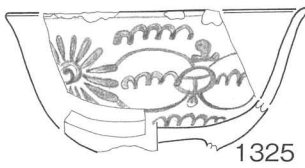
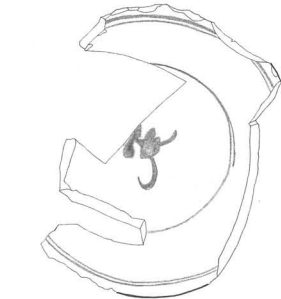
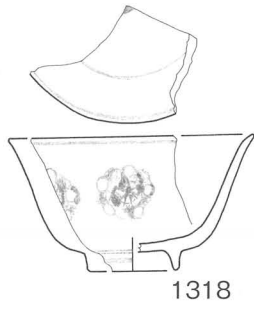


SD127 (1)



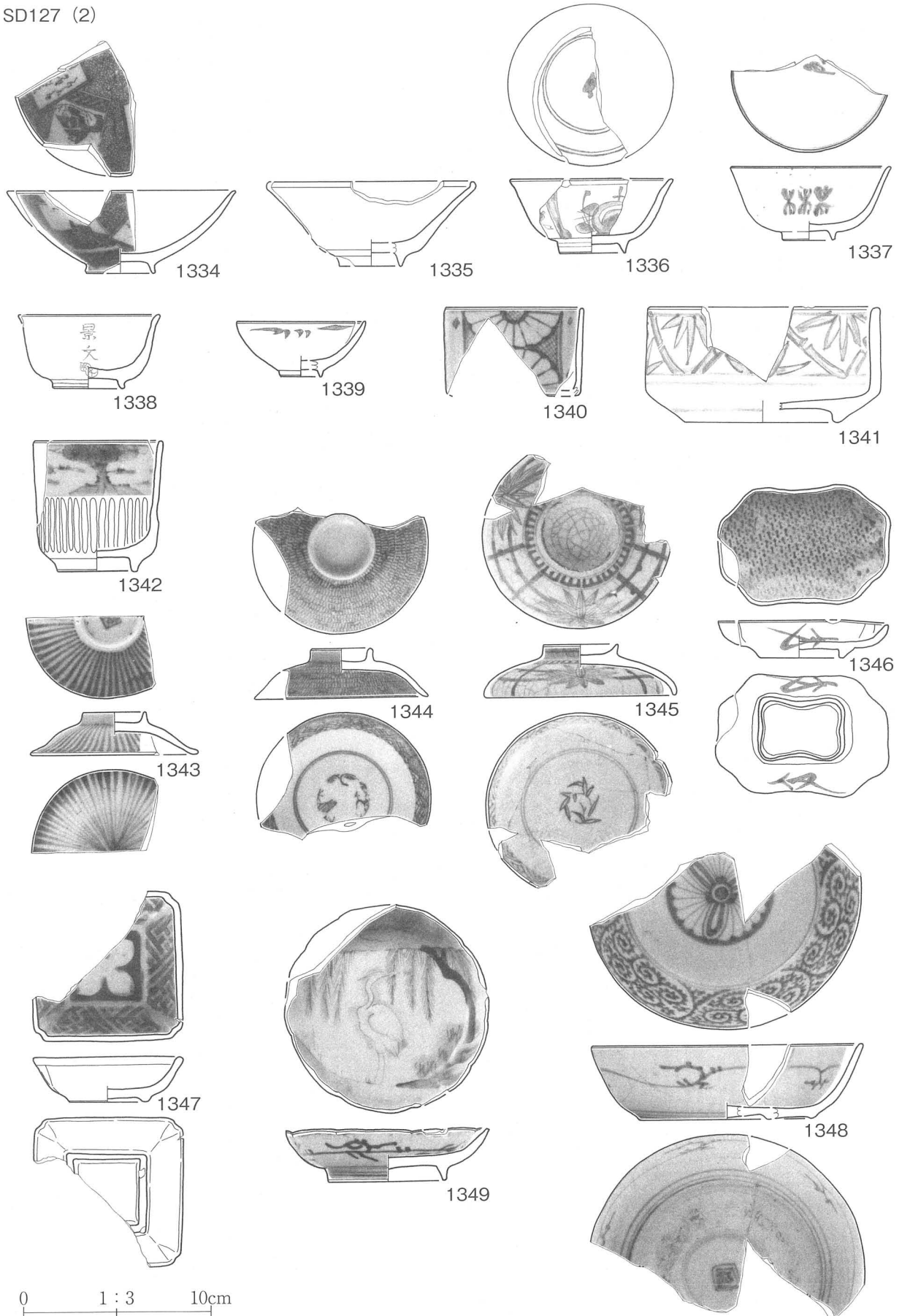
0 1 : 3 10cm

SK126



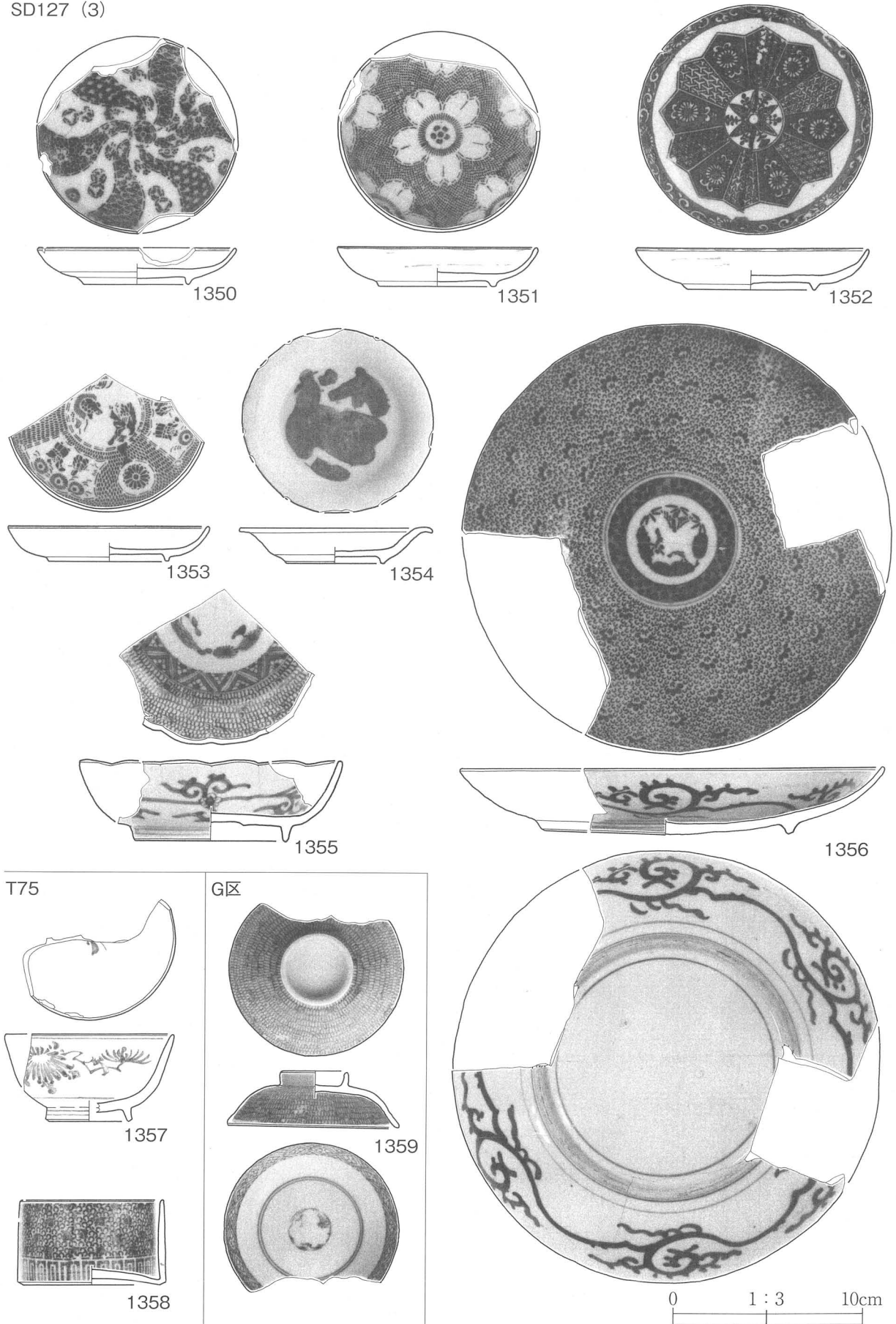
第122図 近世・近代の陶磁器 (3)

SD127 (2)



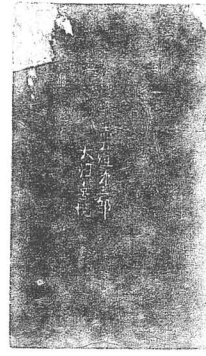
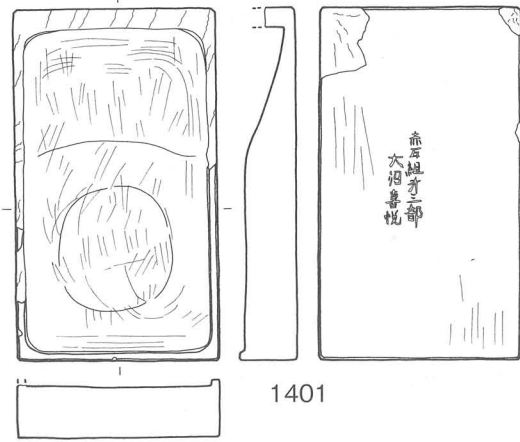
第123図 近世・近代の陶磁器(4)

SD127 (3)

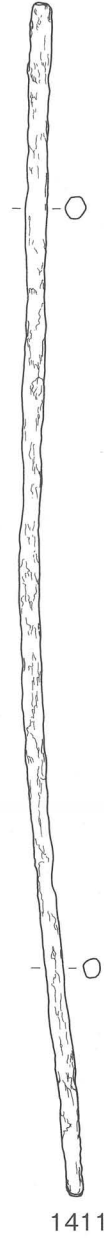


第124図 近世・近代の陶磁器(5)

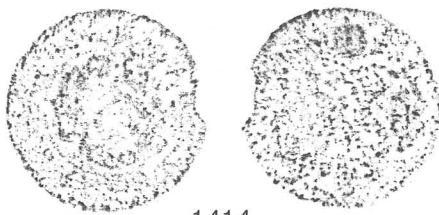
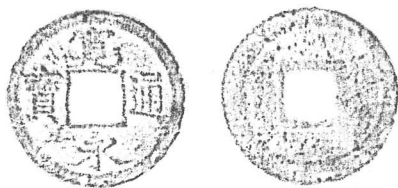
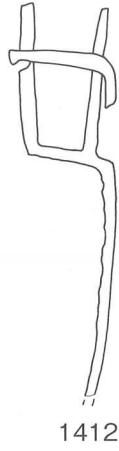
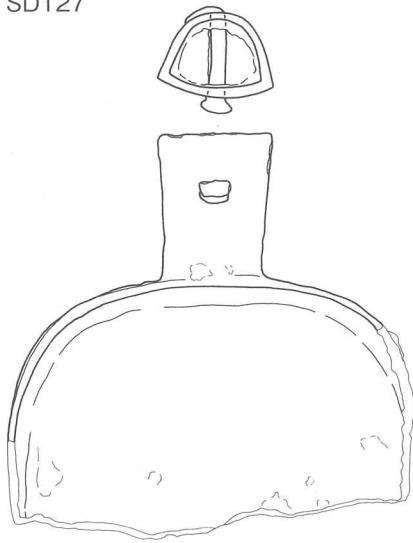
SK126



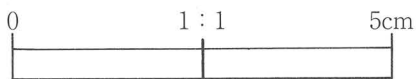
E2区



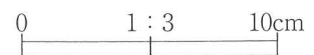
SD127



※1413・1414

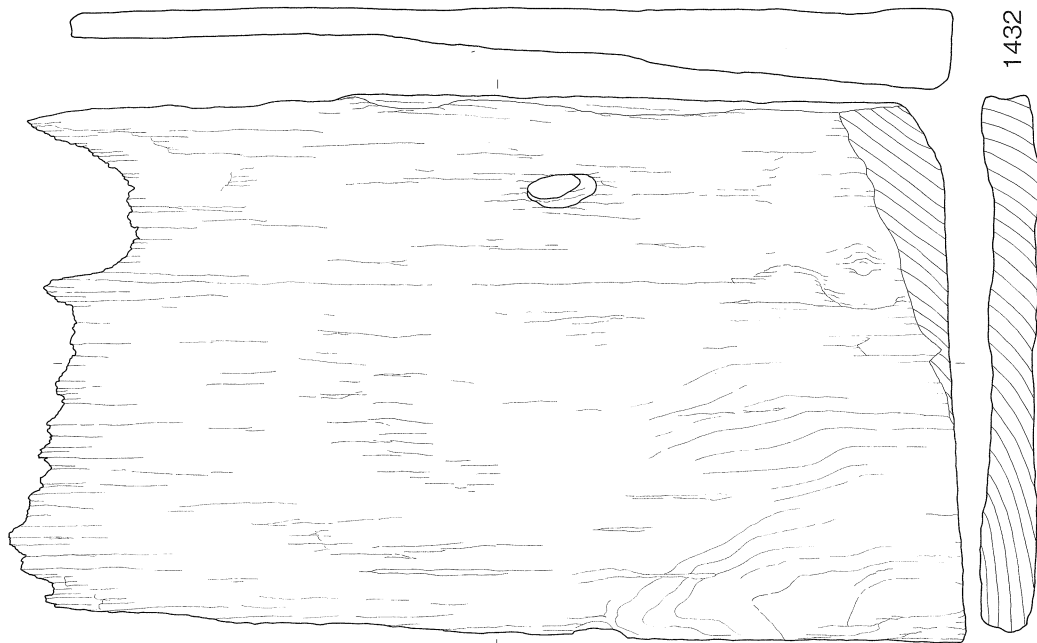
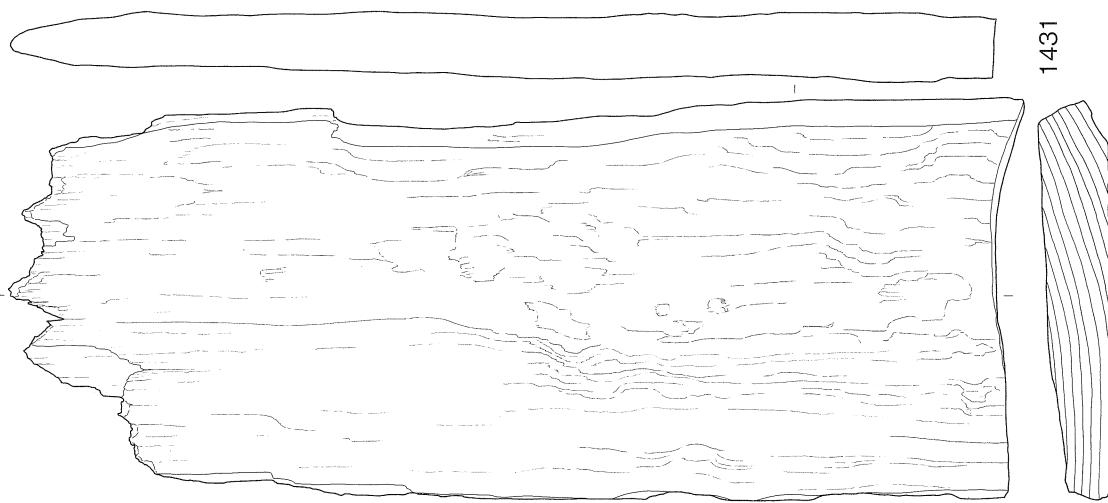


SD127



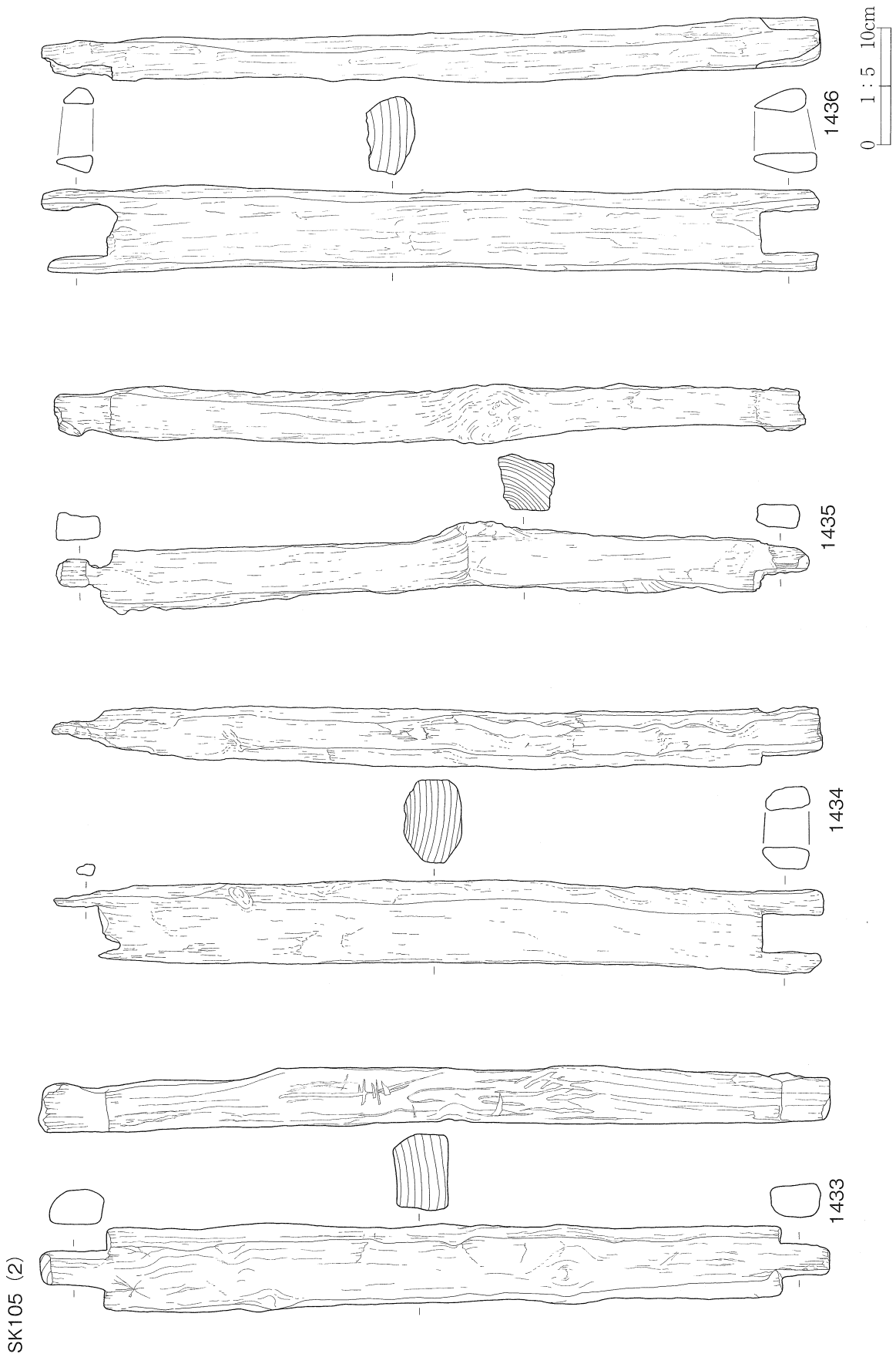
第 125 図 石製品、金属製品、ガラス製品

SK105 (1)



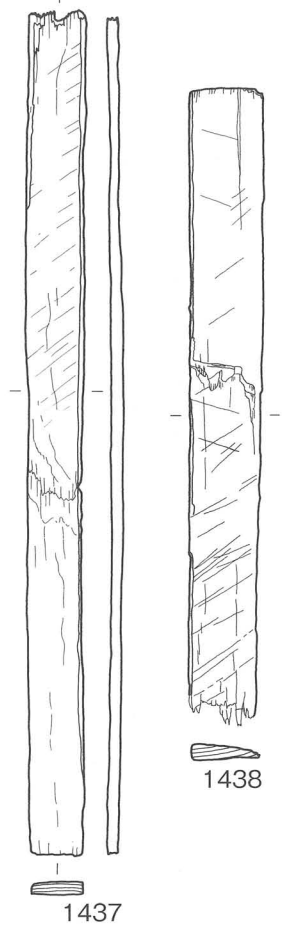
0 1:5 10cm

第126図 木製品 (1)

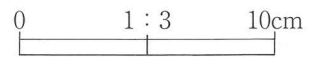
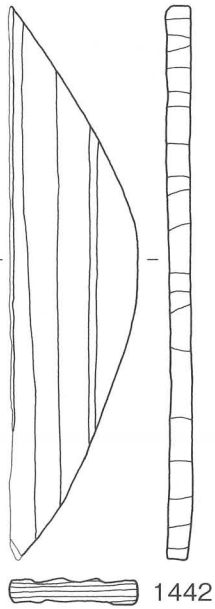
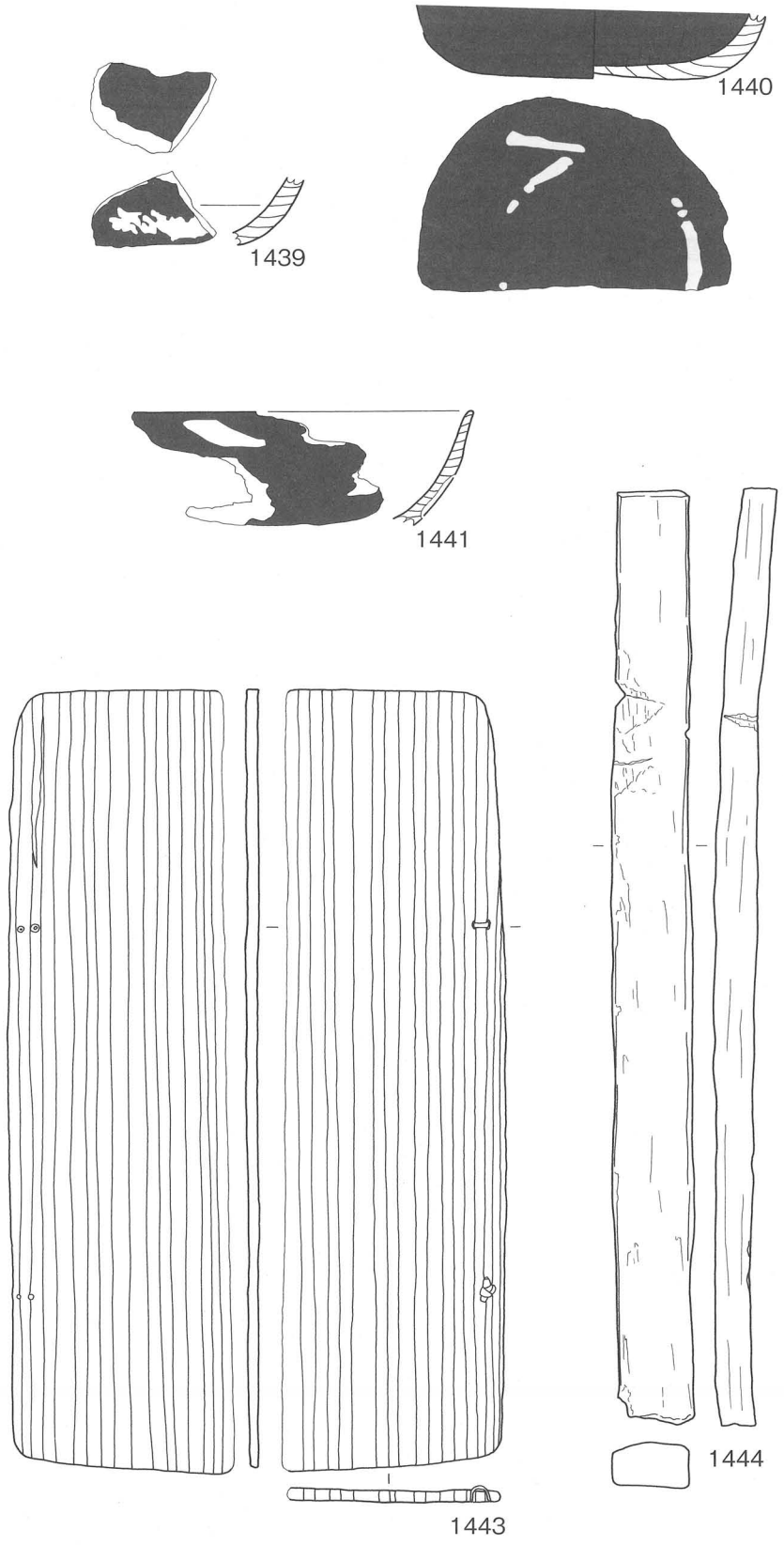


第127図 木製品(2)

SK106

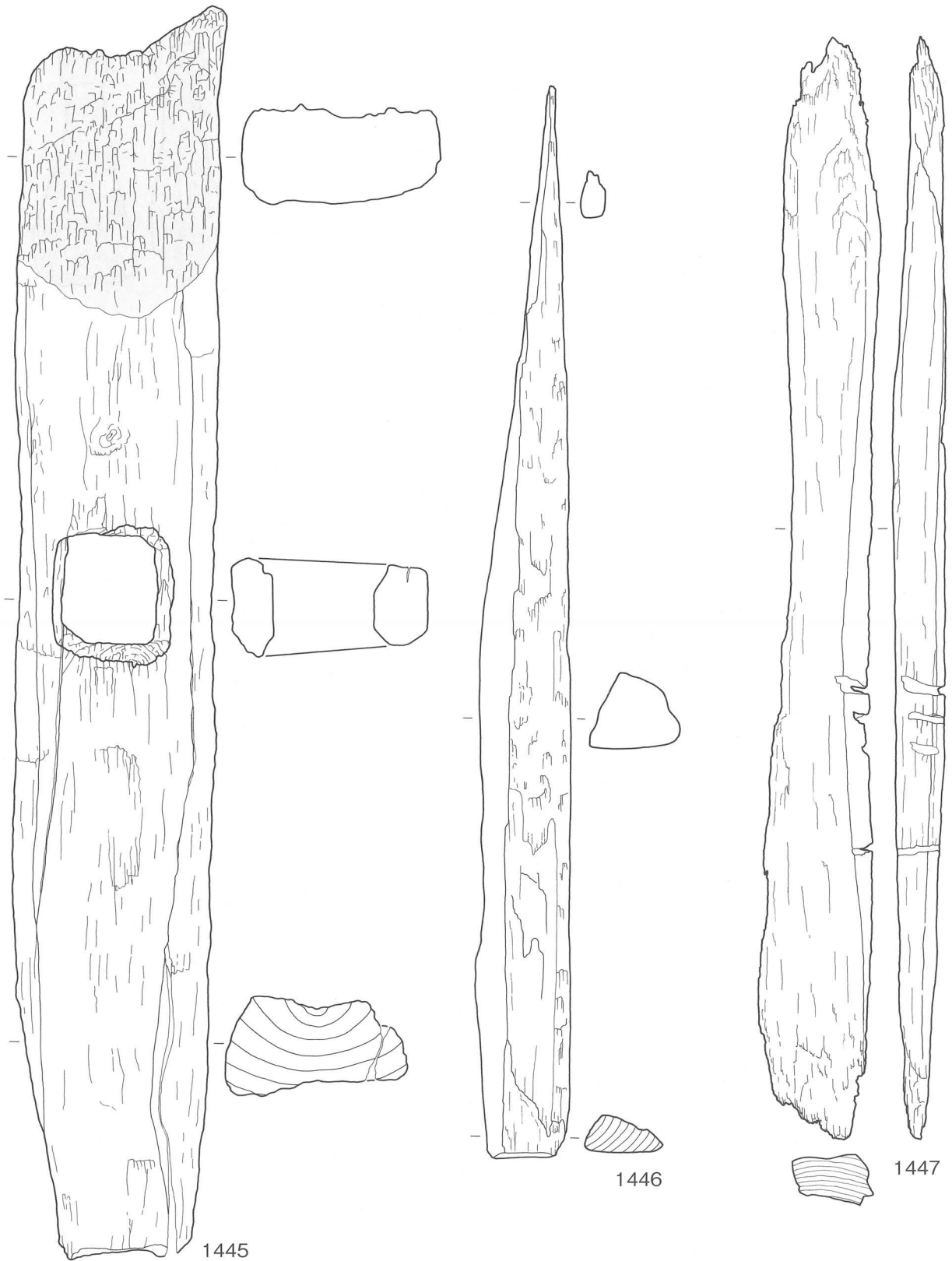


SK107(1)



第128図 木製品(3)

SK107 (2)



※1445・1446

0 1:4 10cm

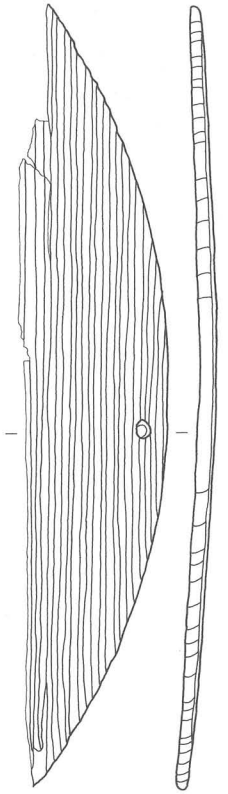
0 1:3 10cm

第129図 木製品(4)

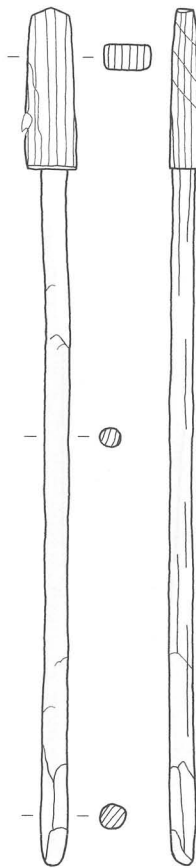
SK113



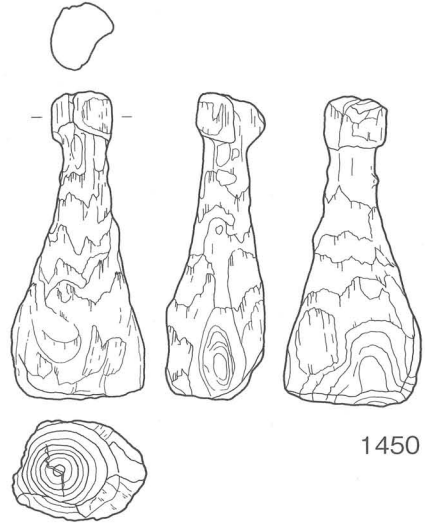
SK115



1449

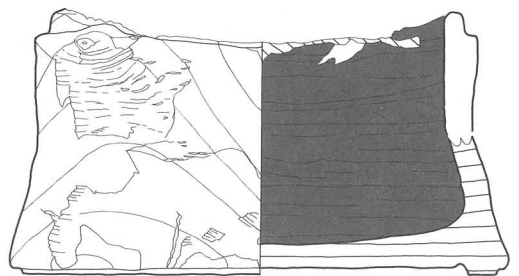
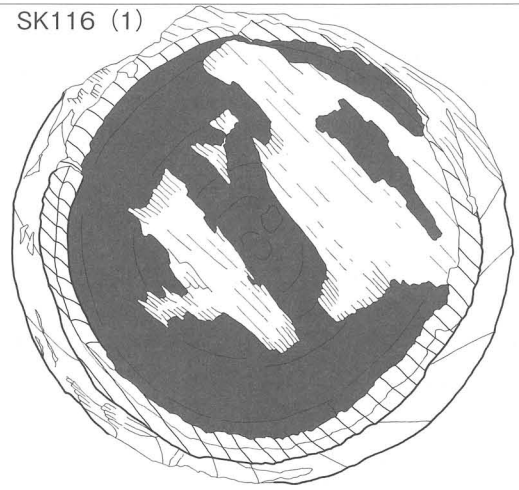


1453

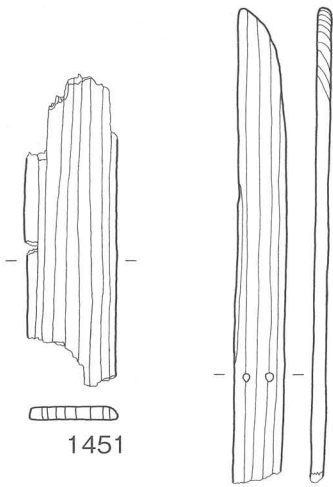
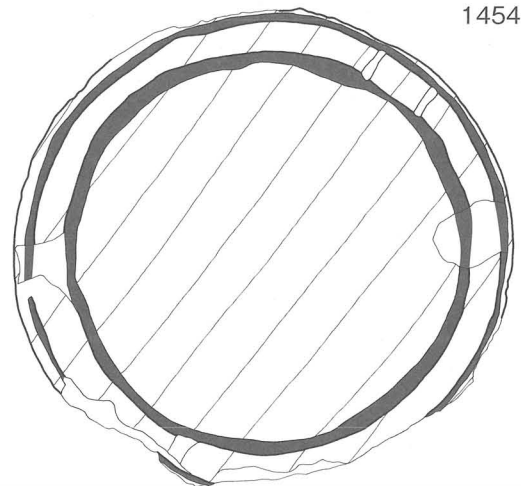


1450

SK116 (1)

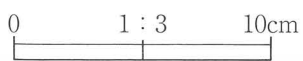


1454



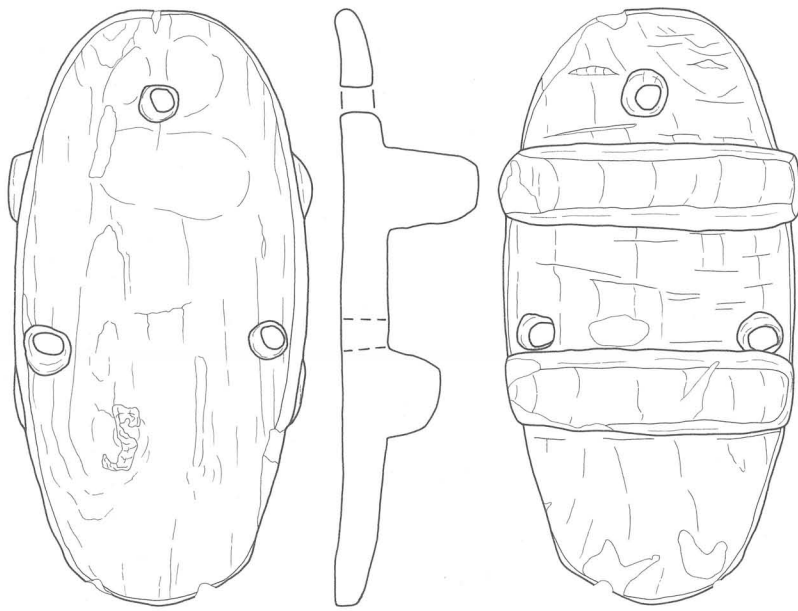
1451

1452

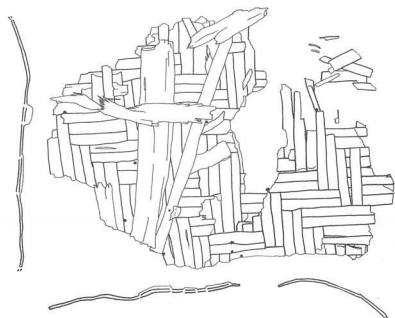


第130図 木製品(5)

SK116 (2)

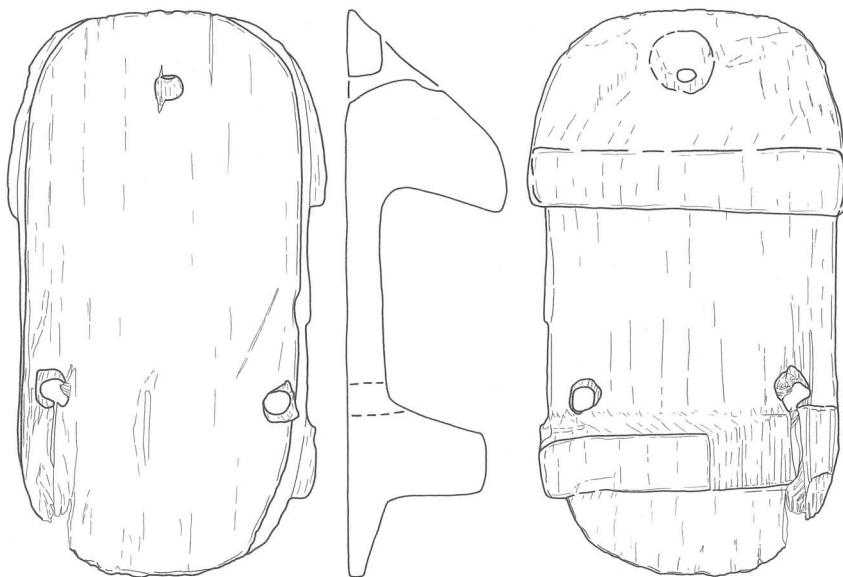


1455



1456

SK125

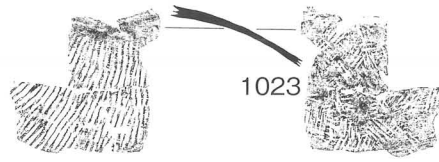
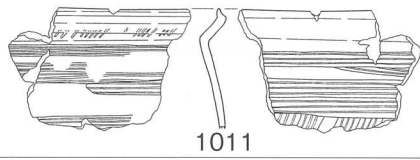


1457

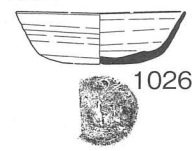
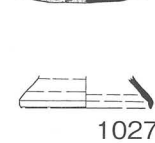
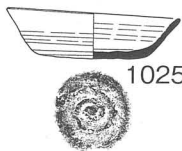
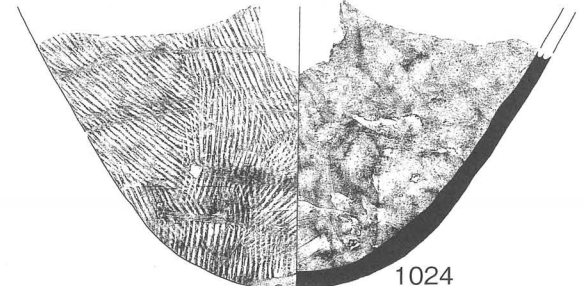
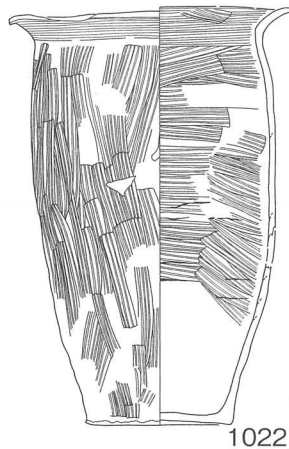
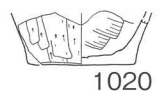
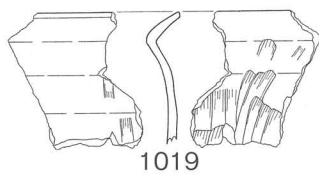
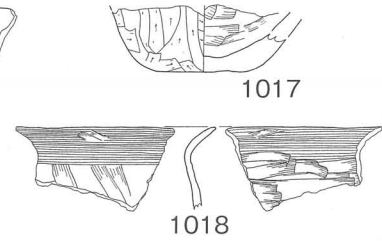
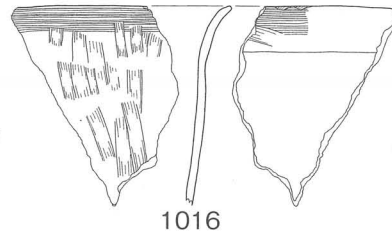
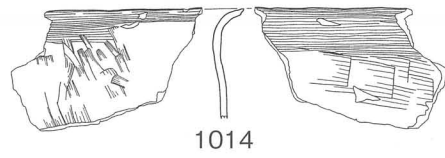
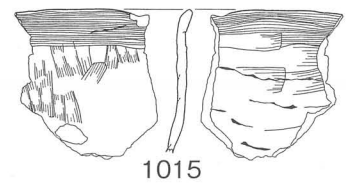
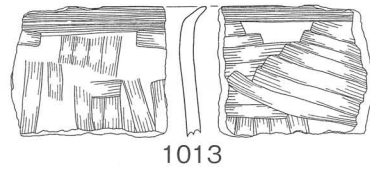
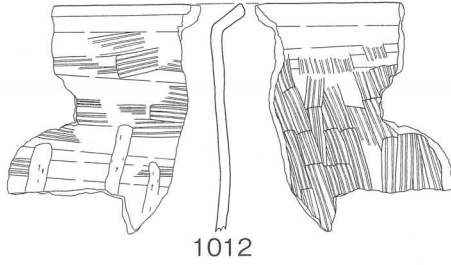
0 1 : 3 10cm

第131図 木製品(6)

SI101



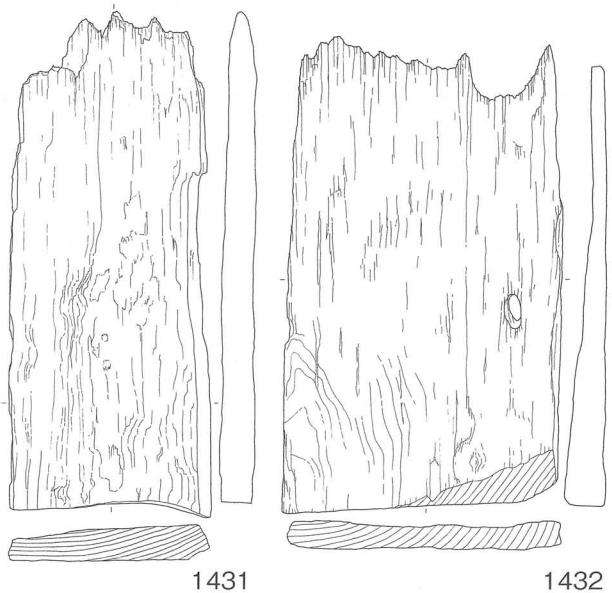
SI103



P1040



SK105 (1)



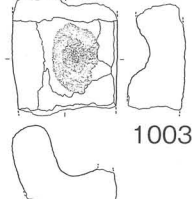
P1063



P1191



P1227



P1101



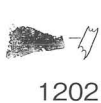
P1266



P1305



P1317

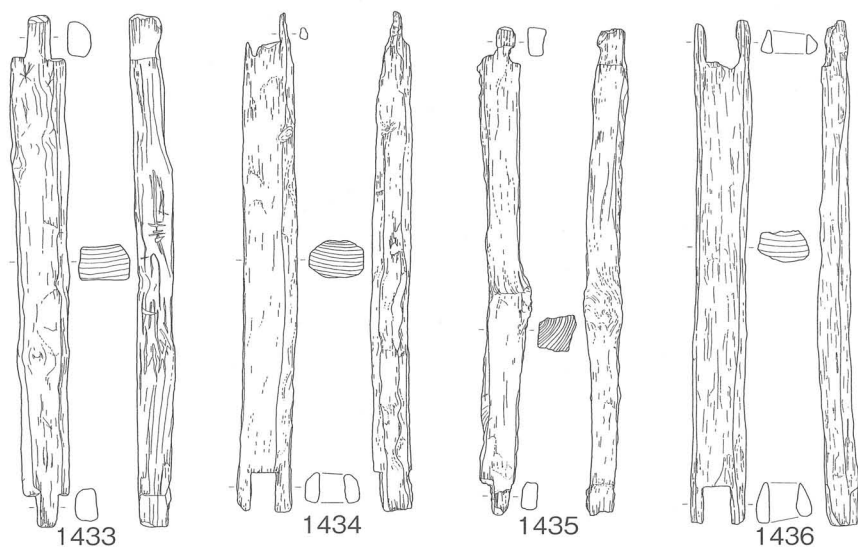


P1327

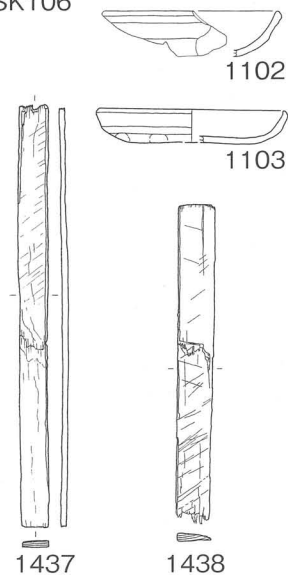


第 132 図 遺構別出土遺物集成図 (1)

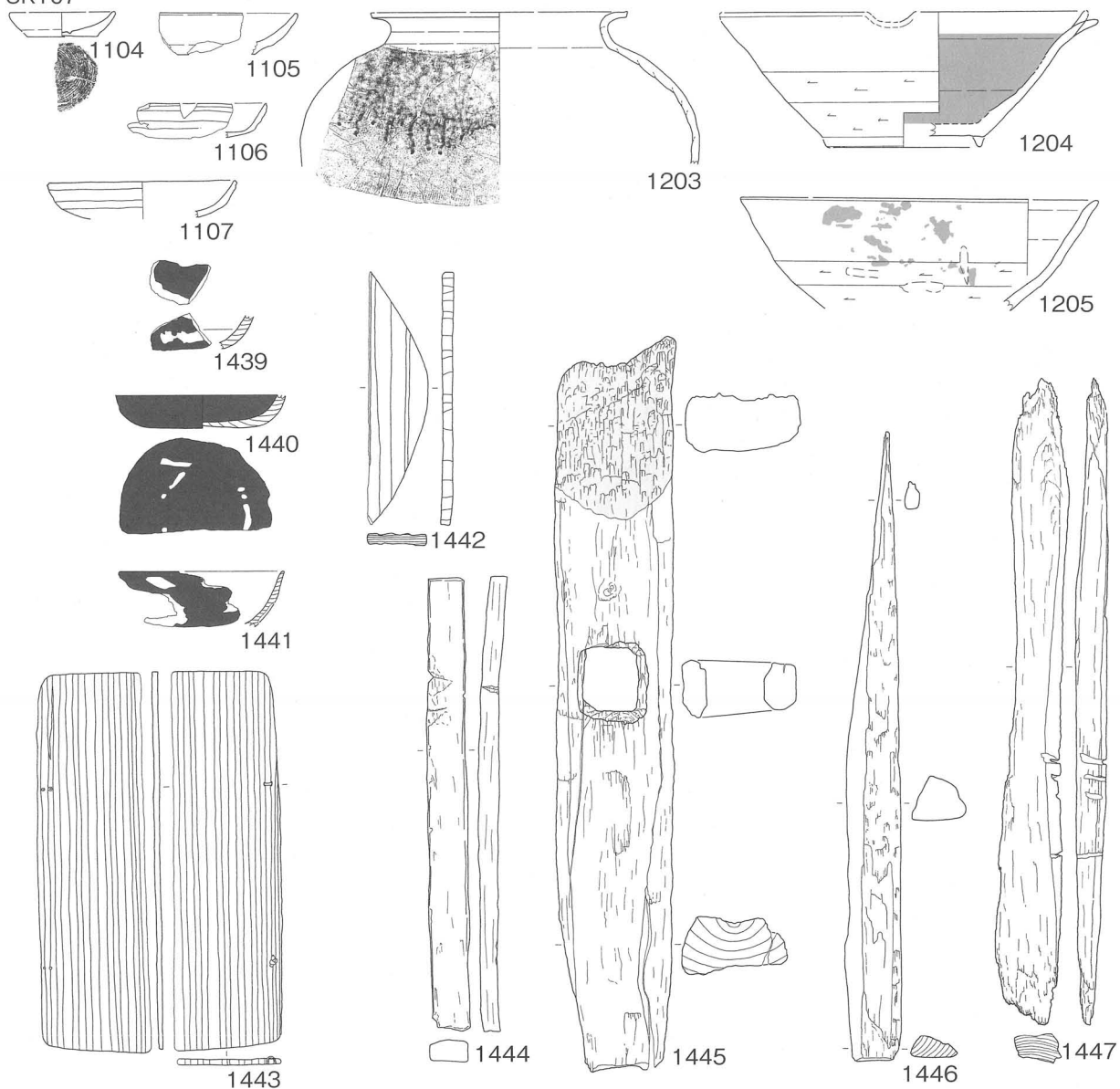
SK105 (2)



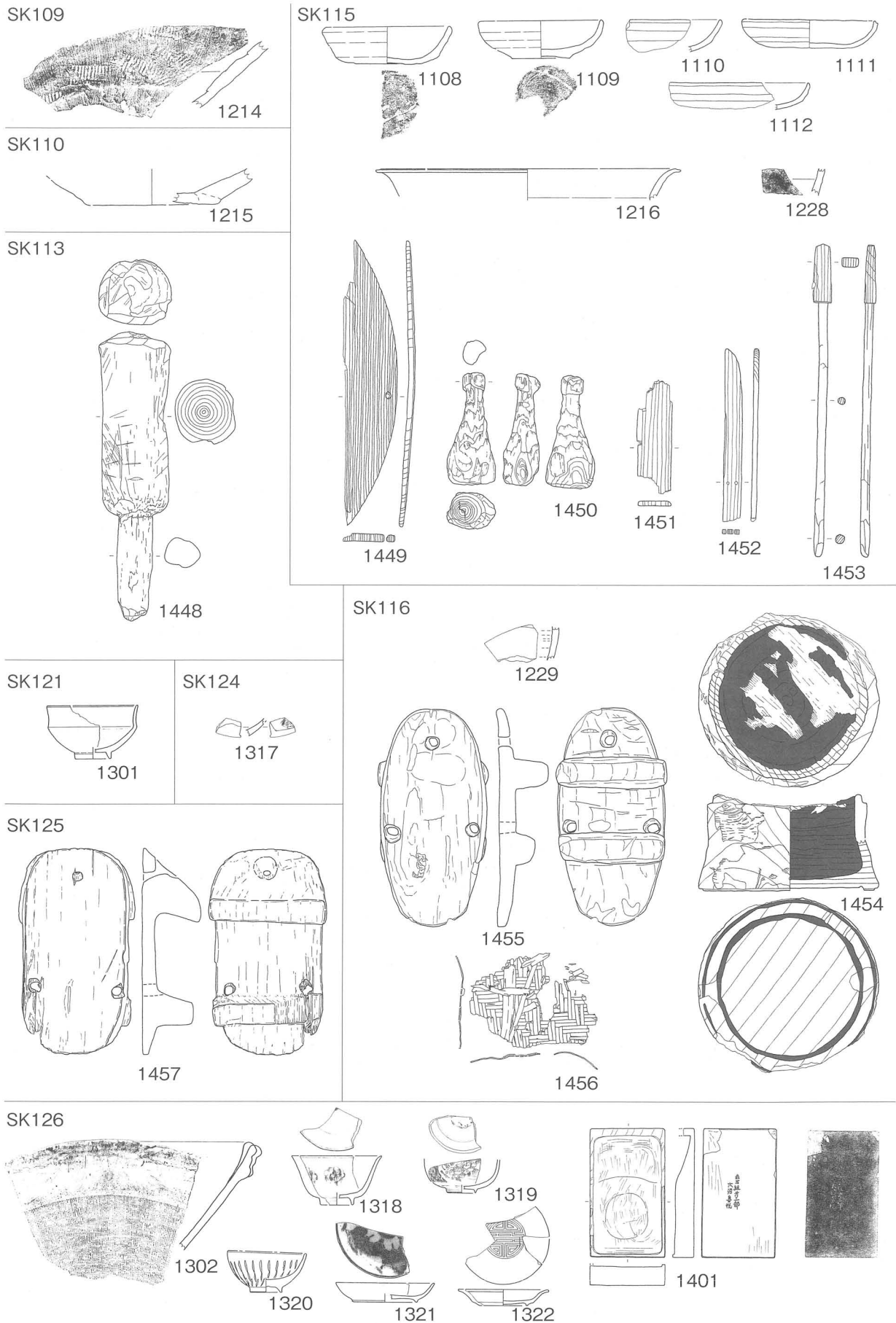
SK106



SK107

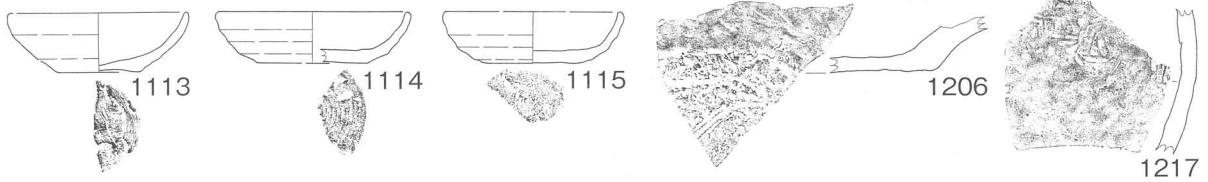


第 133 図 遺構別出土遺物集成図 (2)

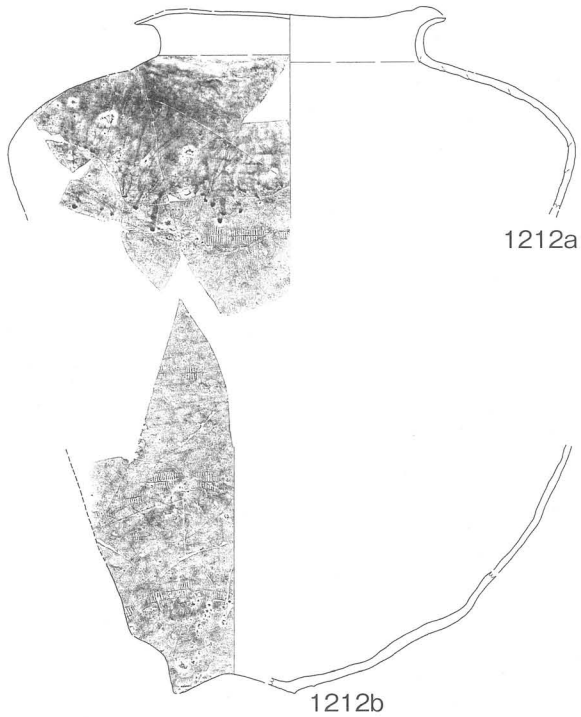


第 134 図 遺構別出土遺物集成図 (3)

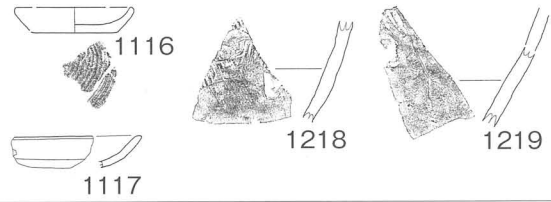
SK127



SZ101



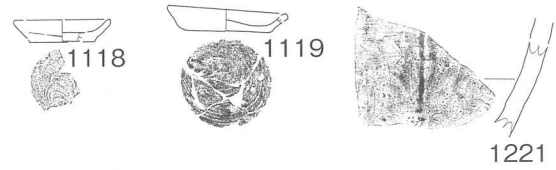
SD104



SD118



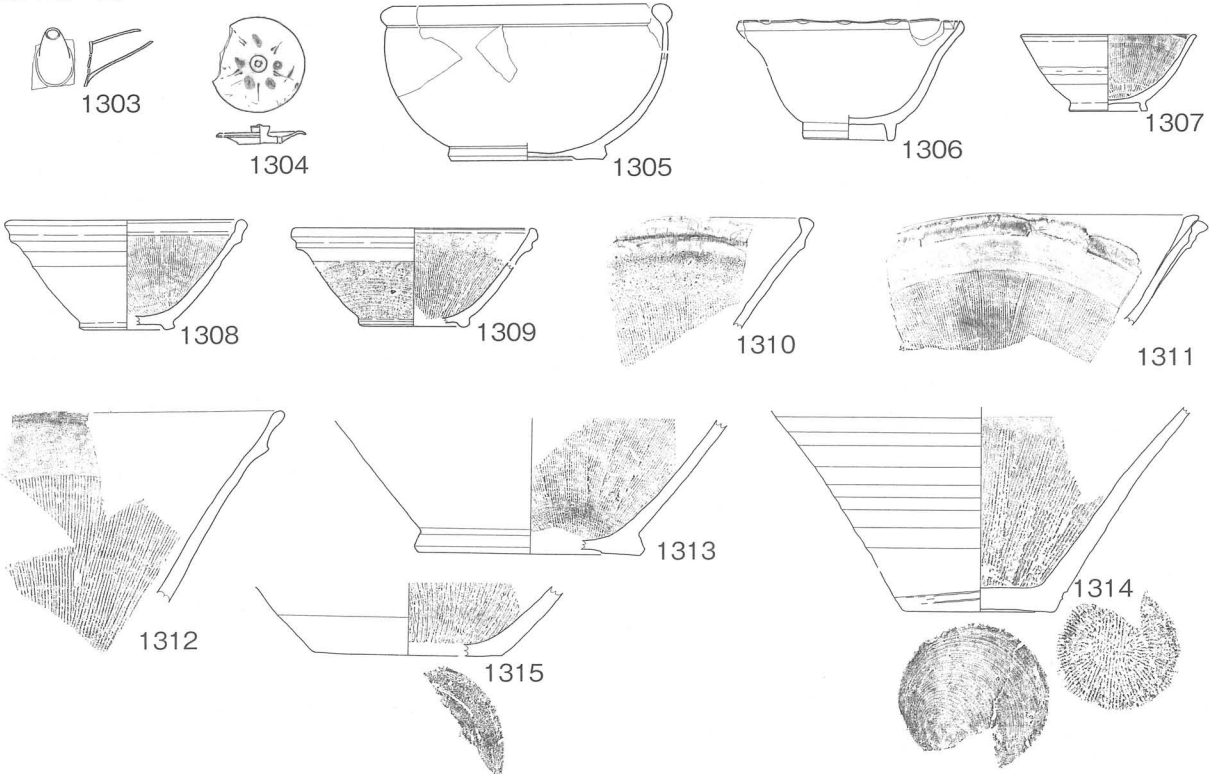
SD122



SD123

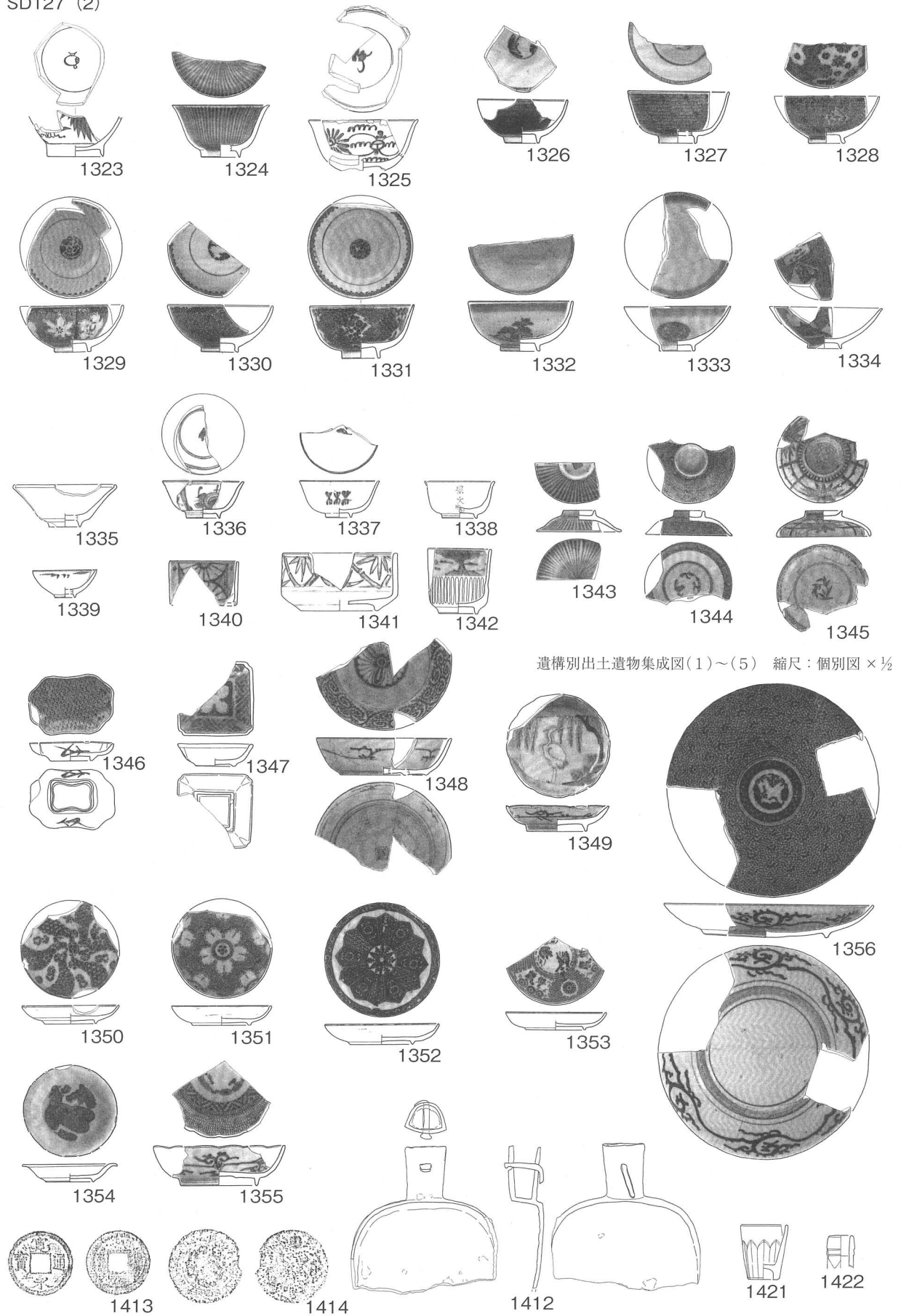


SD127 (1)



第 135 図 遺構別出土遺物集成図 (4)

SD127 (2)



第136図 遺構別出土遺物集成図(5)

VI 総 括

遺跡がⅠ・Ⅱ遺跡に分かれているために、業務上、各遺跡の調査成果を分けて報告した。しかし、Ⅰ・Ⅱ遺跡は、調査成果からも、地形的にも性格的にも連続する遺跡である。ここでは、Ⅰ・Ⅱ遺跡を併せて、今回の主な調査成果となった12世紀と、近世から近代の遺構・遺物についてまとめる。

1 12世紀の遺構と遺物

(1) 遺 構

建物跡・井戸跡・溝跡・道路状遺構・土器埋設遺構などがある。

a 建物跡

3棟確認された。掘立柱建物跡である。いずれも部分的な調査で平面形式は不明だが、S B 102・103建物跡については、柱間2.5m、柱穴の規模は径67～68cm、77～82cmと大きく、礎盤を伴っていた柱穴もある。大型建物の可能性がある。

b 井戸跡

E 2区付近で6基がまとまって分布していた。井戸跡の特徴は、平面形は円形で、径1.63～1.43m、深さ1.16m。断面形状は部分的に袋状の膨みをもつものもあるが、概ね円筒形や逆台形状である。内部構造は、枠などの施設を伴わない掘り方だけの井戸跡である。比叡館跡でも類似する規模・形状の当該期の井戸跡が見つかっており、後世に削平を受けたことを考慮しても、本来の掘り方は、それほど深くはなかったものと推測される。遺物の出土状況は個々の井戸跡で異なる。S K 107・116井戸跡では、陶磁器類や木製品など比較的多くの遺物が出土している。

c 土器埋設遺構

常滑窯産の陶器の甕が倒立で埋設されていたS Z 101土器埋設遺構がある。掘り方の大きさは、0.87×0.82mの円形基調で、確認できた掘り方の深さは0.13mである。後世の削平を受けた影響が考えられる。遺構の性格としては墓墳の可能性も考えられるが、詳細は不明である。

d 溝跡

Q区で確認されたS D 36溝跡は、南東隅でほぼ直角に折れ曲がる大きな溝跡である。溝内部の詳細な区画は不明だが、S D 37・43溝跡などの小規模な溝跡や、S K 26・27井戸跡、土壁が廃棄されていたS K 28土坑などが、溝内部域から確認されていることから、S D 36溝跡は12世紀の屋敷地の区画溝の一部と推測される。また、その東側にはS D 34溝跡がある。北側の始点は不明だが、南側は低地に向かって消滅しており、長さ105m以上、幅5.37m以上と推測される、概ね南北方向に走る大きな溝跡である（註1）。時期は12世紀と推測されるが、S D 36溝跡と同時に機能していたか否かは不明である。なお、S D 35溝跡の埋土中からは、橋脚痕と思われる大型の柱材が出土している。

e 道路状遺構

S D 36溝跡の南辺に沿って畝間状の遺構が確認された。波板状凹凸といわれるものである。個々の畝間の大きさには差があるが、長さ1.2～2.3m、幅0.2～0.6mの掘り方が、S D 36溝跡の南側に沿って約8mの範囲で続いている。深さは約4～10cmで、掘り方内は礫混じりの黒褐色土が充填され、堅く締まっていた。類似する遺構は、矢巾町徳丹城跡や平泉町無量光院跡の調査で確認されており（註2）、遺構の状態と類例から、当該遺構（S X 01）は道路状遺構と判断される。時期を判断できる出土遺物はないが、S D 36溝跡と同時期に存在した可能性がある。道路状遺構の用途（作られた目的）

としては、①路面舗装のための路面下基礎部（路床）、②泥濘等の修治、③重量を運ぶ修羅を動かすための枕木の痕跡、などが想定されているが、S X 01道路状遺構が確認された場所は南東側の低地に向かって落ち込んでいく場所に相当することから、②の可能性を考えておきたい（註3）。

（2）遺物

かわらけ・国産陶器・中国産陶磁器・石製品・木製品・土製品・植物遺体などがある。

a かわらけ

種別では、ロクロかわらけ大小・手づくねかわらけ大小・柱状高台・内折れかわらけがある。溝跡からの出土量が多い。一定の基準で選別された掲載遺物199点から導かれる内訳は、12世紀中の細分を無視すれば、ロクロかわらけ大（52点：26%）、ロクロかわらけ小（77点：38%）、手づくねかわらけ大（32点：16%）、手づくねかわらけ小（27点：14%）、柱状高台（8点：4%）、内折れかわらけ（3点：2%）である。ロクロの比率が高い傾向がうかがえる。ただし、器壁の薄い手づくねかわらけと器壁の厚いロクロかわらけでは、単純に残存率から算出した比率が、本来の組成の状況を反映しているかは不確かである。当遺跡出土のかわらけは、概ね色調は赤みが強く、胎土は砂礫の混入物が多い。個々のかわらけを見ると、製作段階の粘土紐の痕跡を残した状態の手づくねかわらけがあり、また、燈明皿としての使用の痕跡を残すかわらけもある。

b 国産陶器

種別には常滑窯産・渥美窯産・水沼窯産・須恵器系陶器がある。すべて破片資料である。常滑窯産の器種は甕・壺（三筋文壺）・片口鉢がある。渥美窯産の器種は甕・壺・片口鉢がある。水沼窯産の器種は縦耳付きの壺である。須恵器系陶器の器種は、甕・壺である。内訳の比率は、12世紀中の細分を無視すれば常滑窯産（44%）・渥美窯産（39%）・須恵器系（15%）、水沼窯産（2%）である。個々の資料では、内面に漆・金が付着していた片口鉢がある。当外地に於いて手工業者が活動していたことを示す資料と思われる。また、倒立で埋設されていたと推測される常滑窯産の甕がある。

c 中国産陶磁器

種別には白磁・青磁・青白磁、陶器がある。時期の細分を無視すれば、内訳の比率は白磁（79%）・青磁（7%）・青白磁（14%）である。白磁の器種は壺・碗・皿などがあり、四耳壺・水注など壺類の比率が高い（白磁78%）。青磁の器種は碗である。青白磁の器種には合子がある。時期は12世紀後半を主体とするが、少量ながら12世紀前半の遺物もある。注目される個々の遺物では小壺の蓋が完形品で出土した。

d 石製品

石製品には砥石・碁石がある。

e 木製品

漆器椀・折敷・形代・ちゅう木・下駄・容器・木錘・用途不明の木製品などがある。多くは破片資料で完形品は稀であり、器種も推測の域を出ないものもある。溝跡・井戸跡からの出土が多い。漆器椀は内外面黒漆で、材はケヤキである。法量を復元できるものでは口径16.7cm、器高5.8cm、底径7.2cmである。形代は一端に括れがあり、小さな二か所の穿孔がある。ちゅう木とした資料はやや大きく、異なる用途も考えられるかもしれない。下駄は連歯で材はケヤキである。容器はロクロ使用の痕跡と、黒漆の痕跡が残る。木錘としたものは腐蝕が著しい。用途不明の木製品がある（註4）。橋脚痕と推測される柱材は、マツ属複維管亜属で、断面形が八角形に整形されている。

f 土製品

土製品には土壁がある。木舞が確認できた資料はない。

g 植物遺体

モモ・トチノキ・オニグルミ・アサ・カナムグラなどが出土した。

2 近世から近代にかけての屋敷地

今回の調査では、近世から近代にかけての遺構・遺物を確認した。特にH・G区を中心に確認された遺構・遺物は、いわゆる小路口屋敷に関連する遺構・遺物と推定される。ここでは、確認された遺構・遺物、その他の諸記録から、当地にあったとされる屋敷についてまとめておきたい。

(1) 遺 構

近世から近代にかけての遺構としては、柱穴からなる建物跡・柱列跡、溝跡、土坑などの遺構があり、特にH4区、G4区でまとまって確認された遺構群は、屋敷地を構成する諸施設と推定される。

a 建物跡・柱列跡

H3・G4区で確認された柱穴は約150個である。そのなかで建物跡・柱列は12棟が想定された。調査区の制約もあり全体構成を把握できていないが、区画溝と同方向に軸線があるものが多い。柱穴には、礎盤や根がため石が確認できたものもあり、規模の大きな建物もあったことが想定される。

b 土坑

土坑は、円形基調のものが多いが、H3・G4区では方形基調の土坑が多い。SK120・121・124・125土坑などで、用途などは不明だが、遺構の状態から当該時期に属すると推定される。近世以降に属する方形基調の土坑のなかで、特殊な用途を類推させるものとしてSK32土坑がある。土坑の大きさは、2.65×1.48×0.42m以上である。上部は削平されている。木柵の大きさは、1.9×1.0×0.3m、側板の厚さ0.06m、底板は厚さ0.03mで、幅0.3m前後の板4枚を並べて、下部中央に横木を渡して留めていた。側板と底板は、要所を鉄釘で留めていた。掘り方内に木柵を伴い、木柵内に炭化材（粉炭）がびっしり詰まっていたことに特徴がある。炭化材の樹種はマツ複雑管束亜属である。また、炭化物中に混じって、焼けた小型の魚骨片、小型の漆器碗の一部と推測される漆膜片が出土した。今回の調査成果から用途は断言しかねるが、類似する木柵を伴う土坑の調査事例などから次のことが指摘できる。①木柵を伴う方形基調の土坑は近世の民家の付属施設と考えられる（註5）。②木柵自体は民俗事例から、近世農家に広範に使用されていた民具の範疇で考えられる（註6）。③当該資料については、地下に炭化材を収蔵することにより、除湿・脱臭などの効果を意図した施設の可能性が考えられる。なお、近世の小路口家は、19世紀中頃に麴屋を営んでいた記録が残されており、その生産工程に関わる施設の可能性も考えられたが、直接的に結び付けることができる証拠は得られていない（註7）。

c 溝跡

SD24・118・119・125・127溝跡などが該当する。特にSD24・127溝跡は、屋敷地の北側から西側を区画していた一連の溝跡と推測される。比較的遺存状態の良い部分で判断すると、断面が逆台形状で底部幅0.87mである。出土遺物が多く、溝跡と近接して多くの遺構が見つかることから、建物などの施設に比較的近い地点を調査したのだと考えられる。

d 屋敷地の土地利用

屋敷地の北側から西側にかけて巡るSD24・127溝跡が確認された。屋敷地への入口や通路などは明確に把握できていない。面的に調査できていないため十分に把握できていないが、想定される区画の北東側に遺構・出土遺物が集中しており、南側では遺構・遺物の密度が低い。このことから、周囲を溝に囲まれた敷地内の土地利用は、北側に建物、南側に庭のような空間があったと推定される。

(2) 遺 物

陶磁器類・石製品・金属製品・銭貨・ガラス製品・木製品・動物遺体・植物遺体が出土している。

a 陶磁器

陶器・磁器がある。年代観としては江戸時代から明治時代にかけて、およそ17世紀から20世紀である。主体は19世紀後半にあるように思われる。溝跡の調査が一部に留まったことを考えると、かつての屋敷には、膨大な量の陶磁器・木製品など食器類が保有されていたと推測される。

b 石製品

硯がある。裏面に「赤石組第三部 大沼喜悦」の線刻がある。「赤石村」の存在した1889～1953年頃のものか。大沼喜悦氏は、大正から昭和（20世紀初頭）に生存した人物らしい（聞き取り調査）。

c 金属製品

鉄製品と銭貨がある。鉄製品はスコップである。銭貨は、寛永通寶（新寛永：初鑄年1697年）・明治の一銭銅貨（1873～1888年）がある。

d ガラス製品

ガラス製品には、コップ・コルク栓の瓶・ランプなどがある。いずれも破片資料である。

e 木製品

木製品には、漆器椀・樽などがある。漆器椀の材はブナ属である。内面赤漆・外面黒漆である。

f 動物遺体

動物遺体には、焼けた魚骨がある。S K32土坑内の炭化材中から出土した骨片である。

g 植物遺体

植物遺体には、マツボックリがある。かつて屋敷地内に大きな松の木があったとする記録の傍証である。

(3) 文書・絵図・地籍図・航空写真

小路口屋敷を類推する関連資料として、文書、絵図、地籍図、航空写真などがある。これらの資料を手がかりとして小路口屋敷のおおよその変遷をたどってみたい。

a 文書—小路口家文書・喜右衛門・麴屋・小路口の松—

『紫波町史 第1巻』に次の記載がある。長文になるが引用する。「同家は、鎌倉時代以来の存在が確認される旧家であり、この時代（江戸時代?）の中期には「持高二百石余、手廻三十九人、馬十二疋」という豪農であった。それが、天明期以降になると、大凶作の影響を受けてそのまま経営を維持することが困難な状態となった。このため、次第に土地を手放すようになり、弘化三年（1846年）の検地時には八十七石余を残すのみとなった。その同家が、麴屋の経営に着手したのは嘉永五年（1852年）のことであった。すなわち、この年の十月、金二分二朱と銭三十二貫文ほどを投じて新規に麴室を設置している」（P786）。

また、『紫波町史 第3巻』（註8）によれば、天明3年（1783年）に、同年の飢饉による影響で、分家「中之坊」へ物品を分け与え（小路口家文書）、寛政2年（1790年）より肝入役を勤めていた（小路口家文書「御村諸用書留帳」）。また、天保9年（1838年）の毛見帳に「肝煎 喜右衛門（小路口家当主）」の名が見え、弘化3年（1846年）の御検地時には、小路口において八十七石余を所持していた（「御検地名寄帳」）。

以上、『紫波町史』に提示されている諸記録の内容を総括すると、「鎌倉時代以来の存在」については、根拠資料は示されていないが、確実なところでは、18世紀末頃の文書記録が存在し、19世紀中頃の文書及び絵図の記録が存在し、19世紀中頃に麴屋を営んでいたことがわかる。

『紫波郡誌』大正15年（1926年）の「第七章 名蹟誌 二 天然記念物」の「小路口の松」（P384）の項に「赤石村大字南日詰大沼喜右衛門なるもの、元宅地内にあり、周囲七尺高さ三十尺、十三枝あり、五百年前のものなりと謂って居る。慶応元年藩主利恭来り覽て金三両及び『古松園』の額を賜は

る。」の記載がある。藩主利恭は南部藩16代藩主で、就任は明治元年（1868年）とされている。「かつて」（慶応元年（1865年）：19世紀後半頃）屋敷地内には大きな松の木があったとされている。その松の木がいつ頃まで当屋敷に在ったかは不明だが、今回の調査では、S D127溝跡埋土から、マツボックリが出土しており、かつて当地に松の木があったことの傍証になろう。また、「元宅地内」の記載から、『紫波郡誌』刊行の1926年（20世紀前半）に、屋敷地は空き屋または廃屋になっていた可能性がある。

b 絵図

弘化3年（1846年）の絵図「志和郡南日詰村小絵図拾七枚之内ぬ印 小路口」（紫波町教育委員会所蔵）に「四十一 喜右衛門 屋敷（絵）」の記載がある。当該個所は小路口屋敷地付近に相当する。

c 地籍図

「岩手県陸中国紫波郡南日詰村第十地割字小路口絵図面」の地籍図に「六十一番 一等 宅地」、その東側に「六十四番 墓地」の記載がある。小路口屋敷付近に相当すると思われる地点である。範囲・形状は、絵図に記された範囲とほぼ一致する。地籍図の作成年代は不明だが、絵図に「紫波郡南日詰村」とあることから、明治19年（1886年）から明治22年（1889年）の間、おおむね19世紀後半に作成されたものと推測される（註9）。

d 航空写真

昭和23年（1948年）の航空写真（航空写真 a）に屋敷地の跡が見える。19世紀後半作成と推測される地籍図の「宅地」とほぼ同じ場所の範囲が屋敷地の範囲として撮影されている。19世紀中頃から20世紀中頃までの約100年間は小路口付近の景観は大きく変わっていないと推測される。大規模開発がなかったためと推測される。そして、1970年の航空写真（航空写真 b）には、規模を縮小した屋敷地の範囲が撮影されている（註10）。

e 聞き取りから

「現在の土地の旧持主大沼家は、本家でないため、古いことは不明である。本家は盛岡方面に移っており、新幹線の建設まで屋敷に住人が居て、年寄（姑）が一人住まいであった。屋敷地は昭和40年より前の耕地整理の際に周囲の堀部分が埋められ、建物を縮小して建て直して生活していた。新幹線の建設時にその屋敷も取り壊され、その際に住人は盛岡市の山岸に移った。山岸では、姑はすでに亡くなっており、現在は嫁が一人住まいなので、古いことはわからないと思う（O・K氏70歳前後）。屋敷の住人は、戦時中に満州に行っており、戦後に日本に戻ってきた（O・K氏60代）。かつて立派な松の木があり、すばらしい庭園があった（O・I氏80代）。新幹線建設までは屋敷に住人は居り、生活していた。大沼家（本家）では名前に代々「喜」の字が引き継がれてきた。江戸時代の記録には、小路口喜右衛門の名が見える。硯に名が記された「大沼喜悦」氏は、大正末期から昭和前期に生きていた方で、詳しい生年月日などは不明である。喜悦氏は、大沼家の長男として生まれ、屋敷に住んでいたが、家は継がなかったらしい（O・D氏60代）。

（4）歴史的変遷

小路口家の屋敷の存続年代は、諸資料から17世紀から昭和までと判断される。その主体は19世紀中頃から後半であろう。そして、19世紀末（明治前半）から20世紀前半（戦前）の間に一度、空き家または廃屋となった可能性がある。戦後は、かつての屋敷地の規模が縮小されたようである。堀が埋められたのは、昭和38年（1963年）頃の農地整備の際と推定され、屋敷が最終的に廃絶された年代は、昭和57年（1982年）の新幹線工事の際と推測される。調査成果と残された諸記録から、小路口屋敷のおよその変遷をまとめると次のようになる。

18世紀後半（1790年）、同村の肝入役を勤めていた（『紫波町史』文書）。

19世紀中頃（1846年）、同村で87石余を所持していた（『紫波町史』文書）。

- 19世紀中頃（1846年）、屋敷地の記録が残されている（「絵図面」）。
- 19世紀中頃（1852年）、麴屋を営んでいた（『紫波町史』文書）。
- 19世紀中頃（1865年）、敷地内に大きな松の木があった（『紫波郡誌』）。
- 19世紀後半、屋敷地・墓地の記録が残されている（「地籍図」）。
- 20世紀前半（1928年）、「大沼喜右衛門なるものゝ元宅地」の記録がある（『紫波郡誌』）。
- 20世紀中頃（1948年）、地籍図とほぼ同じ範囲で屋敷地が撮影されている（航空写真 a）。
- 20世紀後半（1970年）、縮小した屋敷地の範囲が撮影されている（航空写真 b）。
- 20世紀後半（1975年）、東北新幹線建設に伴い、住人は移転し、建物は廃絶された（「大銀遺跡」）。

3 ま と め

（1）遺跡の位置と立地

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、比爪館跡との北上川との間に位置する遺跡で、日詰館跡の南東側、五郎沼の東側に位置する遺跡である。比爪館跡は北上川の東側に形成された段丘の端部に位置しており、その東側と南側に広がる低地に12世紀の遺跡が分布している。比爪館跡の立地は、地形的にも選択されたものであったことがわかる。

（2）検出された遺構

検出された遺構は、古代の竪穴住居跡（9世紀）、12世紀の建物跡、溝跡、井戸跡、道路状遺構、土器埋設遺構、近世から近代の屋敷地に伴う建物跡、溝跡や土坑などである。

（3）遺構の占地

調査した範囲では、検出された遺構の分布に疎密がある。現在は一帯が水田化して西から東に向かって緩く傾斜しているように見えるが、かつては随所に沢が入り込み、微高地が点在していた地形であったと推測される。遺構はかつての微高地につくられたものと推測される。なお、検出された遺構は、後世の改変により全般に削平されていることが確認された。

（4）出土遺物

12世紀の遺物としては、かわらけ・国産陶器・中国産磁器・石製品・木製品・土製品などが出土した。なかでも手づくねかわらけの皿、白磁の壺、常滑窯産の甕からなる、いわゆる平泉セットが出土したことは平泉との密接な関係を示している（註11）。加えて、破片資料ではあるが、水沼窯産の壺や、白磁水注、小壺の蓋、青白磁の合子片等、比爪館跡や平泉遺跡群と比べても、遜色無い希少な遺物が出土している。このことは、平泉藤原氏の一族比爪氏とその政治拠点であった「比爪」の地について考えるうえでの貴重な資料である。量は少ないが、12世紀前半の遺物が散見されることも注目される。また、小路口屋敷の跡地に関連して近世から近代の陶磁器類や木製品などの遺物が出土した。

（5）おわりに

今回の調査で、比爪館跡の東側に広がる12世紀の遺跡群の内容の一端を垣間見ることができた。南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、古代・12世紀・近世から近代の遺跡であることがわかった。また、縄文時代や中世の遺物も出土していることから、当該期の遺構の存在も想定される。今後は、周辺の遺跡群の調査成果と合わせて、当該地域の各時代の様相について検討していくことが課題である（註12）。

註

- (1) S D34の地点は、弘化3年の絵図及び19世紀後半の地籍図では、田と記されている範囲と推定される。
- (2) 無量光院跡第4次調査の「畝状遺構」(平泉町教育委員会1995)。徳丹城跡第54次調査の「畝状小溝群」(矢巾町教育委員会2003)。
- (3) 徳丹城跡第54次調査の「畝状小溝群」については、「(5) 中世・近世道路状遺構の変遷」で、「今回、拳大の礫を含む固い土が含まれていた状況が確認された。(中略) いずれも軟弱土の入れ替え工法と観られる。小溝群が、堅穴住居跡等が在って黒ボク土が厚い個所に限って施工されているのは、万年的な泥濘をこの工法によって解消させる効果を期待したからであろうし、場合によっては枕木を設置して板材を渡し、部分的な木道を築いていた可能性も考えられる」(P 60)としている(矢巾町教育委員会2003)。徳丹城で同様の痕跡が見られた場所は、道路全域ではなく、堅穴住居跡の埋土上で、遺構が重複して地盤が比較的脆弱と思われる個所である。
- (4) No1453は、『日本の美術12 No115 平城宮跡』第79図「紙の文書を巻きつける題籤 丸い軸の頭に平らな見出しを書く部分がついている。(中略) 長さ38.5センチ。」として写真掲載されている資料に形状が類似する。当資料の用途については検討の余地があるように思われる。
- (5) 木枠の箱を埋設した土坑の類例に平泉町の泉屋遺跡16SK19がある。径185×145cm、確認面からの深さ14cmほどの方形基調の掘り方に木枠が埋設されており、礎石民家内に設置された収納用の施設と報告されている(岩文振第339集)。また、掘り方の規模・形状が類似する土坑の類例に南日詰遺跡のS X01堅穴遺構がある。時期はS B01建物跡と同時期の近世と報告されている。建物に近接して、建物と同じ長軸方向をもって設置されていることが特徴である(岩文振第463集)。
- (6) 類似する木枠の類例に農家で穀物貯蔵などに用いられる「ひろ」「セエロ」「キッツ」などがある(『図録民具の基礎知識』ほか)。S K32土坑出土の木枠の構造も類似しており、木枠の構造は、その系統上のあると推測される。
- (7) 麹づくりの際に使用する類似の木箱では酸化防止のために鉄釘は使用しないとのことである(聞き取り調査より)。よって木箱は、近世には広く使用されていたとしても、本遺構の木枠を直接麹づくりに関連づけることは難しい。にごり酒を清酒にする工程でも炭の使用が考えられるが、本遺構については明確な根拠がない。
- (8) 『紫波町史 第3巻』には、小路口家文書及び小路口家の喜右衛門についての次の文書が収められている(掲載順)。
- ・毛分帳(南日詰の小路口家所蔵 天保9年(1838))
 - ・最終検地における個別別持高 南日詰村(岩手県立図書館蔵 弘化3年(1846))
 - ・高ノ目林書上帳(南日詰の小路口家所蔵 嘉永4年(1851))
 - ・夫伝馬継立帳(南日詰の小路口家所蔵 安政4年(1857))
 - ※安政2年(1855)・同5年(1858)・同6年(1859)・文久2年(1862)の帳書もあり。
 - ・小路口家「糶室新規普請諸入用留帳」(南日詰の小路口家所蔵 嘉永5年(1852))
 - ・小路口家「糶村々江諸借書抜帳(抜粹)」(南日詰の小路口家所蔵 嘉永6年(1853))
 - ・小路口家「米出入糶仕込米飯料米書留帳」(南日詰の小路口家所蔵 安政6年(1859))
 - ・小路口家「万書留帳」(南日詰の小路口家所蔵 天明3年(1783))
 - ・小路口家「借用手形」(南日詰の小路口家所蔵 寛政4年(1792))
 - ・小路口家「御村諸用書留帳」(南日詰の小路口家所蔵 寛政2年(1790))
 - ・寺請状之事(南日詰の小路口家所蔵 天保9年(1838))
 - ・岩手県管轄地誌(岩手県立博物館所蔵 明治10年(1877))
- (9) 「行政区画変遷・石高一覧」(『日本歴史地名体系 第3巻 岩手県の地名』平凡社)。
- (10) 「大銀遺跡」の調査範囲には、縮小した屋敷(報告書掲載第2図と航空写真b参照)が含まれているが、報告では、この屋敷に関する調査所見は得られていない(岩手県文化財調査報告書35集)。
- (11) 八重樫忠郎2001「東北における中世初期陶磁器の分布」(『都市・平泉-成立とその構成-(研究発表要旨、古代末、中世初期陶磁器集成)』掲載)、八重樫忠郎2002「平泉藤原氏の支配領域」(『平泉の世紀』掲載)。
- (12) 『吾妻鏡』には、三つの「館」が記載されている。「平泉館」「衣河館」「比爪館」である(羽柴2006)。その意味で平泉研究において比爪館の存在は大きい。しかし、「平泉館」と推定される柳之御所跡が、現在国指定史跡として文化財保護法のなかで価値付けされていることに比べると、比爪館の評価は大きく異なっている。比爪館及びその周辺を含めた「12世紀の比爪」について、確かな評価をしていくために、今後さらなる調査・研究の蓄積が必要である。

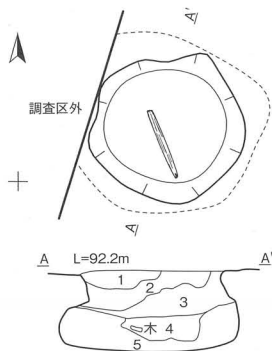
引用・参考文献

- 岩手県教育委員会紫波郡部会 1926 『紫波郡誌』
- 紫波町 1972 『紫波町史』第1巻
- 紫波町 1972 『紫波町史』第2巻
- 坪井清足編 1975 『日本の美術12 No115 平城宮跡』至文堂
- 宮本馨太郎編1979 『図録民具の基礎知識』柏書房
- 岩手県教育委員会 1979 『東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ』岩手県文化財調査報告書35集
- 紫波町 1988 『紫波町史』第3巻

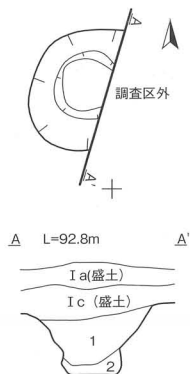
3 まとめ

- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1989 『南日詰遺跡発掘調査報告書』岩文振第136集
有限会社平凡社地方資料センター編集 1990 『日本歴史地名体系 第3巻 岩手県の地名』平凡社
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1991 『比爪館跡発掘調査報告書』岩文振第151集
紫波町教育委員会 1992 『比爪館跡第9・10次発掘調査報告書』紫波町文化財調査報告書第24集
紫波町教育委員会 1992 『紫波町の遺跡 町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』岩手県紫波町文化財調査報告書第26集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1995 『柳之御所跡』岩文振第228集
平泉町教育委員会 1995 『平泉遺跡群発掘調査報告書 無量光院跡第4次』岩手県平泉町文化財調査報告書第47集
永原慶二編 1995 『常滑焼と中世社会』小学館
日本考古学協会2001年度盛岡大会実行委員会 2001 日本考古学協会2001年度盛岡大会研究発表資料集『都市・平泉－成立とその構成－(研究発表要旨、古代末、中世初期陶磁器集成)』
名久井文明・名久井芳江著 2001 『山と生きる 内間木安蔵家のくらし』一芦舎
盛岡市遺跡の学び館 2002 『岩手・斯波の平泉文化』
入間田宣夫・本澤慎輔編 2002 『平泉の世界』高志書院
紫波町教育委員会 2002 『比爪館跡第11次～第18次発掘調査報告書－赤石小学校施設関連工事－』
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2003 『泉屋遺跡第16・19・21次発掘調査報告書』岩文振第339集
岩手県教育委員会 2003 『柳之御所遺跡』岩手県文化財調査報告書第117集
矢巾町教育委員会 2003 『徳丹城跡第54・55・56次発掘調査』矢巾町教育委員会
紫波町教育委員会 2004 『比爪館跡第8次・19～22次発掘調査報告書』岩手県紫波町文化財調査報告書
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 『下構遺跡発掘調査報告書』岩文振第446集
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 『南日詰遺跡発掘調査報告書』岩文振第463集
川井村文化財調査委員会編 2004 『川井村北上山地民俗誌 上巻』川井村教育委員会
羽柴直人 2006 『比爪館をめぐる諸問題』岩手考古学会第35回研究大会資料集
紫波町教育委員会 2007 『北日詰東ノ坊Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県紫波町文化財調査報告書2007
岩手県教育委員会 2008 『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成18年度)』岩手県文化財調査報告書第126集

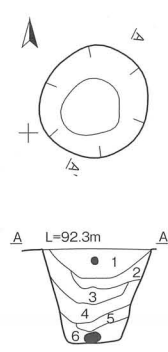
SK06 (I区)



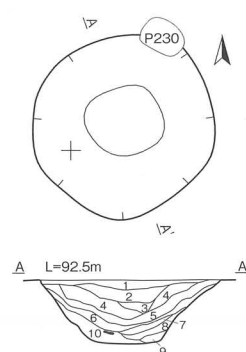
SK08 (I区)



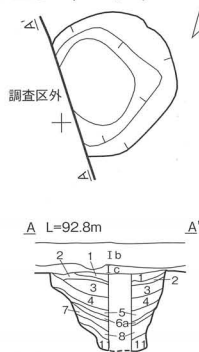
SK11 (M区)



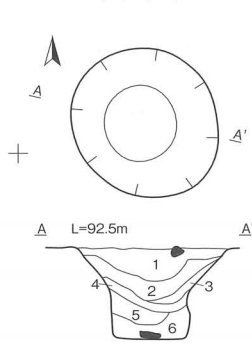
SK22 (H4区)



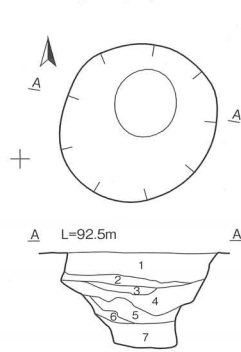
SK23 (H4区)



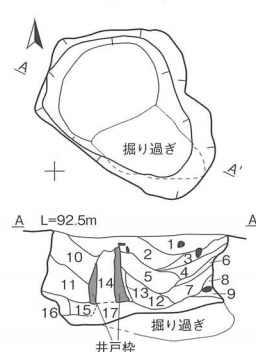
SK26 (Q2区)



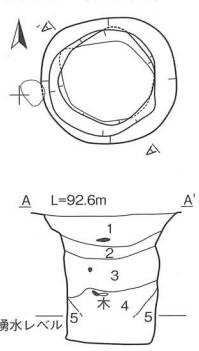
SK27 (Q2区)



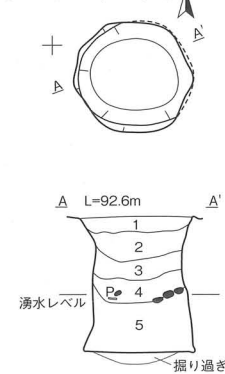
SK105 (C区)



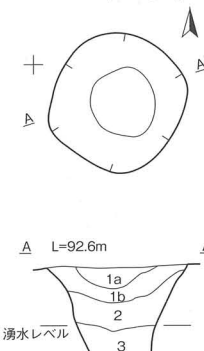
SK106 (E2区)



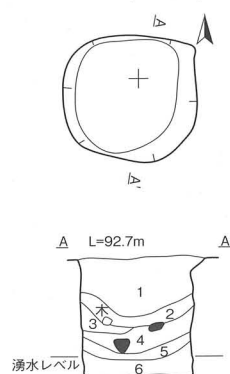
SK107 (E2区)



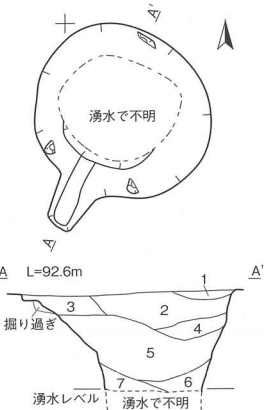
SK108 (E2区)



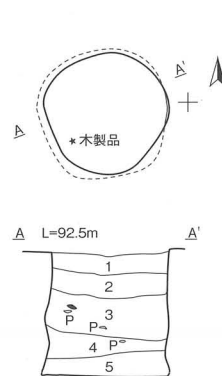
SK109 (E3区)



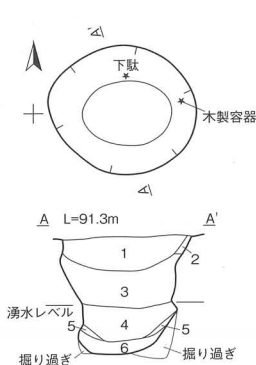
SK110 (F1区)



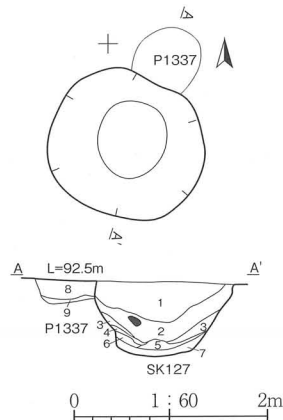
SK115 (G2区)



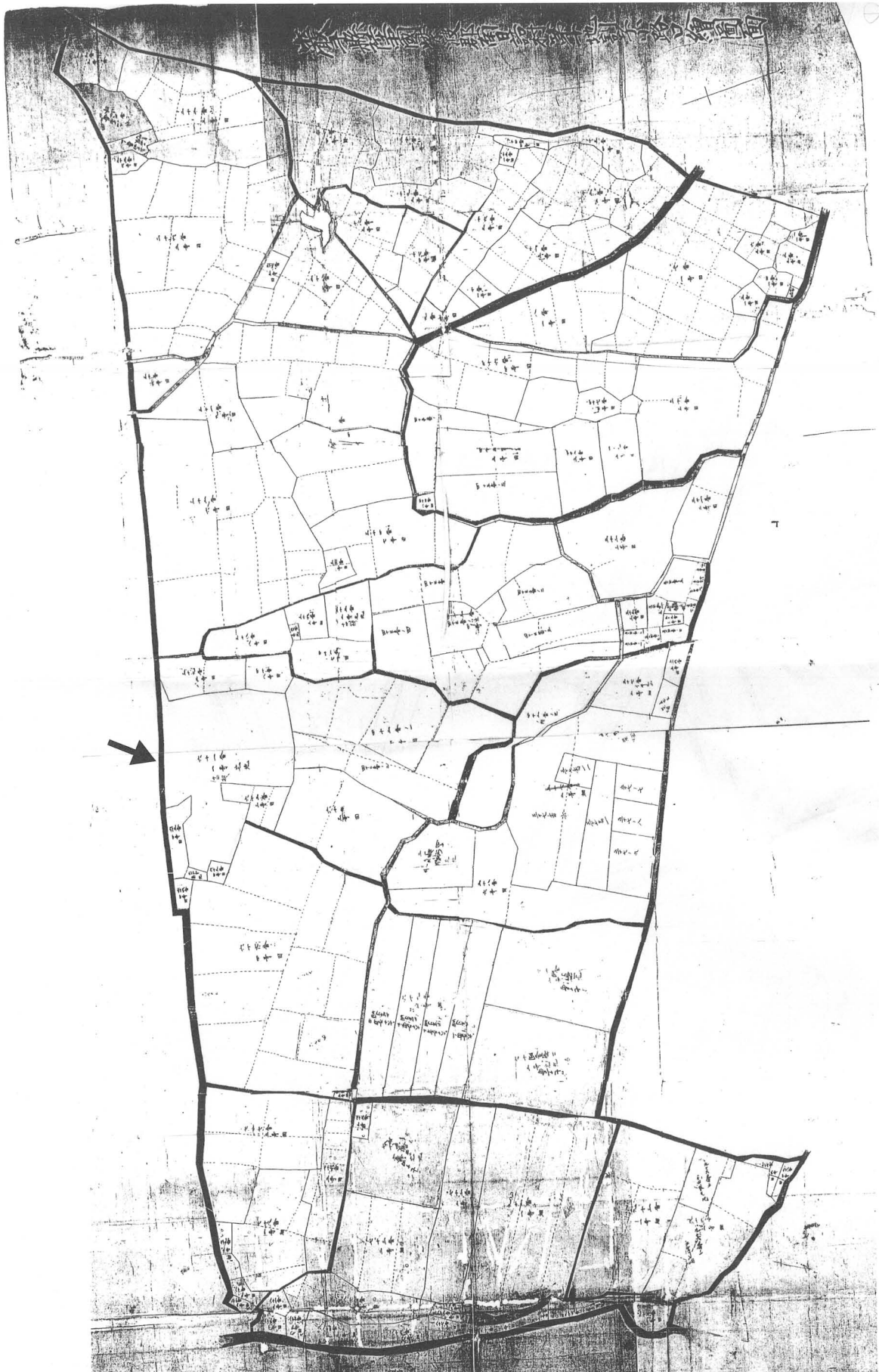
SK116 (G2区)



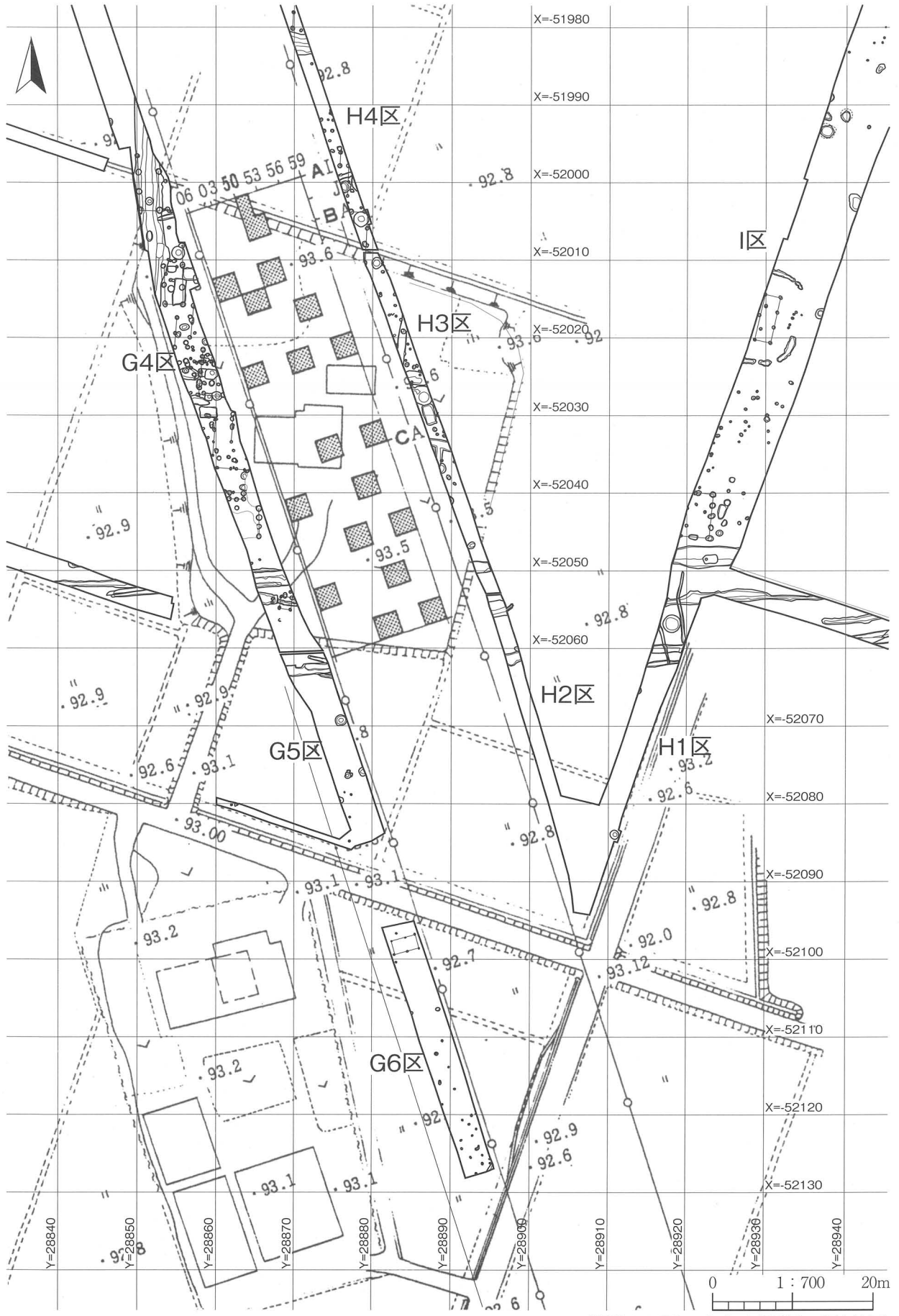
SK127 (G4区)



第137図 井戸跡集成図



第139図 地籍図



第 140 図 近世から近代にかけての屋敷地の周辺図

VII 分析・鑑定

1 木製品樹種同定（紫波町南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡出土材の樹種）

高橋利彦（木工舎「ゆい」）

（1）試料

試料は古代（12世紀）と近世のものとされる土坑・溝跡・柱穴などから検出された木製品・加工材で、古代の材51点、近世の材24点と炭化材3点の計78点である（表1・2）。

遺跡は北上川の西側に形成された低地上（標高92～93m）に立地している。近世から近代にかけて存続した記録が残る屋敷地跡を囲う溝跡・掘立柱建物跡などや、平安時代末期（12世紀）の集落とみられる建物跡や溝跡・井戸跡などが検出されている。遺跡の西側には『吾妻鏡』に記載のある12世紀の樋爪氏の居館と推定されている「比爪館跡」がある。

（2）方法

材のプレパラートの作製には、調査担当者の立ち会いの下で筆者が遺物から採取した材片を用いた。剃刀の刃を用い試料の横断面・放射断面・接線断面3面の徒手切片を作製し、これをガムクロラールで封入したプレパラートを生物顕微鏡で観察し同定した。炭化材は3断面を走査型電子顕微鏡（加速電圧15kV）で観察し同定した。併せて各分類群1点の顕微鏡写真図版を作成した（図版1～4）。なお、作製したプレパラートと残った炭化材片はすべて木工舎「ゆい」に保管されている。

（3）結果

試料は以下の10分類群に同定された。試料の主な解剖学的特徴や一般的な性質は次のようなものである。なお、学名と配列は「日本の野生植物 木本Ⅰ・Ⅱ」（佐竹ほか 1989）にしたがい、県内での自然分布については「岩手県植物誌」（岩手植物の会 1970）を参照した。また、一般的性質などについては「木の事典 第1・2・4・6・7巻」（平井 1979, 1980）も参考にした。

・マツ属複維管束亜属（*Pinus* subgen. *Diploxyylon* sp.）マツ科 1702, 1751, 1752, 1753, 1754, 1755, 1756, 1757, 1919, 1920

早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は広い。樹脂細胞はなく樹脂道が認められる。放射組織は仮道管と柔細胞、エピセリウム細胞よりなり、仮道管内壁には顕著な鋸歯状の突出が認められる。分野壁孔は窓状。放射組織は単列、1-15細胞高のものと樹脂道をもつ紡錘状のものがある。

複維管束亜属（二葉松類）は国内に3種あり、県内にはクロマツ（*Pinus thunbergii*）とアカマツ（*P. densiflora*）が自生する。クロマツは沿岸部に点生するものの、全域で普通にみられるのはアカマツである。材は重硬で、強度は大きく、保存性は中程度であるが耐水性に優れる。建築・土木・建具・器具・家具材など広い用途がある。

・スギ（*Cryptomeria japonica*）スギ科 No. 711, 721, 726, 1708, 1710, 1718, 1719, 1720, 1736, 1737, 1740, 1742, 1743, 1744

早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に限って認められ樹脂道はない。放射組織は柔細胞のみよりなる。分野壁孔はスギ型で分野あたり2-4個。放射組織は単列、1-15細胞高。

スギは本州・四国・九州に自生する常緑高木で、また各地で植栽・植林される。国内では現在、植林面積第一位の重要樹種であり、長寿の木としても知られる。県内でも各地でみられる。材は軽軟で割裂性は大きく、加工は容易、保存性は中程度である。建築・土木・樽桶類・舟材など各種の用途がある。

・ヒノキ属 (*Chamaecyparis* sp.) ヒノキ科 No. 1707, 1733

早材部から晩材部への移行は緩やかで、樹脂細胞は晩材部に限って認められ、樹脂道はない。放射組織は柔細胞のみよりなる。分野壁孔はヒノキ型で分野あたり1-4個。放射組織は単列、1-15細胞高。

ヒノキ属にはヒノキ (*Chamaecyparis obtusa*) とサワラ (*C. pisifera*) の2種があるが、県内にはサワラのみが自生する。サワラは県中部以南に自生し、また植栽される高木で多くの園芸品種がある。材は軽軟で割裂性は大きく、加工も容易、強度的にはヒノキに劣るが耐水性が高いため、樽や桶にするほか各種の用途がある。

・アスナロ (*Thujopsis dolabrata*) ヒノキ科 No. 701, 702, 708, 713, 714, 719, 722, 723, 734, 737, 739, 1701, 1709, 1729, 1730, 1735, 1738, 1739, 1745a, 1745b

早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は狭く、樹脂細胞はあるが樹脂道はない。放射組織は柔細胞のみよりなる。分野壁孔は小型のヒノキ型～スギ型で分野あたり1-6個。放射組織は単列、1-15細胞高であるが5細胞高程度の低いものが多い。

アスナロは本州・四国・九州に自生する日本特産の常緑高木で時に植栽される。北海道（渡島半島以南）・本州北部には変種ヒノキアスナロ（ヒバ）(*T. dolabrata* var. *hondai*) がある。材はやや軽軟で保存性は高い。建築・土木・家具・器具材など各種の用途が知られている。

・ブナ属 (*Fagus* sp.) ブナ科 No. 1712, 1713, 1714, 1715

散孔材で管孔は単独または放射方向に2-3個が複合、横断面では多角形、分布密度は高い。道管はほぼ単穿孔をもつが、晩材部では段 (bar) 数が10前後の階段穿孔をもつものもある。放射組織は同性～異性、単列・数細胞高のものから複合組織までである。柔組織は短接線状、散在状。年輪界は明瞭。

ブナ属はブナ (*Fagus crenata*) とイヌブナ (*F. japonica*) の2種がある。ブナは北海道南西部（黒松内低地帯以南）・本州・四国・九州に、イヌブナは本州（本県以南）・四国・九州の主として太平洋側に分布する。ブナの材はやや重硬で、強度は大きい加工はそれほど困難ではなく、耐朽性は低い。木地・器具・家具・薪炭材などの用途があったが、最近では各種の用途に用いられている。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* sp.) ブナ科 No. 715, 1748, 1749, 1921

環孔材で孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は横断面では円形～楕円形、小道管は横断面では多角形、ともに単独で配列する。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では柵状となる。放射組織は同性、単列、1-20細胞

高のものと複合組織がある。柔組織は短接線状、周囲状。年輪界は明瞭。

コナラ節はコナラ亜属（落葉ナラ類）の中で果実（ドングリ）が開花の年に熟すグループで、カシワ（*Quercus dentata*）、ミズナラ（*Q. crispula*）、コナラ（*Q. serrata*）、ナラガシワ（*Q. aliena*）といくつかの変・品種がある。県内には4種とも自生するが、遺跡のある平野部に普通なのはコナラである。コナラは樹高20mになる落葉高木で、古くから薪炭材として利用され、植栽されることも多かった。材は重硬で、加工は困難、器具・機械・樽材などの用途があり、薪炭材としては同属のクヌギに次ぐ優良材である。

・クリ（*Castanea crenata*）ブナ科 No. 704, 705, 706, 707, 709, 710, 729, 731, 742, 1758

環孔材で孔圏部は1～多列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は単独、横断面では楕円形～円形、小道管は単独および2～3個が斜（放射）方向に複合、横断面では角張った楕円形～多角形。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では柵状～網目状となる。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。柔組織は周囲状、短接線状。年輪界は明瞭。

クリは北海道南西部から九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。県内各地で普通にみられる。材はやや重硬で、強度は大きく、耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材、櫓木などに用いられる。

・ケヤキ（*Zelkova serrata*）ニレ科 No. 716, 717, 718, 725, 730, 1716, 1721, 1722, 1734

環孔材で孔圏部は1～2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減し、塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。大道管は横断面では円形～楕円形、単独。小道管は横断面では多角形で複合管孔をなす。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1～10細胞幅、1～60細胞高で、しばしば結晶を含む。柔組織は周囲状。年輪界は明瞭。

ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにもなる。材はやや重硬で、強度は大きい、加工は困難でなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途に用いられ、国産広葉樹材の中で最良のものの一つにあげられる。

・モクレン属（*Magnolia* sp.）モクレン科 No. 1703, 1704, 1706, 1717

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形～多角形、単独および2～4個が放射方向に複合する。道管は単穿孔をもち、壁孔は階段状～対列状に配列、放射組織との間では網目状～階段状となる。放射組織は異性、1～2細胞幅、1～40細胞高。柔組織はターミナル状。年輪界は明瞭。

モクレン属は国内に6種あり、県内には高木性のホオノキ（*Magnolia obovata*）・コブシ（*M. praecocissima*）と低木のタムシバ（*M. salicifolia*）が自生する。ホオノキの材は軽軟で、割裂性が大きく、加工はきわめて容易で欠点が少ないことから、器具・建築・家具・建具材などのほか、指物・木地・下駄歯・刃物鞘など特殊な用途も知られている。コブシの材はホオノキに似るがやや硬く、ホオノキに準じた使われ方をする。

・ミズキ属（*Swida* sp.）ミズキ科 No. 720

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独で配列する。道管は階段穿孔をもち、段は多数、壁孔は対列～交互状に配列する。放射組織は異性、1～5細胞幅、1～30細胞高。柔組織は散

在状。年輪界はやや不明瞭。

ミズキ属にはクマノミズキ (*Swida macrophylla*) とミズキ (*S. controversa*) がある。クマノミズキは本州・四国・九州に、ミズキは北海道から九州の丘陵地・平地に普通にみられる落葉高木である。ミズキの材はやや重硬で、加工は容易、旋作・木地・器具・薪炭材などに用いられる。クマノミズキの材はミズキより硬く、細工物にはあまり適さない。

以上の同定結果を検出遺構や推定されている用途などとともに一覧表で示す (表1・2)。

(4) 考 察

同定対象とされた試料からは上記の10分類群が認められたが、通覧するとアスナロ (20点) とスギ (14点) が多く、複雑管束亜属 (10点)・クリ (10点)・ケヤキ (9点) がこれに次いでいる。試料数は限られているものの、用途ごとの用材には偏りがみられ、樹種が選択されていたことが窺える。また、古代と近世では用材に違いもある (表3)。

漆器は椀11点、板2点、容器1点が検討された。うち4点が近世、他は古代とされている。近世の椀4点はいずれもブナ属に、古代の椀と容器8点はすべてケヤキに同定された。板はアスナロ製であった。本遺跡の南方約8kmに位置する石鳥谷町島岡Ⅱ遺跡でも近世とされる漆塗椀はブナ属に同定されている (高橋 2003a)。一方、古代 (12c) とされるものでは平泉町柳之御所遺跡などケヤキの例が多く知られている (能城 1995, 高橋 1995・2003bなど)。椀の用材は、これまで県内各地の遺跡からの報告例が最も多いケヤキと第2位のブナ属であり、また、ケヤキが近世試料の中には認められないのもこれまでの傾向 (高橋 2003c) と同様であった。一方、板材は折敷など板状の木製品と同じアスナロ製であった。漆器といっても刳り物と板で材料の使い分けが行われていたことの表れであろう。

曲物は蓋と底板計7点が検討された。いずれも古代とされるもので、スギ (4点) とアスナロ (3点) に同定された。類例は平泉町志羅山遺跡第73次調査検出の曲物・曲物?がスギ (2点) とアスナロ (2点) に同定されている例 (高橋 2001) など、各地・各時代の遺物で知られている。

この曲物と上記の漆塗板や折敷・形代など残存厚1cm以下の薄板は、用途不明のものを含め19点が検討された。すべて古代のものとして、用材はアスナロ (10点)、スギ (8点)、ヒノキ属 (1点) であった。また、近世の薄板 (残存厚1cm前後) にもヒノキ属 (樽蓋?) とスギ (桶樽側板) が用いられている。いずれも木理が通直で割裂性に優れる針葉樹であり、「割技法」で薄板を作っていた時代の用材を示していると考えている。こうした技法と用材は現在まで受け継がれている (石村 1997, 岩井 1994)。

これに対し、近世の (半) 地下遺構 S K32から検出された木柵 (用途は不明) の部材は、検討された7点すべてが複雑管束亜属に同定された。添付資料によると、この木柵は幅21～30cm、厚さ3～6cm、長さ100および210cmの長尺・幅広の厚板で構成されている大型の「箱」である。複雑管束亜属 (現生種の自然分布からアカマツと考える) は、枝が一カ所から四方に伸びる樹形をとるため節が集中する。節は割れにくいいため、マツ材は「割技法」では製板が難しく、製板用縦挽鋸の発達が十分ではなかった古代 (吉川 1976) には、ある程度以上の長さの幅広板としては利用しにくかった材料である。上述の薄板とこの厚板の用材の違いは、時代とともに発達してきた利器の違いを反映していると思う。

下駄には一木作りの連歯下駄と台に別材の歯をつける差歯下駄があるが、対象となったのは連歯下駄が古代と近代のもの各1点と、差歯下駄の歯が古代のもの1点の計3点であった。用材は差歯がアスナロ、連歯下駄の古代のものはケヤキ、近世のものはクリであった。県内での出土例をみると、ア

スナロなどの軟質材は差歯下駄の割合が高く、ケヤキ・クリを含む硬質材は連歯下駄の割合が高い傾向にあるとの指摘（高橋 2003c）を補強する結果が得られた。

古代の井戸枠は同一遺構から検出された側板2点、組材4点が検討された。組材は角材を「ほぞ組」にした横棧で、これに支えられた縦板が側板であるが、組材はクリ、側板はアスナロに同定された。側板の一部しか検討していないため確言はできないが、角材と板で材料の使い分けが行われていたようである。

引用文献

- 平井信二 1979 「木の事典 第1・2巻」, かなえ書房.
- 平井信二 1980 「木の事典 第4・6・7巻」, かなえ書房.
- 石村真一 1997 ものと人間の文化史 82-I・II・III 桶・樽 I・II・III, 法政大学出版局.
- 岩井宏實 1994 ものと人間の文化史 75 曲物, 法政大学出版局.
- 岩手植物の会 1970 「岩手県植物誌」.
- 能城修一 1995 柳之御所跡から出土した木製品の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第228集 柳之御所跡 一関遊水池・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査 《分冊1 本文・図版》, 433-456, (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター.
- 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫(編) 1989 「日本の野生植物 木本 I・II」, 平凡社.
- 高橋利彦 1995 柳之御所跡第23次・31次調査出土材の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第228集 柳之御所跡 一関遊水池・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査 《分冊1 本文・図版》, 423-432, (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター.
- 高橋利彦 2001 志羅山遺跡第73次調査出土材の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第352集 志羅山遺跡発掘調査報告書(第47・56・67・73・80次調査) 都市計画街路毛越寺線整備事業関連遺跡発掘調査」, 535-540, (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター.
- 高橋利彦 2003a 石鳥谷町高岡Ⅱ遺跡出土材の樹種, 「岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第407集 高岡Ⅱ遺跡発掘調査報告書 担い手育成基盤整備事業八幡東部地区関連発掘調査」, 56-65, (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター.
- 高橋利彦 2003b 柳之御所遺跡第56次調査出土材の樹種, 「岩手県文化財調査報告書第117集 平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡 - 第56次発掘調査概報 -」, 84-99, 岩手県教育委員会.
- 高橋利彦 2003c 岩手県内の遺跡から出土した木質遺物の樹種 I - 下駄と漆器 -, 「岩手考古学」, 第15号, 39-45.
- 吉川金次 1976 ものと人間の文化史18 鋸, 法政大学出版局, 347pp.

表1 南日詰小路口 I 遺跡出土材の樹種

試料番号	掲載番号	検出遺構など	用途	時期	分類群
1701	701	SK06 埋土下位4層	部材	古代(12c)	アスナロ
1702	723	SD17 2層No.17	杭	近世	マツ属複雑維管束亜属
1703	724	SD17 2層No.3	杭	近世	モクレン属
1704	725	SD17 2層No.5	杭	近世	モクレン属
1706	726	SD17 2層No.4	杭	近世	モクレン属
1707	727	SD17 2層No.1	樽蓋?	近世	ヒノキ属
1708	732	SD24 2層No.40	桶樽の側板	近世	スギ
1709	734	SD24 1層No.32	棒状木製品	近世	アスナロ
1710	733	SD24 2層No.31	把手	近世	スギ
1712	731	SD24 2層No.21	漆塗椀	近世	ブナ属
1713	728	SD24 2層No.15	漆塗椀	近世	ブナ属
1714	729	SD24 2層No.23	漆塗椀	近世	ブナ属
1715	730	SD24 2層No.24	漆塗椀	近世	ブナ属
1716	721	L区南側落ち込み 黒褐色土層	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ
1717	735	SD24 2層No.41	杭	近世	モクレン属
1718	708	SD34 北側底面	曲物蓋?	古代(12c)	スギ
1719	722	T56 II層黒褐色土層	不明	古代(12c)	スギ
1720	720	T88 底面?	部材	古代(12c)	スギ
1721	702	SD34 底面No.17	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ
1722	703	SD34 底面No.19	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ
1729	706	SD34 底面No.20	曲物蓋	古代(12c)	アスナロ
1730	709	SD34 底面No.21	折敷?	古代(12c)	アスナロ
1733	713	SD34 北側底面	形代	古代(12c)	ヒノキ属
1734	704	SD34 北側底面	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ
1735	705	SD34 中央2層~底面	曲物蓋	古代(12c)	アスナロ
1736	710	SD34 北ベルト2層~底面	杓子	古代(12c)	スギ
1737	712	SD34 北ベルト2層~底面	形代	古代(12c)	スギ
1738	711	SD34 北ベルト2層~底面	下駄差歯	古代(12c)	アスナロ
1739	707	SD34 底面下(砂層)	曲物底板	古代(12c)	アスナロ
1740	715	SD35 ベルト南側黒褐色土	折敷?	古代(12c)	スギ
1742	719	SD39 北ベルト2層~底面	部材?	古代(12c)	スギ
1743	714	SD35 ベルト埋土下位(砂礫層)	曲物底板	古代(12c)	スギ
1744	716	SD35 ベルト埋土下位(砂礫層)	ちゅう木	古代(12c)	スギ
1745a	717a	SD35 ベルト埋土下位(砂礫層)	漆塗板材	古代(12c)	アスナロ
1745b	717b	SD35 ベルト埋土下位(砂礫層)	漆塗板材	古代(12c)	アスナロ
1748	-	SD34 底面No.22	部材	古代(12c)	コナラ属コナラ亜属コナラ節
1749	-	SD34 底面No.23	部材	古代(12c)	コナラ属コナラ亜属コナラ節
1751	-	SK32 木柁(底板横木)	木柁	近世	マツ属複雑維管束亜属
1752	-	SK32 木柁(底板:西側よりNo.1)	木柁	近世	マツ属複雑維管束亜属
1753	-	SK32 木柁(底板:西側よりNo.2)	木柁	近世	マツ属複雑維管束亜属
1754	-	SK32 木柁(底板:西側よりNo.3)	木柁	近世	マツ属複雑維管束亜属
1755	-	SK32 木柁(底板:西側)	木柁	近世	マツ属複雑維管束亜属
1756	-	SK32 木柁(底板:西側よりNo.4)	木柁	近世	マツ属複雑維管束亜属
1757	-	SK32 埋土2層	木柁?	近世	マツ属複雑維管束亜属
1758	718	SD35 埋土7層~底面	柱根	古代(12c)	クリ

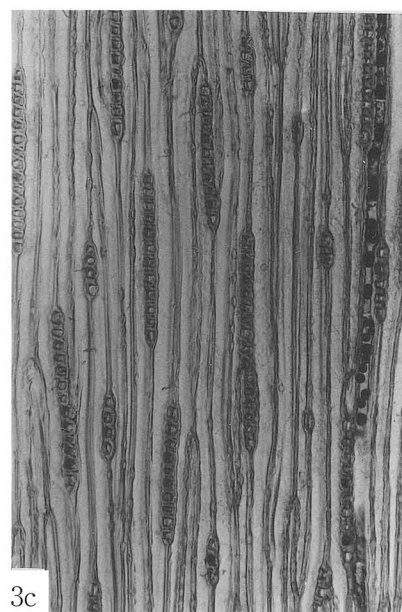
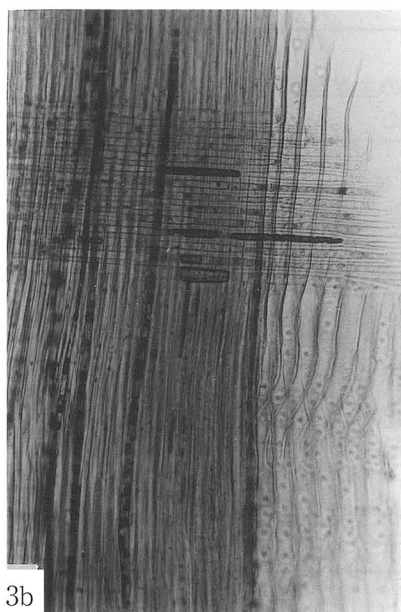
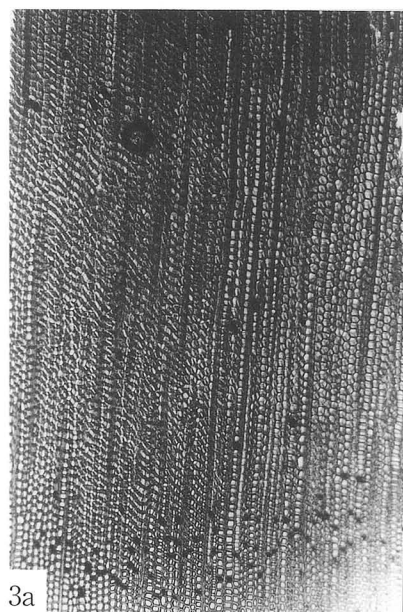
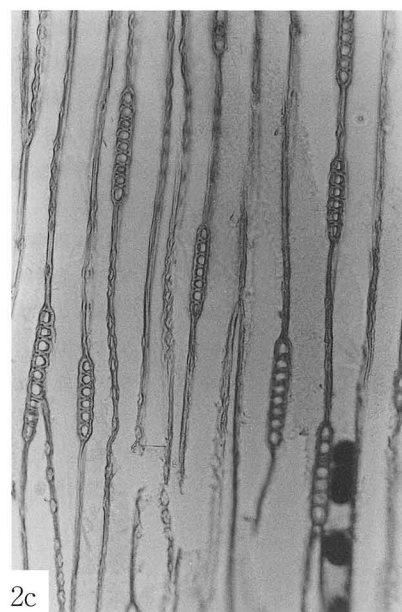
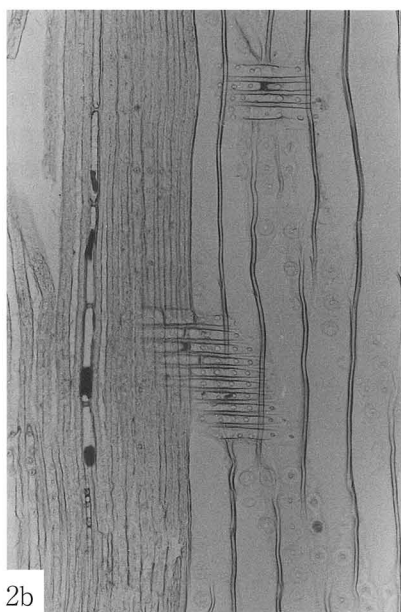
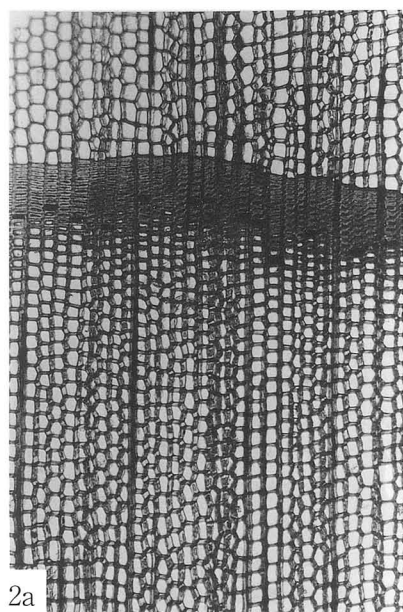
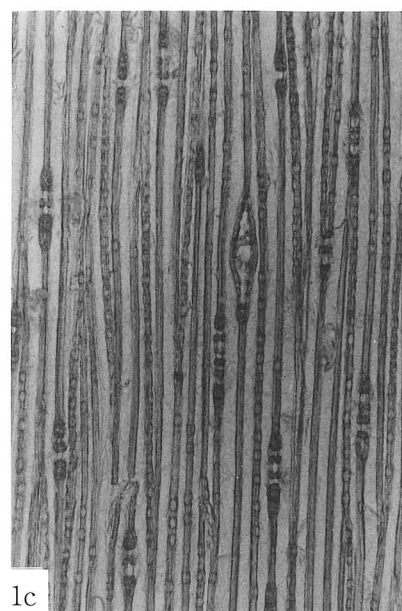
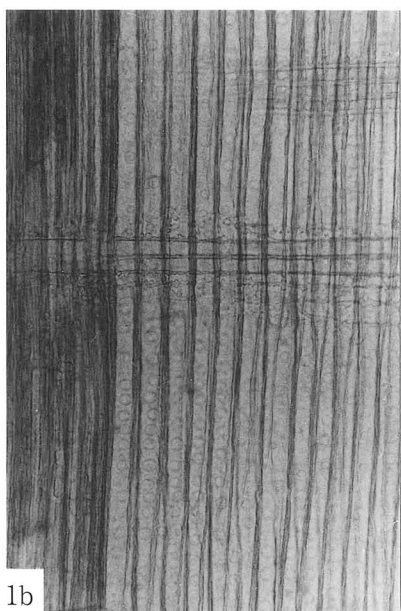
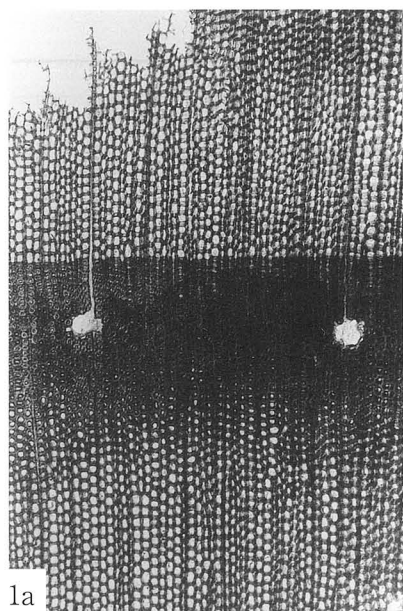
表2 南日詰小路口Ⅱ遺跡出土材の樹種

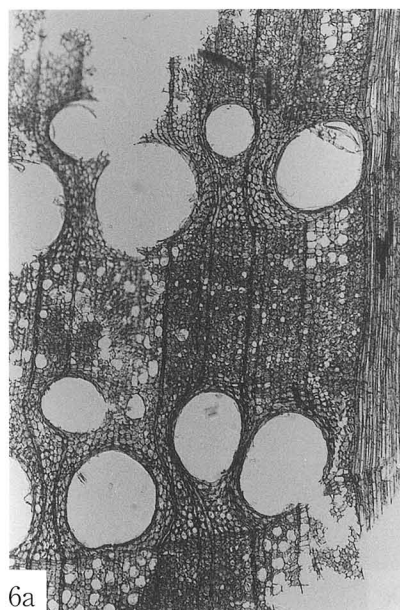
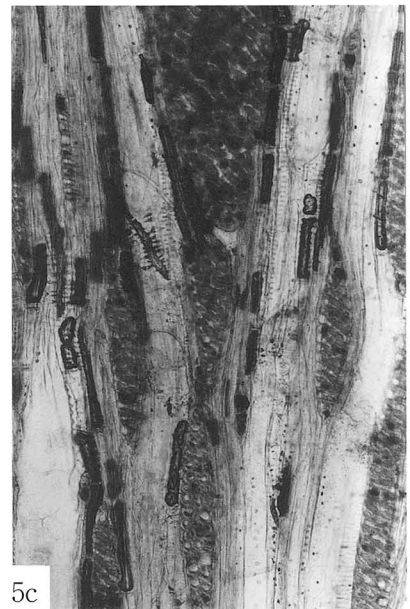
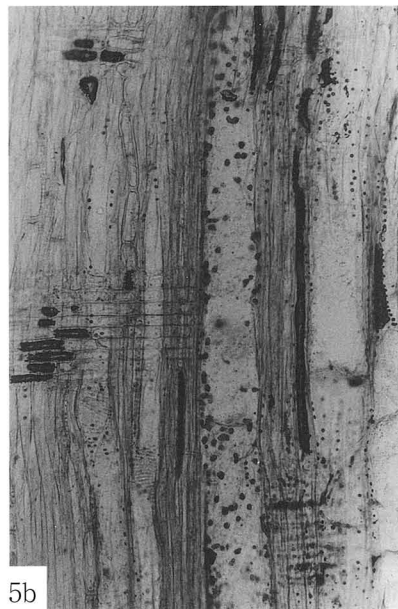
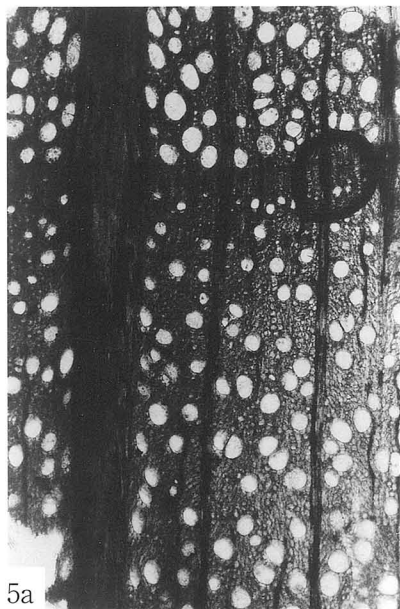
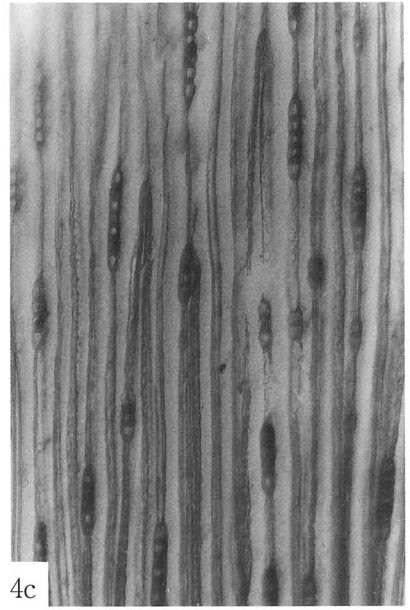
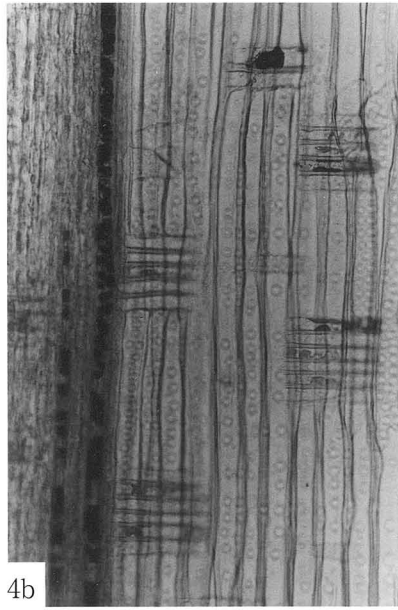
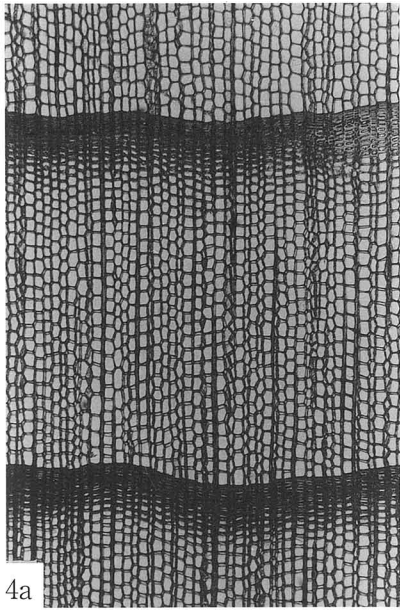
試料番号	掲載番号	検出遺構など	用途	時期	分類	群
701	1431	SK105 No.1	井戸枿(側板)	古代(12c)	アスナロ	
702	1432	SK105 No.2	井戸枿(側板)	古代(12c)	アスナロ	
704	1436	SK105 No.5	井戸枿(組材)	古代(12c)	クリ	
705	1435	SK105 No.11	井戸枿(組材)	古代(12c)	クリ	
706	1433	SK105 No.17	井戸枿(組材)	古代(12c)	クリ	
707	1434	SK105 No.18	井戸枿(組材)	古代(12c)	クリ	
708	1437	SK106 西半埋土4層	板材	古代(12c)	アスナロ	
709	1446	SK107 南半埋土5層No.10	部材	古代(12c)	クリ	
710	1445	SK107 南半埋土5層No.11	部材	古代(12c)	クリ	
711	1442	SK107 南半埋土5層No.17	曲物蓋?	古代(12c)	スギ	
713	1443	SK107 南半埋土5層No.19	折敷?	古代(12c)	アスナロ	
714	1447	SK107 南半埋土4層	部材	古代(12c)	アスナロ	
715	1444	SK107 南半埋土5層No.16	棒状木製品	古代(12c)	コナラ属コナラ亜属コナラ節	
716	1439	SK107 南半埋土	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ	
717	1441	SK107 南半埋土中位黒褐色土	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ	
718	1440	SK107 南半埋土中位黒褐色土	漆塗椀	古代(12c)	ケヤキ	
719	1438	SK106 南半埋土4層No.1	板状木製品	古代(12c)	アスナロ	
720	1448	SK113 2層	枿?	古代(12c)	ミズキ属	
721	1449	SK115 2層	曲物底板?	古代(12c)	スギ	
722	1453	SK115 埋土3層	不明木製品	古代(12c)	アスナロ	
723	1451	SK115 4層	板状木製品	古代(12c)	アスナロ	
725	1455	SK116 西半埋土	連菌下駄	古代(12c)	ケヤキ	
726	1452	SK115 北半埋土3層	不明木製品	古代(12c)	スギ	
729	1450	SK115 北半埋土3層	木錘	古代(12c)	クリ	
730	1454	SK116 3層	漆塗容器	古代(12c)	ケヤキ	
731	1457	SK125 北半埋土1層	連菌下駄	近世	クリ	
734	-	P1236	柱根	近世	アスナロ	
737	-	P1332	礎板	古代(12c)	アスナロ	
739	-	P1270 1層	部材?	近世	アスナロ	
742	-	P1286	柱根	近世	クリ	
1919	-	SK32	炭	近世	マツ属複雑管束亜属	
1920	-	SK32	炭	近世	マツ属複雑管束亜属	
1921	-	SK32	炭	近世	コナラ属コナラ亜属コナラ節	

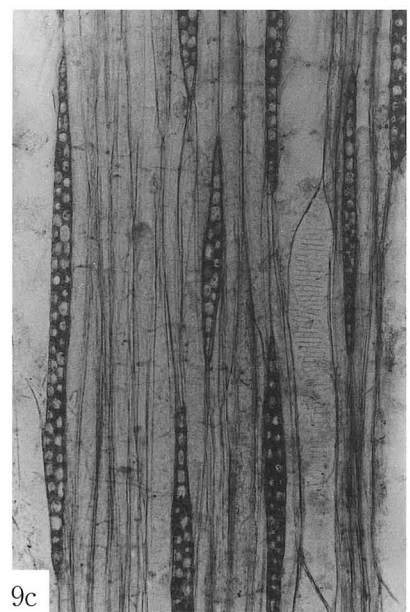
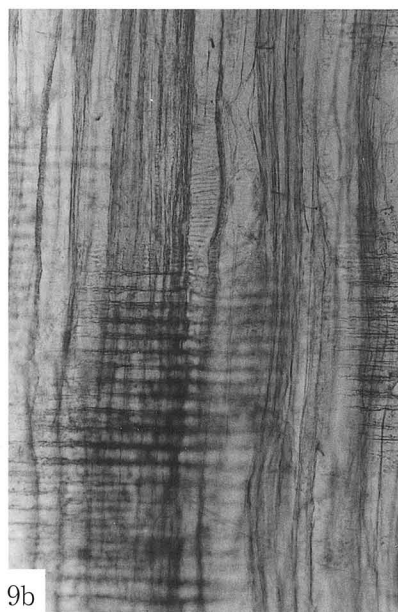
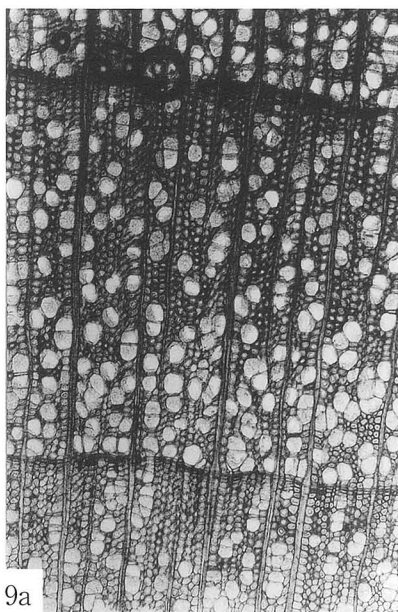
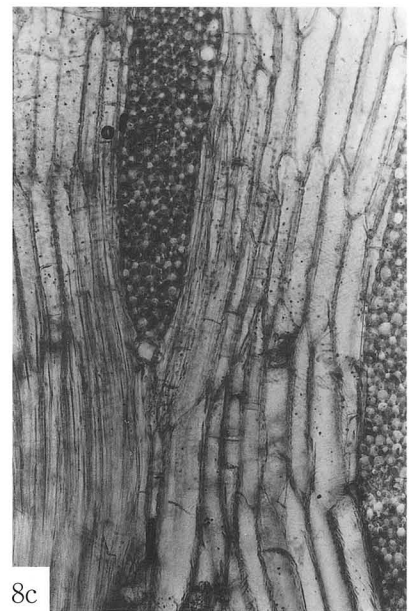
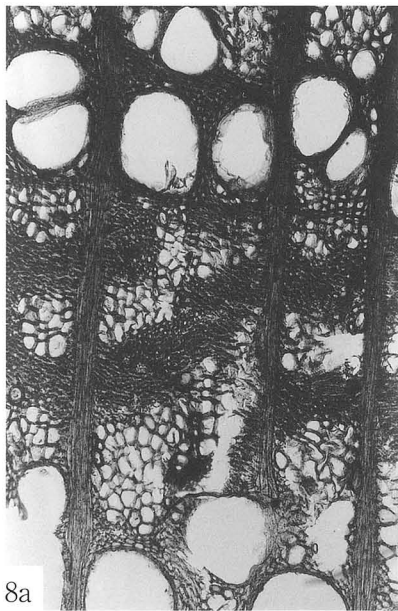
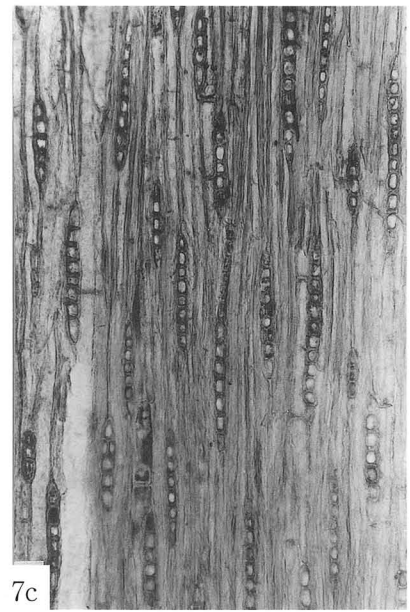
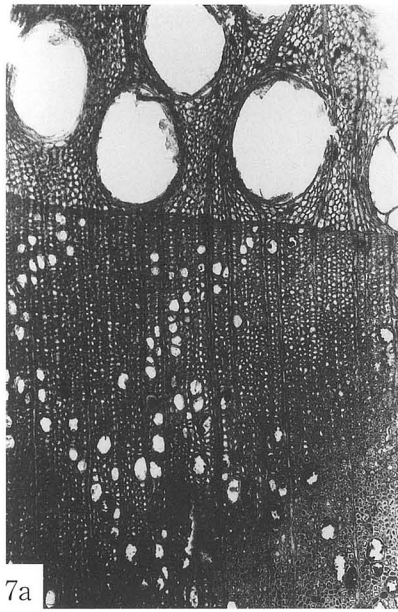
表3 南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡出土材の主な用途別樹種
?の付いたものも各用途に含めた

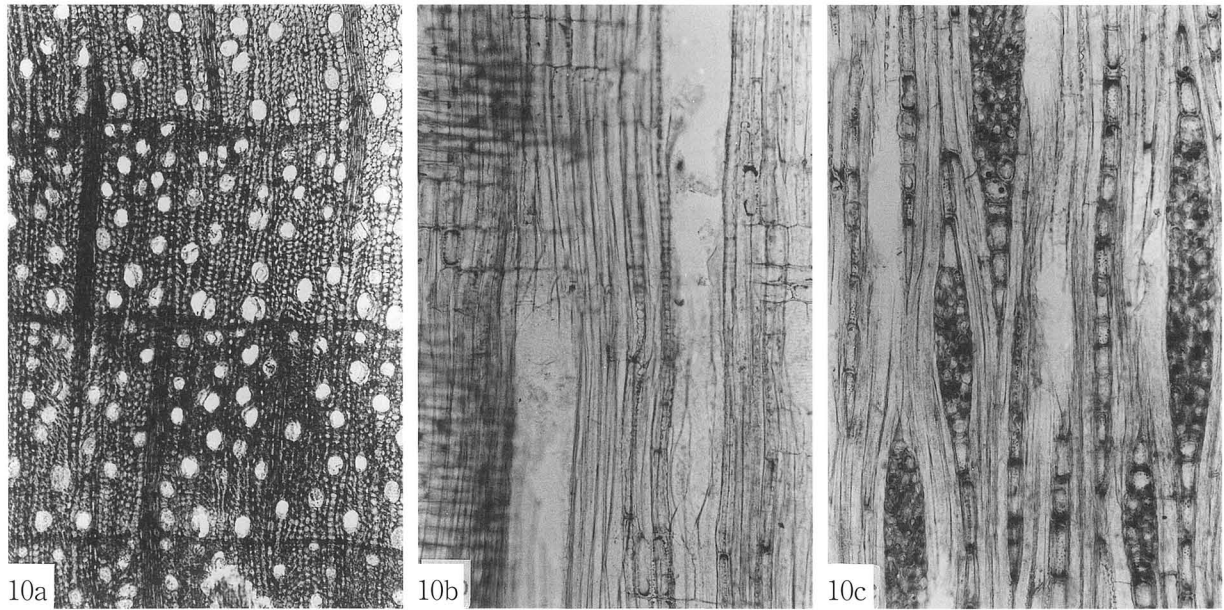
用途	漆器		井戸枿	下駄			曲物	杭	木枿	炭	その他		小計		合計
	古	近		連菌	差菌	古					古	近	古	近	
複雑管束亜属								1	7	2				10	10
スギ							4				8	2	12	2	14
ヒノキ属											1	1	1	1	2
アスナロ	2		2			1	3				9	3	17	3	20
ブナ属		4												4	4
コナラ節										1	3		3	1	4
クリ			4		1						4	1	8	2	10
ケヤキ	8			1									9		9
モクレン属								4						4	4
ミズキ属											1		1		1
計	10	4	6	1	1	1	7	5	7	3	26	7	51	27	78

* 古: 古代 (12c) 近: 近世









- 図版 1 1. マツ属複維管束亜属 No.1702
2. スギ No.726
3. ヒノキ属 No.1707

- 図版 2 4. アスナロ No.702
5. ブナ属 No.1715
6. コナラ属コナラ亜属コナラ節 No.715

- 図版 3 7. クリ No.1758
8. ケヤキ No.1716
9. モクレン属 No.1706

- 図版 4 10. ミズキ属 No.720
a: 横断面 x40 b: 放射断面 x100 c: 接線断面 x100

2 種実同定 (南日詰小路口 I・II 遺跡出土種実遺体の同定調査)

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

岩手県紫波郡紫波町南日詰小路口 I・II 遺跡では、平安時代中頃とされる竪穴住居跡や、12世紀頃とされる井戸跡、建物跡、溝跡などの遺構や、かわらけ、陶磁器などの多量の遺物が出土していることから、比叡館跡の東側の地域で樋爪氏に関連する集落が形成されていたことが指摘されている。今回の分析調査では、溝跡や土坑より出土した種実遺体の同定を実施し、周辺植生と植物利用に関わる資料を作成する。

(1) 試料

試料は、S K32土坑 (No.1804) より出土した種実遺体 1 個、S D34溝跡 (No.1812,1813,1815,1817) より出土した種実遺体12個と、南日詰小路口 II 遺跡の S K105土坑 (No.802)、S K115土坑 (No.812,815,816)、S K116土坑 (No.819) より出土した種実遺体 5 個の計18個である。S K32土坑は近世、他は古代とされ、S K105,115,116土坑は井戸跡の可能性が指摘されている。

(2) 分析方法

種実遺体を双眼実体顕微鏡下で観察し、現生標本および石川 (1994)、中山ほか (2000) 等との対照から、種類と部位を同定する。

(3) 結果

結果を表 1 に示す。木本 3 分類群 (落葉広葉樹のオニグルミ、モモ、トチノキ) 8 個、草本 4 分類群 (アサ、カナムグラ、サナエタデ近似種、ヤナギタデ近似種) 10 個、計18個の種実が同定され、栽培種のモモの核 4 個 (No.1804,1812,802,815) とアサの果実 2 個 (No.1813) が確認された。以下に、形態的特徴等を記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura) クルミ科クルミ属

核が検出された。灰褐色、No.816は頂部が炭化しており黒色。核は頂部が尖る広卵体。大きさは、No.1817は長さ39.81mm、幅29.1mm、厚さ28.3mm。No.816,819は、縦に1周する縫合線に沿って割れた半分で、No.816は長さ31.58mm、幅32.07mm、No.819は長さ31.58mm、幅26.14mm。核は硬く緻密で、表面には縦方向の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・モモ (*Prunus persica* Batsch) バラ科サクラ属

核 (内果皮) が検出された。灰褐色、やや扁平な広楕円体。大きさは、No.1804は表面が摩耗しており、長さ20.48mm、幅13.29mm、厚さ10.84mm。No.1812は長さ27.02mm、幅21.01mm、厚さ15.58mm。No.802は長さ28.18mm、幅21.36mm、厚さ16.41mm。No.815は長さ31.16mm、幅21.55mm、厚さ15.78mm。内果皮の頂部は尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。1本の明瞭な縦の縫合線が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。内果皮は厚く硬く、表面は縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、全体として粗いしわ状に見える。

・トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume) トチノキ科トチノキ属

種子が検出された。長さ21.62mm、径27.67mmの偏球体で、表面にはほぼ赤道面を蛇行して一周する特徴的なカーブを境に、不規則な流理状模様がある光沢の強い黒色の上部と、粗面で光沢のない灰褐色の下部の着点に別れる。

・アサ (*Cannabis sativa* L.) クワ科アサ属

果実が検出された。灰褐色、長さ4mm、幅3mm、厚さ2mm程度の歪な広倒卵体。基部は切形、頂部に径1mm程度の楕円形の突起がある。果皮表面は粗面で葉脈状網目模様がある。

・カナムグラ (*Humulus japonicus* Sieb. et Zucc.) クワ科カラハナソウ属

核が検出された。暗灰褐色、径4mm、厚さ1mm程度の側面観は円形、上面観は両凸レンズ形。基部はやや尖る。頂部は切形で、淡黄褐色、径1mm程度のハート形の臍点がある。表面は粗面。

・サナエタデ近似種 (*Polygonum cf. lapathifolium* L.) タデ科タデ属

果実が検出された。黒褐色、径2mm程度の偏平な円状二面体。頂部はやや尖り、2花柱を欠損する。基部には灰褐色の萼があり、先が2つに分かれ反り返る果長よりやや長い花被の脈が伸びる。果皮表面は平滑で光沢があり、両面中央はやや凹む。

・ヤナギタデ近似種 (*Polygonum cf. hydropiper* L.) タデ科タデ属

果実が検出された。黒褐色、長さ2.5mm、径1.5mm程度の背面正中線上に鈍稜のある広卵体。頂部は尖り、花柱を欠損する。基部は切形で灰褐色の萼がある。果皮表面には明瞭な網目模様がある。

(4) 考 察

古代とされるS D34溝跡、S K105土坑、S K115土坑と、近世とされるS K32土坑からはモモの核が確認され、S D34溝跡からはアサの果実が確認された。モモとアサは栽培のために持ち込まれた渡来種とされ、モモは観賞用の他、果実や核の中にある仁(種子)などが食用、薬用等に、アサは果実が食用や油料に、繊維が衣料や縄用に利用されることから、当時の本遺跡周辺域で利用されていたことが推定される。

栽培種以外の分類群のうち、S D34溝跡、S K115土坑、S K116土坑から確認されたオニグルミ、S K115土坑から確認されたトチノキは、溪流沿いの肥沃地などに溪畔林を形成する落葉高木であることから、本遺跡周辺域の河畔林に由来すると考えられる。オニグルミは核内部の子葉が生食可能、トチノキは種子があく抜きすれば食用可能な有用植物で、長期保存可能で収量も多いことから、古くから植物質食糧として利用され、遺跡出土例も多い(渡辺,1975など)。本遺跡で出土した種実には、人間による直接の利用痕跡は認められない完形個体も確認されるが、S K115出土オニグルミ核の破片は頂部が炭化していることから、中の子葉を取り出すために加熱した痕跡の可能性はある。すなわち当時の本遺跡周辺域の森林より採取し、集落内で食用利用されたことが想定される。

なお、S D34溝跡から確認された草本のカナムグラ、サナエタデ(近似種)、ヤナギタデ(近似種)は、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群であることから、調査地周辺域の草地環境に由来すると考えられる。

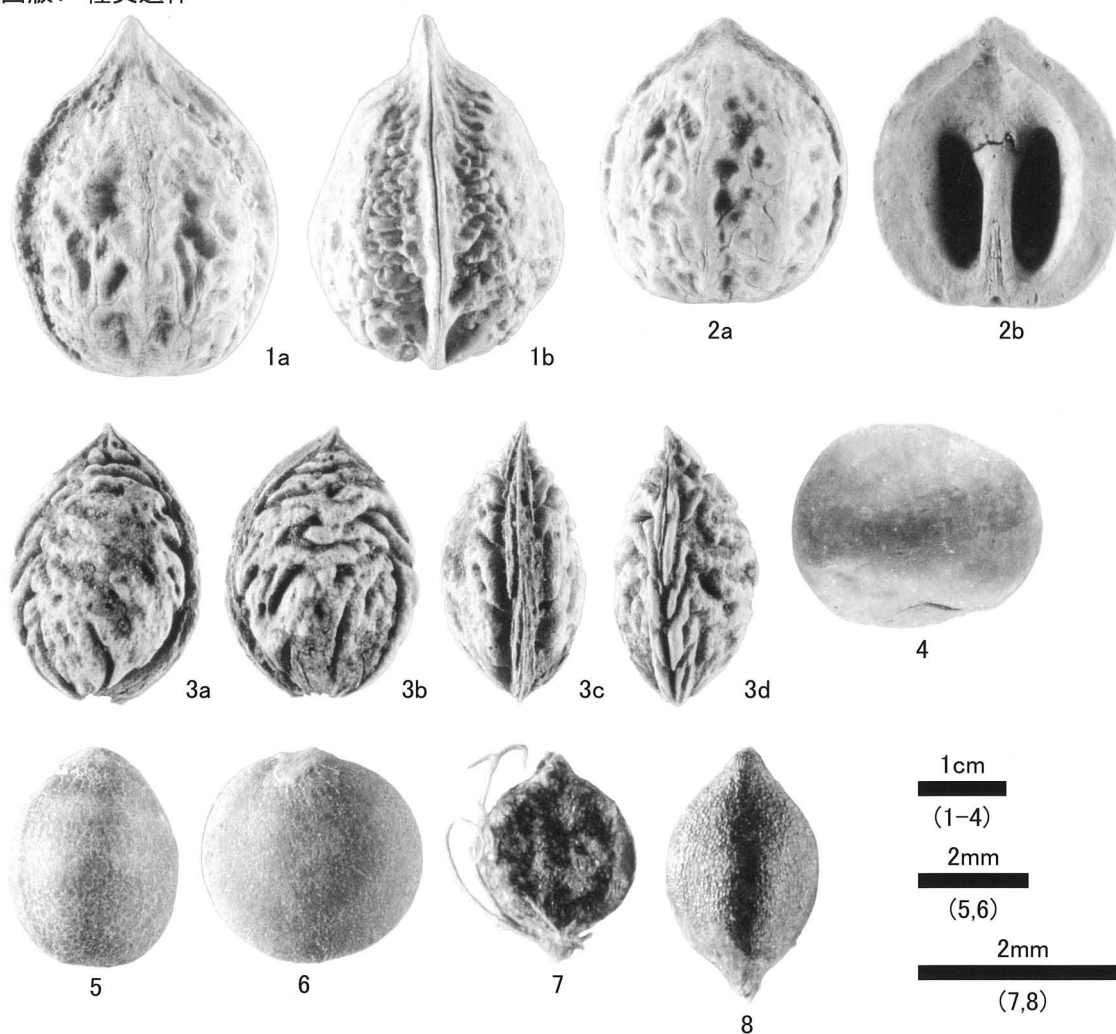
引用文献

- 石川 茂雄 1994 原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.
 中山 至大・井之口希秀・南谷 忠志 2000 日本植物種子図鑑.東北大学出版会,642p.
 渡辺 誠 1975 縄文時代の植物食.雄山閣出版,187p.

表1. 種実同定結果

試料No	掲載No	遺跡名	遺構名		層位	時期	分類群	部位	状態	個数	計測値(mm)			備考
											長さ	幅	厚さ	
1804	-	MHS I	SK32	土坑	2層炭化材層下位	近世	モモ	核	完形	1	20.48	13.29	10.84	表面摩耗
1812	954	MHS I	SD34	溝跡	南側2層~底面	古代	モモ	核	完形	1	27.02	21.01	15.58	
1813	955	MHS I	SD34	溝跡	床面No.19 木製品No.46内の土	古代	アサ	果実	完形	2				
							カナムグラ	核	完形	3				
1815	956	MHS I	SD34	溝跡	床面No.19 木製品No.46内の土	古代	サナエタデ近似種	果実	完形	3				
							ヤナギタデ近似種	果実	完形	2				
1817	957	MHS I	SD34	溝跡	北側2層~底面	古代	オニグルミ	核	完形	1	39.81	29.1	28.3	
802	1521	MHS II	SK105	土坑	南半埋土下位黒褐色土	古代	モモ	核	完形	1	28.18	21.36	16.41	
812	1523	MHS II	SK115	土坑	北半埋土3層	古代	トチノキ	種子	完形	1	21.62	27.67	-	
815	1525	MHS II	SK115	土坑	北半埋土3層	古代	モモ	核	完形	1	31.16	21.55	15.78	
816	-	MHS II	SK115	土坑	北半埋土3層	古代	オニグルミ	核	半分	1	31.58	32.07	-	頂部炭化
819	1526	MHS II	SK116	土坑	西半埋土3層	古代	オニグルミ	核	半分	1	31.58	26.14	-	

図版1 種実遺体



- 1. オニグルミ 核(No.1817;MHS I SD34 溝跡)
- 2. オニグルミ 核(No.819;MHS II SK116 土坑)
- 3. モモ 核(No.802;MHS II SK105 土坑)
- 4. トチノキ 種子(No.812;MHS II SK115 土坑)
- 5. アサ 果実(No.1813;MHS I SD34 溝跡)
- 6. カナムグラ 核(No.1813;MHS I SD34 溝跡)
- 7. サナエタデ近似種 果実(No.1815;MHS I SD34 溝跡)
- 8. ヤナギタデ近似種 果実(No.1815;MHS I SD34 溝跡)

3 放射性炭素年代測定（南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡における放射性炭素年代）

（株）加速器分析研究所

（1）測定対象試料

南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡は、岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口26-2ほか（北緯39° 31′ 51″、東経141° 10′ 12″）に所在する。北上川右岸の低地に立地し、標高は92～93mである。南日詰小路口Ⅰ遺跡の測定対象試料は、S D34溝跡出土木炭（1896:IAAA-92068）、S D36溝跡出土木炭（1915:IAAA-92069）、S K32土坑出土木炭（1920:IAAA-92070）、S D35溝跡出土木片（1758:IAAA-92071）、南日詰小路口Ⅱ遺跡の測定対象試料はS K107土坑出土木炭（496:IAAA-92072）、S I103住居跡出土木炭（498:IAAA-92073）、S K115土坑出土木炭（504:IAAA-92074）、S D122溝跡出土木炭（507:IAAA-92075）、S K127土坑出土木炭（511:IAAA-92076）、S K105土坑出土木片（701:IAAA-92077）、合計10点である。

（2）測定の意義

遺構・遺物の前後関係、集落の継続機関を明らかにする。

（3）化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- 2) 酸処理、アルカリ処理、酸処理（AAA：Acid Alkali Acid）により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では1Nの塩酸（80℃）を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では1Nの水酸化ナトリウム水溶液（80℃）を用いて数時間処理する。なお、AAA処理において、アルカリ濃度が1N未満の場合、表中にAaAと記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では1Nの塩酸（80℃）を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- 3) 試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃で30分、850℃で2時間加熱する。
- 4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素（CO₂）を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出（水素で還元）し、グラファイトを作製する。
- 6) グラファイトを内径1mmのカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

（4）測定方法

測定機器は、3MVタンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置（NEC Pelletron 9SDH-2）を使用する。測定では、米国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxII）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

（5）算出方法

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。
- 2) 14C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中14C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。この値は、 $\delta^{13}C$ によって補正された値である。

14C年代と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。また、14C年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の14C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

3) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差 (%) で表される。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ を測定した場合には表中に (AMS) と注記する。

4) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の14C濃度の割合である。

5) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の14C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の14C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、14C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。暦年較正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入しない14C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal04データベース (Reimer et al 2004) を用い、OxCalv4.1較正プログラム (Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001) を使用した。

(6) 測定結果

南日詰小路口Ⅰ遺跡出土試料の14C年代は、S D34溝跡出土の1896が $900 \pm 30\text{yrBP}$ 、S D36溝跡出土の1915が $910 \pm 30\text{yrBP}$ 、S K32土坑出土の1920が $270 \pm 30\text{yrBP}$ 、S D35溝跡出土の1758が $920 \pm 30\text{yrBP}$ である。S D34～36の試料はいずれも古代に相当する年代値で、暦年較正年代 (1σ) は11世紀後半から12世紀頃の範囲を示す。S K32の試料の暦年較正年代 (1σ) は16世紀から18世紀で、17世紀頃の確率が高くなっている。

南日詰小路口Ⅱ遺跡出土試料の14C年代は、S K107土坑出土の496が $860 \pm 30\text{yrBP}$ 、S I103住居跡出土の498が $1190 \pm 30\text{yrBP}$ 、S K115土坑出土の504が $920 \pm 30\text{yrBP}$ 、S D122溝跡出土の507が $890 \pm 30\text{yrBP}$ 、S K127土坑出土の511が $890 \pm 30\text{yrBP}$ 、S K105土坑出土の701が $910 \pm 30\text{yrBP}$ である。いずれも古代の年代値で、暦年較正年代 (1σ) は、S I103の試料が8世紀末から9世紀頃、S K105、S K115、S K127、S D122の試料が11世紀後半から12世紀頃、S K107の試料が12世紀後半から13世紀前葉頃の範囲を示している。

炭素含有率はすべて60%前後を越える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

参考文献

- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of 14C data, Radiocarbon 19, 355-363
- Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, Radiocarbon 37 (2) , 425-430
- Bronk Ramsey C. 2001 Development of the radiocarbon calibration program, Radiocarbon 43 (2A) , 355-363
- Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43 (2A) , 381-389
- Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, Radiocarbon 46, 1029-1058

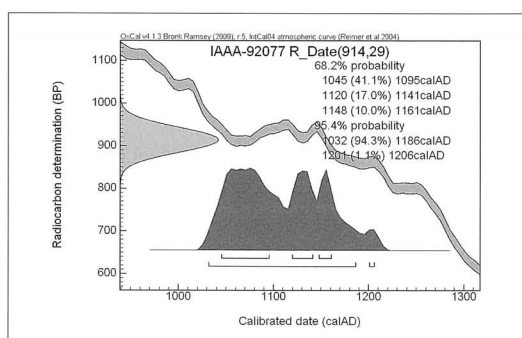
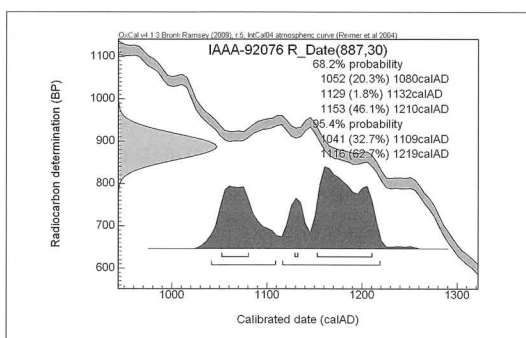
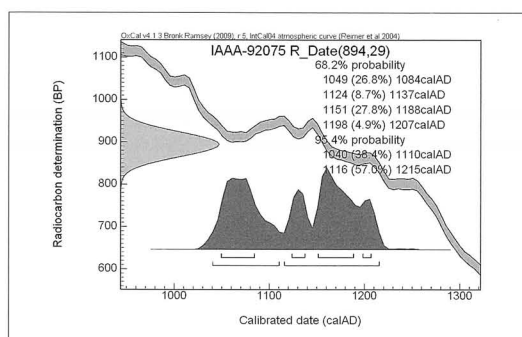
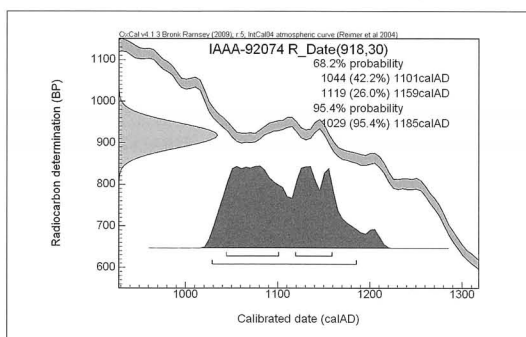
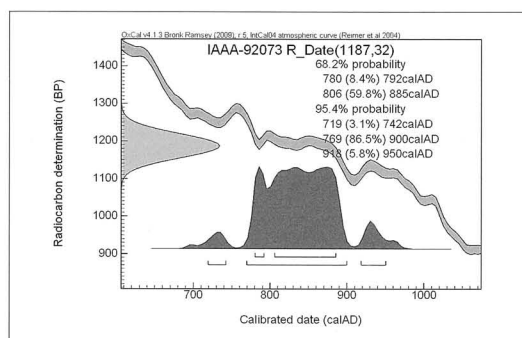
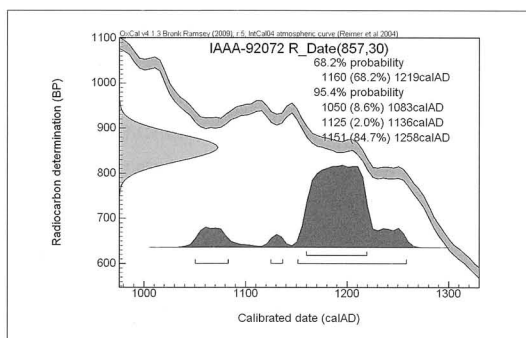
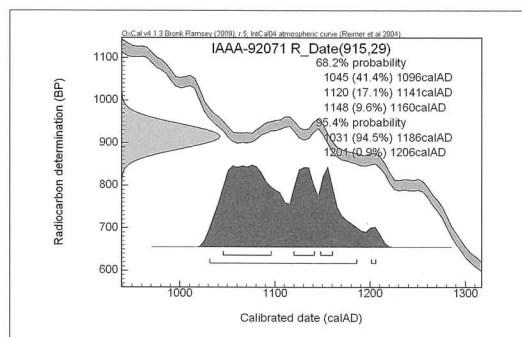
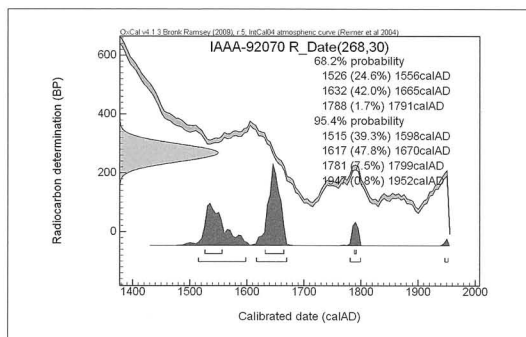
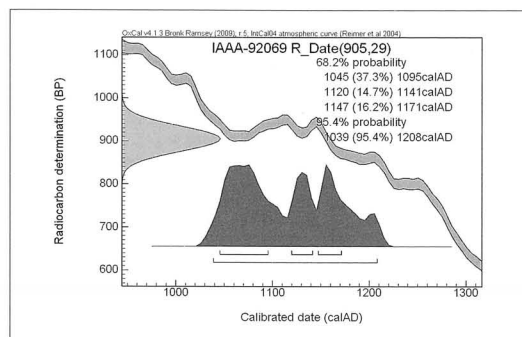
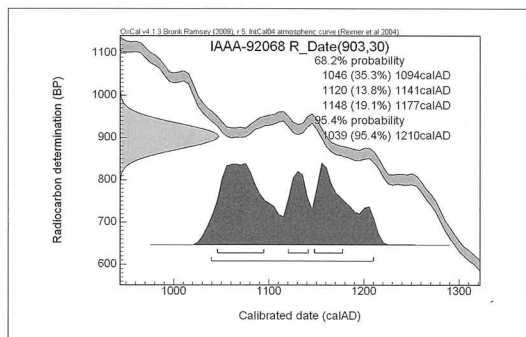
測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						LibbyAge (yrBP)	pMC (%)
IAAA-92068	1896	SD34溝跡 2層～底面	木炭	AAA	-25.54 ± 0.67	900 ± 30	89.36 ± 0.34
IAAA-92069	1915	SD36溝跡 南側トレンチ	木炭	AAA	-25.52 ± 0.56	910 ± 30	89.34 ± 0.33
IAAA-92070	1920	SK32土坑 2層No.2	木炭	AAA	-26.50 ± 0.54	270 ± 30	96.71 ± 0.36
IAAA-92071	1758	SD35溝跡 埋土7層～底面	木片	AAA	-27.01 ± 0.49	920 ± 30	89.22 ± 0.33
IAAA-92072	496	SK107土坑 北半埋土5層	木炭	AAA	-21.50 ± 0.70	860 ± 30	89.88 ± 0.34
IAAA-92073	498	SI103住居跡 煙道部	木炭	AAA	-27.75 ± 0.51	1,190 ± 30	86.25 ± 0.35
IAAA-92074	504	SK115土坑 北半5層	木炭	AAA	-25.86 ± 0.53	920 ± 30	89.19 ± 0.33
IAAA-92075	507	SD122溝跡 南側埋土1層	木炭	AAA	-25.80 ± 0.36	890 ± 30	89.46 ± 0.33
IAAA-92076	511	SK127土坑 東半埋土1層	木炭	AAA	-25.90 ± 0.50	890 ± 30	89.53 ± 0.34
IAAA-92077	701	SK105土坑 埋土No.1	木片	AAA	-26.04 ± 0.56	910 ± 30	89.24 ± 0.33

[#3314.3315]

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-92068	910 ± 30	89.26 ± 0.31	903 ± 30	1046AD-1094AD (35.3%) 1120AD-1141AD (13.8%) 1148AD-1177AD (19.1%)	1039AD-1210AD (95.4%)
IAAA-92069	910 ± 30	89.24 ± 0.31	905 ± 29	1045AD-1095AD (37.3%) 1120AD-1141AD (14.7%) 1147AD-1171AD (16.2%)	1039AD-1208AD (95.4%)
IAAA-92070	290 ± 30	96.41 ± 0.34	268 ± 30	1526AD-1556AD (24.6%) 1632AD-1665AD (42.0%) 1788AD-1791AD (1.7%)	1515AD-1598AD (39.3%) 1617AD-1670AD (47.8%) 1781AD-1799AD (7.5%) 1947AD-1952AD (0.8%)
IAAA-92071	950 ± 30	88.86 ± 0.31	915 ± 29	1045AD-1096AD (41.4%) 1120AD-1141AD (17.1%) 1148AD-1160AD (9.6%)	1031AD-1186AD (94.5%) 1201AD-1206AD (0.9%)
IAAA-92072	800 ± 30	90.52 ± 0.31	857 ± 30	1160AD-1219AD (68.2%)	1050AD-1083AD (8.6%) 1125AD-1136AD (2.0%) 1151AD-1258AD (84.7%)
IAAA-92073	1,230 ± 30	85.77 ± 0.34	1,187 ± 32	780AD-792AD (8.4%) 806AD-885AD (59.8%)	719AD-742AD (3.1%) 769AD-900AD (86.5%) 918AD-950AD (5.8%)
IAAA-92074	930 ± 30	89.04 ± 0.32	918 ± 30	1044AD-1101AD (42.2%) 1119AD-1159AD (26.0%)	1029AD-1185AD (95.4%)
IAAA-92075	910 ± 30	89.32 ± 0.32	894 ± 29	1049AD-1084AD (26.8%) 1124AD-1137AD (8.7%) 1151AD-1188AD (27.8%) 1198AD-1207AD (4.9%)	1040AD-1110AD (38.4%) 1116AD-1215AD (57.0%)
IAAA-92076	900 ± 30	89.37 ± 0.32	887 ± 30	1052AD-1080AD (20.3%) 1129AD-1132AD (1.8%) 1153AD-1210AD (46.1%)	1041AD-1109AD (32.7%) 1116AD-1219AD (62.7%)
IAAA-92077	930 ± 30	89.05 ± 0.31	914 ± 29	1045AD-1095AD (41.1%) 1120AD-1141AD (17.0%) 1148AD-1161AD (10.0%)	1032AD-1186AD (94.3%) 1201AD-1206AD (1.1%)

[参考値]

3 放射性炭素年代測定



[参考] 暦年較正年代グラフ

写 真 图 版



航空写真（遺跡南方上空から）



かわらけ

写真図版1 航空写真、かわらけ



国産陶器



中国産磁器

写真図版2 国産陶器、中国産磁器



航空写真（遺跡南方上空から）



航空写真（遺跡直上から）

写真図版3 航空写真（1）



航空写真a (昭和23年撮影)



航空写真b (昭和45年撮影)

写真図版4 航空写真 (2)



航空写真a (昭和23年撮影)



航空写真b (昭和45年撮影)

写真図版5 航空写真 (3)



H3区全景 (南から)



H4区全景 (南から)



H1・H2区全景
(南から)



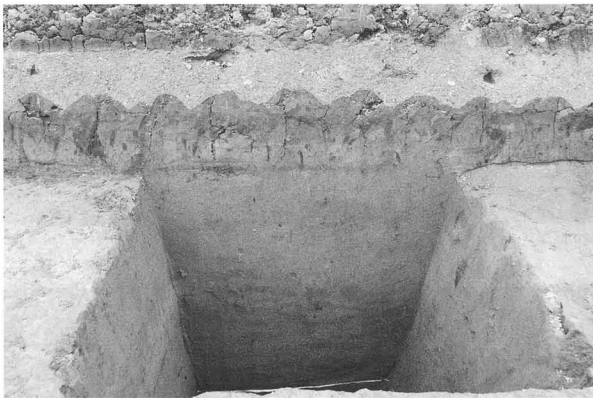
I区全景（北から）



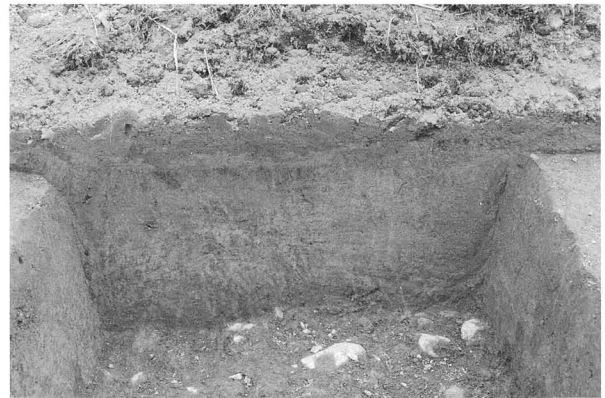
I区全景（南から）



Ⅰ区中央
(東から)



基本土層Ⅰ区北側(東から)



基本土層Ⅰ区南側(西から)



見学会(平成21年7月24日、H4区)



J区全景（東から）



K区全景（東から）



基本土層J区（北から）



K区トレンチ（西から）



L区全景（西から）



基本土層L区東（南から）



N区全景（東から）



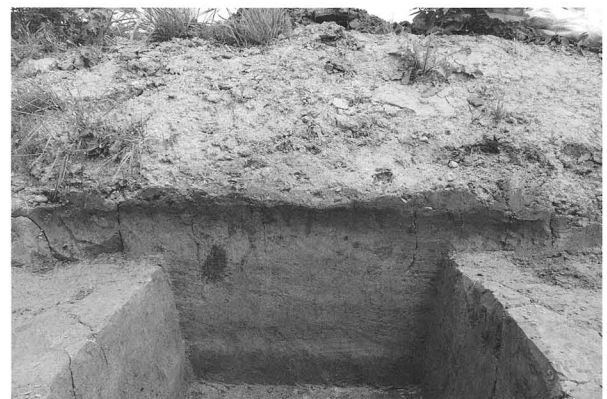
M区全景（西から）



基本土層N区西（南から）



基本土層M区（南から）



基本土層N区東（南から）



O区全景（北から）



南日詰小路口I遺跡

基本土層O区南（西から）



O区全景（南から）



P区全景（北から）



O区全景（南から）



P区トレンチ65（南から）



Q区全景（北から）



Q区全景（南から）



R1区全景(西から)



基本土層R1区(南から)



基本土層R2区西(東から)



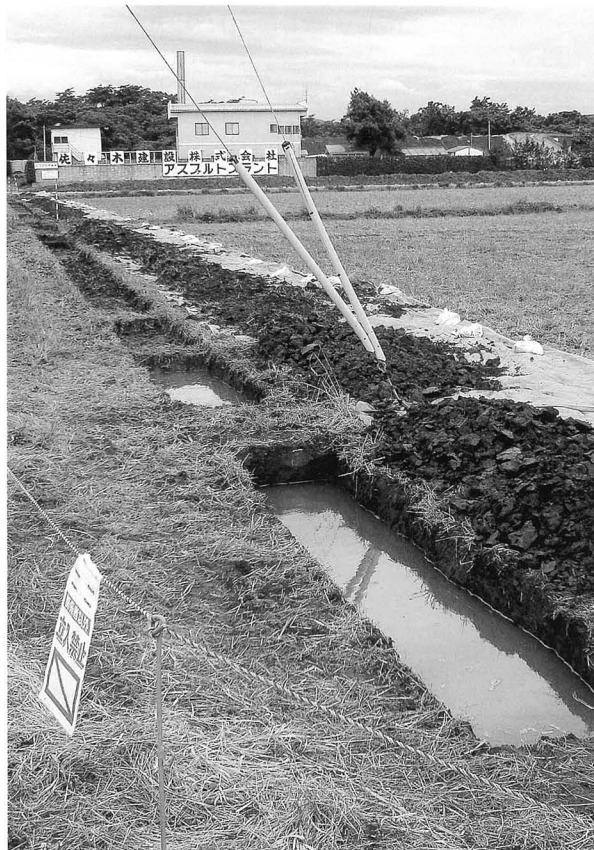
R2区全景(東から)



基本土層R2区東(北から)



R3区西側（東から）



R3区全景（西から）



S区全景（東から）



S区全景（西から）



SB01～03 (南から)



SB04～05 (南から)



SB07・08 (南から)



SB09 (南から)



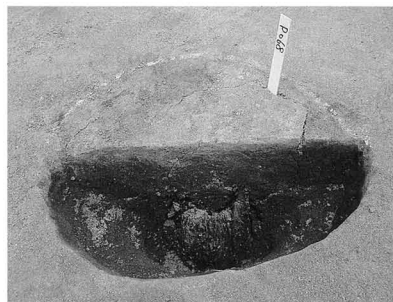
SB11 (東から)



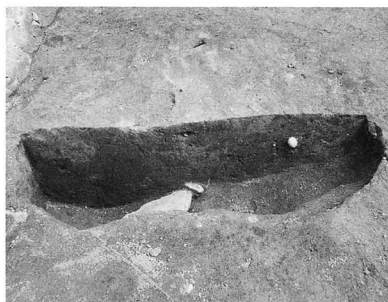
SB10 (北から)



SB12 (東から)



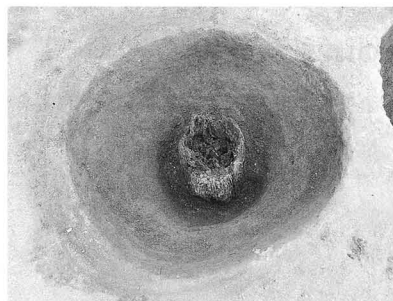
P68断面



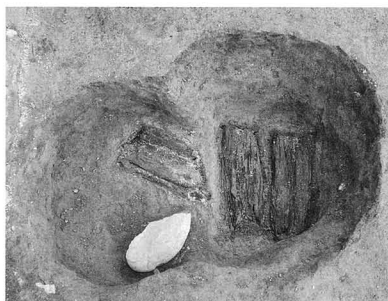
P97・P98 (SB11) 断面



P103 (SB11) 断面



P68柱出土状況



P97・P98 (SB11) 礎板出土状況



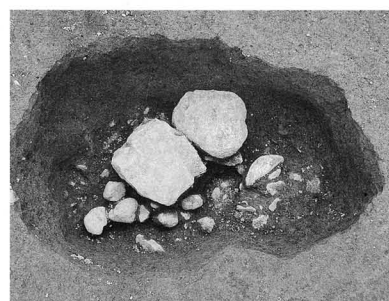
P103 (SB11) 礎盤出土状況



P104 (SB11) 断面



P105 (SB11) 断面



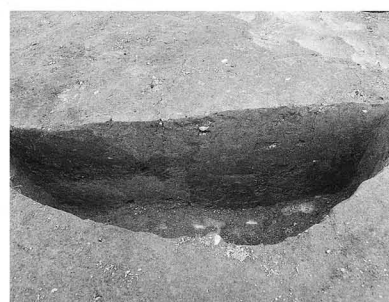
P105 (SB11) 礫出土状況



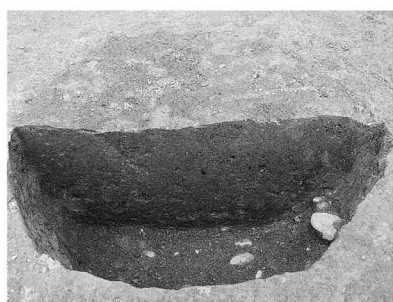
P106 (SB11) 断面



P109断面



P110断面



P111断面



P112 (SB11) 断面



P113 (SB11) 断面



SK01完掘 (南から)



SK01断面 (南から)



SK02完掘 (南から)



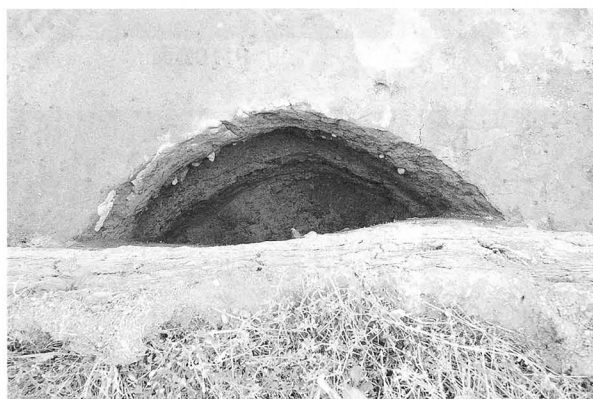
SK02断面 (南から)



SK03完掘 (西から)



SK03断面 (東から)



SK04完掘 (西から)



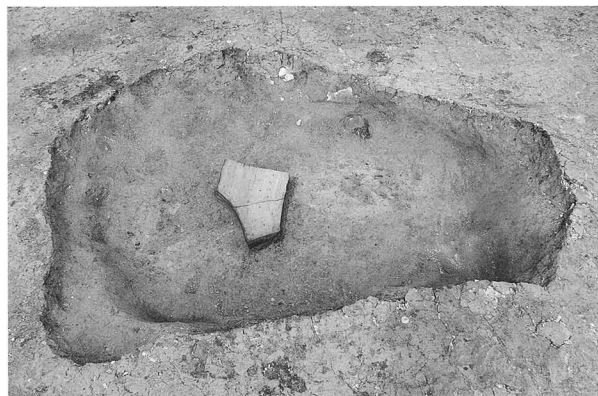
SK04断面 (東から)



SK05完掘 (南から)



SK05断面 (南から)



SK07遺物出土状況 (南から)



SK05礫出土状況 (南から)



SK07完掘 (南から)



SK07断面 (東から)



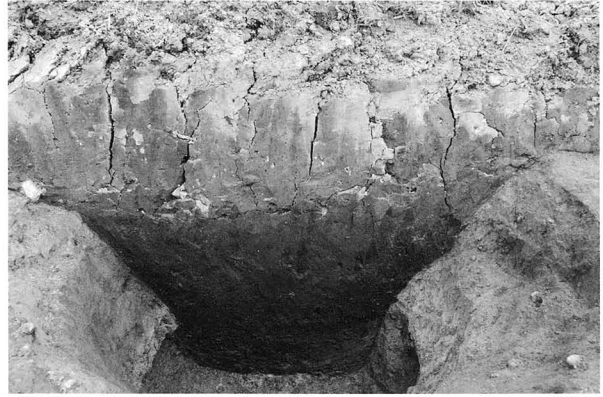
SK06完掘 (東から)



SK06断面 (東から)



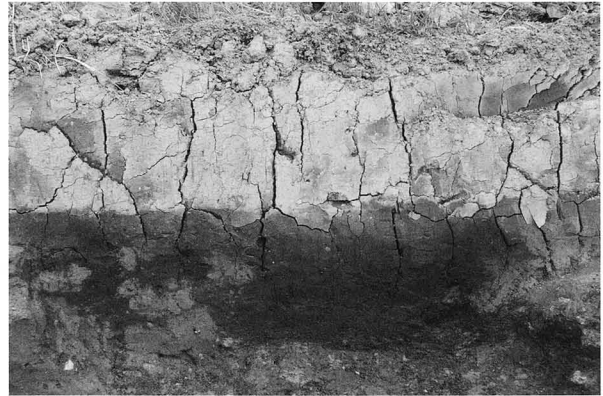
SK08完掘 (東から)



SK08断面 (西から)



SK09完掘 (東から)



SK09断面 (西から)



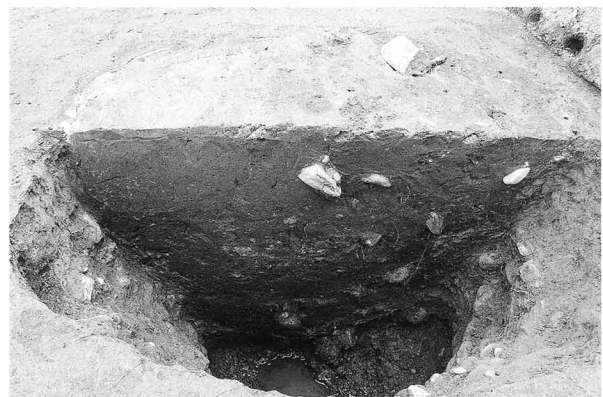
SK10完掘 (東から)



SK10断面 (東から)



SK11完掘 (西から)



SK11断面 (西から)



SK12完掘 (南から)



SK12断面 (南から)



SK13完掘 (西から)



SK13断面 (西から)



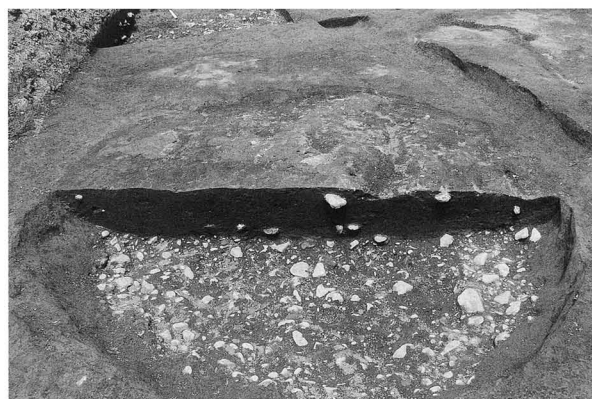
SK14完掘 (西から)



SK14断面 (西から)



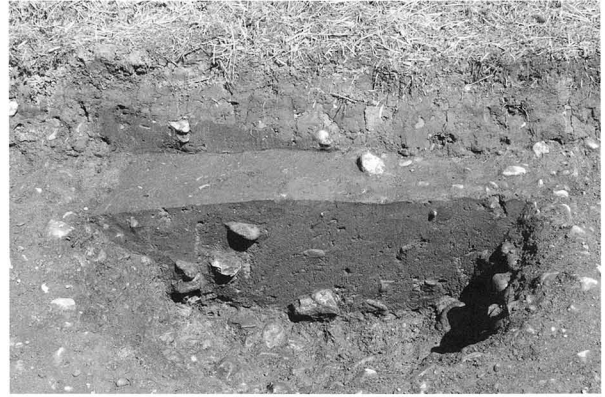
SK15完掘 (西から)



SK15断面 (南から)



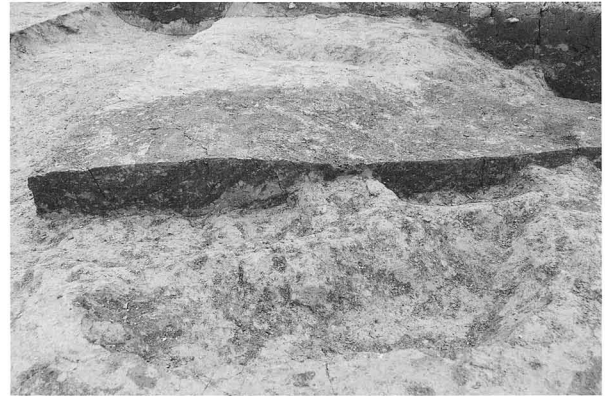
SK16完掘 (西から)



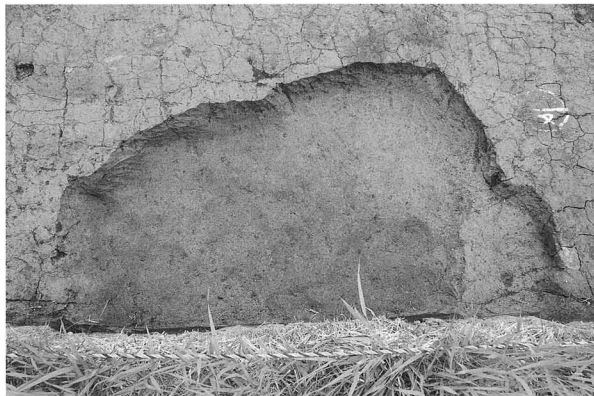
SK16断面 (西から)



SK18完掘 (南から)



SK18断面 (南から)



SK19完掘 (南から)



SK19断面 (北から)



SK20完掘 (南から)



SK20断面 (南から)



SK17完掘・断面（東から）



SK24完掘・断面（西から）



SK21完掘（東から）



SK21断面（西から）



SK22完掘（東から）



SK22断面（東から）



SK23完掘（東から）



SK23断面（南から）



SK25完掘（北から）



SK25断面（南から）



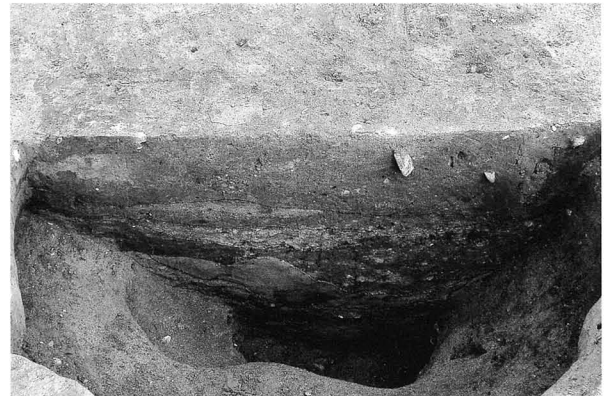
SK26完掘（南から）



SK26断面（南から）



SK27完掘（西から）



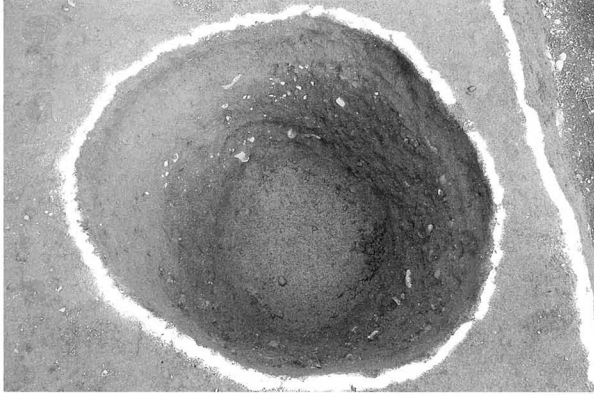
SK27断面（南から）



SK28完掘（南から）



SK28断面・遺物出土状況（南から）



SK29完掘 (南から)



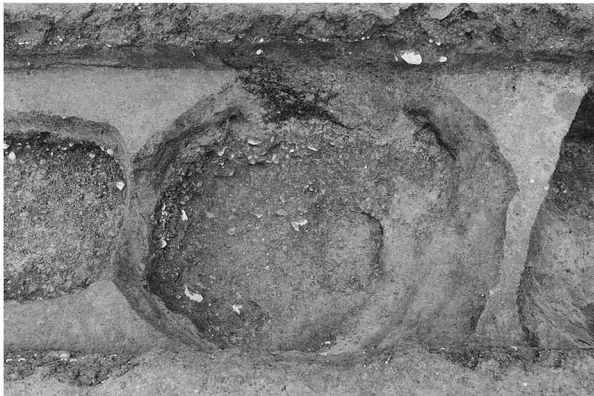
SK29断面 (南から)



SK30完掘 (南から)



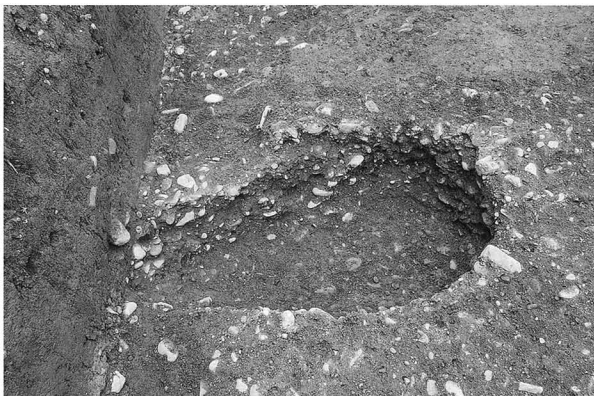
SK30断面 (南から)



SK31完掘 (東から)



SK31断面 (東から)



SK34完掘 (南から)



SK34断面 (南から)



SK32断面（東から）



SK32検出（南から）



SK32材出土状況（東から）



SK32断面（南から）



SK32底板出土状況（東から）



SK32底板端部拡大



SK32横木出土状況（東から）



SK32完掘（東から）



SK32完掘 (南から)



SK35断面 (南から)



SK36完掘 (北から)



SK36断面 (南から)



SK33完掘・断面 (南から)



SK37断面 (南から)



SK37・38完掘 (南から)



SK38断面 (南から)



SK39完掘（東から）



SK39断面（東から）



SK40完掘（東から）



SK40断面（西から）



SK41完掘（南から）



SK41断面（北から）



SK41遺物出土状況（1）



SK41遺物出土状況（2）



SD01完掘（東から）



SD01断面A（東から）



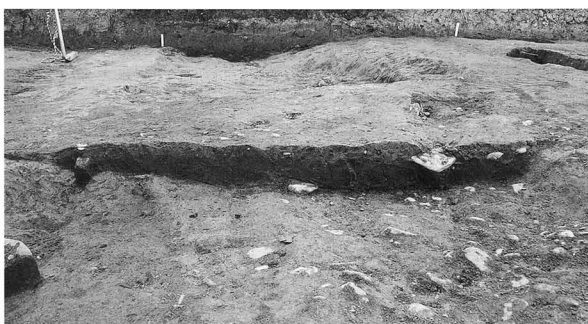
SD01断面B（東から）



SD07完掘（東から）



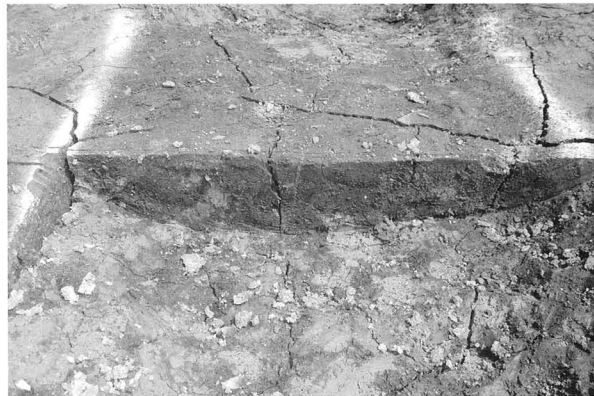
SD07断面A（東から）



SD07断面B（東から）



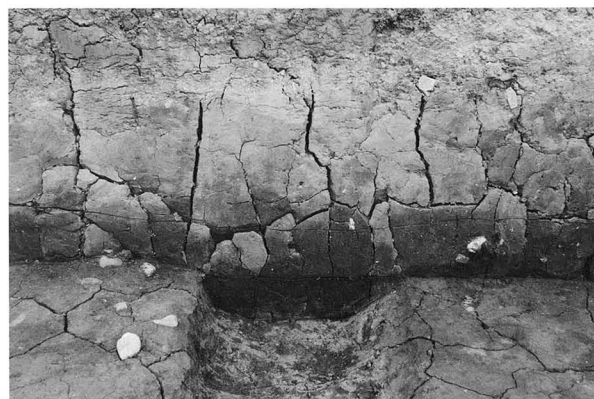
SD03・04完掘（東から）



SD03断面（東から）



SD05完掘（西から）



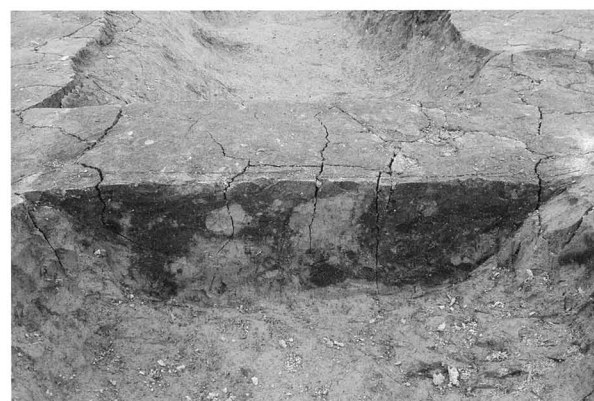
SD04断面（東から）



SD06完掘（南から）



SD05断面B（東から）



SD05断面C（南から）



SD08東側完掘（西から）



SD08西側断面（西から）



SD08西側完掘（西から）



SD08断面（東から）



SD09完掘（西から）



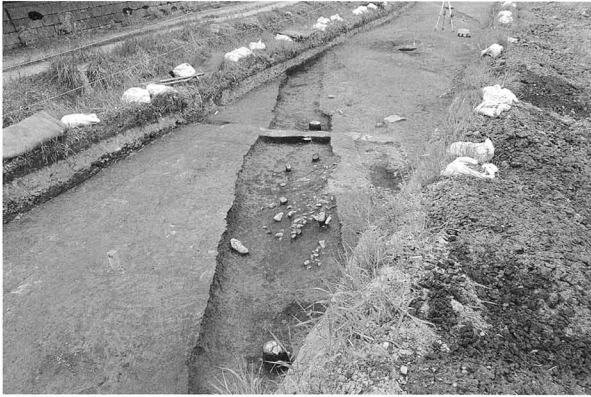
SD09断面（西から）



SD10・11完掘（西から）



SD10断面（西から）



SD11・10遺物出土状況（東から）



SD11断面（西から）



SD12完掘（南から）



SD12断面（南から）



SD13完掘（北から）



SD13断面（南から）



SD14・15・26完掘（西から）



SD13～15断面（西から）



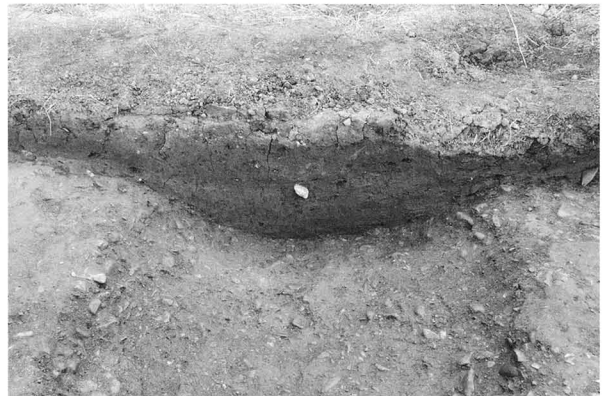
SD16完掘 (西から)



SD16断面 (西から)



SD17完掘 (西から)



SD17断面 (西から)



SD17遺物出土状況 (西から)



SD17遺物出土状況 (南から)



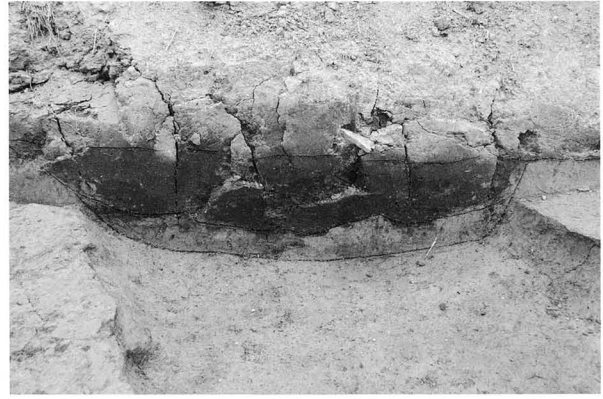
SD18完掘 (西から)



SD18断面 (西から)



SD19完掘 (南から)



SD19断面 (南から)



SD20完掘 (南から)



SD20断面 (南から)



SD21完掘 (南から)



SD21断面 (南から)



SD22完掘 (北から)



SD22断面 (北から)



SD23完掘（東から）



SD23断面（東から）



SD24完掘（東から）



SD24断面（東から）



SD24遺物出土状況（南から）



SD25遺物出土状況（北から）



SD25完掘（東から）



SD25断面（西から）



SD27完掘 (西から)



SD27断面 (東から)



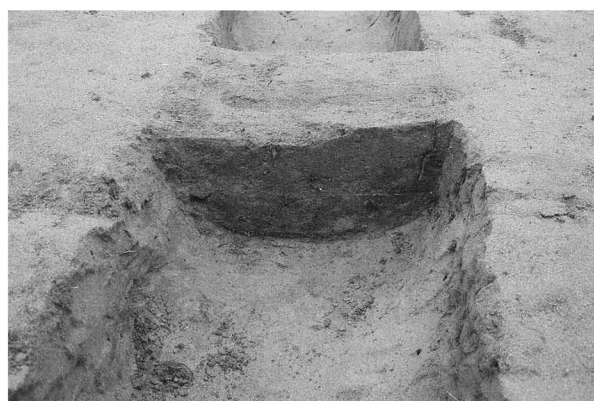
SD27断面 (西から)



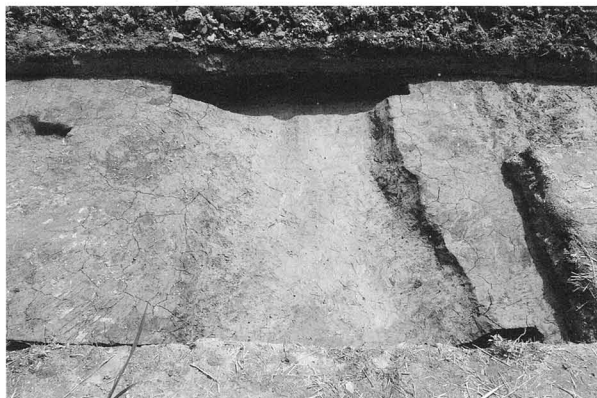
SD28完掘 (東から)



SD27断面 (西から)



SD28断面 (西から)



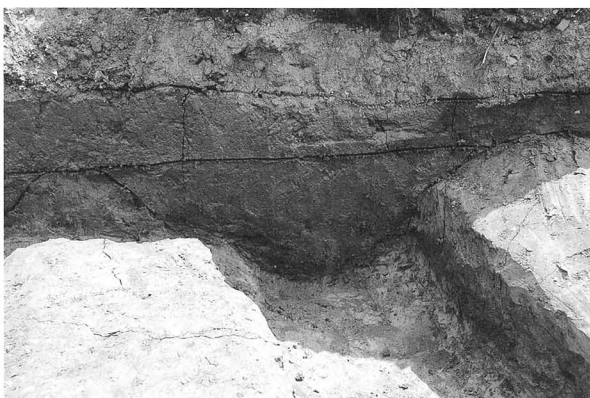
SD30完掘（北から）



SD30断面（北から）



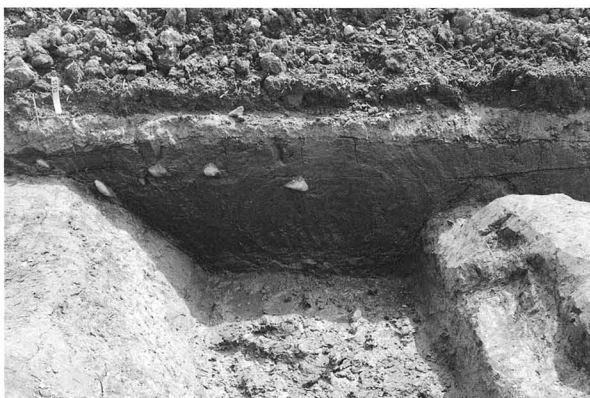
SD31完掘（北から）



SD31断面（北から）



SD32完掘（北から）



SD32断面（北から）



SD33完掘（南から）



SD33断面（南から）



SD34完掘（北から）



SD34断面A（南から）



SD34断面B（南から）



SD34断面C (南から)



SD34断面E
(東から)



SD34断面F
(東から)



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



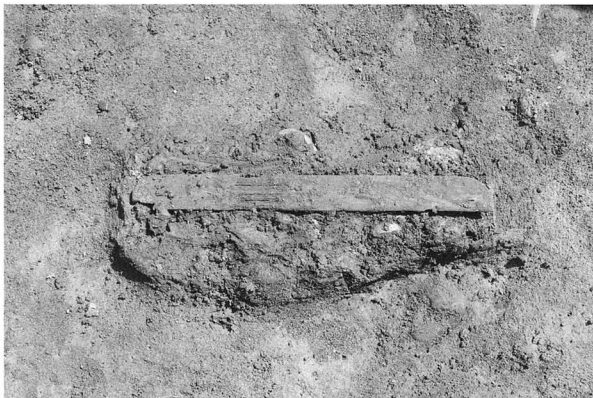
SD34遺物



SD34遺物



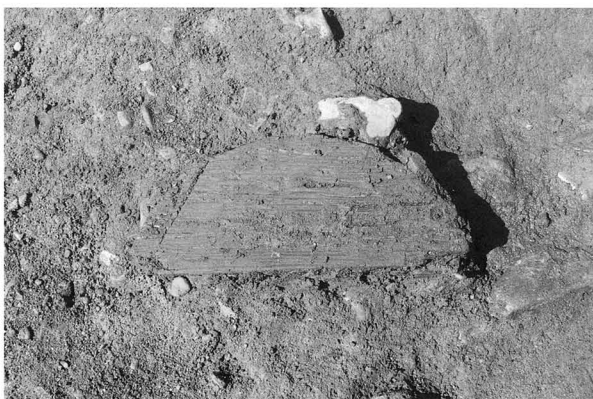
SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物



SD34遺物

写真図版40 SD34遺物出土状況



SD35完掘（東から）



SD35完掘（南から）



SD35断面（北から）



SD35完掘（東から）



SD35断面G（東から）



SD35断面H（東から）



SD36・SX01完掘（南から）



SD36・SX01完掘（南から）



SD36断面（南から）



SD36断面（南から）



SD36完掘 (北から)



SD36断面 (西から)



SD36断面 (東から)



SX01完掘
(東から)



SD37完掘（東から）



SD37断面（東から）



SD38完掘（北から）



SD38断面（南から）



SD41断面（西から）



SD41完掘（西から）



SD42完掘（北から）



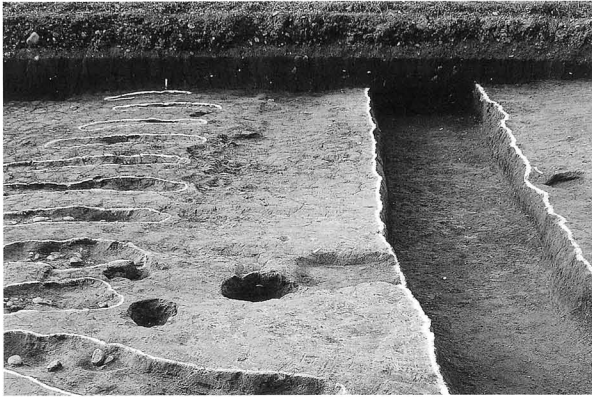
SD42断面（北から）



SD39・40完掘（東から）



SD39断面（東から）



SD45完掘（東から）



SD40断面（東から）



SD43完掘（東から）



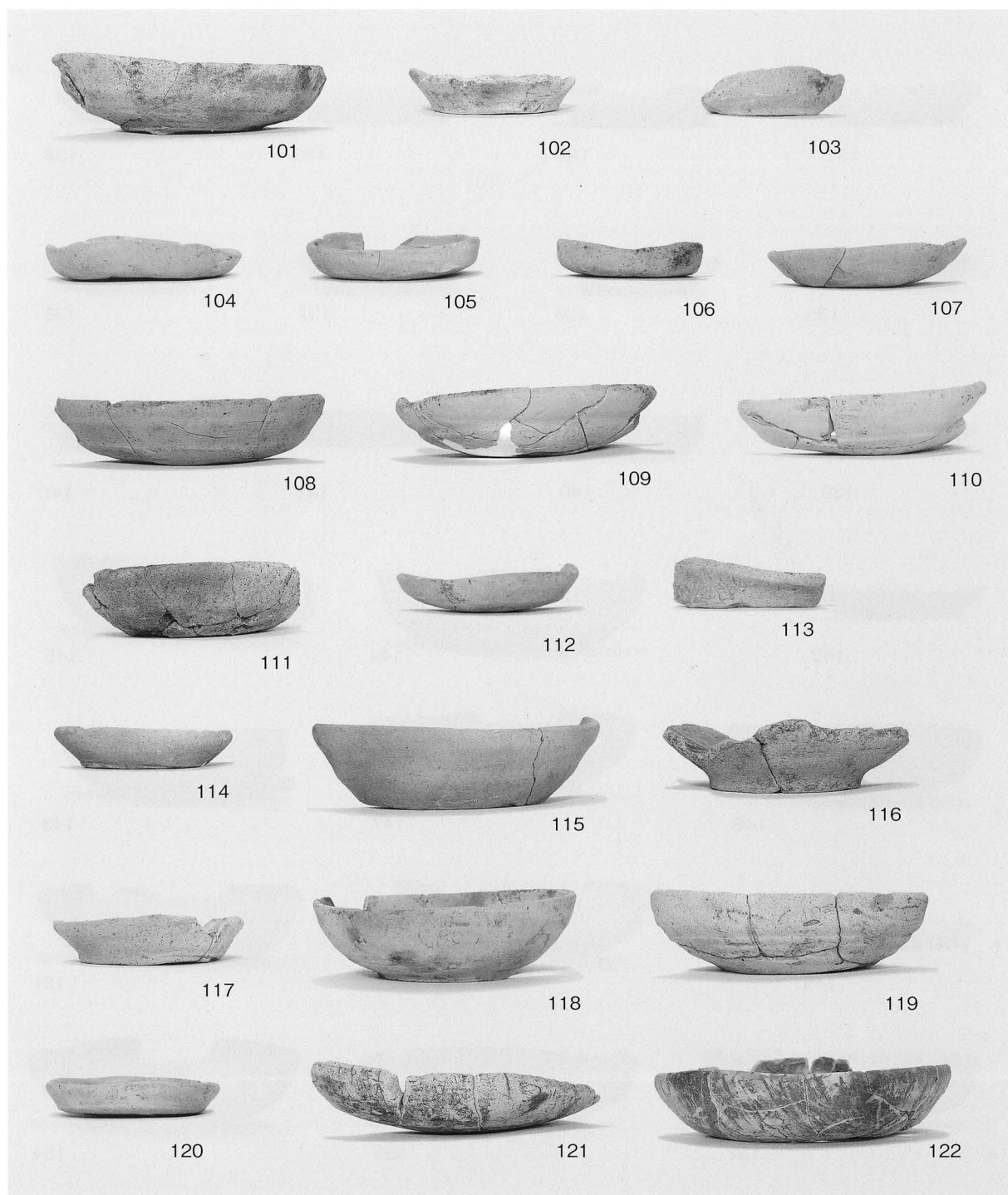
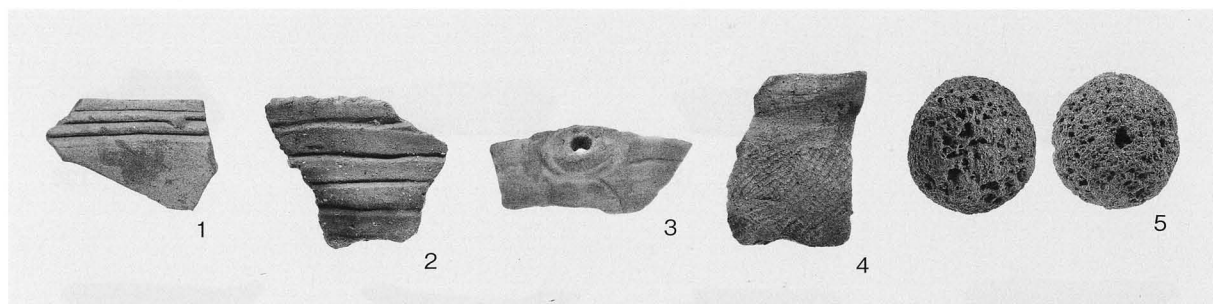
SD43断面（東から）



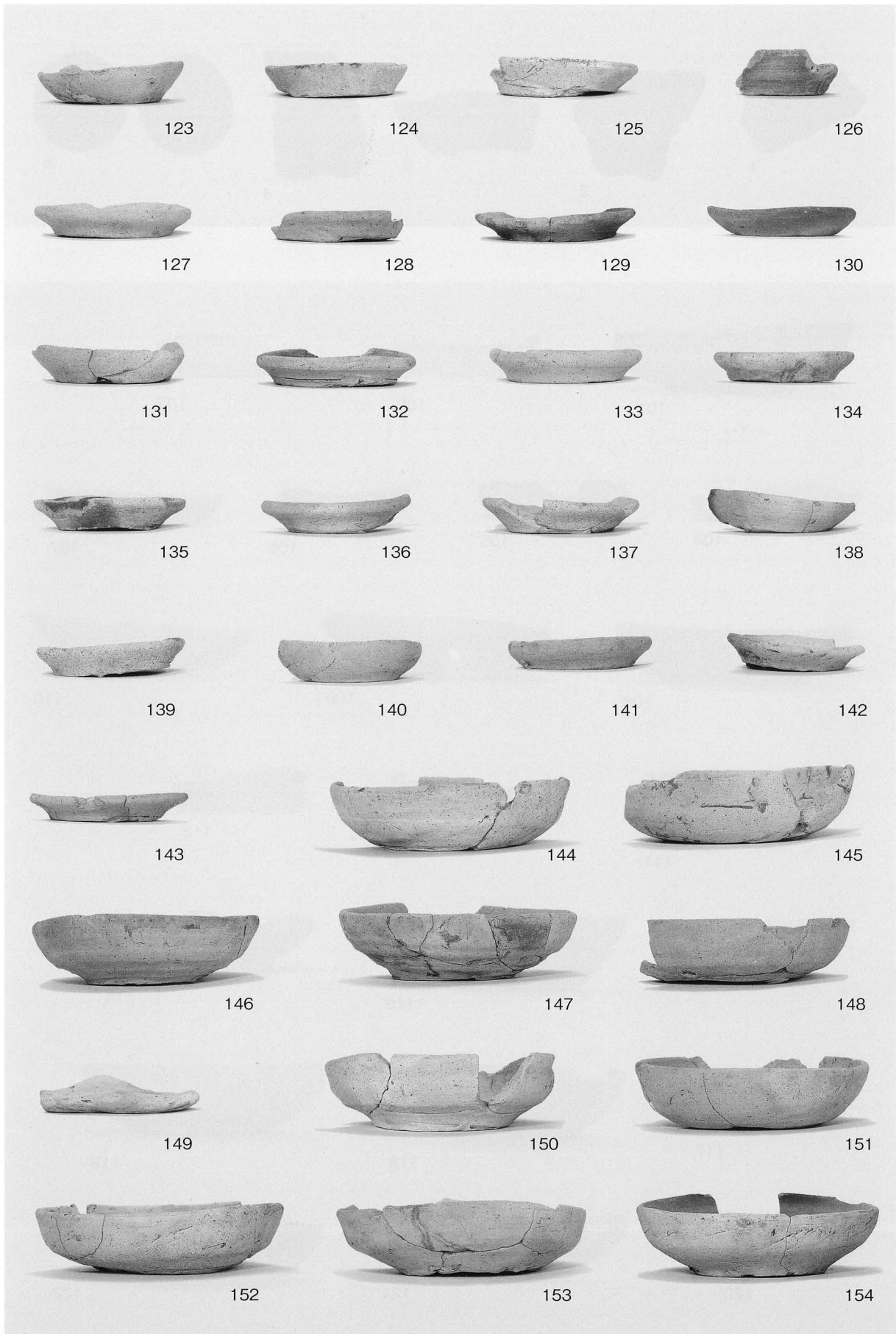
SD44完掘（西から）



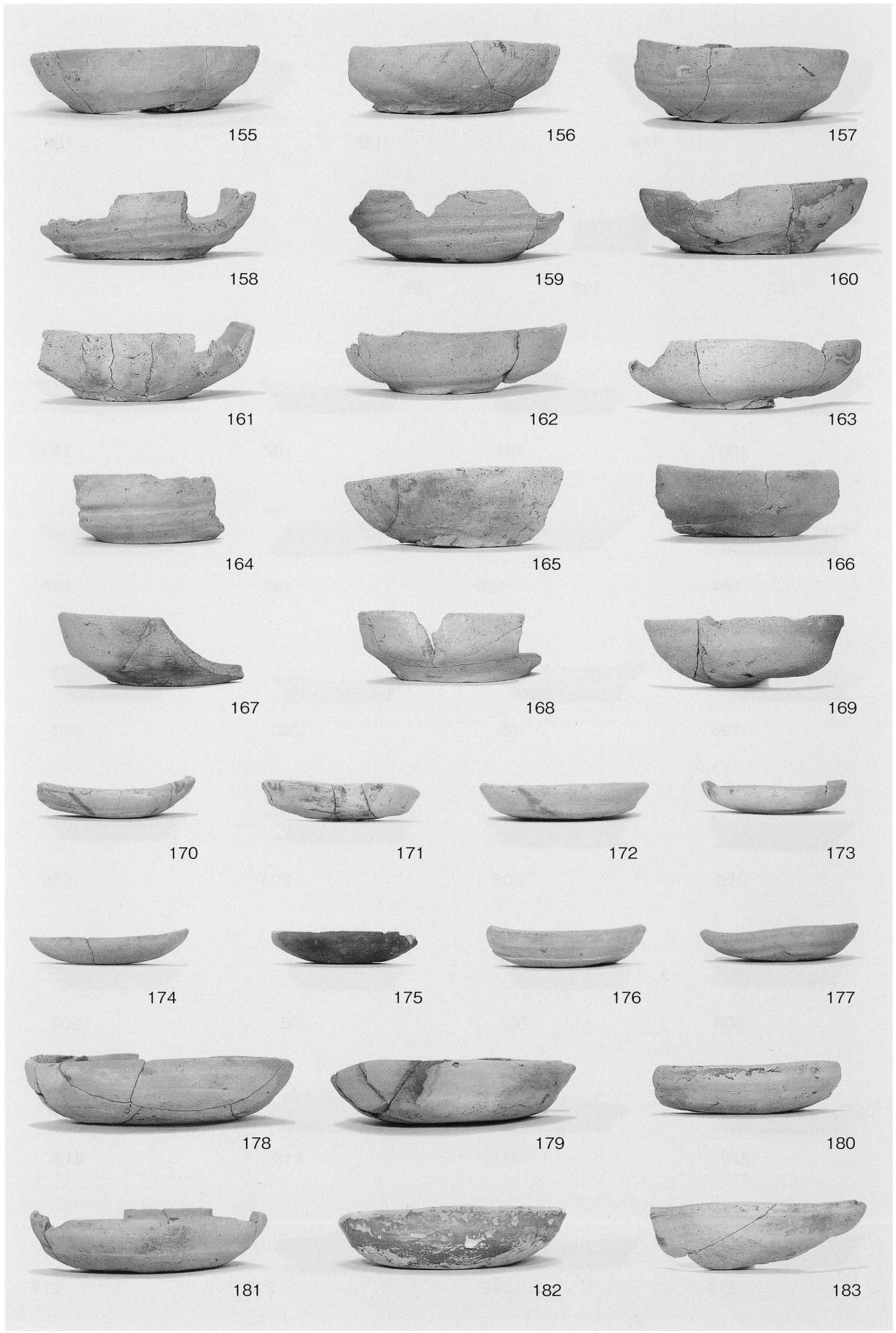
SD44断面（西から）



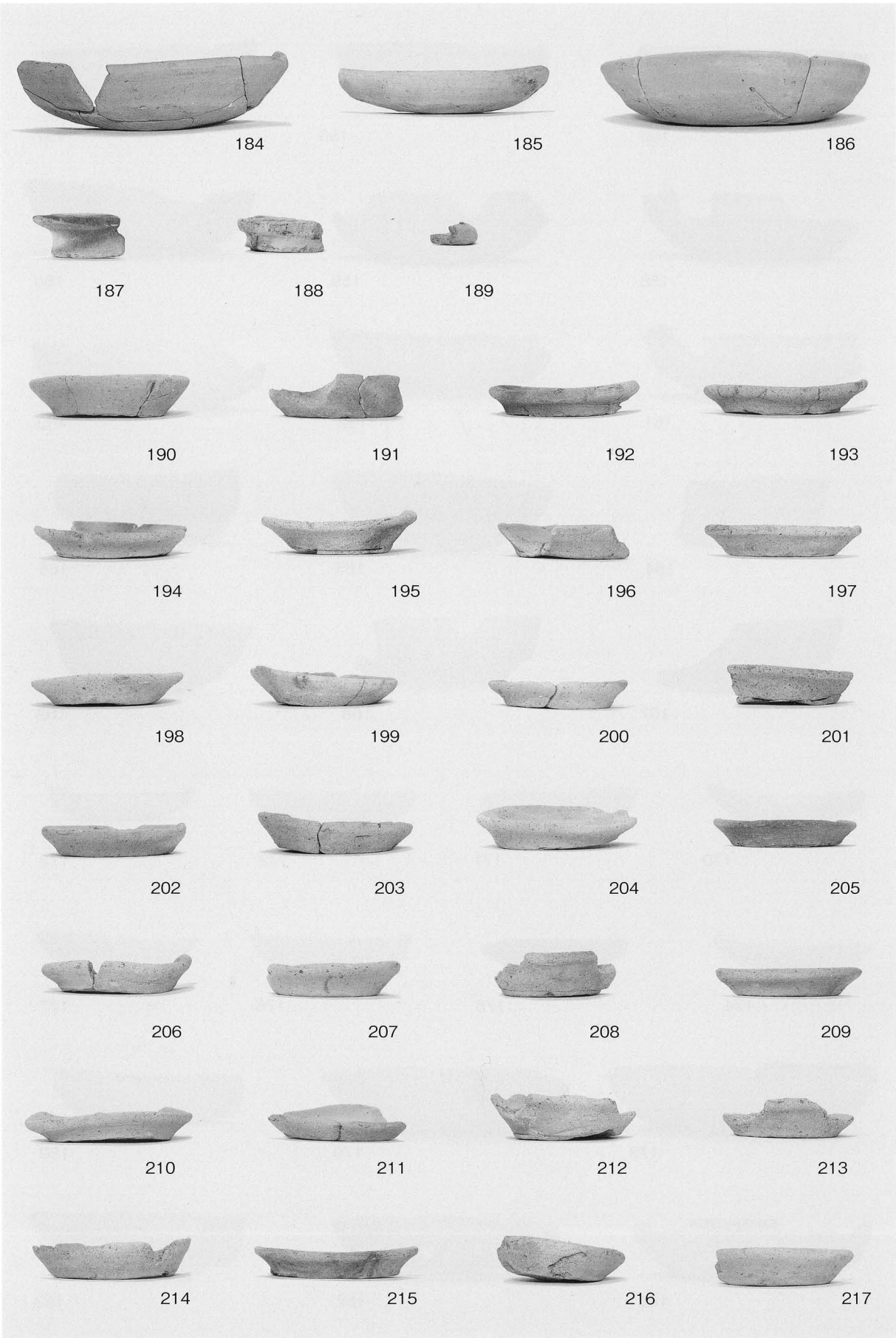
写真図版47 縄文土器、石製品、かわらけ (1)



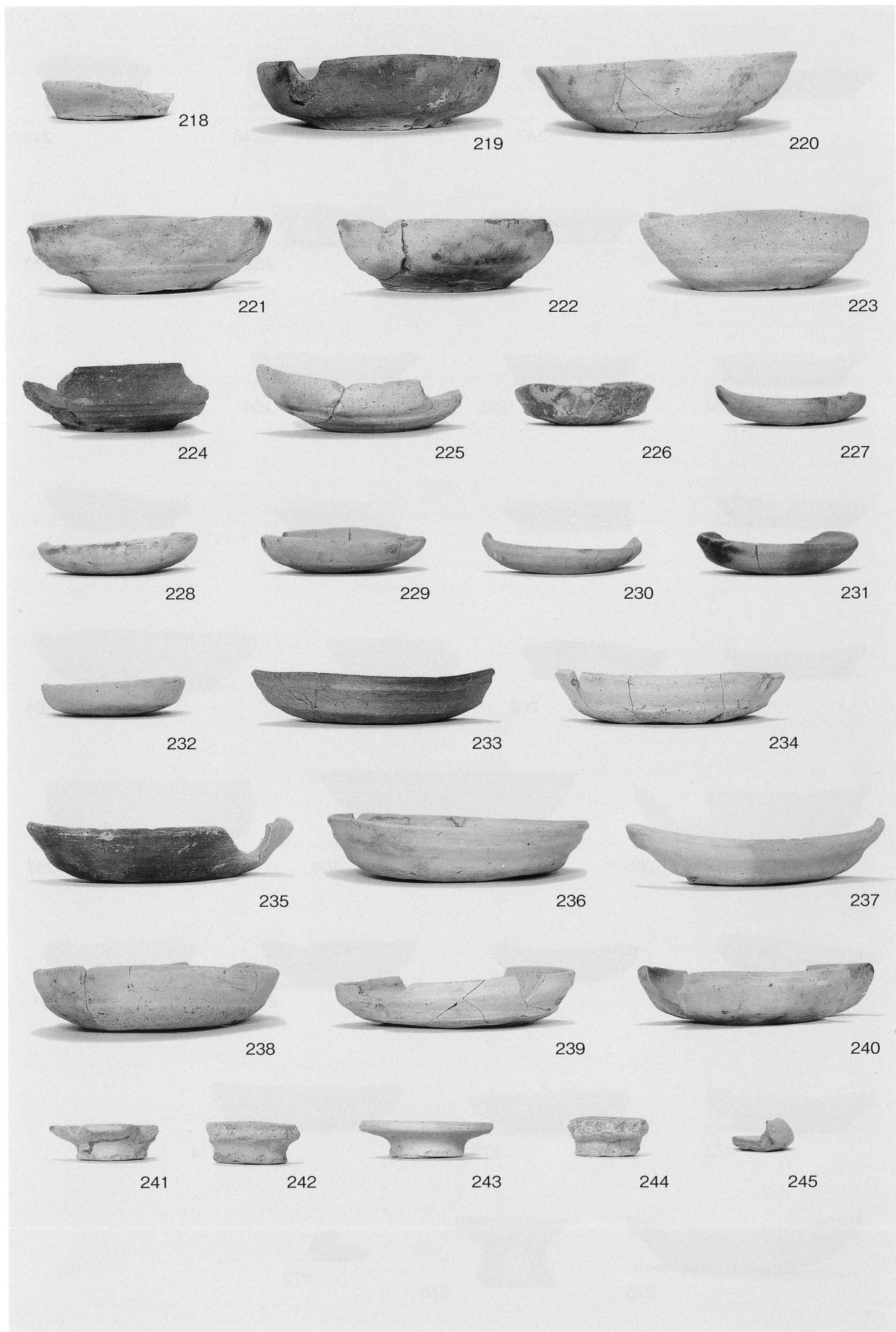
写真図版48 かわらけ (2)



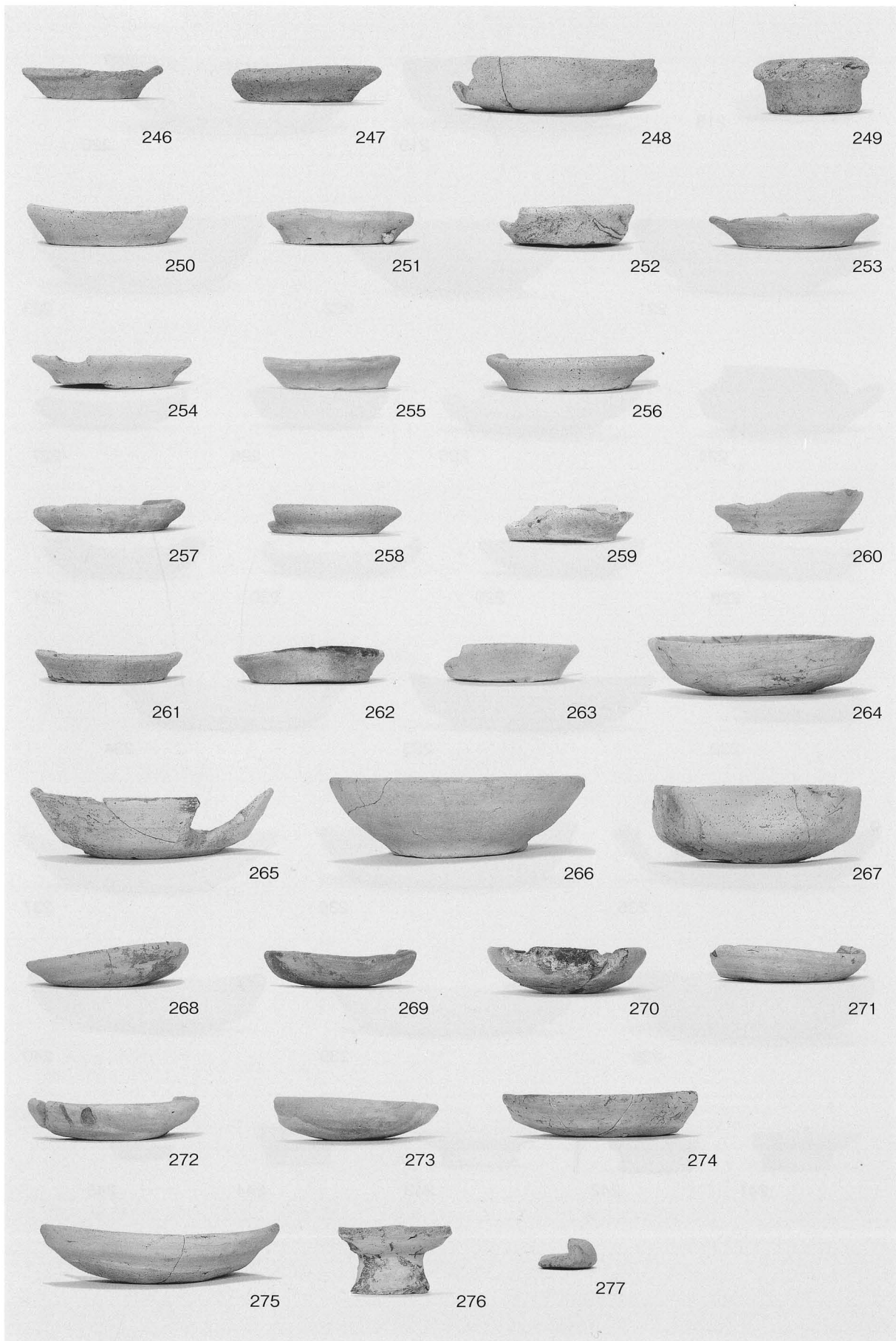
写真図版49 かわらけ (3)



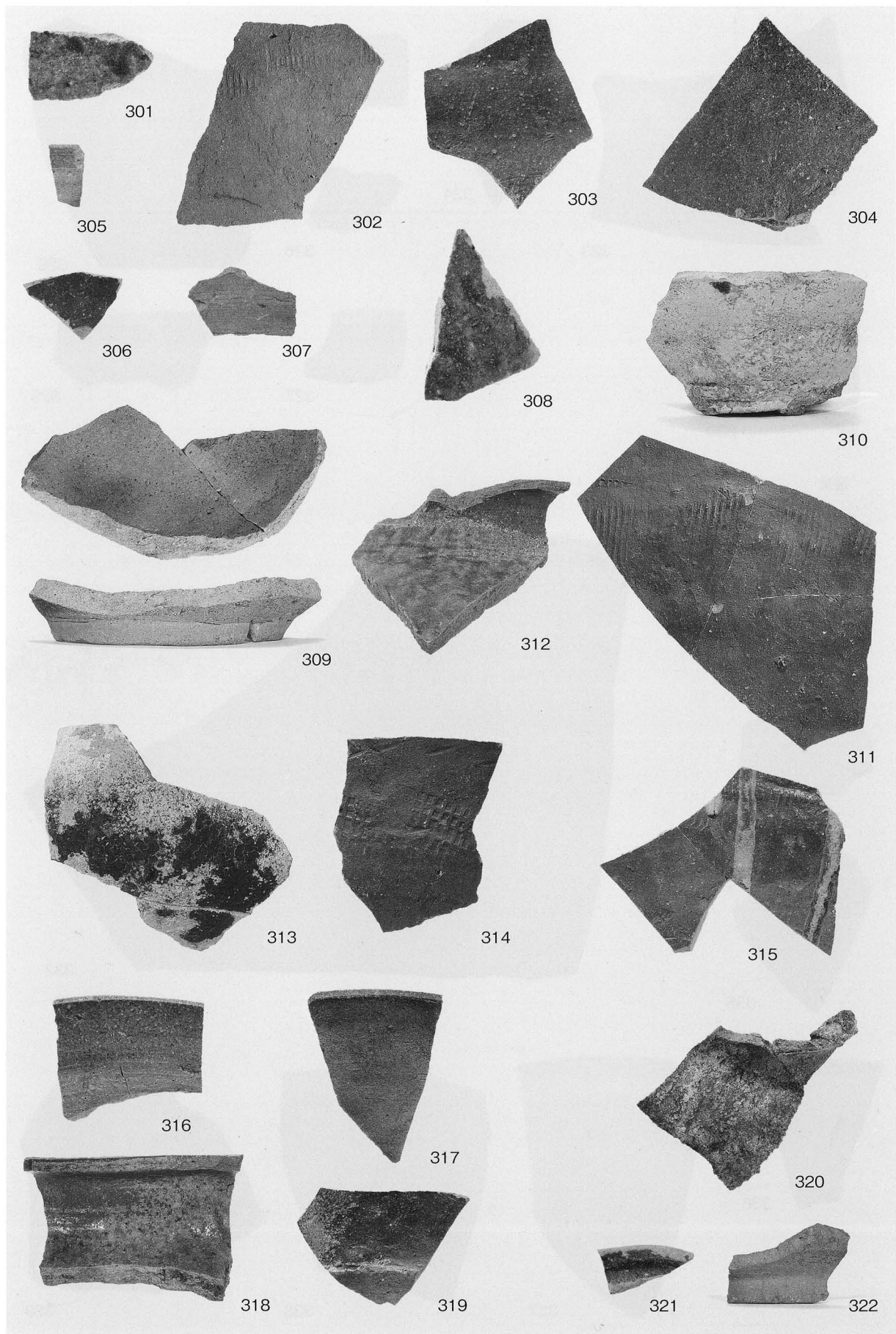
写真図版50 かわらけ (4)



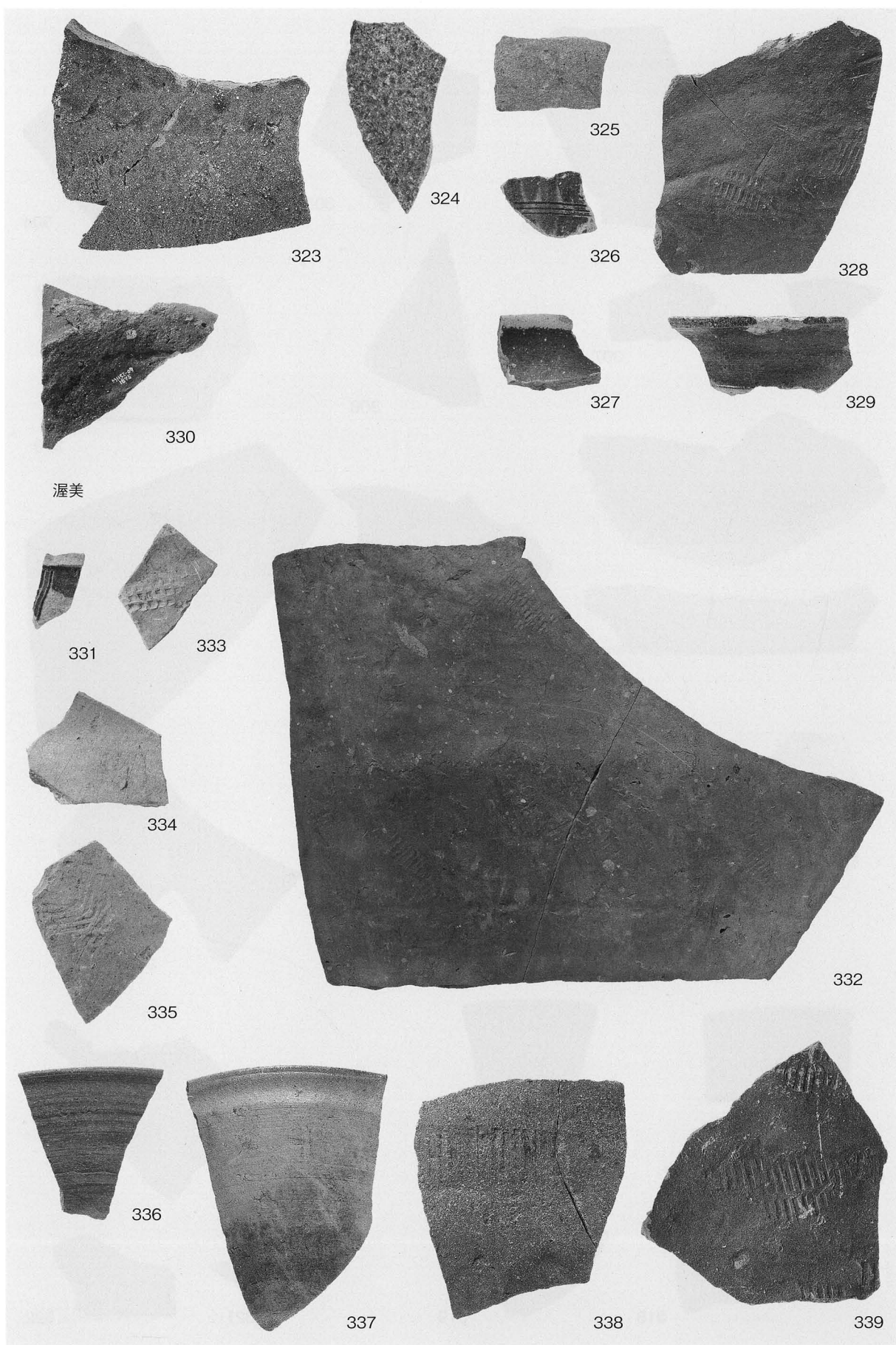
写真図版51 かわらけ (5)



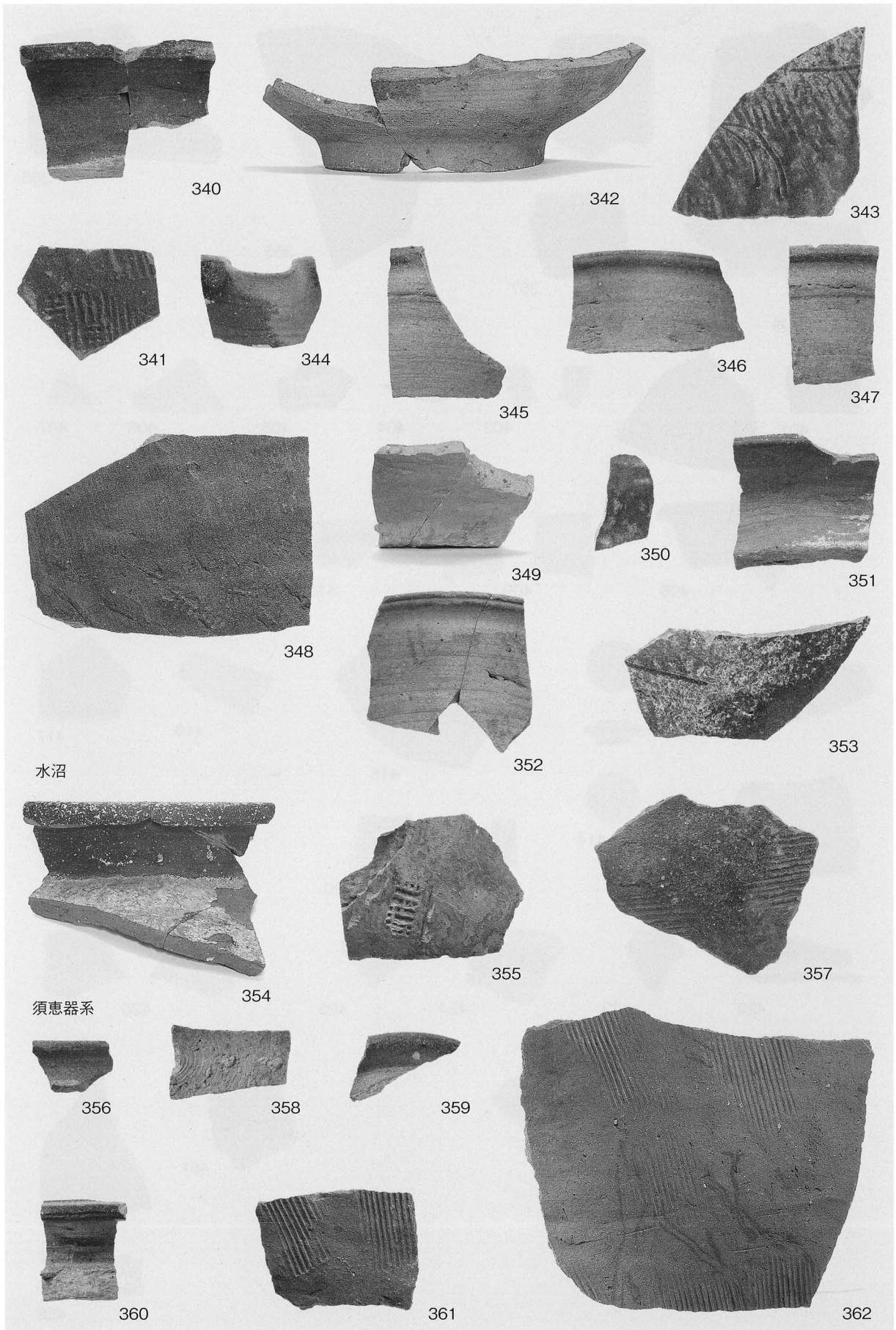
写真図版52 かわらけ (6)



写真図版53 国産陶器：常滑（1）



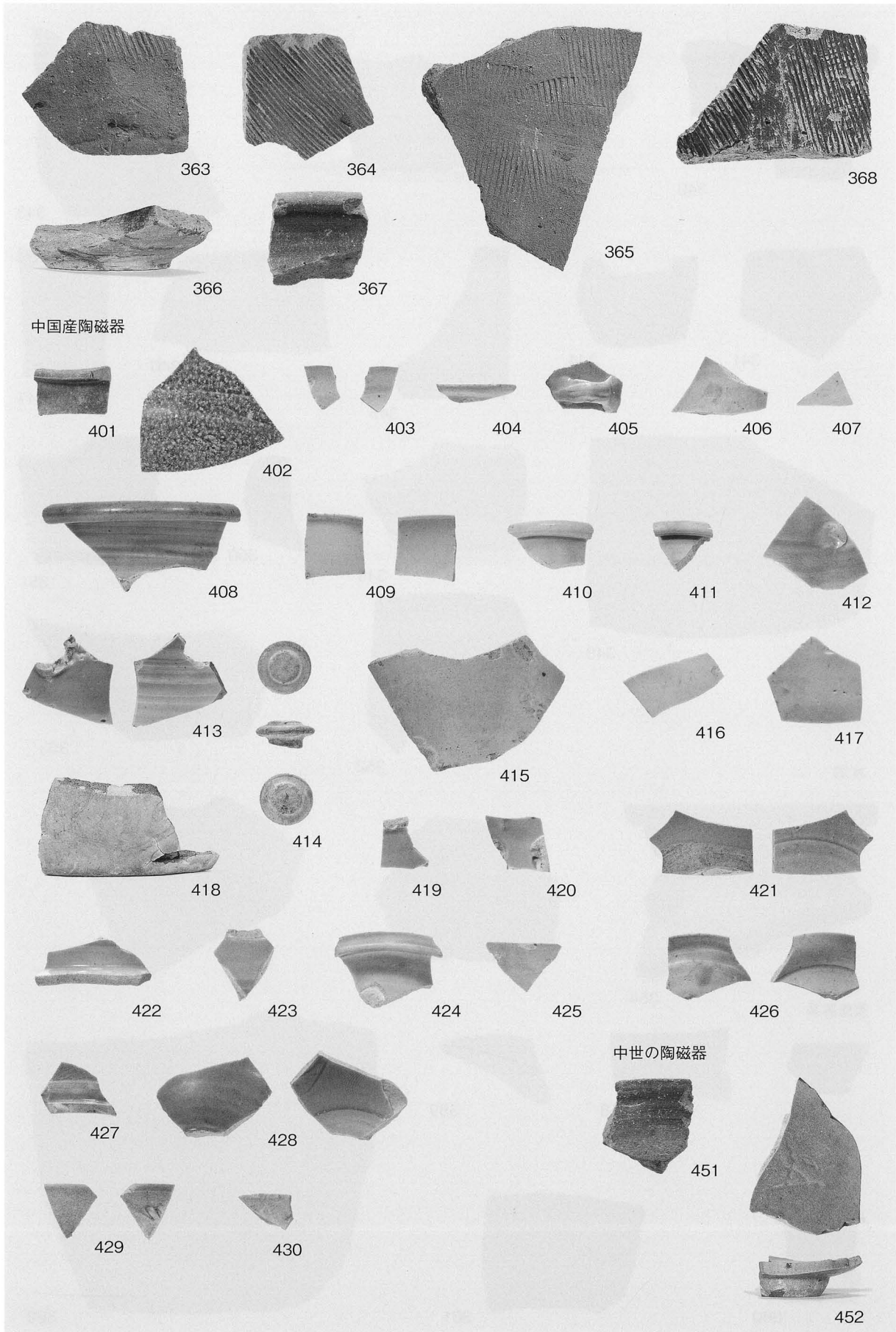
写真図版54 国産陶器：常滑（2）、渥美（1）



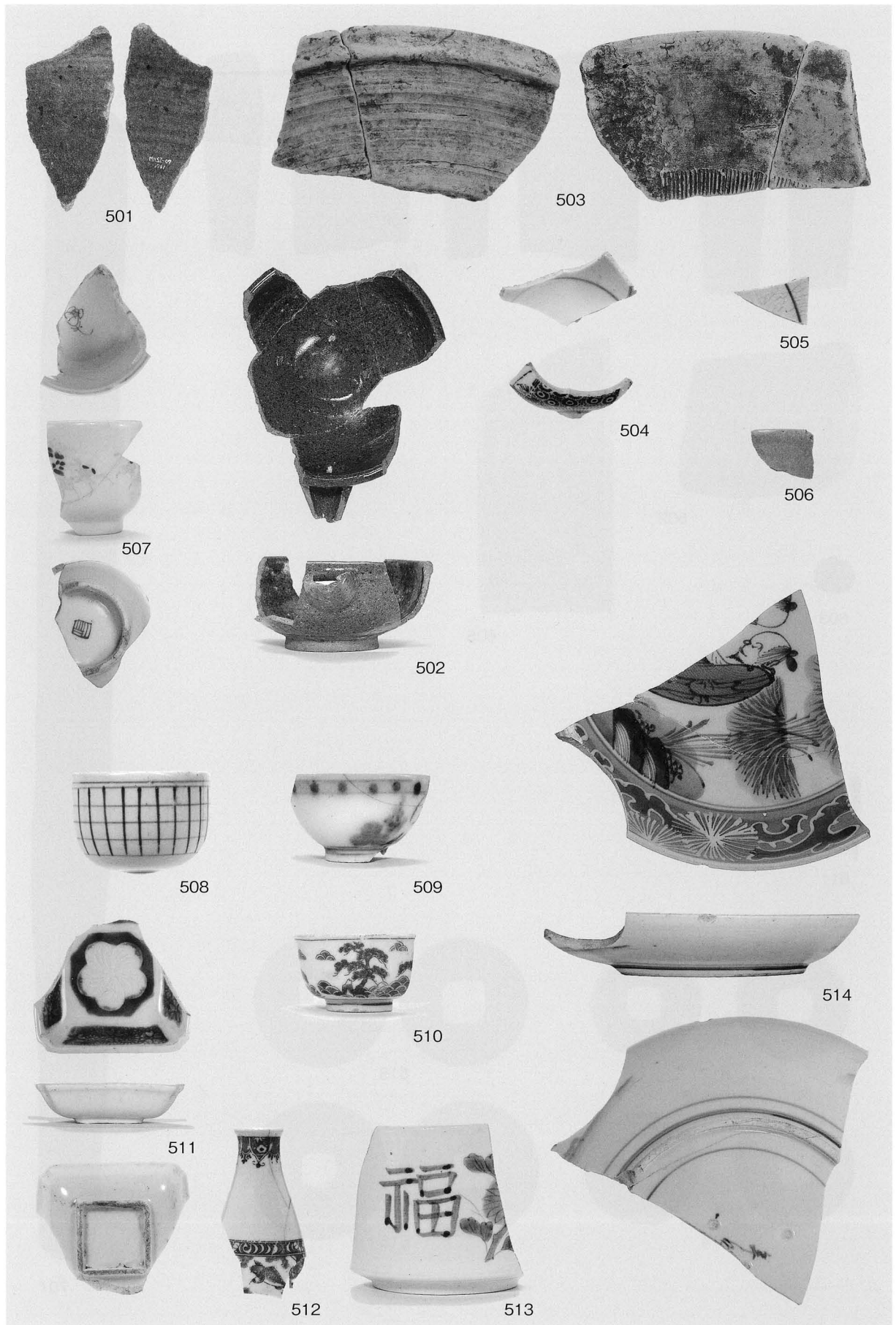
水沼

須恵器系

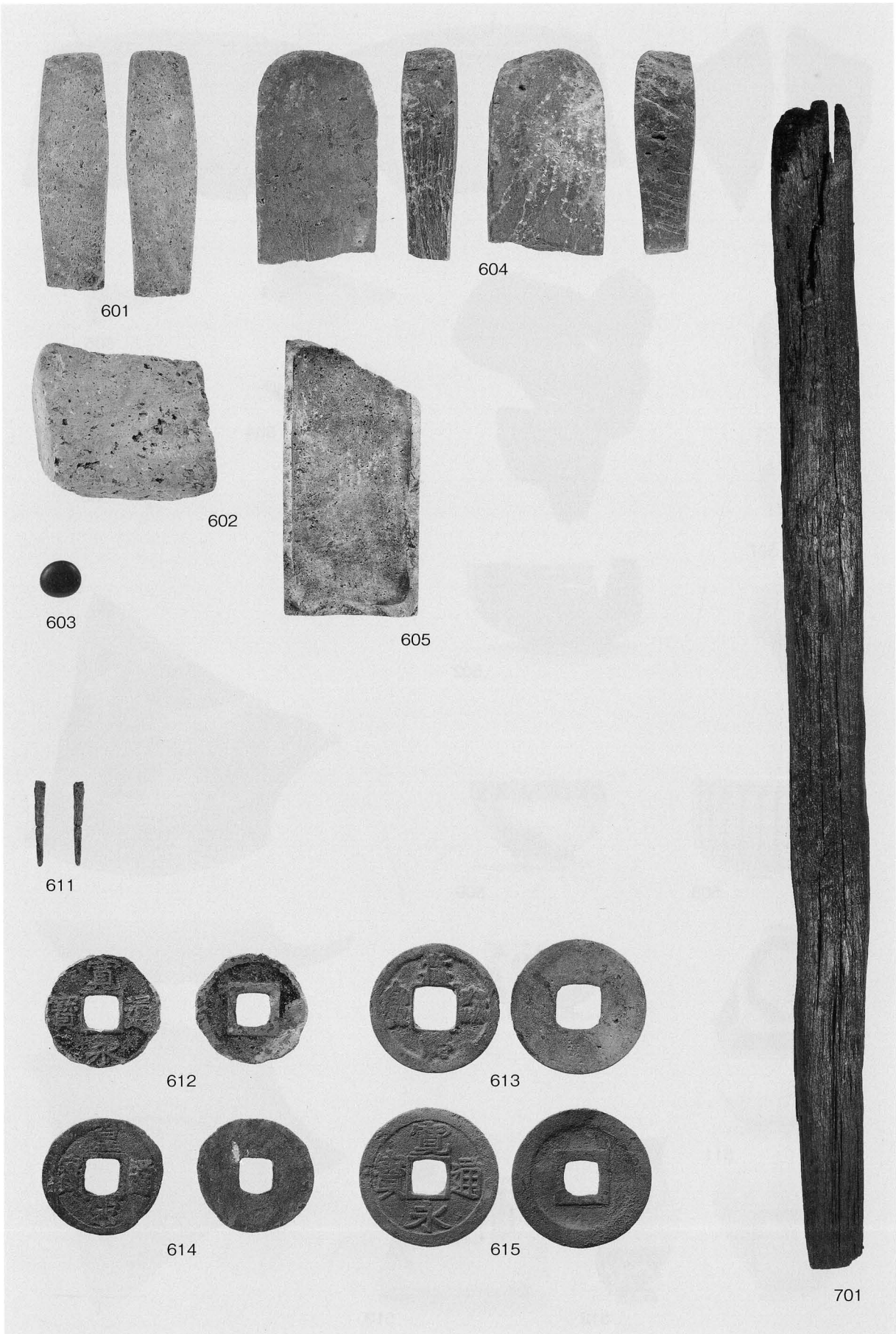
写真図版55 国産陶器：渥美（2）、水沼、須恵器系（1）



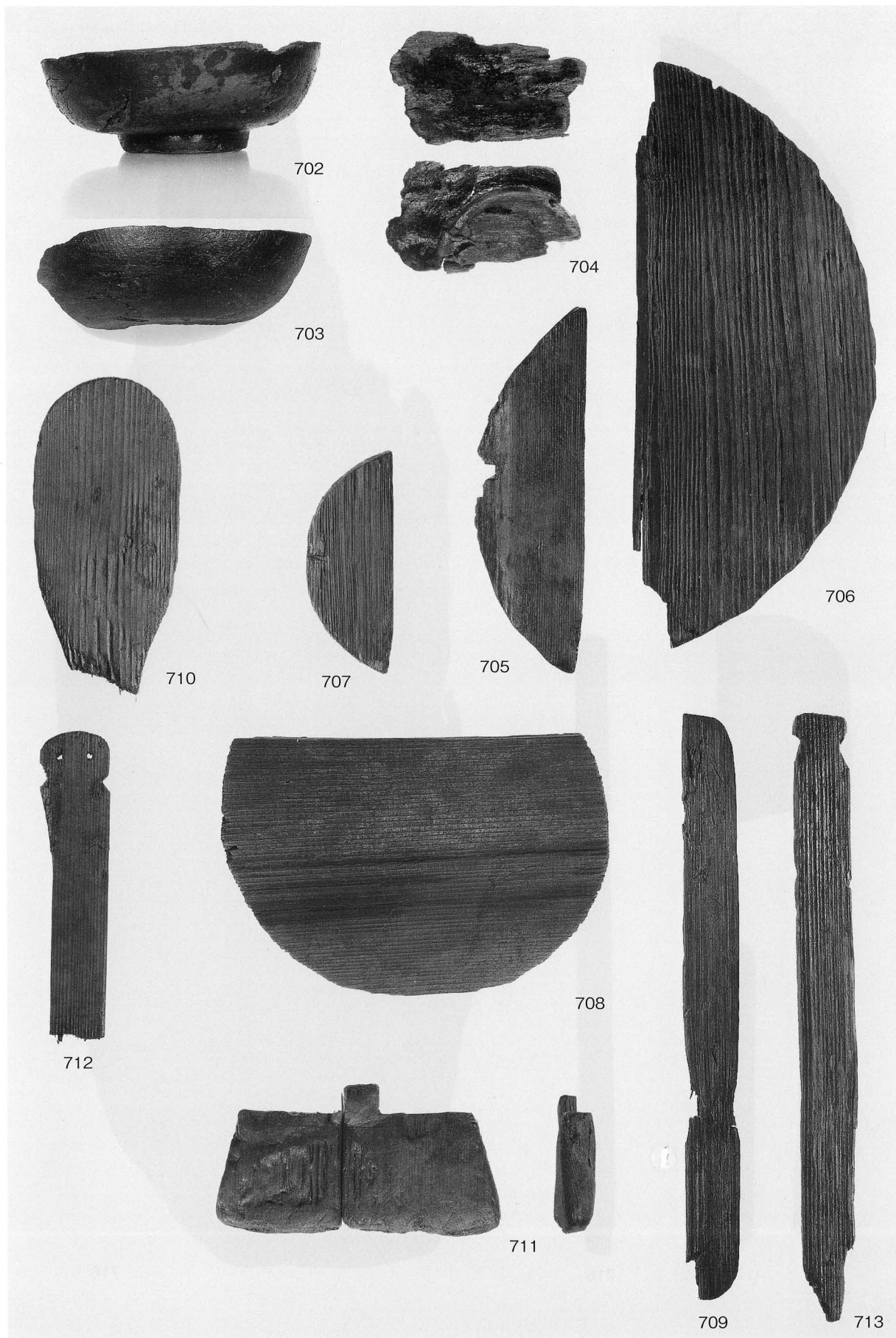
写真図版56 国産陶器：須恵器系（2）、中国産陶磁器、中世の陶磁器



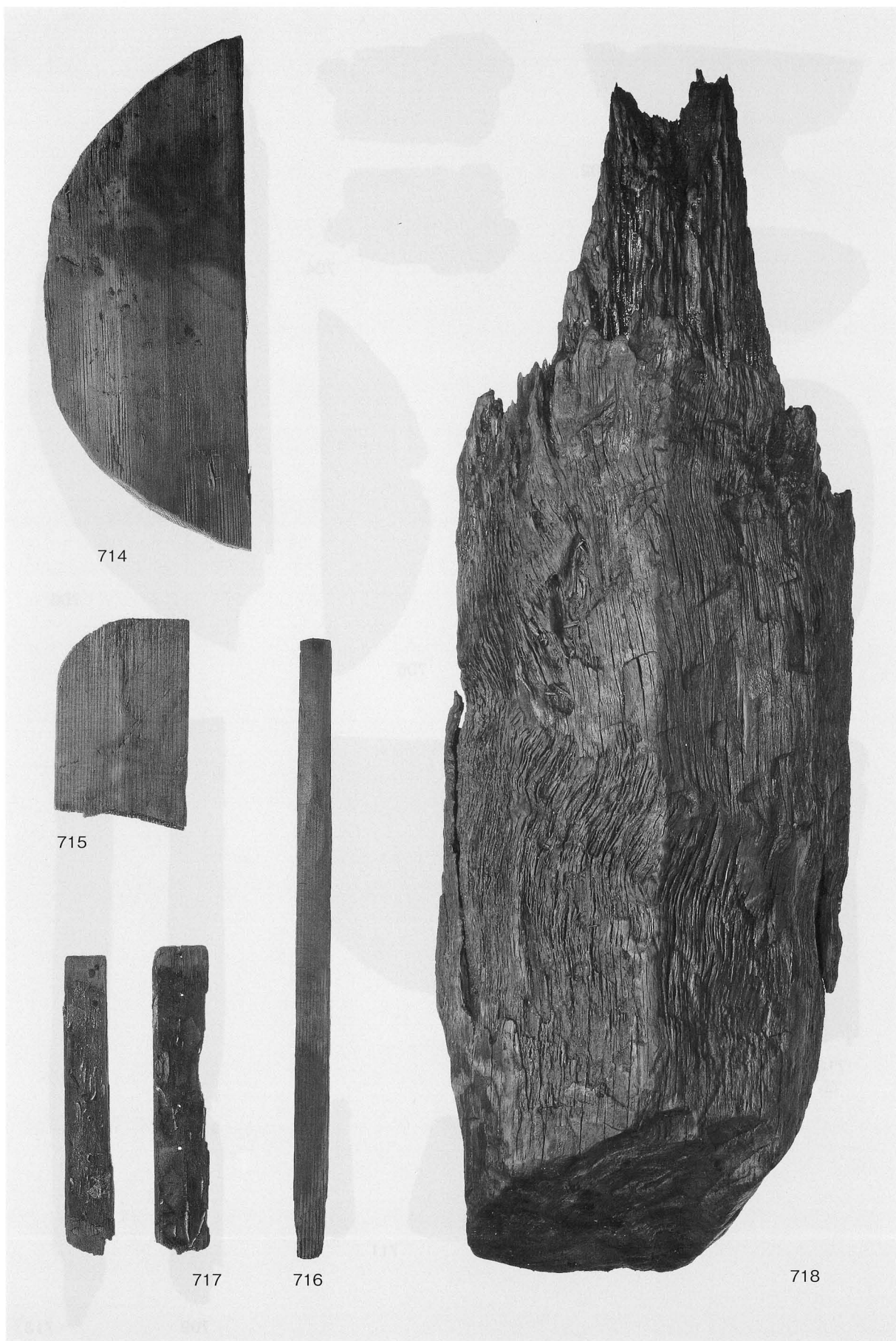
写真図版57 近世・近代の陶磁器



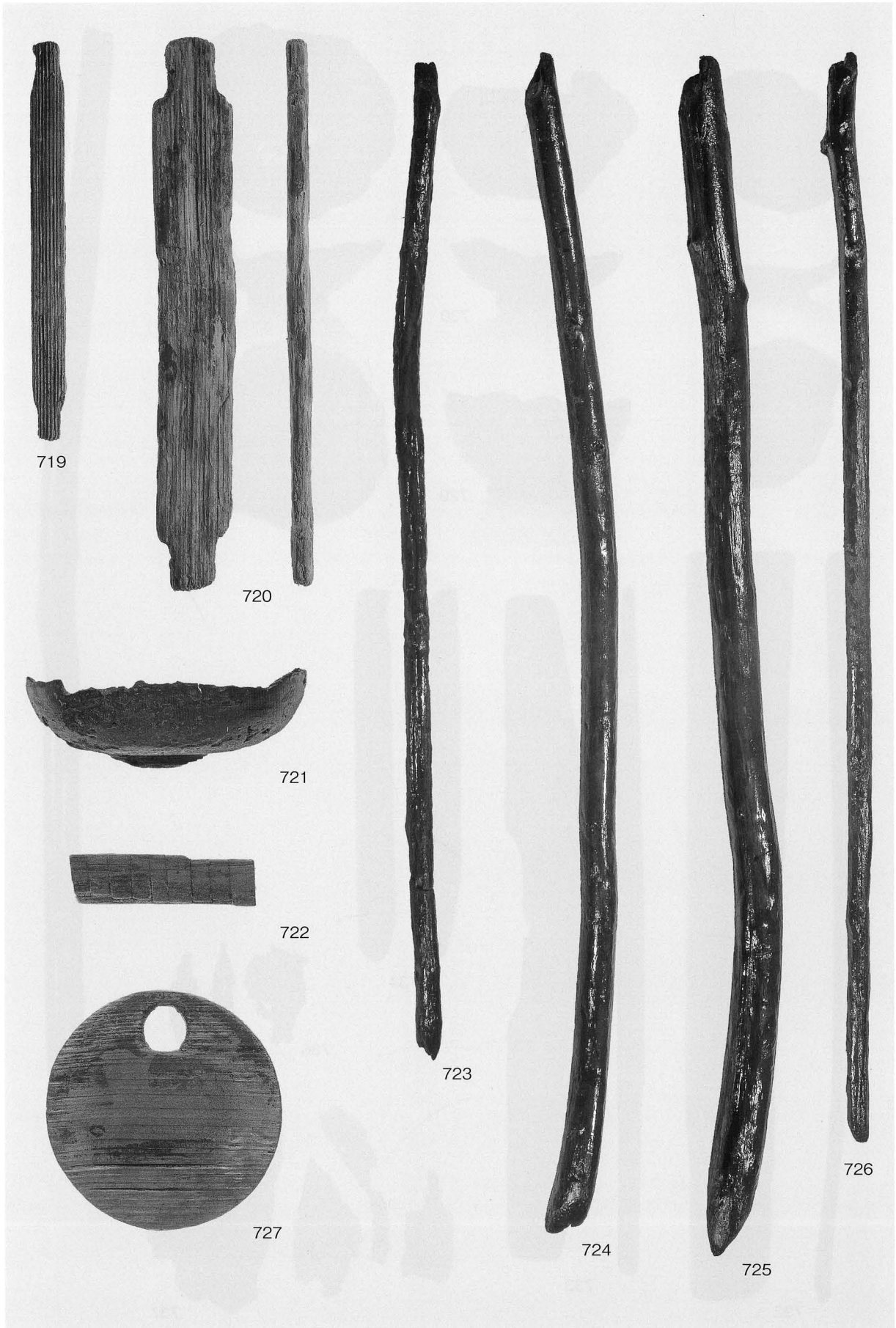
写真図版58 石製品、金属製品、木製品 (1)



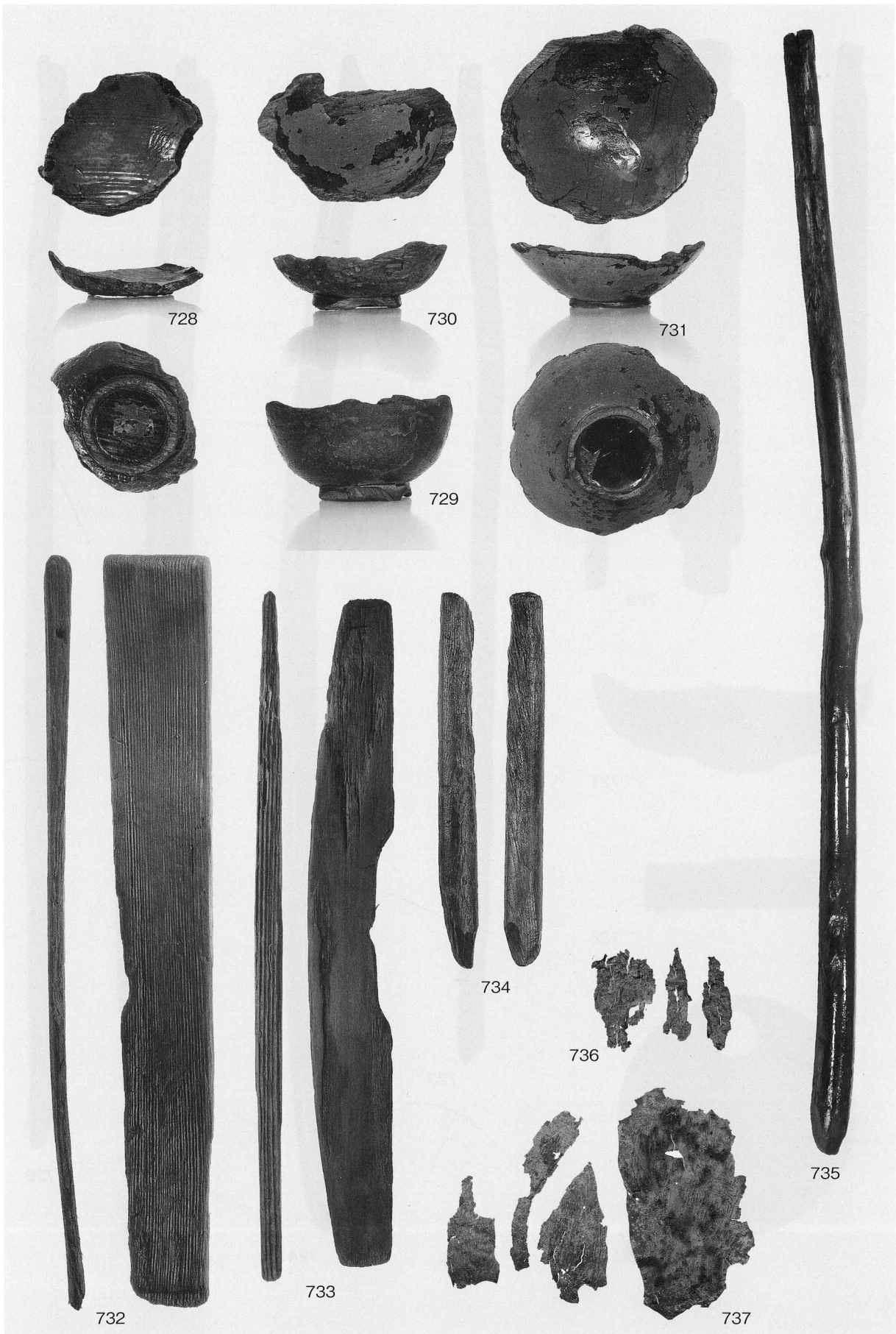
写真図版59 木製品 (2)



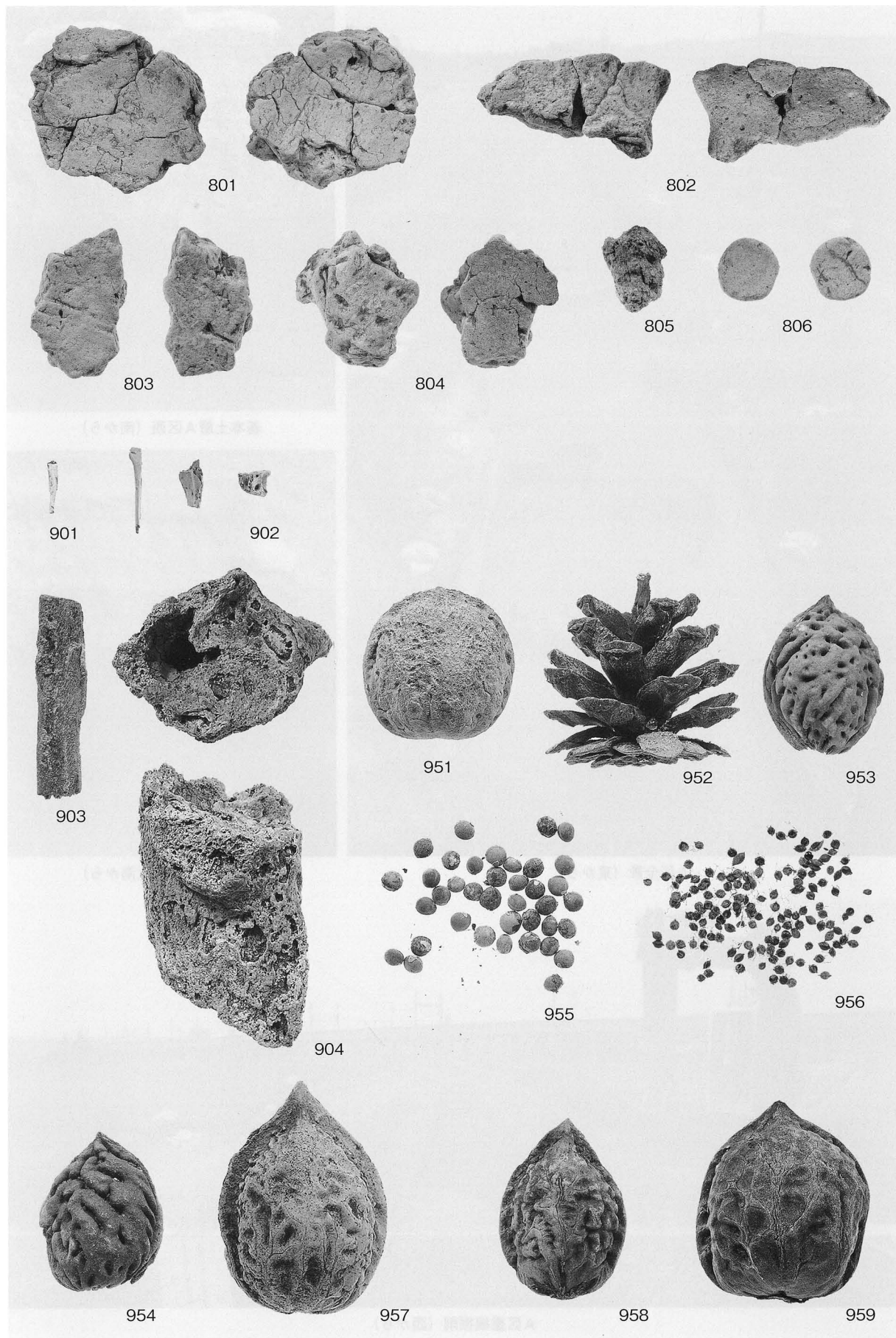
写真図版60 木製品 (3)



写真図版61 木製品 (4)



写真図版62 木製品 (5)



写真図版63 土製品、動物遺体、植物遺体



A区全景（東から）



基本土層A区西（南から）



基本土層A区東（南から）

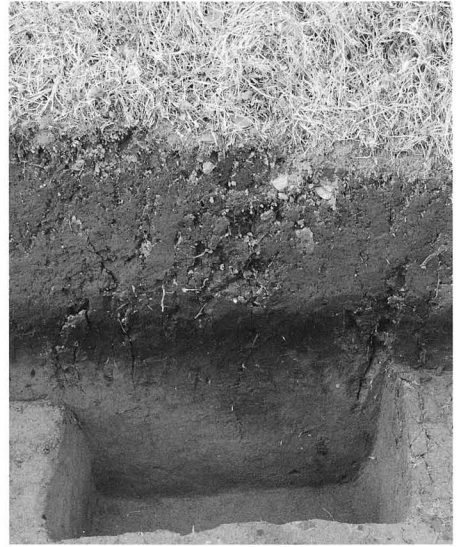


A区重機掘削（西から）

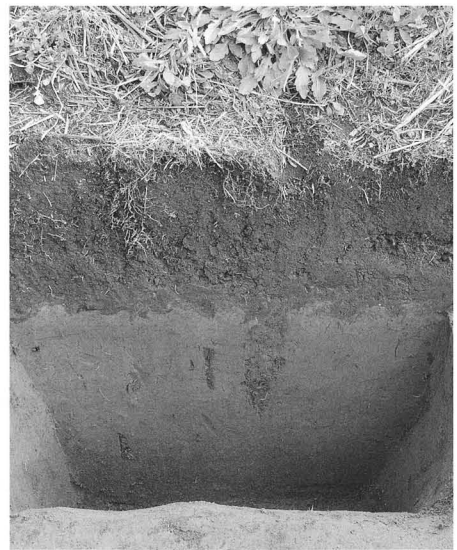
写真図版64 A区



B区全景（西から）



基本土層B区西（南から）



基本土層B区東（南から）



B区粗掘（東から）



C区全景（西から）



C区全景（東から）



C区西側（東から）



C区黒色土層（西から）



D区全景（東から）



基本土層D区西（南から）



基本土層D区東（西から）



D区東側（西から）



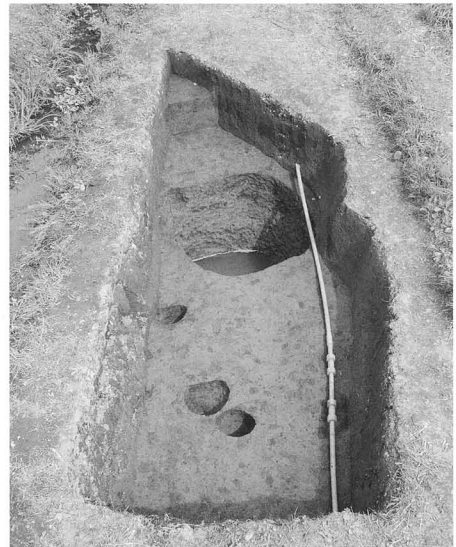
D区西側（西から）



E1・E4区全景（東から）



E5区全景（東から）



E3区全景（西から）



E1区東側（東から）



E2区全景（西から）



F 1区全景（北から）



F 2区全景（北から）



F 3区全景（南から）



F 4区全景（南から）



G2区全景（北から）



G1区全景（北から）



G2区全景（南から）



現地公開（平成21年10月24日）



G 3区全景 (南から)



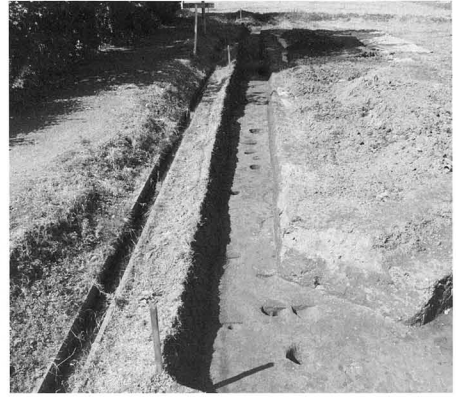
G 4区全景 (北から)



G 4区全景 (南から)



G 5区全景（北から）



G 5-1区全景（東から）



基本土層G 5区（西から）



G 6区全景（北から）



G 6区全景（南から）



SI101全景 (北から)



SI101遺物出土状況 (北から)



SI101カマド煙道部断面 (西から)



SI101カマド燃焼部焼土断面 (西から)



SI102カマド煙道部完掘 (北から)



SI102カマド煙道部断面 (東から)



SI103完掘（西から）



SI103断面（東から）



SI103検出（北から）



SI103カマド
(西から)



SI103カマド遺物出土
状況 (西から)



SI103カマド煙道部断面 (南から)



P1206 (SB101) 断面

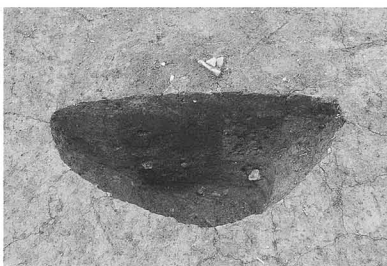
SB101完掘 (南から)



SB102完掘 (南から)



SB103完掘 (南から)



P1321 (SB103) 断面



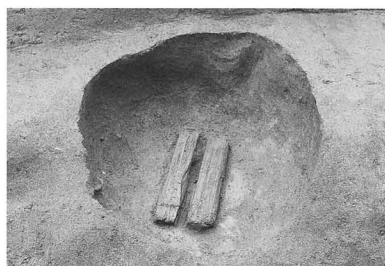
P1330 (SB102) 断面



P1331 (SB102) 断面



P1332 (SB102) 断面



P1332 (SB102) 板出土状況



P1333 (SB102) 断面

写真図版76 SB101～103、柱穴(1)



SB104～106完掘（南から）



SB107～109完掘（南から）



SB110完掘（南から）



SB111完掘（南から）



SB112完掘（南から）



SB113完掘（西から）



P1221 (SB106) 断面



P1224 (SB106) 断面



P1230断面



P1225 ~ 1227 (SB105) 断面



P1231断面



P1236 (SB104) 柱出土状況



P1249 · P1250 (SB104) 断面



P1252 (SB104) 断面



P1253断面



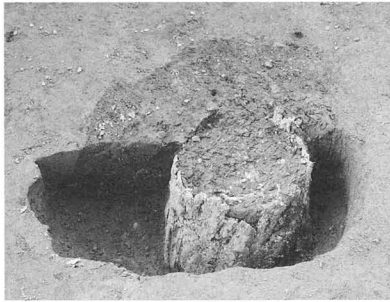
P1256 (SB104) 断面



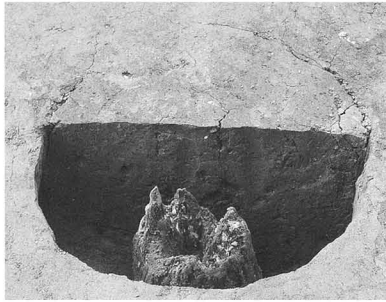
P1256 · P1315 · P1316 (SB104) 断面



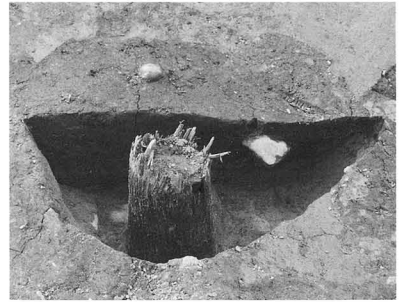
P1313 · P1335断面



P1282 (SB110) 断面



P1286 (SB110) 断面



P1287 (SB110) 断面



P1282 (SB110) 柱出土状況



P1286 (SB110) 柱出土状況



P1287 (SB110) 柱出土状況



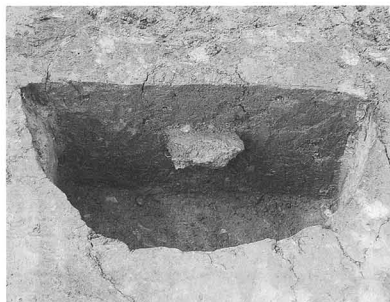
P1288 (SB110) 断面



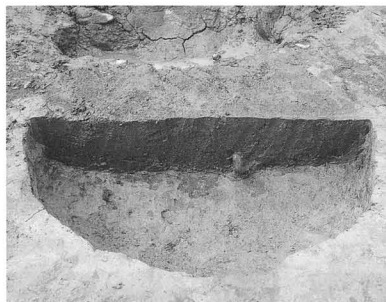
P1290 (SB110) 断面



P1291断面



P1292 (SB112) 断面



P1305 (SB112) 断面



P1306 (SB112) 断面



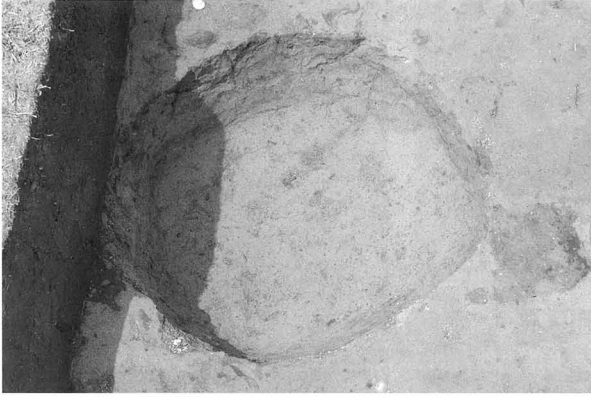
P1307 (SB112) 断面



P1311断面



P1311柱出土状況



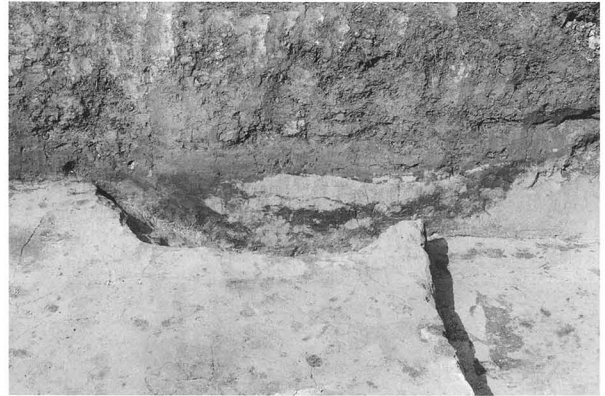
SK101完掘（東から）



SK101断面（北から）



SK102完掘（南から）



SK102断面（南から）



SK103完掘（西から）



SK103断面（西から）



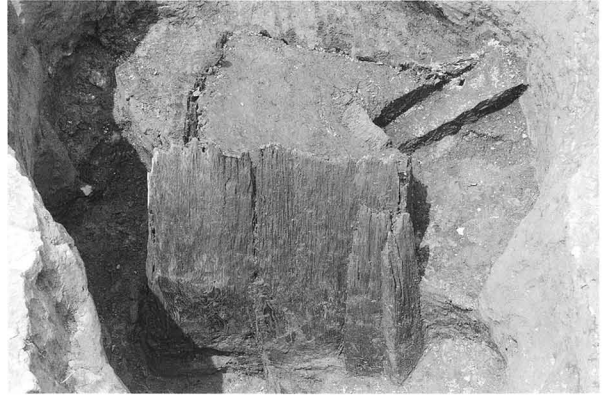
SK104完掘（南から）



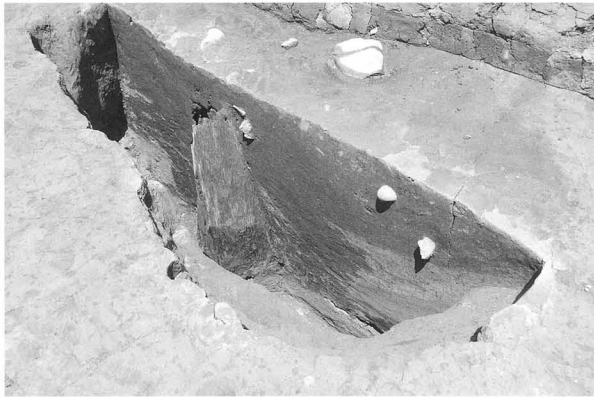
SK104断面（北から）



SK105検出 (南から)



SK105井戸枠1 (東から)



SK105断面 (南から)



SK105井戸枠2 (東から)



SK105井戸枠1 (南から)



SK105井戸枠3 (東から)



SK105完掘 (南から)



SK105井戸枠4 (東から)



SK106完掘（東から）



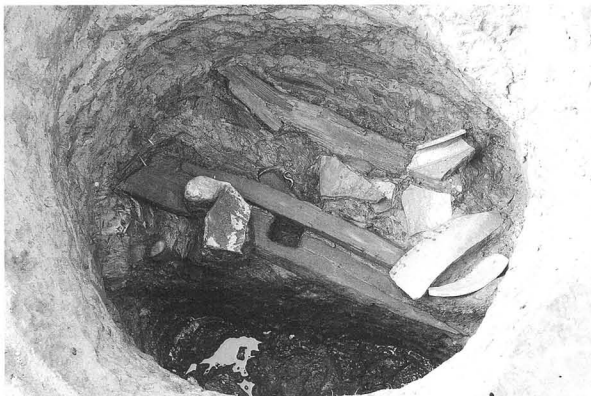
SK106断面（東から）



SK107完掘（南から）



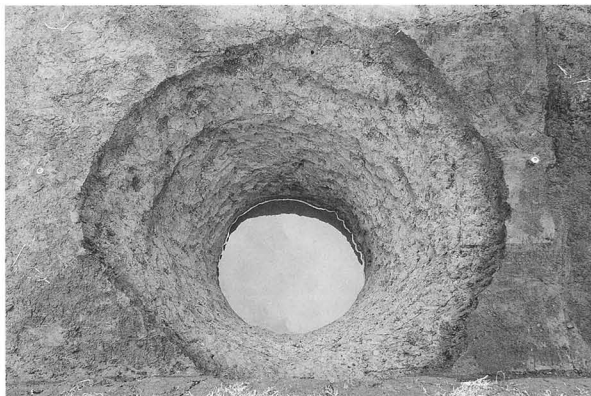
SK107断面（南から）



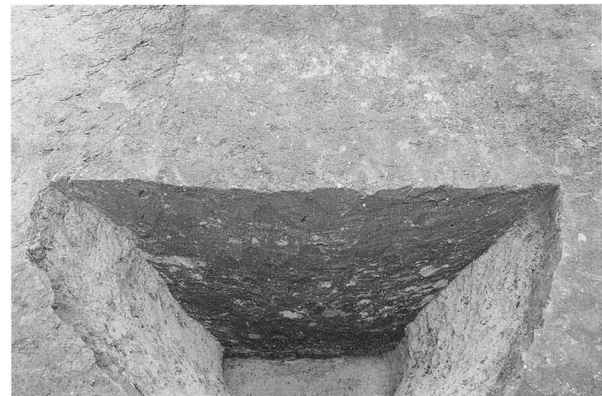
SK107遺物1（南から）



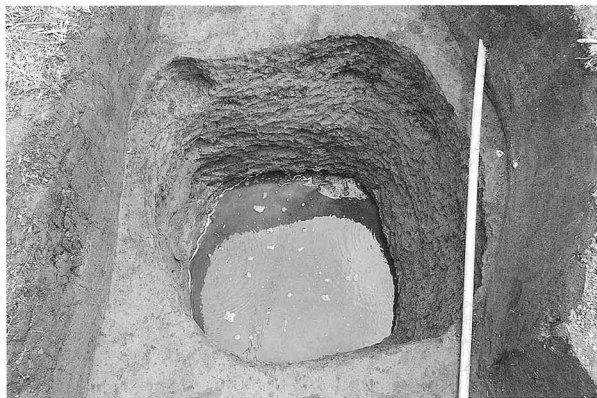
SK107遺物2（南から）



SK108完掘（南から）



SK108断面（南から）



SK109完掘（西から）



SK109断面（西から）



SK110完掘（東から）



SK110断面（東から）



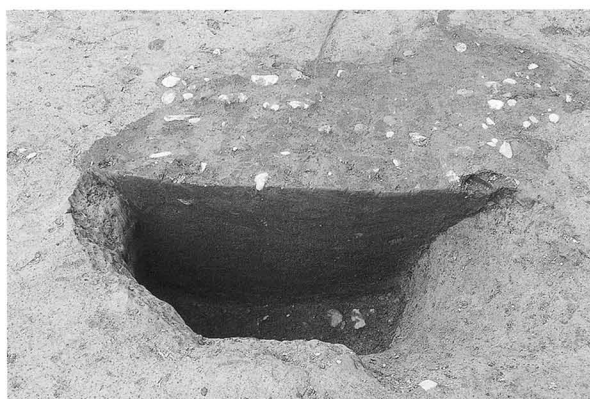
SK110礫（東から）



SK111完掘・断面（東から）



SK112完掘（南から）



SK112断面（南から）



SK113完掘（西から）



SK113磔（北から）



SK114完掘（西から）



SK114断面（西から）



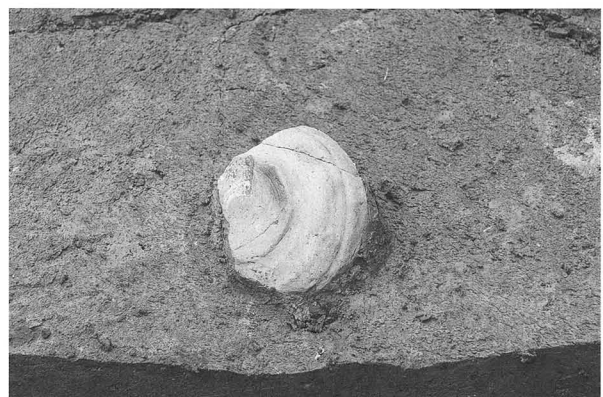
SK115完掘（南から）



SK115断面（南から）



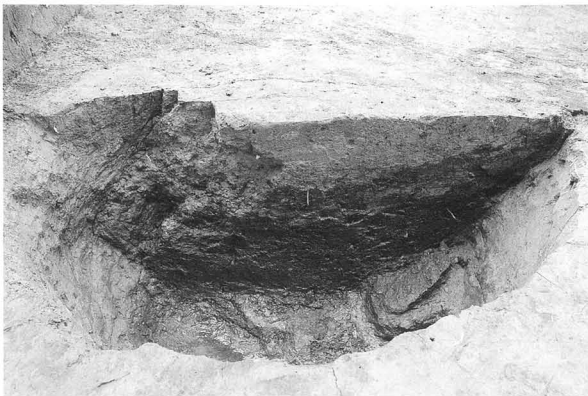
SK115遺物1（南から）



SK115遺物2（南から）



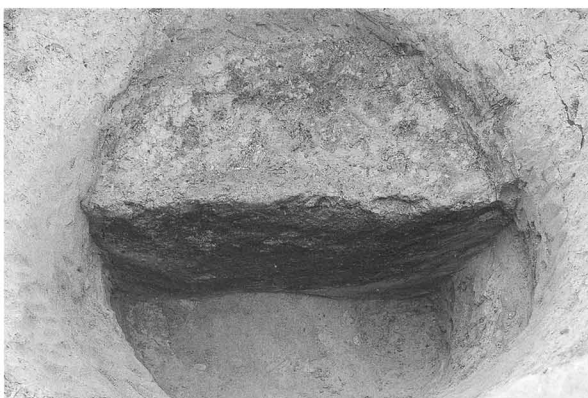
SK116完掘（西から）



SK116断面1（東から）



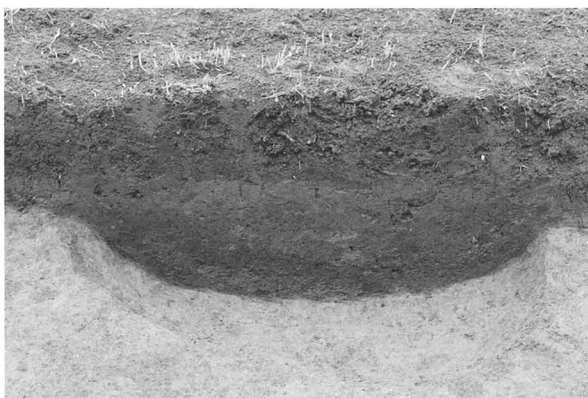
SK116遺物（東から）



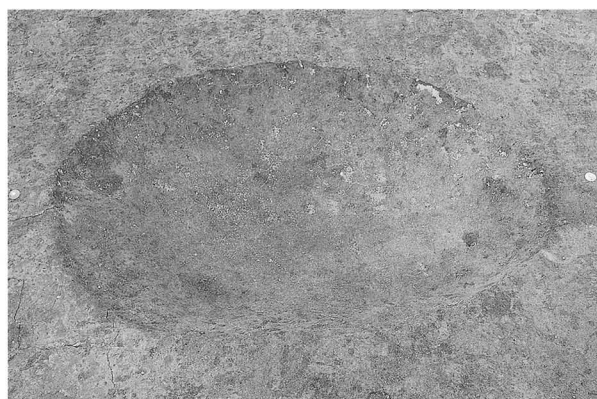
SK116断面2（東から）



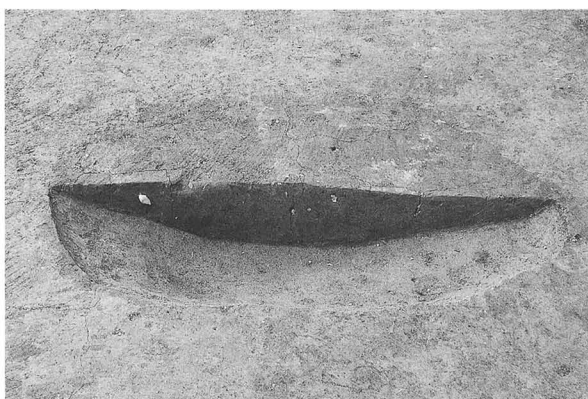
SK117完掘（東から）



SK117断面（東から）



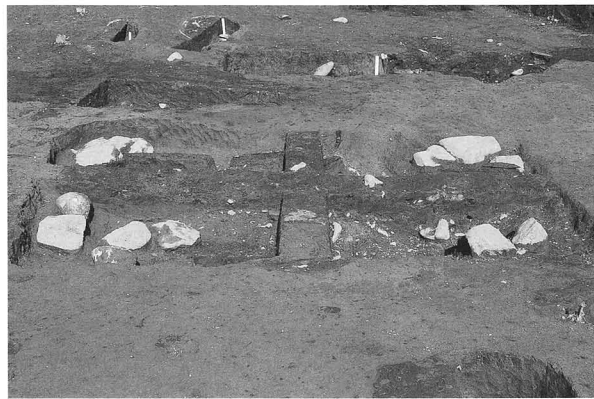
SK118完掘（南から）



SK118断面（南から）



SK120完掘 (南から)



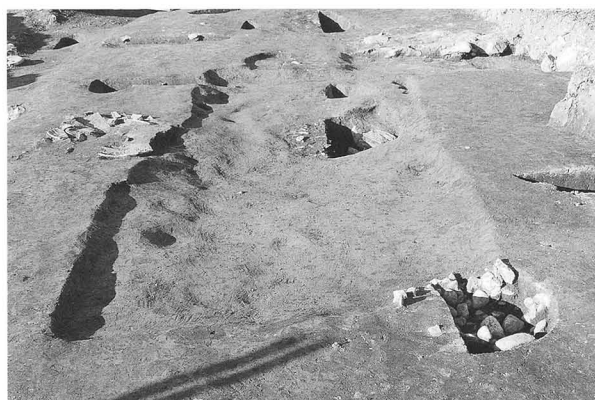
SK120断面 (南から)



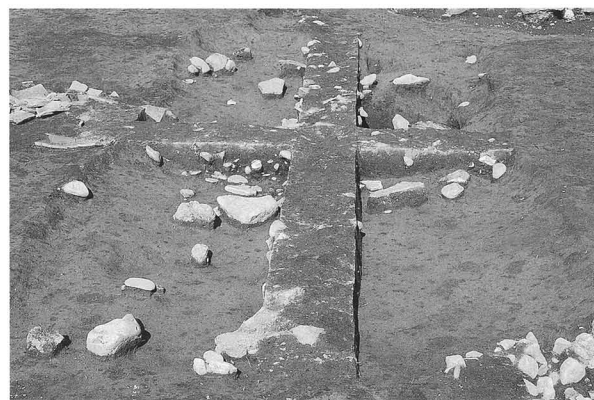
SK120遺物 (南から)



SK119断面 (南から)



SK121完掘 (南から)



SK121断面 (南から)



SK122完掘 (南から)



SK122断面 (南から)



SK123完掘 (南から)



SK123断面 (南から)



SK124完掘 (西から)



SK124断面 (南から)



SK125完掘 (南から)



SK125断面 (南から)



SK126完掘 (北から)



SK126断面 (北から)



SK127完掘 (西から)



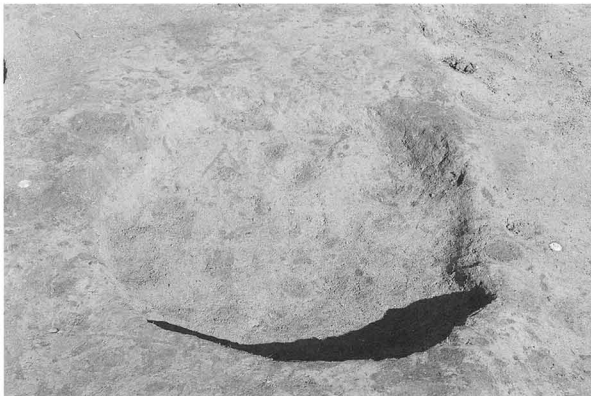
SK127断面 (西から)



SK128完掘 (南から)



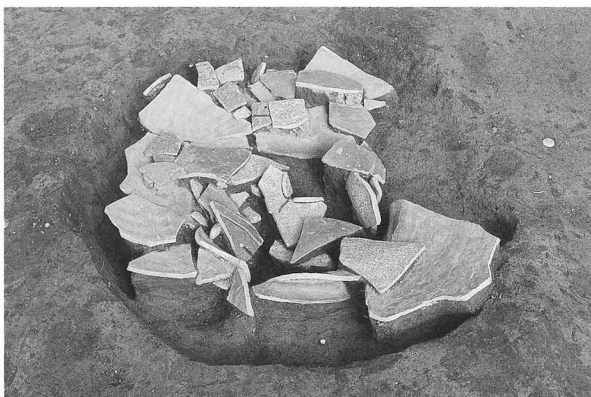
SK128断面 (南から)



SZ101完掘 (南から)



SZ101断面 (南から)



SZ101遺物 (南から)



SZ101検出 (南から)



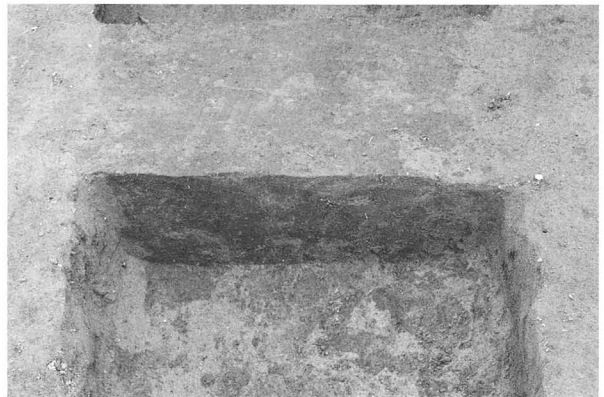
SD101・102完掘（南から）



SD101断面（南から）



SD101馬歯出土状況（北から）



SD102断面（南から）



SD103・104完掘（西から）



SD103・104断面（西から）



SD105完掘（西から）



SD105断面（西から）



SD106北側完掘（東から）



SD106北側断面（南から）



SD106南側完掘（南から）



SD106南側断面（南から）



SD107完掘（西から）



SD107断面（北から）



SD108完掘（南から）



SD108断面（北から）



SD109完掘 (南から)



SD109断面 (北から)



SD110西側完掘 (南から)



SD110西側断面 (南から)



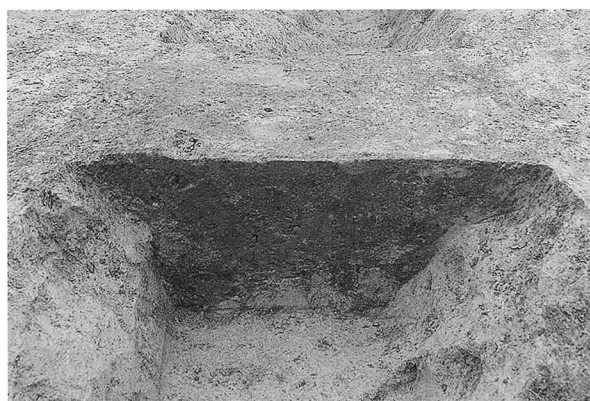
SD110東側完掘 (東から)



SD110東側断面 (東から)



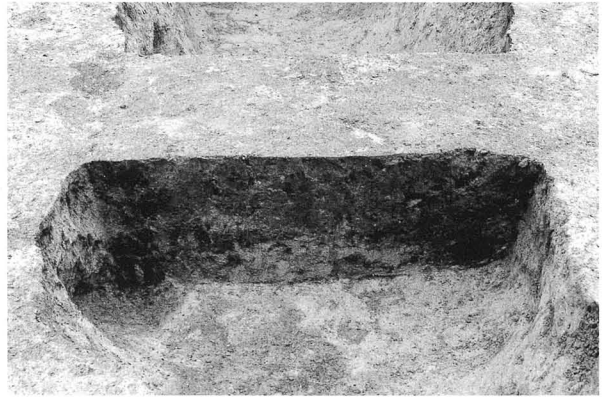
SD111完掘 (東から)



SD111断面 (東から)



SD112北側完掘（北から）



SD112北側断面（北から）



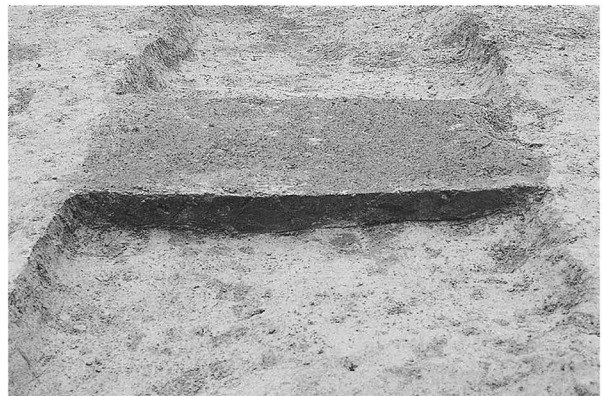
SD112南側完掘（北から）



SD112南側断面（北から）



SD113完掘（南から）



SD113断面（南から）



SD114完掘（南から）



SD114断面（南から）



SD115完掘（西から）



SD115断面（西から）



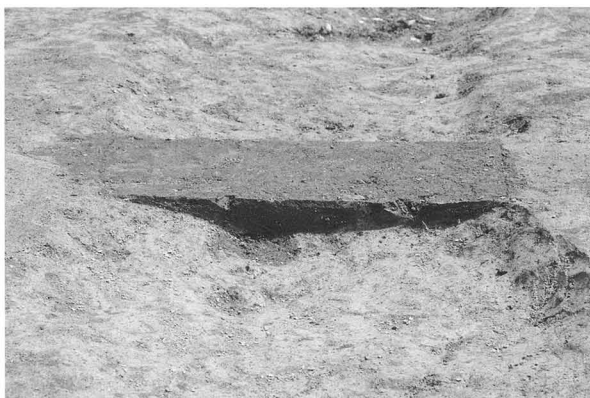
SD116完掘（西から）



SD117断面（西から）



SD117～119完掘（西から）



SD118断面（西から）



SD120断面（西から）



SD120断面（西から）



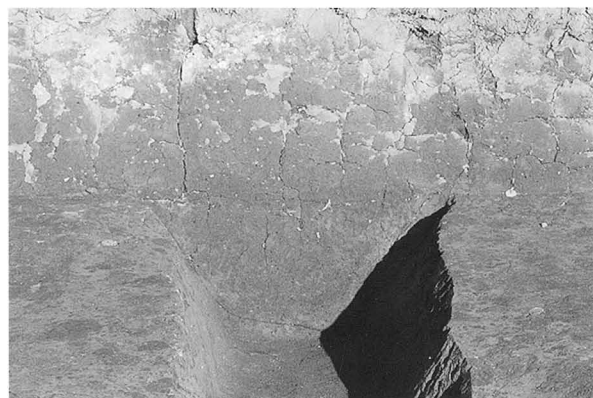
SD121完掘（東から）



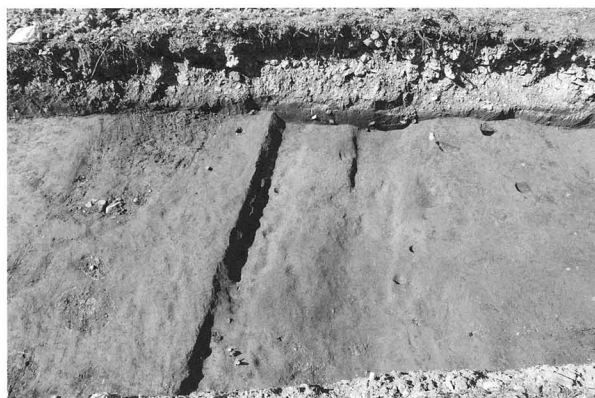
SD121断面（東から）



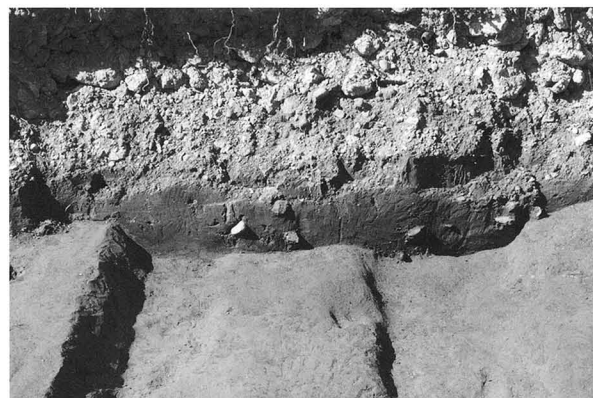
SD124完掘（西から）



SD124断面（西から）



SD125完掘（東から）



SD125断面（東から）



SD126完掘（西から）



SD126断面（西から）



SD122・123完掘
(南から)



SD122・123完掘
(西から)



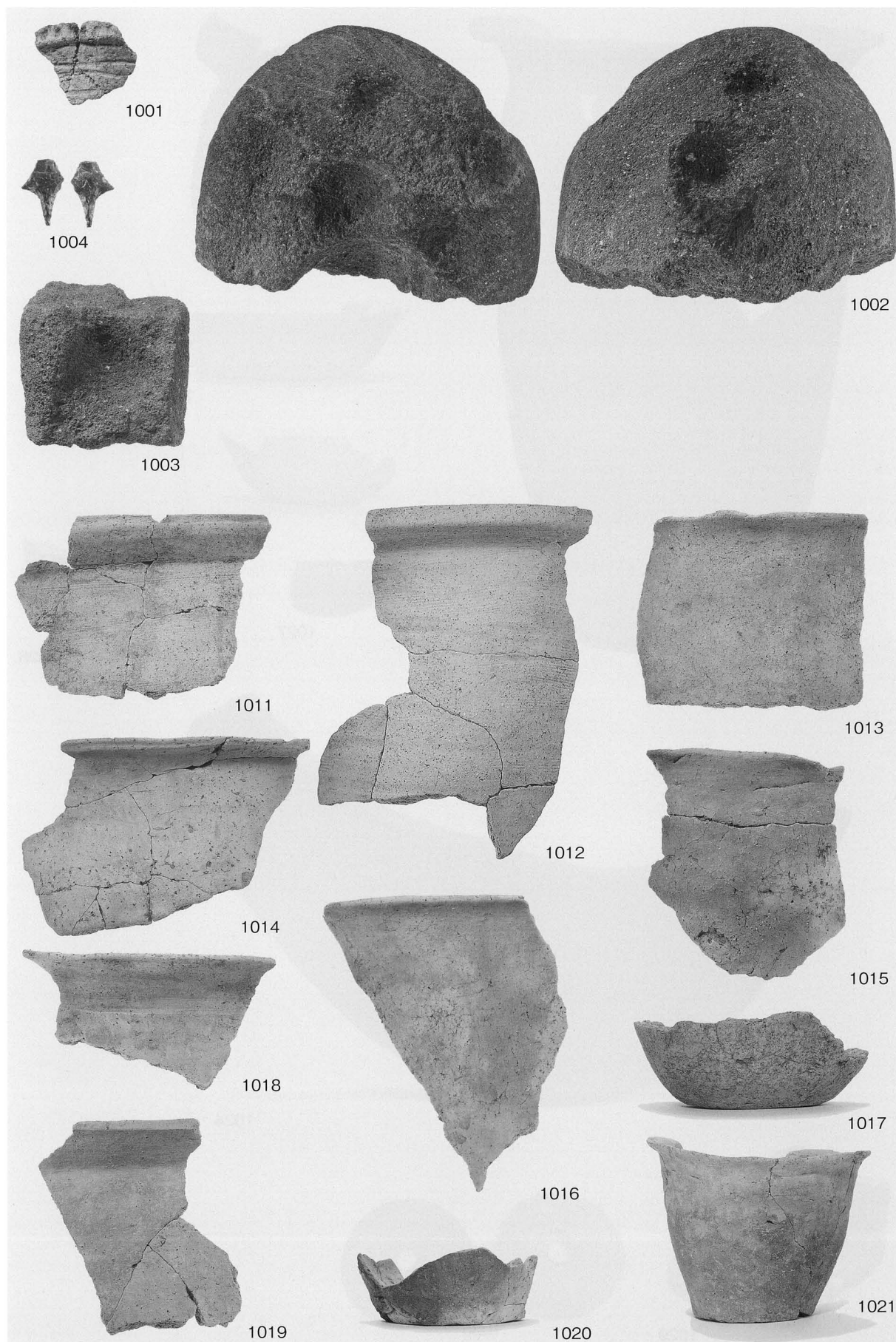
SD122・123断面
(西から)



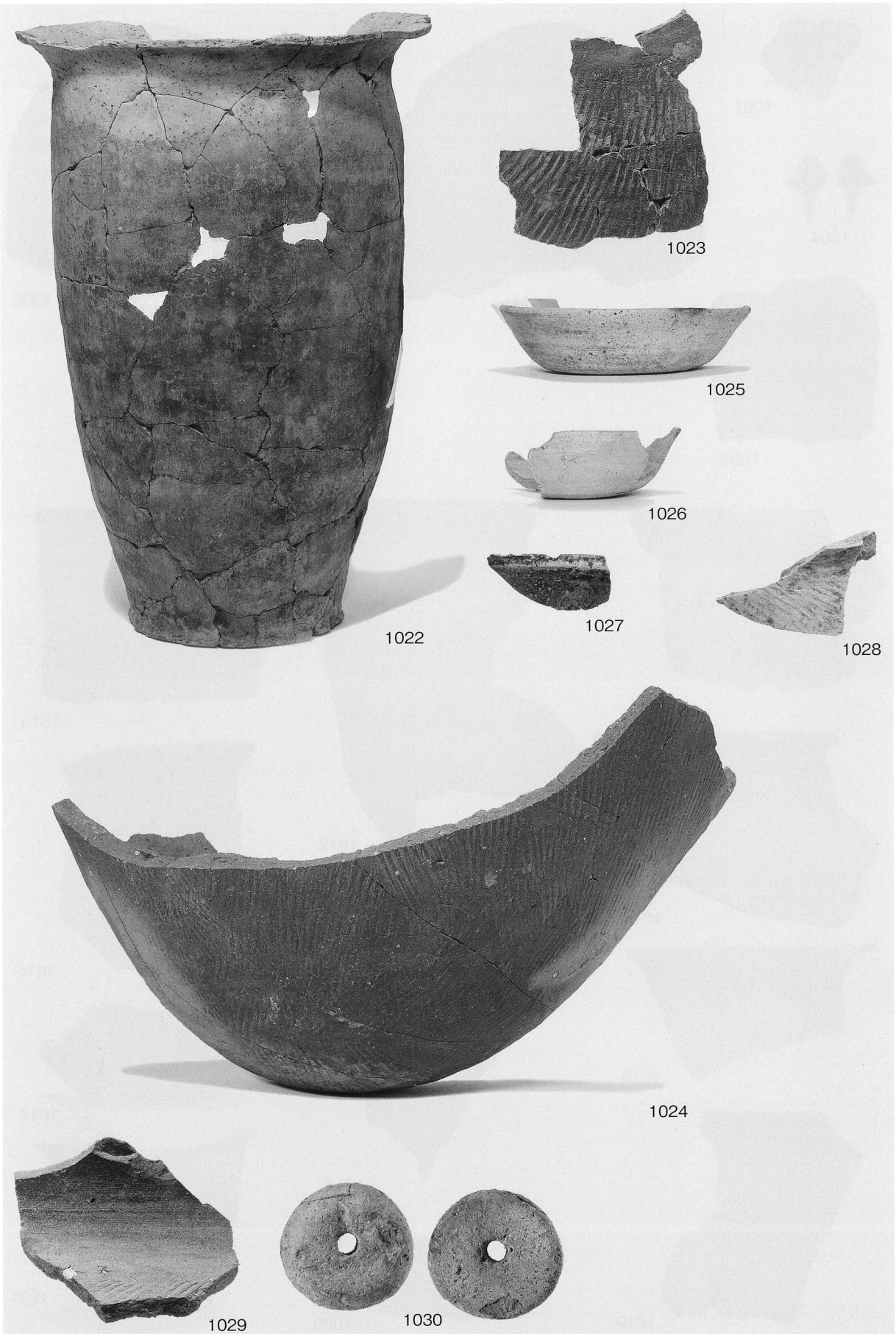
SD127完掘（北から）



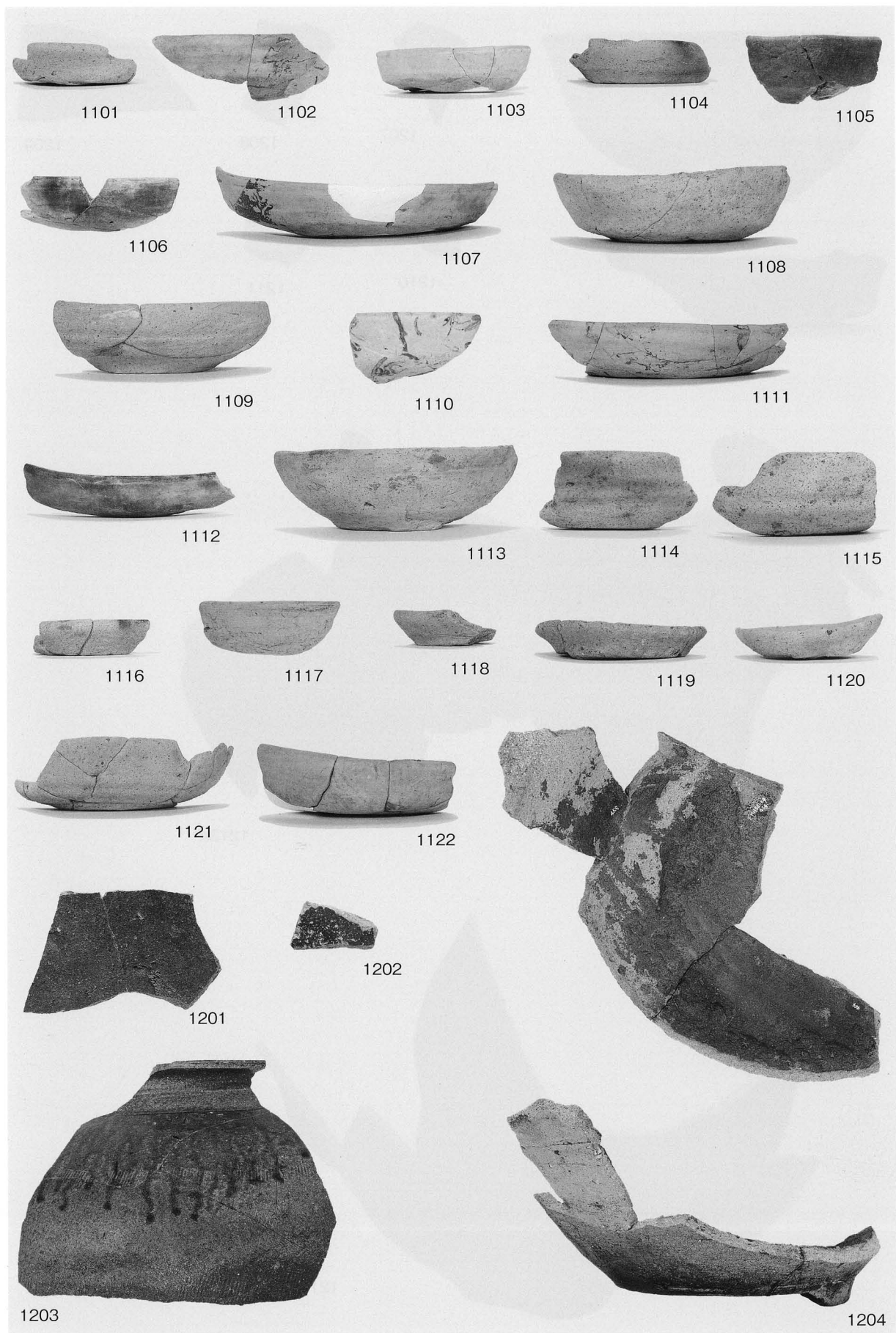
SD127断面（北から）



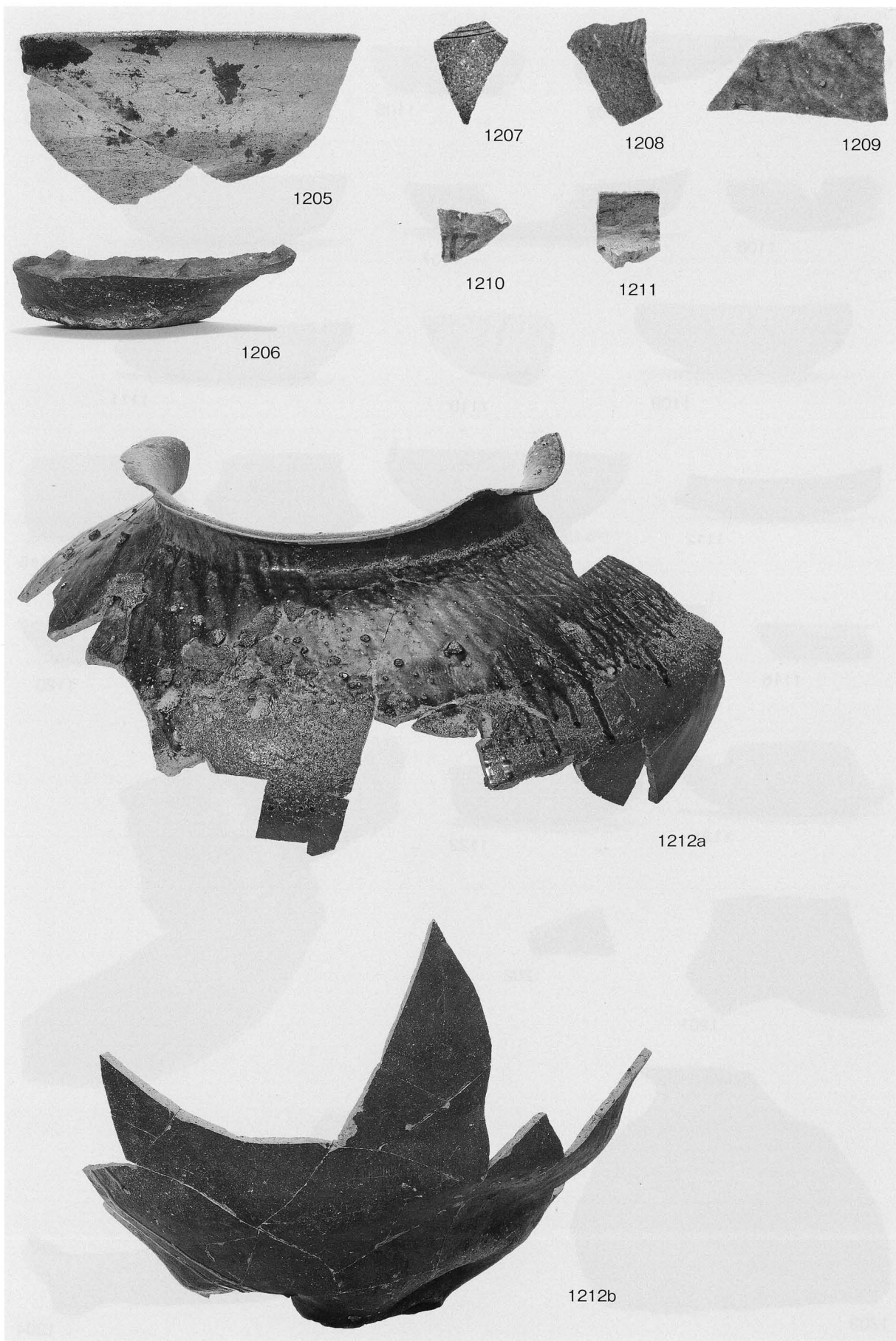
写真図版97 縄文土器、石器、土師器 (1)



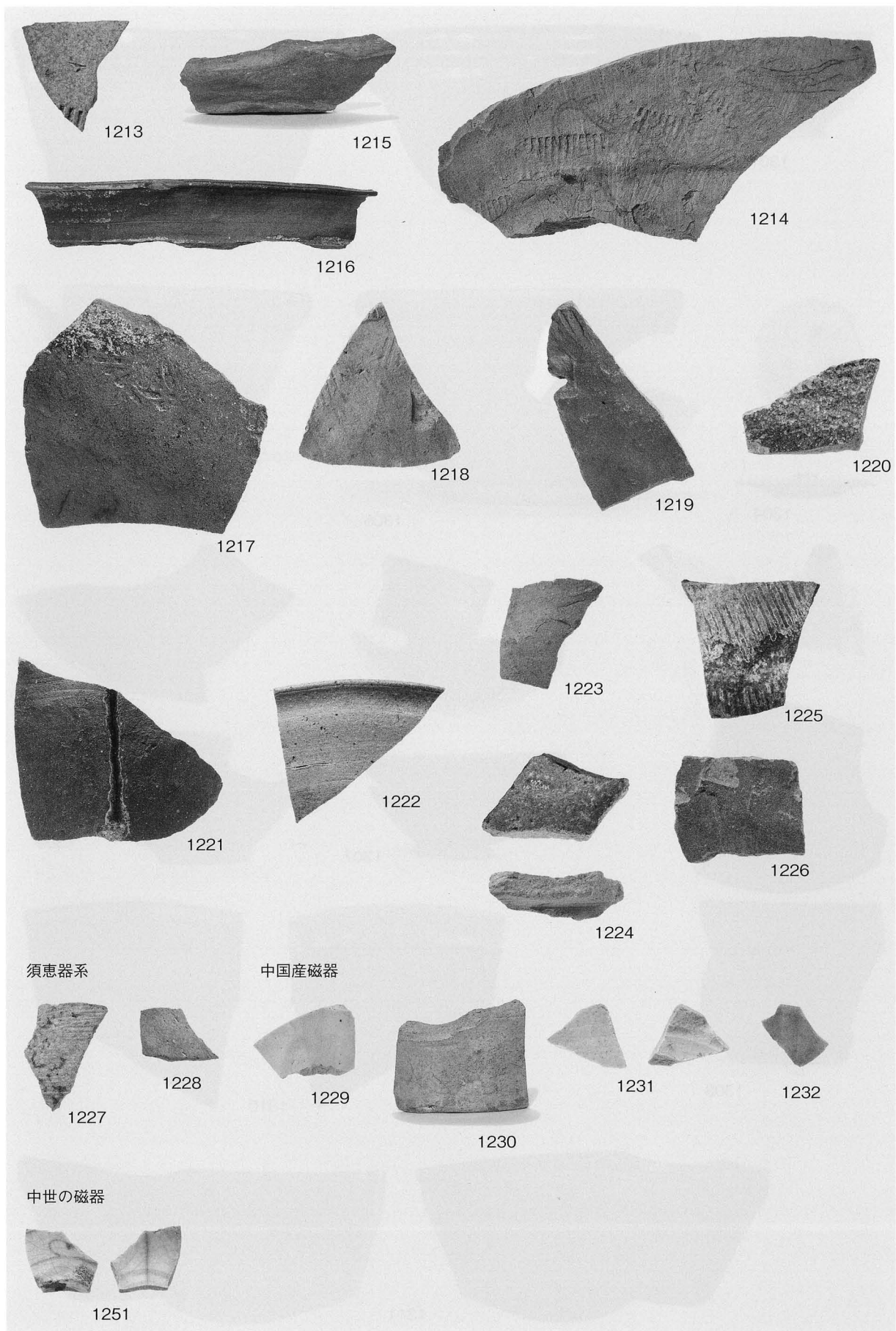
写真図版98 土師器(2)、須恵器、石製品



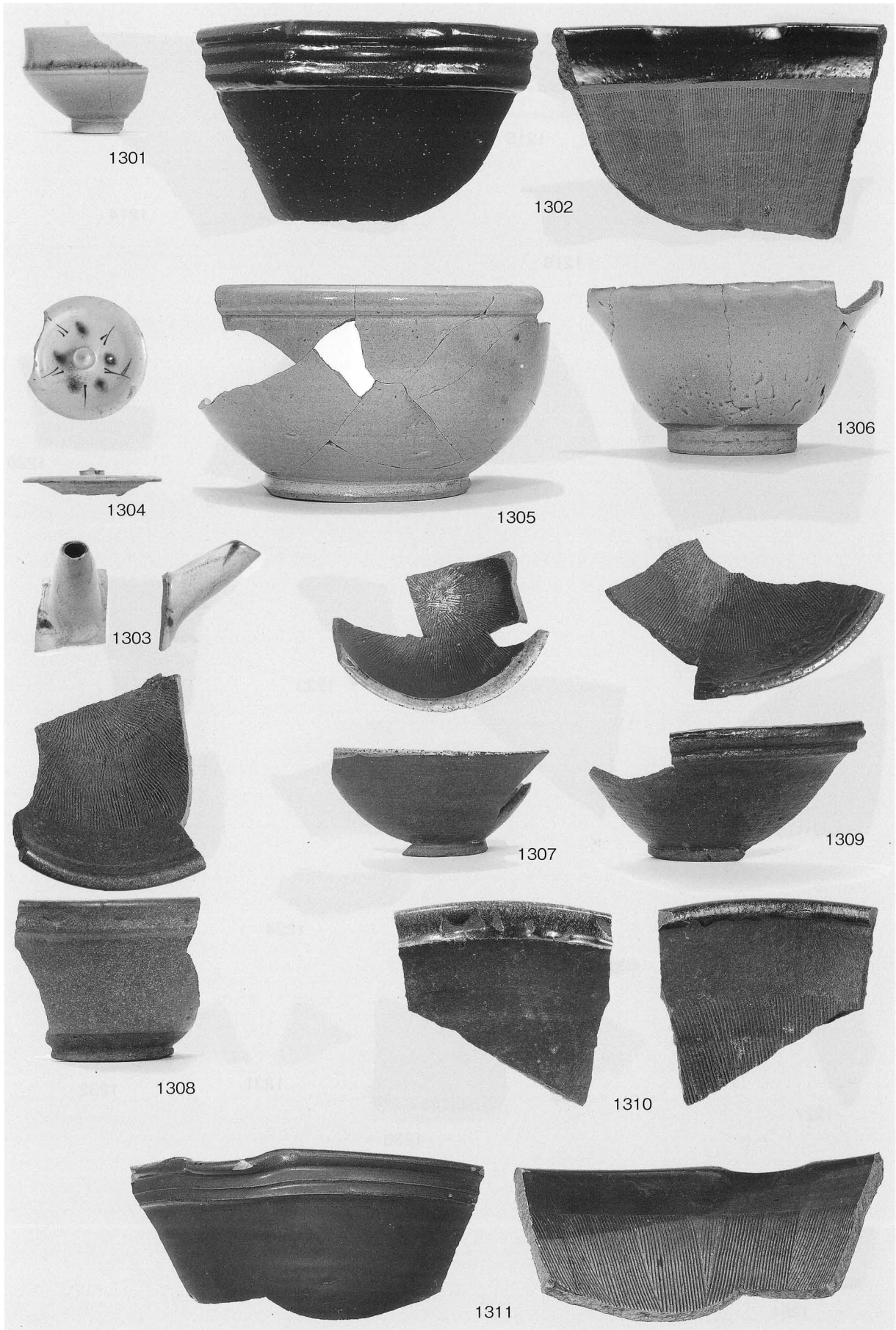
写真図版99 かわらけ、国産陶器：常滑（1）



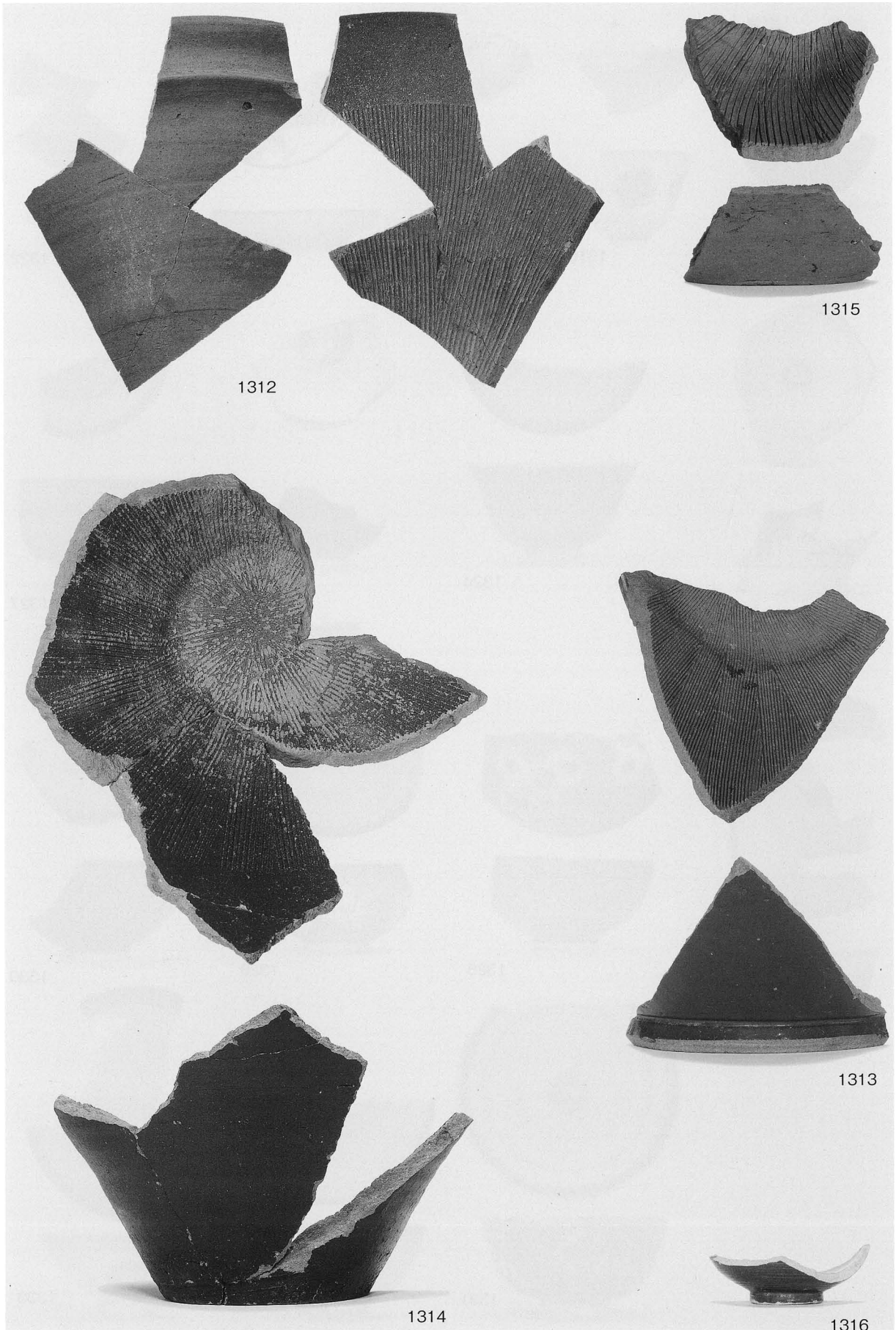
写真図版100 国産陶器：常滑（2）



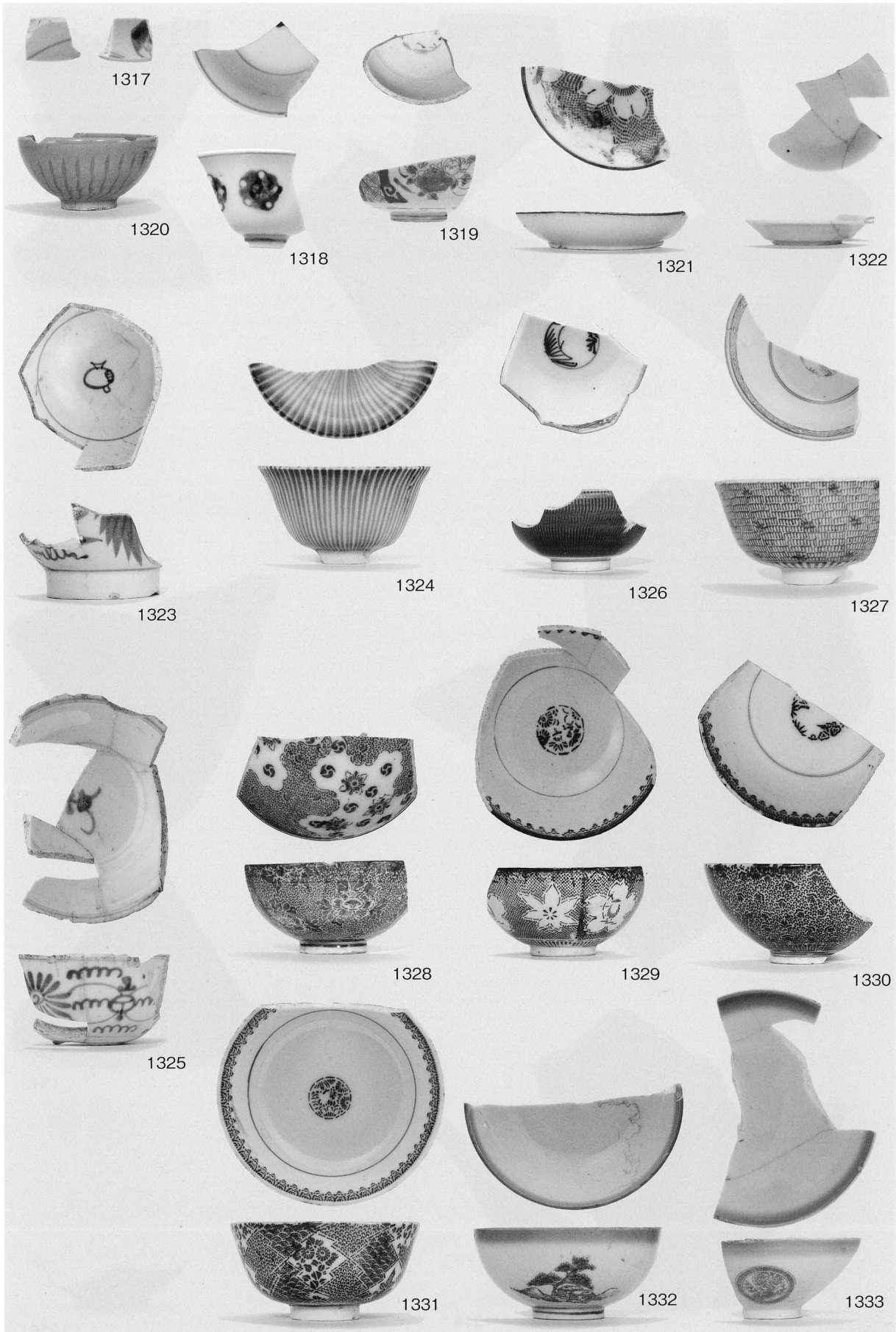
写真図版101 国産陶器：渥美、須恵器系、中国産磁器、中世の磁器



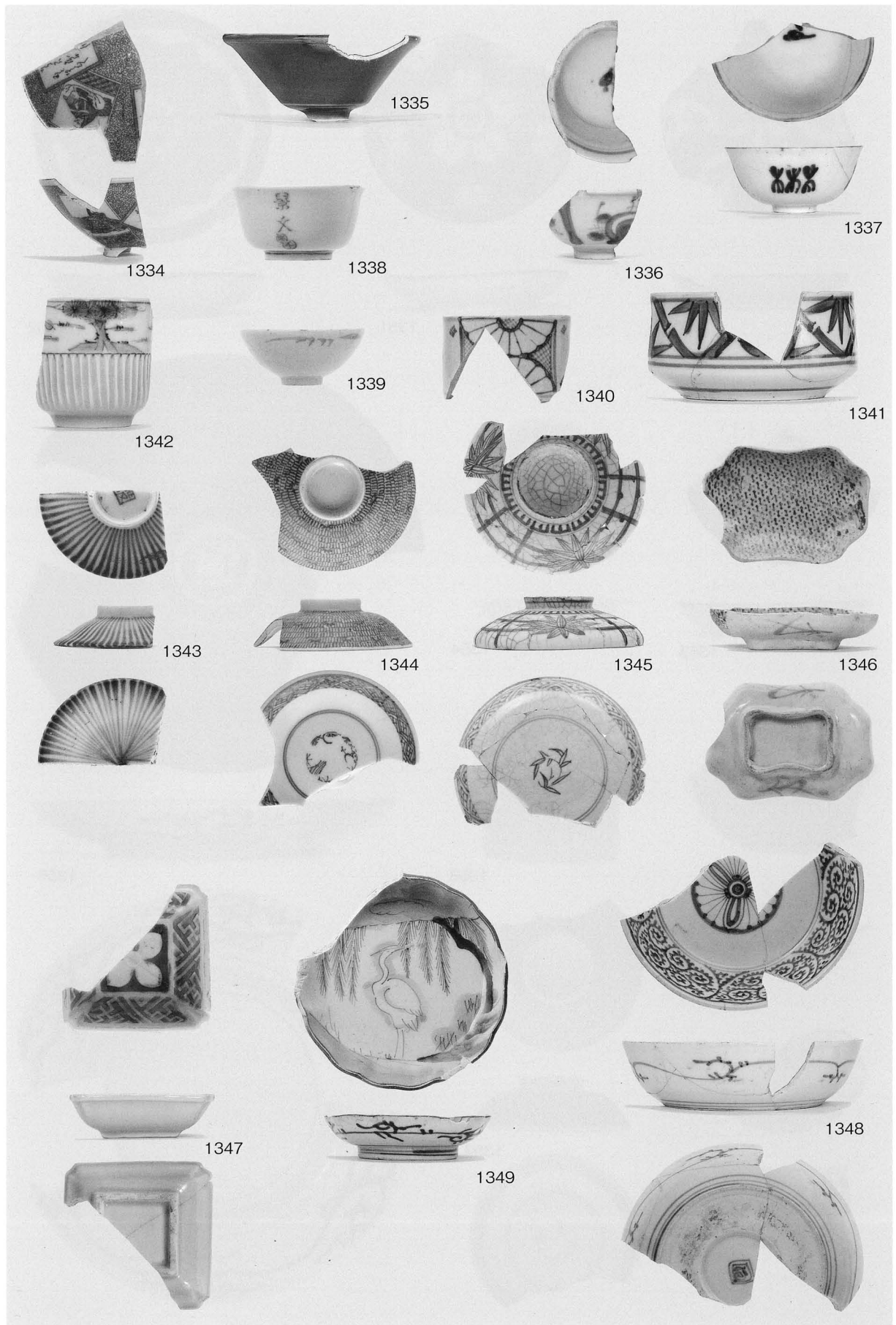
写真図版102 近世・近代の陶磁器 (1)



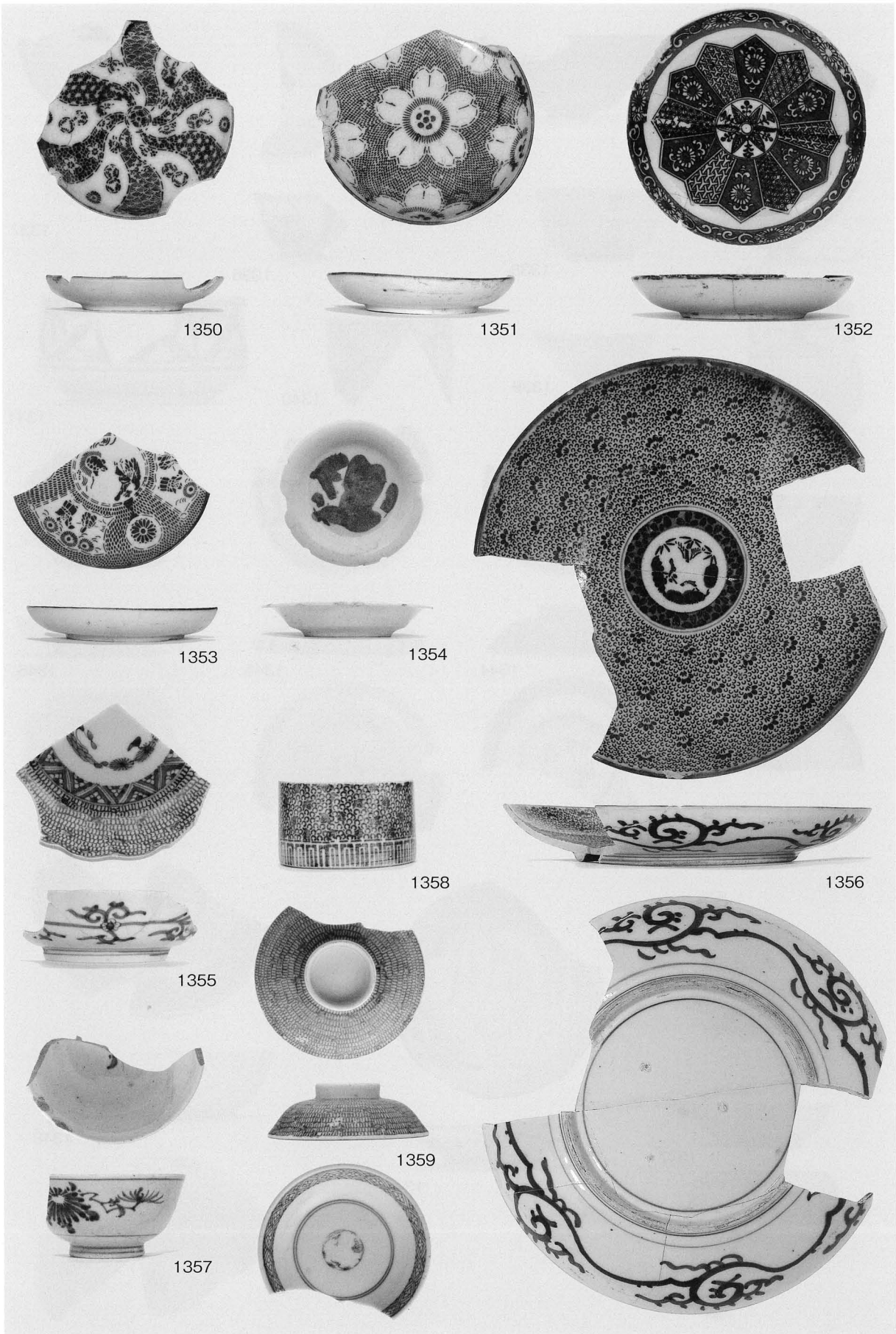
写真図版103 近世・近代の陶磁器 (2)



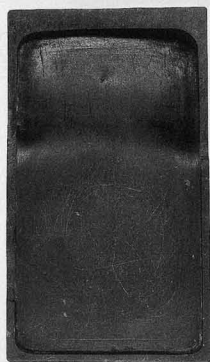
写真図版104 近世・近代の陶磁器 (3)



写真図版105 近世・近代の陶磁器 (4)



写真図版106 近世・近代の陶磁器 (5)



1401



裏面拡大



1412



1411



1413



1414



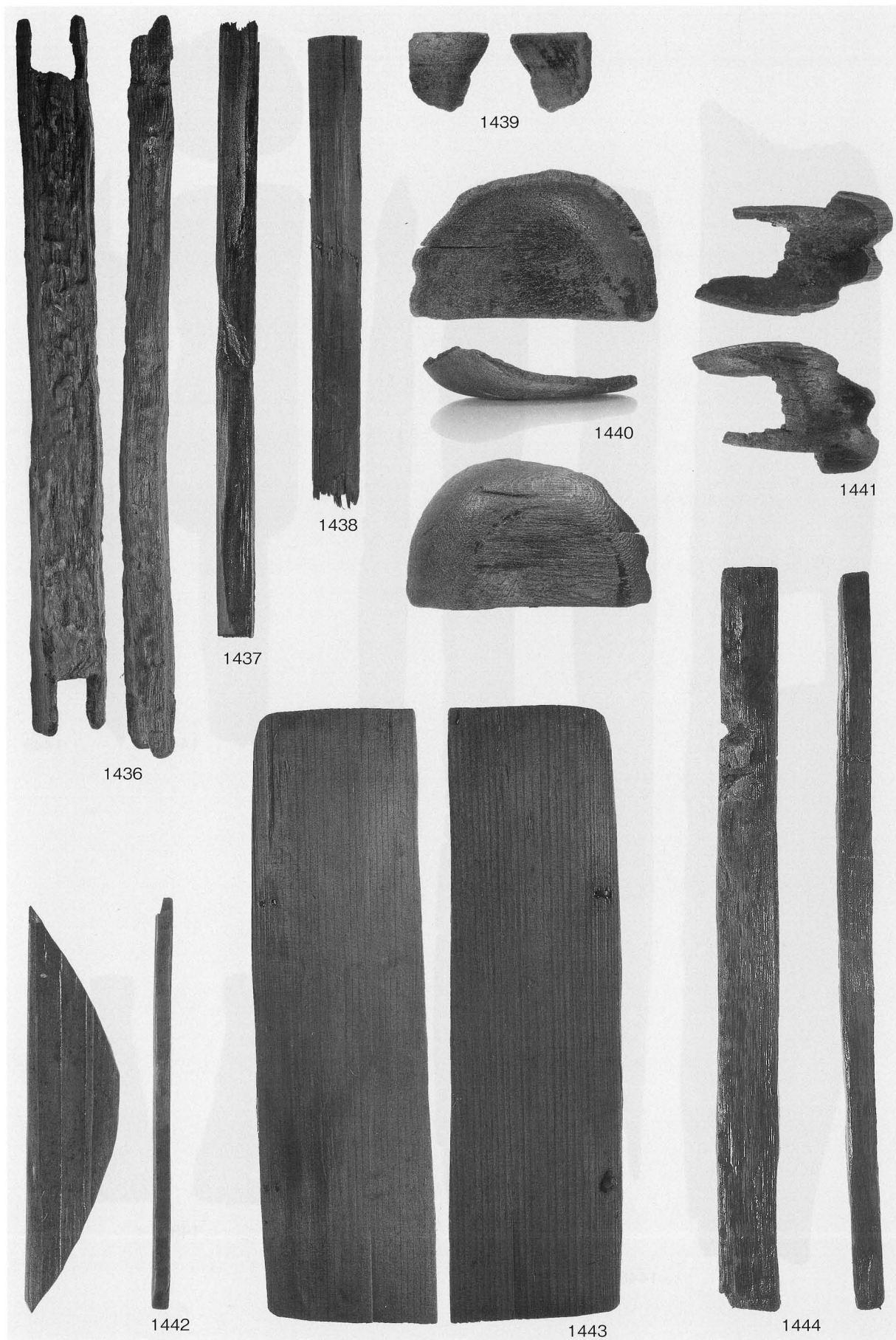
1421



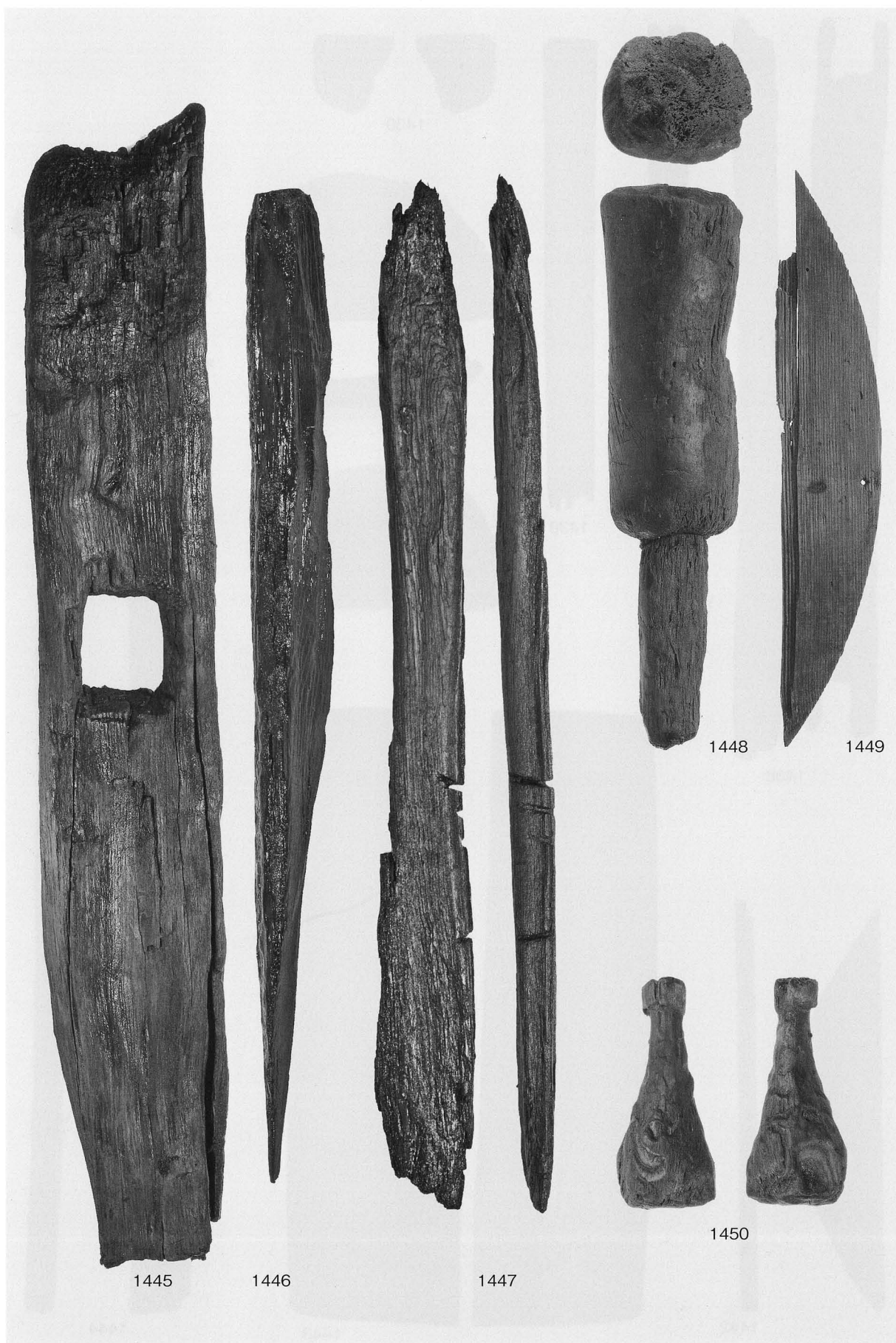
1422



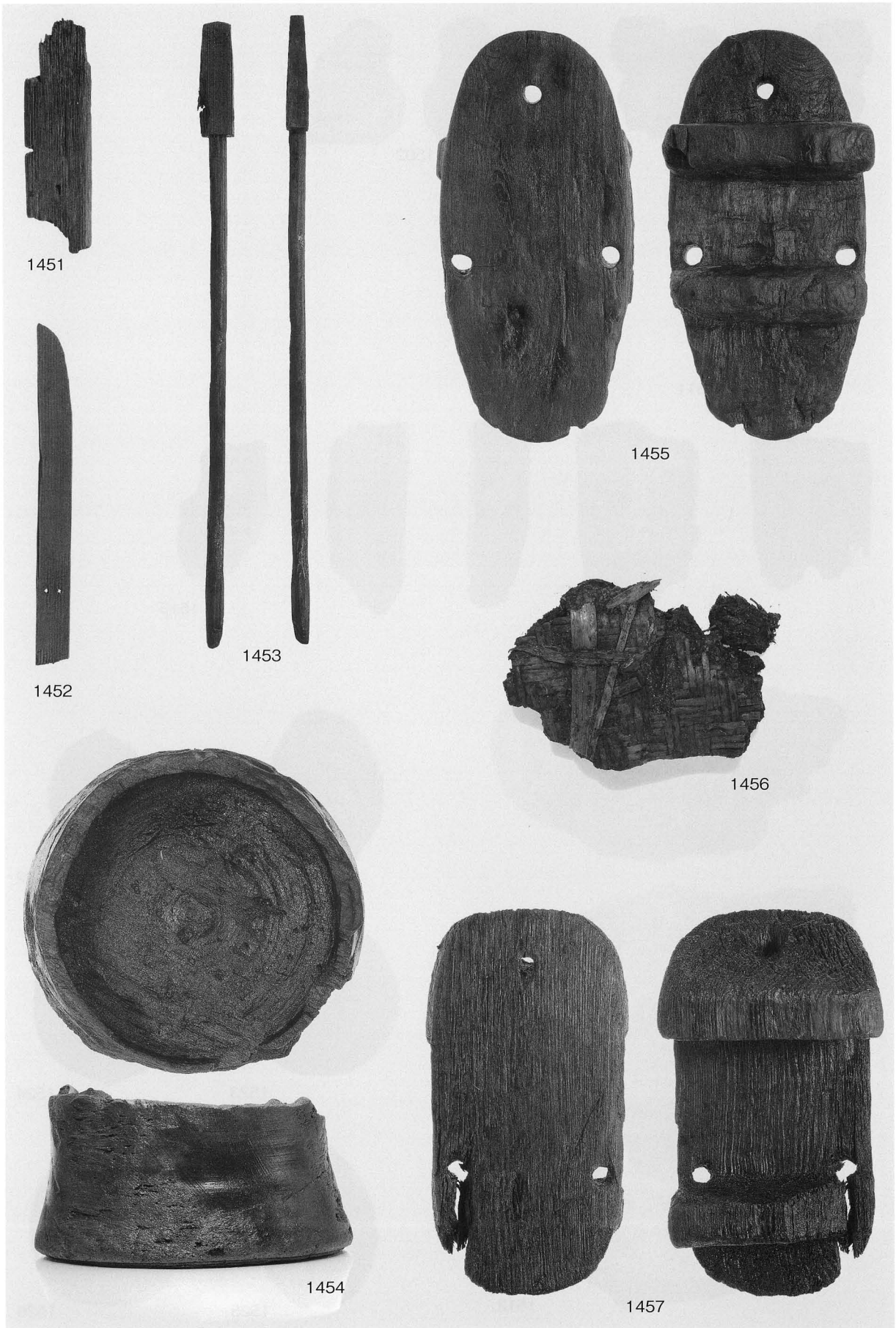
写真図版108 木製品 (1)



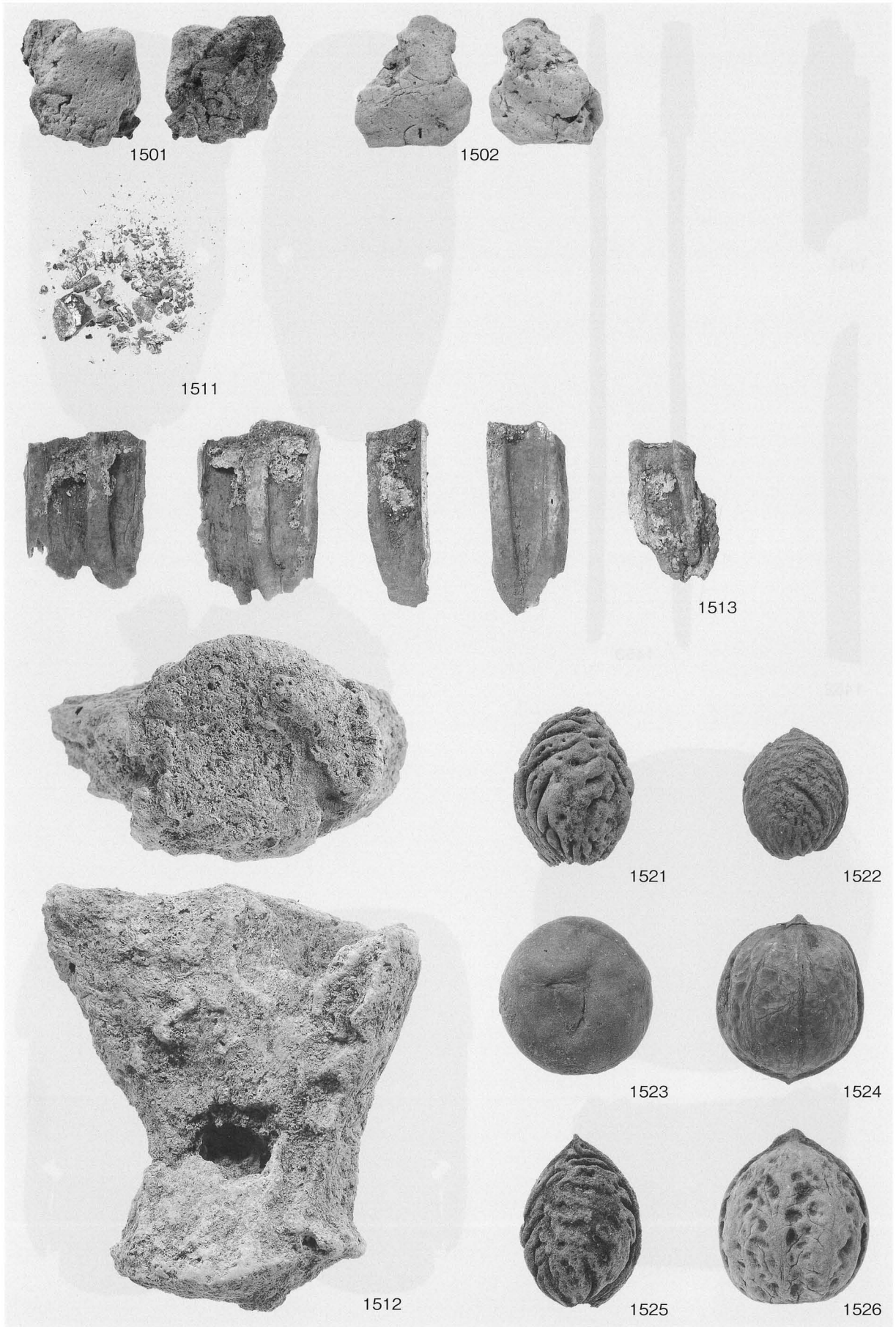
写真図版109 木製品 (2)



写真図版110 木製品 (3)



写真図版111 木製品 (4)



写真図版112 土製品、動物遺体、植物遺体

報告書抄録

ふりがな	みなみひづめしょうじぐち1・2いせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	南日詰小路口I・II遺跡発掘調査報告書							
副書名	経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第584集							
編著者名	阿部勝則・川又 晋・八重畑ちか子							
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡第11地割185番地 TEL (019) 638-9001							
発行年月日	2011年3月24日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みなみひづめしょうじぐち 南日詰小路口 1いせき I遺跡	いわてけんしわぐん 岩手県紫波郡 しわちやうみなみひづめ 紫波町南日詰 あざしょうじぐち 字小路口26- 2ほか	03321	LE43-1123	39度 31分 53秒	141度 10分 12秒	2009.04.08 ～ 2009.11.17	5,825㎡	経営体育成 基盤整備事 業南日詰地 区に伴う緊 急発掘調査
みなみひづめしょうじぐち 南日詰小路口 2いせき II遺跡	いわてけんしわぐん 岩手県紫波郡 しわちやうみなみひづめ 紫波町南日詰 あざしょうじぐち 字小路口54- 1ほか	03321	LE43-1131	39度 31分 52秒	141度 10分 5秒	2009.04.08 ～ 2009.11.17	6,461㎡	経営体育成 基盤整備事 業南日詰地 区に伴う緊 急発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
南日詰小路口 I遺跡	集落跡	12世紀 近世	建物跡 12棟 土坑・井戸跡41基 溝跡 43条 道路状遺構 1基 屋敷地関連の遺構	かわらけ 国産陶器 中国産磁器 木製品 近世陶磁器	20箱 30点 30点 31点 1箱	12世紀の大溝跡・区 画溝などの遺構、か わらけ、国産陶器・ 中国産磁器、木製品 などの遺物が多数確 認された。		
南日詰小路口 II遺跡	集落跡	古代 12世紀 近世	竪穴住居跡 3棟 建物跡 13棟 土坑・井戸跡21基 溝跡 27条 土器埋設遺構1基 屋敷地関連の遺構	かわらけ 国産陶器 中国産磁器 木製品 近世陶磁器	1箱 20点 4点 25点 3箱	12世紀の区画溝・建 物跡・井戸跡などの 遺構、かわらけ、国 産陶器・中国産磁器、 木製品などの遺物が 多数確認された。		
要約	<p>南日詰小路口I・II遺跡は、『吾妻鏡』に記載される、12世紀の平泉藤原氏の一族比爪（樋爪）氏の居館「比爪館」と推定される比爪館跡の南東側約0.6km付近に位置する。</p> <p>今回の調査では、I・II遺跡から12世紀の遺構・遺物が数多く確認された。I・II遺跡は、比爪氏に関連する12世紀の重要な遺跡であるとともに、比爪館とその東側一帯に分布する遺跡群からなる12世紀の「比爪」の様子を知るうえで貴重な調査事例である。</p>							

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第584集
南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業南日詰地区関連遺跡発掘調査

印 刷 平成23年 3月18日

発 行 平成23年 3月24日

編 集 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
電 話 (019) 638-9001

発 行 岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番1号
電 話 (019) 629-6699

(財)岩手県文化振興事業団
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号
電 話 (019) 654-2235

印 刷 トーバン印刷株式会社
〒020-0823 岩手県盛岡市門二丁目2-3
電 話 (019) 653-6333(代)

